

# 教義と聖約 および教会歴史

セミナー



生徒用学習ガイド



© 2001 by Intellectual Reserve, Inc. 版權所有

印刷：日本

英語版承認：2000年1月

翻譯承認：2001年11月

原題：Doctrine and Covenants and Church History Student Study Guide

日本語

# 教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド

この学習ガイドの使い方	1	教義と聖約24章	
聖文を研究する	2	教会指導者の義務	36
教義と聖約および教会歴史読書進度確認表	7	教義と聖約25章	
教義と聖約および教会歴史の世界へようこそ	8	エマ・スミス 選ばれた婦人	37
ニューヨークとペンシルベニアの教会	11	教義と聖約26章	
ジョセフ・スミス 歴史1		同意の律法	38
自分の経験について語るジョセフ・スミス	11	教義と聖約27章	
教義と聖約の序文		末日における聖餐	39
教義と聖約について知る	14	教義と聖約28章	
教義と聖約1章*		教会に対する啓示を受けるのは預言者だけである	40
主のはしがき 警告の声	15	教義と聖約29章	
教義と聖約2章		終わりの時の「選民」に与えられた約束	41
モロナイの訪れ	16	教義と聖約30章	
教義と聖約3章		デビッド、ピーター、ジョン・ホイットマー	
大切な教訓を学ぶ預言者	17	「恐れてはならない」	42
教義と聖約4章		教義と聖約31章	
主に仕える準備	18	トーマス・B・マーシュ 約束と警告	43
教義と聖約5章		教義と聖約32章	
モルモン書の証人が与えられることを約束される	19	レーマン人への伝道	44
教義と聖約6章		教義と聖約33章	
御霊の証	20	イエス・キリストの再臨に備える	46
教義と聖約7章		教義と聖約34章	
黙示者ヨハネの隠された記録	21	オーソン・プラット 「声を上げなさい」	46
教義と聖約8 - 9章		教義と聖約35章	
啓示を受ける、そして啓示に気づく	22	シドニー・リグドン 道を備える者	47
教義と聖約10章		教義と聖約36章	
預言者を滅ぼすたくらみ	23	エドワード・パートリッジ 「主に仕えた偉人の一人」	48
教義と聖約11章		教義と聖約37 - 38章	
「もしあなたが望むならば」	24	オハイオに集まって、敵から逃れる	49
教義と聖約12章		教義と聖約39 - 40章	
「この業を助ける」人々のために	26	ジェームズ・コービル 与えられた約束と失った約束	50
教義と聖約13章		オハイオとミズーリの教会	51
アロン神権の回復	26	教義と聖約41章	
教義と聖約14 - 16章		まことの弟子とは	51
ホイットマー3人兄弟への勧告	27	教義と聖約42章	
教義と聖約17章		教会に与えられた主の律法	52
3人の特別な証人に与えられた啓示	28	教義と聖約43章	
教義と聖約18章		主がわたしたちに語られる方法	54
使徒の務めと人の価値	29	教義と聖約44章	
教義と聖約19章		大会の目的	55
マーティン・ハリスに与えられた戒め	30	教義と聖約45章	
教義と聖約20章		イエス・キリストの再臨	56
教会の憲章	32	教義と聖約46章	
教義と聖約21章		御霊の賜物	58
感謝を神にささげん、預言者の導き	34	教義と聖約47章	
教義と聖約22章		教会歴史家の召し	59
バプテスマを施すために必要な権能	35	教義と聖約48章	
教義と聖約23章		カートランドで土地を購入する	60
「何ら罪の宣告を受けていない」	36	教義と聖約49章	
		キリスト再出現信者連合会(シェーカー派)へのメッセージ	61

\*注意：教義と聖約第1章はオハイオとミズーリの時代に与えられた。

教義と聖約50章 御霊の働きを理解する	62	教義と聖約77章 黙示者ヨハネに関する質問	92
教義と聖約51章 奉獻の律法に関する指示	63	教義と聖約78章 監督の倉を設ける必要性	92
教義と聖約52章 シオン、新エルサレムが明らかにされる	64	教義と聖約79 - 80章 伝道の召し	94
教義と聖約53章 シドニー・ギルバートの召し	65	教義と聖約81章 大管長会に与えられた主の勸告	94
教義と聖約54章 聖約とその結果	65	教義と聖約82章 シオンの確立に関する指示	95
教義と聖約55章 ウィリアム・W・フェルプスに与えられた召し	66	教義と聖約83章 女性と子供に対する責任	96
教義と聖約56章 謙遜でない者たちへの叱責	67	教義と聖約84章 神権に関する啓示	97
教義と聖約57章 シオンの中心の場所が明らかにされる	68	教義と聖約85章 自分のやり方でやるか、主の方法ですか	99
教義と聖約58章 シオンに関する主の御心	69	教義と聖約86章 小麦と毒麦のたとえ	100
教義と聖約59章 シオンとシオンのステーキに与えられた戒め	71	教義と聖約87章 戦争に関する預言	101
教義と聖約60章 「時間を無駄に過ごしてはならない」	73	教義と聖約88章 オリーブの葉 平和のメッセージ	102
教義と聖約61章 水の上にある危険	74	教義と聖約89章 知恵の言葉	104
教義と聖約62章 あなたの証は天において記録される	75	教義と聖約90章 王国の鍵	106
教義と聖約63章 シオンに備える	75	教義と聖約91章 聖書外典	107
教義と聖約64章 人を救す	78	教義と聖約92章 活発な一員になりなさい	108
教義と聖約65章 地上における神の王国は天の王国への道を備える	80	教義と聖約93章 光と真理	108
教義と聖約66章 ウィリアム・E・マクレラン 「あなたは清いが、完全に清いわけではない」	81	教義と聖約94章 教会建築委員会への指示	110
教義と聖約67章 聖文のテスト	81	教義と聖約95章 わたしの家を建てなさい	111
教義と聖約68章 聖文、神の力、両親	82	教義と聖約96章 カートランドの土地を区割りする	112
教義と聖約69 - 70章 神の啓示 神聖な管理の職	84	教義と聖約97章 神殿とシオン	113
教義と聖約71章 「あなたがたを攻めるために造られる武器は、 まったく役に立たない」	85	教義と聖約98章 迫害への対応	114
教義と聖約72章 管理の職と監督の義務について	85	教義と聖約99章 ジョン・マードックに与えられた伝道の召し	116
教義と聖約73章 ジョセフ・スミス訳聖書が完成する	86	教義と聖約100章 伝道に関して預言者ジョセフ・スミスと シドニー・リグドンに与えられた指示	117
教義と聖約74章 預言者の質問	87	教義と聖約101章 ミズーリ州ジャクソン郡における争いへの対応	117
教義と聖約75章 伝道の召し	88	教義と聖約102章 高等評議会と教会宗紀	120
教義と聖約76章 栄光の各階級に関する示現	89	教義と聖約103章 シオンは贖われるのか	121

教義と聖約104章 「わたし自身の方法で」	122	教義と聖約131 - 132章 「結婚の新しくかつ永遠の聖約」	152
教義と聖約105章 シオンの陣営	123	教義と聖約133章* 救い主の来臨のために道を備える	155
教義と聖約106章 「夜の盗人のように」	126	教義と聖約134章* 政府に関する信条	157
教義と聖約107章 神権に関する啓示	127	教義と聖約135章 真理のための殉教	157
教義と聖約108章 「あなたの兄弟たちを強めなさい」	129	教義と聖約137章* 日の栄えの王国に関する示現	160
教義と聖約109章 カートランド神殿の奉獻	129	西部へ移動する教会	162
教義と聖約110章 カートランド神殿に主が訪れ、鍵が回復される	130	大管長会の継承 次の大管長を選ぶ	162
教義と聖約111章 セーレムの宝	132	西部への旅（1845 - 1847年） 初期の開拓者から学ぶこと	163
教義と聖約112章 十二使徒の働き	133	教義と聖約136章 「すべての民……は……部隊を編成しなさい」	169
教義と聖約113章 聖文に関する質問	134	ブリガム・ヤング大管長 神の王国のために避難所を築く	169
教義と聖約114章 デビッド・W・パッテンに与えられた啓示	134	ブリガム・ヤング大管長の遺産 末日のモーセ	176
教義と聖約115章 ファーウェストの神殿	135	ジョン・テラー大管長 自由の擁護者	179
教義と聖約116章 アダム・オンダイ・アーマン	136	ウィルフォード・ウッドラフ大管長 宣言	184
教義と聖約117章 「名前ではなく、行いで」	137	公式の宣言一と「……3つの説教からの抜粋」 主は多妻結婚の実施を廃される	188
教義と聖約118章 新しい使徒	138	発展の時代	189
教義と聖約119 - 120章 什分の一の律法	139	ロレンゾ・スノー大管長 什分の一に関する啓示	189
教義と聖約121章 「召される者は多いが、選ばれる者は少ない」	141	ジョセフ・F・スミス大管長 福音の教義の教師	192
教義と聖約122章 「人のなし得ることを恐れてはならない」	143	教義と聖約138章 死者の贖いに関する示現	197
教義と聖約123章 記録することの大切さ	144	ヒーバー・J・グラント大管長 確固として主に仕える僕	198
イリノイ州ノーブーの教会	145	ジョージ・アルバート・スミス大管長 高潔な僕	201
教義と聖約124章 神聖な建物と神聖な召し	145	世界に広がる教会	205
教義と聖約125章 アイオワ準州ゼラヘムラ	147	デビッド・O・マッケイ大管長 「いかなる成功も家庭の失敗を償うことはできない」	205
教義と聖約126章 ブリガム・ヤングに与えられた啓示	148	ジョセフ・フィールディング・スミス大管長 福音学者、著作家	209
教義と聖約127 - 128章 死者のためのバプテスマの儀式に関する指示	149	ハロルド・B・リー大管長 巨大なアメリカスギ	211
教義と聖約129章 三つの大いなる鍵	150	スペンサー・W・キンボール大管長 「歩みを速めなさい」	214
教義と聖約130章 教義の宝石	151	公式の宣言二 すべてのふさわしい男性は神権を持つことができる	218
		エズラ・タフト・ベンソン大管長 洪水のようにモルモン書で地を満たす	219

\*注意：教義と聖約第133章はオハイオとミズーリの時代に受けた。

ハワード・W・ハンター大管長		信仰箇条	
キリストのような愛を持った人	223	わたしたちが信じている事柄	234
ゴードン・B・ヒンクレー大管長		教会歴史に残すわたしたちの足跡	
「わたしは楽天的です。将来は明るいと考えています」	227	信仰の遺産	237
家族 世界への宣言	231	教義と聖約に登場する人物と用語	239
生けるキリスト 使徒たちの証	232		

# この学習ガイドの使い方

この本のタイトルを見れば分かるように、これはあなたが聖文を学習するためのガイドです。このガイドでは聖文の理解を助けるために各ブロックに幾つかのセクションが設けられています。



**A 最初の部分**  
各ブロックの最初の部分には、まず各章やセクションのタイトルが本のイラストの中に記されています。次に読書課題の章や節が示されています。また次のような内容が含まれています。

- 歴史的背景。
- 前後のブロックとの関連。
- 読む前そして読みながら考えるべき質問と要点。この質問と要点を考えながら読むことで、そのブロックで学ぶ聖句のメッセージに心を集中することができる。

**B 聖文を理解する**  
「聖文を理解する」のセクションには、難しい言葉の解説が載っています。また、聖文の要点や概念を理解するのに役立つ注解もあります。注解には教会の中央幹部の言葉がたくさん引用されています。(訳注 このセクションは、英語の聖句に出てくる難しい言葉についての説明をそのまま翻訳してあります。日本語としては不自然なものや、不必要なものも含まれています。しかし、その説明を日本語の聖句に当てはめて読んでみると、理解を深めることができる場合もあります。)

**C 聖文を研究する**  
「聖文を研究する」のセクションには、いろいろな質問や活動が載っています。その質問や活動は、聖文が教えている福音の原則を見つけたり、考えたり、実践するのに役立ちます。この学習ガイドには書き込むスペースがありません。ですから、この活動を行うためにノートか紙を別に用意してください。

以下のステップで聖文の研究を進めれば、助けが得られるでしょう。

- 祈りで始める。
- 最初の部分を読む。3ページの「読む前に」に載っている方法を参考にする。
- 読書課題の章やセクションを読む。「聖文を理解する」の箇所を参考にする。3ページの「読んでいるときに」に載っている方法に従う。気がついたことや疑問に思ったことをノートに書き留める。また、大切だと思ったことについて、自分の気持ちや印象を書き込む。
- 「聖文を研究する」の中にある活動をする。どの活動をするか選ぶよう指示しているところもある。さらに学びたいすべての活動を行うとよい。

## 家庭学習セミナープログラム

家庭学習セミナーで勉強する生徒のために、週単位の読書課題が7ページに載っています。次のことを忘れないようにしましょう。セミナーは毎日行う宗教プログラムであるということ。祈りと聖文の学習を毎日の習慣にすること。セミナーに出席できない場合でも、学校がある日は必ずセミナーの決められた範囲を学習すること。セミナーは36週で行います。しかし、もっと時間がある場合や反対に時間が無い場合もあるでしょう。そのようなときは、その週にどの章を読みどの活動をすればよいか教師が指示してくれます。クラスに出席しない日には30分から40分聖文を読んだり、この学習ガイドを利用したりして勉強します。

毎週、自分の書いたノートを教師に提出します。それには、あなたがその週に聖文を学んだり学習ガイドの活動を通して感じたことなどを書きます。教師はあなたのノートを読み、コメントを書いてあなたに返します。ノートを2冊使って1週おきに別のノートを提出してもいいでしょう。あるいはルーズリーフ式のバインダーを用意し、その週に記したことを提出することもできます。教師から返してもらったノートはバインダーの元の場所に戻しておきます。

## デイリーセミナープログラム

デイリーセミナープログラムを受ける生徒は、教師の指示に従ってこの学習ガイドを用います。



# 聖文を研究する

この学習ガイドは、聖文を読み、研究し、理解するための助けとして作られました。聖文を研究するときは、ほとんどの時間を読むことと考えることに使います。ここでは聖文の研究をもっと効果的にするための方法を紹介しします。

ハワード・W・ハンター長老は十二使徒定員会の会員だったときに、教会員にとって役に立つ提案をしました。聖文の研究についての提案です。以下にそれをまとめて載せておきます。この提案をカードに書いて、聖文を学習するときに目につくところに置いておくとういでしょう。

- 聖句を理解するために注意深く読む。
- 毎日研究する。
- 毎日同じ時間に研究する。
- 集中できる場所で研究する。気が散らない場所。途中で邪魔が入らない場所。
- 研究する時間の長さを決めて行う。その方が章やページの数を決めて行うよりもよい。
- 学習計画を立てる。

(『聖徒の道』1980年3月号, 87 - 88参照)

末日聖徒版の聖典に収録されている『聖句ガイド』を使えば聖文研究に役立つでしょう。

## 末日聖徒版の聖典の中にある資料

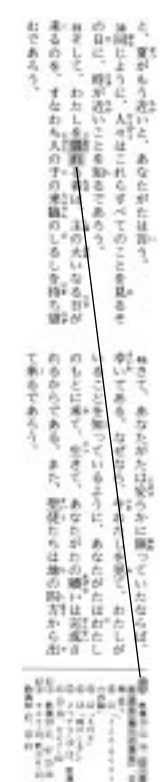
### 相互参照



相互参照とは参照聖句を比較対照することです。参照聖句は、研究しているテーマについてもっと情報を得て深く理解したいときに役立ちます。

例えば、教義と聖約18：34 - 35を読んで、脚注の35①を見てください。脚注の参照聖句を開いて読んでください。主の声を聞く方法について、何か新しい発見がありましたか。

### 『聖句ガイド』



『聖句ガイド』(GS)には何百もの項目が五十音順に並んでいます。各項目には教会の四大標準聖典に載っている参照聖句の箇所が記されています。また、聖典に出てくる名前や言葉の定義と説明が載っています。

例えば、教義と聖約45：39を読んでみましょう。「わたしを畏れる者」とありますが、「畏れる」という言葉が分かりにくいかもしれません。「主は人から怖がられたいと望んでおられる」ということでしょうか。脚注を見ると、『聖句ガイド』(GS)の「畏れ・恐れ 神への畏れ」を参照するようにと書いてあります。主に対して畏敬の念を持つ必要があるとはっきり教えている参照聖句はどこにありますか。『聖句ガイド』から「畏れ；恐れ」の箇所(60ページ)を見ると、聖典では「恐れ」が二つの異なる意味で用いられていることがわかります。

### 語句の説明



教義と聖約59：12の「供え物」という言葉の意味を理解するために、脚注はどのように役立ちますか。あなたは安息日にどのような供え物をささげることができますか。さらに、「断食」には食物を断つこと以外にどのような意味がありますか。

## 聖書のジョセフ・スミス訳

主はジョセフ・スミスに、聖書を研究し啓示を求めることを通して、聖書をより正確で完全な形で翻訳するように命じられました（教義と聖約45：60参照）。その過程で預言者ジョセフ・スミスは、たくさん大切な真理を回復し、聖書の記述に多くの重要な訂正を加えました。翻訳が間違っている可能性のあるものや、不明確なもの、不完全なものを訂正したのです（信仰箇条1：1，8参照）。このように靈感によって訂正が加えられた聖書は「ジョセフ・スミス訳」と呼ばれています。末日聖典では「ジョセフ・スミス訳」は「JS」と略しています。ジョセフ・スミス訳の幾つかは『聖句ガイド』の「聖書のジョセフ・スミス訳（抜粋）」に載っています。

## 聖書に関する地図と写真（訳注 この資料は現在翻訳中です）

末日聖徒版の聖書（英文）の付録には聖書地図と写真があります。これらの資料は聖文の中に出てくる場所を探すときに役立ちます。

## 教会歴史に関する年表、地図、写真

（訳注 この資料は現在翻訳中です）

1999年に教会は、合本（英文）に新たな地図と写真を追加しました。これは末日聖徒版欽定訳聖書（英文）に掲載されている資料に似た形式のもので、この資料には教会歴史にかかわる出来事が年代順に列挙されています。この資料（英文）によると預言者ジョセフ・スミスがモルモン書の翻訳を終えたのはいつですか。地図2（英文）によるとジョセフ・スミス・シニアの丸太造りの家があった場所はどこですか。この家で幾つかの大切な出来事が起こりました。それはどんなことですか（注1参照）。

## 各章の前書き、節の要約

章の前書きや節の要約には、章の背景を理解するのに役立つ大切な情報が載っています。例えば、教義と聖約89章の前書きを読んでください。そこからどんなことが分かりますか。

末日聖徒の聖典には、研究に役立つ資料がたくさんあります。まるで参考書がたくさんあるようなものです。しかも全部が一冊にまとまっているのです。

## 聖文研究の方法

ニーファイは、聖典に書かれている言葉を「よく味わう」必要があると言っています（2ニーファイ32：3）。イエスもニーファイ人に、聖文を「熱心に調べる」ように命じられました（3ニーファイ23：1）。このような方法で研究するには、聖文にざっと目を通すだけでは不十分です。以下に書いてあるアイデアや方法は、聖文をもっと深く研究するうえで役立つでしょう。「読む前に」「読んでいるときに」「読んだ後」の3つに分かれています。

### 読む前に

#### 祈り

聖文は靈感によって書かれました。ですから、聖文を最もよく理解するためには、聖霊と交わらな



ければなりません。旧約聖書には祭司エズラのことがこう記されています。「エズラは心をこめて主の律法を調べ……た。」（エズラ7：10）心を備えてから聖文を読むために、読む前に必ず祈ってください。

#### 歴史的背景を理解する

歴史的背景を知ったうえで聖文を読めば、さらに理解が深まります。『聖句ガイド』には聖典の各書の歴史的背景や簡単な紹介が記されており、それぞれの書の内容やテーマを知るのに役立ちます。教義と聖約の各章の前書きには、それぞれの啓示が与えられた歴史的背景が簡単に記されています。合本（英文）の巻末には索引があります。この索引も情報源として役に立ちます。時間があれば、教会のその他の出版物やテキストを参考にして、背景を調べながら聖文を読むとよいでしょう。

#### 自問する



聖文を深く理解するため、読む前に自分自身にこう問いかけてください。「これはだれが書いたのだろう。」「だれのために書いたのだろう。」「なぜこの教えが聖典に載っているのだろう。」「今日読んで知りたいこと、学びたいことは何だろう。」「主はこの聖句から何を学ぶように望んでおられるのだろう。」聖文を読みながら、このような問いかけへの答えを探すのです。『聖句ガイド』にある資料、また教会のテキストや出版物を使って答えを見つけることもできます。

#### 各章の前書きや節の要約を読む



章の前書きには、教義と聖約の各章の内容についての歴史的背景が簡単に説明されています。節の要約には、その節の要点が簡単に書かれています。この前書きを最初に読むのは良い習慣です。しかしそれだけでなく、読む前に自問したり、読みながらその答えを見つけたりするのにも役立ちます。

## 読んでいるときに

#### 思い切って読むのを中断する

金塊は地面に転がってはいません。深く掘って見つけるのです。聖文の研究も同じです。読むスピードを緩めたり、読むのを中断したりして、以下のようなことをすると、ずっと価値ある研究ができるでしょう。

#### 難しい言葉の意味を調べる

辞書を引いてください。時にはよく知っている言葉でも調べてみてください。そうすれば、さらに深く理解できるようになります。



す。この本には「聖文を理解する」というセクションがあります。難しい言葉の説明はそこに載っているのをそれを利用してください。(訳注 このセクションは、英語の聖句に出てくる難しい言葉についての説明をそのまま翻訳してあります。日本語としては不自然なものや、 unnecessaryなものも含まれています。しかし、その英語を日本語の聖句に当てはめて読んでみると、理解を深めることができる場合もあります。)

主は時々、聖文の中で難しい言葉を説明するように預言者たちに靈感をお授けになりました。そのようにしてわたしたちの理解を助けてくださるのです。例えば、教義と聖約41：5を読んでください。主の弟子についてのどのように説明されていますか。

#### 末日聖徒版の聖典の中にある資料を使う

この本の2 - 3ページにある「末日聖徒版の聖典の中にある資料」を見てください。

#### 聖文の言葉を自分自身に当てはめる

聖句に自分自身の名前を当てはめると、その教えをもっと身近に感じることができます。例えば、教義と聖約30：1 - 2の「デビッド」をあなたの名前に置き換えて読んでみてください。普通に読んだときと、どんな違いを感じましたか。

#### 情景を思い描く



情景を心に思い描いてください。例えば、ジョセフ・スミス - 歴史1：27 - 47を読んで、自分の寝室に天使が3回現れて大切なメッセージを伝えたと想像すると、どんな気持ちになりますか。

聖文の中にも、情景を心に思い描くように勧めている箇所があります。アルマ5：15 -

18を読んでください。アルマの勧めに従って、聖句の内容を思い描いてください。そして感じたことを書き留めてください。

#### 「接続語」を探す

接続語には、「そして」「しかし」「……ので」「……ために」「……にもかかわらず」などがあります。このような言葉が出てきたら注意してください。接続語は事柄と事柄のつながりを教えてくれます。接続語に注意することで、事柄と事柄がどのように似ているか、あるいはどのように違っているか、分かることができます。

例えば、教義と聖約84：54 - 55に出てくる「……ために」という言葉が何を意味しているか考えてみてください。モルモン書の大切さについて重要な真理を学ぶことができます。

この「……ために」という接続語に注意すると、「信仰を持ち、モルモン書に感謝すれば」(条件)、「啓示や主の祝福を受けられる」(結果)という、条件と結果の関係が分かります。

また、不信仰のために、また自分の受けたものを軽蔑し、捨てたため、あなたがたの聖いは過去に弱くなることがあった。この虚栄と不信仰は全教会に軍の宣告を預いた。

そして、その時代に異邦人の時は満ちる。おまた、その時代に生きていて、あふれる徳らしめを見るまで世を去らない人々がいる。霊感をもたらす病気が地を覆うからである。しかし、わたしの弟子たちは類なる場合に立ち、動かされない。聖徒、悪人の中では、人々が声を上げ、神をのりて死ぬであろう。

教義と聖約45：30 - 32を読んでください。「しかし」という言葉がここで「末日における邪悪な人々の状態」と「末日における義人たちの状態」の違いをどのように示しているか注意してください。

「しかし」という言葉が何を強調しているかを理解すれば、義人が再臨前の破壊から救われることがはっきり分かります。

#### パターンを探す

教義と聖約52：14で、主はサタンあざむの欺きを避けるために規範きはん(パターン)を与えると宣言されました。19節にも規範という言葉が出てきます。つまり主は、14節から19節で、良い霊と悪い霊を見分ける方法を明らかにしてくださったのです。わたしたちはこれらの節を読んで学習することで、良い霊と悪い霊を見分けるための規範(パターン)を理解することができます。



パターンを探すもう一つの方法は、「もし……ならば… …であろう」という表現を見つけることです。主はこの方法によって条件と結果について説明なさいます。教義と聖

約5章で、マーティン・ハリスは主から特別な賜物を授かるために行わなければならない事柄を教えられました。24節を読んで、「もし……ならば、……であろう」のパターンを見つけてください。マーティン・ハリスは、祝福を得たいなら何をしなければならぬと言われましたか。探してください。

言葉を繰り返したり、同じ内容を繰り返したりするのも、もう一つのパターンとして注意すべきです。例えば、教義と聖約11、12、14章の最初の5節の内容を比較してください。これらの啓示は主の王国で働き始めた教会員に与えられたものです。主はこの僕たち一人一人に同じようなメッセージを与えておられることに注意してください。

## 聖典中のリストを探す



様々な事柄のリストも、主と預言者の教えをはっきり理解するのに役立ちます。十戒も一つのリストです（出エジプト20章参照）。3ニーフアイ12：3 - 11の至福の教えも、すぐにリストだと分かります。このほかのリストを見つけるには、少し努力が要ります。

例えば、教義と聖約68：25 - 31をもとにリストを作ってください。出来上がったリストを見れば、主が子供を教えることについて、両親に求めておられることが分かります。

## 自問する

「読む前に」の項目で説明したように、自分に対する問いかけを、読むときにも続けてください。読む前に自問したことを聖文を読みながらもう一度問い直してください。まったく異なる疑問が浮かんでくるかもしれません。そのような疑問に対する答えを探すのはとても大切な聖文の研究方法です。その方法で深い理解が得られるからです。問いかけの中でも最も大切なものは、「主はどうして聖典の著者にこのことを書くよう靈感を与えられたのだろう」という問いかけです。聖典の中には時々そのような問いかけに対するヒントがあります。「このことから分かるように...」という言葉は分かりやすいヒントです。そのようなヒントを探してください。

## 聖文中の問いに答える

主はしばしば御自分からあることを質問され、御自分でお答えになります。主は一部の長老たちに、こうお尋ねになりました。「何のためにあなたがたは聖任されたのか。」（教義と聖約50：13）それから御自分でこうお答えになりました。「御霊、すなわち真理を教えるために遣わされた慰め主によって、わたしの福音を宣べ伝えるためである。」（14節）

別のところでは、質問だけが答えが記されていないこともあります。答えなくても分かるからかもしれません（例えば、教義と聖約122：8参照）。しかし時には別の理由で答えが示されないこともあります。その質問についてある程度考えさせるためかもしれません。あるいは簡単に答えられるような質問ではないのかもしれません。例として、アルマ5：14 - 33を読んでください。自分がその場にいるつもりで質問に答えてください。

## 象徴や比喩表現の意味を考える



預言者はメッセージを力強く伝えるために象徴や比喩をよく使います。「たとえ」もその一つです。たとえはメッセージを分かりやすく伝えます。また、とても深い意味を持っています。たとえで語られると、教えの内容がもっと心に残り、もっと意味深いものになります。

以下の提案は、聖典中の象徴を理解するのに役立つでしょう。

1. 聖典の中で象徴が説明されていないか探してください。例えば、マタイ13章の麦と毒麦のたとえの中の多くの事柄は教義

と聖約86：1 - 7と101：64 - 66で説明されています。たとえの説明を見つけるために脚注の参照聖句が役立つことがあります。

2. その象徴にはどんな特徴があるか、また、その象徴から何が学べるかを考えてください。例えば、教義と聖約38：24 - 27で主は、父親が従順な息子たちをどれほど愛しているかについて語っておられます。それは、主がわたしたちをどれほど愛しておられるかはっきりと教えるためであり、人々が家族のように愛し合い一致する必要があると強調するためでもあります。
3. その象徴が救い主について何かを教えているかどうか確認してください。主はアダムに「すべてのものがわたしのことを証する」（モーセ6：63）とお教えになりました。例えば、教義と聖約101：81 - 91で、この女性の執拗な求めに応じた裁判官と聖徒たちの熱心な祈りにこたえて助けてくださる主は、どんな点で似ているでしょうか。

## 記録する



覚えておきたいと思うことを書き留めるために、紙やノートをそばに置いておいてください。例えば、大切なことが列挙されていたり、自分にとって特別な教えを発見したり、読んだことについて何かを感じたりしたときに、その内容を書き留めるのです。今回考えたことや気がついたことを、次に読むときに思い出せるように、聖典の余白に書き込みをしておくといでしょう。

多くの人が、聖典の重要な言葉にしるしをつけています。どんな方法でしるしをつけてもかまいません。（しるしをつけなければつけないでもかまいません。）節の番号を丸で囲む人もいます。節の中で特別な意味を持つ語句に色をつけたり、線を引く人もいます。聖典にしるしをつけるもう一つの方法があります。余白に参照聖句の場所を書き込むことです。同じテーマの聖句に同じように参照聖句を書き込むと、そのテーマに関する「聖句のチェーン（くさり）」ができます。そうすれば、そのテーマの聖句一つから、チェーン（くさり）でつながっているすべての聖句を見つけることができるようになります。聖典に書き込みをすると、ほとんどの場合重要な聖句をより速く見つけることができます。

## 読んだ後で

### 熟考する



熟考とは深く考えることです。それは自問することであり、知っていることや学んだことについて思いを巡らすことです。聖文では、熟考することを「思う」という言葉で表している箇所もあります（ヨシヤ1：8参照）。聖典には、熟考に関するよい例が幾つかあります。熟考した結果（特に聖文を熟考した結果）、重要な啓示を受けた例です

（教義と聖約76：15 - 20；138：1 - 11参照）。

## 聖文を自分自身に当てはめる

聖文を自分に当てはめるとは、聖文を自分の生活に応用することです。聖文を自分に当てはめるには、次のようなことを自問する必要があります。「今読んだ聖句は、福音のどの原則について教えているのだろう。」「この原則は自分の生活にどのように関係があるのだろう。」聖文を自分に当てはめるときに大切なのは、



聖霊の教えに耳を傾けることです。主は御霊が「あらゆる真理に導いてくれる」と約束しておられます(ヨハネ16:13)。

教義と聖約は、聖書で教えられている多くの出来事や原則を採り上げています。そうすることによって、末日にかかわる教義をはっきり説明し教えているのです。例

えば次のようなことが教義と聖約に記されています。モーセは啓示の霊によって「イスラエルの子らを導いて乾いた地を通して紅海を渡らせ」た(教義と聖約8:3)。教会員はウザが犯した過ちを繰り返さないように「神の箱を支えるために手を伸べる」ことのないようにと警告を受けた(教義と聖約85:8。サムエル下6:6-7も参照)。聖徒たちは「アブラハムの業を行いなさい」と命じられている(教義と聖約132:32)。

## 読み返す



どんな節でも一度読んだだけでそのすべてを理解することはできません。実際、聖文をほんとうに理解するには一生学び続ける必要があるのです。パターンが分かるようになり、情景を思い浮か

べられるようになり、聖文が深く理解できるようになったりするには、普通、2、3回読む必要があります。繰り返して読むうちに、まだ気づいていない教えを探してみようとか、新たな疑問について考えながら読んでみようと思うようになるでしょう。聖文の中から一つの出来事、あるいは1節か2節を自分の言葉で書き表してください。そうすれば読んだことが理解できているかどうか分かり、もっと深く理解するのに役立つでしょう。

## 記録する



ある人は聖文日記をつけています。聖文を読む度に、おもな内容や感じたこと、生活にどう当てはまるかを書くのです。この学習ガイドを使って家庭学習セミナーの単位を得ようとしている人は、ノートを記すことが義務づけられています。そのノートはあなたにとって聖文日記となることでしょう。

読んだことについて、ほかの人と話し合うのもよいことです。話し合いたいことを忘れないために記録し、学んだことについて話し合しましょう。そうすれば、読んだことをもっと理解したり、覚えておくのに役立つでしょう。

## 実践する



あなたは聖文から知識を得ます。しかし、その知識のほんとうの価値は、それを実践するときに生まれるのです。主がすぐそばにおられるように感じることは、主が与えてくださる平安を感じることは、福音に従って生活する人が得る祝福のほんの一部です。主は、

学んだことを行う人はさらに多くを受け、学んだことを行わない人は持っている知識さえ失うと、おっしゃいました(教義と聖約1:33参照)。

「……聖文を研究すること……に時間を費やさない。その後、あなたがたの行うべきことが知らされるであろう。」(教義と聖約26:1)

# 教義と聖約および教会歴史読書進度確認表

## 10分以上読んだ日

## 今週の読書課題

日	月	火	水	木	金	土	
日	月	火	水	木	金	土	第1週 「聖文を研究する」
日	月	火	水	木	金	土	第2週 ジョセフ・スミス 歴史1
日	月	火	水	木	金	土	第3週 教義と聖約の序文 教義と聖約 1 2 3 4 5
日	月	火	水	木	金	土	第4週 教義と聖約 6 7 8 9 10
日	月	火	水	木	金	土	第5週 教義と聖約 11 12 13 14 15 16 17 18
日	月	火	水	木	金	土	第6週 教義と聖約 19 20 21
日	月	火	水	木	金	土	第7週 教義と聖約 22 23 24 25 26 27 28 29
日	月	火	水	木	金	土	第8週 教義と聖約 30 31 32 33 34 35 36 37 38
日	月	火	水	木	金	土	第9週 教義と聖約 39 40 41 42
日	月	火	水	木	金	土	第10週 教義と聖約 43 44 45 46 47
日	月	火	水	木	金	土	第11週 教義と聖約 48 49 50 51 52 53
日	月	火	水	木	金	土	第12週 教義と聖約 54 55 56 57 58 59
日	月	火	水	木	金	土	第13週 教義と聖約 60 61 62 63 64
日	月	火	水	木	金	土	第14週 教義と聖約 65 66 67 68 69 70 71 72 73
日	月	火	水	木	金	土	第15週 教義と聖約 74 75 76
日	月	火	水	木	金	土	第16週 教義と聖約 77 78 79 80 81 82 83
日	月	火	水	木	金	土	第17週 教義と聖約 84 85 86
日	月	火	水	木	金	土	第18週 教義と聖約 87 88
日	月	火	水	木	金	土	第19週 教義と聖約 89 90 91 92 93 94
日	月	火	水	木	金	土	第20週 教義と聖約 95 96 97 98 99 100
日	月	火	水	木	金	土	第21週 教義と聖約 101 102
日	月	火	水	木	金	土	第22週 教義と聖約 103 104 105
日	月	火	水	木	金	土	第23週 教義と聖約 101 107 108
日	月	火	水	木	金	土	第24週 教義と聖約 109 110 111 112 113 114
日	月	火	水	木	金	土	第25週 教義と聖約 115 116 117 118 119 120 121 122 123
日	月	火	水	木	金	土	第26週 教義と聖約 124 125 126
日	月	火	水	木	金	土	第27週 教義と聖約 127 128 129 130
日	月	火	水	木	金	土	第28週 教義と聖約 131 132
日	月	火	水	木	金	土	第29週 教義と聖約 133 134 135 137
日	月	火	水	木	金	土	第30週 大管長会の継承 西部への旅(1845-47) 教義と聖約 136
日	月	火	水	木	金	土	第31週 ブリガム・ヤング大管長 ブリガム・ヤング大管長の遺産
日	月	火	水	木	金	土	第32週 ジョン・テラー大管長 ウィルフード・ウッドラフ大管長 公式の宣言と「.....3つの説教からの抜粋」 ロレンゾ・スノー大管長
日	月	火	水	木	金	土	第33週 ジョセフ・F・スミス大管長 教義と聖約138 ヒーパー・J・グラント大管長 ジョージ・アルバート・スミス大管長 デビッド・O・マッケイ大管長
日	月	火	水	木	金	土	第34週 ジョセフ・フィールディング・スミス大管長 ハロルド・B・リー大管長 スペンサー・W・キンポール大管長 公式の宣言二
日	月	火	水	木	金	土	第35週 エズラ・タフト・ベンソン大管長 ハワード・W・ハンター大管長 ゴードン・B・ヒンクレイ大管長 家族・世界への宣言
日	月	火	水	木	金	土	第36週 生けるキリスト - 使徒たちの証 信仰箇条 教会歴史に残すわたしたちの足跡

# 教義と聖約および教会歴史の世界へようこそ

## 教義と聖約はどんな書物か



教義と聖約は、聖書、モルモン書、高価な真珠とならば教会の四大標準聖典の一つです。つまり、これら4冊の書物は、神の靈感を受けた聖典として受け入れられているという意味です。会員はこれらの聖典の教えに従うことを聖約しています。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒

定員会会長のときに、教義と聖約がほかの聖典とどう違うか説明しました。

「聖書は昔の人々に与えられた教義や啓示、戒めを含んだ歴史である。モルモン書もそれと同じことが言える。この大陸に昔住んでいた人々にかかわる教義や歴史、戒めが記されているのである。……

……しかし教義と聖約には、今日この地上に住む人々への神の御言葉が含まれている。これはわたしたちの本であり、末日聖徒のものである。黄金よりも大切なものである。預言者〔ジョセフ・スミス〕はこの聖典を、この世のすべての富に勝って大切にしなければならないと語っている。わたしたちはそうしているだろうか。この本の価値を知り、目的を理解し、また何が書かれているかを知れば、この聖典を富よりも大切なものとすることができる。わたしたちにとってこの聖典は世の富よりも大切なものだからである。」(『救いの教義』ブルース・R・マッコンキー編、全3巻〔1954年 - 1956年〕、第3巻、178参照)



ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長のときにこう記しました。「教義と聖約はわたしたちに与えられている聖典の中でもひと

きわ異彩を放っています。それは教会の憲法です。教義と聖約には様々な文書や声明が載せられ、その出どころも様々です。しかし、基本的には、この神権時代の預言者〔ジョセフ・スミス〕を通して与えられた啓示の書です。

この啓示の書の冒頭には、神が末日に偉大な業を回復されることと、その完全な目的について力強く宣言されています。

『聴きなさい、おお、わたしの教会の人々よ。高い所に住み、その目がすべての人のうえにある者の声は言う。まことにわたしは言う。遠くの民よ、聴きなさい。海の島々にいる者よ、ともに耳を傾けなさい。』

まことに、主の声はすべての人に及び、逃れる者は一人もいない。目として見えないものはなく、耳として聞かないものはなく、心として貫かれないものもない。』(教義と聖約1:1-2)

この栄えある言葉に続いて、永遠の真理の泉からの驚くべき教えが、壮大なパノラマのように繰り広げられてい



© 1996 デル・パーソン

きます。主が直接預言者に与えられた啓示もあれば、ジョセフ・スミスが聖霊に感じるままに書き記したり、述べたりした言葉も載せられています。また様々な状況の中でジョセフ・スミスが体験した出来事についても書かれています。そして、そのすべてが一つとなって、末日聖徒イエス・キリスト教会の、非常に多くの教義と慣習を形作っているのです。……

この書で扱われている事柄の種類<sup>きょうたん</sup>の多さには驚嘆します。教会の運営の原則や手続きがあるかと思えば、物質的また霊的な約束を伴う素晴らしい健康の律法も含まれています。永遠の神権の聖約についても、ほかの聖典には例のない素晴らしい記述があります。パウロが簡単に述べた3種の栄光、つまり日と月と星の栄光に伴うそれぞれの特権と祝福<sup>めいりょう</sup>、限界や機会についても書かれています。悔い改めについても、明瞭で力強い宣言がなされています。またバプテスマの正しい施し方も明らかにされています。何世紀にもわたって神学者たちを悩ませ続けてきた神会の本質についても、すべての人に理解できる言葉で説明されています。教会の運営に必要な基金の集め方、またその運用などについて与えられた主の財政の律法もあります。時代を問わず神のすべての息子、娘に祝福をもたらす、死者のための業も明らかにされています。

教義と聖約を読むと、ジョセフ・スミスが神の永遠の御心に関して完全の域に近い知識を得ていたことが分かります。」「(「神の方式と御旨」『聖徒の道』1989年8月号、2 - 3参照)

## 教義と聖約と教会歴史を研究することは大切です。なぜでしょうか

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこう話しています。



「教義と聖約は、モルモン書と、預言者ジョセフ・スミスとその後継者を通して進められてきた回復の業<sup>わざ</sup>を結びつけるものです。

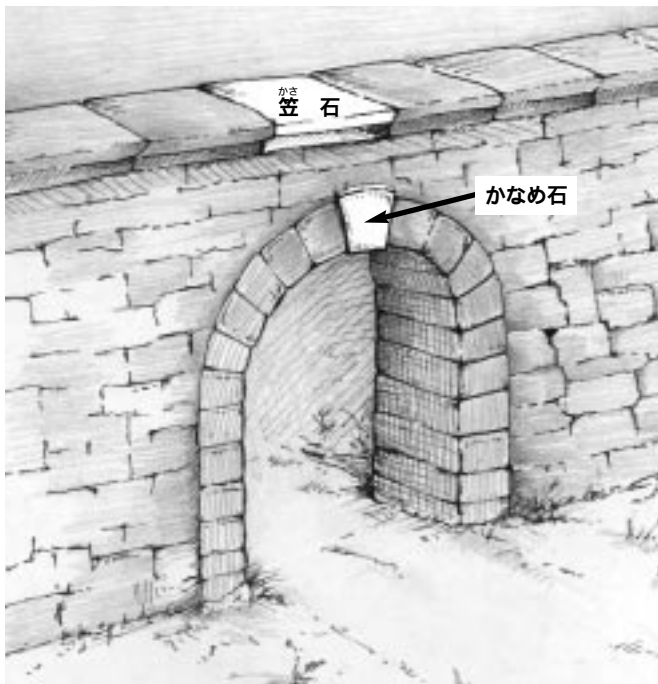
わたしたちは教義と聖約から、神殿活動、永遠の家族、栄光の階級、教会の組織、また、回復に関する多くの偉大な真理を学ぶことができます。

……『これらの戒めを調べなさい』と主はおっしゃいました。『これらは真実であり、確かであって、これらの中にある預言と約束はすべて成就するからである。』

主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであって、わたしは言い逃れをしない。たとえ天地が過ぎ去っても、わたしの言葉は過ぎ去ることがなく、すべて成就する。わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。』(教義と聖約1:37 - 38)

モルモン書は人々をキリストのみもとへ導きます。教義と聖約は人々を神の王国、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会、『全地の面に唯一まことの生ける教会』(教義と聖約1:30)に導きます。わたしはそのことをはっきりと理解しています。

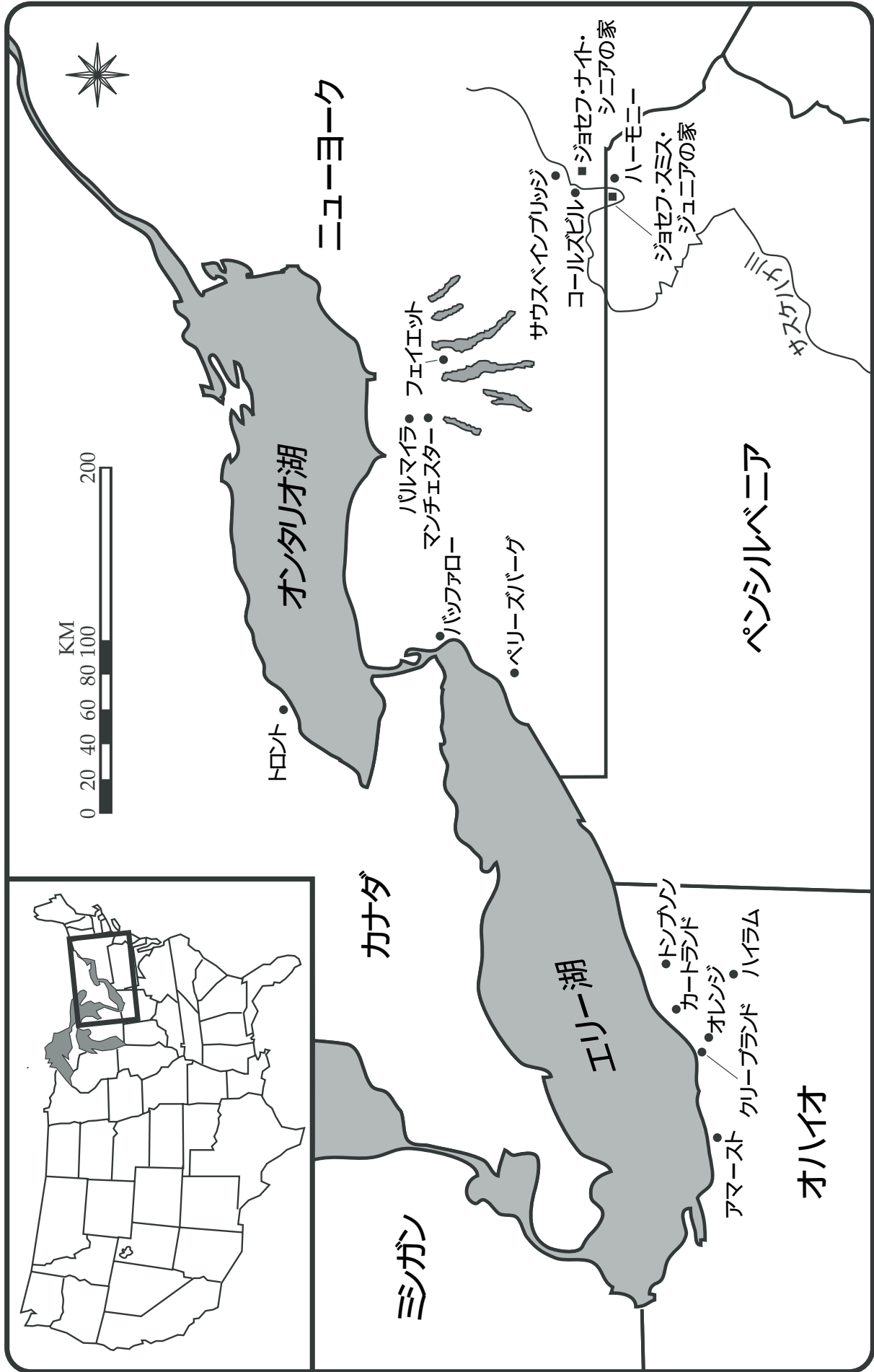
モルモン書はわたしたちの宗教の『かなめ石』です。そして教義と聖約は、末日に続けて与えられる啓示とともに、『笠石』とすることができます。主はこのかなめ石と笠石の二つに承認の印



を押しておられます。」「(「モルモン経と教義と聖約」『聖徒の道』1987年7月号, 94 - 95参照)

あなたは今年、教義と聖約を勉強します。その中であなたは、主が「教えに教え、訓戒に訓戒を与え」る(教義と聖約128:21)ことにより、福音の真理を回復されたことを学ぶでしょう。現代の啓示に対するあなたの証は強まり、預言者ジョセフ・スミスに対する感謝の気持ちが深まるでしょう。また、教会歴史の中で起きた重大な出来事を調べるときに、多くの男女の犠牲と献身の霊的な模範について読みます。これらの人々は神を知っていました。そして、この地上で神の王国、すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会を発展させるために貢献しました。研究と祈りによってイエス・キリストを信じる信仰は強められます。また、主の王国を築くために奉仕したいという気持ちが高められるでしょう。





# ニューヨークとペンシルベニアの教会



「19世紀初頭のニューヨーク州西部はまさに辺境の地であり、処女地開拓に伴う困難をものともしない人々にとってははっこうの地であった。これらの人々の中に、ジョセフとルーシー・マック・スミス、そして8人の子供がいた。この家族は1816年にロチェスターからそう遠くないパルマイラの近くへ移って来た。」

(ゴードン・B・ヒンクレー『回復された真理 末日聖徒イエス・キリスト教会略史』〔1947年〕, 1)

このような環境の中で、8人の子供の一人、ジョセフ・スミス・ジュニアは真理を求めました。その結果、父なる神と御子イエス・キリストの訪れを受けたのです。これはとても重要な啓示でした。長年続いた暗黒と背教の後に天が開きました。そして「神の賜物と力によって」(教義と聖約135:3)金版からモルモン書が翻訳され、地上に神権と福音の儀式とイエス・キリストの教会を回復する出来事へと発展したのです。教会が回復されると、宣教師たちは教会内外から迫害を受けたにもかかわらず、全世界へ出て行き福音を宣べ伝えました。



## ジョセフ・スミス 歴史1

自分の経験について語る  
ジョセフ・スミス

ジョセフ・スミス 歴史は「ジョセフ・スミスの公式の証と歴史からの抜粋。これは、彼が1838年に準備し、イリノイ州ノーブーで1842年3月15日から〔その一部が〕『タイムズ・アンド・シーズンズ』に連載されたものである。」(高価な真珠、序文)

ジョン・テラー長老は十二使徒定員会会員のときにこう記しました。「主の預言者であり聖見者であるジョセフ・スミスは、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた。」

(教義と聖約135:3)ジョセフ・スミス 歴史に記されている簡単な歴史は、回復がどのように始まったかを預言者自身の言葉で明らかにしています。預言者ジョセフの生涯、預言者を通して啓示された福音の原則、主イエス・キリストに対する預言者の証、これらを誠実にまた祈り

の気持ちをもって調べるならば、あなたの人生は変わるでしょう。この証と歴史を読んで、ジョセフ・スミスがどのような少年だったか理解してください。少年ジョセフは、将来、回復の預言者となるために、どんな特質を備えていたのでしょうか。



## 聖文を理解する

### ジョセフ・スミス 歴史1

損なう(1節)	激しく敵対する	つうれつ痛烈に(8節)	鋭く、極端に、苦しめる
に至った(1節)	決意をした	遠ざかって(8節)	離れて、距離をおいて
世間の考えを正す(1節)	広められているうわさや嘘を打ち消す	絶えることがない(9節)	継続する、止まない
始まった(5節)	発生した	きべん詭弁(9節)	こじつけ、欺き
教派(5-6節)	宗教グループ	教義(9節)	信条
宗教的感情の場面を.....助長するのに深くかかわった牧師たち(6節)	熱意を表したさまざまな教派の牧師たち	とがめ(11, 13節)	懲らしめ、誤りを正す
続き(6節)	引き続いて起きる	御方、方々(17-18節)	非凡な人
教えを受け入れる(7節)	加入するよう勧められる	信条(19節)	教え

軽蔑 (21節) 不敬, あざける	めいりょう 明瞭であったので (50節) はっきりしていたので
悪口雑言 (23節) 口汚なく, 軽蔑する言葉	指導される (54節) 指示される
教派社会 (26節) 様々な教会または宗教	生活 (55節) 暮らし
仕事 (27節) 職業, 労働	広く言われる (56節) 多くの人々に伝えられる
まど 惑わされて (28節) 欺かれて	下宿して (57節) 住まいを得る
至らなさ (28節) 小さな弱点	努力 (59節) 試み
憎むべき (28節) 有害な	あらんかぎりの努力 (60節) 力づくの企て
軽率な (28節) 浮ついた気持, まじめでない	策略 (60節) 計画, たくらみ
陽気な (28節) 快活な, にぎやかな	耐えられない (61節) 忍耐できない
示し (29節) 交わり	文学上の学識 (64節) 古代言語の知識
この上なく (31節) 極度に	認めた (65節) 承認した, 同意した
先住民 (34節) 初期の時代の住民	学校に通わせて (66節) 子供たちを学校に行かせる
成す (35節) 構成する, 形成する	翌 (68節) 次の
わら (37節) 穀物を収穫した後に残る乾燥した茎	聖任された (68, 71節) おもて 按手により任命された
道 (43節) 経路	授ける (69 - 70, 72節) 与える
きい ありさま 奇異な有様をつくづくと考え (44節) 特異な出来事を深く考える	経験する (74節) 到達する, 成し遂げる
こうはい 荒廃 (45節) 破壊	ので (74節) の理由により
えきびょう 疫病 (45節) 病気, 悪疫	とどめられて (75節) 妨げられて
貧しい暮らし (46節) 貧しく乏しい状態	

ジョセフ・スミス 歴史1:17 最初の示現の大切さ



ジェームズ・E・ファウスト副管長は十二使徒定員会会員のときに、御父と御子が預言者ジョセフ・スミスを訪れられたことによって初めて明らかになった事柄を挙げています。

「最初の示現から何が学べたでしょうか。

1. 父なる神が一人の御方として存在しておられること。これによって、人が神の御姿にかたどって造られたことが分かる。
2. イエスが天の御父とは別の御方であること。
3. イエス・キリストが天の御父から神の御子であると宣言されたこと。

4. 聖書に教えられているようにイエスが啓示を伝える御方であること。
5. 神に知恵を願い求めなさいというヤコブの約束が成就したこと。
6. ジョセフ・スミスを滅ぼそうとした目に見えない世界から来た者が実在すること。
7. イエス・キリストによって立てられた教会から背教が起こったこと。どの教派も人の教えを教えていたこと。そしてジョセフはどの教派にも加わってはならないと命じられたこと。
8. ジョセフ・スミスが神と御子イエス・キリストの証人となったこと。」「(「パルマイラの近くでの壮大な示現」『聖徒の道』1984年7月号, 115参照)

ジョセフ・スミス 歴史1:19 「信仰を告白するそれらの者たちはすべて腐敗して【いる】」

預言者ジョセフ・スミスは示現を受けました。そして当時の宗教の信仰を告白する者たち(牧師と教師)にはどこか間違ったところがあることに気づきました(ジョセフ・スミス 歴史1:5-6, 8-10, 12, 21-23参照)。J・ルーベン・クラーク・ジュニア副管長はこう説明しました。

「だからといって、神を畏れる大勢の人々が現在もいろいろなところにいることや、その当時もいたことを否定しているわけではありません。何世紀にもわたり、それぞれの価値基準に従って、正直で、正しく、義にかなった人々が何億人もいたのを否定しているわけではないのです。

ただ、主がジョセフに言われたように、そのような人々の組織が間違いを基にしていたという意味なのです。」「(On the Way to Immortality and Eternal Life [1949年], 442 - 443)

ジョセフ・スミス 歴史1:66 「子供をその学校に通わせていた」

当時この地域では、地元の学校の教師を生徒の家に下宿させる習慣がありました。そうすることで生徒の家庭は授業料の一部を支払う代わりにしていました。

ジョセフ・スミス 歴史1:68-72 預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリはバプテスマを受けた後に、もう一度お互いを聖任した。なぜだろうか

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこう説明しました。バプテスマのヨハネは「神権を受けた後に、ジョセフとオリバーに水の中に入って互いにバプテスマを施すよう指示しました。それから二人は互いに手を置いて、すでに受けていた神権をもう一度授けます。なぜそのようなことをしたのでしょうか。バプテスマのヨハネがそうするよう命じたのには二つの理由があります。第1の理由は、バプテスマの前に神権を授かることは、確立された教会の秩序に反しているのです、バプテスマを受けた後に、互いに神権を授けるよう命じたのです。第2の理由は、バプテスマのヨハネは、二人が自分たちでは行えないことを行ったということです。この神権の鍵を持つ人は、当時地上に存在していません



でした。ですから、時の中間の神権時代にアロン神権の鍵<sup>かぎ</sup>を持っていた、ほかでもないバプテスマのヨハネこそが、この儀式を行う力を授けるために遣<sup>つか</sup>わされる必要があったのです。死んで幕の彼方<sup>かなた</sup>へ行った人が生きて地上にいる人に儀式を行うことは天の秩序に反していますが、儀式を行うことのできる人間が地上にいない場合は別です。そのような場合は、復活した人が生きている人の代わりに儀式を行う必要があります。もしそうでなかったならば、ヨハネは正しい秩序に従って、現在の教会で行われているように儀式を行ったことでしょう。まずジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにバプテスマを施し、それから二人にアロン神権を授けるという順序で。」(Essentials in Church History, 第27版〔1950年〕, 57 - 58)



サスケハナ川

## 聖文を研究する

ジョセフ・スミス 歴史1を読みながら、ノートを使い以下の活動(A-G)から4つを行ってください。

### A 若い時代のジョセフ・スミス・ジュニアを知る

ジョセフ・スミス 歴史1:1-20を読んでください。そして次の事柄をノートに書き出してください。

1. ジョセフ・スミスの両親、兄弟と姉妹の名前を書き出してください。
2. ジョセフはどの教会が正しいのか考え始めました。その理由を説明してください。
3. ジョセフが主に祈り求めるきっかけとなった聖句を読んでください。その節にしるしをつけるとよいでしょう。この聖句の意味を自分の言葉で説明してください。
4. 最初の示現から学んだことの中で、あなたにとって大切な真理を3つ挙げてください。それらが印象に残ったのはなぜですか。理由を説明してください。(必要であれば、「聖文を理解する」を参照してください。)

### B マスター聖句 ジョセフ・スミス 歴史 1:15-20

ジョセフ・スミス 歴史1:14-20には最初の示現についての預言者ジョセフ・スミスの説明が記されています。聖句を読んで深く考えてください。1830年の春の日にジョセフ・スミスが導きを求めて祈らなかつたら、あなたはどのような機会、祝福、そして喜びを失っていたでしょうか。親または教会の指導者と話し合

ってください。話し合ったことを短い文章にまとめて記してください。



© 1989 Al Rounds

### C 事実を見つける

ジョセフ・スミス 歴史1:27-54を調べてください。そして以下の質問に答えてください。

1. 27節によると、最初の示現を受けてから何年過ぎていましたか。
2. ジョセフ・スミスは1823年9月21日に主に祈り求めました。何が起こると期待していたのでしょうか。ジョセフの信仰について何がわかりますか。
3. その夜、使者がジョセフに現れました。その使者の名前は何かでしたか。



4. その使者はジョセフ・スミスの名前<sup>しょうじゆ</sup>についてどんな預言をしましたか。それはどのように成就していますか。
5. ジョセフ・スミスは金版が埋められている場所をどうやって知りましたか。
6. その晩と翌日、使者は何回現れましたか。使者はなぜ何度も現れたと思いますか。

### D クイズを作る

ジョセフ・スミス 歴史1:66-75と脚注から、この出来事についてのオリバー・カウドリの説明を読んでください。これらの節を読むことで答えを見つけられるクイズを5問作ってください。質問の後に答えも添えてください。

## E あなたの証を記録する

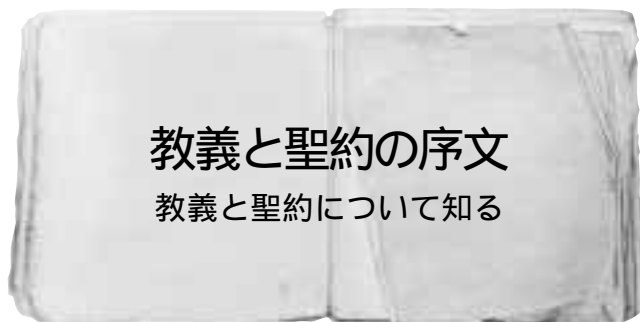
ジョセフ・スミス 歴史を読んでください。預言者ジョセフ・スミスについてあなたはどのように感じていますか。また預言者ジョセフ・スミスがイエス・キリストの僕としてわたしたちのために行った多くの事柄についてどのように感じていますか。あなたの気持ちを短い文章にしてください。

## F 日記を書く

ジョセフ・スミス 歴史1:27-54に記されているモロナイの訪れを読んでください。その後、モロナイ1:1-4と10:1-6を読んでください。モロナイは、金版が掘り出されて、翻訳されるのを1,400年待ち続けました。そしてジョセフ・スミスを訪れました。あなたがモロナイだったらどんな気持ちがあるか日記に書いてください。

## G 情景を描く

ジョセフ・スミス 歴史に記されている様々な出来事について考えてください。あなたの心に残っている場面を絵に描いてください。なぜその出来事に感動したか説明してください。



### 教義と聖約の序文 教義と聖約について知る

教義と聖約の最初の数ページには導入や背景となる情報が記されています。タイトルページには書名とこの書物の内容に関する簡単な説明、そして出版の情報が記されています。序文では教義と聖約がどんな書物かが説明されています。そしてどのようにして世に出されたかが説明されています。また現代の最初の十二使徒の証が含まれています。彼らはこれらの啓示が真実であると証しています。年代順に見た目次は、啓示を受けた時と場所を知るために役立ちます。また啓示がどんな順序で与えられたか知ることができます。次のことに注意しながら序文を読んでください。わたしたちはどのようにして教義と聖約を手にしたのでしょうか。主はなぜあなたにこの書物を研究するよう望んでおられるのでしょうか。

## 聖文を理解する

タイトルページ

その継承者 彼の次に来る人  
または引き継いだ人たち

### 序文

この世(段落1) 物質的、地上の  
この書、増補版(段落2, 9)  
啓示を集めて作られた書物  
開始された(段落3) 始められた  
備える(段落3) 準備する

.....十二使徒の証

恵み(段落13) 賜物と力  
その後の(段落15) 後の  
所管の会議(段落15) 該当するまたは承認された集まり  
神学上の(段落16) 神と神の業に関する真理

かなう(段落3) 一致する  
神聖な現れ(段落4) 天からの訪問者の出現  
一つの組織として.....働きをする(段落5) 一つの組織として機能を果たす

明らか(段落17) 明白  
残っていた(段落17) 続いていた

### 序文 聖典は閉じられていない



教会の聖文(しばしば「標準聖典」または「正典」と呼ばれる)は完結しているとは考えられていません。これは教義と聖約が世に出されたことによって、はっきり分かります。多くのキリスト教会は、人に対する神の言葉が聖書の中にすべて書いてあると教えています。そして啓示は終わったと教えるのです。ヒュー・B・ブラウン副管長は次のように教えました。「ジョセフは〔最初の示現を〕受けて森から出てきたとき、少なくとも4つの基本的な真理を知っていました。ジョセフ・スミスはそれらの真理を世に宣言しました。第1は、御父と御子は別個の独立した御方であること。第2に、聖典は完結していないこと。第3に、人は実際に神にかたどって創造されたこと。第4に、天との交流の道は開かれていること。また啓示は続いていることです。」(Conference Report, 1967年9月-10月, 120)



啓示が与えられなくなると、聖書を理解するうえでどんな影響を与えるでしょうか。十二使徒定員会会員だったブルース・R・マッコンキー長老は、次のように説明しました。「聖典は完結したと人が信じる時、過去の預言の言葉だけに頼って霊的な糧を得ようとするとき、生きた言葉を与える預言者や使徒がいなく、新しい啓示を受けられなくなってしまうとき、このようなとき、人はもはや過去の啓示を解釈することも理解することもできないということを感じておいてください。生ける預言者がいなければ、過去の預言を理解することはできません。生ける預言者は天から力を授けられています。古代の預言者に言葉を授けた聖なる御霊が、生ける預言者の思いを照らしているのです。啓示を受けていない人は自分たちの前にある道を進むしかありません。そのようなとき、人は解き明かしをする者、律法学者、牧師、神学者に頼ります。これらの人々は昔の言葉の意味を説明しますが、霊に基づいてではなく、知識に基づいてするのです。」(The Mortal Messiah: From Bethlehem to Calvary, 全4巻〔1979-81〕, 第1巻, 275-276)

## 聖文を研究する

教義と聖約の序文を読みながら、ノートを使い活動AまたはBを行ってください。

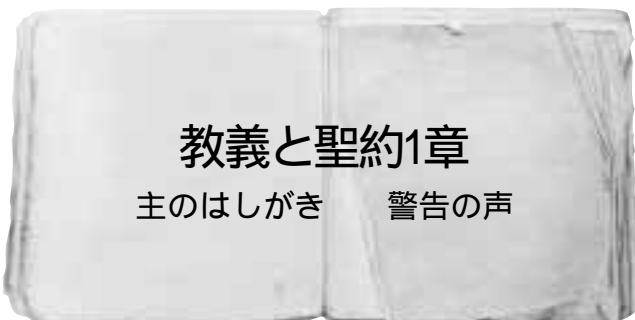
### A 答えを探す

序文と年代順に見た目次を調べながら、以下の質問に答えてください。

1. 教義と聖約に載っている啓示が与えられたのはなぜでしょうか。どんな理由が書いてありますか。
2. 70以上の啓示が集中して与えられたのは、何年から何年まででしょうか。この時期にこれほど多くの啓示が与えられたのはなぜだと思いますか。
3. 主は預言者ジョセフ・スミスにすべての啓示を一度にお与えになりませんでした。なぜだと思いますか。

### B もし……ならば、どうなっていたらうか

序文と「聖文を理解する」を読んでください。もし近代の啓示を受ける生ける預言者がいなかったならば、どうなっていたらうか。説明してください。



本のはしがきには、その本の目的が説明されます。教義と聖約1章は、末日の啓示に対して主が与えられたはしがきです。多くの方は、主が現代の預言者を召しておられることを知りません。現代の預言者は主から啓示を授かります。教会員の中にさえ、生ける預言者の語っていることにあまり注意を払わない人がいます。教義と聖約1章を読むときに次のことに注目してください。主はだれに語りかけておられるのだろうか。主はどんな警告を発しておられるのだろうか。なぜその警告を与えておられるのだろうか。この章で語られている事柄は、教義と聖約の中で繰り返し出てくる大切なテーマばかりです。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約1章

編集（前書き）	集めたもの	地に住む者（8、13節）	地上
聴きなさい（1節）	耳を傾けて、従う	に住んでいる人々	
貫かれ（2節）	突き通す、影響を受ける	結び固める（8 - 9節）	特定
罪悪（3節）	罪、 <small>じゅあく</small> 邪悪	報い（10節）	報酬
とどめる（5節）	止める	量る（10節）	与える
		燃える（13節）	引き起こされる

る		暗黒（30節）	知られない状態
バビロン（16節）	<small>じゅあく</small> 世の邪悪の象徴	領域（35節）	影響を与える
災い（17節）	災難、苦難、大災害	範囲	

### 教義と聖約1：6 「わたしの戒めの書へのはしがきである」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように教えました。



「教義と聖約1章はジョセフ・スミスが最初に受けた啓示ではありません。しかし、主の戒めの書へのはしがきとして、主から与えられたため、第1章となったのです。教義と聖約を信じるあらゆる人にとって、この書物は特別な、興味深い書物です。なぜなら、主御自身がはしがきをお与えになった、世界でただ一つの本だからです。しかし、このことは当然であり、必要なことなのです。主が宣言しておられるように、この本は主の本だからです。これはジョセフ・スミスが書いた本ではありません。イエス・キリストが述べられた言葉なのです。この書物には、救い主と御父の、教会員と全世界の人々に対する言葉が載っています。その言葉を信じるすべての人に、神を信じ、罪を悔い改める、主の教会の会員になる機会が与えられるのです。そしてその言葉によって、新しくかつ永遠の聖約が再び確立されるのです。



1831年11月1日と2日に〔オハイオ州〕ハイラムにおいてすばらしい大会が開かれました。第1章の啓示はここで与えられたのです。このとき教会では数々の戒めを出版することが検討されていました。主はここで、御自分の言葉を出版することを承認しておられます。御心を知らせることが主の望みだからです。福音が回復され、教会の長老たちが不信仰な世界に救いを伝えるために派遣されています。人々が、再び神の王国に通じる道を見いだせるようにするためです。神は、教義と聖約のはしがきによって、この書にあるすべての啓示を承認されました。ですから、この啓示は大いなる力をもって世に出たのです。神の承認なしにそのよう

なことは起きなかったでしょう。この啓示の書は、これを読むあらゆる人々、特に教会員の心に響くことでしょう。これを読む人は、啓示の書に記されている戒めを守る責任を自覚するに違いないでしょう。」(Church History and Modern Revelation, 全2巻〔1953年〕, 第1巻, 251 - 252)

教義と聖約と戒めの書に関する詳しい情報は、本書の「教義と聖約の歴史」(241ページ)を参照してください。

## 聖文を研究する

教義と聖約1章を読みながら、ノートを使い活動Dを行ってください。さらに活動A - Cのうち二つを行ってください。

### A 節の要約をよく理解する

教義と聖約1章1節の前に記されている節の要約を注意して読んでください。この要約から、学びたいと思うテーマを二つ選んでノートに書き出してください。教義と聖約1章を読んでから、その二つのテーマについて分かったことをまとめてください。

### B だれが、何を、いつ、なぜ

1. ノートに下のような4つの欄がある表を作ってください。そして、下の表と同じように、各欄に見出しを付けます。

主はだれに 語って おられるか	主は 何が起こると 言われたか	主はいつ それが起こると 言われたか	主はなぜ それが起こると 言われたか

2. 教義と聖約1:1 - 16を調べて、これらの質問の答えを表に記入してください。
3. これらの節について家庭の夕べでレッスンをするとします。家族に覚えてほしいと思う最も大切なことは何ですか。

### C 災いの中を生き残る方法

教義と聖約1:1 - 16で主は悪人に下る災いについて警告しておられます。17 - 30節の中で主はそれらの災いからわたしたちを救うために何を行うかを説明しておられます。31 - 39節には、主によって罪から救われるために、何をしなければならないかが説明されています。

1. 主は地に住む人に災いが下ることを知っておられます。主はわたしたちを助けるためにだれを召されたのでしょうか(17 - 18節参照)。
2. 彼らは何をするのでしょうか(19 - 23節参照)。
3. 彼らが召しを果たせるように主はどんな助けをお与えになったのでしょうか(24 - 30節参照)。
4. 主の僕たちはその務めをどれほど立派に果たしてきたでしょうか。

5. 主が行われたことによって祝福を受けるためには、何をしなければならいでしょうか(31 - 39節参照)。
6. あなたは自分の務めをどれほどよく果たしているでしょうか。

## D マスター聖句 教義と聖約1:37 - 38

セミナーで教義と聖約を読むことについて、不平をもらしている友達がいるとします。友達はこのように言います。「モルモン書に出てくるようなおもしろい物語がまったくないからつまらないよ。どうしてここに書かれている啓示を全部読む必要があるんだろう。」教義と聖約1章で学んだことを基にして友達への答えを書いてください。主が37 - 38節で告げておられる真理について、あなたの生活の中から、またはあなたが目にしたことの中から実例を挙げてください。



1823年9月21日、ジョセフ・スミスは主の前において自分がどんな立場にあるかについて、神の啓示を受けることを願いました(ジョセフ・スミス 歴史1:29参照)。ジョセフの祈りにこたえて、天使モロナイがジョセフのいた2階の寝室に現れました。モロナイは一晩中、若い預言者に教えを与えました。

教義と聖約2章に記録されているのは、モロナイが教えたことのほんの一部でしかありません。(ジョセフ・スミス 歴史1:30 - 54参照。モロナイの預言の成就是教義と聖約110章に記されています。詳しくは110章で学ぶこととなります。)2章を研究するときに、なぜこの啓示が教義と聖約の中に含まれたのか考えてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約2章

現す(1節) 知らせる  
主の日(1節) イエス・キリストの再臨  
ことごとく荒廃する(3節) 完全に滅ぼされて、廃墟となる

### 教義と聖約2:1 「わたしは……あなたがたに神権を現そう」

「ジョセフとオリバーは1829年に早くもメルキゼデク神権に委任されました。そして使徒としての力と権能を与えられていたのです。それであるのに、エリヤが神権を現すとはどういうことでしょうか。簡単に言えば、エリヤは1836年〔教義と聖約110:



13 - 16参照) に遣わされ、そこで神権の鍵と結び固めの力を明らかにしたのです。神権の鍵と結び固めの力はそのときまで、完全に理解されていませんでした。つまり完全に実施されていなかったのです。エライアスが与えた力を通して〔メルキゼデク神権の〕族長制度の下で組織された家族は、永遠に結ばれ、結び固められます。これはエリヤの回復した鍵によって可能になったのです。』（ジョセフ・フィールディング・マッコンキーとロバート・L・ミレット、*Joseph Smith: The Choice Seer* [1996年]、187）

### 教義と聖約2：1 イエス・キリストの再臨は「大いなる恐るべき」日となる。これはどんな意味だろうか

モロナイが繰り返して語ったこのマラキの預言についてジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように教えました。「この預言が宣言している、主の大いなる恐るべき日とは、主が大いなる栄光に包まれて天の雲に乗って降臨される日のことである。その日、主は罪深い人々に罰を下される。悔い改めずに罪に染まった人々にとってこれは恐ろしい日となる。しかし、義人にとっては平安と救いの日となるであろう。その日が来る前にエリヤの権能が回復される。そして力強く業が進められる。その業は大きな力を発揮するため、地球は破壊から守られ、のろいをもって撃たれずに済む。』（『救いの教義』第2巻、103参照）

### 教義と聖約2：2 「先祖に与えられた約束」とは何か

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会委員のときに、こう記しました。「この言葉は、福音の知識なしにこの世を去った人々、そして昇栄するために必要な神権の結び固めを受ける機会がなく世を去った人々に与えられた一定の約束のことを指しています。これらの約束によれば、末日に、子孫は死者に代わってそのすべての儀式を行うことになるでしょう。』（“The Promises Made to the Fathers,” *Improvement Era*, 1922年7月号、829）

### 教義と聖約2：3 もしエリヤが来なかったら、なぜ「全地はことごとく荒廃する」のか

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように記しました。「なぜ地球が荒れ廃れるということになるのだろうか。答えは簡単である。死者のための業が行われず、先祖と子孫の間に固いきずなが結ばれなければ、皆神の国に入ることを拒まれるからである。もしそうなれば、神の業全体が挫折し、ことごとく荒れ廃れるということになる。もちろんそのようなことにはなりえないのだが。』（『救いの教義』第2巻、113参照）

## 聖文を研究する

教義と聖約2章を読みながら、ノートを使い活動Aを行ってください。

### A 記録を比較する

教義と聖約2章は、天使モロナイがマラキ4：5-6を言い直したものです。これら二つの記録を比較することによって、幾つかの大切なことを理解することができます。（必要であれば、「聖文を

理解する」を参照してください。）

1. マラキ4：5と教義と聖約2：1を比較してください。エリヤが行うことの中で、マラキ書に記されていないことがあります。モロナイはエリヤが何を言ったのでしょうか。これはどんな意味でしょうか。
2. マラキ4：6と教義と聖約2：2を比較してください。先祖と子孫の心をお互いに向けるためにエリヤは何を行うでしょうか。
3. マラキ4：6と教義と聖約2：3を比較してください。「のろい」とは何のことだったのでしょ。それはどんな意味でしょうか。
4. エリヤの訪れによって、あなたの生活はどう変わったでしょうか。または今後どう変わるでしょうか。2、3行の文章を書いて説明してください。



## 教義と聖約3章 大切な教訓を学ぶ預言者

マーティン・ハリスは預言者ジョセフ・スミスが金版から翻訳した116ページの原稿を紛失してしまいました。教義と聖約3章と教義と聖約10章は、原稿を紛失したために預言者ジョセフに与えられた啓示です。主は教義と聖約3章の中で、ジョセフ・スミスが犯した過ちについて教えられました。また預言者としてジョセフが受けている召しに関する大切な真理を教えられました。預言者はこの啓示を受けたとき、どんな気持ちだったか想像してください。



## 聖文を理解する

### 教義と聖約3章

保管（章の前書き）	預かる	無（1節）	何も無いこと
		命じること（4節）	促すこと
筆記者（章の前書き）	ほか	肉の（4節）	肉体の、この世の
の人が話すことを書く人			



## 教義と聖約3：12 主はなぜマーティン・ハリスを「悪人」と呼ばれたのか



マーティン・ハリスは預言者ジョセフ・スミスがモルモン書を翻訳するのを聞きながら筆記していました。マーティン・ハリスは、翻訳された原稿を妻やほかの人たちに見せたいと思いました。マーティンはだまされているのだと彼らが思っていたからです。そこでジョセフに、許可が得られるよう主に頼んでほしいとせがみました。預言者ジョセフはそのときの出来事を次のように説明しています。「わたしは尋ねた。そのようなことをしてはならないというのが答えだった。しかし、彼はこの答えに満足できなかった。そしてわたしにもう一度尋ねるよう求めた。わたしは尋ねたが、答えは同じだった。しかし、彼はまだ納得せずに、さらに尋ねるよう求めた。何度もせがまれた末にわたしはもう一度主に尋ねた。そして、一定の条件の下で許しが得られた。その条件とは、彼の兄弟ブリザーブド・ハリス、彼の妻、父、母、妻の姉妹のコブ夫人だけに見せるというものだった。最後に与えられたこの答えに従って、わたしは、指示された以外のことを行わないことを厳粛に誓約するよう求めた。マーティンは同意した。彼はわたしの要求どおり誓約すると、原稿を持って出発した。マーティンは厳しい制限を受けており、厳粛にわたしと誓約を交わしていた。それにもかかわらず、彼は原稿をほかの人たちにも見せてしまった。人々は策略を用いて彼の手から原稿を奪い取った。そして、原稿は今日まで戻っていない。」(History of the Church, 第1巻, 21)

マーティン・ハリスに関する情報は「教義と聖約に登場する人物と用語」(240ページ)を参照してください。

## 教義と聖約3：14 預言者ジョセフ・スミスは何の「特権」をしばらくの間失ったのか

116ページの原稿が失われた後に、モロナイがジョセフ・スミスのもとを訪れて、金版とウリムとトンミムを持ち去りました。しかしモロナイは、もしジョセフ・スミスが主の勧告に逆らったことを悔い改めるならば、翻訳を続ける許しが得られると約束して行きました。(『時満ちる時代の教会歴史 - 宗教341 - 343』48参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約3章を読みながら、ノートを使い以下の活動(A-C)の二つを行ってください。

### A 教訓を見つける

預言者ジョセフ・スミスは116ページの原稿を失ったことを知って平静を失ってしまいました。教義と聖約3：1-8を読んでください。主はこの経験から預言者に何を学んでほしいと思われたと思いますか。これらの節から分かることを書いてください。これらの節の言葉に基づいて答えを書いてください。

### B 選択と結果

若い預言者にとってマーティン・ハリスは大切な援助者でした。ジョセフがマーティンの役に立ちたいと思うのも当然でした。ノートの1ページを3つの欄に分けてください。そして、教義と聖約

3：1-15に記されている事柄から、以下のリストを作ってください。

1. 最初の欄。預言者ジョセフ・スミスはマーティン・ハリスを喜ばせるためにどんな間違いを犯しましたか。もし悔い改めなければジョセフはどうなりますか。主が言われたことを書き出してください。
2. 2番目の欄。預言者ジョセフはどうすべきだった、あるいはどうすべきでしょうか。もし従っていればどんな祝福を受けていたでしょうか。主が言われたことを書き出してください。
3. 3番目の欄。現代の若い人々は何かを選択するとき、ジョセフ・スミスと同じような間違い(特に、4、6-7節参照)を犯していないでしょうか。あなたの考えを書いてください。それらの選択はどんな結果をもたらすでしょうか。説明してください。8節の勧告に従うことによってわたしたちの生活はどれほど祝福されると思うか書いてください。

### C 主の目的を見つける

教義と聖約3：19-20で、主はモルモン書の版がなぜ保存されてきたかを説明しておられます。これらの節に記されている理由を書き出してください。1828年にこの啓示が与えられて以来、これらの目的を果たすためにどんなことが起こったかを説明してください。



主の僕として良い働きをするにはどうすればよいでしょうか。すべての専任宣教師は、教義と聖約4章にこの質問に対する答えが記されていることを知っています。この章にはわずか7節しかありません。しかし、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように語りました。「[教義と聖約4章には]生涯かけて研究するだけの勧告と指示が収められています。これを完全に身に付けた人はまだいません。これはジョセフ・スミスに与えられた個人的な啓示ではありません。神の奉仕に携わることを望むすべての人に益をもたらすものです。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 35) この啓示を読んでください。そして奉仕の業に召されるとはどういう意味か調べてください。



マリリー・B・キャンベル



主は伝道の業を穀物の刈り入れにたとえられた

## 聖文を理解する



### 教義と聖約4章

驚くべき (1節) すばらしい、  
神聖な  
出で立つ (2節) 始める、出  
発する  
鎌 (4節) 穀物を刈り入れる  
ための湾曲した刃物  
節制 (6節) 控えめ、自制



### 教義と聖約4章 ジョセフ・スミスのお父さん

ジョセフ・スミス・シニアに関する情報は、「教義と聖約に登場する人物と用語」(239ページ)を参照してください。

## 聖文を研究する



教義と聖約4章を読みながら、活動AとBを行ってください。

### A 答えを見つける

教義と聖約4章で学んだことに基づいて、以下の質問の答えをノートに書いてください。

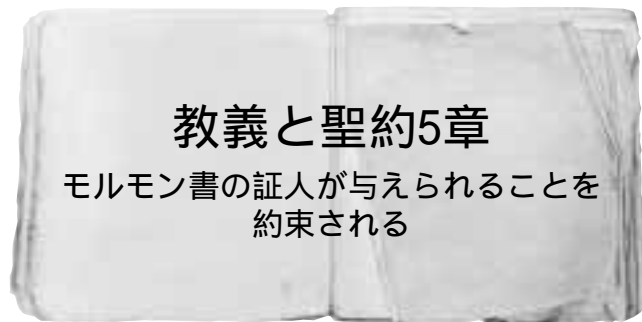
- 主に仕える召しを受けた人々には何が求められますか(2節参照)。
- 1で求められているように奉仕する人には、どんな祝福が約束されていますか(2,4節参照)。
- 驚くべき業と刈り入れは似ています。なぜでしょうか(1,4節参照)。
- 自分が奉仕の業に召されているかどうかを知るには、どうすればよいでしょうか(3節参照)。
- 奉仕の業に召されるために必要な資格が5つあります。それは何ですか(5節参照)。
- 挙げられている4つの徳に加えて、主の僕が忘れてはならないことがあります。それは何ですか(5節参照)。
- 奉仕したい気持ちはあっても、すべての資格を満たしていない場合、どうすればよいでしょうか(7節参照)。

### B 約束を試す

- あなたが十分に身につけたいと思う特質は何ですか。教義と聖約4章から一つ選んでください。それをカードに書いて、よく目につく場所に張っておきます。教義と聖約4:7に記されているように、その特質を伸ばせるように毎日、天の御父の助けを願い求めてください。その特質がどのように伸びたか、少なくとも一週間、毎日続けて日記に短く記録してください。
- 一週間が過ぎたら、あなたが経験したことをまとめてノートに書いてください。

## 教義と聖約5章

モルモン書の証人が与えられることを約束される



モルモン書の原稿を116ページ紛失してしまったマーティン・ハリスは、その原因となった自分の不従順さを悔い改めました(教義と聖約3章参照)。しかし、まだ預言者ジョセフ・スミスが実際に金版を持っていることの物的な証拠を得たいと思っていました。世の多くの人々の想像に反して、主は僕たちが真理を教えるときに、その裏付けとなる証拠を常に与えられます。しばしば二人以上の証人が真理を証するために召されるのは、そのためです。主はこう約束しておられます。「すべての事がらは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。」(2コリント13:1)モルモン書には3人の証人が「神の力」によって金版を見えるという預言が記されています(2ニーファイ27:12)。教義と聖約5章の中で、マーティン・ハリスはもしある条件を満たせば、望みがかなえられて、証人の一人となれると約束されました。教義と聖約17章は、特別の証人となった3人に与えられた啓示が記されています。主はなぜすべての人に金版を見せることを預言者ジョセフにお許しにならなかったのでしょうか。これらの章を調べて、その理由を見つけてください。



デビッド・ホイットマー

マーティン・ハリス

オリバー・カウドリ

## 聖文を理解する



### 教義と聖約5章

聖任される(6,17節) を与えられる、任命される	権能	実証される(20節) あることが示される	真実で
保存して(9節)	内密にして	認める(28節)	承認する、 告白する
託した(9節)	保管を任せた	長く保たれる(33節)	延ば される
荒廃をもたらす懲らしめ(19節)	破壊をもたらす災い		

## 聖文を研究する



教義と聖約5章を読みながら、ノートを使い以下の活動(A-C)

の二つを行ってください。

### A 友達に説明する

教会員でない友達とモルモン書について話し合っているとします。その友達から金版は博物館にでもあるのかと尋ねられました。教義と聖約5:1-9を使って、ジョセフ・スミスが翻訳を終えた後、天使モロナイが金版を持ち帰った理由を説明してください。

### B 説明を書く

教義と聖約5:10-16では、モルモン書が真実であることを証する3人の証人について述べられています。

1. これらの人たちがなぜ証人と呼ばれたのか、初等協会（プライマリー）の子供たちに説明する文章を書いてください。「証人」という語の簡単な説明をこの聖句に基づいて書いてください。
2. 教義と聖約5:25とモルモン書の最初のページから「三人の証人の証」を読んでください。この3人は金版を目にして、モルモン書が真実であることを証しました。これは、あなたにとってどのような意味がありますか。説明してください。

### C もし……ならば、どんなことが起きるか

教義と聖約5:16-24で、主は幾つかの約束をされました。それは人々があることを行うときに何が起るか、また行わないときに何が起るかについての約束でした。

1. 主の言葉を信じる人々に主はどんなことを約束されましたか（16節参照）。
2. 人々が心をかたくなにして、悔い改めなければ、どんなことが起きると主は言われましたか（18-20節参照）。
3. 主はジョセフ・スミスに何をしよう命じられましたか。もしジョセフが従えば、どうなるでしょうか（21-22節参照）。
4. 主はマーティン・ハリスに何をしよう命じられましたか。もしマーティンが従えば、どうなるでしょうか（24節参照）。



## 教義と聖約6章

みたま あかし  
御霊の証

神はわたしたちの祈りにどんなふうにごたえてくださるでしょう。教義と聖約6章の中で、オリバー・カウドリは、祈りがどうごたえられてきたか学びました。主がオリバーに語られたことを理解すれば、わたしたちも祈りの答えに気づくことができるようになります。オリバーは預言者ジョセフ・スミスについて祈ったときに平安を感じました。オリバーと同じような平安を感じられるのは、すばらしいことです。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約6章

切り離す（2節）	ばらばらにする	照らす（15節）	交わる，教える
鎌（3-4節）	穀物を刈り入れるための湾曲した刃物	訓戒する（19節）	戒める，懲らしめる
時代（8-9節）	この時期または時代の人々	一つのことについて	同意して，一致して
軽んじないように（12節）	軽々しく，または不注意に扱ってはならない		

### 教義と聖約6章 オリバー・カウドリはどのような人だったか

オリバー・カウドリに関する情報は、「教義と聖約に登場する人物と用語」（240ページ）を参照してください。



### 教義と聖約6:2 言葉の力

主は印象的なたとえで御自身の言葉の力を説明されました。神の言葉に力があるのは、すぐに分かります。なぜなら、主の言葉はすべてのものを動かしているからです。天のものも、人の心も、すべてです。「もろ刃の剣よりも鋭くて、関節も骨髄も切り離すほどである」という文章は、神の言葉が人の本質的な部分にどのように入り込むか、生き生きと表現しています（1ニ一ファイ16:1-2も参照）。

### 教義と聖約6:6 「シオンの大義」

シオンという言葉は、教義と聖約の中でいろいろな意味で使われています（「教義と聖約に登場する人物と用語」242ページ参照）。しかしどの場合も、シオンという言葉は、人に養いを与える主の努力、義にかなった状態で人が神とともに住めるようにするための主の努力と関係しています。「シオンの大義を起こして確立するように努め」とは、福音をもっと広く伝えること、そして、聖徒をもっと義にかなった状態にすることを意味しています。

### 教義と聖約6:10-11 オリバー・カウドリはどんな賜物を与えられたか

主がオリバー・カウドリにお与えになった賜物は、啓示の霊でした（教義と聖約8:3-4参照）。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように教えました。啓示の霊は「必要なときに、オリバーを守るものでした。敵の手から解放し、滅ぼす者からオリバーを守るためのものだったのです。」（Church History

## 教義と聖約6:14-24 <sup>あかし</sup>オリバー・カウドリはどんな証を受けたか

預言者ジョセフ・スミスはこのように記録しています。「わたしたちがこの啓示を受けた後、オリバー・カウドリは次のようなことを言いました。オリバーは、わたしの父の家に下宿していたとき、わたしが金版を手に入れたことを父から聞いたそうです。そこで、ある晩オリバーは寝室に入り、ほんとうかどうか主に尋ね求めました。すると主が、ほんとうだとオリバーに告げられました。しかし、オリバーはこのことを秘密にして、だれにも話しませんでした。それで、わたしがこの啓示を受けたとき、オリバーはこの業が真実であることが分かったのです。なぜなら、わたしが受けた啓示の中で、主は、神とオリバーしか知らないこと、ほかのだれも知らなかったことを告げられたからです。」(History of the Church, 第1巻, 35)

## 聖文を研究する

教義と聖約6章を読みながら、以下の活動(A-C)の二つを行ってください。

### A 比べる

教義と聖約6章の中で、主は大切な真理を教えるために、例または象徴(シンボル)を使っておられます。以下の文をノートに書いてから、1-5節で学んだことをもとにして、文を終わらせてください。

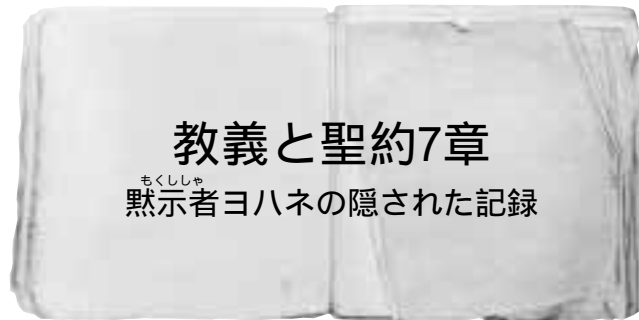
1. 福音のメッセージは剣のようなものです。なぜなら、……
2. 伝道は畑仕事のようなものです。なぜなら、……
3. 祈りはドアをノックするようなものです。なぜなら、……

### B 豊かになる,そして,幸せになる

1. 教義と聖約6:7, 13に書いてあることと, 1ニーファイ11:21-23でニーファイが学んだことを比べてください。どうすれば豊かで幸せになれるか。これらの聖句から分かったことを書いてみましょう。
2. 豊かで幸せになることについて, これらの聖句にあることと, 世の中の考えとは違います。どのように違うでしょうか。
3. この世の富から, 主が下さるような喜びは得られません。なぜだと思いますか。
4. 救いという賜物と永遠の命という賜物。あなたにとって, この二つはどれくらい大切ですか。1文か2文で書いてみましょう。

### C 啓示を受ける方法を理解する

1. 教義と聖約6:14-24を読んでください。ジョセフ・スミスが神から召されたことを, オリバー・カウドリはどうやって知ったのでしょうか。ノートに書いてください(必要であれば, 「聖文を理解する」を参照してください)。
2. 教義と聖約6:14-24から, 心に残った箇所を二つノートに書いてください。あなたが啓示を受けるためには, これらの聖句をどう応用したらいいでしょうか。アイデアを書いてください。



## 教義と聖約7章 <sup>もくしゅ</sup>黙示者ヨハネの隠された記録

1829年4月, 預言者ジョセフ・スミスは, モルモン書の版の翻訳を続けていました。その間, オリバー・カウドリは筆者でした。預言者は, この啓示を受けたきっかけを次のように書いています。「オリバーとわたしには, 意見の違いが出てきました。新



約聖書〔ヨハネ21:20-23参照〕に書かれている使徒ヨハネについてです。このヨハネは死んだのでしょうか, それともまだ生きていたのでしょうか。そこで, ウリムとトンミムを使って解決することにしました。」(History of the Church, 第1巻, 35-36)

教義と聖約7章を読んで, 使徒ヨハネとペテロが最も強く望んだことを調べてください。ヨハネが望んださらに大いなる業とは何でしょうか。もし救い主から, 一番の望みは何ですかと聞かれたら, 何と答えますか。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約7章

羊皮紙(章の前書き) 筆記するために作られた羊またはやぎの皮	とどまる(3-4節) 残る	仕える(6-7節) 助ける	奉仕する, 助ける
		鍵(7節)	権能

## 聖文を研究する

教義と聖約7章を読みながら, 活動Aを行ってください。

### A 一文で答える

教義と聖約7章の前書きには, ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリが主に尋ねたことについて書いてあります(この学習ガイドの, 教義と聖約7章の最初の部分も参照)。教義と聖約7章を読んでから, 以下の質問について, それぞれ一文で答えてノートに書いてください。

1. ヨハネが望んだこととペテロが望んだことは, どう違っていましたか。
2. 福音を分かち合うことの大切さについて, この章からどんなことが分かりましたか。
3. 義にかなった望みについて, どんなことが分かりましたか。

## 教義と聖約8 - 9章

啓示を受ける,そして,啓示に気づく

忠実な人々は、聖霊から自分のための啓示を受けることができません。これは大きな祝福です。オリバー・カウドリは、教義と聖約6章の中で、啓示の賜物 特に、古代の記録を翻訳する力を与えられるという約束を受けました。しかし、オリバーが経験したように、啓示を受けるには、単に願ひ求めるだけでは不十分なことが多いのです。七十人定員会会員を務めたS・デルワース・ヤング長老はこのように教えました。「人の内側に入り込んで真理を証する御霊の動きを理解できるようになること、これほど胸の躍ることはありません。これほど大きな興奮と喜びをもたらすものはないと、わたしは証できます。……どうすれば御霊が心にささやくのか、わたしたちはその方法を見いださなくてはなりません。御霊のささやきを聞いて、理解し、御霊を受けていることを実感する必要があります。そうなるまでには、長い時間がかかることもあります。」(Conference Report, 1959年4月, 59) 教義と聖約8-9章を読みながら、オリバー・カウドリは、翻訳する力を受けるために何をしよう言われたのか調べてください。また、彼はなぜ言われたとおりに続けて行えなかったのかも調べてください。そして、これらの啓示から、自分のための啓示を受けるには、何が必要なのか見つけてください。

### 聖文を理解する

#### 教義と聖約8章

預言者の口述 (章の前書き)	確かに (1節)	確実に
預言者が語ること	軽んじてはならない (10節)	
嘆願 (章の前書き)	祈り	軽々しく扱ってはならない



モーセは啓示の霊によって紅海を分けた

#### 教義と聖約9章

戒められ (章の前書き)	勸	適切 (3, 10 - 11節)	望ましい
告され		鈍く (9節)	混乱する, 疑う

#### 教義と聖約8 : 6 - 8 「アロンの賜物」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、次のように教えました。「オリバー・カウドリはもう一つの賜物を受けました。それはアロンの賜物でした。アロンは、モーセの代弁者として、手に杖を持ってモーセの前に行きました。このアロンのように、オリバー・カウドリは、ジョセフ・スミスの前に行くことになったのです。さらに、オリバーがこの賜物の力によって、信仰と知恵をもって主に願うことは、何でもかなえられるはずでした。オリバーは、ジョセフ・スミスとともに、この神権時代の鍵を持つという、大きな栄誉を受けたのです。そして、アロンのように、多くの場面で代弁者を務めました。この神権時代に公の場で最初に説教を行ったのは、オリバーでした。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 52)

#### 教義と聖約9 : 7 - 9 御霊は常に胸を内から燃やすのか



十二使徒定員会会員であるダリン・H・オクス長老はこのように説明しました。「御霊から教えを受けるとは、受け身的なことではありません。たいてい、主との交わりは、心の中で思い巡らした後にあるのです。それから、確認をいただくのです。」

主は、このプロセスについてオリバー・カウドリに説明しておられます。それは、1829年4月に、ペンシルベニア州ハーモニーで受けたもう一つの啓示の中で示されました。主は、オリバー・カウドリがなぜモルモン書を翻訳できなかったのかについて、次のように言われました。

『見よ、あなたは理解していなかった。あなたはわたしに求めさずすれば、何も考えなくてもわたしから与えられると思ってきた。』

しかし見よ、わたしはあなたに言う。あなたは心の中でそれをよく思い計り、その後、それが正しいかどうかわたしに尋ねなければならない。もしそれが正しければ、わたしはあなたの胸を内から燃やそう。それゆえ、あなたはそれが正しいと感じるであろう。』(教義と聖約9 : 7 - 8, 強調付加)

教義と聖約全体の中で、この教えは、最も重要でありながら、最も誤解されているものの一つかもしれません。御霊の教えは、心の思いとしてもたらされることが多いのです。この事実はきわめて重要です。にもかかわらず、その意味を誤解している人もいます。わたしはこれまで、次のように言う人たちに会ったことがあります。『聖霊の証を受けたことはありません。胸が「内から燃える」のを感じたことはありませんから。』

『胸が内から燃える』とは、どういう意味なのでしょう。物が燃えるときに出る熱のような、実際の熱を感じる必要があるのでしょうか。もしそういう意味だとしたら、わたしは胸の内が燃えたことはありません。当然、この聖句の『燃やす』という表現は、平安や落ち着いた感じという意味です。そういう証こそが、多くの人が受けているものなのです。啓示を受けるとはそういうことなのです。

実際、静かな細い声は、まさに、『静か』で『細い』のです。』(『御霊によって教え, 学ぶ』『リアホナ』1999年5月号, 22参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約8-9章を読みながら、ノートを使い以下の活動Aをしてください。また、活動BかCの一つをしてください。

### A マスター聖句 教義と聖約8：2-3



十二使徒定員会会員であるボイド・K・パッカー長老はこのように語りました。「わたしは、使徒である今でも、少年のときと同じ靈感に耳を傾けています。その靈感は当時と同じ源から、同じように来ています。そして、現在の方が、ずっと鮮明です。」(「祈りと答え」『聖徒の道』1980年3月号、30参照)

1. 教義と聖約8：1-3を研究して、聖霊がわたしたちの思いに語られるときに、起こることを書いてください(エノス1：10も参照)。
2. 聖霊が人の心に語られるとき、人はどのように感じるでしょうか(1ニーファイ17：45も参照)。
3. パッカー長老は、靈感の声がいつそうはっきり聞こえるようになりました。なぜでしょう。教義と聖約8：1から、その理由を見つけて書いてください。

### B 教義を要約する

1. 教義と聖約6：23によれば、主はどんな方法でオリバー・カウドリに語られましたか。
2. 教義と聖約8：2-3の中で、主は、啓示が与えられる方法について、オリバーにさらに何を教えられたでしょうか。
3. オリバー・カウドリは、教義と聖約9：7-9の中で、翻訳中に答えを受けることについてあることを学びました。どんなことを学んだのでしょうか。
4. これらの節から、啓示を受ける過程について分かったことを、1段落で書いてください(「聖文を理解する」も参照)。

### C 教義と聖約8-9章から学ぶことのできる教訓を書く

1. 教義と聖約8章から、主がオリバー・カウドリに約束された事柄をまとめてください。また、教義と聖約9章から、オリバーが翻訳を続けることを主から許されなかった理由をまとめてください。
2. この啓示から学ぶことのできる教訓の一つの文にまとめてください。
3. あなたの書いたことは、主の靈感を求める人に、どう当てはまるでしょうか。

## 教義と聖約10章 預言者を滅ぼすたくらみ

教義と聖約3章には、預言者ジョセフ・スミスが金版から翻訳した116ページの原稿をマーティン・ハリスが紛失したいきさつが書いてありました。主は教義と聖約10章の中で、116ページの原稿がどうなったか、サタンは原稿を使って何をしようとしているかを明らかにしておられます。10章はさらに大切なことを教えてくれます。それは、失われた原稿の穴を埋めるために、主がすでにあることを行われていたということです。この章を読むときに、地上での出来事(主の業をくじこうとしてサタンが行う事柄も含む)を支配する主の力について、主がどんなことを教えておられるかを調べてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約10章

変更(章の前書き)	変える	食い違っていた(31節)	文章の一部が前に書いた事柄と一致しない
信用を落とす(章の前書き)	信じないよう人々を説得する	この時代(33, 53節)	この時期、またはこの時代の人々
要約(章の前書き)	短くまとめたもの	辱める(42節)	恥をかかせる
書き変える(10-11, 17節)	変更すること	離反(48節)	不一致、反逆
反対の(11節)	別の	曲げて解釈し(63節)	意味をねじまげる
罪悪(20, 29節)	罪		
罪の宣告(23節)	罪があることを宣告される		

### 教義と聖約10：6 なぜ、マーティン・ハリスは預言者ジョセフ・スミスを滅ぼそうとしたと言えるのか

マーティン・ハリスは預言者ジョセフ・スミスを滅ぼそうとするつもりはありませんでした。しかし、モルモン書の116ページの原稿がなくなった結果として起きたことを考えれば、「神の勧告を無視」したらどうなるかが分かります(教義と聖約3：13。18ページの「聖文を理解する」教義と聖約3：12も参照)。主は前もって、マーティン・ハリスがどのような行動をするか御存じでした。そのための備えもしておられました。しかし、もし主が備えをしておられなかったらどうなっていたでしょう。サタンとその僕たちはうそをついて、預言者ジョセフを滅ぼしていたかもしれませんが(教義と聖約10：10-33参照)。マーティン・ハリスは、主の勧めを聞かないで原稿を持ち出すことをしきりに求め、原稿を注意深く守るという約束を破りました。ですからマーティンは、わざとではなかったにせよ、実質的にサタンのたくらみに力を貸したと言えるのです。



サタンは、116ページの原稿を紛失させて、預言者ジョセフ・スミスとモルモン書を滅ぼそうとくわだてていました。そうさせないために、主は2,000年以上も前から、一つの方法を備えておられました。主は預言者ニーファイに、同じ時代の記録を二組作るよう指示を与えておられました。失われたのはそのうちの一組でした。これら二つの記録には大きな違いがあります。失われた部分は、歴史を中心としており、もう一組の方は、預言と神聖な事柄を中心としていました(1ニーファイ9:3-6;モルモンの言葉1:1-7参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約10章を学びながら、ノートを使い活動Aをしてください。また活動B-Dから二つをしてください。

### A マスター聖句 教義と聖約10:5

サタンとは、「敵」または「反対者」を意味し、義に敵対する悪魔の働きを表しています。サタンとその僕たちは、わたしたちに罪を犯させようと誘惑します。それは、わたしたちに惨めで不幸な状態を味わわせたいからです。しかし、主はもっと強い力で、誘惑に打ち勝てるように助けてくださいます。

1. アルマ34:17-27と3ニーファイ20:1を読んでください。「サタンに打ち勝つ」ためにわたしたちは何をしなければならいでしょうか(教義と聖約10:5)。「常に祈る」とは、どんな意味だと思いますか。
2. 教義と聖約10:5と2ニーファイ32:8-9を相互参照してください。祈らないように教えるのはだれですか。

### B サタンの「狡猾な計画」と主の知恵を比較する

1. ノートの真ん中に線を引いて、二つの欄を作ってください。片方の欄に「サタンの狡猾な計画」、もう一方の欄に「主の知恵」と書きます。
2. 教義と聖約10:6-29を読んでください。サタンはマーティン・ハリスから盗んだ116ページの原稿をどうしようとたくらんでいたのでしょうか。それについて主が言われたことを「サタンの狡猾な計画」の欄に記入してください。

3. 30-45節を読んでください。サタンの計画を失敗に終わらせるために主が行われたことを「主の知恵」の欄に記入してください。
4. 1ニーファイ9:3-6とモルモンの言葉1:1-7を読んでください。116ページの原稿が失われて問題が発生するどれくらい前から主がその対応策を準備しておられたか書いてください。

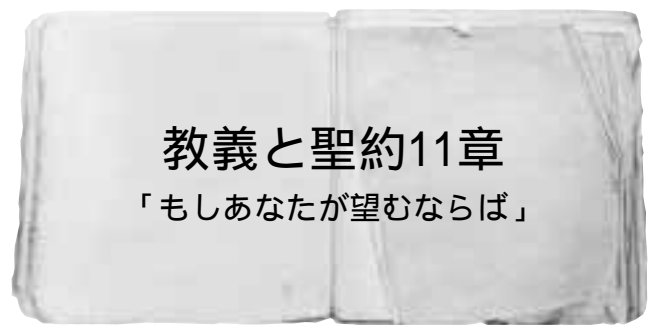
### C サタンの手口に注意する

教義と聖約10:20-29には、サタンが人をだます方法が書かれています。

1. 20-24節を読んでください。人が真理に敵対するように、サタンがどんな手を使うかを書いてください。サタンがそのようなことをする理由も書いてください。
2. 25-29節を調べてください。サタンはジョセフ・スミスに敵対する者たちに、預言者とモルモン書を滅ぼすことは悪いことではないと信じ込ませました。サタンがどんなことを言ったか、書き出してください。
3. 今日、同じことをしようとしている人々がいます。その人たちはどんな手を使っているでしょうか。

### D 初等協会(プライマリー)で教えるとしたら……

1. プライマリーで7歳の子供たちを教える機会が与えられたと想像してください。教義と聖約3章と10章の失われた116ページの原稿について教えるとしたら、どんなことを教えますか。ノートに書き出してください。
2. 預言者ジョセフ・スミスの経験から学べることを二つ教えてください。今日の生活にどう応用できるかを教えてください。どんなふうに教えるかノートに書いてください。



ハイラム・スミスは預言者ジョセフ・スミスの兄でした(ジョセフ・スミス - 歴史1:4参照)。1829年5月に、ハイラムはニュー



ヨーク州パルマイラを出発して、ジョセフとジョセフの妻のエマ、そしてオリバー・カウドリがいる、ペンシルベニア州ハーモニーへ向かいました。彼らはそこでモルモン書の翻訳をしていました。ハイラムは弟である預言者に「〔自分に対する啓示を〕熱心に求めました。その結果、教義と聖約11章の啓示が授けられました (History of the Church, 第1巻, 45参照)。十二使徒定員会会員であるニール・A・マックスウェル長老は、このように教えました。

「霊的に重要な出来事が起こるとき、そこには例外なく義にかなう望みがあります。」(「わたしたちの『心の望みに応じて』」『聖徒の道』1997年1月号, 22 - 23) 教義と聖約11章を読みながら、「望む」という言葉を探してください。そして、望むことの大切さについて、主がどのように述べておられるか調べてください。また、この啓示の中で与えられた多くの勧めは「善い望みを持つ...すべての者」(27節) に当てはまることに注意してください。あなたもそのような望みを持つ者の一人なのです!

## 聖文を理解する

### 教義と聖約11章

嘆願 <small>たんがん</small> と問い(章の前書き)	かかわる(14節)	関する
祈りとへりくだって尋ねること	請 <small>こ</small> い求める(18節)	勧告を 求める
切り離す(2節)	二つに分ける	
鎌 <small>かま</small> (3-4, 27節)	穀物を刈り	すぎる(19節)
入れるための湾曲 <small>わんまぎよく</small> した刃物	黙 <small>もく</small> していなさい(22節)	近づく
授ける(13節)	告げる, 知らせる	まだ 宣 <small>のたま</small> 伝えてはならない

### 教義と聖約11章 ハイラム・スミス

ハイラム・スミスに関する情報は、「教義と聖約に登場する人物と用語」(239ページ)を参照してください。

### 教義と聖約11:6 「シオンの大義たいぎを確立する」

この語句を理解するために、「聖文を理解する」教義と聖約6:6(20ページ)と「教義と聖約に登場する人物と用語」の『シオン』(242ページ)を参照してください。

### 教義と聖約11:9 「この時代の人々には、悔い改めのほかに何も語ってはならない」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように教えました。「主は僕たちに、悔い改めのほかに何も語ってはならないとおっしゃることがあります。それは、バプテスマを受けるように勧めてはならないとか、主の戒めに従うよう求めてはならないという意味ではありません。何事も、人々を悔い改めに導くという気持ちを込めて話し、行うようにしてほしいという意味なのです。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 57) 言い換えれば、主の王国で仕えるように召されたすべての人が第一に考えるべきことは、人々がイエス・キリストの教えに従って向上し、生活を変えるのを助けることであるということです。

## 聖文を研究する

教義と聖約11章を学びながら、以下の活動(A-D)の二つを行ってください。

### A 約束された祝福を手に入れる

1. ノートの真ん中に線を引いて二つの欄を作ってください。一つの欄に見出しとして「約束された祝福」、もう一つの欄に「祝福を受ける条件」と書き入れてください。
2. 教義と聖約11章を読んでください。それから、主がハイラム・スミス(と「善い望みを持つすべての者」)に約束された祝福を、片方の欄に書き出してください。それぞれの祝福の横に、それが書いてある節を記入してください。
3. 主は、ハイラム・スミス(またはあなた)に、その祝福を受けるために何を行うように言われたのでしょうか。それをもう一つの欄に書いてください。祝福が書いてあった聖句の前後を探すと見つかるでしょう。
4. 特に宣教師や親にとって大切だと思う祝福とその条件はどれでしょうか。二つ選んでください。どうしてそれらを選んだのか、書いてください。

### B 望みの大切さ

1. 教義と聖約11章の中から、「望む」「望み」「願う」という言葉が書かれている聖句を見つけて、書き出してください。(聖典のその言葉にしるしをつけるとよいでしょう。)
2. 1ニーファイ11:1; アルマ29:4; 41:3-6; アブラハム1:2を読んでください。福音の計画の中で、望みを持つことがどれほど大切かを、1段落で書いてください。
3. 良いこと(毎日聖文を読むとか、しばしば祈るとか)をするべきなのに、したくないとき、どうすればよいでしょうか。

### C 御霊みたまについて知る

1. 教義と聖約11:12-14から、神の御霊みたまについてどんなことが分かるでしょうか。
2. ここに書いてあるような御霊みたまの働きかけを感じたことがありますか。そのときのことについて書いてみてください。

### D どんな意味だろう

1. 主は、教義と聖約11:21でハイラム・スミスにあることをするように言われました。それを自分の言葉で書いてください。
2. 「わたしの言葉を得る」とはどういう意味ですか。言葉を得るためにハイラム・スミス(または、あなた)は何を行えばいいと思いますか。それを書いてください。



## 教義と聖約12章

「この業を助ける」人々のために



ジョセフ・ナイト・シニアが主の業を助けたいと考えていたのは、なんと、教会が組織される前からのことでした（ジョセフ・ナイト・シニアに関する情報は、240ページ「教義と聖約に登場する人物と用語」を参照してください）。彼は教会が組織された後、間もなく教会に加わり

ました。預言者ジョセフ・スミスは、次のような言葉でジョセフ・ナイト・シニアをたたえました。「シオンの息子たちは最後の一人まで、このように言うでしょう。この人はイスラエルにおいて忠実な人でした。だから、決して忘れ去られることはないでしょう、と。」（History of the Church, 第5巻, 124 - 125）

教義と聖約12章を学ぶときに、ふさわしくなって御業を助けるにはどうすればよいかについて主がジョセフ・ナイト・シニアへ語られた言葉に注意してください。主は、ナイト兄弟だけでなく、「望むすべての者」に向けて語られたということも覚えておいてください（7節）。

### 聖文を理解する

教義と聖約12：1 - 6を理解するための資料として、「聖文を理解する」の教義と聖約6：1 - 6と11：1 - 6を参照してください。これらの節は、ほとんど同じ内容です。

教義と聖約12章

自制する（8節） 自制心を持つ

教義と聖約12：8 「愛に満ち」



預言者ジョセフ・スミスはこのように教えました。「愛は神の最も重要な特質の一つです。神の息子になることを望む人は、愛を持たなければなりません。神の愛で満たされている人は、自分の家族だけが祝福を受けることに満足し

ません。そのような人は、全世界に、全人類に祝福がもたらされることを願うのです。」（History of the Church, 第4巻, 227）

### 聖文を研究する

教義と聖約12章を読みながら、活動Aを行ってください。

### A 例を示す

主は教義と聖約12：8で、いろいろな特質について述べておられます。このような特質を一つでも持っている人がいますか。そのような人を、聖典または教会指導者の中から見つけて、その人について書いてください。その人のどんなところを見て、その特質を持っていると思いましたか。その人が主の業をよりよく行うために、その特質はどう役立っているでしょう。

## 教義と聖約13章

アロン神権の回復



ジョセフ・スミス 歴史1：68 - 74には、アロン神権の回復について書いてあります。教義と聖約13章はジョセフ・スミス 歴史1：69とまったく同じです。バプテスマのヨハネが語ったこの言葉が持つ教義上の大切な意味を考えながら読んでください。

### 聖文を理解する

教義と聖約13章

授けられる（章の前書き）  
権能により与えられる

メシヤ（1節） イエス・キリスト

授ける（1節） 与える

の働き（1節） によって行われる奉仕

水に沈める（1節） 水中に完全に沈む

教義と聖約13：1 神権の鍵

アロン神権には、幾つかの鍵があります。しかしそれは、アロン神権を受けた人全員が、アロン神権の鍵を受けて使うことができるという意味ではありません。バプテスマのヨハネは「ペテロとヤコブとヨハネの指示の下に務めを果たしている」と言いました（章の前書き）。つまり、アロン神権は大神権すなわちメルキゼデク神権によって管理されているのです。

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、「主がこの最後の福音の神権時代に授けられた神権とそれらの鍵」について、このように説明しました。

「この鍵とは管理する権利のことです。地上で、主の事柄のすべてを管理したり、指示を与えたりする力と権威のことです。この鍵を持つ人は、ほかの人が神権を使ってどのように奉仕すべきかを管理し統治する力を持っています。わたしたちは全員神権

を持つことができます。しかし、<sup>かぎ</sup>鍵を持っている人から権能を与えられ、指示を受ける範囲の中でだけ、神権を使うことができるのです。

この〔メルキゼデク〕神権とこれらの<sup>かぎ</sup>鍵を、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに与えたのは、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、またモーセ、エリヤ、その他古代の預言者たちでした。これら神権の鍵は、十二使徒評議会の会員に<sup>かぎ</sup>聖任された人々にそれぞれ与えられています。しかしこれらの鍵、すなわち管理する権利を完全に行使することができるただ一人の人は、この地上では神の先任使徒、すなわち大管長だけなのです。」「永遠の<sup>かぎ</sup>鍵と管理する権能」『聖徒の道』1973年3月号、114参照)

### 教義と聖約13：1 レビの子ら

モーセはメルキゼデク神権を持っていました。しかし、モーセの律法は、アロン神権の権能によって執行されました（教義と聖約84：23 - 27参照）。レビの部族（レビ族）に属する男性だけがアロン神権を授けられました。「レビの子ら」という言葉は当時の神権者全員を指していました。モーセとアロンはその部族に属していました。旧約時代にモーセの律法の下で犠牲の動物をほふるのはレビ族の務めでした（『聖句ガイド』「レビ」290 - 291ページ参照）。今日、「レビの子ら」という言葉は、忠実であって、神権を受け、「モーセの息子たち、またアロンの息子たち」となった教会のすべての人のことを指します（教義と聖約84：33 - 34参照）。

## 聖文を研究する

教義と聖約13章を読みながら、活動Aを行ってください。

### A 神権の行使

アロン神権の<sup>かぎ</sup>鍵と力は、人々の生活に祝福をもたらし、人々がキリストのもとへ行くのを助けますが、それはどのようにして行われるのでしょうか。監督または一人のアロン神権者に話を聞いて、分かったことをノートに書いてください。



## 教義と聖約14 - 16章

### ホイトマー3兄弟への勧告

オリバー・カウドリは、預言者ジョセフ・スミスがモルモン書を翻訳するのを手伝うため、ペンシルベニア州ハーモニーに滞在していました。そのとき彼は、ニューヨーク州フェイエットに住む友人のデビッド・ホイトマーに手紙を書いています。オリバーはこの手紙の中で、<sup>みわざ</sup>御業に対する<sup>あかし</sup>証を記しました。デビッド・ホイトマーは関心を示し、いつでも手伝うという返事を送ってきました。

1829年5月末に、モルモン書の翻訳は<sup>とどろお</sup>滞っていました。<sup>はくがい</sup>迫害のためです。預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは、デビッド・ホイトマーに手紙を書いて、翻訳を終えるまでホイトマー家に滞在させてほしいと頼みました。デビッドの父ピーター・ホイトマー・シニアは、それを了承して、ハーモニーまで（約220キロ）<sup>ほろ</sup>幌馬車で迎えに来ました。そして、ジョセフ・スミス、ジョセフの妻のエマ、それにオリバー・カウドリを乗せて、フェイエットへ連れて帰りました。間もなく、預言者ジョセフ・スミスは、教義と聖約14 - 16章に記されている啓示を受けました。ホイトマー家の3兄弟（ピーター・ジュニア、ジョン、デビッド）の求めに応じてのことです。この3兄弟は、神が自分たちに何を望んでおられるかを知りたいと願いました（ホイトマー家族に関する情報は、「教義と聖約に登場する人物と用語」、240ページを参照してください。）

主は自分に何をしよう望んでおられるのだろうかと考えたことがありますか。この3つの章を読むときに、主がこの3人に与えられた勧告の中に、あなたに当てはまるものがあるかどうか、考えてください。



デビッド・ホイトマー



ジョン・ホイトマー

## 聖文を理解する

教義と聖約14：1 - 7を理解するための資料として、「聖文を理解する」の教義と聖約11：1 - 7と12：1 - 6を参照してください。そこには同じような言葉が出てきます。

### 教義と聖約14章

語るべき言葉（8節） 話すべし 物質的（11節） 物理的  
き事柄

### 教義と聖約15章と16章

はっきりと（2節） 正確に、明確に

## 聖文を研究する

教義と聖約14 - 16章を読みながら、以下の活動AとBを行ってください。

### A マスター聖句 教義と聖約14：7

- ノートくらいの大きさの紙に、教義と聖約14：7にある教えについてのポスターを作ってください。
- 聖文に出てくる「救い」という言葉は、ほとんどが昇栄を意味しています。このことを考えて、教義と聖約14：7と2ニーファイ31：20を比べてください。教義と聖約14：7で主が言われ

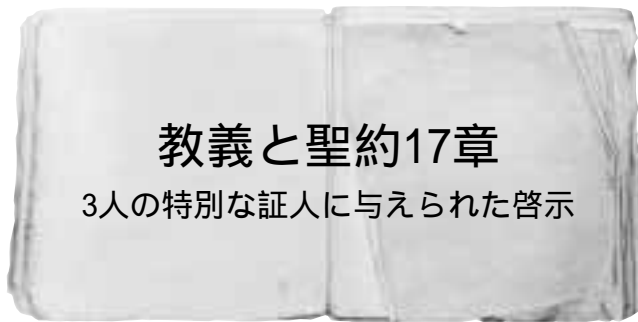
たことを成し遂げる方法について、2ニーファイ31：20は何と言っているでしょうか。

## B あなたにとって最も価値のあること



「結局のところ最も大切な義務は福音を宣べ伝えることである。」(History of the Church, 第2巻, 478)

1. 主は、ジョン・ホイットマーとピーター・ホイットマーにとって、何が「最も価値のあること」だと言われたでしょうか(教義と聖約15：6；16：6参照)。
2. これは、二人が行うことの中で何よりも大切なことです。なぜでしょう。理由を少なくとも二つ挙げてください。



### 教義と聖約17章

#### 3人の特別な証人に与えられた啓示

教義と聖約17章の前書きには、モルモン書の参照聖句が3つ示されています。それらは、末日にモルモン書が世に出るときに、3人の特別な証人が選ばれることについての聖句です。17章の啓示は、証人となることを望んだ3人に与えられたものです。その3人は、特別な証を受ける準備をしなければならぬと教えられました。そして、具体的に言うべきことを告げられたのです。17章を読むときに、主が、デビッド・ホイットマー、マーティン・ハリス、オリバー・カウドリに与えられた勸告について考えてください。その勸告は、わたしたちが、モルモン書やその他の霊的なことについての証を得たり、強めたりするために、どう応用できるでしょうか。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約17章

前に(章の前書き)	以前に	打ち勝つ(8節)	勝利を収める
指名される(章の前書き)		恵み(8節)	神から与えられる強さと力
選ばれる		十分(8節)	必要なだけ
不思議な指示器(1節)	リア		
ホナ(1ニーファイ16：10, 28-29; アルマ37：38-42参照)			

### 教義と聖約17章 これらの3人はいつ、どのようにして約束された証を受けたか

この3人が求めていた証は、17章の啓示の後、間もなく与えられました。預言者ジョセフ・スミス、デビッド・ホイットマー、オリバー・カウドリ、マーティン・ハリスは、ホイットマー家の近くで森へ入りました。4人は、約束された証を求めて、熱心に



祈りました。しかし、何も起こりませんでした。やがて、マーティン・ハリスは、自分はふさわしくないと行って、引き下がりました。マーティン・ハリスは、赦しを求めて一人で祈りました。その間に、残る3人は驚くべき示現を受け、神の声を聞きました。その声は、彼らが見たものについて証されたのです。それから、ジョセフ・スミスは、マーティンを探しに行きました。預言者は、マーティンと一緒に祈りました。しばらくしてから、マーティンは、ほかの3人が受けたのと同じ示現を受けました。モルモン書のはじめの方に記されている「三人の証人の証」は、彼らが自分たちの経験を記録したものです。この3人はモルモン書についての証に責任を負わなければなりません。それと同じように、現代の人々も、この証人たちの証について、責任を問われることになるでしょう(2ニーファイ33：11-15; エテル12：38-39参照)。

この神聖な経験から数日後に、預言者ジョセフは、モルモン書の金版をほかの8人に見せてもよいと言われました。彼らは、示現を受けたり、神の声を聞いたりすることはありませんでした。しかし、金版に触れることができました。8人の証も、モルモン書のはじめの方に記されています。



### 教義と聖約17：1 胸当てとは何か

預言者の母ルーシー・マック・スミスは、あるとき、ジョセフが金版とともに受けた胸当て(ジョセフ・スミス 歴史1：35参照)を詳しく観察しました。ルーシーは息子についての伝記の中で次のように説明しています。

「それは、木綿織りの、薄い布に包んでありました。布がとても薄かったので、どのような形か手で触って分かりました。

片側は膨らんでいて、反対側はくぼんでいました。とても大柄な男性の首からおなかの真ん中あたりまでの大きさでした。胸のところで固定するために、4本のひもがついていました。そのうち2本は、肩越しに背中中で固定するものでした。残る2本は、腰の後ろで固定するようになっていました。そのひもは、わたしの指2本分の幅がありました(実際に指を当てて測ってみたのです)。ひもの先には、固定しやすくするために、穴が幾つかあいていました。」(History of Joseph Smith, プレストン・ニブレー編[1958年], 111)

### 教義と聖約17：6 モルモン書に対する主の証

十二使徒定員委員会を務めたブルース・R・マッコンキー長老はこのように教えました。



「かつて人に与えられた最も厳肅な誓詞の一つは、ジョセフ・スミスとモルモン書について主が語られた言葉の中にあります。『彼〔ジョセフ・スミス〕はその書を、すなわちわたしが彼に命じた部分を翻訳した。あなたがたの主、あなたがたの神が生きているように確かに、その書は真実である。』（教義と聖約17：6）」

これはモルモン書に対する神の証です。神が、御自分が神であるということにかけて、モルモン書は真実であると保証されたのです。つまり、モルモン書が真実であるか、さもなければ、神が神であることをおやめになるか、二つに一つなのです。これ以上に厳格で力強い言葉は、人や神々に知らされることはありません。」「(『神権の教義』『聖徒の道』1982年7月号, 60 - 61参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約17章を読みながら、活動Aを行ってください。

### A 彼らの証とあなたの証

1. ノートに以下のような表を作ってください。

3人の証人	わたしの証
3人は、特別な証を受けるために何をする必要があったか(教義と聖約17：1 - 2参照)。	モルモン書とほかの霊的な真理の証を強めるには、何をすべきか。
主は、特別な証を得た後に何をせよと言われたか(3、5 - 6節参照)。	主は、わたしが証を受けた後に、何を期待しておられるか。
主は、なぜ3人に特別な証を与えと言われたか(4、8 - 9節参照)。	主はわたしに、主の福音と教会に対する証を持つよう望んでおられる。なぜだろう。
3人の証の大切さについて、主は何を約束されたか(7 - 9節参照)。	主は3人の証人に約束を与えられた。その約束は、福音に対するわたしの証に、どのように当てはまるか。

2. 教義と聖約17章を読んでください。そして上の、三人の証人に関する質問に答えてください。
3. これらの聖文を自分に当てはめてみてください。そして上の、自分に関する質問に答えてください。『聖句ガイド』からほかの聖句を見つけて、答えの参考にするとよいでしょう。



## 教義と聖約18章 使徒の務めと人の価値



教義と聖約18章に記録されている啓示が与えられたのは、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリが、ペテロ、ヤコブ、ヨハネからメルキゼデク神権を授けられたころのことでした。主イエス・キリストの3人の使徒であるペテロ、ヤコブ、ヨハネが、ジョセフとオリバーを使徒として、また主の名の特別な証人として聖任し、その務めにかかわる鍵を授けました。

それはふさわしいことでした(教義と聖約27：12 - 13参照)。最初の十二使徒定員会が召されたのは、それから6年後でした。しかし主は18章の中で、この神権時代の使徒と十二使徒定員会について、幾つかの指示をお与えになりました。この啓示を読むときに、一つ一つの教義と原則から、使徒の役割とメルキゼデク神権について、大まかにどのようなことが分かるか考えてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約18章

授けられた(章の前書き)と与えられた	争って(20節)戦う、敵対する	口論する、
打ち勝つ(5節) 勝利を収める	まじめに(21節)	真剣に
必要な(18節) 適切な、望ましい	責任を負う(42節)	自分の行動に責任を持つ

### 教義と聖約18：20 「悪魔の教会」

「悪魔の教会」とは具体的な教会を指しているのではありません。それは、イエス・キリストの教会に敵対し、神の子らの救いを妨げる個人、グループ、組織、あるいは考え方を指しているのです。真理と善は、末日聖徒イエス・キリスト教会以外にもあります。しかし、回復された教会にしかない完全な福音は、天の御父が子らに対して望んでおられるような救いを得るためにどうしても必要なものです。教義と聖約18：20について、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように述べています。「この啓示は、あらゆる悪 義や真理に敵対するもの と戦うた

めに与えられた指示であると理解しなければならない。」  
(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 83)

## 聖文を研究する

教義と聖約18章を読みながら、以下の活動Aを行ってノートに書いてください。また、活動B, Cのどちらか一つを行ってください。

### A マスター聖句 教義と聖約18:10, 15-16

商売の世界では、物の価値は金額によって決まります。売り手が「これはこの値段の価値がある」と言っても、その額を出そうとする人がいなければ、それだけの価値があることにはならないのです。

1. 教義と聖約18:10-13を調べてください。わたしたちのためにどのような代価が支払われましたか。だれが支払ったのですか。



2. 主は、悔い改める人たちを、どう思われるでしょうか。主の気持ちはどのような言葉で表されていますか。このことから、主についてどんなことが分かりますか。
3. ジョセフ・スミス、オリバー・カウドリ、デビッド・ホイットマー（そして、わたしたち）は、教義と聖約18:14で、「悔い改めを叫ぶ」よう命じられています。10-13節で学んだことから、人が悔い改めたくるように助けるには、どんなことを話したらよいでしょうか。
4. アルマ34:14-17を読んでください。そこには悔い改めるもう一つの理由が書いてあります。それは何でしょうか。
5. アルマ37:9を読んでください。これが真実であるとほかの人が理解できるように助けるには、どうしたらよいでしょうか。

### B キーワードを見つける

教義と聖約18:9は、オリバー・カウドリ、デビッド・ホイットマーに対する「戒め」として語られました。

1. 9-21節を調べてください。彼らは何を行うように命じられたのでしょうか。それをノートに書き出してください。戒めを見つけたときに、以下のキーワードを探すとよいでしょう。「すべての人」、「覚えておく」、「叫ぶ」、「求める」、「争う」、「受ける」、「語る」。
2. これらの中から3つの戒めを選んでください。それらはどのようにあなたに当てはまるでしょうか。ノートに書いてください。

### C キリストの声を聞いたことがありますか

主の声を聞いて従わなければ、救われないと聖文は証しています（アルマ5:38-39；教義と聖約1:14参照）。

1. 教義と聖約18:34-36を調べてください。どうすれば主の声を毎日「聞く」ことができるでしょうか。ノートに書いてください。
2. それは、終わりの日に自分が呼ばれる名前を知るために、どんな助けになるのでしょうか（24-25節には、終わりの日に呼ばれる名を知らなければならないと書いてあります）。

## 教義と聖約19章

マーティン・ハリスに与えられた戒め



パルマイラの印刷業者、エグバート・B・グランディンに、モルモン書を5,000冊印刷する仕事を引き受けてもらうために、マーティン・ハリスが、印刷費の支払いの保証人になりました。マーティン・ハリスにこれができるのは、土地を所有していたからです。彼の土地は、印刷業者が請求した3,000ドルよりも高い値がついていました。しかし、印刷が完成する前に、「大勢の人々が集会を開き、モルモン書が出版されてもだれも買わないと決めました。グランディンは、そのことで心配になりました。預言者ジョセフ・スミスは、パルマイラに戻り、印刷費用は必ず支払うと言って、グランディンを安心させました。モルモン書が売られなければ、マーティン・ハリスは農場を失うことになります。そこで彼

は、預言者のもとに行き導きを求めました。マーティンは啓示の中でこう命じられました。自分の財産を『むさぼることなく』、モルモン書の印刷費用として『惜しみなくそれを分け与えなさい。』（教義と聖約19：26参照）結局、マーティン・ハリスの151エーカー（約60ヘクタール）の農場は、グランディンへの支払いのために1831年4月に、競売にかけられ、売られました。この犠牲により、モルモン書の印刷は可能になったのです。（『時満ちる時代の教会歴史』64参照）



教義と聖約19章を読みながら考えてほしいことがあります。この啓示はマーティン・ハリスに、大きな目的のために個人的なことを犠牲にすることの大切さを理解させました。この啓示のどこにそのような力があつたのでしょうか。あなたが今、主から求められている最大の犠牲は何でしょうか。そのことを考えながらこの啓示を読んでください。主がマーティン・ハリスに教えられた原則は、現在（あるいは将来）あなたが主から求められることに、どのように当てはまるか考えてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約19章

アルパでありオメガであり（1節）  
ギリシャ語アルファベットの最初と最後の文字（すべてを包含する特質を説明したイエス・キリストの称号）  
従わせる（2節） 支配する力を得る  
保持（3節） 持つ、所有する  
業（3節） 行動  
取り消す（5節） 元に戻す  
明確（7節） はっきりしている  
ふさわしい（8節） 適切  
苦しみ（15節） 罰  
激しい（15節） 強烈  
むさぼる（25 - 26節） 利己的な望みを持つ  
分け与え（26, 34節） 与える

おとずれ（29節） 知らせ、メッセージ  
ののしる者にののしり返すことのないように（30節） 侮辱するような言葉を口にする者に同じような言葉で言い返さないように  
様々な教義（31節） 宗教上の個人的な信条  
十分（32節） 足りる  
軽んじる（33節） 軽々しく扱う  
勧め（37節） 教える、奨励する  
それと同等の腐敗するもの（38節） 滅びるものに付随するすべてのもの

### 教義と聖約19：4, 16 - 17 悔い改めか、苦しみか

十二使徒定員会会員であるダリン・H・オークス長老は、アルマ42：16と教義と聖約19：16 - 17を引用して、次のように述べました。

「悔い改める人は、救い主がすべての罰を負われるので、まったく苦む必要がないのでしょうか。それはあり得ません。救い主のほかの教えと一致しないからです。

この聖句が意味するところは、悔い改める人は、救い主がその罪のために受けられるのと『同じような』苦しみを味わわなくてもよいということです。悔い改める罪人は、幾らかの苦しみは味わいます。けれども、その人自身が悔い改め、主の贖いの効力を身に受けるならば、救い主が経験された計り知れない苦しみ、『激しい』苦しみのすべてを味わうことはないのです。（『罪と苦しみ』『聖徒の道』1994年4月号、29 - 30参照）

### 教義と聖約19：6 - 12 無窮の罰と永遠の罰

主が啓示によって明らかにされたことによると、「無窮の罰」や「永遠の罰」とは、罰の種類のことであり、罰の期間のことではありません。無窮の罰と永遠の罰は「神の罰」のことです（教義と聖約19：11 - 12）。

預言者ジョセフ・スミスはこのように教えました。「戒めを心に留めないかぎり、救われないのです。

……そこで、悪魔に打ち勝つために、イエス・キリストの救済が万人のために達成されました。……すべての人は、キリスト御自身に従うまで苦しむのです。（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*, ジョセフ・フィールディング・スミス編〔1976年〕, 357）このように、滅びの子（彼らはキリストに従うことを永遠に拒みます）を除いて、あらゆる人の罰は、最終的に終わりの時を迎えます（教義と聖約76：33 - 34参照）。

しかし、十二使徒定員会会員を務めたジェームズ・E・タルメージ長老が教えた、次のことも理解しておかなければなりません。「地獄から解放されるからといって、天国に入れるわけではありません。」（*The Vitality of Mormonism*〔1919年〕, 256）無窮の罰または永遠の罰（つまり神の罰）が終わると、栄光の王国の中のどれか一つに行きます。これらの裁きについては、教義と聖約76章で詳しく学びます。

### 教義と聖約19：15 - 19 イエス・キリストの苦しみ



教義と聖約19：15 - 19には、全人類のために受けられた苦しみについて、救い主御自身の証があります。これらの節によって、その苦しみをもっと具体的に理解することができます。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、十二使徒定員会会員を務めていたときに、次のように語りました。「わたしたちは、このように考えることが多いのではないかと思います。〔救い主の〕最大の苦しみは、釘で手足を十字架に打ち付けられたときから始まり、死を迎えて終わっ

たと。確かにそれも激しい苦痛でした。しかし、主が経験しなければならなかった最大の苦しみではありませんでした。ある方法でそれはわたしの理解の及ばないものですが、わたしはそれを信仰によって受け入れています。そしてあなたも、信仰によって受け入れなければなりません。救い主は全世界の罪の重荷を〔ゲツセマネにおいて〕背負われました。自分の罪でさえ抱えるのは大変なことです。……しかし主は、全世界の罪を背負わなければならなかったのです。〕(Conference Report, 1947年10月, 147 - 148)



## 教義と聖約20章 教会の憲章

預言者ジョセフ・スミスは、1820年に御父と御子の訪れを受けました。そのとき、どの教会にも加わってはならないことを告げられました。また「将来、完全な福音が知らされる」という約束を受けました(History of the Church, 第4巻, 536)。預言者ジョセフはその後、モルモン書を手に入れて翻訳しました。また、アロン神権とメルキゼデク神権の権能と鍵を受けました。また、末日の神の王国に関するそのほかの指示を受けました。このようにして、完全な福音は次第に明らかにされていきました。

教義と聖約20章は当初、「キリストの教会の規則と聖約」と呼ばれ、教会の組織と管理の手引きとなっていました。そして、教義と聖約22章とともに、教会の集会でしばしば全文が読み上げられました。20章は「教会の憲章」と呼ばれることもあります。

## 聖文を研究する

教義と聖約19章を読みながら、以下の活動(A-C)の二つを行ってノートに書いてください。

### A 「わたしに学びなさい」

救い主は、御自分に学んで平安を得ようわたしたちを招いておられます(教義と聖約19:23。マタイ11:29も参照)。教義と聖約19章から、イエス・キリストについて学んだことを、ノートに書いてください。キリストについて述べている言葉を探して、キリストは何を語り、行われたか、また、なぜそうされたかに注意してください。主がどのように教え、人をどのように扱っておられるかについても深く考えてください。

### B マスター聖句 教義と聖約19:16-19

1. 教義と聖約19:16-19の中から大切だと思う言葉を3つ選んでください。それぞれを選んだ理由も説明してください。
2. 教義と聖約19:16-19; 1ニーファイ19:9; 2ニーファイ9:21-22; モーサヤ3:7-9; 3ニーファイ27:14-15を読んでください。イエス・キリストはどのような苦しみを、なぜ受けられたか説明してください。
3. 教義と聖約19:16-19や、この活動で出てきたほかの聖句を研究しながら感じたり思ったりしたことをノートに書き留めてください。

### C 戒めと慰めを見つける

マーティン・ハリスは、導きを求めてジョセフ・スミスのもとを訪れました。すると預言者は、マーティンのためにこの啓示を受けました(この生徒用学習ガイドの、教義と聖約19章の最初の部分を参照)。

1. ノートに二つの欄を作って、一つの欄に「戒め」、ほかの欄に「慰め」と書いてください。
2. 教義と聖約19章を調べて、戒めと慰めの言葉を見つけてください。それらをそれぞれの欄に記入します。
3. あなたの印象に残っている戒めと慰めの言葉を選んで、なぜ印象に残ったかを説明してください。



## 聖文を理解する

### 教義と聖約20章

明らかにされた(5節)	知ら	官能におぼれ(20節)	肉体的な感覚や快樂のみに関心を持つこと
虚栄(5節)	愚かなこと	中間(26節)	最も高い点
顔(6節)	容姿	義認(30節)	罪がないと宣言されること
確認され(10節)	確かめられ		

恵み (30 - 32節)	神の力	説き明かす (42, 46, 50, 59節) 詳しく説明する
聖め (31節)	清く聖なる者 となる過程	勧める (42, 46, 50, 59節) 励ます, 説得しようとする
打ち砕かれた心 (37節)	罪 に対してへりくだって心から悲 しむこと (だれが罪を犯したか にかかわらず)	罪悪 (54節) 罪, 邪悪 構成する (61, 81節) 成す
悔いる霊 (37節)	進んで神 に従うこと	権能を受けた (73節) 任命 され, 権能を与えられた
象徴 (40節)	象徴, ほかの 事物を表すもの	聖め (77, 79節) 聖なるも のとする

### 教義と聖約20:1 なぜ4月6日か



主は御自身の教会を正式に組織する日として、1830年4月6日を指定されました。ハロルド・B・リー大管長は、この日付の大切さについてこのように語りました。「1973年4月6日という日は、特別意味深い日です。それは、この日がこの神権時代における末日聖徒イエス・キリスト教会の設立を記念する日であるというだけではなく、わたしたちの救い主で

あり、主であり、指導者である、イエス・キリストの生誕を祝う日でもあるからです。」「シオンのステーキ部を堅くせよ」『聖徒の道』1973年10月号, 465参照)

### 教義と聖約20:9 モルモン書には「完全な福音」が載っている

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、次のように教えました。主がモルモン書に完全な福音が載っているとされたとき、それは「すべての教え、これまでに啓示されたすべての教義が載っているということではありません。むしろ、モルモン書には救いに必要な教義が完全な形で収められているということなのです。そして、それは分かりやすく簡単に教えられており、子供でさえも救いと昇栄の道について学ぶことができるようになっています。」「モルモン経 わたしたちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 6参照)



世の人々は、聖文と、聖文が真実であることを証する人たちをどのよう<sup>あかし</sup>に受け入れるかによって、裁かれる (教義と聖約20:8-15参照)

### 教義と聖約20:27-28 御父、御子、聖霊は「一つの神」であられる

父なる神、御子イエス・キリスト、聖霊は、3人の別々の方々です。これらの方々が一つの神であられると聖文に書いてあります。それは、神会の方々が一致しておられることを指しているのです。これらの方々は、お互いの代わりに語ることや、お互いを証することがおできになります。それは、この方々が目的と教義において一致しておられるからです。

### 教義と聖約20:38-60 ここに出てこない教会の役職について、どう考えたらよいのか

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の教えによると、主は、教義と聖約20章の中で、「教会を組織する」時点で、教会の管理に必要なことだけを啓示されたのです (Church History and Modern Revelation, 第1巻, 95)。後に与えられた啓示の中で、この啓示で述べられた職についてさらに詳しく学びます。そのときに、教会が発展するにつれて加えられたほかの職についても学びます。教会員の必要を満たすために、主は教会における義務と職を加えたり、変更したりしてこられました。また、今後もそれをお続けになります (信仰箇条1:9参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約20章を読みながら、以下の活動(A-F)の3つを行ってください。

### A モルモン書の大切さ

モルモン書の大切さについて、「教会の憲章」である教義と聖約20章の中に書かれているのは、当然のことです。預言者ジョセフ・スミスは、このように語りました。「モルモン書と啓示を取り上げてしまったら、わたしたちの信仰に何が残ると言うのでしょうか。何も残りません。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 71)

1. 教義と聖約20:8-16から、モルモン書について分かることを挙げてください。
2. 17-36節から、わたしたちがモルモン書のおかげで「知っている」教義を書き出してください。その中からあなたにとって大切な教義の一つを選んでください。なぜ大切かを説明してください。

### B 正しいの教義の大切さ

十二使徒定員会会員であるボイド・K・パッカー長老は「正しい教えを理解すれば、人の態度や行動が変わります」と教えました (『幼き子ら』『聖徒の道』1987年1月号, 18参照)。教義と聖約20:17-36には、回復された教会にとって基本的な教義が書かれています。これらの教義の中から二つを選んでください。もし人々がその教義を理解すればどうなるでしょう。その教義は、どのように、また、どうして、人々の生活に良い影響を及ぼすのでしょうか。ノートに書いて説明してください。

### C バプテスマの前の面接

1. バプテスマを受けようと決意した人には、幾つかの質問をし



ます。教義と聖約20：37を基に、どのような質問をすればよいか、書いてください。普通、改宗したばかりの人は、教会や聖文についてあまり知識がありません。そのことを考えて、何を尋ねられているかよく分かるような質問にしてください。

2. モーサヤ18：8 - 10とモロナイ6：1 - 6を読んでください。バプテスマを受けたいと思っている人に聞くとよいと思う質問を書き加えてください。

### D 表を作ろう

1. 教義と聖約20：38 - 60を読んでください。ここには、教会の様々な職と召しについて、またそれに伴う義務について、大まかに書かれています。ノートに以下の表を書き写して、これらの節から当てはまることを記入してください。
2. 表に記入した事柄から何が理解できましたか。

職または召し	義務と責任

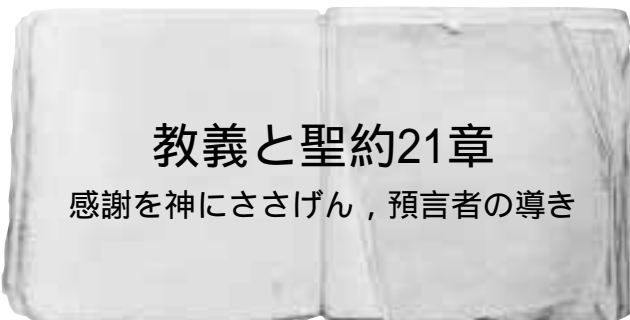
### E クイズを作ろう

教義と聖約20：61 - 84には、教会員の責任と義務が教えられています。

1. これらの聖句で教えられている大切な原則について、7問から10問のクイズを書いてください。各質問の後に答えと、答えが書いてある箇所を記入します。
2. (選択課題) クイズのコピーを家族かクラスの生徒の一人に渡して、解いてもらいます。相手が正しく答えられなかったら、正しい答えを教えてあげましょう。

### F 子供たちに教えよう

ワードか支部の初等協会(プライマリー)の子供たちに、聖餐について簡単に教えるように頼まれたとします。教義と聖約20：77, 79に記されている聖餐の祈りを、子供たちがよく理解できるように助けてあげてください。どんなふうに教えたいか、アイデアを書き出してください。子供たちは、どうすれば聖餐会の際に聖餐の大切さを感じることができるでしょうか。アイデアを書き出してください。できれば証をして、聖餐で意義深い経験をしたときのことを話すようにしてください。両親と教師にレッスンのアイデアを見せて、助言を受けてから、初等協会の集会で実際にそのレッスンを行うことを申し出てもよいでしょう。



## 教義と聖約21章 感謝を神にささげん、預言者の導き

預言者ジョセフ・スミスは教会を組織すべき日付に関して啓示を受けました(教義と聖約20章の前書きと1節参照)。それに従い、関心を持つすべての人々は1830年4月6日、ホイットマー家に集まりました。当時の州の法律では新しく宗教団体を組織するには3人以上9人以内の発起人の参加が必要とされていました。ほかに多くの人が参加していましたが、発起人として参加したのは、ジョセフ・スミス・ジュニア、オリバー・カウドリ、ハイラム・スミス、サミュエル・スミス、ピーター・ホイットマー・ジュニア、デビッド・ホイットマーの6人でした。



この集会でされた事柄の簡単な説明は、教義と聖約21章の前書きに記されています。この集會中に預言者は教義と聖約21章の啓示を受けました。

教会でよく歌われる賛美歌の一つに「感謝を神にささげん、預言者の導き」という歌があります(『賛美歌』11番)。わたしたちはなぜ感謝しているのでしょうか。21章にはわたしたちが感謝する大きな理由と、大切な勧告が幾つか記されています。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約21章

全会一致(前書き)	全員の	追い払う(6節)	散らす
同意、反対者なし		わたしにとって必要(10節)	
聖見者(1節)	過去、現在、	わたしの願い	
未来のことを知ることができる			
人(モーサヤ8：13 - 17；モーセ6：35 - 36参照)			

### 教義と聖約21：5 - 6 預言者に従うことによってもたらされる祝福

ハロルド・B・リー大管長はこのように述べました。

「今は主をお迎えする最後の神権時代です。主が御自分の教会とこの世に対する業を終えられる前に、わたしたちは困難な時期を切り抜けなければなりません。まず主を迎える備えをするために福音が回復されました。これからサタン力は強大なものとなっていでしょう。そのしるしはいたるところに見られます。……

さて、わたしたちにとって最も安全な道は、教会が設立された日に主が語られた御言葉に従うことです。わたしたちは主が預言者を通じて下される御言葉や戒めによく従わなければなりません。……

教会の幹部からのメッセージを快く思えないことがあるかもしれませんが。あなたの政治的見解や社会観と違うものもあることでしょう。またあなたの社会生活を多少なりとも犠牲にしなければならないようなメッセージがかもしれません。……



……あなたがたやわたしが安全であるかどうかは、主が御自分の教会を管理するよう任じられた人々に従うかどうかにかかっているのです。主はだれにこの教会を管理させればよいかを御存じなのです。主は決して間違えるようなことはありません。……

大管長に従いましょう。」(Conference Report, 1970年10月, 152 - 153)

## 聖文を研究する

教義と聖約21章を読みながら、以下の活動AまたはBを行いノートに記入してください。

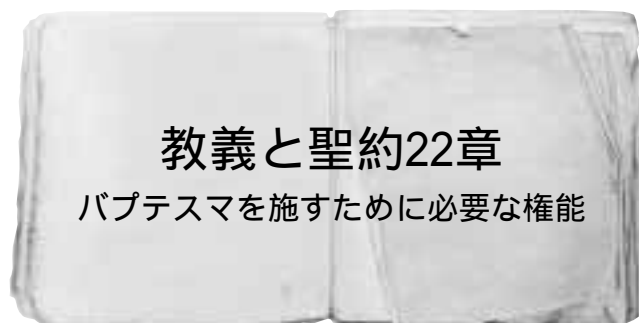
### A 預言者の役割を説明する

預言者ジョセフ・スミスに関する新聞記事を編集しようとしていて考えてください。編集長からジョセフ・スミスの教会での役割を説明するように言われました。主が教義と聖約21章の中で述べられた、預言者に対する5つの称号を記事の小見出しとします。それぞれの称号の意味と、ジョセフがその役割をどんなふうにも果たしたかを説明してください。預言者の称号を説明するために『聖句ガイド』を活用するとよいでしょう。これらの称号は、現在の生ける預言者にもそのまま当てはまります。

### B なぜ預言者に従うのか

教義と聖約21:4-9で主が教会に与えられた勧告に基づいて、以下の質問に答えてください。

- わたしたちは預言者のどの言葉を受け入れるように命じられているのでしょうか(4-5節参照)。
- 生ける預言者の言葉はどこから手に入りますか。少なくとも3つ挙げてください。
- 預言者に従うために「忍耐と信仰」(5節)を必要とする場合があります。なぜだと思いますか。
- 預言者の教えに従ったことにより、6節に述べられている祝福の一つを受けた経験を書いてください。あなた自身の経験でも、あなたの知っているほかの人の経験でもいいです。あるいは、そのような経験を扱っている記事の内容でもいいです。



バプテスマという儀式を受ければそれで神に受け入れていただけると考えている人々があります。しかし主は「イエス・キリストからバプテスマを施す権能を授けられている人」からバプテスマを受けることを求めておられます(教義と聖約20:73)。主はなぜ御自身が神権の権能を授けられた人々たちによるバプテスマだけを受け入れられるのでしょうか。教義と聖約22章を読んで、その理由を見つけてください。

## 聖文を理解する

教義と聖約22章

望んだことから(章の前書き) : 狭い(2節) 制限された  
望んだ結果

何の役にも立たない(2節)  
何の益ももたらさない

教義と聖約22:2 「モーセの律法」と「死んだ行い」

モーセの律法は、預言者モーセを通してイスラエルの子らに啓示された儀式や「しきたり」の一定の手順のことです(『聖句ガイド』「モーセの律法」259-260ページ参照)。この「古い聖約」(教義と聖約22:1)は、イエス・キリストの贖罪によって終わりました(3ニーファイ15:3-9参照)。

正しいバプテスマによって神と個人との間に「新しくかつ永遠の聖約」(教義と聖約22:1。教義と聖約20:37も参照)が結ばれます。権能のない人が行うバプテスマは「死んだ行い」です。聖約が交わされないからです。

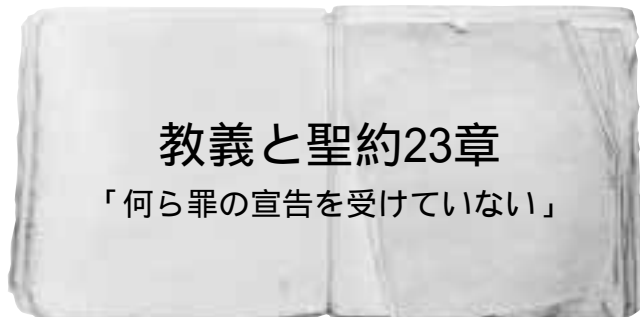
## 聖文を研究する

教義と聖約22章を読みながら、以下の活動Aを行いノートに記入してください。

### A 教義を説明する

教会員になりたいと思っている友達がいるとします。その友達はほかの教会ですでにバプテスマを受けています。そのため、なぜもう一度バプテスマを受ける必要があるのかわかりません。主はなぜ回復された正しい神権の権能を持つ人によるバプテスマを求めておられるのでしょうか。教義と聖約22章で学んだことの中

から（教義と聖約20：37，72 - 74も参照），友達<sup>の</sup>理解に役立つ  
と思うことを書いてください。



## 教義と聖約23章

「何ら罪の宣告を受けていない」



オリバー・カウドリ



ハイラム・スミス



サミュエル・スミス



ジョセフ・スミス・シニア



ジョセフ・ナイト・シニア

教会歴史におけるこの初期の時代に、自分が行うべきことについて個人的に啓示を受けたいと考えた5人の兄弟たちは、預言者ジョセフ・スミスのもとへ行きました。それぞれの兄弟に与えられた勧告には共通する事項があります。しかし、注意して読むと、幾つかの大切な部分が違っています。

## 聖文を理解する



教義と聖約23章

罪の宣告（1，3 - 5節） あることを宣言される	罪が	と説き勧める（3節） る，励ます	の 宣べ伝える
今から後（2節） 来	これから将	明らかにする（6節） る	知らせ

教義と聖約23：1 「オリバー，……<sup>こつまん</sup>高慢に気をつけなさい」

ジェームズ・E・ファウスト副管長は教義と聖約23：1の、主からオリバー・カウドリへの警告を読んだ後に、こう語りました。

「オリバーは豊かな知性に恵まれ、驚くべき霊的な祝福にあずかりました。ところが、しばらくして主の警告を忘れ、高ぶりましました。ブリガム・ヤングは後に彼の<sup>こつまん</sup>高慢に触れ、次のように語りました。

『わたしは、この王国に属し自分がいなければこの王国に発展

はないと心の底から思っている人々を見たことがある。今わたしは特にある人を思い出しているが、……その人は非常な自立心と豊かな才能に恵まれていた。その人は、預言者ジョセフにさえ何度も、自分がこの王国を去れば、これ以上の進歩はないだろうと、言わんばかりであった。その人とはオリバー・カウドリである。彼は王国を離れたが、王国は発展し、今なお反対勢力に打ち勝ち、王国に忠実な人々を守り支えている。』（「預言者の声」『聖徒の道』1996年7月号，6参照）

オリバー・カウドリは教会を去ってから10年後に戻って来て、再びバプテスマを受けました。しかし、オリバーはもし忠実であったならば受けていたはずの祝福を失ったのです。（「教義と聖約に登場する人物と用語」〔240ページ〕参照）

教義と聖約23：6 「自分の十字架を背負う」とはどんな意味か

主はこう言われました。「そして、自分の十字架を負う者は、すべての不信心とあらゆる世の欲を捨て、わたしの戒めを守らなければならない。」（ジョセフ・スミス訳マタイ16：26）

## 聖文を研究する

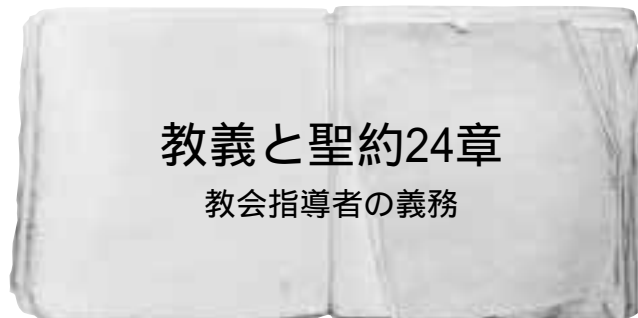


教義と聖約23章を読みながら、以下の活動Aを行いノートに記入してください。

### A 指示を比較する

教義と聖約23章を読んで、以下の質問に答えてください。

1. <sup>こつまん</sup>高慢について警告を受けたのはだれですか。この勧告が必要とされたことについて、「聖文を理解する」からあなたは何を学んだでしょうか。
2. オリバー・カウドリとハイラム・スミスの心の状態にはどんな違いがありましたか。
3. この啓示に登場する5人の中で、ジョセフ・ナイト・シニアだけはバプテスマを受けていませんでした。主が特にジョセフ・ナイト・シニアにだけ言われたことは何でしょうか。主が特にジョセフ・ナイト・シニアだけには言われなかったことがあります。それは何でしょうか。
4. 「働き人の報い」（7節）とは何でしょうか（教義と聖約4：2 - 4参照）。

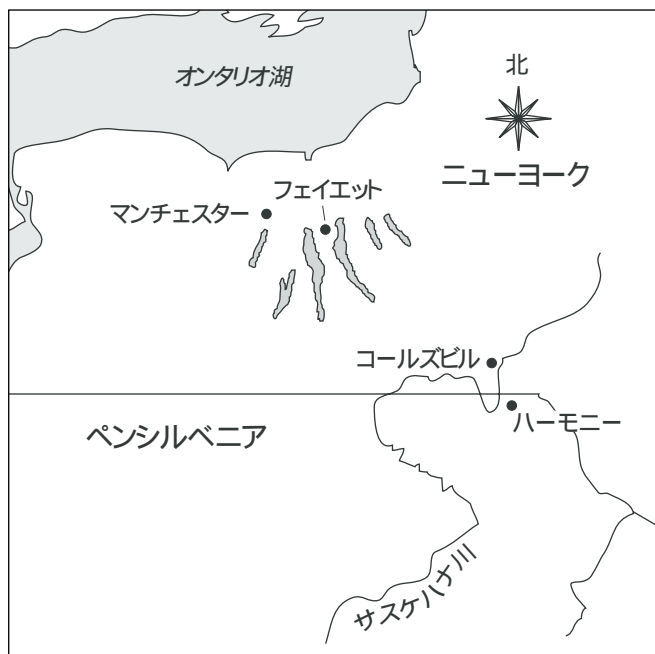


## 教義と聖約24章

教会指導者の義務

1830年7月、この時点で教会にはマンチェスター、フェイエット、コールズビルの3つの支部しかありませんでした。コールズビルで預言者ジョセフ・スミスは敵の手によって無実の罪を着せ

られ逮捕たいほされました。預言者の無実むじつは証明しょうめいされましたが、迫害はくがいは続き、教会の指導者は苦難あかしを強いられました。教義と聖約24章を読んでください。その中で、主はジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに対して教会員のために何をするように言われましたか。教会員は指導者に対して何をするように言われていますか。それらを調べてください。



を払う行為は、兄弟同士の関係を断絶し、続いて起こるかもしれない結果に対して一切責任を負わないという象徴である。ユダヤ人はこう解釈していた。この行為は、本文に引用したように主が使徒たちに指示されたことによって、非難あかしの証をする儀式となった。この神権時代にも、主は、御自身が承認された僕たちに向かって同じように命じられた。権能を授けられた者が真理を説き教えるとき、これに対して悪意をもって故意に反対する者がいれば、このように証をせよと言われたのである（教義と聖約24：15；60：15；75：20；84：92；99：4参照）。この非難の象徴を用いて、主の前に証を立てる責任なみはずは重大であるから、このような手段は主の御霊の指示に従って、並外れた極端な場合にだけ用いることが許される。」（『キリスト・イエス』338）

## 聖文を研究する

教義と聖約24章を読みながら、活動AまたはBを行ってください。

### A 預言者の義務

1. ノートの1ページを二つの欄に分けてください。一つの欄に見出しとして「預言者」と記入します。そして別の欄に「会員」と記入します。教義と聖約24：5-9を調べて、預言者と会員の義務をそれぞれ当てはまる欄に記入してください。
2. 「預言者」のリストの最後に、今日の預言者がこれらの義務をどう果たしているか説明してください。「会員」のリストの最後に、あなたがこれらの義務をどう果たしているか説明してください。

### B 主の勸告を要約する

教義と聖約24章に記されている主の勸告を簡単にまとめてください。

1. ジョセフ・スミスに対する勸告（1-9節参照）
2. オリバー・カウドリに対する勸告（10-12節参照）
3. 奇跡に関する勸告（13-14節参照）

## 聖文を理解する

### 教義と聖約24章

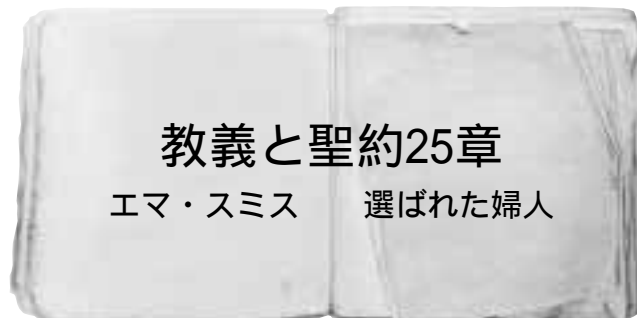
隠れて生活する（章の前書き）	ラッパの音（12節）	大胆に、
迫害のある場所を離れる	明確に	
まく（3節）	種を植える	打たれる（16節）
物質的（3節）	物理的	罰を受ける
説き明かす（5節）	説明する	あなたを法に訴える（17節）
強める（9節）	強化する	罪をなすりつける
		袋（18節）
		旅行用のバッグ

### 教義と聖約24：3，9 「務めを尊んで大いなるものとし」

トーマス・S・モンソン副管長はどのように語りました。「召しを尊んで大いなるものとするとは、どういう意味でしょうか。それは、質を高め重要性を増すこと、だれの目から見ても称賛されるものにする、範囲を広げ強さを増して、人々がその中に天の光を見いだせるようにすることです。では、どのようにして召しを尊んで大いなるものとするのでしょうか。簡単に言えば、召しに伴う奉仕を行うことです。長老は、長老としての義務を学びます。そしてそれを実行することにより、聖任された召しを尊んで大いなるものにします。これは長老だけではありません。執事、教師、祭司、監督、そのほかすべての神権の職にある人々に当てはまります。」（「神権の力」『リアホナ』2000年1月号、60参照）

### 教義と聖約24：15 「足のちりを払い落とし」

十二使徒定員会会員を務めたジェームズ・E・タルメージ長老はどのように教えました。「他人に反対する証として足からちり



教義と聖約25章の啓示を受けたとき、預言者ジョセフ・スミスがエマと結婚してから3年が過ぎていました。1827年から1830年の3年間は緊張と試練の連続でした。しかし、エマ・スミスは夫の傍らに立って、忠実に彼を支えました。この啓示の一部は、12年後の1842

リス・レモン・スウィンドル

年3月17日に、エマが扶助協会の会長に召されたときに成就しました。(History of the Church, 第4巻, 552 - 553参照)

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は女性のための中央集会でこう語りました。「〔教義と聖約25章は〕わたしの知るかぎり、特に女性に与えられた唯一の啓示です。最後の部分で主はこう言われました。『これはすべての者へのわたしの声である。』(教義と聖約25:16)ですから、このとき与えられた主の勧告は、すべての女性に当てはまります。」「(『汝もし忠実にして』『聖徒の道』1985年1月号, 86 - 87)

教会が組織されてから3か月後に主はエマ・スミスに「〔主〕にとって喜びである神聖な賛美歌の選定をする」召しを与えられました(教義と聖約25:11)。エマが編纂した賛美歌集は1835年に出版されました。この賛美歌集には、ほかの教会で使われている曲と末日聖徒が書いた曲が含まれていました。これは、その後出版された末日聖徒のすべての賛美歌集にも同じことが言えます。



## 聖文を理解する

### 教義と聖約25章

なぐさ 慰め(5節)	元気づける	とき 説き勧める(7節)	励ます
説き明かす(7節)	説明する	固く守る(13節)	しっかりとつかまる

### 教義と聖約25:7 エマが「聖任」されたとはどういう意味か

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこう説明しました。「教会が回復されて間もないころ、『聖任』という言葉は、今でいう聖任と任命の両方を指す言葉としてごく普通に使われていました。この言葉の持つ意味からして両方とも正しい使い方と言えます。当時は、神権を持つ男性は『聖任』されて支部を管理し特別な任務を果たしましたし、姉妹たちも『聖任』されて特別な義務や責任に召されました。後に、聖任という言葉と任命という言葉は明確に区別されるようになりました。現在では、男性が神権の職を付与されるときに『聖任』されると表現します。そして、ステーク、ワード、支部、伝道部、補助組織を管理するよう召されるときには『任命』されると表現します。また、姉妹たちが補助組織の会長や宣教師などの責任に召されるときも、聖任ではなく任命という言葉を使います。エマ・スミスが聖文を説き明かすよう『聖任』されたというこの一節は、彼女が神権を授けられたという意味ではなく、召しを受けてその責任に任命されたという意味なのです。扶助協会を見れば、エマの受けた聖文を説き明かして勧めるという召し実際に果たされていることが分かります。」「(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 126)

## 聖文を研究する

教義と聖約25章を読みながら、活動AとBを行ってください。

### A 戒めと約束

1. ノートの1ページを二つの欄に分けてください。一つの欄に「戒めまたは召し」という見出しを記入します。別の欄に「祝福または約束」と記入します。教義と聖約25章を調べて、主がエマ・スミスに言われたことを当てはまる欄に記入してください。
2. あなたにも当てはまる戒めと約束を一つずつ選んで書いてください。どうすればその戒めを守ることができるか、またなぜその祝福が欲しいかを書いてください。

### B マスター聖句 教義と聖約25:12

教義と聖約25:12を読んで以下の質問に答え、ノートに記入してください。

1. 主が言われた「心の歌」とはどんな意味だと思いますか。
2. 義になかった音楽と祈りはどこが似ていますか。
3. 主はどんな音楽を喜ばれないと思いますか。
4. 以下の文を読んでください。ふさわしい音楽に囲まれるようにするためには、どうすればよいでしょうか。あなた自身の生活の中で何ができるか書いてください。

「音楽は、あなたがさらに天父に近づこうと助けとなるものです。音楽は教育、啓発、感化、一致の促進のために活用することもできます。しかし、邪悪な目的のために用いられることも忘れてはなりません。音楽はそのテンポ、リズム、音の強さ、歌詞の内容などを通じて、霊的な感受性を曇らせることもあるのです。不適切な音楽で自分の心を満たすようなことをしてはいけません。音楽はわたしたちの人生の中で重要な位置を占めるものであり、大きな影響を及ぼすものです。自分が今どのような音楽を楽しんでいるのか、祈りの気持ちをもって深く考え直す必要があります。そして霊的に有害な音楽は排除してください。福音の原則に反する内容の音楽を選んではいけません。サタンのような考えをあり、罪深い行動に駆り立てる音楽、御霊を拒むような音楽を選んではいけません。どのような音楽を、どれほどの音量で聞か、よくよく考え、慎重に判断してください。」「(『若人のために』14)

## 教義と聖約26章

### 同意の律法

ワードが支部で召されただけかを支持するために、教会の集会で手を挙げる場合があります。それにどんな意味があるか考えたことがありますか。それは投票することと同じでしょうか。手を

挙げることによって、何か約束しているのだと知ったら驚きますか。



## 聖文を理解する



教義と聖約26章

強める(1節) 強化する : その地で仕事に携わる(1節)  
: 農業に従事する

### 教義と聖約26:2 「同意」とはどういう意味か

主はかつて啓示の中でこのように宣言されました。「この教会の正式に組織された支部がある所では、その教会の賛意の表明がなければ、だれもこの教会におけるいかなる職にも聖任されることはない。」(教義と聖約20:65)すべての聖任と召しに教会員の支持を求めるといふ原則は、同意の律法と呼ばれています(教義と聖約26:2参照)。十二使徒定員会会員を務めたマーク・E・ピーターセン長老は同意の原則についてこう説明しました。「同意の律法は、あらゆる種類の熱狂家や偽りの教師、偽りの指導者を排除するためにあります。それは、教会全体に対して指示を出す人は一人しかいないことを知らせるためにあるのです。その人とは、啓示によって、また教会の総大会で民の賛意の表明を受けて正式に選ばれた預言者、聖見者、啓示者のことです。」(「誠に然り『アーメン』」『聖徒の道』1974年11月号、516 - 517参照)



十二使徒定員会会員のジェフリー・R・ホルランド長老は、教会の指導者にとって賛意の表明がどれほど大切かについて語りました。「たとえ指導者自身がどのような能力の限界を感じていても、皆さんが指導者を支持して下さることに、わたしは特に感謝しています。今朝、全会一致で、皆さんは自ら進んで王国の管理役員を支持してくださいました。彼らは御業を行う鍵と責任を持っています。その中には、今いる地位を求めたり、任務を果たす十分な力量が自分にはあると考えていたりする者は一人もいません。そしてわたしジェフリー・ホルランドの名前が新しく聖任された者のいちばん最後に提議されたときでさえ、皆さんは愛を込めて賛意を表明して下さったのです。そして皆さんのその行為は、幾晩も涙を流し、眠れない夜を過ごしたわたしにとって、こう声をかけてくださったのと同じことなのです。『わたしたちを頼りにしてください。オマハやオンタリオ、大阪にいるわたしたちを頼ってください。あなたに会ったこともありませんし、あなたのことほとんど知りませんが、あなたは「使徒」の一人なのです。あなたは異国人でも宿り人でもなく、同じ神の家族なのです。わたしたちはあなたのために家族で祈り、あなたを忘れることはありません。わたしたちの力はあなたの力となり、わたしたちの信仰はあなた

の信仰を強めるでしょう。そしてあなたの果たすべき責任は、わたしたちの果たすべき責任になるのです。』(「回復の奇跡」『聖徒の道』1995年1月号、36参照)

## 聖文を研究する



教義と聖約26章を読みながら、活動Aを行いノートに記入してください。

### A 祝福と責任

教義と聖約26章と「聖文を理解する」を読んで、同意の律法があなたにどんな祝福をもたらしているか説明してください。また、賛意を表明するために手を挙げるとき、あなたはどんな責任を引き受けているかについても説明してください。



古代や、回復された教会の初期の時代には聖餐のためにぶどう酒が使われていました。現在のわたしたちは、なぜぶどう酒ではなく、水を使っているのでしょうか。イエス・キリストが再臨されるときには特別な聖餐が開かれるのを知っていましたか。そこにはだれが出席すると思いますか。教義と聖約27章を読みながら、これらの質問の答えを見つけてください。

## 聖文を理解する



教義と聖約27章

手に入れようとして(章の前書き) 得ようとして

生きて(1節) 生きた状態で

強い飲み物(3節) アルコールを含んでいる飲み物

腰に帯を締めなさい(15節) この文字どおりの意味は、走るときに足を動かしやすくするために衣をベルトにはさみ込むことである。準備のできている状態を表す象徴



教義と聖約27:5 モロナイが「鍵」を持つ「エフライムの木の記録」とは何か

主は預言者エゼキエルに2冊の書物について教えられました。1



冊は「ユダおよびその友であるイスラエルの子孫のため」の記録です。主はそれを「ユダの木」と呼ばれました（エゼキエル37：16、19）。ほかの1冊は「ヨセフおよびその友であるイスラエルの全家のため」の記録でした（16節）。ユダヤ人とは、ユダの子孫とユダ王国にいたほかの部族の子孫を指し（『聖句ガイド』「ユダヤ人」269 - 270参照）、聖書は彼らのための記録です。リーハイとその家族は、エジプトに売られたヨセフの子孫であり、モルモン書はリーハイの子孫や後にその民に加わった人たちのための記録です。モルモン書の民の最後の預言者であり、記録保管者であったモロナイは、クモラの丘に版を埋めました（ジョセフ・スミス 歴史1：33 - 34参照）。

## 聖文を研究する

教義と聖約27章を読みながら、以下の活動（A - C）の二つを行いノートに記入してください。

### A 何が大切か

1. 教義と聖約27：1 - 4を研究してください。聖餐せいさんを受けるときに大切なこととそれほど重要でないことを挙げてください。
2. 毎週、ふさわしい状態で聖餐を受けるために、どんな準備をしたらよいと思いますか。

### B リストを作る

教義と聖約27：5 - 14には、イエス・キリストの再臨の直前に行われる大きな聖餐会について記されています。

1. 教義と聖約27：5 - 14を調べて、この聖餐会に出席する人を書き出してください。11節によると、ミカエルとはだれのことでしょうか。
2. あなたを含むほかの多くの人々も忠実であればそこに出席できると述べている聖句は何節ですか。



アダム・オンダイ・アーマンの谷

3. 教義と聖約116：1を読んで、この集會が開かれる場所の名前を書いてください。
4. 以下の聖句を読んで、教義と聖約27：5 - 14の余白に参照聖句として記入してください。ダニエル7：9 - 14；マタイ26：29；教義と聖約107：53 - 57；116：1。

### C 自分の武具を確かめる

教義と聖約27：15 - 18を読んで、以下を行ってください。

1. 特定の戒め（知恵の言葉や祈りなど）に従うことと、武具を身に着けることとは、どんな点で似ていますか。似ている点を二つノートに書いてください。
2. 5 - 14節に述べられている大きな聖餐会に出席するためには、それだけのふさわしさを身に付ける必要があります。15 - 18節に述べられているような武具を身に着けることは、そのためにどう役立つでしょうか。
3. 15 - 18節を絵に描いて、自分の部屋に飾ってください。武具の一つ一つの名前を記入してください。



## 教義と聖約28章

教会に対する啓示を受けるのは  
預言者だけである

教会全体を導く人として主が召して啓示をお授けになるのは、それぞれの時代にただ一人だけです。初期の時代の教会員はこの



オリバー・カウドリ

ことを理解していませんでした。わたしたちは皆、自分自身の個人的なことで、自分が召されている特定の責任については啓示を受けることができます。しかし、主に代わって世に語るのは預言者である大管長だけです。

ハイラム・ページはオリバー・カウドリとホイットマー家の子供たちの義理の兄弟でした。ハイラム・ページはキャサリン・ホイットマーと結婚していました。キャサリンはピーター・ジュニア、クリスチャン、ジョン、ジェイコブ、

デビッド・ホイットマーの姉妹です。オリバー・カウドリが結婚していたのもホイットマー家の一員であるエリザベス・アンでした。ハイラム・ページはモルモン書の8人の証人の一人でもありました。あるとき彼は一つの石を手に入れ、その石を通して神からの啓示を受けたと思い込んでしまいました。教義と聖約28章を読んで、この啓示はだれに向けて与えられたのか、そして、なぜ与えられたのかを調べてください。また、預言者ジョセフ・スミスの召しとオリバー・カウドリの召しの違いにも注目してください。

教義と聖約28章には、オリバーが宣教師として召されたことが記されています。オリバーは先住民であるアメリカンインディアンに福音を伝えるように召されました。またシオンが築かれる「レマン人に近い境の地〔に〕ある」州で宣教師として働く召しを受けました(9節)。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約28章

公言した(章の前書き) 主 : 同意(13節) 全体の承認張した (「聖文を理解する」教義と聖約26:2, 39ページ参照)  
レマン人に近い境の地(9節) 合衆国とインディアン特別保護区との境(合本の「地図11-12」参照)

### 教義と聖約28:1-3 教会のために啓示を受ける権利はだれが持っているか

「警告の声」と題する宣言が1913年に発表されました。ジョセフ・F・スミス、アンソン・H・ランド、チャールズ・W・ペンローズから成る大管長会は、その宣言の中でこう説明しました。

「ハイラム・ページのとき以来(教義と聖約28章)、その後も何度か、教会員を惑わす霊の現れがありました。背教して大詐欺師の餌食になった男女にこうした霊の現れが起きたこともありました。またあるときには、教会の規則と儀式と典礼を厳格に守っていると自負する人々が、偽りの霊によって道を踏み外すこともありました。偽りの霊は、あたかも神聖な力であるかのような力を発揮します〔マタイ24:24〕。このよく似た力は、『紛れもない選民』と自負する人にさえ区別がつかないほどです。サタンは自らを『光の天使』に偽ったことさえあるのです〔2コリント11:14; 2ニーファイ9:9〕。

教会の正しい啓示と一致しない場合、あるいは教会の正式な役員決定に反する場合、示現や夢、異言、預言、印象、あるいは

並外れた賜物や靈感であっても、それは神から与えられたものではありません。いくらもっともらしく思えるものであってもだめです。末日聖徒は、教会を導く指示は大管長を通して啓示によってもたらされることを理解する必要があります。忠実な会員は皆、自分と自分の家族のために、そして任命または聖任されて自分に管理を託された人々のために、聖霊の導きを受けることができます。しかし大管長を通して神から与えられた教義と一致しない事柄は、権威あるもの、あるいは信頼すべきものとして受け入れるべきではありません。」「(『歴代大管長の教え ジョセフ・F・スミス』116-117参照)

## 聖文を研究する

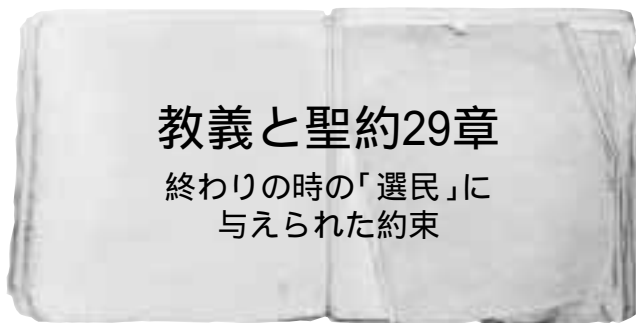


教義と聖約28章を読みながら、活動Aを行ってください。

### A だれが教会のために啓示を受けるのか

教義と聖約28章の前書きと1-7, 11-13節を読んでから、以下の質問に答えてください。

1. 預言者ジョセフ・スミスはどんな問題について「熱心に尋ね」ましたか。
2. 主はジョセフにどんな答えを与えられましたか(1-7節参照)。
3. 今日、教会全体に対する啓示は、どんな方法を通して受け入れられていますか(11-13節参照。教義と聖約26:2も参照)。
4. 今日、だれが教会全体のために啓示を受けていますか。



## 教義と聖約29章

終わりの時の「選民」に与えられた約束

終わりの時についての預言ほどわたしたちの注意を引くテーマはありません。わたしたちは終わりの時に住んでいます(教義と聖約1:4参照)。そのことを知っているわたしたちは、主がこの時代について明らかにしておられることに大きな関心を寄せる必要があります。教義と聖約29章を読みながら、再臨の前、再臨の間、そして再臨の後に起こると主が言われたことを調べてください。そして、それらの出来事のために今どんな準備ができるか見つけてください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約29章

あがな 贖いをした(1節) 代価を支払った 定め(8, 12節) 命令、戒め、律法  
危険(3節) 危険 艱難と荒廃(8節) 苦難と破壊  
弁護者(5節) 擁護者、ほかの人のために執り成しをする者 衆群(36節) 多くの入



報復する(17節) 相応の罰を下す	肉欲……官能的(35節) 俗世的
憤り(17節) 激怒, 怒り	霊的に死ぬ(41節) 神の前から締め出される
忌まわしい行いが支配することはない(21節) 邪悪によって統治されることはない	贖い(42, 44, 46節) 救い, 囚われの状態から解放される
ちり(25節) ほこり	試し(43節) 試練, 試験
物質的なもの, 現世の(31-32, 34-35節) 物的または一時的	

### 教義と聖約29:7 選民とはだれのことが

預言者ジョセフ・スミスは「選民とは特定の業を行うために選ばれた人々のことを意味する」と教えました(*History of the Church*, 第4巻, 552)。

「一般的に選民とは、教会の内外を問わず、主を愛し、主の御霊の導きに従って生活しようと全力を尽くしている人々を指します。

ジョージ・Q・キャンノン副管長はこう語りました。『全人類は救われるために選ばれています。だれでも自分から毒麦のようにふるまわないうが、毒麦にはならないのです。』(*Gospel Truth*, 第1巻, 140) 教会外には『羊』と呼ばれる選民がいます。彼らは、主なる羊飼いの声を聞き、その声に従い、教会に入ります(モーサヤ26:21-28)。宣教師が集めるように命じられている選民はこのような人々のことです(教義と聖約29:7)。(ホイト・W・ブリュースター・ジュニア, *Doctrine and Covenants Encyclopedia* [1988年], 148)



### 教義と聖約29:35-39 選択の自由とは何か。なぜそれほど神聖なのか

選択の自由とは、選んで行う自由のことです。教義と聖約29:35-39は、その自由が天の御父にとってどれほど大切に神聖なものか説明しています。御父は3分の1の子らから選択の自由を使う機会を奪うのではなく、思いどおりに悪魔に従って背くの許されました。この世の試しの生涯にいる間、わたしたちの選択の自由は奪われることはありません。

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコスキー長老は、自由に選択できる環境には幾つかの条件が必要であると説明しました。「自由に選択するためには、4つの大切な原則が必要である。(1) 律法がなければならない。それは全能の力を持つ御方によって定められた律法であり、従うことも逆らうこともできる律法である。(2) 善と悪、美德と悪徳、正義と不正など、反対のものが存在しなければならない。すなわち、互いに別の方向に影響を与える反対の勢力がなければならない。(3) 選択の自由を

享受する者は、善悪の知識を持っていなければならない。すなわち、反対のものの違いを知らなければならない。(4) 妨げられることのない選択の力がなければならない。』(*『モルモン教義』* ビーハイブ出版, 331, 一部改訂)

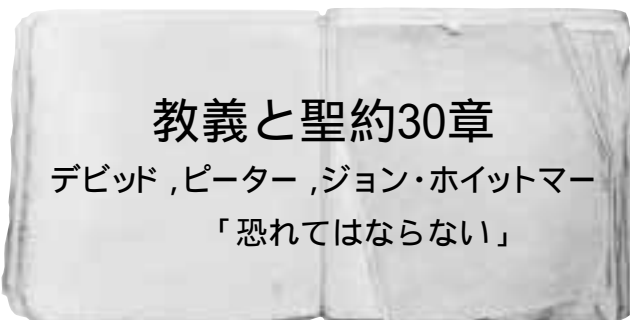
## 聖文を研究する

教義と聖約29章を読みながら、活動Aを行いノートに記入してください。

### A 教義を要約する

以下の質問から4問を選んで、教義と聖約29章で学んだ事柄に基づいて答えてください。

1. 主はどのような人々をお集めになりますか。彼らはどうやって集められますか(1-8節参照)。
2. 再臨のときにはどんなことが起こりますか(9-13節参照)。
3. 再臨の前にはどんなことが起こりますか(14-21節参照)。
4. 千年の終わりにはどんなことが起こりますか(22-30節参照)。
5. これらの聖句から、サタンと選択の自由についてどんなことがわかりますか(35-40節参照)。
6. これらの聖句から、堕落と贖いについてどんなことがわかりますか(35-40節参照)。



伝道に出て、見知らぬ人々に福音を宣べ伝えるとき、どんな気持ちがすると思いますか。すでにほかの宗教や宗派を信じている人に福音を分かち合ったことがありますか。そんなとき、心配になったり、恐れを感じたりしませんでしたか。教義と聖約30章で、ホイトマー家の兄弟たちは福音を宣べ伝える召しを受けました。主が彼ら一人一人に、恐れについて何と言われたか調べてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約30章

必要とする(5節) 適切な、望ましい	彼の受けるあらゆる試練を分かち合う
彼のあらゆる苦難を自分の苦難とし(6節) 彼から離れずに、	宣言する(9節) 明らかにする

## 教義と聖約30：1-2 「わたしから命じられていない者たちに説きつけられて」

デビッド・ホイットマーは家族とともに、ハイラム・ページが受けた偽りの啓示によって欺かれていました（教義と聖約28章参照）。

## 聖文を研究する

教義と聖約30章を読みながら、活動Aを行いノートに記入してください。

### A これはどう自分に当てはまるか

教義と聖約30章には、主が預言者ジョセフ・スミスを通じて、デビッド・ホイットマー（25歳）、ピーター・ホイットマー・ジュニア（21歳）、ジョン・ホイットマー（28歳）に与えられた勧告が記されています。30章を読んで、以下の質問に教えてください。

1. 主はホイットマー家の兄弟たちに、恐れについて何と教えられましたか。
2. 主があなたに向かって言われていると考えながら、1-2節を読んでください。このような過ちを犯さないために、あなたはどんなことをしたいと思いますか。

## 教義と聖約31章

トーマス・B・マーシュ 約束と警告

教義と聖約31章の啓示が与えられたのは教義と聖約30章とほとんど同じ時期でした（教義と聖約30章の最初の部分を参照）。主がトーマス・B・マーシュに与えられた勧告を読むと、主が御自分の子らをよく御存じであることが分かります。トーマス・B・マーシュは十二使徒定員会が初めて組織されたときに初代会長となりました。そのことを心に留めて、彼に与えられた約束と警告を読んでください。トーマス・B・マーシュは、後に預言者ジョセフ・スミスを支持できなくなります。彼は最終的に教会に対して怒りを抱き、教会から去っていきました。それは、トーマスが妻の間違いを正せなかったことが原因でした。

## 聖文を理解する

教義と聖約31章

鎌（5節） 穀物を刈り入れるための湾曲した刃物 : 報酬（5節） 支払い  
束を積まれる（5節） 穀物の束を負う（伝道活動で成功する） : ののしる（9節） 軽蔑しながらがめる

## 教義と聖約31：4-5 「すでに白くなり焼かれるばかりになっている畑」



マリリー・B・キャンベル

主は伝道活動について話すときによく収穫を象徴として使われます（ヨハネ4：35-36；教義と聖約4：4参照）。小麦などの穀物は刈り入れ時になると穂の色が白く変わります。それによって収穫時期になったことが分かるのです。この啓示が与えられた当時、人々は穀物を鎌で刈り取り、茎

を結わえて束ねていました。また穀物を刈り取った後の畑は、刈り株を取り除くために、たいてい火で焼かれていました。

これらはすべて、宣教師の伝道活動のたとえです。救い主が再臨され地球が火で焼き清められるときに備えて、宣教師は進んで福音に耳を傾ける従順な人々を収穫するのです。

## 教義と聖約31：9-13 勧告を無視するときに支払う代償。神は子らをよく知っておられる

トーマス・B・マーシュは回復の初期の時代の最も優れた指導者の一人でした。彼は何度も伝道に出ました。また1835年に初めて十二使徒定員会が組織されたときに使徒として召され、初代会長となりました。しかし、その後に家族の問題が起きて、「忍耐強くあり」、「ののしり返してはならない」、「柔和に家を治め」、「最後まで忠実でありなさい」（9、12-13節）という主の勧告に従うことができませんでした。結局トーマスは背教し、教会を離れてしまいました。マーシュ会長がミズーリ州ファーウェストに住んでいたときに起こった出来事について、ジョージ・A・スミス長老はこう説明しています。スミス長老は1839年に十二使徒に召された人です。



「当時、十二使徒会会長だったトーマス・B・マーシュの奥さんとその友人のハリス姉妹〔ジョージ・ハリスの妻〕は、お互いできるだけ大きなチーズが作れるように交互に牛乳を提供すると

いう約束を交わしていました。できるだけ公平にするため、二人は濃厚な後しぼり（牛乳をしぼり切る最後の乳。濃いうえにバクテリアが少ない）部分を事前に取り分けるのではなく、牛乳と後しぼりの両方を一緒にして分け合うことにしました。二人の女性がチーズ用の牛乳を融通し合うために決めた、ほんの小さな約束でした。

ハリス夫人は約束どおりマーシュ夫人に牛乳と後しぼりを渡しました。しかし、良質のチーズを余分に作りたいと考えたマーシュ夫人は、牛1頭につき1ポイント（約0.5リットル）ずつ後しぼりを取っておきました。そして後しぼりを取った牛乳をハリス夫人に渡していたのです。

やがて、マーシュ夫人が後しぼりを事前に取りったことが表ざたになり、この問題が教師たちのもとに持ち込まれました。調査の結果、マーシュ夫人がハリス夫人との約束を破って後しぼりを事前に取り、不正を行っていたことが明らかになりました。

ところがこの結果に異議がとなえられ、問題は監督のもとに持ち込まれました。正式な教会法廷が開かれましたが、判決はやはりマーシュ夫人が約束を破って後しぼりを不当に取りったとするものでした。

それでもマーシュ会長は納得せず、この問題をただちに高等評議会に持って行きました。高等評議会は忍耐に忍耐を重ねてこの問題を調査しました。わたしは、彼らがこの問題について真剣に検討を重ねたと確信しています。十二使徒会の会長でありイスラエルの傑出した指導者であったマーシュは、妻の面目を保つためにどんなことでもしました。しかし、マーシュ会長の必死の弁護にもかかわらず、高等評議会は監督の決定を支持しました。

この決定に従えなかった彼はとうとう、この問題を大管長会に持ち込みました。そこで預言者ジョセフと二人の副管長がその件について再び検討しましたが、やはり高等評議会の決定が支持されたのです。

この事件を見れば、ほんの小さな出来事が非常に大きな論争を引き起こし得ることが分かります。そしてトーマス・B・マーシュはとうとう、たとえ地獄へ行かなければならなくともわたしは妻の人格を擁護すると宣言してしまいました。

正義を行うべき十二使徒の会長が 家族のだれであれ間違いを犯したならば改めさせるよう率先して努めなければならない人が そのような立場を取ったのです。次に彼は何をしようか。彼は治安判事のところへ行き、『モルモン』はミズーリ州に敵対していると宣誓しました。

やがてミズーリ政府から撲滅令が出され、約1万5千人の聖徒たちが家を追われました。またその中の数千人が、撲滅令後の苦難のために命を失いました。」(Journal of Discourses, 第3巻, 283 - 284)

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は総大会でこの話を引用してから、こう述べました。「この小さなめめ事を治めなければならない人が、逆に問題を大きくしました。教会の役員を煩わせ、大管長会まで巻き込みました。そしてその結果文字どおり地獄に落ちたのです。彼は教会員としての地位を失い、福音に対する証を失いました。そして19年間、病氣と孤独に満ちた、貧困と暗黒と辛酸の道を歩んだのです。そうした苦痛から、彼は実際の年齢よりも老けて見えました。そして、救い主のたとえに出てくる放蕩息子のように（ルカ15：11 - 32参照）、自分の愚かさを認め、這うようにしてこの地にたどり着き、プリガム・ヤングに救いを求め、教会へ再加入するためにバプテスマを求めたのです。彼はこ

の神権時代の十二使徒評議会の初代会長でした。そして、カートランド時代とファーウェストの初期の時代には、人々に愛され、尊敬されていました。それが今、できることなら執事に聖任され、主の宮の門番でもいいからさせてくれるようにと言っているのです。」(「小さな行いが重大な結果を招く」『聖徒の道』1984年7月号, 140参照)

マーシュ兄弟は教会に戻ってから、自分の背教について次のように話しました。

「わたしはなぜ自分が背教するようになったのか、その原因を長い間考えました。そして出た結論は、わたしの心から主の御霊が失われていたに違いないということです。

次は、『いつ、どんなふうに御霊を失ったのか』という疑問です。わたしは預言者に嫉妬するようになっていました。それから、見方が変わりました。正しいことが目に入らず、常に悪を探し求めるようになりました。その後のわたしは悪魔の言いなりでした。肉につける思いがとても簡単に湧き上がってきました。それは怒りと嫉妬と激怒です。わたしはそれが自分の中にあることを感じることができました。わたしは怒り、激怒していました。そして、主の御霊は去っていきました。聖典に記されているように、わたしは目が見えていませんでした。わたしはジョセフ兄弟の目に梁を見ていました。しかしそれは小さなちりでしかありませんでした。目の前に梁があったのはわたしの方だったのです。」(Journal of Discourses, 第5巻, 206 - 207)

## 聖文を研究する

教義と聖約31章を読みながら、活動AまたはBを行ってください。

### A 話の準備をする

教義と聖約31章と「聖文を理解する」から学んだ事柄に基づいて、主の勧告に従うことに関する聖餐会の話を書き込んでください。

### B 家庭の夕べのレッスンをを行う

31章とトーマス・B・マーシュの生涯からどんな教訓を学ぶことができますか。教義と聖約31章と「聖文を理解する」から学んだ事柄に基づいて、家庭の夕べのレッスンを行ってください。

## 教義と聖約32章 レーマン人への伝道

教義と聖約の記録の中で、レーマン人に派遣される宣教師として主から最初の召しを受けたのは、オリバー・カウドリでした（教義と聖約28：8参照）。同じ月の1830年9月に、ピーター・ホイットマー・ジュニアはオリバーと同行する召しを受けました（教義と聖約30：5参照）。翌月、パーリー・P・プラットとザイバ・

ピーターソンは彼らに合流するよう召されました。教義と聖約32章を学習するときに、主がこれらの宣教師にどんな約束を与えられたか調べてください。「聖文を理解する」を学習すると、主の約束がどんなふうに成就したかが分かります。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約32章

懇願（章の前書き）  
祈り

けんそん  
謙遜な

軽んじてはならない（5節）  
軽々しく扱ってはならない

弁護者（3節）  
の人のために執り成しをする者

ようご  
擁護者、ほか

### 教義と聖約32：1 パーリー・P・ブラットはどんな人だったか



パーリー・P・ブラットは1830年にニューヨークで教会員になりました。これは32章の啓示を受けるちょうど1か月前のことでした。パーリー・P・ブラットは教会で多くの責任を果たしました（教義と聖約32：前書き，1-2；49：1-3；50：37；52：26；97：3-5；103：前書き，30，37；124：127-129参照）。1835年に十二使徒定員会が組織されたとき、パーリー・P・ブラットは最初の会員の一人となりました。教会は、彼が書いた多くの説教と賛美歌を出版しました。彼はソルトレーク盆地に到着した最初の開拓者の一人でした。パーリー・P・ブラットはアーカンソーで伝道中だった1857年に殺されました。

### 教義と聖約32：2-3 レーマン人への伝道はどうなったか

この宣教師の小集団は1830年から1831年にかけての冬の間、1,500マイル（約2,400キロ）を旅しました。その多くを徒歩で行

きました。彼らはニューヨーク、オハイオ、ミズーリを越えてインディアン特別保護区へ入って行き、先住民であるアメリカンインディアンに福音を紹介しました。当時、ミズーリは合衆国の西の果てであり、ミズーリの西はインディアン特別保護区となっていました。しかし彼らの最大の成功はオハイオ州カートランドの周辺で実現しました。そこには新約時代のキリスト教を待ち望んでいた大勢の人々がいました。わずか3週間で、宣教師たちは127人にバプテスマを施しました。これによって教会員数は2倍近くになったのです。（『時満ちる時代の教会歴史』79-88参照）



## 聖文を研究する

教義と聖約32章を読みながら、活動AまたはBを行いノートに記入してください。

### A 「わたしに学ぶ」にはどうすればよいか

「柔和で心のへりくだった」状態（教義と聖約32：1）と霊的な事柄を学ぶ能力にはどんな関係がありますか。あなたが理解していることをノートに記してください（教義と聖約136：32-33も参照）。

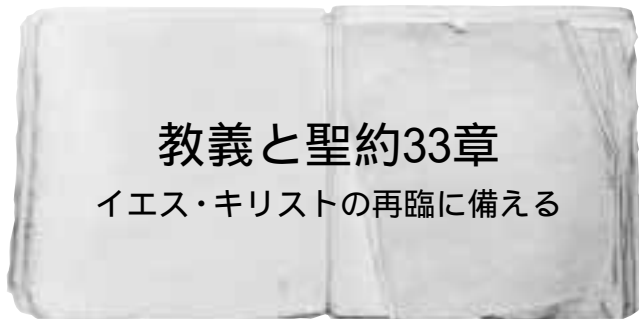
### B 「わたし自身も彼らとともに行き、彼らの中にいるであろう」

教義と聖約32：3には、主から宣教師への約束が記されていま



レーマン人のもとへ向かう宣教師の旅

す。あなたやあなたの知っている人に、この約束が成就したことはありますか。そのときのことをノートに記してください。



福音が回復された主たる目的は、神の子らを背教と俗世から導き出して、イエス・キリストの再臨に備えさせることです(教義と聖約1:12-17参照)。教義と聖約33章で、主はそのメッセージを世の人々に伝えるために、二人の男性を宣教師として召されました。この啓示を読みながら、再臨に備えるために何をしなければならぬか調べてください。また、世の人々に警告を与える業を助けている人たちに、どんな祝福が約束されているかも調べてください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約33章

断言した(章の前書き)する、真実であることを宣言する	あかし証	よこしまな(2節) 手に負えない邪悪な	
切り離す(1節) 二つに切断する		偽善売教(4節) 賞賛と個人的な利益のために説教を行う(2ニーファイ26:29参照)	
見分ける者(1節) 知る者		束を積まれる(9節) 穀物の束を積み上げられる(伝道の成功)	

教義と聖約33:17 「あなたがたのランプの芯を切りそろえて火をともし」



教義と聖約33:17には、ランプ、油、花婿という言葉が出てきます。これらは、救い主が話された10人のおとめのたとえのことです(マタイ25:1-13参照)。このたとえの中で主が教えられたことは、救い主(花婿)の来臨のときに準備のできていない人たち(明かりが消えてしまった人たちは)、主の前から締め出されるということです。

## 聖文を研究する



教義と聖約33章を読みながら、ノートを使い活動AまたはBを行ってください。

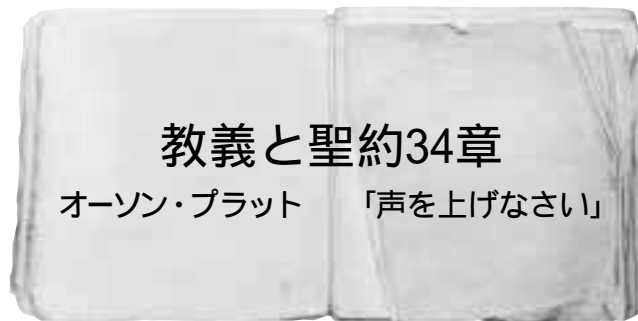
### A 節の絵を描く

主はこの啓示の中で、イメージを思い浮かべやすい言葉を多く用いておられます。教義と聖約33:3, 6-9, 13, 17から、絵に

描きやすい教えを一つ選んで、実際に絵に描いてください。聖句の言葉どおりの絵ではなく、その聖句が意味している教えを描いてください。また絵の説明文を書いて、何を描いたのか、なぜそれを描こうと思ったのか記してください。

### B 啓示を当てはめる

1. 教義と聖約33:3, 7で、主はこの世界の状態について話しておられます。これらの聖句で主は、世の中はどのような状態にあると教えておられますか。
2. 主は2節と4節でもこの世界の状態について話しておられます。2節と4節で述べられていることは、3節と7節で述べられていることと、どう違うでしょうか。



オーソン・プラットは、末日の偉大な使徒の一人になりました。教義と聖約34章の中でオーソンは、主について、また、自身についてある教えを受けました。彼が何を教えられたか調べてください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約34章

曲がったよこしまな(6節) 腐敗した	惜しんではならない(10節) 控えてはならない
--------------------	-------------------------



ショーファと呼ばれた古代ヘブライのラッパ。羊の角でできていた。

## 教義と聖約34：1 オーソン・プラット

オーソン・プラットは、兄のパーリー・P・プラットから福音のメッセージを聞きました。その後、1830年9月19日（彼の19歳の誕生日）にバプテスマを受けました。1835年に最初の十二使徒定員会が組織されたときに、二人はともに使徒に召されました。オーソン・プラットは、兄と同じく何度も伝道の召しを果しました（教義と聖約34：前書き、1 - 10；52：26；75：14；103：40；124：127 - 129；136：13参照）。オーソンはまた、宗教や科学をテーマとして多くの書物を記しました。ソルトレーク盆地に最初に到着した開拓者の中に彼もいました。オーソン・プラットは、1881年に亡くなるまで、45年以上にわたって使徒を務めました。

## 聖文を研究する

教義と聖約34章を読みながら、活動AまたはBを行ってください。

### A 二つの節を比較する

ヨハネ3：16と教義と聖約34：3を読み比べてください。御父と御子について、これらの節から分かることを1段落にまとめて書いてください。

### B イエス・キリストの再臨について分かること



- マルコ13：32 - 37を読んでください。再臨がいつ、どんなふうにかかるかについて、イエスが教えられたことを書き出してください。
- 教義と聖約34：6 - 12を調べてください。再臨について、ここから新たに分かったことをノートに記してください。「もう」、「前に」、「すぐに」という言葉に着目して説明してください。

## 教義と聖約35章

シドニー・リグドン 道を備える人

35章は、ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた啓示です。この章から分かることは、主がわたしたち一人一人を御存じだということです。主は、シドニー・リグドンの過去と未来について語っておられます。この啓示で主が語られたことに注意してください。この啓示を読むとき、主の王国で奉仕する者として主があなたをどのように備えてこられたかについて考えてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約35章

愚かさと思まわしい行い（7節）： 腰に帯を締め（14節） 準備をさせる  
 思慮のない邪悪な行い

小盾（14節） 保護するもの 乱される（25節） ほかの人々  
（通常は腕につける、小さな円形の盾） と交じり合って、区別がつかなくなる

### 教義と聖約35：2 「神の子となる」とは？

人は皆、天の御父の霊の子供です（使徒17：29；へブル12：9参照）。しかし、神ともう一度ともに住むためには、イエス・キリストの贖罪によって、霊的に生まれ変わらなければなりません（モーサヤ5：7 - 8参照）。

### 教義と聖約35：3 「わたしの僕シドニー」



シドニー・リグドンは、かつてオハイオ州カートランドで牧師をしていました。彼は祈りの気持ちでモルモン書を読みました。そして1830年に教会に入りました。シドニー・リグドンは、預言者ジョセフ・スミスの筆記者となり、1833年から1844年まで教会の副管長を務めました（教義と聖約35：前書き、3 - 6；58：50、57 - 58；71：1；76：前書き、11 - 15；90：6、21；93：44、51；102：3；124：126参照）。ジョセフ・スミスが亡くなった後、シドニーは、教会を管理する権能を十二使徒たちから不正に取り上げようとしたため、1844年9月に教会から破門されました。

### 教義と聖約35：11 「バビロンの荒廃」

バビロンは、あらゆる国民に罪と不幸をもたらしてきたこの世の邪悪の象徴です。そのような邪悪は、イエス・キリストの再臨のときに一掃されます。

### 教義と聖約35：13 「もろもろの国民を打って」とはどんな意味か

ジョセフ・スミスの時代に、打つという言葉は脱穀する（穀物ともみ殻を分ける）という意味でも使われました。旧約の時代には、硬い地面に穀物をまき散らし、その上を牛に歩かせるか（申命25：4参照）棒でたたかして（ルツ2：17参照）脱穀していました。教義と聖約35：13の主の言葉は、脱穀の様子を思い浮かせます。主はそのような言葉で、宣教師がどんなふうにか義人と悪人を分けるかについて教えておられます。宣教師は神の言葉という「棒」を使って、義人と悪人をふるいにかけるのです（1ニーファイ11：25参照）。



## 教義と聖約35：20 - 21 聖書のジョセフ・スミス訳（JS）

現代の聖書からは、もともとあったたくさんの大切な部分が失われたり変えられたりしています（1ニーファイ13：24 - 29参照）。このため、主は預言者ジョセフ・スミスに、聖書のいろいろな箇所を訂正するよう命じられました（教義と聖約35：20；41：7；45：60 - 61；73：3 - 4；93：53参照）。主は教義と聖約35章の中でシドニー・リグドンに、筆記者として預言者が口述する訂正を記録するようお願いになりました（20節参照）。この訂正作業の結果できあがった聖文はジョセフ・スミス訳聖書（JS）と呼ばれています。訂正されたものの一部は、『聖句ガイド』に収められています。ジョセフ・スミスが聖書の翻訳を進めている間、主は啓示によって聖書の多くの箇所について説明を加えられました（教義と聖約76章；77章；86章；91章；93章；113章；132章参照。モーセ；ジョセフ・スミス マタイ；この学習ガイドの「聖書のジョセフ・スミス訳」、3ページも参照）。

## 聖文を研究する

教義と聖約35章を読みながら、以下の活動（A - C）の一つを行ってください。

### A 教義を説明する

1. 教義と聖約35：2の中で、「一つ」という言葉すべてにしるしをつけてください。
2. この節に出てくる「一つ」という言葉には、どんな意味があるのでしょうか。この言葉は、天の御父と御子イエス・キリストとわたしたちの関係を教えています。どんなことが分かるかノートに書き記してください（ヨハネ17章も参照）。

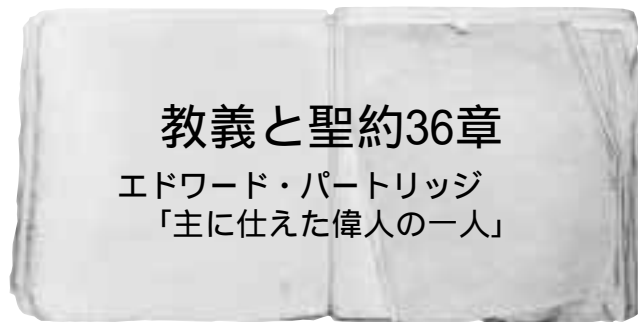
### B 「さらに大いなる業」とは？

教義と聖約35：3 - 6で、主からシドニー・リグドンに与えられた勧告を調べてください。ここでシドニーは、それまでの彼の働きに比べて「さらに大いなる業」をするよう命じられています。その業はどんな点で、「さらに大いなる」ものなのでしょう。ノートに書き記してください（「聖文を理解する」教義と聖約35：3も参照）。

### C どのように役立つか

教義と聖約35：20で主は、「わたしの選民を救うため」に聖文を与えると教えられました。21節には、わたしたちが救われるように、聖文がどんなふうに役立つかについての説明があります。以下の参照聖句と自分の考えを合わせて、聖文はわたしたちにとってどのように役立つものなのかノートに書き記してください。

1. 主の声を聞く（教義と聖約18：34 - 36も参照）。
2. 主を見る（マタイ5：8も参照）。
3. 再臨に堪える（ジョセフ・スミス マタイ1：37も参照）。
4. 清められる（モロナイ7：48も参照）。



## 教義と聖約36章 エドワード・パートリッジ 「主に仕えた偉人の一人」

主はあなたのことをほんとうによく御存じですが、あなたはそのことを信じていますか。主はほんとうにあなたを御存じなのです。36章の啓示を読むと、主がその子らのことをどれほどよく知っておられるかが分かります。教義と聖約36章を学ぶときに、エドワード・パートリッジの立場になって考えてみてください。その後で、主があなたに語りかけるとすれば、どんなことをおっしゃるか考えてみてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約36章

敬虔の模範（章の前書き）  
神に対する献身の模範

曲がった時代（6節） 反抗的、  
または導きを受けようとしていない人々

### 教義と聖約36：1 エドワード・パートリッジ

エドワード・パートリッジが回復された福音を初めて聞いたのは、1830年10月ごろのことでした。それは、レーマン人のもとへ派遣された宣教師たちがオハイオ州カートランドに立ち寄った時期です。宣教師たちはミズーリへ向かう途中でした（教義と聖約28：8；32：2 - 3参照）。しかし、エドワードは、その後数か月してもバプテスマを受けませんでした。ルーシー・マック・スミス（預言者の母親）は、エドワード・パートリッジがどのようにしてバプテスマを受ける決意を固めたかについて、次のように記しています。「その年〔1830年〕の12月に、ジョセフはわたしたちの家で集会を開きました。ジョセフが教えを



説明していると、シドニー・リグドンとエドワード・パートリッジが入ってきて席に着きました。ジョセフの説教が終わった後、意見や感想を述べたい人全員にその機会が与えられました。するとパートリッジ氏が立ち上がり、マンチェスターでの出来事について話し出しました。彼はわたしたちが宣べ伝えている教義について詳しい情報を手に入れたかったようです。しかし、わたしたちがそこにいなかったため近所の人たちに会い、わたしたちがどんな人なのか聞いたそうです。近所の人たちは『ジョセフがモルモン書のことです。それまで、スミス家の人々は非の打ち所がなかった』と言ったそうです。エドワード・パートリッジはさらにこう続けました。『〔スミス家〕の農場へ行ってみました。農場はきちんとしていて、スミス家の人々の勤勉さを証明していました。わたしは、スミス家の人々が信仰のために犠牲にしたものを、

この目で見えてきたのです。また、スミス家の人々は宗教を除けばあらゆる点で正直であったと聞きました。ですから、わたしはスミス家の人々の証を信じます。』そして、彼は『もし、ジョセフ兄弟がバプテスマを施してくださるなら、わたしは喜んでバプテスマを受けます』と言いました。』(History of Joseph Smith, 191 - 192) エドワード・パートリッジは、1830年12月11日に、ジョセフ・スミスからバプテスマを受けています。

エドワード・パートリッジは、後に教会の最初の監督となり(教義と聖約35：前書き；36：前書き，1-7；41：9-11；42：10；50：39；51：1-4，18；52：24；57：7；58：14-16，24-25，61-62；60：10；64：17；124：19参照)，ミズーリで多くの迫害を受けました。彼は忠実な教会員として1840年にイリノイ州ノーブーで47年の生涯を終えました。

**教義と聖約36：2 「わたしは……あなたにわたしの手を置こう」**

ハロルド・B・リー大管長は、十二使徒定員会会員だったときに教義と聖約36：2についてこう語りました。「ここで主は、主から権能を受けられた僕がその権能を行使して、だれかの頭に手を置いて祝福を受けるならば、それは主御自身が一緒に手を置いて儀式を執行なさったのと同じだと教えておられます。このことからわたしたちは、主がどのようにして人々の中で力を現されるかが分かります。主から権能の鍵を受けられた僕たちを通して、主の力は現されるのです。」(Be Secure in the Gospel of Jesus Christ, Brigham Young University Speeches of the Year [1958年2月11日]，6)

**教義と聖約36：6 「火から出て来て、肉によって汚されたその衣さえも忌み嫌いなさい」**

旧約聖書の時代に、主は病気が広がるのを防ぐために、病人たちに清めを受けるよう命じられました。その清めの一部として、彼らの汚れた衣服は完全に焼き尽くされました(レビ13：47-59参照)。教義と聖約36：6で主は、病気からの清めになぞらえて、罪から清められることを教えておられます(ユダ1：23；アルマ5：57も参照)。

スペンサー・W・キンボール大管長は、十二使徒定員会会員であったときにこう説明しました。「罪を捨てたいと思うなら、そうしやすい環境が整うまで持っているだけではいけません。自分からそのような環境を作り出す必要があります。汚れた衣服を忌み嫌い、罪を嫌悪するようにならなければなりません。罪を捨てるだけでなく、罪に誘う環境も変えなければならないのです。罪を犯してしまうような場所、条件、環境を避けるべきです。そうしないと、罪はすぐにまたはびこるようになります。一緒に罪を犯した人を憎む必要はないかもしれませんが、しかし、そのような人々とつきあいを続けてはなりません。また、罪に関連するものを、すべて排除しなければなりません。」(『救しの奇跡』181参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約36章を読みながら、活動AまたはBを行ってください。

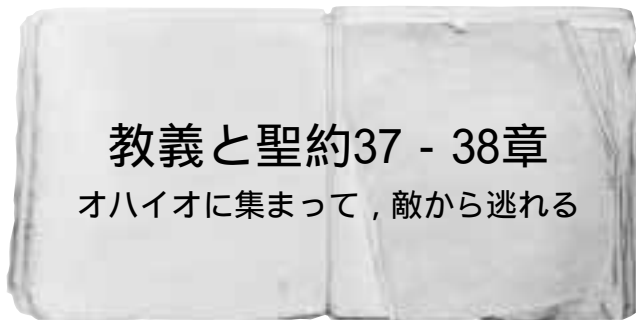
### A 日記を書く

自分がエドワード・パートリッジなら、主から教義と聖約36章

のように言われたときどのように感じるといいますか。日記を書くように、自分の気持ちをノートに書いてください。

### B 学んだことを説明する

教義と聖約36：2と、「聖文を理解する」のその聖句に関連する部分を読んでください。神権を受けることについてそこから何が分かりましたか。分かったことを書いてください。



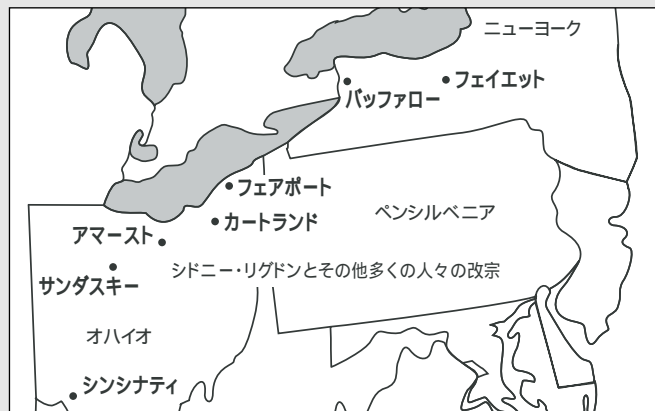
## 教義と聖約37 - 38章 オハイオに集まって、敵から逃れる

宣教師たちは、レーマン人に福音を携えていくために、ミズーリを目指していました(教義と聖約32：1-3参照)。途中、オハイオ州カートランドに立ち寄った宣教師たちは、そこで伝道に成功します。教会員の数は劇的に増加しました。わずか3週間で127人にバプテスマを施すことができました。その結果、設立後8か月の教会は、会員数が2倍近くになりました。カートランドの雰囲気は友好的でしたが、ニューヨークでは引き続き迫害が激しさを増していました。教義と聖約37-38章を読みながら、この迫害の問題を解決するために主が与えてくださった戒めと指示を調べてください。

## 聖文を理解する

教義と聖約37章

必要(1, 3節)  
適切、望ましい



教義と聖約38章

こうごうしい(1節)	天使の	支配し(12節)	治める
裂かれる(8節)	引き裂かれ	偏り見る(26節)	えこひいる
		きをする	



## 教義と聖約38：12 「毒麦を集めるために、地を刈り入れる」



この節は、麦と毒麦に関する救い主のたとえを指しています（マタイ13：24 - 30、36 - 43参照。教義と聖約86：1 - 7も参照）。

### 教義と聖約38：30 「備えていれば恐れることはない」

スペンサー・W・キンボール

大管長はこのように教えました。「わたしたちは人を教え導く備えができるよう、聖文を研究し、深く考え、学ばなければなりません。そして、自分の証を強めなければなりません。『備えていれば恐れることはない』と主はおっしゃいました。願わくば、幼いころから成長するまでずっと、補助組織、セミナー、インスティテュート、家庭の夕べ、聖餐会、その他の教えが、青少年を備え、青少年から恐れを取り除く備えとなりますように。』（「若人への言葉 今こそ準備のときである」『聖徒の道』1974年1月号、6参照）

### 教義と聖約38：32 「わたしはそこであなたがたにわたしの律法を与えよう」

この約束は、預言者ジョセフがオハイオ州カートランドで、教義と聖約42章の啓示を受けたときに成就しました。

### 教義と聖約38：32 「あなたがたはそこで、高い所から力を授けられる」

十二使徒定員会会員を務めたブレス・R・マッコンキー長老は、このように教えました。「新たな神権時代の幕開けの後、長老たちに聖霊の賜物が授けられた1831年1月ごろになると、主はエンダウメントの教義について教え始められました（教義と聖約〔38：32〕；43：16）。主はこの教義を忠実な人々のために取っておかれたのです。エンダウメントは、かつて『人の子らの間に知られていないほどの祝福』（教義と聖約39：15）です。1833年6月に主はこうおっしゃいました。『まことに、わたしはあなたがたに言う。わたしは、一つの家を建てるようにという戒めをあなたがたに与えた。わたしはこの家の中で、わたしが選んだ者たちに高い所から力を授けようと考えている。これがあなたがたへの父の約束である。それゆえ、わたしはあなたがたに、エルサレムのわたしの使徒たちのようにとどまることを命じる。』（教義と聖約95：8 - 9；105：11 - 12、18、33）（*Doctrinal New Testament Commentary*, 全3巻〔1966 - 1973年〕, 第1巻, 859）

## 聖文を研究する

教義と聖約37 - 38章を読みながら、以下の活動（A - C）の二つを行いノートに記入してください。

### A 啓示を自分の生活に当てはめる

1. ニューヨークの時代、教会に敵対する人々がいました。そのため主は、教会に何をしよう命じられましたか。
2. 今日の教会員は、別の種類の敵に直面しているかもしれません。主は、それらの敵から逃れる方法について勧告を与えら

れました。現在わたしたちは、何からどのように逃れるよう勧告されていますか。幾つか例を挙げて説明してください。

### B 友達に勧める

あなたの親しい友達が、誤った選択の結果大変なことになる悲しんでいるとしましょう。教義と聖約38：1 - 12を読んでください。この聖句には世の声よりも主の忠告に耳を傾けなければならない理由が書いてあります。その理由を、この友達のためにできるだけたくさん見つけて、書き出してください。

### C シオンの状態とシオンの資格

主は、教義と聖約38：18 - 42で預言者ジョセフに、シオン（すなわち「約束の地」）について教えられました。それは、聖徒たちが忠実であれば築くことのできる町のことです。

1. ノートを二つの欄に分けてください。片方の欄に、シオンの特徴が書いてある聖句を書き出してください。別の欄には、どうすればシオンに住むにふさわしくなるか書き出してください。
2. シオンは、現在わたしたちが住んでいる場所とはどんなふうに違うのでしょうか。またシオンに住むとどんなことがいけば嬉しいと感じるのでしょうか。1段落にまとめてください。

## 教義と聖約39 - 40章

ジェームズ・コービル  
与えられた約束と失った約束

くせや習慣を変えるのは難しいものです。なぜだと思いますか。ある習慣を変えたいと思っていても、自分の周りに誘惑するものがあつたらどうでしょう。それでも簡単に変われますか、それとも難しいですか。ジェームズ・コービルは、そのような状況にいました。ジェームズは、バプテスト派の牧師を40年にわたって務めた後で、啓示を求めて預言者ジョセフ・スミスのもとへ行きました。教義と聖約39章の中で主がジェームズに与えられた約束と警告を調べてください。それから、教義と聖約40章で、ジェームズが何を選び、どんな結果になったか調べてください。

## 聖文を理解する

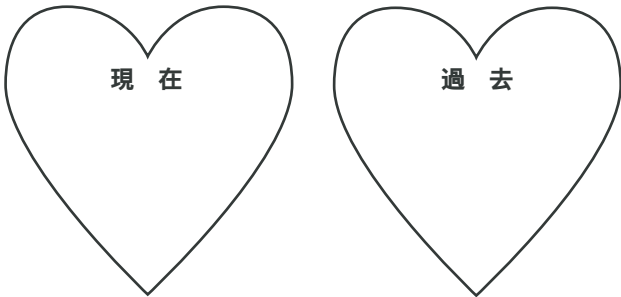
### 教義と聖約39章

中間（3節） 位置	中央または高い	聖くなる（18節） となる	聖なる者
授ける（8節）	与える	ホサナ（19節）	「直ちに救ってくださるようにと祈ります」という意味のヘブライ語
刈り込み（17節） 準備する	剪定して、		

## 聖文を研究する

教義と聖約39 - 40章を読みながら、以下の活動Aをしてください。また、BかCの一つを行ってください。

### A 悲劇的な心変わり



ノートにハートを二つ描いて、一つに「現在」、もう一つに「過去」と記入してください。

1. 教義と聖約39章の前書きと7 - 13節を読んでください。「現在」と書いたハートの中に以下のことを記入してください。主がジェームズ・コービルの心について言われたこと。主がジェームズに行うように求められたこと。

2. 教義と聖約40章の前書きと1 - 3節を読んでください。「過去」と書いたハートの中に以下のことを記入してください。ジェームズの心はどう変わったのか。なぜ変わったのか。その心変わりのために、ジェームズはどうなってしまうのか。
3. ジェームズ・コービルに起きたことと、マルコ4:3 - 9, 14 - 20のたとえを比べてください。ジェームズ・コービルの心の状態に最も近いのは、このたとえの中のどの土地でしょうか。

### B 募集広告を書く

教義と聖約39:10 - 24には、宣教師の大切な責任が幾つか記されています。新聞の「募集広告」はどんなふう書いてあるか思い出してください。この聖句の内容から、宣教師に求められる人格や能力を考えて、「専任宣教師募集」という見出しの募集広告を書いてください。

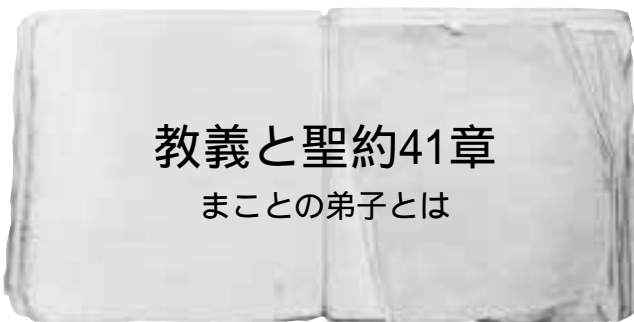
### C 物語を書く

教義と聖約40:1 - 3を読んでください。ここには、ジェームズ・コービルが主の指示に従わなかった理由が書いてあります。読み終わったら短い物語を創作してください。主人公は現代人で、ジェームズ・コービルと同じ弱点を持っています。しかしこの物語の主人公は、弱点を克服して主に従い、伝道に出ます。

## オハイオとミズーリの教会

「教会の活動がオハイオ州とミズーリ州を中心としていた時期は、教会历史上最も重要であると同時に最も悲劇的でもあった。この期間に教会管理の基となる組織が設立された。教会の根本となる多くの特色ある教義がジョセフ・スミスによって教えられ、御業は初めて海外に宣べ伝えられた。こうした発展と同時に、教会は激しい迫害に遭い、多くの生命が失われ、聖徒はひどい苦しみを受けた。

歴史的に重要な出来事がオハイオ州とミズーリ州の2か所で行った。教会の役員たちが必要に迫られて行き来したにもかかわらず、当時はまだ交通手段が未発達であったために、両者間の通信は制限を受けた。」(ヒンクレー『回復された真理』39)



### 教義と聖約41章 まことの弟子とは

預言者ジョセフ・スミスとその家族は、1831年1月から2月にかけてオハイオへ引越しました。そのころ、オハイオの教会員は

約300人に増えていました。新しい教会員の多くは、「ディサイブル派」という宗派からの改宗者でした(「ディサイブル」とは「弟子」という意味)。彼らはまだ福音をよく理解していなかったため、「幾つかの奇妙な考えや(預言者ジョセフが言うところの)偽りの霊」を教会に持ち込んできました(教義と聖約41章の前書き)。この改宗者たちは、教会員になってからも数か月間、全財産を共有する「共同保有」というディサイブル派の制度のもとで暮らしていましたが、この制度の運営方法について仲間内でもめるようになりました。これについて、ジョン・ホイットマーは次のように記しています。「ディサイブル派の人々は全財産を共有していましたが、所有物をめぐるもめ事でこの『共同保有』制度は急速に崩壊していきました。理由はこうです。彼らは聖典の記述から、一個人の持ち物は他の人々のものでもあると考えていました。そのため、衣類その他、人の所有物を持って行って勝手に使っていたのです。これが混乱と落胆の原因でした。結局、彼らは聖文をよく理解していなかったのです。」(“Church History,” *Journal of History*, 1908年1月, 50で引用)

これら初期の改宗者の中には、忠実な人が御霊からどんな影響を受けるかについて、十分に理解していない人もいました。ジョン・コリル(オハイオの初期の改宗者)は、啓示を受けたと主張する一部の人の行動にとまどっていました。「彼らは奇妙な行動をとりました。インディアンのような動きをしたかと思うと、平原まで走って行って切り株の上で説教を始めます。まるで、周

りに聴衆がいるかのように語るのです。その間、何かを示現で見ているらしく、それに完全に心を奪われていて、周りに人がいても気づかないようなのです。」(『時満ちる時代の教会歴史』94参照)



エドワード・パートリッジ

イエス・キリストの弟子になるうとする人には、どんなことが求められるでしょうか。教義と聖約41章を研究するとき、どんな人が主の弟子であり、どんな人がそうでないと主はおっしゃっているか考えましょう。主がエドワード・パートリッジについて言われたことをよく読んでください。彼は真の弟子としてふさわしい者だったと思いますか。あなたは真の弟子になりたいと思いますか。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約41章

公言しながら(1節)	信じていると主張しているが、実際にはそうでないこと	適切な(7節)	正しい
弟子(5節)	忠実に従う者	商売(9節)	帽子製造の仕事
よくない(6節)	正しくない	偽り(11節)	不正直、欺き

## 聖文を研究する



教義と聖約41章を読みながら、ノートに以下の活動AとBを行ってください。

### A なぜ弟子となることを望むのか

今日の世の中には、預言者ジョセフ・スミスの時代と同じように、イエス・キリストの真の弟子とはどんな人かということについて、様々な考えがあります。

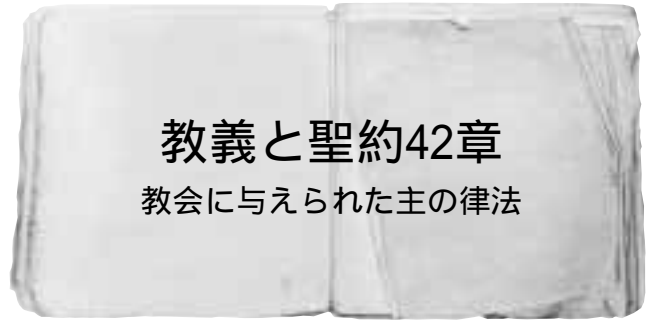
1. 教義と聖約41:1-6を読んでください。どのような人が弟子と呼ばれるかについて主が言われたことをまとめてください(教義と聖約6:32; 41:5; 52:40も参照)。
2. この聖句で学んだことから、あなたは弟子と呼ばれたいと思いますか。それはなぜですか。

### B それは今日、どのように行われているか

エドワード・パートリッジは、教会で最初に召された監督でした(教義と聖約41:9-12参照)。それ以来、大勢の忠実な男性が監督として奉仕する召しを受け入れてきました。現在の監督(支部長)または以前の監督(支部長)にインタビューをして、エドワード・パートリッジに与えられた聖句の中の特に次の言葉が、監督(支部長)にとってどんな意味を持っているか聞いてください。「わたしは……を召した」、「教会員の声」、「監督に聖任した」、「彼の心は清い」。監督(支部長)の答えをノートに書いてください。

## 教義と聖約42章

### 教会に与えられた主の律法



主はオハイオへ移るよう教会員に命じ、そこで教会員に律法を与えられました(教義と聖約38:32参照)。教義と聖約42章は、その約束の結果与えられたものです。この啓示の中では、奉獻の律法が紹介されています。あなたは奉獻の律法についてどんなことを知っていますか。この律法は、今日のわたしたちにも当てはまるでしょうか。42章を研究するとき、世の中の人すべてがこの章にある戒めに従ったら、どんな世の中になるか考えてみましょう。イエス・キリストの再臨に備えるために、もっとよく守る必要のある戒めはどれでしょうか。よく考えてください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約42章

背く(10節)	戒めに背く	とがめ(68節)	しかること、非難すること
規定(13節)	教え、指示	報酬(72節)	支払い、給与
結び合う(22節)	忠実である、誠実である	不貞(74節)	性的な罪
管理人(32節)	主人の物について責任を与えられた、信頼のおける僕	和解(88節)	再び友達になること、再び仲間になること
残余(33節)	剰余	懲らしめ(90節)	罰
秘密結社(64節)	悪を行うことを内密に合意している邪悪な人々	責める(91-92節)	しかる

### 教義と聖約42:12

#### 「完全な福音」とは何か



モルモン書には完全な福音が載っていると主は言われました。ジョセフ・フィールドディング・スミス大管長は、この意味を次のように説明しています。「モルモン書には永遠の結婚や死者のためのバプテスマについて何も記されていません。そのため、『モルモン書には完全な福音が載っている』という言葉はおかしいと思う人もいます。しかし注意して読んでみると、主はすべての原則を載せているとは言っておられません。モルモン書の中には、主の教会にとって必要なこと、福音の基本となるものがすべてあるのです。……忘れないでください。死者のためのバプテスマは新しい教義ではありません。単にバプテスマの原則を死者に適用しただけのことです。永遠の聖約についても、すべての聖典で教えられています。教会を組織するための基本原則はすべて、モルモン書の中に分かりやすく書かれています。人々を悔い改めに導くための基本原則もそうです。なお、これらの聖句に出てくる『完全な』という言葉が意味すると

ころは『十分に』ということなのです。つまり、『目的が達成できる程度に』という意味です。神は、人が神の前で昇栄するために必要な鍵と権能と原則をすべて啓示されました。けれども、もし人が神の啓示に従うなら、さらに多くの原則が明らかにされることでしょう。そのような原則が与えられていないのは、わたしたちの信仰がまだ弱く、従順さが足りないからなのです。』（3ニーファイ26：8-9参照）（*Church History and Modern Revelation*、第1巻、76-77）

### 教義と聖約42：18 殺人は赦しが得られない罪である

「2番目に重い罪は、殺人です。殺人とは、罪のない人の血を故意に流すことです。主はこの罪について次のように言われました。『あなたは殺してはならない。殺す者は、この世でも来るべき世でも、<sup>ゆる</sup>赦しを得られない。』（教義と聖約42：18）このように、殺人は『赦しを得る』ことができない罪です。つまり、この罪に関しては、イエス・キリストは律法が要求する罪の代価を支払う（または<sup>あがな</sup>贖うまたは『赦しを与える』）ことがおできにならないのです。しかしながら、殺人は赦されない罪（訳注 聖霊を否定する罪のこと）ではありません。つまり、殺人を犯した人は、ついには自分自身で代価をすべて支払い終わり、赦された者として迎え入れられるのです。では、殺人の罪を犯した人は赦しが得られない（贖われない）のはなぜでしょう。その明らかな理由を一つ挙げるとすれば、赦し（贖い）が悔い改めを基としているからです。殺人を犯した人が完全な悔い改めを行うことは、不可能です。自分が奪った命を元に戻すことができないからです。』（ダニエル・H・ラドロー、*A Companion to Your Study of the Book of Mormon*〔1976年〕、222）

### 教義と聖約42：30-39 奉獻の律法

「奉獻する」とは、特別な目的のためにささげることです。奉獻の律法は、「あらゆるものは主のものであり、主がわたしたちにくださったあらゆるものは地上に主の王国を築くために用いるべきである」と教えています（教義と聖約104：11-18参照）。教会の初期の時代に、この律法に従って生活することを選んだ会員たちがいました。彼らは、自分の金銭と財産を監督に差し出して（奉獻して）、代わりに管理の職（金銭、財産、その他を管理する責任）を得ました。監督から受け取ったものは、自分の財産となります。会員たちは自分の望みと必要を満たすためにそれを使用しました。必要以上のものを生産したときは、監督に返しました。貧しい者と乏しい者に与えるためです（教義と聖約42：30-39；51：2-9参照）。奉獻の律法が与えられたのは、利己心を克服して日の栄えの王国に住む備えができるよう、会員たちを助けるためでした（モーセ7：16-19も参照）。

しばらくの間、一部の教会員は「共同制度」という共同体において、奉獻の律法に従って生活しようとしたが、この律法を完全に守ることはできませんでした（教義と聖約105：1-5、9-13参照）。今日、わたしたちは百分の一、断食献金、教会福祉プログラム、教会の召し、ホームティーチング、家庭訪問を通して、奉獻の律法に従って生活するための準備をしています（教義と聖約119章の前書き参照）。スペンサー・W・キンボール大管長は、このように教えました。「奉獻とは、霊的、あるいは物質的に助けを必要としている人のために、また主の王国の建設のために、自分の時間と才能と財産を提供することです。福祉活動における奉獻には、会員たちが教会の生産プロジェクトで奉仕すること、デゼルト産業〔訳注 教会が経営するリサイクルショップ。寄

付によって集められた品物が、貧しい人々に安く売られている〕に所有物を寄付すること、専門的な技能を分かち合うこと、惜しみなく断食献金を納めること、ワードおよび定員会の奉仕活動に参加することがあります。また、ホームティーチングや家庭訪問でも時間を奉獻します。わたしたちは自分をささげるとき、奉獻しているのです。』（「福祉活動：福音の実践」『聖徒の道』1978年2月号、118参照）

### 教義と聖約42：46 どうして死が「甘い」のか

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、このように教えました。「幕の向こう側には、家族の再会というすばらしい出来事があり、多くの喜びがあります。そのことを忘れてはなりません。この世を離れること、つまり現世に別れを告げることは、幕の向こうの人々から見れば再会であり、故郷へ帰ることなのです。『死ぬ者を失うことで涙を流す』のはふさわしいことです。主はそのように命じておられるくらいです（教義と聖約42：45参照）。けれども同時に、主において死ぬ者は『死を味わわないであろう。死は彼らにとって甘いからである』（教義と聖約42：46）という慰め主の言葉にわたしたちは大きな慰めを得ています。』（*The Teachings of Ezra Taft Benson*〔1988年〕、33）



死は悲しいが、義人にとっては恐ろしいものではない。



「あなたは心を尽くして妻を愛し、妻と結び合わなければならない。その他のものと結び合ってはならない。」（教義と聖約42：22）



わたしたちは断食献金を惜しみなく納めることによって貧しい人を助けるために貢献できる。



教会の長老たちは病人の癒しの祝福を求められる。

## 聖文を研究する

教義と聖約42章を読みながら、ノートを使って以下の活動BとCをしてください。さらに、A、Dのうちの一つをしてください。

### A 啓示を受けるパターン

教義と聖約42：1-3で、教会の長老たちは主から約束を受けました。つまり、もし条件を満たせば、探し求めている啓示（すな

わち42章)を受けることができるという約束です。

- 1-3節を調べてください。主はこの啓示を受けるために何をするように言われましたか。それらをリストアップしてください。
- 1で挙げた行いは、家族についての啓示を主から受けようとするときに、どんなふうに役立つと思いますか。

### B 一つの大概念を選ぶ

教義と聖約42章には、聖徒に与えられた指示がたくさん記されています。以下の6つの聖句を復習し、その中から一つを選んでください。あなたが選んだ聖句に記されている指示が、今日の会員にとって大切なのはなぜでしょうか。説明してください。

- 11 - 17節
- 18 - 29節
- 30 - 39節
- 40 - 52節
- 61 - 69節
- 74 - 93節

### C シオンはどんな所？

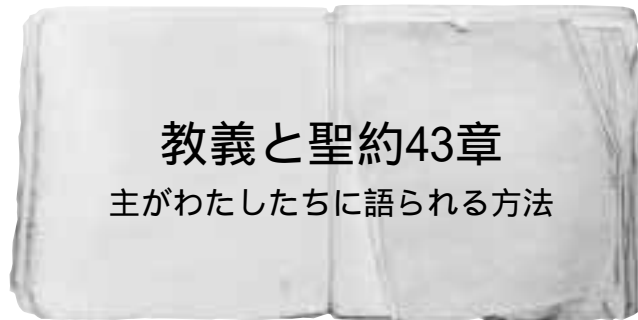
主は教義と聖約42：9、16 - 55で、新エルサレムに住む主の民がどんな生き方をすべきか説明されました。これらの聖句と「聖文を理解する」を読んで、次の活動のうち、一つを行ってください。

- このような社会に住んでいたら、あなたはどんな生き方をしているでしょうか。説明してください。今の生き方との違いを少なくとも7つ挙げてください。それぞれ、関連する聖句の節を記入してください。
- 新エルサレムに住んでいるとします。「ある日の自分」を日記風を書いてください。家庭、地域社会、学校でどんな生活を送っているかを書き、それぞれに関連する聖句の節を記入してください。

### D 表を完成させる

主は教義と聖約42：61 - 68の中で、「求める」という言葉を3回使われました。次のような表をノートに書き写してください。表の聖句を読んで、空欄を埋めましょう。

教義と聖約 42章	求めるもの	この教えはなぜ大切か
61節		
62節		
68節		



## 教義と聖約43章 主がわたしたちに語られる方法

教会が設立されて1年にもならないころ、預言者ジョセフ・スミスは教義と聖約43章の啓示を受けました。多くの会員は、啓示を受ける方法や秩序について理解していませんでした。主は、すでに啓示について教えておられました(教義と聖約21章；28章；42章参照)が、その啓示はまだ出版されておらず、会員の間で広く知られてはいなかったのです。このため、時々、啓示について正しく理解していない人がいて、混乱が生じたり、会員たちが欺かれたりすることがありました。たとえば、この啓示が与えられる少し前のことですが、オハイオ州カートランドに住むある女性は女預言者に召されたと言主張し、教会の多くの人々を自分の教えや「預言」に従わせようとしていました。

教義と聖約43章を読みながら、教会に対する啓示はどのように与えられるか調べてください。各会員の義務については、主は何とおっしゃっていますか。主は預言者を通して語られるほか、どんな方法で世の人々に語られるのでしょうか。また、主が御自身のメッセージに耳を傾けるよう望んでおられるのはなぜか、読み取ってください。

### 聖文を理解する

#### 教義と聖約43章

方針(章の前書き)	管理	眠っているもろもろの国民(18節)	死んだ多くの人々
(自分に)代わる(4節)		腰に帯を締めなさい(19節)	自分を備えなさい
(自分の)立場に立つ		束縛された者にも、自由な者にも(20節)	奴隷と自由な人がともに
門から入る(7節)	バプテスマを受け、そのほかの主の戒めに従う	暴風雨(25節)	破壊的な嵐
教化し(8節)	信仰、知識などを築き上げ	疫病(25節)	伝染病
聖める(9、11、16節)	清く、聖なる者とする	福千年(30節)	キリストが地上で統治される1,000年の期間
清め(11節)	浄化する、汚れを除く	変えられる(32節)	死んで復活する
授けられる(16節)	祝福として与えられる、賜物として与えられる	厳肅さ(34節)	神聖な物事

### 教義と聖約43：2 - 5 教会の大管長だけが教会全体のために啓示を受ける

教会における啓示の原則について、ジェームズ・E・ファウスト副管長は次のように説明しました。

「教会に対する絶えざる啓示と指導は教会の大管長を通して与えられます。」

.....個々の教会員は、自分の召しや責任範囲、また自分の家族について啓示を受けることができます。しかし、自分より高い権能を持つ人のために霊的な指示を受けることはありません。

.....すでに確立された神権の秩序または系統を無視して、教会のために神から直接啓示を受けたと主張する人は、誤ったところから導きを受けています。またそのような人に従う人々にも、同じことが言えます。」「(「預言の声」『聖徒の道』1996年7月号, 7-8参照)



教会に対する啓示は常に、神の教会を導く召しを受けている人たちを通してもたらされる。

### 教義と聖約43：31 福千年の間、サタンは縛られる

ジョージ・Q・キャノン副管長はこのように教えました。「わたしたちはサタンが縛られるという言い方をします。サタンは神の力によって縛られます。さらに、サタンに耳を傾けず、サタンに支配されないと決意する神の民によっても、サタンは縛られることでしょう。」「(Gospel Truth: Discourses and Writings of President George Q. Cannon, ジェレルド・L・ニューキスト選, 全2巻〔1957 - 1974年〕, 第1巻, 86)

## 聖文を研究する

教義と聖約43章を読みながら、ノートを使って次の活動(A-D)のうち二つを行ってください。

### A あなたなら何と言いますか

モルモン書を読んで、それが真実神の言葉であると信じると言った人が目の前にいると仮定してください。その人はさらに、霊的に特別な経験をして、教会全体が知る必要のある啓示を受けたと言っています。このような場合に欺かれないための原則を、教義と聖約43：1-7から少なくとも3つ見つけて、ノートに記録してください。あなたならその人に何と言いますか。

### B 教会の集会を効果的に開く方法

1. 教義と聖約43：8-10で主は、教会の集会やクラスに「集まるべき」に行うべきことを教えられました。主は何をなすべきだと言われましたか。それを挙げてください。
2. 聖餐会の目的についてスペンサー・W・キンボール大管長はどのように教えました。「もし、賛美歌を歌い、祈り、ふさわしく聖餐を受けるならば、たとえ話が力強いものでなかったとしても、礼拝の気持ちで深く考えながらその1時間を過ごす

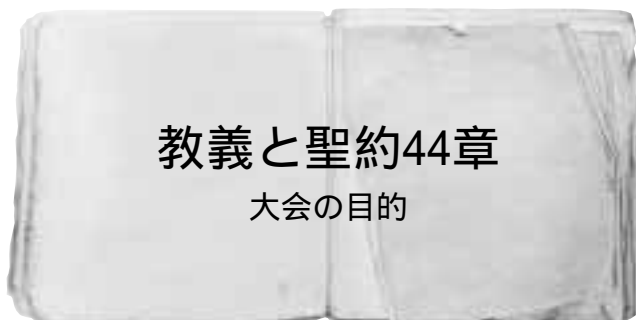
ことができます。あなたは自分の努力によって集会を価値のあるものにする責任があるのです。」「(The Teachings of Spencer W. Kimball, エドワード・L・キンボール編〔1982年〕, 514 - 515) キンボール大管長のこの勧告を考えながら、主が教義と聖約43：8-10で約束されている祝福を教会の集会で得られるようにするために、あなたにできることを少なくとも3つ挙げてください。

### C 主が話しかけられる様々な方法

1. 教義と聖約43：17-25を調べて、主が地上の人々に話しかけられる様々な方法を挙げてください。「言う」、「呼びかけ」、「告げる」という語に注目するとすぐに見つかるでしょう。
2. 主はなぜ、様々な方法を使って人々に語りかけられると思いますか。1で挙げた方法以外にも、主が語りかけられる方法があります。あなた自身の経験からそれを挙げてください。ほかの人の経験から挙げてもらってもかまいません。

### D 蓄えるべき宝を挙げる

「これらのことをあなたがたの心の中に大切に蓄えておきなさい」(教義と聖約43：34)という主の勧告を心に留めて、心の中に大切に蓄えておきたいと思う教えを教義と聖約43章の中から3つ選んで書き出し、選んだ理由も説明しましょう。書き出したものは家族や友達に見せてください。



教会の集会に出席していると仮定してください。2週間後にステーク大会があるという発表がありました。友達があなたの耳もとでこう言います。「ステーク大会があると、いつもの集会がなくなるからいやだな。ステーク大会って、何のためにあるのかな。」あなたならどう説明しますか。主は教義と聖約44章の中で、大会を開くために集まるよう教会員に命じておられます。主がここで説明されている大会を開く理由と大会からもたらされる祝福は、

今日のワード大会、支部大会、ステーク大会、地方部大会、伝道部大会、総大会にも当てはまります。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約44章

従って（章の前書き） 応じ 盟約（5節） 計画または企画で、合わせて

### 教義と聖約44：2-5 大会のもたらす祝福

ハワード・W・ハンター大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに次のように述べました。「大会は再び霊を奮い立たせる時です。神が生きておられて忠実な人々を祝福して下さるといふ知識と証が、より深く確かなものとなるからです。大会が行われる季節はまた、イエスが救い主であり生ける神の御子であられるということを確認に知り、主に仕え従おうという燃えるような決意をする時でもあります。また、指導者から人生に必要な霊的な指針を授かる時です。さらに、良い夫、良い妻、良い父親や母親、従順な息子や娘、良い友人や隣人になるために奮起し、新たな決意をする時でもあります。」（「総大会に寄せて」『聖徒の道』1982年4月号、19参照）

## 聖文を研究する

教義と聖約44章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

### A 大会の持つ力

- 主は長老たちに、大会に集まるようにという主の戒めを忠実に守るならば、ある祝福を与えると教義と聖約44：1-5で約束されました。その祝福とは何でしょうか。また、その祝福は今日の大会においてどんな形で成就しているのでしょうか。
- ワード大会、ステーク大会、および総大会で話されたことや行われたことから得た霊的な成長や、霊的な経験について書いてください。あるいは、最近開かれたワード大会、ステーク大会、および総大会で語られた大切なメッセージを短くまとめて書いてください。

## 教義と聖約45章

### イエス・キリストの再臨

イエス・キリストの再臨について考えると、どんな気持ちがありますか。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように言っています。「現在わたしたちはその時を待ち望んでいます。わたしたちはその時が来るのを希望し、祈っています。キリスト

が降臨される時、義人は喜ぶことでしょう。なぜなら地上に平和が訪れ、人々の間に正義が行き渡るからです。」（『救いの教義』第3巻、12参照）

教義と聖約45章では再臨について多くのことが明らかにされています。預言者ジョセフ・スミスは、この啓示が聖徒たちに喜びをもたらしたと語っています。当時、教会について多くの偽りの教えが語られ、記され、そのうえ教会員は迫害を受けていたからです（教義と聖約45章の前書き参照）。この啓示を読むとき、迫害を受けていた聖徒たちにこのメッセージがどれほど喜びをもたらしたか考えてください。試練を受けているときや、ほかの人々が自分や教会について悪い噂を広めているとき、この啓示からどんな喜びを得ることができるでしょうか。



## 聖文を理解する

### 教義と聖約45章

流布された（章の前書き）	芽吹き始め（37節）	葉が生
広められた	長して	
天の万物（1節）	天のあらゆる人	この場所（43節）
や物		エルサレム（イエスが最初にこの説教を行われた場所）
弁じる者（3節）	弁護する人、	この山（48節）
執り成しをする人		エルサレムを見下ろすオリブ山
旗（9節）	旗または横断幕	二つに裂ける（48節）
贖い（17、46節）	解放	二つに割れる
回復（17節）	元に戻すこと	災い（50節）
荒廃（19、21、31、33節）	破壊	災難
残りの者（24、43節）	大きなまとまりの中の小さな一部分	あざ笑った者（50節）
不法がはびこる（27節）	多くの罪悪が行われる	神聖なものをつまらないものとしてないがしろにする人々
訓戒（29節）	戒め、規則	嘆き悲しむ（53節）
時代（30-31節）	期間	深い悲しみを感じる
世を去る（31節）	死ぬ	異教の諸国民（54節）
懲らしめ（31節）	大きな破壊または苦難	福音またはキリストに耳を傾けなかった者たち
方々に（33節）	様々な場所に	避け所（66節）
		避難場所、安全な所
		恐ろしい（70節）
		手ごわい、征服できない

## 教義と聖約45:22-23 「世の終わり」

ジョセフ・スミス マタイ1:4によれば、「世の終わり」とは悪人の滅亡を指しています。

## 教義と聖約45:23-26 この預言は歴史上のどの時期を述べているか

イエス・キリストが教義と聖約45:16-59で教えておられることは、イエスの古代の弟子たちが抱いていた二つの疑問を念頭に置くと、はっきり理解できます。つまり、弟子たちは第1に、エルサレムの神殿が破壊されるのはいつか、第2に、イエスの再臨すなわち悪人が滅ぼされ、キリストが王の王として支配を始められる時 是いつなのかを知りたいと願っていました(マタイ24:3; ジョセフ・スミス マタイ1:4参照)。弟子たちはこの二つの出来事が同じ時期に起こると考えていましたが、この二つは違う時期であるとイエスはお教えになりました。教義と聖約45:18-21で救い主は神殿の崩壊を中心に教え、22-24節では二つの出来事の間隔を説明しておられます。25-53節は終わりの時と再臨についての預言であり、54-59節では福千年すなわちキリストが地上で支配される1,000年間について述べられています。

## 教義と聖約45:25-31 「異邦人の時」

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように教えました。

「主は、わたしたちが生きているこの時代を『異邦人の時』と定められました。異邦人の国民とはいわゆるキリスト教国の民のことです。南北アメリカとわたしたちの出身地であるヨーロッパの国々のことです。『異邦人の時』とは福音が世に回復されて(1830年)から、異邦人が福音を拒んだ後に再びユダヤ人の間で宣べ伝えられるときまでの期間を指します。主はこのように説明しておられます。

『また、異邦人の時が来ると、<sup>くらやみ</sup>暗闇に座する者たちの間に光がさすであろう。それはわたしの完全な福音である。

しかし、彼らはそれを受け入れない。彼らはその光に気づかず、また人の訓戒のゆえに、わたしから心をそらすからである。

そして、その時代に異邦人の時は満ちる。』(教義と聖約45:28-30。強調付加)

次のしるしから、異邦人の時が近づいてきたときに、そのことが分かることでしょう。

『その日、戦争と戦争のうわさが聞かれ、全地が混乱し、人々は気落ちするであろう。また、人々は、世の終わりまでキリストは来臨を延ばされると言うであろう。』(教義と聖約45:26-27)

人々の愛が冷え、不法がはびこるであろう。』(教義と聖約45:26-27)

『さらにまた、この王国の福音は、すべての民への証として、全世界に宣べ伝えられるであろう。それから、終わり、すなわち悪人の滅亡が来るのである。』(ジョセフ・スミス マタイ1:31) わたしたちは現在、これらのしるしが成就しているのを目にしているのではないのでしょうか。宣教師の入国が許されているすべての国の民に福音は宣べ伝えられています。教会は繁栄し、発展しています。あのサタン、全人類の大いなる敵であるあのサタンは、怒りを和らげず、残された時間がわずかであることに焦りを感じながら、わたしたちの愛するあらゆる人を滅ぼそうとしています。』(“Prepare Yourself for the Great Day of the Lord,” *New Era*, 1982年5月号, 47)

## 教義と聖約45:32 「聖なる場所」



主の弟子たちは聖なる場所に立ってれば、終わりの時の恐ろしい裁きのすべてを経験することはないと救い主は言われました。この聖なる場所とはどこにあるのでしょうか。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は次のように教えました。「聖なる男女は聖なる場所に立っています。これらの聖なる場所とはわたしたちの神殿、礼拝堂、家庭、そしてシオンのステークのことです。」(Come unto Christ [1983年], 115)

主は教義と聖約45:64-71の中で、これらの聖なる場所について多くのことを明らかにしておられます。ここで主は聖徒の集合とシオンの確立について教えておられます。

## 教義と聖約45:60-61 ジョセフ・スミスは新約聖書を翻訳したのか

教義と聖約45:60-61では、ジョセフ・スミスが翻訳した欽定訳聖書について述べられています(詳しい資料は教義と聖約35:20-21の「聖文を理解する」[48ページ]と「聖句ガイド」「ジョセフ・スミス訳」を参照)。

## 教義と聖約45:68 シオンとは何か

シオンに関する情報は「教義と聖約に登場する人物と用語」(242ページ)を参照してください。

## 聖文を研究する

教義と聖約45章を読みながら、ノートを使って以下の活動(A-E)のうち3つを行ってください。

### A なぜ耳を傾けるべきか

1. 教義と聖約45:1-15の中で、主が「耳を傾ける」よう勧められる言葉を探して、しるしを付けてください(「聴きなさい」、「聞きなさい」などの言葉も、耳を傾けよという勧めに含まれる)。わたしたちは主の声に耳を傾けよと何度言われているでしょうか。
2. イエス・キリストの声に耳を傾けなければならない理由を教えている節はどれですか。それらの節の番号を書き出してください。
3. 2で挙げた理由の中から一つ選び、それが自分にとって大切だと思う理由を説明してください。
4. あなたにとって主に耳を傾けるのが最も難しいのはどんなときですか。日々の生活の中で主に耳を傾けることができるように、2で挙げた聖句をどう役立てることができるでしょうか。

### B 情報を整理し、応用する

1. ノートに以下の表を作って、主が教義と聖約45:16-59で話されたおもな時期を空欄に記入します。各欄に、主がその時期に起きると言われた事柄を記入してください。



## 教義と聖約45章で預言されている出来事

イエスの使徒たちの時代	異邦人の時	再臨の時	福千年の時代

- 主はなぜこのようなことをわたしたちに知らされたと思いますか。
- この啓示があなたの生活の中で意味を持つ場面を少なくとも二つ考えて、説明してください。

### C メッセージを分析する

弟子たちは主が言われたことを聞いて心配したとイエスは述べておられます（教義と聖約45：34参照）。

- 教義と聖約45：26 - 34を調べ、イエスが言われたことの中で、弟子たちが悩み心配したことを挙げてください。
- 35 - 44節を読んでください。これから起こる恐ろしいことを預言されたにもかかわらず、イエスは弟子たちに「心配することはない」（35節）と言われました。なぜだと思いますか。

### D 「大いなることがあなたがたを待ち受けている」

監督または支部長から、終わりの時とイエス・キリストの再臨について話をするように頼まれたと仮定します。「終わりの時」という暗い面に焦点を当てる人が多いので、義人が待ち望むことのできる明るい面を強調してください。救い主がおいでになるときに喜びをもってお会いできるよう、どんな準備をしたらいいかについても強調してほしいのですが」と監督（支部長）は言います。この話で言いたいことを、教義と聖約45章から書き出してください。書き出した事柄にはそれぞれ参照聖句もメモしてください。



### E 悪の中で自分を守る

- 教義と聖約45：32には、主の弟子たちはどんなふうに終わりの時の悪を退けると書いてありますか。
- 主は62 - 71節でさらにどんなことを教えておられるでしょうか。
- 主が教義と聖約115：5 - 6で語られたことを読むと、さらにどんなことが分かるでしょうか。

- あなたにとって教会はどんなときに「平和の源」、「安全な場所」、「避け所」となってきたかを書いてください。



これまで学んできたように、回復された教会のごく初期の時代には、大いに感動し、決意を固めて教会に入った人が大勢いました。しかし、これら初期の改宗者たちは主の方法をよく知らなかったため、主が望まれる方法で主の教会の物事を進めるためには導きを受ける必要がありました。教義と聖約46章は集会をどのように進めたらよいのか、また信者に約束されている聖なる御霊の様々な賜物をどのように理解したらよいのかという疑問に答えるために与えられました。これらの賜物がどんなふうにして与えられるのか、賜物にはどんなものがあるのか、また賜物をどう使えばよいのかといった疑問に対する答えが、この啓示で明らかになりました。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約46章

和解する（4節）	悔い改める	自分の欲のために使う（9節）
真剣に、熱心に（5 - 6, 8節）		利己的な目的のために使う
大きな関心と注意を払って、心から		心にかなう（15節）
惜しみなく（7節）	寛大に	ふさわしい
打ち負かされる（7節）	道を	識別、見分ける（23, 27節）
迷わされる、惑わされる		違いを知って理解する、判断する

### 教義と聖約46：11 すべての人に一つの賜物与えられている

十二使徒定員会会員を務めたマービン・J・アシュトン長老はこのように述べました。

「自分には何の才能も賜物も与えられていないと決めつけるのは、人生で最も悲しむべきことではないでしょうか。わたしたちは自己嫌悪に陥ったり、落胆したりすると、自分のほんとうの姿を見失って、絶望的な気持ちになってしまうことがあります。しかし、それは自分自身にとっても、また神の目から見ても悲しむべきことです。背の高さ、教養、学校の成績、経済力、権力、容貌などを見て、自分には何の賜物も与えられていないなどと思いつくのは、不適切であり、間違ったことです。

神はすべての人に、少なくとも一つ以上の特別な才能を与えておられるのです。……神から授けられた賜物を見だし、伸ばしていくことは、わたしたち自身の責任です。わたしたちは、人間は神にかたどって造られた重要な存在であることを忘れてはなりません。確かにわたしたちは皆、神にとってもまた自分以外の人間にとっても大切な存在なのです。」（『多くの賜物』『聖徒の道』1988年1月号、20参照）

## 教義と聖約46:11-29 ここに挙がっていない霊の賜物はないのか

以下は、十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老の言葉です。「霊的な賜物は無数にあり、その種類は無限です。聖文に述べてある賜物は、神の恵みの一部分を表すものにすぎません。慈悲深い神は、神を愛し仕える者に、尽きることのない恵みを賜物という形で与えになるのです。」(A New Witness for the Articles of Faith [1985年], 371) 教義と聖約46章のほかに、1コリント12章とモロナイ10章に霊的な賜物が挙げてあります。



マービン・J・アシュトン長老は普段あまり話題にのぼらない賜物を幾つか挙げています。「……質問をするという賜物、人の話によく耳を傾けるという賜物、静かな細い声に聞き従うという賜物、涙を流すという賜物、争いを避けるという賜物、人当たりがよいという賜物、空しい言葉<sup>むな</sup>を繰り返さないという賜物、義にかなうものを追い求めるという賜物、人を裁かないという賜物、神に導きを求めるという賜物、弟子となるという賜物、人を気遣うという賜物、思いめぐらす力という賜物、祈りをささげるという賜物、力強い証を述べるという賜物、聖霊を受けるという賜物など、様々な賜物があります。」(「多くの賜物」『聖徒の道』1988年1月号, 20参照)

### 教義と聖約46:15 「様々な管理の務め」

「様々な管理の務め」とは、教会における神権指導者の管理を指しています。

### 教義と聖約46:16 「種々の働き」

「種々の働きを知る」とは霊的な現れが主からのものかどうかを知ることです(ジョセフ・スミス マタイ1:22も参照)。

### 教義と聖約46:24-25 異言の賜物と異言を解釈する賜物

ここに出ているのは教会の中で最もよく見ることのできる賜物です。伝道活動において、宣教師は外国語を学ぶときに、求道者は福音を理解したり、証を得たりするときにこの賜物の現れを経験します。預言者ジョセフ・スミスは次のように教えました。

「異言は、<sup>ごじゅんせつ</sup>五旬節の日のときのように、言語の分からない人々の間に教えを説くという目的のために与えられるものです。ですから、教会員に異言を解釈できるように教える必要は特にありません。というのは、聖霊を受けた人が神について語るときには常に異言で語るというわけではなく、母国語で語ることもできるからです。人はしるしを見たからといって信仰を持つようになるわけではないのです。神の言葉を〔自分の母国語で〕聞いてこそ、信仰を持つようになるのです。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 148 - 149)

## 聖文を研究する

教義と聖約46章を読みながら、ノートを使って次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A 主の答えを見つける

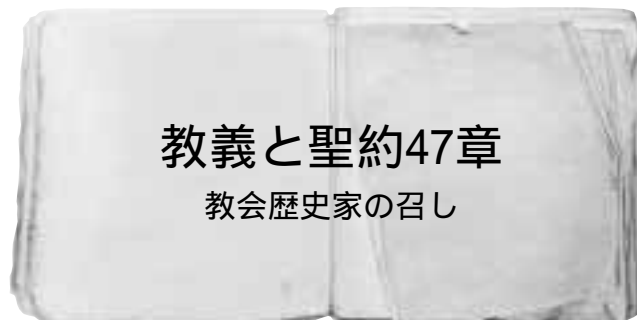
1. 教義と聖約46章の前書きを読んでください。主はこの啓示の中でどのようなことについて勧告を与えておられるでしょうか。
2. 1-8節で、主はこれらのことについてどのような勧告を与えておられるでしょうか。
3. 主が3ニファイ18:28-32で教えておられることから、さらにどんなことがわかりますか。

### B 新会員が理解できるように助ける

教義と聖約46章で説明している御霊<sup>みたま たまもの</sup>の賜物についての教えの中で、新会員が理解すべきだと思う大切な概念を3つ挙げてください。その概念が記されている節をそれぞれ記入し、それを選んだのはなぜか、簡単にノートに書いて説明してください。

### C 賜物を求める

1. 教義と聖約46:8-12から、御霊の賜物について主がわたしたちに理解するよう望んでおられる事柄を挙げてください。
2. 13-27節に記されている御霊の賜物と、11-29節の「聖文を理解する」に載っているアシュトン長老が挙げた御霊の賜物についてよく考えて、あなたが得たいと思う賜物を二つ挙げてください。主が8-12節で言われたことを考えながら、その賜物を得たいと思うのはなぜか説明してください。



## 教義と聖約47章

教会歴史家の召し

教会が組織された日以来、主は記録と歴史を記すよう命じてこ

られました（教義と聖約21：1参照）。わたしたちは記された書物と記録によって裁かれると聖典は教えています（黙示20：12；教義と聖約128：7参照）。アダムの時代以来、正確に記録された歴史は、福音を教えたり、証を築いたりするための大切な資料となってきました（モーセ6：5-6、45-46；1ニーファイ3：19-20；モーサヤ1：2-5参照）。教会歴史家として召されたジョン・ホイットマーに与えられた教義と聖約47章を読みながら、大切な歴史を残すことについてのこの啓示を、自分にどう当てはめたらよいか、考えてください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約47章

この職（章の前書き） この正式な（1節） 一貫した、正確な  
 必要（1-2節） 適切である、望ましい

## 聖文を研究する



教義と聖約47章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

### A 書き残すものは何かを知る

1. 教義と聖約47章によれば、ジョン・ホイットマーは、歴史として何を書き残すべきか、どんなふうに知らされるのでしょうか。
2. あなたはほかの人が書き残した歴史記録から、どんな祝福を受けてきましたか。
3. あなたが記す記録は、ほかの人にとってどんな祝福になるのでしょうか。



スペンサー・W・キンボール大管長は次のように勧告した。「日記帳を用意して生涯の記録を書き留めてください。永遠にわたって天使たちがその記録から引用することもあり得るのです。今日から始めましょう。生活のあれこれや心に深く考えていること、達成したことや成功、失敗、人との交わり、印象に残ったこと、そして自分の証を、そこにつづってください。」（『永世にわたる記録』『聖徒の道』1977年6月号、301参照）



## 教義と聖約48章 カートランドで土地を購入する

1830年12月に与えられた啓示に従って、教会員はオハイオ州カートランドに続々と集まって来ました（教義と聖約37章参照。教義と聖約38章も参照）が、指導者たちにはそこがシオンの地でないことが分かっていました。そうは言っても、シオンがどこに築かれるのか、知っていたわけでもありませんでした。教会員はカートランドにいつまで滞在する予定だったのでしょうか。この滞在は短期間で、間もなくシオンへ移動するのでしょうか。教義と聖約48章は、これらのことについて預言者ジョセフ・スミスが尋ねた結果、与えられた啓示です。この啓示から（そして聖典中のそのほかたくさんの方の啓示から）主が物質的な事柄についても勧告を与えられることと、物質的な事柄がしばしば霊的な事柄に影響を及ぼすことが分かります。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約48章

手順（章の前書き） 計画されて 分け与える（2節） 与える、分かち合う  
 入手する（章の前書き） 手に入る、購入する 東部の兄弟たち（2節） ニューヨークとペンシルベニアからオハイオへやって来る教会員  
 あなたがたの住んでいる場所（1節） あなたがたの家 開始する（6節） 始める  
 あなたがたの事情にかた（1節） あなたがたの必要を最もよく満たす

### 教義と聖約48：6 集合は大管長会の指示の下に行われる

末日の聖徒の集合やシオンの建設についてわたしたちは欺かれることはありません。ハロルド・B・リー大管長はこのように語りました。「主は集合の業を導く責任を教会指導者の手にはっきりと委ねておられます。主は、将来起こる集合の場所と時について教会指導者らに御心を明らかにされます。……主がふさわしい役員に啓示をお与えになるのですから、〔教会員は〕その指示が知らされるまで、心を騒がせるべきではありません。」（Ye Are the Light of the World [1974年], 167）

## 聖文を研究する



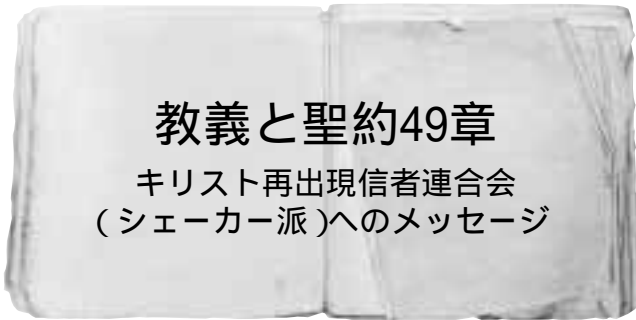
教義と聖約48章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

### A 答えを見つける

教義と聖約48章の前書き、1-6節を読んで、以下の質問に答え

てください。

1. オハイオ州カートランドが聖徒の最終的な集地の地ではないことは、主のどの言葉から分かりますか。
2. 主は聖徒たちに何を行うように言われましたか。
3. 聖徒たちは何のためにお金を使いましたか。
4. 主は聖徒たちが「彼らがよいと思うままに」(3節)自分で決めることについて、何とされましたか(教義と聖約58:26-29; 62:4-5も参照)。



## 教義と聖約49章

キリスト再出現信者連合会  
(シェーカー派)へのメッセージ

「何を信じるかは関係ないね。立派な生活が送れたら、それでいいのさ」と人に言われたら、あなたはどうか答えますか。人が信じていることは、その人の生き方に影響を与えないでしょうか。別の宗教を信じるようになったら、わたしたちはどんな行動をとるようになるのでしょうか。永遠の真理を理解していることによって、あなたの生き方はどんな影響を受けていますか。

教義と聖約49章の前書きにあるように、キリスト再出現信者連合会(シェーカー派)はオハイオ州カートランド付近に大勢の信者を持つ宗教団体でした。この章の前書きには、彼らの信条の一部が回復された福音とどんなふうに違っていたかが説明されています。主が教義と聖約49章の中で強調された教義を読みながら、真理を知ると人の生き方がどれほど変わるか考えてください。



初期のシェーカー教徒の集会

## 聖文を理解する

教義と聖約49章

独身生活(章の前書き) 結  
婚しないこと、または性的関係  
を持たないこと

拒絶された(章の前書き)  
承認されなかった

彼らと論じる(4節) 彼らに  
理解できる方法で真理を説明する  
欲するまま(6節) 望むまま  
あるいは選ぶまま

高ぶっている、高くなる(10、  
23節) 高い所(地位)にある  
創造の目的にかなう(16節)  
創造された目的を成し遂げる  
満たされる(17節) いっぱ  
いになる  
食べてはならない(18節)  
食べるのを控えなければならない

着る物(19節) 衣類  
栄える(24-25節) 祝福さ  
れる、繁栄する  
しんがり(27節) 後ろから  
守る者  
打ち破られる(27節) 恥を  
かく、混乱する

教義と聖約49:8 「聖なる人々」とはだれのことが

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、教義と聖約49:8で述べられている「聖なる人々」とは、「黙示者ヨハネや三人のニーファイ人のような人々、つまりこの時代の人ではないが、イエス・キリストの来臨のときまで特別な使命を果たすために肉体を持って地上にいる、身を変えられた人々である」と語りました(*Church History and Modern Revelation*, 第1巻, 209)

教義と聖約49:24-25 わたしたちはこの預言が成就して  
いる様を見ている

シェーカー教徒は再臨はすでに起こったと信じていました。教義と聖約49:24-25は、再臨の前に成就することになる二つの預言について述べています。この啓示が与えられたときには、どちらの預言も成就している証拠はほとんど見られませんでした。しかし今日、わたしたちはシオンが合衆国西部の丘と山々の上で栄えている様子、また、数百万のレーマン人が教会に入って、栄えている様子を目にしています。

## 聖文を研究する

教義と聖約49章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

### A 偽りの教えを正す

1. ノートの1ページを二つに分けてください。片方には教義と聖約49章の前書きにあるシェーカー教徒の信条を書き出し、もう一方に、それを正している教えを教義と聖約49章から探して書き出します。
2. 1で書き出したシェーカー教徒の信条の中から一つを選んで、その教えを正している聖句を聖書から見つけてください。その聖句を、もう一方の欄に書いた教えの隣に参照聖句として記入します。
3. この啓示のおかげで正しい教義が理解できるようになりました。これは重要なことです。なぜでしょうか。人がその心に信じていることが大切なのはなぜでしょうか。この問いに答えるために、主が教義と聖約49章の中で説明されている教義を幾つか例として挙げ、その教義が現在の自分にどんな影響を与えているか説明してください。また、永遠の将来にわたって自分にどんな影響を与えるかについても説明してください。

## 教義と聖約50章

御霊の働きを理解する

教会が回復された当時、一部のキリスト教会では御霊の賜物によって人は物理的な反応を示すと一般的に信じられていました。例えば、宗教的な集まりにおいて御霊に満たされたと感じ込んだ人々は、だれにも分からない言葉を大声で叫んだり、地面を這いずり回ったり、発作を起こしたり、気を失っている間にある種の「幻想」を経験したりしていたのです。新しく教会員となった人々は回復された福音の証を持っていましたが、必ずしも古い習慣や伝統をすぐに捨て去ったわけではなかったため、回復して間もないこの教会の集会において、以前の教会に属していたときと同様の奇妙な行動をとる会員が時々見られました。

後に十二使徒定員会の最初の一員となったパーリー・P・ブラットは、これらの奇妙な行動が気に入り、預言者ジョセフ・スミスに助言を求めました。主はそれにこたえて、教義と聖約50章に記されている啓示を預言者に与えられました。

サタンは巧みに御霊を模倣して、経験の浅い、未熟な聖徒たちを欺こうとしていました。教義と聖約50章を読みながら、欺かれないようにするための勧告を見つけてください。また御霊の影響と祝福をさらに豊かに受けることができるように、御霊の働きに関する真理を見つけてください。

### 聖文を理解する

#### 教義と聖約50章

現象(章の前書き)	普通で	ののしり責める(33節)	侮
ない出来事		辱的にあるいは高慢な態度で非	難
忌まわしい行い(4節)	不快	難する	
で邪悪な行動		捕らえられ(33節)	偽りの
偽善者(6-8節)	義にかな	霊に打ち負かされる	
っているようなふりをしてい		勧め(37節)	励ましと指示
が実はそうではない人々		妨げて(38節)	遅らせて、
敵対する者(7節)	サタン	さえぎって	
教化され(22節)	(信仰、		
徳などを)築き上げられ、強め	られ		

#### 教義と聖約50:24 完成に向かって光の中で成長する



預言者ジョセフ・スミスは次のように語りました。「わたしたちは次のように考えています。つまり、人を創造されたときに、神は人に教える理解する知力を与えられました。その知力は、天から授けられる光に対する従順さと勤勉さに応じて高められるのです。人は完成に近づけば

近づくほど視野が開け、喜びが増します。そしてついには自分の生活の中にある罪悪を克服し、あらゆる罪への思いを断ち切るようになります。そして、あの昔の人たちと同じように、造り主の力と栄光に包まれて造り主とともに住むことができるほどに、その信仰が高まるのです。しかし、瞬時にこの状態に到達できる人はいません。」(History of the Church, 第2巻, 8)

#### 教義と聖約50:30-34 霊を見分ける

主がこの啓示の中で教会員たちに勧告されているのは、霊的な影響を受けていると思われる出来事、活動、教え、人を見たとき、それが本当に神から来た影響力かどうかを見分けるために祈りなさい、ということです。正直で誠実な人には、聖霊の力によって答えが知らされます。教義と聖約6:22-24; 8:2-3; 9:7-9などの聖句も、聖霊からの影響力がどのようなものか理解するのに役立ちます。さらに、教義と聖約46章は、霊を識別する賜物について教えています。これは神権の鍵を持つ監督その他の神権指導者に与えられている賜物です。わたしたちはそのような神権指導者の勧告に従うことによって、欺かれないようにすることができます。

ジョージ・Q・キャノン副管長は次のように語りました。「主と聖約を交わす者に与えると主が約束しておられる福音の賜物の一つに、霊を識別する賜物があります。この賜物について考えたことのある人はあまりいないと思いますし、ましてやこの賜物を祈り求めたことのある人もそう多くはいないことでしょう。しかし、この賜物には大きな価値があります。すべての末日聖徒はこの賜物を受けるべきです。……すべての末日聖徒はこの賜物を受けなければなりません。なぜならこの世には、わたしたちを欺き、迷わせようとする様々な霊が存在するからです。」(Gospel Truth, 第1巻, 198)

### 聖文を研究する

教義と聖約50章を読みながら、ノートを使って次の活動Bを行ってください。また、活動A, C, Dのうち二つを行ってください。

#### A 結果を明らかにする

教義と聖約50:1-9を読んで、以下の質問に答えてください。

1. 指導者たちが心一つにして主のもとへ行ったとき、その結果として何が起こりましたか。
2. 信仰を持って堪え忍ぶと、どのような祝福が得られますか。
3. 偽善はどんな結果を招くでしょうか。

#### B 教師と生徒の役割

教義と聖約50:10-22で主は、福音の学習を霊的なものにする責任は、福音を宣べ伝える人にも教える人にもあると説明されました。

1. この聖句を調べて、福音を教える人の責任を挙げてください。
2. 教える人への責任を挙げてください。
3. 両者がその責任を果たすときにどのようなことが起きると主は言われましたか。

- この聖句で説明されていることは、偽りの教を教える人や、主に認められていない行動をとる人に欺かれないようにするために役立ちます。どんなふうに役立つでしょうか。
- この主の勧告は、あなたが現在出席している教会のクラスにどんなふうに当てはめることができるでしょうか。

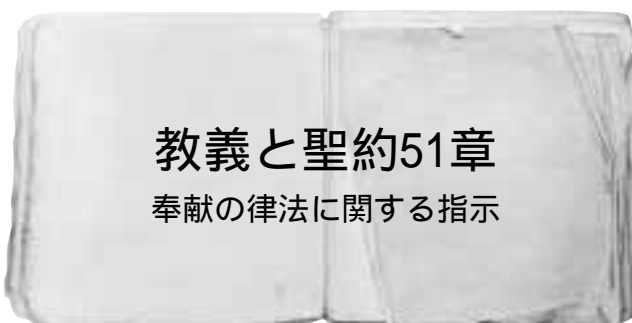


### C 象徴を説明する

- 教義と聖約50：23 - 25の中で、神は霊的な知識を何にたとえられますか。
- これがびつたりのたとえだと言えるのはなぜでしょうか。このたとえを文字どおりよく表している場面の一つ挙げてください。このたとえが霊的な意味でわたしたちの生き方にどう当てはまるかを説明してください。

### D 主に対する知識を深める

- 教義と聖約50：40 - 46で主が語られたことから、主についてのどのようなことが分かるでしょうか。(何のために与えられた啓示かをよく考えて答えてください。)
- この聖句の中から特に感動した語句か節を一つ選び、感動した理由をノートに書いてください。



主は教義と聖約48：2で、オハイオの教会員に対して、合衆国東部から来る聖徒たちのために土地を分け与えるよう命じられました。教義と聖約51章が与えられる少し前に、ニューヨーク州コ

ールズビルから一つのグループが到着しました。到着地はカートランドの近くにあるオハイオ州トンプソンです。教義と聖約49章で紹介されているリーマン・コプリーは、聖徒たちの集合に利用できるように700エーカー（283ヘクタール）以上の土地を用意していました。教会員を物質的に支援する責任者である監督は、教義と聖約41 - 42章の啓示によってすでに召されていました。エドワード・パートリッジ監督は、監督としてどんな行動をとるべきか、またトンプソンに定着するコールズビルの聖徒たちにどんな支援を与えたらよいかについて預言者ジョセフ・スミスに指導を仰ぎました。預言者ジョセフはパートリッジ監督の質問を主に尋ねました。そこで主は51章の中で、奉獻の律法についてさらに指示をお与えになりました。(奉獻の律法は教義と聖約42：30 - 55ですすでに明らかにされています。)

教義と聖約51章を研究しながら、身近な地域で助けが必要な人々のために自分にできることを考えてください。この啓示の中で明らかにされている原則は、自分のすべきことを知るうえでどう役立ちますか。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約51章

移住（章の前書き）	引越	文書をもって譲渡された（5節）	
すこと		法律上の書類に財産を記録	
		された	
受取分、その分、譲渡された分		管理人（19節）	何かについ
（3 - 5節）	土地、品物など生		て責任を持つ人
	活に必要なものの量		

### 教義と聖約51：5 「彼はそのささげ物を保有せず」

教義と聖約51：3 - 5では、人々が奉獻の律法の下で生活するとき、あらゆるものを教会に与える、つまり奉獻すると説明されています。すると監督は「各人の事情……に応じて」必要とするものを与えます（3節）。さらに、監督はその資産に対する権利証書を与えます。これは監督から受け取ったものはすべて彼らのものとなるという意味です。自分の必要を満たす以上のものを持っている人が余りを教会に差し出した場合、それは監督の倉に納められて乏しい人を助けるために使われます。5節で、これは「ささげ物」と呼ばれています。もし人が教会を離れるとしたら、証書によって譲渡された分についてはその人が所有できますが、倉に納めたものを取り戻すことはできません。



わたしたちが与える時間、労働、金銭というささげ物は貧しい人と乏しい人を援助するために監督の倉に納められる。

## 教義と聖約51：10 - 11 奉獻された金銭を「別の教会」に与える

「別の教会」とは、ほかの支部のことを指しています。ここで与えられた勧告は「コールズビル支部が所有している資産は、ほかのどの支部も所有権を主張できない」という意味です（ハイラム・M・スミスとジャン・M・ショダール, *Doctrine and Covenants Commentary*, 改訂版 [1972年], 299）。監督は、貧しい人を、その人がどの教会に所属しているかにかかわらず助けるよう勧められています。

## 聖文を研究する

教義と聖約51章を読みながら、ノートを使って次の活動AとBを行ってください。

### A どういう意味ですか

教義と聖約51：3には、すべての人が奉獻の律法の下での「平等な」受取分を受けると記されています。これはどんな意味でしょうか。

### B 今日、どのように実行しますか

1. 今日、監督は、教会の中で乏しい人をどんなふうに世話しているのでしょうか。それについて教会の指導者に尋ねてください。分かった事柄をノートにまとめましょう。
2. 教義と聖約51章に記されているような方法で貧しい人々を助けるために、自分には何ができるか説明してください。今日の教会で、「倉」とは何を意味しますか。あなたは倉に何を提供できるでしょうか。これについても説明してください。



## 教義と聖約52章

シオン、新エルサレムが  
明らかにされる

伝道の召しが届くときは、宣教師志願者とその家族や友人にと

って、とても感動的な瞬間です。1831年6月3 - 6日に開かれた大会の直後に、主は預言者ジョセフ・スミスを含む30人以上の人々にミズーリに向かって旅立つよう命じられました。彼らは別々に、福音を宣べ伝えながら旅をするよう命じられました。主は彼らがミズーリに到着したら、「受け継ぎの地」（教義と聖約52：5）を明らかにすると約束されました。彼らはそれがシオンの地、末日の新エルサレムであることを理解していました。そのような伝道の召しを受けた兄弟たちの、喜びに胸を躍らせるような気持ちを想像できますか。



教義と聖約52章で召された宣教師たちは、今日の宣教師と同じように、伝道を成功させるために指示と勧告を受ける必要がありました。主は彼らに義のふさわしい説教者となるための「規範」（14節）をお与えになりました。この勧告は、主の御心にかなった者になろうと努力するわたしたちにとって助けとなるばかりでなく、主の使いであると偽ってわたしたちを欺こうとする者たちの手から逃れるうえでも役立ちます。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約52章

聖別する（2節）	奉獻する	悔いる（15 - 16節）	悔い改
ヤコブの残りの者（2節）	イスラエルの家の一部の者たち	めて謙遜になる	
相続人（2節）	土地を相続する法律上の権利を持つ人々	教化する（16節）	（人格などを）築き上げる
もみ殻のようにふるいにかける（12節）	穀物ともみ殻を分けることに関連する語句であるが、この場合は「処分する」または「支配する力を持つ」という意味である	それぞれ別の道（33節）	別々の道
		偶像礼拝（39節）	神よりものに価値を置くこと
		速やかに（43節）	急いで

## 聖文を研究する

教義と聖約52章を読みながら、ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

### A 規範（パターン）

主は教義と聖約52：14 - 19の中で、欺きを避けるための「規範」を与えておられます。

1. この聖句を読んで、「〔主に〕受け入れられる」人あるいは「神から出ている」人が持つ特質を挙げてください。
2. これらの特質を持つ人に与えられる祝福を挙げてください。

### B 宣教師への助言

教義と聖約52章に記されている啓示は、特に伝道に召された人々に向けられたものです。主が彼らに対して言われたことの中から、現代の宣教師も学び取ることができると思う事柄を3つ挙げてください。



## 教義と聖約53章

### シドニー・ギルバートの召し

天の御父の子供たちは、それぞれ独特の賜物と才能<sup>たまもの</sup>を与えられています。人が才能や賜物を伸ばして、ほかの人々のために役立てるならば、それはすべての人にとって恵みとなります。使徒パウロは、様々な賜物と才能を人の体にたとえました(1コリント12章参照)。例えば、もしすべての人が頭だとすれば、だれが手の働きをするでしょうか。あるいは、もしすべての人が手だとすれば、だれが考えるのでしょうか。

あなたにはどのような賜物と才能が与えられているでしょうか。あなたはそれをどう使って隣人に恵みをもたらし、神の王国を築くことができるでしょうか。主は、人をその賜物と才能に応じて王国での働きに召されます。教義と聖約53章はそのことを示す一つの例です。

## 聖文を理解する

教義と聖約53章

残り(6節) ほかのこと

### 教義と聖約53:4 「この教会のために代理人とな」る

シドニー・ギルバートは、ニューエル・K・ホイットニーと共同で、オハイオ州カートランドの店を経営していました。教義と聖約53章で、彼はこの教会のために代理人となる、つまり教会のために事業を営む召しを主から与えられました。「シドニー・ギルバートは有能な事業家でした。……主は新しい地すなわちミズーリに聖徒たちを集めようとしておられました。聖徒たちは自分たちのために事業を経営してくれるシドニー・ギルバートのような人を必要としていたのです。人類に仕えるためにささげるならば、事業の才能は、いわゆる霊的な賜物<sup>たまもの</sup>と同じように良いものであり、必要なものです。この才能は、利己的な目的や欲求を満たすためだけに使われるとき、わなとなり、のろいとなるのです。主の業のために使うなら、事業の才能は祝福となります。シドニー・ギルバートは代理人として働き、教会を確立する業に貢献しました。」(スミスとショダール, *Doctrine and Covenants Commentary*, 313)



## 聖文を研究する

教義と聖約53章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

### A 王国を築くために自分の才能を役立てる

1. 主はシドニー・ギルバートを、教会のための実業家になるよう召されました。この召しにふさわしい者となるためにシドニーは何をしなければならないと主は言われましたか。
2. この勧告は、シドニーが事業を進める方法にどのような影響を与えようと思いますか。
3. 自分の才能について考えてください。主の王国に恵みをもたらすために、あなたの才能をどのように使うことができるでしょうか。



## 教義と聖約54章

### 聖約とその結果

わたしたちは主の御心<sup>みこころ</sup>を行おうと努力しています。しかし、ほかの人が従順でなかったり、悪を行ったりしたために、御心を行うことが難しくなる場合があります。これは残念なことであり、なかなか難しい問題です。例えば学びたい、聖霊を感じたいと思って教会のクラスに出席しているとします。ところが態度の悪い人や、迷惑なことをする人がいるため、期待していたような霊的経験ができないでいる、というようなことがあるかもしれません。教義と聖約54章には、主の戒めを守ろうと努力している人々にとって、ほかの人々の不従順な行いが妨げになっていたことが記されています。



この生徒用学習ガイドの教義と聖約51章の最初の部分には、ニューヨーク州コールズビルから来た聖徒たちが、オハイオ州トンプソンのリーマン・コブリーの農場で定住地を築こうとしていたことについて書いてありました。コブリー兄弟は、キリスト再出現信者連合会(シェーカー派; 教義と聖約49章参照)への伝道から帰った後、以前に交わした自分の土地を奉獻するという聖約を破って、「自分の」土地にコールズビルの聖徒たちを定住させることを拒否しました。忠実な教会員たち 特に支部長の任にあったニューエル・ナイト は、預言者ジョセフ・スミスを通して、この状況について主の導きを求めました。教義と聖約54章と教義と聖約56章はその答えとして与えられたものです。



## 聖文を理解する



### 教義と聖約54章

しっかりと立たなければならぬ(2節) 忠実でなければならぬ、仕え続けなければならない

悔いる(3節) 罪を悔いて、進んで(主に)従う

むなしくなり(4節) 有効でなくなる、拘束力を持たなくなる  
かんなん 艱難(10節) 問題、苦難

## 聖文を研究する



教義と聖約54章を読みながら、ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

### A 背景を正しく理解する

教義と聖約54章の歴史的背景を復習してください(章の前書きとこの学習ガイドの最初の部分を参照)。1節で主は、どのように御自身を紹介してられるかに注意してください。

1. 主はこのように御自身を紹介することによって、リーマン・コブリーとコールズピルの聖徒たちにどのようなメッセージを伝えておられると思いますか。
2. 主がこのような御方であることを正しく理解していると、あなたの言葉遣いや、考え、行動はどう変わってくるのでしょうか。

### B 聖約の大切さ

教義と聖約54章では、聖約についてどのようなことが教えられているでしょうか。啓示が与えられた歴史的背景を考えながら、答えを書いてください。

## 教義と聖約55章

### ウィリアム・W・フェルプスに与えられた召し

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように教えました。「自分の命をささげて神の御心をなそうとする人は、神が、当のわたしたちが考えている以上に、わたしたちの能力を引き出して多くのことを成し遂げられることに気づくでしょう。神はそのような人々に対して、さらに大きな喜びと展望を与え、また理解力を増し加え、肉体を強め、精神を高め、祝福を豊かに注ぎ、さらに多くのすばらしい機会を授け、慰め、友人、平安を与えてくださることでしょう。」(「イエス・キリスト：賜とわたしたちへの期待」『聖徒の道』1987年12月号、4) あなたの持っている賜物と才能がどのようなものであるかにかかわらず、主の助けによって、主の業のために使うときに、それらはさらにすばらしいものとなります。

教義と聖約55章の啓示は、ウィリアム・W・フェルプスに向けて与えられたものです。この啓示を読むときに、主が彼に何をを行うよう勤めておられるか、また主がフェルプス兄弟の才能をどのように使おうとしてられるかに注目してください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約55章

ゆる 赦し(1-2節) (罪の代価の) 支払い義務を解除されること

悔いる(3節) 罪を悔いて、進んで(主に)従う

残り(6節) 残っているほかの事柄

### 教義と聖約55:1 ウィリアム・W・フェルプスはどのような人だったか



ウィリアム・W・フェルプス

ウィリアム・ワインズ・フェルプスは印刷工、教師、政治家としてニューヨークで成功を収めた人でした。彼は「初めて教会を紹介されたときに、モルモン書を購入した。……彼は『一睡もせずモルモン書と聖書を比較した。』ウィリアムは翌日の朝を迎えるところ叫んだ。『わたしはこの教会に入ろう。真実の教会に違いない。』」(スーザン・イーストン・ブラック、*Who's Who in the Doctrine and Covenants* [1997年], 223)

フェルプス兄弟は後に、モルモン書についてこのように証しました。

「モルモン書はすばらしい書物です。心の正しい者が読むならば、そこに収められている知識によって、神に対する感謝の気持ちを抱くに違いありません。……」

モルモン書について深く考え、モルモン書がもたらす栄光と、そこに書かれている神の僕たちについて考える度に、わたしは希望にあふれ、光に満たされ、喜びと満足を覚えます。何とすばらしい書物でしょうか。何と見事な宝でしょうか。」(“Letter No. 10,” *Messenger and Advocate*, 1835年9月号, 177)

ウィリアム・W・フェルプスは「教会のために印刷の仕事」をしました(教義と聖約57:11)。1833年にミズーリで戒めの書を印刷しているときに、彼の住居兼印刷所は暴徒の襲撃を受けて、破壊されました。ウィリアム・W・フェルプスは後に、1835年版の教義と聖約の印刷を手伝いました。彼は教会のために多くの賛美歌を書きました。カートランド神殿が奉献される時に歌われた「主のみたまは火のごと燃え」は彼が作詞したものです。ウィリアムは1839年に教会を離れると、預言者ジョセフ・スミスに激しく敵対しました。1840年に悔い改めて教会に再加入しました。ウィリアムは1872年、ユタにおいて、80歳でこの世を去りました。

### 教義と聖約55:4 幼い子供たちを教えることを神は喜ばれる

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように教えました。「可能な限りあらゆる教育を受けるようにと、若い人々に申し上げたいのです。頭と手、つまり知性と技術を磨いてください。教育

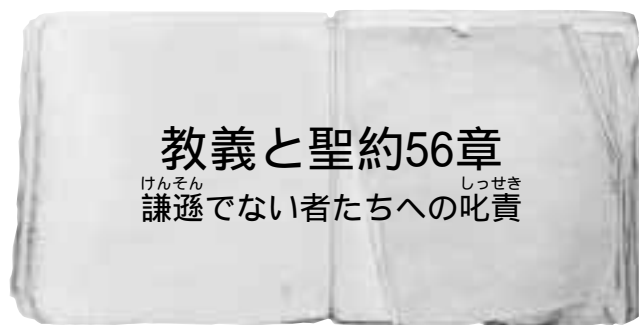
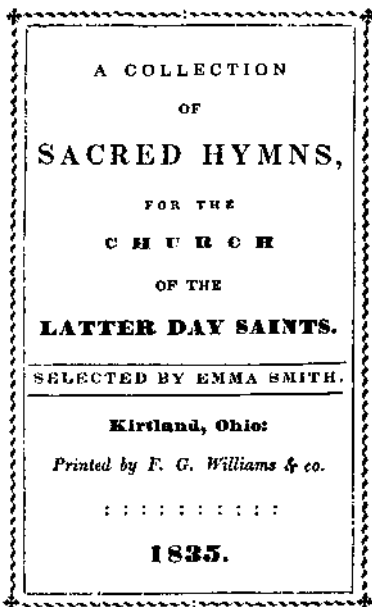
はチャンスの<sup>かぎ</sup>鍵を握っています。主は教会員である皆さんに、靈的な事柄についてもこの世のことについても、研究し、学ぶ義務を課しておられます。たとえ若いときに大きな犠牲を払わなければならないとしても、可能なかぎりあらゆる教育を受けてください。それによってあなたは自分の子供たちに祝福を与える人になることでしょう。あなたはこの業にとって誉れとなり、それゆえあなたは、教会にとって祝福となることでしょう。」(Teachings of Gordon B. Hinckley [1997年], 172)

## 聖文を研究する

教義と聖約55章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

### A 約束はどのように実現したか

- この学習ガイドの教義と聖約55章の最初の部分から、エズラ・タフト・ベンソン大管長の言葉をもう一度読んでください。ウィリアム・W・フェルプスは、エズラ・タフト・ベンソン大管長が語ったような祝福を受けるために、教義と聖約55:1のどの言葉に注意を払う必要があったと思いますか。
- あなたはフェルプス兄弟がこの啓示の勧告に従ったかどうかを知りたいと思うことでしょう。教会の『賛美歌』が手元があれば、「作詞・作曲・編曲・訳詞者索引」のページを開いて、ウィリアム・W・フェルプス書いた多くの賛美歌を探し、そのタイトルに目を通してください。(「主のみたまは火のごと燃え」、「イスラエルの救い主」、「たたえよ、主の召したまいし」、「賛歌を捧げん」、「天にまします永遠なる父」などがあります。)ウィリアム・W・フェルプスはしばらくの間教会から離れましたが、賛美歌を書くことによって、彼は神の王国を築くために才能を役立てました。ウィリアム・W・フェルプスが作詞した賛美歌から1曲を選んで歌詞を読み、あなたが心に感じたことを書いてください。あなたが感動したことのあるフェルプス作詞の賛美歌があれば、それについて書いてもいいでしょう。



教義と聖約56章には、オハイオ州トンプソンでの争いにかかわった人々に対する勧告が引き続き記されています(教義と聖約51章と54章の前書き、およびこの学習ガイドの51章、54章の最初の部分を参照)。しかし、この啓示の中で与えられた主の勧告は、過去、現在、未来にかかわらず、多くの状況に当てはまります。主はどんな行いを嫌われますか。そのような行いはどんな結果をもたらしますか。そのような罪を避け、悔い改めるためにはどうすればよいと主は言っておられますか。本章を読むときに、以上の問いに対する答えを見つけてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約56章

燃えている(1節)	かき立てられている、呼び起こされている	腐敗させる(16節)	汚染する、墮落させる
憤り(1, 16節) 怒り	義になつた	悲しみ(16節)	悲しみの叫び
取り消す(4-6節) する	無効にする	報い(19節)	正当な支払い、報酬

### 教義と聖約56:2 人が「自分の十字架を負う」とはどのような意味か

ジョセフ・スミス訳マタイ16:26には次のように書いてあります。「そして、自分の十字架を負う者は、すべての不信心とあらゆる世の欲を捨て、わたしの戒めを守らなければならない。」

### 教義と聖約56:8 高慢を悔い改める

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように教えました。「高慢の治療薬は謙遜です。柔和と従順です。……打ち砕かれた心と悔いる霊です。」(「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989年7月号, 7) ベンソン大管長はさらに、次の方法によって「わたしたちは自ら進んでへりくだることができる」と語りました。

- 人々を「自分自身のように」尊ぶ(尊敬し、大切にする)
- 教会指導者の勧告に従う。
- 「自分を傷つけた人を赦す。」
- 「無私の奉仕を行う。」
- 伝道に出て、福音を分かち合う。
- 神殿にしばしば参入する。
- 「罪を告白して、悪を捨て、神によって生まれる。」
- 「神を第一にした生活を築き上げる。」

## 教義と聖約56：8 エズラ・セアに与えられた以前の戒めとは何か

預言者ジョセフ・スミスは以前に、エズラ・セアがささげた土地について勧告を与えていました。エズラ・セアが自分の土地の一部を、喜んでほかの人たちに与えようとしなかったことは明らかです。彼は利己心から伝道に行くことができず、またシオンのために土地をささげる機会も失いました。

## 聖文を研究する

教義と聖約56章を読みながら、ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

### A 反抗：結果と治療法

1. 教義と聖約56章の中で、主はある会員たちの高慢で反抗的な行動について述べておられます。高慢で反抗的な人々の行く末についても勧告を与えられました。そして、高慢で反抗的な態度を捨てて悔い改めるにはどうしたらよいか、教えられました。ノートに次のような表を作ってください。主が1-15節で言われていることを書き、何節に書かれているか、それぞれに記入します。

高慢と反抗の例	高慢と反抗がもたらすもの	高慢で反抗的になるのを予防し、悔い改めるための方法

2. この活動で学んだことを踏まえて、今、あなたは何を実行しようと考えていますか。ノートに書いてください。なぜそれを実行したいのか、理由も書きましょう。

### B 金持ちか貧乏か

1. 教義と聖約56：16で主は、金持ちのどんなところを非難しておられるでしょうか。そのような態度でいると、どのような結果になるでしょうか。
2. 17節で主は、貧しい人たちのどんなところを非難しておられるでしょうか。また、謙遜で忠実な貧しい人にはどのような約束を与えておられるでしょうか。
3. これらの聖句で学んだことに基づいて以下の文章を完成させてください。
  - a. 「もし……ならば、金持ちにはなりたくありません。」
  - b. 「もし……ならば、たとえ貧しくても気にしません。」

## 教義と聖約57章 シオンの中心の場所が明らかにされる

預言者ジョセフ・スミスはこのように述べました。「あらゆる時代の神の民は、シオンを築くということを大きな理想としてきました。預言者、祭司、王たちは、特にこのテーマについて語るのを喜びとしました。彼らはわたしたちの時代を楽しみに待ち望んでいたのです。天からの喜びのおとずれに胸を躍らせ、この時代を詩歌に詠い、文章に表し、また預言しました。」(History of the Church, 第4巻, 609 - 610)

預言者ジョセフ・スミスはモルモン書を翻訳している間に、アメリカ大陸が末日の新エルサレムすなわちシオンの町となることを知りました(エテル13：5-8参照)。モルモン書はまた、終わりの時にシオンの確立を目指す人々に大いなる祝福が与えられることを約束しています(1ニーファイ13：37参照)。教会が組織される前に、この業において自分がどのような働きができるかを知るために預言者のもとへ行った人々は、シオンの大義を確立するようにと言われました(教義と聖約6：6；11：6；12：6；14：6参照)。

教会が組織された後も、シオンは大切なテーマとなっていました。ハイラム・ページはシオンの場所について啓示を受けたと主張して教会員の間に論争と混乱を巻き起こしました(教義と聖約28章参照)が、主はページ兄弟をいさめて、シオンの町は「レーマン人に近い境の地」に築かれると言われました(教義と聖約28：9参照)。



預言者ジョセフ・スミスは、聖書の靈感訳の作業を進めている間にシオンについて多くのことを学びました。ノアの洪水以前の時代にシオンの町を確立した預言者エノクについて書いた部分は、創世記からすべて失われていましたが、主はその部分を預言者ジョセフに啓示されました(モーセ6-7章参照)。その後間もなく、主は預言者に「律法」をお与えになりました。それはシオンを確立するために教会員が守る必要のある霊と物質に関する律法でした(教義と聖約42章参照)。この啓示の中で、主は預言者にシオンの地の正確な場所を啓示することを約束されました。

1831年6月に主は数人の宣教師を召して、ミズーリへ向かうように言われました。ミズーリは合衆国とインディアン(レーマン人のこと)特別保護区の境にありました。宣教師たちが到着したら、シオンの場所を明らかにすると、主は約束されました(教義と聖約52章参照)。預言者と一緒に行ったグループは1831年7月17日に到着しました。ほかの宣教師たちも間もなく到着しました。預言者が土地と状況について考え、主に尋ね求めた結果与えられた啓示が、教義と聖約57章に記されています。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約57章

従って（章の前書き） に	従順	その後（章の前書き）	後に
様々な（章の前書き） な種類の	様々	聖別した（1節） 聖なるものとした 土地（4 - 5節）	奉献した、 区画
つくづくと考えて（章の前書き） について考えて		正直に（8節）	だまさないで

### 教義と聖約57：3 - 4 中心の場所を購入する



「インディペンデンスの町は、ミズーリ州内で最も魅力的で、健康によい地域の一つに挙げられる。……ここは古い町である。1827年に区画されたが、1831年当時は村でしかなかった。現在はカンザスシティの郊外となっている。」（スミスとショダール、*Doctrine and Covenants Commentary*, 331）

### 教義と聖約57：4 「ユダヤ人と異邦人の間をまっすぐ走っている境界線」

教義と聖約57章が与えられた当時、ミズーリ州の西の境界線は合衆国の国境線の一部となっていました。ミズーリの西隣の地はインディアン特別保護区でした。ここでは、インディアン（レマン人のこと）は「ユダヤ人」と呼ばれています。彼らはイスラエルの家の直系子孫だからです。「異邦人」という語はミズーリの白人の定住者を指しています（教義と聖約19：27参照）。モルモン書の基準によれば、アメリカ合衆国は異邦人の国家と考えられています（合本の巻末の地図11 - 12参照）。

## 聖文を研究する



教義と聖約57章を読みながら、ノートを使って以下の活動AまたはBを行ってください。

### A 中心には何が置かれなければならないか

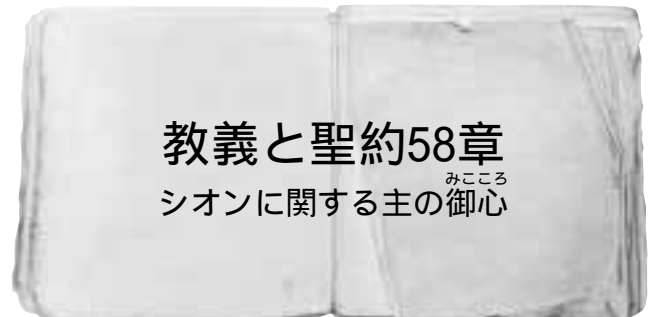
1. 教義と聖約57章の前書きから、預言者ジョセフ・スミスが主に尋ねた3つの質問を書き出してください。
2. 1 - 5節を読んで、預言者がどの質問に対して答えを受けたか

を説明し、受けた答えを書いてください。

3. 今日シオンを確立し、築くために必要なこと、大切なことは何でしょうか。この章から何を学びとることができますか。

## B 事業を運営する方法

シオンを確立するためには、幾つかの物質的な（この世の）事柄を行う必要があります。このため教義と聖約57章では、シオンの基礎を築くよう召された人々に様々な物質的な割り当てが与えられています。しかしながら、ここで与えられている勧告は、主の目になかった方法で仕事を行おうとする人すべてに当てはまりません。シドニー・ギルバート（6, 8 - 10節）、エドワード・パートリッジ監督（7節）、ウィリアム・W・フェルプス（11 - 12節）、オリバー・カウドリ（13節）に与えられた勧告を読んでください。この勧告に基づいて事業を運営する方法について、少なくとも4つの大原則をノートに書き出しましょう。その原則を今日のわたしたちにどう当てはめることができるかも説明してください。



あなたがミズーリに住む教会員だったら、自分の住む土地が末日のシオンの地、新エルサレムの地だと主が明らかにされたことを聞いて、ほかにどんなことを主に教えてほしいと思うでしょうか。当時の教会員は、預言者ジョセフ・スミスを通して主の勧告を熱心に願い求めました。主はそれにこたえて、啓示によって示されたばかりのシオンの地について具体的な指示をお与えになりました。それが教義と聖約57章と58章です。



© 1998 グレン・S・ホフキンソン

今日、「シオンの大義」を起こすために、あなたは何を行っていますか（教義と聖約6：6；11：6；12：6）。教義と聖約58章を読みながら、主の勧告をどのように自分に当てはめることができるか考えてください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約58章

かんなん 艱難 (2 - 4節)	問題, 苦難	潜み (33節)	隠れ
近い (4節)	近づいている	抜きんでる (41節)	高慢な 気持ちがあるために, 他人より も自分の立場を上にとしようと考 える
神の譲りの町 (13節)	神の 選民が住む場所	捨てる (43節)	行うのをや める, 断つ
ここに (14節)	この場所に	残り (44, 58, 61節)	残っ た
気をつけ (15節)	注意を払 う, 警戒する	代理人 (49, 51, 55節)	他 人のために行動することを認め られた人
神の譲りの地 (17節)	神が 選ばれた地	手紙 (51節)	書簡
適切 (26節)	適当, 妥当	同意書 (51節)	署名のある 金銭の請求書
強いられ (26節)	強制され	授けられた (60節)	与えら れた
怠惰 (26節)	怠けること		
自ら選択し行動する者だからで ある (28節)	選択し, 行動 するために善悪を判断する力を 持っている		
取り消し (32節)	戒めを取 り下げる, または変更する		

### 教義と聖約58 : 8 - 11 「肥えたものと、<sup>おろ</sup>瀧がよく精製されたぶどう酒の祝宴」

教義と聖約58 : 8 - 11で語られている祝宴は、最高においしい食物と飲み物を象徴しています。古代の預言者は完全な福音のない時代を飢饉<sup>ひんがみ</sup>にたとえました(アモス8 : 11参照)。福音の回復は、靈的に飢えている人々すべてを十分なごちそうでもてなす祝宴の席を設けることにたとえられています。さらに、回復の目的の一つは「子羊の婚宴」での「主の晩餐<sup>ばんさん</sup>」(教義と聖約58 : 11), すなわちイエス・キリストの再臨のために人々を備えさせることで

### 教義と聖約58 : 26 - 29 「わたしがすべてのことを命じるのは適切ではない。……人は熱心に善いことに携わり」

エズラ・タフト・ベンソン大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、次のように教えました。「時々主は、子らが自発的に行動するのを期待しながら待っておられます。しかし、自ら行動を起こさないと、主の子らはより大きな報いを失うのです。そして主は、その事柄をすべて中断し、子らに結果を味わせられることでしょう。あるいは、その事柄をどう行うべきかについて、子らに具体的に説明されることもあるでしょう。たいていの場合、残念なことですが、具体的に説明していただければただくほど、受ける報いは小さくなっていきます。」(Conference Report, 1965年4月, 122)

教義と聖約58 : 26 - 29に記されているこの勧告に積極的に従った例を、七十人定員会会員であるボーン・J・フェザーストン長老の経験の中に見ることができます。フェザーストン長老は次のように述べました。

「わたしが10歳か11歳のころに、親戚<sup>しんせき</sup>の人たちがおおぜい我が家にやって来ました。35人から40人はいたに違いありません。母が全員を夕食に招待したのです。夕食が終わると、全員別の部屋に移り、座って話し始めました。部屋中に汚れた皿や食器類がうず高く積み重なっていました。食べ残したものはそのまま、調理に使



ったなべやフライパンも汚れたままでした。

皆が帰ったら、母はそれらを全部洗わなければならないのだと子供心に思ったことを覚えています。そのとき、一つの考えがひらめきました。わたしは早速食器を洗い始めました。電動式の食器洗い機が世に出るはるか以前のことで。母はいつも、とてもきれいにしていました。わたしたちに正しい皿の洗い方と拭き方を教えていました。わたしはこの山のような仕事に取りかかったのです。3時間くらいかけて、ようやく最後の皿を拭き終えました。食べ残したものをすべて捨て、調理台や流し、床をきれいにしました。台所にはしみ一つありませんでした。

お客さんが全員帰って、母が片付けるために台所に入ってきたときの顔をわたしは忘れることができません。わたしは胸からひざまで、びしょぬれでした。感動と慰めと誇りの入り混じった母の顔を見たときに、それまでの努力はすべて報われました。わたしはそのとき、これから何度も何度もその母の顔を見られるように努力しようと決心しました。」「(“We Love Those We Serve,” *New Era*, 1988年3月号, 19)

### 教義と聖約58 : 43 告白し、罪を捨てる



スペンサー・W・キンボール大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、次のように教えました。「どのような罪であれ悔い改めなにかぎり、いかなる人も赦されることはありません。心を開き、一切の言い訳や無理なこじつけをはずさず自分の意思と弱点を認めなにかぎり、悔い改めることはできません。心を痛めるような罪を犯したことを認めなければなりません。罪をいささかも軽視する

ことなく、あるいはその重大さを正当化することなく、罪の重さを覆い隠すことなく、自分自身に告白して、その罪の大きさをそのまま認めるときに、悔い改めの道を歩み出す準備ができるのです。」( *Love versus Lust*, Brigham Young University Speeches of the Year [1965年1月5日], 10)

さらに、自分の罪のために他人を傷つけ、迷惑をかけているならば、相手に告白して、赦しを求めなければなりません。純潔の律法を破ること、肉体的あるいは性的虐待、そのほか教会員としての資格に影響を及ぼす罪は適切な教会役員に告白しなければなりません。告白すると、監督または支部長はその人の教会員としての資格について判断を下して、その人が悔い改めの道を歩めるように助けてくれます。もし教会役員に告白する必要があるかどうかが分からなければ、監督または支部長に相談してください。

### 教義と聖約58 : 57 土地と神殿用地を聖別し、奉獻する

シドニー・リグドンはミズーリの地全体を、神殿を建設する用地として奉獻しました。そして預言者ジョセフ・スミスは1831年8月3日に神殿を建設する特定の敷地を奉獻しました。シドニー・リグドン、エドワード・パートリッジ、ウィリアム・W・フェルプス、オリバー・カウドリ、マーティン・ハリス、ジョセフ・コ



ーが同席しました。預言者は「その場は厳粛で、感動的だった」と記しています（*History of the Church*, 第1巻, 199）。

## 聖文を研究する

教義と聖約58章を読みながら、ノートを使って次の活動Bを行ってください。また、AまたはCを行ってください。

### A 詳しく検討する

主がシオンの町と神殿の建設地を啓示されたときにミズーリに住んでいた人々は大きな感動を味わったに違いありません。もちろん、聖徒たちにとって次の仕事はシオンを建設することでした。聖徒たちはこの目標を成し遂げることができなかったのですが、主は彼らの時代にシオンが完全に確立されるとは言っておられませんでした。教義と聖約58章に基づいて、次の質問に答えてください。

1. シオンが栄光を冠として受けるのはいつですか（1 - 5, 44 - 46, 56節参照）。
2. 主はなぜ最初のグループをシオンへ遣わされたのですか（6 - 13, 44 - 46節参照）。
3. シオンはどのようにして建設されるのでしょうか（8 - 13, 44 - 46, 50 - 56節参照）。
4. 教義と聖約57章の前書きに記されている、預言者ジョセフ・スミスが祈りの中で問いかけた最初の二つの質問に対して、この啓示はどのような答えを与えているでしょうか。

### B マスター聖句 教義と聖約58：26 - 27

教義と聖約58：26 - 27の「聖文を理解する」の説明を読んでから、この主の勧告に従った例を二つ挙げてください。もし、いい例が思いつかなければ、この勧告に従うにはどうすればよいと思うか書きましょう。

### C マスター聖句 教義と聖約58：42 - 43

主が教義と聖約58：42 - 43で教えておられる悔い改めの大切な原則を二つ挙げてください。

## 教義と聖約59章

### シオンとシオンのステーキに与えられた戒め

戒めを重荷と感じる人もいれば、祝福と感じる人もいます。なぜでしょうか。神の戒めにはどのような目的があるのでしょうか。戒めがなかったら、あなたの生活はどうなっていたでしょうか。地域社会の人々が皆神の戒めを守ったら、どんなことが起こるでしょうか。あなたはそのような社会に住みたいと思いますか。そんな社会があるとしたら、それはわたしたちが現在生活しているこの社会とは、どんな点が違うのでしょうか。教義と聖約59章を読みながら、この章に記されている律法と戒めに従うことが、シオンを築くためにどんなふうに関与するか考えましょう。

預言者ジョセフ・スミスは次のように教えました。「神は人類に律法を授けられました。この律法に人類が従うならば、神の安息を受け継ぐための十分な備えができます。その目的で神はこの律法をお与えになったのです。これこそが、神が律法を与えてくださった目的である、という結論にわたしたちは達します。そうでないとすれば、なぜ、何の目的があつて、律法が与えられたのでしょうか。もしも人類が、律法のあるなしにかかわらず、同じように幸福に暮らせるのだとしたら、律法は何の目的、意図があつて与えられたというのでしょうか。」（*Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 54）

## 聖文を理解する

### 教義と聖約59章

聖別（章の前書き）	奉献	表情（15節）	態度と外見
特に……当てはまる（章の前書き）	特に意味がある	衣服（17, 19節）	衣類
悔いる（8節）	悔い改めて、教えを従順に受け入れる	活気づける（19節）	元気づける、励ます
聖式（9節）	主への献身を表す宗教上の活動	度を越す（20節）	使いすぎる
供え物（12節）	神へのささげ物	貪欲に取る（20節）	強制によって誤った使い方をする、または権力を振りかざして取る
誓言（11節）	神聖な約束	神を怒らせる（21節）	神の怒りをさらにかきたてる

### 教義と聖約59：1 - 2 ポリー・ナイトの死

教義と聖約59章が与えられたのは、預言者ジョセフ・スミスがミズーリに到着して2度目の日曜日を迎えたときでした。預言者はこの啓示を受ける前に、ポリー・ナイトの葬儀に出席しました。1 - 2節はこの出来事と直接的な関係があると思われます。

「息子のニューエルの話によると、ポリー・ナイトの健康状態はしばらく前からすぐれませんでした。カートランドからミズー

リへの旅の間中、病気でひどく苦しんでいたのです。ニューエルはこう語っています。『しかし、母は旅を続けると言って聞きませんでした。母の唯一の、そして最大の望みは、シオンの地を踏みしめて、そして、その地で葬られることでした。わたしは陸に上がって板を買い、棺を作りましひつぎた。目的地に着くまでに、母が万一息を引き取ってしまったときのためでした。母はそれほど急激に衰えていたのです。しかし、主は母の心からの望みをかなえてくださいました。母は生きてその地に立つことができたのです。』(History of the Church, 第1巻, 199, 脚注)

ジョセフ・スミスは次のように記録しています。「わたしは7日に、ポリー・ナイト姉妹(ジョセフ・ナイト・シニアの妻)の葬儀に出席しました。この地に着いてから、人が亡くなるのはこれが初めてでした。ふさわしい会員は主にあって復活まで眠る、とすることができます。」(History of the Church, 第1巻, 199)

#### 教義と聖約59:6 「これに類することをしてはならない」

様々な時代の預言者たちが「これに類することをしてはならない」という言葉を使うとき、それは、盗みや姦淫、墮胎、殺人を指していました。スペンサー・W・キンボール大管長はあらゆる種類の不正直は、盗みに類することであると教えました(「報告とチャレンジ」『聖徒の道』1977年2月号, 37-38参照)。エズラ・タフト・ベンソン大管長は「ベッティング、私通、同性愛、そのほかあらゆる不道徳な行いは」姦淫に類することであると教えました(「聖徒たちに与える勸告」『聖徒の道』1984年7月号, 13)。ボイド・K・パッカー長老は「近親相姦や強姦という憎むべき犯罪による場合を除いて、また、母体の生命が危ういという権威ある医師の証明がある場合を除いて、あるいはまた胎児に重大な異常があって死産が確定しているときを除いて」墮胎は殺人に類することであると教えました(「聖約」『聖徒の道』1991年1月号, 93)。

#### 教義と聖約59:8 「打ち砕かれた心と悔いる霊」

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老は、次のように説明しました。「打ち砕かれた心と悔いる霊を持つということは、罪に対して深い悲しみに沈むことです。謙遜に、そして、完全に後悔することです。誠実で、しかも、決意に満ちた悔い改めを達成することです。」(Mormon Doctrine, 161)

#### 教義と聖約59:15 「ひどく笑うこと……なく」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、次のように教えました。「聖徒たちが娯楽を持つことは必要だと思えます。しかし、適切な種類の娯楽でなければなりません。主がわたしたちに期待し、願っておられることは何でしょう。陰気な顔をして、信心深く見せたり猫をかぶったりすることではないと信じています。幸せで、楽しげな表情でいることを望んでおられるのだと思えます。しかし主は、ばか騒ぎや下品な振る舞いをしないように望んでおられます。この世的な人々を楽しませようとする、むなしく愚かな物事を求めないように望んでおられます。」(Conference Report, 1916年10月, 70)

## 聖文を研究する

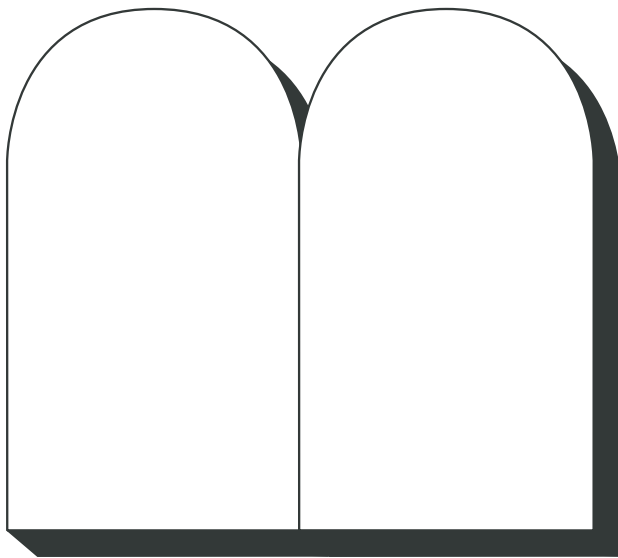
教義と聖約59章を読みながら、次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A 祝福を挙げる

1. 教義と聖約59:1-4, 23で主が義人に約束しておられる祝福を、ノートに書き出してください。
2. 「彼らの業は彼らについて行く」(2節)とはどんな意味でしょうか。アルマ41:3-6, 10, 13-15も読んでください。この教義を聞いて喜ぶのはどんな人ですか。また、悲しむのはどんな人ですか。
3. 「少なからぬ戒め」(4節)がわたしたちにとって祝福であるとは、どういう意味でしょうか。

### B わたしたちの時代のために、「戒めの板」を作る

以下のような2枚の板を紙に描いてください。教義と聖約59:5-13から、「あなたは……なければならぬ」と「あなたは……してはならない」の文章を探して、2枚の板に戒めとして書き入れます。次に、59:18-21で主が言われた事柄を板に書き加えてください。これらの「戒めの板」を毎日目に留まる場所に張っておくとよいでしょう。



### C マスター聖句 教義と聖約59:9-10

教義と聖約58:26-27で、どんなときでも主からの命令が欲しいという態度はよくないと主は言われました。主がお教えになるのは、教義と原則です。そして主がお望みになるのは、わたしたちがそれらの原則に忠実であるよう「熱心に」努力することなのです。教義と聖約59:9-10には安息日を聖く過ごすことに関する基本的な教義と原則が述べられています。しかし、わたしたちが何をすべきで、何をすべきでないかということをお細かく教えてはいません。

1. 教義と聖約59:9-10から、安息日を聖なる日とするために従うべき大切な教義と原則を見つけてノートに書き出してください。
2. 11-16節で教えられている事柄を1に書き加えてください。
3. 安息日をもっと神聖な日するために、これからはもっとやろうと思うことを一つ、やらないようにしようと思うこと(あるいは完全にやめようと思うこと)を一つ、それぞれ書いてください。



## 教義と聖約60章

「時間を無駄に過ごしてはならない」

1831年6月に主は大勢の宣教師を召されました。オハイオ州カーランドからミズーリへ旅をするようにと命じられたのです。彼らは「途中で御言葉を宣べ伝えながら」行くように(教義と聖約52:9)、そして、ミズーリに着いたら、次の教会の大会を開くよう命じられました(1-2節参照)

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように記しています。「1831年8月8日、……長老たちは自分たちがなすべきことについて主に尋ねました。……一部の長老たちは主に喜ばれず、叱責を受けました。オハイオからの旅の途中、与えられた勧告に従わなかったためです。彼らは旅の途中で福音を宣べ伝え、人々の中で証をするように命じられていました。しかし、一部の者はこの戒めを尊んで大いなるものとしていませんでした。人を恐れたのです。もちろん、あらゆる人が生まれながらの宣教師だというわけではありません。福音を告げるために声を上げるといふ責任を敬遠する人がいるのも事実です。しかし、たとえそうであっても、これは墮落した世の人々に対するわたしたちの義務なのです。いちばん初めの長老たちは『心と、勢力と、思いと、力』を尽くして主に仕えるよう命じられていました。畑がすでに白くなり、刈り入れを待っているからです。それを行わなかった者たちには罰が下されると言われていました。そのような人たちは終わりの日に罪のない状態で立つことができないと言われていたのです。彼らにとって福音を宣べ伝えることは、自分たちが滅ぼされないための、そして救いを得るための手段だったのです。遣わされた者たちの中には、これまで人を恐れていた者が数多くいます。しかし、彼らがこれから主を信頼するならば、彼らの働きを支えることを主はすでに約束しておられます。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 220)

教義と聖約60章に記されている指示の多くは、初期の教会の長老たちと同様、今日のわたしたちにも当てはまるものです。わたしたちは地上における使命を果たすための時間と才能を十分に与えられています。わたしたちは自分の時間と才能を効果的に使うかどうかを試されているのです。この啓示を研究するときに、主がこの啓示の中で言われていることが、あなたにどう当てはまるか考えてください。

### 聖文を理解する

#### 教義と聖約60章

出て来た地(1節)	出発した	示す(4節)	証拠を与えるまで
		あかし	
		たは証する	
燃えている(2節)	立腹する、	舟を造ろうと(5節)	水上を
かき立てられる		旅するために、舟を使おうと、	
		ほかの手段を用いよう	

争ったり(14節) 論争したり: 怒らせる(15節) 立腹させる

#### 教義と聖約60:8, 13-14 「悪人の集まり」

「悪人の集まり」(教義と聖約61:30, 32-33; 62:5; 68:1も参照)とは、悪意からよりはむしろ、主の方法を知らないために悪を行う人々の集まりのことです(教義と聖約123:12参照)。

#### 教義と聖約60:15 「あなたの足のちりを払い落としなさい」

「聖文を理解する」の教義と聖約24:15(37ページ)を参照してください。

### 聖文を研究する

教義と聖約60章を読みながら、ノートを使って次の活動(A-C)のうち一つを行ってください。

#### A シンボルマークを作る

交通標識のような絵は、あることを伝えるために使われます。教義と聖約60:2-4を読んで、次のことについて考えてください。それから、1-6をそれぞれ表すシンボルマークを描いてください。それぞれのシンボルマークが、主の教えをどんなふうに表示しているかを、絵の横に書いてください。

- 口を開く(2節)
- タラントを隠してはならない(2節)
- 人を恐れてはならない(2節)
- 「わたしの怒りは燃えている」(2節)
- もっと忠実でありなさい(3節)
- 「わたしは自分の宝石を集める」(4節)



#### B 教義について思いめぐらす

教義と聖約60:1-4を読んでください。主はある人々に対する怒りを表されています。他人の言葉を恐れて福音を分かち合わない人々に対する怒りです。主は3-4節で御自分について、また、終わりの時について語られました。その御言葉は、人々と福音を分かち合う勇気をわたしたちに与えてくれます。どのようなことを言われたのでしょうか。(ローマ1:16-18も検討してください。)



## C 一例を挙げる

教義と聖約60：12 - 17で主が語りかけておられるのは、ミズーリ州ジャクソン郡のシオンに集合することを望んだ人々でした。この聖句を読んでから、次の文を完成させてください。すべて、主の勧告が今日のわたしたちにどのように当てはまるかを示す文です。

1. わたしたちは、……ときに、怒りや争いを避けています。
2. わたしたちは、……ときに、無駄な時間を過ごしています。
3. わたしたちは、……ときに、タラントを隠しています。

## 教義と聖約61章 水の上にある危険



© 1997  
アル・ラウレンス

預言者ジョセフ・スミスは次のように記しました。「〔1831年8月〕9日、わたしは10人の長老たちを伴ってインディペンデンスを出発し、カートランドに向かいました。舟に乗って川を下り、最初の1日でフォートオーセージまで行き、そこで素晴らしい野生の七面鳥を夕食にいただきました。3日目を迎えるまで、さして大きな出来事は起きませんでした。3日目にミズーリやミシシッピ地域の川に特有の様々な危険な経験をしました。そして、マクイルウェインズ・バンドの岸で野営した後、フェルプス兄弟が白昼の示現の中で、滅ぼす者が恐ろしい力をもって水の面を進んで行くのを見たのです。ほかの人たちは物音を聞きましたが、示現は見ませんでした。」(History of the Church, 第1巻, 202 - 203)

翌8月12日の朝、預言者は教義と聖約61章に記録されている啓示を受けました。この啓示を読んでください。主は、ジョセフとともに旅をしていた人全員に「水の上を速く進んで行く」(3節)のように、とは望まれません。その理由を少なくとも二つ見つけてください。また、この啓示が今日の伝道活動にどのように当てはまるか、考えてください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約61章

アルパでありオメガであり(1節)	定めた(5節)	宣言した
ギリシャ語アルファベットの最初と最後の文字(主の力がすべてのものに勝っていることを象徴する)	豊かな(17節)	豊富な、剰余の
許した(4節)	運河(23 - 24節)	人工の水路(オハイオ運河)
放置した、そのままにした		

教義と聖約61：20 - 22 「主なるわたしは昨日はあなたがたのことを怒った」



「水の上を旅した3日間、兄弟たちの意見は一致せず、お互いをよく思わない人も出てきたため、話し合って一致する方がいいということになりました。また、舟で水の上に行くのは時間がかかることも分かったので、印刷機を購入するよう命じられた人々(シドニー・ギルバートとウィリアム・W・フェルプス)と、預言者、シドニー・リグドン、オリバー・カウドリ(この3人は急いでカートランドへ戻るよう命じられていた)は、舟よりも速い方法を見つけ出す必要がありました。マクイルウェインズ・バンドで行われた夜の話し合いは大部分、この二つの問題に費やされましたが、その結果兄弟たちの意見はまとまりました。特に急ぐ任務を持つ人々は翌朝、陸路セントルイスに向けて出発しました。その他の人々はそれまでと同じく舟の旅を続けたのです。」(B・H・ロバーツ, A Comprehensive History of the Church, 第1巻, 262 - 263)

教義と聖約61：30 - 31 主はなぜ、オハイオ州シンシナティの住民に対して怒りを燃やされたのか

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように説明しました。「この啓示が与えられた当時、シンシナティはほんの小さな村でしかありませんでしたが、インディペンデンスなど西部のほかの町と同様、法に背いて大都市を追われた者たちがたくさん集まっていました。当時の辺境の町はどこも、悪がはびこっていたのです。この二人の兄弟たちはシンシナティにおける使命を果たしてから、カートランドへ戻る旅を続けることになりました。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 225)

## 聖文を研究する

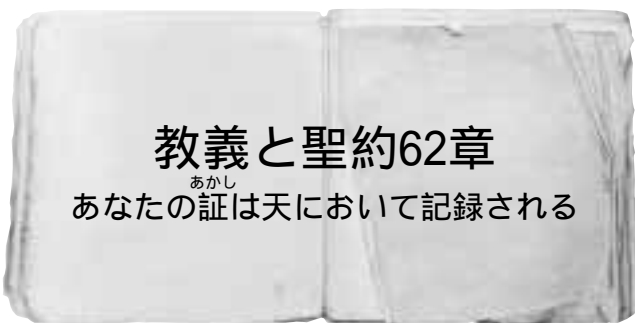
教義と聖約61章を読みながら、ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

### A 神の力を理解する

1. 教義と聖約61：1-5を読んで、次の質問に答えてください。
  - a. 水の上を旅することで、宣教師たちが失いかけていた大切な務めは何ですか。
  - b. 主はなぜ宣教師たちが水の上を旅することを許されたのでしょうか。
2. 6-16節を調べてください。主はどうすれば、宣教師たちが水の上を安全に旅することができると言われましたか。説明してください。神の力と悪魔の力を比べてみて、この聖句からどんなことが分かりますか。

### B 「汚れのない」者となる方法

教義と聖約61：33-39を読んで、伝道の召しを受け入れる理由を挙げてください。その中で印象に残ったものを一つ選んで、主に仕える理由としてなぜそれが素晴らしいと思うのか、説明してください。



教義と聖約61章（その啓示はマクイルウェインズ・バンドで野営していたときに与えられた）において、預言者ジョセフ・スミス、シドニー・リグドン、オリバー・カウドリは、「陸路、カートランドへ急ぐように、ほかの人たちは舟で旅を続けるように命じられました。

一行が二手に分かれた翌日の8月13日、ジョセフはインディペンデンスに向かう数名の長老たちに出会いました。彼らがそこで開いた集会には喜びがあふれていました。〔そのとき、教義と聖約62章に記されている啓示を受けたのです。〕その後長老たちは別れて、預言者と二人の同僚はカートランドへの旅を続け、そのほかの長老たちはシオンの地を目指して出発しました。

預言者とシドニーとオリバーがカートランドに到着したのは、1831年8月27日のことでした。3人はこの波瀾に満ちた旅の間に靈感あふれる御霊の働きを豊かに受け、神の力の現れを何度も目にしました。信仰が強められ、全能者の目的をいっそう明らかに理解できるようになりました。同時に、サタンが人の目から光を隠そうとしていることが、それまでよりもよく分かってきました。』（ジョージ・Q・キャノン、Life of Joseph Smith the Prophet [1958年]、123-124）



教義と聖約62章を研究するときに、証を人々に伝えることはなぜばらばらしいのか、その理由を見つけてください。この章には、あなたの証を聞くのはだれなのか、証を分かち合うと人生はどう変わるのかが書いてあります。読んで驚くこともあるかもしれません。

## 聖文を研究する

教義と聖約62章

弁護者（1節） 擁護者、ほかの人のために執り成しをする者  
おとずれ（5節） 知らせ  
助ける（1節） 支援する

## 聖文を研究する

教義と聖約62章を読みながら、ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

### A あなたの意見を述べる

教義と聖約62：3で、主は福音の証を分かち合うことの大切さについて述べておられます。ノートに3節を自分の言葉で書き直してください。また、証を分かち合うときになぜ、そのようなことが起こると思うか説明してください。

### B 「わたしにとって問題ではない」

これまで学んできた教義と聖約の幾つかの章で、主は「わたしにとって問題ではない」という表現を使われました（教義と聖約60：5；61：22；62：5参照）。教義と聖約62：5-8を読んで、次の問いに対するあなたの考えを書いてください。主はどんな意味でこの言葉を述べられたのでしょうか。具体的な指示をお与えにならないときに、主はわたしたちにどうしてほしいと考えておられるのでしょうか。



教義と聖約63章の前書きを読むと、聖徒たちがシオンの建設に大きな関心を持っていたことが分かります。主はこの啓示の中で、シオンがどのように確立されるか、シオンへ行くにふさわしいのはどのような人かについて多くのことを説明しておられます。本章を研究しながら、シオンに住むことについて考えてください。シオンの何がいちばん好きですか。また、初期の聖徒たちが主からとがめられた行いについて考えてください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約63章

守る(3節)	救う	消すことができない(34節)	
わな(15節)	落とし穴	終わりのない	
みだらな行いをする者(17節)	不道徳な行為にふける者	見分ける(41節)	知る
疫病(24節)	問題、破滅	分け与える(43節)	与える
		促し(64節)	励まし、指示

### 教義と聖約63:20-21



#### 「<sup>へんぼう</sup>変貌の日」

使徒ペテロ、ヤコブ、ヨハネは、イエスに連れられて変貌の山に登ったとき(マタイ17:1-3参照)、キリストの再臨後に地球がどうなるかを示されました。教義と聖約63:21を読むと、彼らが見たことは、必ずしもすべてわたしたちに知らされていないことがわかります。十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老は次のように説明しました。

「ペテロはキリストの再臨前に主からもたらされる慰めの時(訳注 英語では、新たにされる時となっています)について語りました(使徒3:19-21)。ペテロのこの言葉は、信仰箇条第10条に記されている『地球は更新されて楽園の栄光を受ける』ことと同じ意味を持っています。これは『人の子がその栄光の座につく時』に『世が改まる』ことを表しています(マタイ19:28)。それはまた、『変貌の日、……大地が……変貌する時』のことなのです(教義と聖約63:20-21)。

この地球は初めに、新しい状態、あるいは楽園の状態に創造されました。それから、アダムの背きがあり、現在の星の栄えの状態に落とされました。主の再臨のときに地球は更新され、再生され、新たにされ、変貌して、再び一つの新しい地球、すなわち楽園の地球となります。地球が福千年の状態になるということは、地球が最初に持っていた美しさと栄光の状態に戻ることに、すなわち墮落前の状態に戻ることにあります。(Mormon Doctrine, 795-796; 強調は原文のまま)

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように教えています。「これらすべては時満ちる神権時代に起こります(わたしたちはその時代に生きています)。これが成し遂げられると、地球は再び、初めの状態に戻ります。海は北へ引き戻され、島々は大陸と一つになって、地は分かれる前の状態に戻ります。(教義と聖約133:22-24)(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 231)

この「変貌の時」は「新しい天と新しい地が現れる」時ではありません。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、こう説明しました。福千年の後に「地球は死を迎え、復活し栄光を受けて、義人の住まいとなる。日の栄えの王国に属する者の住まいとなり、この人々だけが地の面に住むことになる。」(『救いの教義』第3巻, 252)

### 教義と聖約63:25-27 「それでも、主なるわたしは、カイザルのものはカイザルに返す」

ルカ20:19-26によると、イエスをわなにかけようとした大祭



司と律法学者が、ユダヤ人はローマの皇帝カイザルに貢ぎを納めてよいかどうかという質問をしました。もしイエスが納めるべきであると答えられたら、ユダヤ人がイエスを拒むことを知っていました。なぜならばユダヤ人は自分たちを征服したローマ人を嫌っていたからでした。もしイエスが納めるべきではないと答えられたら、彼らはそのことをローマ人に報告するつもりでした(そうすれば、ローマ人はイエスを、ローマの法律に反逆したとして逮捕することでしょう)。イエスはカイザルの像が刻まれている硬貨を示して、言われました。「それなら、カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい。」(25節)

主がこの話をされたのは、預言者ジョセフ・スミスの時代の聖徒たちに一つのことを教えるためでした。つまり、全地は主のものであるにもかかわらず、聖徒はミズーリ州にシオンの町を築くよう主から命じられている土地を購入しなければならないということです。

### 教義と聖約63:34 「聖徒たちもほとんど逃れられない」

救い主の再臨について述べたときに、預言者ジョセフ・スミスは次のように説明しました。「悪人は苦しみを受けるが、聖徒はすべての裁きを免れるというのは間違った考えです。なぜなら、すべての人は苦しみを受け、『聖徒たちもほとんど逃れられない』からです。それでも、多くの聖徒は免れるでしょう。義人は信仰によって生きるからです。しかし多くの義人は肉が持つ弱さのために、病気や伝染病などに悩まされるでしょう。それでも彼らは神の王国に救われるのです。したがって、ある人が病気や死を経験したからといって、それをその人が犯した罪のせいだとするのは神を冒瀆する考え方です。なぜならば、人はすべて死を受けなければならないからです。救い主は、こう言っておられます。『人をさばくな。そうすれば、自分もさばかれることがないであろう。』(History of the Church, 第4巻, 11)

### 教義と聖約63:50 「人間の寿命」とは何か

ニーファイ人の弟子たちに与えられた主の約束から、死すべき状態における人の寿命は72歳とされているように考えられます(3ニーファイ28:1-3参照)。しかし、福千年においてこれは当てはまりません。

「人間の寿命について預言者イザヤはこう宣言しました。『わずか数日で死ぬみどりごと、おのが命の日を満たさない老人とは、もはやその中にいない。みどりごは百歳で死ぬからである。』(欽定訳イザヤ65:20より和訳; 強調付加)

このことを説明して、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように語りました。『地上にいる人々はなお死すべき存在です。しかし、人々は変えられて、病気や死を支配する力を持つようになります。死は地球から追い出されたも同然となります。なぜなら、人は樹木の寿命、すなわち100歳まで生きるからです(『教義と聖約』63:50-51参照)。その後人は寿命に達して死ぬのです。しかしこの死は瞬く間の出来事であり、死すべき状態から一瞬にして不死不滅の状態へと変わります。墓はどこにもありません。義人は栄えある復活へと引き上げられるからです。』(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 461; 強調付加)(プリュースター, Doctrine and Covenants Encyclopedia, 10)

## 教義と聖約63：61 - 64 「すべての人は、わたしの名をどのように口にするか気をつけなさい」

十二使徒定員会会員を務めたジェームズ・E・タルメージ長老は次のように教えました。

「神の名を空しく口にすることとは、神の名を軽々しく、無意味に、目的もなく使うことです。……」

要約すると次のようになります。

1. 口汚い言葉を使う人は、神の名を空しく口にしています。
2. 偽りの誓いを立てて、誓詞や約束を守らない人は、神の名を空しく口にしています。
3. 権能を持っていないのに、あえて神の名によって話す人は、不敬という意味において神の名を空しく口にしています。
4. 神の名を受けているにもかかわらず、神の戒めを無視して行動する人は、神の名を空しく口にしています。なぜなら、わたしたちは、神の名を自分の身に受けているからです。」(Conference Report, 1931年10月, 50, 53)

## 聖文を研究する

教義と聖約63章を読みながら、ノートを使って次の活動(A-F)のうち3つを行ってください。

### A 警告のしるしとことわざ

主は、背く者たちに強い警告の言葉を発しておられます。背く者たちとは、信じる前にしるしと不思議を求める人たちのことです。

1. 教義と聖約63：1 - 12を調べて、悪人はどんな「しるし」を受けると説明してください。
2. 5 - 12節で学んだことに基づいて、自分なら警告標識にこう書く、と思う言葉を挙げてください。主がお喜びにならない者たちに警告を与える言葉です。
3. しるしを求める人に対する主の警告を、ことわざまたは覚えやすい格言にしてみましょう。

### B 結果を明らかにする

善い行いであっても罪であっても、すべての行いには結果がついてきます。

1. ノートの1ページを4つの欄に分けて、見出しとして「罪」、「罪の結果」、「正しい行い」、「正しい行いの結果」と書いてください。
2. 教義と聖約63：13 - 19を読んで、この聖句の中で挙げられている罪を「罪」の欄に、その罪の結果をそれぞれ「罪の結果」の欄に記入してください。
3. 20 - 21節を読んで、正しい行いとその結果を「正しい行い」と「正しい行いの結果」の欄に記入してください。
4. 正しい教えに従うことよりも罪を犯すことを選ぶ人がいるのはなぜでしょうか。罪を犯すよりも正しい教えに従う方が良いのは、なぜですか。

### C 知識の鍵

教義と聖約63：22 - 23とアルマ12：9 - 11を読んでください。何が王国の「奥義」を理解する鍵だと書いてありますか。その鍵について、簡単にまとめてください。主は、なぜその鍵が必要だと言っておられるのでしょうか。

### D 心配ですか、それとも、安心ですか

終わりの時について主が教義と聖約63：32 - 37で教えておられることを復習してください。

1. 再臨についての預言の中には、一部の人に不安を与えるようなものもあります。そのような預言の一つを選んでください。なぜ人は、その預言を聞いて不安になるのでしょうか。あなたの考えを書いてください。
2. 再臨に関する預言の中には、一部の人々に慰めを与えるようなものもあります。そのような預言の一つを選んでください。なぜ人は、その預言を聞いて安心するのでしょうか。あなたの考えを書いてください。
3. あなたはどのような気持ちで終わりの時を生きていますか。恐れではなく信仰をもって再臨を迎える準備をするにはどうしたらよいでしょうか。そのための方法を簡単にまとめてください(必要であれば、「聖文を理解する」を参照してください)。

### E 福千年はどのような状態か

教義と聖約63：47 - 54を調べて、福千年の間シオンでの生活はどのようなものか、書き表してください。鍵となる次の言葉を使うこととします。「受け継ぎ」、「死」、「人間の寿命」、「一瞬のうちに変えられる」、「分離」(必要であれば、「聖文を理解する」を参照してください)。



福千年にはわたしたちが知っているような死は存在しない。

### F 現代ではどうか

主の名を空しく口にすることについて考えるとき、わたしたちは普通、神を冒瀆することを思い浮かべます。教義と聖約63：60 - 64ではこの罪のほかの側面について述べられています。この聖句と「聖文を理解する」の教義と聖約63：61 - 64を調べて、現代を生きる中で主の名をみだりに口にすることがないようにする方法を幾つか書いてください。

## 教義と聖約64章 ゆる 人を赦す

教義と聖約64章が与えられたとき、預言者ジョセフ・スミスは家族とともにカートランドからオハイオ州ハイラム（南東へ約45キロの地点にある）へ転居する準備をしていました。改宗したばかりのジョン・ジョンソン、エリサ・ジョンソン夫妻が、自分たちの家に同居するよう預言者に申し出ていたのです。夫妻がそう申し出たのは、預言者が静かな環境で聖書の翻訳を続けられるようにするためでした。

この啓示の最初の部分で述べられている戒めは、最も難しい戒めだと思われる人もいるかもしれません。傷つける人や攻撃する人を赦さなければならないというのです。人を赦さない者たちに主は驚くべき真理を明らかにされました。その点に注意して読んでください。

### 聖文を理解する

#### 教義と聖約64章

哀れもう（2節） あわれ 憐れみを持つとう	同情しよう、	用向き（29節）	召し、仕事
反対する機をうかがってきた（6、8節）	欠点を見つけ出そうとしてきた	抜き取られる（36節）	取り除かれる
バビロン（24節）	この世または俗的なことの象徴	旗（42節）	旗または横断幕；人々を集める物、人または概念

#### 教義と聖約64章 オハイオ州ハイラムへの転居

預言者ジョセフ・スミスは家族とともに、ジョン・ジョンソン（教会内で「ファーザー・ジョンソン」として知られていた）の家に住むように招かれましたが、そのおかげで主の命令を果たすことができました。主は、ジョセフとシドニー・リグドンに、仕事を続けるために「家を一軒捜し求め」るよう命じておられたのです（教義と聖約63：65）。ジョンソン家族が教会に入ったきっかけは、預言者ジョセフとともに驚くべき経験をしたことでした。



オハイオ州ハイラムのジョン・ジョンソンの家

「預言者がオハイオに到着して間もなく、53歳になるファーザー・ジョンソンと妻のエリサ・ジョンソン、それにメソジスト派の牧師エズラ・ブースが、モルモンの教えを調べるためにカートランドへやって来しました。モルモンの教義について話し合っている間に、長年患っていたエリサ〔エリサ〕の慢性リュウマチが癒され

ました。この奇跡的な出来事について、歴史記録には次のように記されています。『面談している間に、使徒の時代に授けられたような超自然的な賜物<sup>たまもの</sup>に話題が移りました。その場にいた一人がこう言いました。「ジョンソン夫人は腕が不自由です。神は現在地上にいる人に彼女を癒す力を与えておられるでしょうか。」しばらくして別の話題に移ったとき、スミスは立ち上がり、まっすぐに歩いて行って、ジョンソン夫人の手を取ると、この上なく厳肅で、また感動的な口調<sup>くわう</sup>でこう言いました。「女よ、わたしは主イエス・キリストの御名によって命じます。健康になりなさい。」そして、彼はすぐに部屋を出て行きました。』エルサは直ちに癒されました。彼女は翌日『何の支障も痛みもなく』洗濯に精を出していました。〔History of the Church, 第1巻, 215 - 216脚注参照〕この癒しは、ファーザー・ジョンソンとマザー・ジョンソンの改宗に直接つながる出来事となりました。二人は預言者からバプテスマを受けました。』（ブラック, Who's Who in the Doctrine and Covenants, 152）



「主なるわたしは、わたしが<sup>ゆる</sup>赦そうと思う者を赦す。しかし、あなたがたには、すべての人を赦すことが求められる。」（教義と聖約64：10）

#### 教義と聖約64：7 「死に至る」罪を犯すとはどのような意味か

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老は次のように説明しました。「福音の光と真理に背を向ける人、自分をサタンの所有物にしてしまう人、サタンの業に加わり、サタンの業を支持し支える人、このようなことを通してサタンの子になる人は、死に至る罪の道を歩んでいます。そのような人には悔い改めも赦しもなく、どんな形であれ、救われる望みはありません。サタンの子である彼らは、滅びの子でもあるのです。」（Mormon Doctrine, 737）

#### 教義と聖約64：21 フレデリック・G・ウィリアムズ

フレデリック・G・ウィリアムズは、1830年10月に、オハイオ州カートランドで教会に入りました。バプテスマを受けてから間もなく伝道に召されて、その召しを忠実に果たしました。1832年、主はウィリアムズ兄弟を預言者ジョセフ・スミスの副管長として



大管長会で働く召しを与えられました。預言者の信頼を受けた彼は、教会の忠実な指導者として働きましたが、1837年に、真理に対して献身する気持ちが揺らいでしまいました。ウィリアムズ兄弟は副管長の召しを解任され、教会員の資格を失いました。1838年に再びバプテスマを受けて、その後は1842年にこの世を去るまで信仰を守りました（ブラック、*Who's Who in the Doctrine and Covenants*, 346 - 348参照）。

**教義と聖約64：23** この節の「<sup>じゅうぶん</sup>什分の一」は何を指しているか

什分の一の律法は、教義と聖約64章の啓示が与えられてから約7年後に与えられました（教義と聖約119章参照）。23節で用いられている「什分の一」という語は「10分の1を意味するだけでなく、教会の基金への自由意志によるすべてのささげ物や寄付をも意味していた。」（教義と聖約119章の前書き）

**教義と聖約64：21** 主はなぜ「5年の間、カートランドの地に一つのとりでを」保持されたかったのか



ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように教えています。「この神権時代の最初の神殿がここに建設されることになっていました。その神殿において、回復の基本となる鍵が明らかにされることになっていたので。当時の教会員全員がミズーリのシオンへ移動していたとしたら、神殿の建設が敵にくじかれていたであろうことは明らか

です。……教会が発展するためには、古代の預言者たちが持っていた神権の鍵が回復されなければなりません。主は、カートランドに主の宮を建てるよう命じられました。主が訪れてくださるような宮、主が神権の鍵を持つ使者を遣わすことがおできになるような宮です。そのような神殿を建てるためには長い時間が必要でした。……この啓示（主はその啓示の中で、カートランドに堅固なとりでを保持するよう聖徒たちに求められた）が与えられたのは、1831年9月11日でした。この主の宮が奉獻されたのは1836年3月であり、先に述べた聖なる鍵が授けられたのは翌月の4月でした。」（*Church History and Modern Revelation*, 第1巻, 237）

**聖文を研究する**

教義と聖約64章を読みながら、ノートを使って次の活動（A - D）のうち二つを行ってください。

**A マスター聖句** 教義と聖約64：9 - 11

わたしたちは皆、罪を犯したことがあります。ですから、<sup>ゆる</sup>赦し

を求める必要があります。教義と聖約64：7 - 11で主は、どのような人をお赦しになるかを明らかにしておられます。

1. ノートに「主なるわたしは、……者たちを赦す」と書いてください。7 - 11節から「告白する」、「求める」、「死」、「赦す」という言葉を見つけてから、主が赦しを与えられる4つの条件を書き出してください。
2. 4番目の条件（8 - 10節参照）が非常に難しいと感じる人がいますが、どうでしょうか。そう思いますか。そうは思いませんか。理由も書きましょう。
3. 十二使徒定員会会員であるボイド・K・パッカー長老は次のように述べました。「赦しは強力な霊の薬です。もしも癒されたいなら、自分を傷つけた人に、乳香すなわち赦しを与えてください。」（「ギリアデの乳香」『聖徒の道』1988年1月号, 18参照）パッカー長老の言葉を使って、赦さないことはなぜ「大きな罪」（教義と聖約64：9）になると思うか説明してください。

**B マスター聖句** 教義と聖約64：23

教義と聖約64：23で主は、<sup>じゅうぶん</sup>什分の一を正直に納める者は再臨に伴う清めのときに焼かれずに済むと言われました。

1. 23節と24節を比較して、什分の一を正直に納めていると、なぜ「高ぶる者」と「悪を行う者」から区別されるのかを説明してください。
2. 什分の一を完全に納めている人は、ほかの戒めも守ろうと努力するようになる可能性が高いのですが、それはなぜだと思いますか。
3. 什分の一を完全に納めている人には一般的などのような特徴があるのか、親が神権指導者に尋ねてください。什分の一を完全に納めることの価値と大切さについて何が分かりましたか。



「什分の一を納める者は、主の来臨の時に焼かれないであろう。」（教義と聖約64：23）

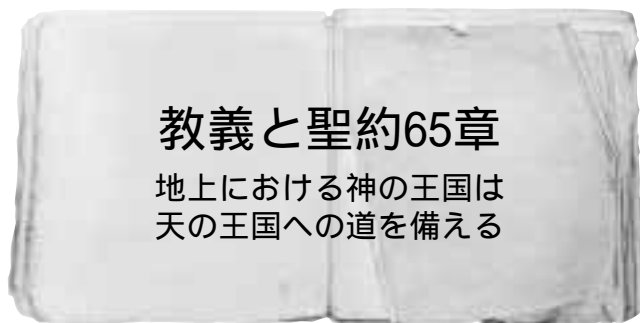
**C 励ましの手紙を書く**

あなたの友達が伝道に出る計画を立てているとします。その友達は、自分には立派に伝道の召しを果すだけの能力がないのではないかと心配しています。主が教義と聖約64：29 - 33で言われた言葉を使って、その友達に励ましの手紙を書いてください。この主の言葉のうち友達に勇気を与えるものはどれでしょうか。ここでは、「成功」とは何であると言っていますか。どうすればその友達が成功できるか説明してください。

**D キーワードを使って文章を書く**

主は、教義と聖約64章の中で、シオンはどのような場所である

かさらに教えておられます。37 - 43節を読んで、「裁判官」、「栄光」、「旗」、「おののき」という言葉を見つけてください。次にその言葉を全部使って、シオンについて説明する文を書いてください。



## 教義と聖約65章

地上における神の王国は  
天の王国への道を備える

新約聖書の中で主は、神の国が来るように祈るよう弟子たちに教えられました（マタイ6：10参照）。神の国とはどのようなものでしょう。それはどこにあるのでしょうか。神の王国と天の王国とは同じもののでしょうか。教義と聖約65章（預言者ジョセフ・スミスは、この章のことを「啓示によって与えられた祈り」であると語った）は、これらの質問に対する大切な答えを幾つか与えています。

### 聖文を理解する



#### 教義と聖約65章

神の王国の鍵<sup>かぎ</sup>（2節） 教会を 征服（6節） 打ち勝つ  
管理する神権の鍵  
ゆだねられて（2節） 与えら  
れて、委任されて

#### 教義と聖約65：2 「人手によらずに山から切り出された石」とは何か



「あたかも人手によらずに山から切り出された石が全地に満ちるまで転がり進むように、そこから福音は地の果てまで転がり進むであろう。」（教義と聖約65：2）

石が転がり出て全地を覆う情景は、旧約聖書に記されている預言に由来しています。それは、末日における神の王国の回復を示すものです（ダニエル2：28 - 45参照）。ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、この回復について次のように語りました。

「わたしたちは地上における最も大いなる王国の民です。人の

知恵ではなく、主イエス・キリストによって導かれている王国です。これは現実に存在する王国です。その王国の行く末ははっきりとしています。これは、預言者ダニエルが述べた王国です。ダニエルは、この王国を、あたかも人手によらずに山から切り出されて、全地に満ちる一つの石のようであると述べました（ダニエル2：34 - 35参照）。

自分がこの王国を造ったとすることができる人は、この世にはいません。この王国は、その頭である神の啓示によって現れたのです。この王国は19世紀に現れて以来、まるで雪玉が転がるように大きくなりながら前進を続けています。」（“Pillars of Truth,” *Ensign*, 1984年1月号, 4）

#### 教義と聖約65：5 - 6 神の王国と天の王国の違いは何か

十二使徒定員委員会員を務めたジェームズ・E・タルメージ長老は次のように説明しました。

『神の王国』という表現は『キリストの教会』と同じ意味で用いられています。しかし、『天の王国』という言葉が、時々別の意味で用いられることがありました。主はそのことを明らかにしておられます。1832年に主は、啓示の中で、このことに注意を促しておられます。その啓示の中で主は、教会の長老たちに語りかけられました〔教義と聖約65：1 - 6参照〕。

『神の王国が進み行きますように。地に住む者に備えができませんように。天の王国が来ますように』と祈るよう、主はこの民に命じられました。口に出して言うだけでなく、祈るようにと言われたのです。それこそが過去において祈るべきことでした。また、現在においても祈るべきことなのです。『御国がきますように。みこころが天に行われるとおり、地にも行われますように』と言われた主の祈りは取り消されたわけではありません。わたしたちは天の王国が来るように祈り、そのために地に住む人を備えています。神の王国（それはすでに地上に確立されています）は……すでに存在する政府を倒すものではありません。神の王国は、この世に存在する国家組織に代わって支配するものでもありません。神の王国が行おうとしていることは、正しい原則を教え、正しい統治の原則に従って生活するように導くことだけです。それは、天の王国が来るまで、一人の王の指揮の下にその王国が地上に確立されるまで続きます。しかし、王がおいでになると、王御自身が支配し、統治されます。なぜならば、王がその権利を持つておられるからです。（Conference Report, 1916年4月, 128 - 129）

### 聖文を研究する



教義と聖約65章を読みながら、ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

#### A 語句と節を結びつける

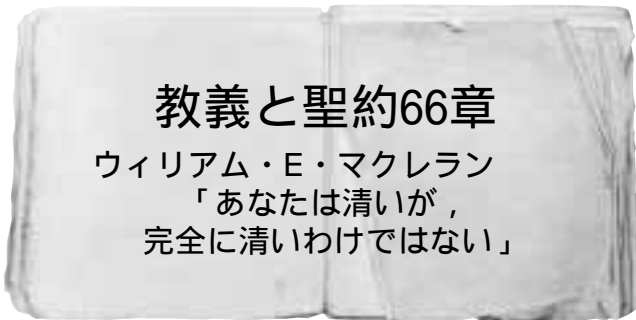
教義と聖約65章の語句と、その意味を最もよく表している文とを結びつけてください。

1. 「その道筋をまっすぐにせよ」（1節）	a. 神権の権能
2. 「神の王国の鍵 <sup>かぎ</sup> 」（2節）	b. 忠実な者たちは、キリストに会うために集まる

3. 「山から切り出された石」 (2節)	c. 偉大な光と力が示される
4. 「小羊の婚宴」(3節)	d. 末日に回復された教会
5. 「その栄光の輝きをまとめて」(5節)	e. 道を備える。物事を整える

### B 祈りを要約する

教義と聖約65：4-6で、ジョセフ・スミスは何が実現するようにと祈っていますか。短くまとめてください。また、それを実現するためにあなたができることを書いてください。



ウィリアム・E・マクレランは、どうしたら福音にさらによく従えるようになるのかを知りたいと、預言者ジョセフ・スミスに啓示を願い求めてきました。教義と聖約66章を学びながら、マクレラン兄弟がこの啓示をどんな思いで聞いたのか考えてください。マクレラン兄弟はどの言葉に慰めと励ましを感じ、どの言葉に苦しんだでしょうか。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約66章

罪悪(1節)	罪	.....	煩わされ(10節)	重荷を負
宣言する(5節)	教える	.....	わされ、苦しめられ	
とどまって(6節)	滞在して	.....		

### 教義と聖約66章 ウィリアム・E・マクレラン

ウィリアム・E・マクレランは、イリノイ州パリスに住んでいたときに、ハービー・ホイットロックとデビッド・ホイットマーから回復された福音のメッセージを聞きました。マクレランの学校には30人から40人の生徒がいましたが、彼はその学校を閉じて、ミズーリ州インディペンデンスへ向かいました。マクレランは1831年8月20日にハイラム・スミスからバプテスマを受けましたが、1838年、背教のため破門されました。

## 聖文を研究する

教義と聖約66章を読みながら、活動Aを行ってください。

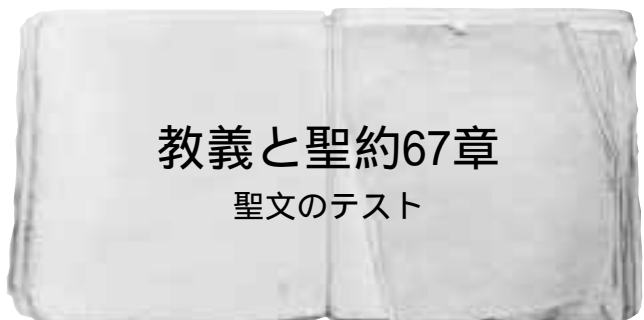
### A 例を見つける

教義と聖約66章には、ウィリアム・E・マクレランを励ます約束が書かれています。それと同時に、彼に対する懲らしめと警告の言葉も記されています。

- この啓示の中にある約束の一つ、懲らしめの一つ、ノートに書いてください。それが書かれている節も、それぞれ書いてください。
- この啓示は、今日の祝福師の祝福とどんな点で似ていますか。
- 教義と聖約66：3と合わせて、モルモン書ヤコブ4：7とエテル12：27を読んでください。これらの聖句で教えられていることをもとにして、次の質問に答えてください。マクレラン兄弟が勧告を求めて主の前に行ったとき、主はなぜ彼の生活の中に「〔主の〕目にかなわない事柄」があると告げられたのですか。(聖典の教義と聖約66：3の余白に、モルモン書ヤコブ4：7とエテル12：27を参照聖句として書き込んでおくといいでしょう。モルモン書ヤコブ4：7とエテル12：27は教義と聖約66：3の脚注に記されていることに注目してください。)



イエス・キリストのもとへ行くならば、主は悔い改められるよう助けをくださる(教義と聖約66：3参照)



オハイオ州ハイラムで開かれた特別な大会中に、預言者ジョセフ・スミスは主から与えられた啓示を書物として出版することを



提案しました。主は大会中に、後に教義と聖約1章となった啓示（主はその啓示を「わたしの戒めの書へのはしがき」と呼ばれた）をお与えになり、出版を承認されました（教義と聖約1：6）。1章の啓示は数々の啓示に対する主の前置きであり、主の証です。

オリバー・カウドリは大会の出席者に向けて1章の啓示を読み上げました。その後数人の兄弟たちが立ち上がり、啓示が真実であることを証し、提案された書物の印刷を支持する意向を示しました。何人かの兄弟たちは啓示の言葉を改善すべきであると言いました。この問題への答えとして、ジョセフは現在の教義と聖約67章に記されている啓示を受けました。67章で主は、啓示のあら探しをしていた者たちに対して、預言者が受けた啓示の中で最も小さいと思えるものと同様のものを作ってみなさい、と言われました（教義と聖約67：6-8参照）



ウィリアム・E・マクレラン（彼は学校の教師だった）は、自分には、主が預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示よりも優れた啓示を書く力があると考えた。しかし、書けないことを自分で認めた。後に彼は、啓示が神からのものであることが分かったと証した。

長老たちは、この福音と主からの戒めと啓示が真実であることを全世界に証しようという決意を示しました。」（History of the Church, 第1巻, 226）

わたしたちは自分の理解力が足りないために、指導者を疑うように誘惑されることがあるかもしれません。教義と聖約67章を学びながら、主が選ばれた指導者に信仰を持たなければならないのはなぜだと主は教えておられるかに特に注意してください。

預言者ジョセフ・スミスは次のように記しています。「前述の〔教義と聖約67章を〕受けてから、ウィリアム・E・マクレラン（彼は、自分だけよりも賢いと考えていました）が、感覚よりも学識に頼って、主の戒めの中で最も小さいと思えるものと同様の戒めを書こうと努力しました。しかし結局書けませんでした。主の名において書くということは恐ろしい責任です。長老たちとそこに居合わせた者たちは全員、イエスキリストの言葉を模倣しようとする一人の男の試みが失敗に終わるのを目の当たりにし、完全な福音に対する信仰を新たにしました。また、主がわたしを通して教会に与えてこられた戒めと啓示は真実なのだという信仰も、新たにしました。そして長老たちは、この福音と主からの戒めと啓示が真実であることを全世界に証しようという決意を示しました。」（History of the Church, 第1巻, 226）

歴史1：17も参照）。主は教義と聖約67：11で、死すべき人間が神の臨在に堪えるには「神の御霊<sup>みたま</sup>によって変えられ」なければならぬことを明らかにされました。つまり、人は神の栄光に堪えられるように、変えられなければならないのです。モーセはそれを「変貌した」状態であると述べました（モーセ1：11）。（ジョセフ・スミス訳ヨハネ1：19；ジョセフ・スミス訳1ヨハネ4：12参照）

## 聖文を研究する

教義と聖約67章を読みながら、ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

### A これらの啓示はあなたにとってどのような意味があるか

教義と聖約1章は67章の啓示を受ける少し前に与えられました。この二つの啓示はともに、預言者ジョセフ・スミスが主から受けてきた数々の啓示を書物として出版することに関するものです（学習ガイドから教義と聖約67章の最初の部分を参照）。

1. 教義と聖約1：17-24と67：4-9を読んで、ジョセフ・スミスが受けた啓示について主が言われたことをまとめてください。
2. 啓示はどのような形式で書かれていますか。この二つの聖句から分かることを書いてください。
3. 今年これまで研究してきた啓示に対してあなたが抱いている気持ちを、簡単に書いてください。心に響いた聖句、生活を変えてくれた聖句を少なくとも一つ選んで、それについて書いてください。

### B 手順を要約する

ときどき、わたしたちに準備ができていないために、主が与えようとしておられる祝福を受けられないことがあります。教義と聖約67：1-3, 10-14で主が言われたことに基づいて、主が約束された祝福を受けるためにわたしたちが行うべき事柄をまとめてください。



## 教義と聖約68章

聖文、神の力、両親

## 聖文を理解する

### 教義と聖約67章

努めて（3節） 努力して 除き去り（10節） 捨て去り、  
彼の言葉よりも優れた表現をす 取り除く  
る（5節） よりの確な表現だ 肉の（10, 12節） この世の、  
と思える言葉を使って啓示を書く 死すべき世の

### 教義と聖約67：10-12 神を見る特権

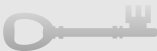
ヨハネ1：18と1ヨハネ4：12の「神を見た者はまだひとりもない」という言葉を読むと、ちょっとおかしいのではないかと感じる人がこれまでいました。なぜなら、わたしたちが知っているように、モーセなどの預言者たちは「顔を合わせて」神と会ったからです（出エジプト33：11。イザヤ6：5；ジョセフ・スミス-

「聖文」とは何でしょうか。伝道活動の目的は何でしょうか。宣教師はどのような力を与えられているのでしょうか。どのような人が監督として召されるのでしょうか。監督の職はアロンの直系子孫とどのような関係があるのでしょうか。両親の第一の責任は何でしょうか。主は聖徒たちの間に問題があったために「喜んでいない」と言われましたが、その問題とは何だったのでしょうか。教義と聖約68章を読みながら、これらの問いの答えを注意して探してください。



両親はその子供たちに祈ることと、主の前をまっすぐに歩むことを教えなければならない。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約68章

嘆願（章の前書き）	祈り	確認する（21節）	明らかにする，知る
説き明かし（1節）	教え，説明し	異議を申し立てる（23節）	反論する，疑問を投げかける
範例（2 - 3節）	模範，規範	怠惰な者（30節）	働くことを拒否する者
直系の子孫（15 - 16，18 - 20節）	直接の血統		

### 教義と聖約68：1 オーソン・ハイドに与えられた預言

「この聖句の預言は文字どおり成就しました。オーソン・ハイドは『民から民へ，地方から地方へ』福音を宣べ伝えました。1832年にオーソン・ハイドとサミュエル・H・スミスは，ニューヨーク州，マサチューセッツ州，メイン州，ロードアイランド州と，3,200キロを徒歩で旅しました。1835年にハイド長老は使徒に聖任され，1837年に伝道のためイングランドへ行きました。1840年に彼はエルサレムに派遣されました。海を越え，イングランドとドイツを経由して，コンスタンチノーブル，カイロ，アレクサンドリアを訪れて，最後に聖都に到着したのです。1841年10月24日，オーソン・ハイドはオリブ山に登って，パレスチナをユダヤ人の集合の地として奉献しました。」（スミスとショダール，*Doctrine and Covenants Commentary*，409）

### 教義と聖約68：4 聖文とは何か

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように教えました。

「中央幹部が今日会衆の前に立ち，主の靈感がその幹部のうえにあれば，その幹部は主が語らせようとされることを語ります。それは，これらの記録に書かれている言葉と同じように聖文なのです。これらの記録は標準聖典と呼んでいます。もちろん，わたしたちは靈感を受けることのできる中央幹部の導きに頼っています。」

教会のために啓示を受ける権利を持つ人は，一時期に一人しか存在しません。それは大管長です。しかしこれはこの教会の他の会員が主の言葉を語るができないという意味ではありません。68章の啓示に示されているとおりです。ただこの書に記されているこれらの啓示と同じように教会に与えられる啓示は，教会の管理役員を通して与えられるのです。それでも総大会，ステーク大会あるいは他の場所で他の僕が，主の語らせられる言葉を語れば，その言葉も他の神権時代の預言者が書いたものや言葉と同様，主の言葉なのです。」（『救いの教義』第1巻，179参照）



教会の指導者の話すことが聖霊の導きによるものかどうかを知るにはどうすればよいでしょうか。副管長を務めたJ・ルーベン・クラーク・ジュニア長老は次のように語りました。

「わたしはこの問いについて考えてきました。これまでのところ，わたしの出した結論はこうです。話者が『聖霊に感じて』いるかどうかわたしたちに分かるのは，わたしたち自身が『聖霊に感じて』いるときだけなのです。」

ある点では，話者が『聖霊に感じて』いると言うとき，ほんとうに『聖霊に感じて』いるかどうかを見極める責任は，話者にではなく，完全にわたしたちの方にあるのです。」（*When Are the Writings or Sermons of Church Leaders Entitled to the Claim of Scriptures?*〔宗教教育者への説教，1954年7月7日〕，7）

## 聖文を研究する



教義と聖約68章を読みながら，ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

### A 子供に説明する

初等協会のクラスを教えているとします。10歳の子供たちに，聖文とは何か（教義と聖約68：4に書いてあること）を理解させたいと思います。この大切な事柄を子供たちが理解できるように話してください。どのように話すか，書き出してみましょう。（必要であれば「聖文を理解する」の情報を活用してください。ただし，自分の言葉で説明してください。）

### B リストを作る

1. 信仰箇条1：4を読んでください。次に，教義と聖約68：25 - 28で両親が子供に教えずにはならないと主が命じておられる「福音の第一の原則と儀式」のリストを作ってください。
2. 教義と聖約68：29 - 33を読むと，教会員に新たな原則が与えられているのが分かります。その原則を書き出してください。31節には主が喜ばれない「悪事」について書いてあります。主がそれを喜ばれないのはなぜだと思いますか。あなたの考えを書いてください。

# 教義と聖約69 - 70章

## 神の啓示 神聖な管理の職



預言者ジョセフ・スミスと兄弟たちが与えられた管理の職は、啓示やその他の教会の資料を出版することだった。

1831年11月1 - 2日に開かれた大会において、啓示をまとめてミズーリへ送ることが決まりました。ミズーリには、W・W・フェルプスが設立した印刷所があり、そこで、『戒めの書』を印刷するのです。教義と聖約69章の啓示では、それらの啓示と、教会員が奉獻した金銭をミズーリへ運ぶ方法が教えられています。この啓示を読むと、主はオリバー・カウドリを一人で行かせることを望んでおられなかったことが分かります。その理由に注意して読んでください。また、この啓示から、ジョン・ホイットマーは、主が自分に何を期待しておられるかをよく理解します。そこにも注目して読んでください。

奉獻の律法の原則に従って、会員は管理の職を与えられます。管理の職とは、会員が生活費を得たり、地域社会に奉仕したりするための手段です。管理の職とは、例えば、農夫であれば土地、商売をする人であれば店、印刷工であれば印刷所がそれに含まれます。教義と聖約70章の啓示は、特別な管理の職に関するものです。その管理の職は、一部の兄弟たちに与えられました。この啓示を学ぶときに、あなたに与えられている義務と責任について考えてください。そして、主の言葉の中から、義務や責任をもっと忠実に果たせるよう励ましてくれる言葉を見つけてください。

### 聖文を理解する

#### 教義と聖約69章

集録(章の前書き) 収集 : 中心地(6節) 本部  
方々(5節) シオン以外の場所

#### 教義と聖約70章

現世のもの(11 - 12節) 物 : 不承不承(14節) いやいや、質的なもの、この世のもの : 憤慨して

#### 教義と聖約70 : 5 - 8 「これらのものを教会員に……与えてはならない」

この兄弟たちは、「数々の啓示と戒めについての管理人」となる責任を与えられました(教義と聖約70 : 3)。それは、これらの教会の書物を印刷し、配送することが彼らの職業となるという意味でした。彼らは自分と家族の生活を支えるために「それらによ

る利益〔収入〕(5節)を使うようにとされました。ちょうど、農夫や店の経営者がするのと同じことです。教会の資料を販売して得た利益は、直接教会には納められませんでした。なぜならば「霊的な事柄をつかさどるように任命される者は、……報酬を受けるのは当然である」からでした(12節)。自分たちの必要を満たす以上の収入があったときは(監督とともに会計処理をして)、その部分は貧しい者を助けるために主の倉に納められました(7節参照)。

#### 教義と聖約70 : 14 現世のものについて平等であるとはどのような意味か

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように説明しています。「わたしたちがこの啓示〔教義と聖約70章〕や、そのほかの啓示から学んできたことによると、シオンに行った人、あるいは行こうと考えた人は皆、奉獻の律法(シオンはこの律法に従って建設されることになっていました)に従わなければなりません。彼らはまた、現世のものについて平等であるよう命じられました。不承不承その聖約に入ってはならないとも命じられていました。平等であるとは、全員が同じ量の食物を受け取るという意味ではなく、各人がその必要に応じて受け取るという意味です。例えば人は、その家族の人数に応じて生活に必要なものを得ました。どんな仕事に携わっているかは関係ありませんでした。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 268 - 269)

### 聖文を研究する

教義と聖約69 - 70章を読みながら、以下の活動(A - C)のうち二つを行ってください。

#### A 聖文にはどれほどの価値があるか

ある大会で、主がこれまで預言者ジョセフ・スミスに与えられた啓示を出版することが決定しました。「大会に出席した人々は、数々の啓示は、教会にとって全世界の富ほどの価値があるということを採用しました。」(History of the Church, 第1巻, 235)

1. 教義と聖約69 - 70章から、教会にとって特に価値があると思う真理の一つを選んでノートに書いてください。
2. 教義と聖約全体の中から、あなた個人にとって特別な意味を持つ真理の一つを選んでノートに書き、その理由を説明してください。

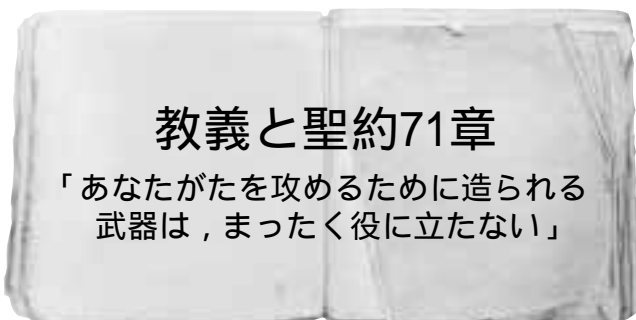
#### B 奉獻の律法はどのように機能するか

教義と聖約70章には、奉獻の律法がどのように機能するかについて、例が示されています。

1. この啓示に登場する6人の名前を挙げて、どのような管理の職がそれぞれ与えられたかを書いてください(1 - 5節と「聖文を理解する」の教義と聖約70 : 5 - 8を参照)。
2. 主は彼らに、管理の職から得た収入をどうするようと言われましたか(6 - 12節参照)。

## C 平等であるとはどういう意味か

友達が教義と聖約70：14 - 18を読んでから、次のように言っ  
とします。「全員がまったく同じものを持つんだったら、シオン  
に住みたいと思うかなあ。ほかの人が全員気に入っているものを、  
自分は好きになれないってことがあったらどうなるんだろう。」  
教義と聖約51：3；70：14 - 16と「聖文を理解する」で学んだこ  
とを基にして、その友達にどう答えるかを書いてください。物質  
的な意味で平等であるということについて、友達が誤解している  
点を訂正してください。さらに、シオンに住むことについて、あ  
なたがすばらしいと思っていることについても記してください。



### 教義と聖約71章

「あなたがたを攻めるために造られる  
武器は、まったく役に立たない」



教会員でない人々が、教会につ  
いて正しい情報を得ることは大切  
です。多くの人々が間違った考え  
や偽りを広めています。教会の真  
実の姿を伝える最善の方法は、教  
会員が回復された福音の真理を説  
明することです。教義と聖約71章  
を研究するときに、当時の新聞で  
広められていた誤った情報につ  
いて、主は預言者ジョセフ・スミス  
に何を行うよう求められたかに注  
目してください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約71章

静める（章の前書き） 着かせる、少なくする	落ち	説明かす（1節） す	詳しく話 す
望まれる（1節） 好ましい	適切である、	言い伏せる（7節） 打ち破る、困惑させる	黙らせる、

### 教義と聖約71：1 - 8 わたしたちはいつ「敵を言い伏せる」べきか

以前にメソジスト派の牧師をしていたエズラ・ブースは、癒し  
の力を目にしたことから教会に加わりました。しかし、ブースは  
背教して、教会に敵対する手紙を9通書きました。オハイオ州ラ  
ベナの『オハイオスター』（Ohio Star）紙に載ったこれらの手紙  
は、教会を激しく非難していました。これについて預言者ジョセ  
フ・スミスは次のように記しました。そうした手紙は「その偏見  
と偽りと空しいくらみによって主の業を覆そうとすることによ  
り、（ブース自身）の欠点と不正と愚かさを明らかにしています。

彼は自らの恥を人々にさらして、世間をあせんとさせています。」  
（History of the Church, 第1巻, 217）背教はブースに始まった  
ことではありませんでしたが、モルモンに敵対する記事を書いて、  
印刷物として広めた教会員は彼が最初でした。

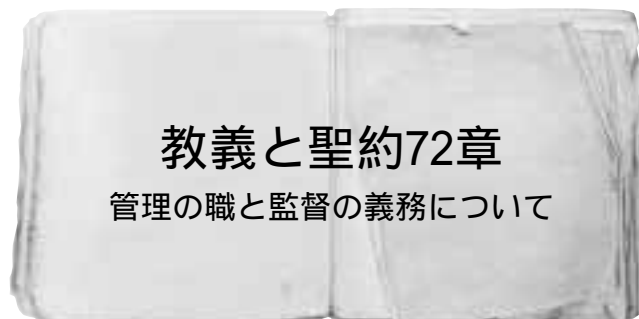
エズラ・ブースが起こした騒ぎはだんだんと激しさを増してき  
ました。そして1831年12月1日、主はジョセフ・スミスとシドニ  
ー・リグドンに翻訳の業を一時中断して、力強く世に福音を宣  
言する召しを与えられました。「時には、邪悪な攻撃を無視す  
ることも賢明ですが、恐れることなく、力強く向き合うことも  
必要です。」（スミスとシヨダール, Doctrine and Covenants  
Commentary, 423）

## 聖文を研究する

教義と聖約71章を読みながら、ノートを使って活動Aを行って  
ください。

### A 詳細に目を向ける

1. ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは教義と聖約71章の  
中で何をするよう命じられましたか。それはなぜですか（1 -  
8節、章の前書き、「聖文を理解する」参照）。
2. 彼らは語るべきことをどのように知るのでしょうか（1節参  
照）。
3. ジョセフ・スミスの時代から現在までの教会歴史を振り返っ  
てみて、主が9 - 11節で言われた約束がそのとおり果たされた  
ことを示す出来事を挙げてください。



### 教義と聖約72章

管理の職と監督の義務について

1831年2月に主はエドワード・パートリッジを教会の最初の監  
督に召されました（教義と聖約41：9参照）。パートリッジ監督は  
預言者ジョセフ・スミスとともにミズーリ州インディペンデンス  
へ行き、そこでシオンの監督を務めました。主は次にオハイオ州  
カートランドの監督としてニューエル・K・ホイットニーを召さ  
れました（教義と聖約72：7 - 8参照）。この年の末までにパート  
リッジ監督の妻リディアは、オハイオから子供たちを連れて、夫  
と合流するためにインディペンデンスへ向かいました。

今日、わたしたちが教会で奉仕する責任は、奉獻の律法の下で  
受ける義務と同じ意味での管理の職ではありません。しかし、管  
理の職に関して主が聖徒たちに与えられた勸告から、わたしたち  
は忠実に奉仕することの大切な教訓を幾つか学ぶことができま  
す。主はわたしたちがふさわしい僕となるために何を行うように  
言われましたか。教義と聖約72章を学ぶとき、主が言われたこと  
に注目してください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約72章

奉献する (12節)	献身する	自分自身と自分の報告 (19節)
もの (13節)	金銭または能力	自分の行動と、責任についての報告
証明書 (17節)	文書による推薦	出版に関する諸事 (20節) 教会の出版に関する責任
すべての人は受け入れられる者とされ (17節) すべて的人是はふさわしいことが明らかであり		

### 教義と聖約72:1-8

#### 初期の教会における監督の義務



教会の第2の監督ニューエル・K・ホイットニー

エドワード・パートリッジ監督は教会の最初の監督として召されました。後に、ほかの監督たちが召されたとき、パートリッジ監督は現在の管理監督と同じような立場に立ちました。このため、ニューエル・K・ホイットニーは実際にはパートリッジ監督の管理の下で働きました。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこう説明しました。「カートランドの監督は管理の職の記録をシオンの監督に『渡す』ことになっていました。そこでは永久記録が保存されました。ニューエル・K・ホイットニーはこの責任を果たすために監督として召されたのです。ホイットニー監督はカートランドにおける主の倉を守り、ぶどう園のその地域において基金を受け取る必要がありました。そして命じられたように長老たちの報告を記録しました。また彼らの必要を満たすために、返済するものを持っているかぎり、すべての人は受けるものを返済しなければなりません。受け取ったこれらの基金は教会の益のため、『貧しい者と乏しい者』のために奉献されました。返済できない者がいれば、報告を記録し、それを『シオンの監督に渡すようにする。するとシオンの監督は、主が彼の手にゆだねるものから負債の支払いをする。』」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 270)

## 聖文を研究する



教義と聖約72章を読みながら、ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

### A 手順を説明する

管理の職という語は奉献の律法の下で受ける義務だけを指しています。しかし、報告の原則は現在の教会の責任に応用することができます。次に挙げる教会の責任について、次のことを説明してください。自分の義務をどのように果たしたか、いつどこで報告すべきでしょうか。また、だれに報告すべきでしょうか(教義と聖約72:2-5参照)。

1. マイアメイドクラス会長
2. アロン神権の祭司

3. ホームティーチャー  
じゅうぶん
4. 什分の一を納めた人

### B 監督の義務



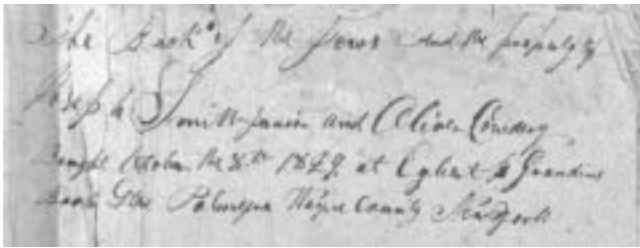
わたしたちは現在、奉献の律法の下で生活していません。しかし、今日の監督の責任の多くは教義と聖約72:5-13で述べられている事柄と似ています。

1. 監督または支部長、あるいは副監督または副支部長とこの聖句について話し合ってください。現在の監督の義務の中で、ここに記されている事柄に似ているものがあります。それをノートに書き出してください。監督はこれらの責任を果たすためにどんなことをしていますか。説明してください。
2. 監督が務めを果たしやすくするために、あなたにはどんな助けができますか。

## 教義と聖約73章

ジョセフ・スミス訳聖書が完成する

ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは1831年12月のほとんどをカートランド地域で伝道することに費やしました。背教者の偽りの報告によって受けた被害を修復するためです(教義と聖約71章の前書き参照)。この召しを果たすために聖書の靈感訳の作業は中断していました。主は教義と聖約73章の中で、ジョセフ・スミスに指示を与えられました。シドニー・リグドンを筆記者として再び翻訳の仕事に集中するように言われたのです。



ジョセフ・スミスが使用していた欽定訳聖書の最初のページ。預言者ジョセフ・スミスは聖書の靈感記を完成させるよう命じられた。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約73章

説き(1節) 教え励まし : 腰に帯を締め(6節) 準備を整え

## 聖文を研究する



教義と聖約73章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

### A ジョセフ・スミス訳聖書の大切さ

主が預言者ジョセフ・スミスに与えられた最初の仕事の一つはモルモン書の翻訳でした。翻訳中に預言者は多くの質問をし、主はそれに答えられました。その啓示の多くは教義と聖約に収められました(例えば、教義と聖約3章; 5-6章; 8-10章参照)。

1. 教義と聖約73:3で、主が預言者とシドニー・リグドンに再び始めるように言われたことは何ですか。
2. 教義と聖約76-77章; 86章; 91章の前書きを読んでください。これらの啓示から、ジョセフ・スミス訳についてどんなことがわかりますか。説明してください。これらの章で教えられていることを簡潔に要約してください。



## 教義と聖約74章

### 預言者の質問

教義と聖約74章は、ジョセフ・スミス訳聖書が、完全な福音の回復にどれほど貢献しているかを示す一つの例です。また、わたしたちが福音の大切な原則を理解するために、ジョセフ・スミス訳聖書がどれほど助けになっているかを示しています。預言者ジョセフ・スミスは、聖書の語句について深く考えているとき、しばしば疑問にぶつかりました。預言者と彼の筆記者シドニー・リグドンは、それらの質問を主に尋ねました。その結果啓示への道

が開かれました。この啓示を学ぶときに次のことを考えてください。近代の啓示があるということは、古代の聖文を理解するうえで、どれほど大きな祝福になっているのでしょうか。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約74章

再開する(章の前書き) 再 : 論争(3節) 口論、大きな不  
び始める 一致  
聖められ(1節) 清く、聖なる者とされて、罪から解放されて : 従う(3節) 従うように拘束する  
割礼の律法(2節) モーセの律法で要求された宗教的しきたり :

### 教義と聖約74:1 信者でない伴侶はどうなるか

使徒パウロの時代に、コリントの一部の教会員は「夫または妻が改宗すると、改宗していない伴侶を清くない、汚れた者として捨てなければならないと考えていたことが明らかです。しかし、そのような必要性はまったくありません。聖パウロは、夫婦のいずれか一人が改宗することによって家族に聖めの力がもたらされると語っています〔1コリント7:12-14参照〕。(スミスとショダール, *Doctrine and Covenants Commentary*, 432)

### 教義と聖約74:1-7 「モーセの律法が彼らの中から廃され〔なければならない〕」

使徒パウロは、未婚の教会員が教会内で結婚することを願っていました。同じ信仰を持たない夫婦に起こる問題を避けるためです。特にパウロは、モーセの律法を引き続き守る習慣がなくなるよう願っていました。

「ここでの主要な考えは、最初と最後の節に表れています〔教義と聖約74:1,7〕。次のように言うことができるでしょう。幼い子供たちは、イエス・キリストの贖罪によって聖められているので、聖い者なのです。

この提議から、二つの結論を導き出すことができます。第1の結論は、この啓示の中で十分に述べられています。つまり幼い子供たちは、聖めを受けるためにモーセの信仰に従った割礼を受ける必要がありません。第2の結論は、第1と同様に大切です。幼い子供たちはイエス・キリストの贖罪によって聖められているので、聖い者だということです。』(スミスとショダール, *Doctrine and Covenants Commentary*, 432)

### 教義と聖約74:5 信仰を共にする人と結婚することの大切さ



十二使徒定員会会員を務めていたときにスペンサー・W・キンボール大管長は次のように記しました。「正しい結婚は正しいデートから始まる。一般に、人は自分が交際している人、一緒に学校へ行く人、一緒に教会へ行く人、社交活動で知り合った人の中から結婚相手を見つける。したがって、次に述べる警告〔申命7:3-4; 2コリント6:14参照〕は非常に重要である。教会員でない人や、教会員であっても未熟な人や信仰のない人とデートしてはならない。『この人と結婚するつもり

なんかいいわ。単なる遊びのデートよ』と言う女性がいるかもしれない。しかし、決して福音を受け入れようとしない人と恋に陥らないとは限らない。教会員と結婚してからバプテスマを受けた人の割合は、ごくわずかである。宗教を異にする人同士で結婚した後教会に加入し、忠実で活発に教会活動を続けているすばらしい人々は、少数ながらいる。わたしたちは彼らを誇りに思い、うれしく思っている。彼らは数少ない祝福された人の中に数えられる。また、教会に加入しなくても親切で、思いやりがあり、協力的で、教会員である配偶者が教会の教えに従って礼拝し、奉仕するのを許している人もいる。しかし、大多数の人々は教会に加わらず、しかも前に述べたように彼らの結婚生活には不和や欲求不満が見られ、さらには離婚にまで行き着くのである。」(『赦しの奇跡』241参照)

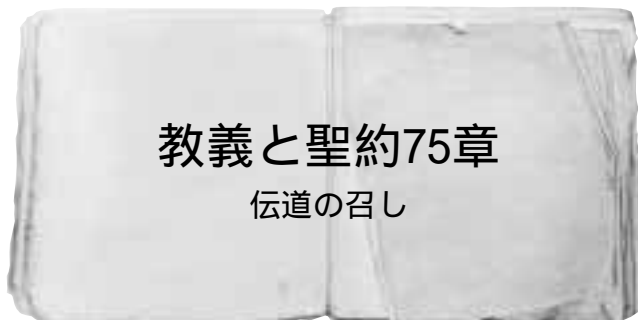
## 聖文を研究する

教義と聖約74章を読みながら、活動Aを行ってください。

### A 要点をまとめる

教義と聖約74章は1コリント7:12-14を理解するうえで助けとなります。そして3つの大切な質問に答えています。以下の質問をノートに書き写して、この啓示からそれぞれの答えを短くまとめて書いてください(必要であれば「聖文を理解する」を活用してください)。

1. 結婚した夫婦の一人だけが福音に改宗しているとします。夫または妻は、改宗していない伴侶に対してどうしたらよいでしょうか。
2. 主はわたしたちにどんな相手と結婚するよう勧告されていますか。
3. 主は幼い子供たちについてどんなことを教えられたでしょうか。



教義と聖約75章はカートランドの西50マイル(約80キロ)にあるオハイオ州アマーストで開かれていた大会で与えられたものです。この大会ではジョセフ・スミスを大神権の大管長として支持するという大切な議題がありました。これは教会の大管長会の職を組織するための第一段階となるものでした。この啓示には、主が2週間前に約束された事柄の成就が記されています。すなわち、長老たちに「大会の声によって、彼らの様々な使命が知らされ」(教義と聖約73:2)しました。当時、既婚の男性は伝道の召しを受けると、妻と家族を家に残して、伝道に出かけていました。この啓示はそれらの人々と家族に対して効果的な助言を与えるものとなりました。どんな助言となりましたか。父親や夫が伝道に出ている家族に対して、ほかの教会員にはどんな責任があったのでしょうか。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約75章

多くの束を積まれ(5節) 伝道活動の大成功を表す象徴的な語句

耐えやすい(22節) 忍耐しやすい

任務を取り消す(6節) 召しを取り消す



©1994 写真家ジャンナス・R・キャノンとE・デール・レバロン

主は伝道活動を、収穫した穀物の束にたとえられた。

教義と聖約75:18-20 「あなたがたの足のちりを払い落とす」とはどのような意味か

教義と聖約24:15の「聖文を理解する」(37ページ)を参照してください。

## 聖文を研究する

教義と聖約75章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

### A 約束について深く考える

1. 教義と聖約75:5, 10-11, 13, 16を読んでください。伝道に出発しようとしている人々に主は何を命じ、約束されましたか。書き出してください。
2. 心に残る約束の一つを選び、それを選んだ理由を短く説明してください。
3. スペンサー・W・キンボール大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに次のように記しました。「伝道はいいかげんなものではありません。選択が可能な教会のプログラムではありません。什分の一や聖餐会の出席、知恵の言葉が選択に任されていないように、伝道はわたしたちの選択に任されているものではありません。もちろんわたしたちには選択の自由があり、主は選択の機会を与えておられます。わたしたちは自分の望むように行動することができます。伝道に行くこともできれば、家にとどまっていることもできます。しかし心身ともに健康なすべての若い男性は、什分の一を納め、集會に出席し、安息日を聖なる日とし、生活をしみのない、清いものに維持する義務があるのと同じように、伝道に行く義務があります。」(Circles of Exaltation [宗教教育者への説教, 1968年6月28日], 3)

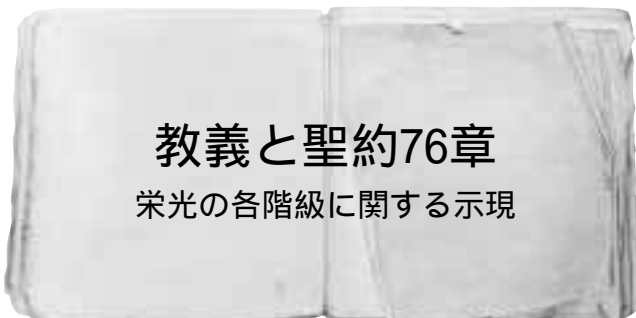
ゴードン・B・ヒンクレー大管長は伝道に出ることについて、若い女性は若い男性と同じ義務を課せられてはいないことを教えました。

「大管長会と十二使徒評議会は若い女性の皆さんに、皆さんには伝道に出る義務がないことをお知らせします。わたしの

この言葉に気を悪くされる方がないことを望みますが、若い女性の皆さんは伝道に関して、若い男性の皆さんほど義務感を抱く必要はないということです。中にはどうしても出たいという方もいらっしゃることでしょう。そうであれば、両親や監督と相談してください。それでも決心が変わらなければ、必要な手続きは監督が知っています。

前にも申し上げましたが、伝道活動は本質的に神権活動です。若い男性が主たる重荷を負わなければならないのはそのためです。伝道活動は彼らの義務であり、責任だからです。」(「神殿、改宗者の定着、伝道活動について」『聖徒の道』1998年1月号, 61)

良い宣教師になるために若い男性はどんな準備をすべきでしょうか。若い女性は若い男性が伝道に備えるためにどんな助けができるでしょうか。



## 教義と聖約76章 栄光の各階級に関する示現

教義と聖約76章が啓示されたのは、預言者ジョセフ・スミスと、シドニー・リグドンが靈感によって聖書の翻訳をしていたときでした。この啓示を受けたときにその場にいたフィロ・ディブル兄弟は次のように記しました。

「『教義と聖約の書』に記録されているその示現は、オハイオ州〔ハイラム〕の『ファーザー・ジョンソン』の家で与えられた。ジョセフとシドニーが御霊みたまに包まれ、天が開かれるのを見ていたとき、その部屋にはほかにも人がいた。多分12人だったと思う。わたしはその時間の一部、おそらく全体の3分の2ほどは同じ部屋にいたと思う。わたしは栄光を目にし、力を感じたが、示現は見なかった。……」

ジョセフは時々、『あれは何だろう』と言った。それは人が窓の外を見ながら話すような口調であり、部屋の中の者たちには見えないものを見ているような感じだった。それから彼は、それまでに見たことや、そのときに見ていたことについて話した。するとシドニーが『わたしにも同じものが見える』と答えた。シドニーも『あれは何だろう』と言ってから、自分が見たことを繰り返し話した。ジョセフは『わたしにも同じものが見える』と答えた。

このような言葉が、示現が終わるまで何度か短い間を置いてやりとりされたが、その間、ほかの人は一言も口をきかなかった。ジョセフとシドニー以外に物音を立てたり、動いたりする人はいなかった。わたしがそこにいた間、だれ一人として関節も手足も動かす人はいなかったように感じた。それは1時間以上続いたと思う。そして示現は終わった。

ジョセフは壮大な栄光の中にいた間中、しっかりとまた落ち着いて座っていたが、シドニーの方は疲れた様子で座り、青白い顔をして見るからに精根尽き果てていた。ジョセフはそれを見て微笑みながら、『シドニーは、わたしほど慣れていないから』と言った。」(“Recollections of the Prophet Joseph Smith,” *The Juvenile Instructor*, 1892年5月15日付, 303 - 304)

ジョセフとシドニーは聖書のある部分を読んでいました。それは、この示現を受けるきっかけとなりました。教義と聖約76章を学びながら、ジョセフとシドニーがどこを読んでいたか見つけてください。示現はどのようにして始まりましたか。二人は栄光の王国をどんな順序で見たでしょうか。示現を受けている部屋の中にいて、この偉大な出来事に少しでもかかわるということは、どんなことだったでしょうか。その状況を考えてみてください。



## 聖文を理解する

### 教義と聖約76章

広大さ(2節) 範囲, 巨大さ, 大きさ	あがな 贖われ(38節) 解放され, 買い戻され, 救出され
無に帰する(9節) 無駄になる	正しい人々(69節) 悔い改めて罪を赦された人々
思いにふけて(19節) 深く考えて, 思いをこらして	大空(70 - 71, 81, 109節) 空
それらに住む者(24節) そこに住んでいる人々	雄々しく(79節) 忠実で勇気のある
滅び(26節) サタン之名 - 破壊	働きによって(86 - 87節) 指示と管理によって
取り囲む(29節) 周囲にいる	支配, 領域(91, 95, 111, 114, 119節) 権能, 統治
滅びの子(32節) サタンに従う者たち, サタンとともに永遠に苦しみを受ける	みだらな行いをする者(103節) 不道德な人々
激しい怒りの器(33節) 怒りや激怒が満ちあふれる	

### 教義と聖約76章 啓示の構成

教義と聖約76章には、人々がこれまで疑問に思ってきた最も大切な質問に対する答えが記されています。76章の内容は以下のように分類することができます。

- 忠実な者たちに与えられた約束(1 - 10節参照)
- この啓示が与えられた背景(11 - 18節参照)
- 神の御子の栄光(19 - 24節参照)
- ルシフェルの墮落(25 - 29節参照)
- 滅びの子が受ける苦しみ(30 - 38, 43 - 49節参照)



- 日の栄えの栄光を受け継ぐ者 (50 - 70, 92 - 96節参照)
- 月の栄えの栄光を受け継ぐ者 (71 - 80, 87, 91, 97節参照)
- 星の栄えの栄光を受け継ぐ者 (81 - 90, 98 - 112節参照)
- この啓示を理解する方法 (114 - 119節参照)

### 教義と聖約76：22 - 24 証人の大切さ

この啓示を受けたのは預言者ジョセフ・スミスだけではなく、ことに注目することが大切です。シドニー・リグドンが示現全体を目撃しただけでなく、ほかの人々が部屋にいました。彼らは示現を見ませんでした。その力を感じたことを証しています。主は民に新しい教義を明らかにされる時はいつも、複数の証人を遣わされます。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、この原則は「聖なる証人の律法」と呼ばれると説明しました。

「証言と証人の任命に関して一つの律法が聖典の中に明確に述べられている。主は民に新しい啓示を与えるに当たっていつもこの律法に従われた。

すべての時代を通してこの律法は常に変わらず、しかも明確であった。もしすべての時代の完全な記録があれば次のことが分かるであろう。それは、主が一つの神権時代を確立されるときには、必ず主を証する証人が二人以上いたことである。パウロはコリント人にあてた手紙で次のように述べている。『すべての事がらは、ふたりか三人の証人の証言によって確定する。』〔2コリント13：1〕(『救いの教義』第1巻, 193)

### 教義と聖約76：29 人の霊に関する戦い

わたしたちがこの世で参加している戦いは、闇に対する光の戦いであり、悪に対する善の戦いです。この戦いは、この地上で始まったものではありませんでした。この地球がわたしたちのために創造される前に、「天では戦いが」ありました(黙示12：7)。サタンは戦いに敗れて、「地に投げ落され、その使たちも、もろともに投げ落され」ました(9節)。しかし、戦いはこれで終わったわけではありませんでした。サタンはこの地上で特に、「神の戒めを守り、イエスのあかしを持っている者たち」を滅ぼそうとしています(17節)。

十二使徒定員会会員であるM・ラッセル・バラード長老はこのように語りました。



「教員は、人の霊に関する戦いで重要な役目を担っています。宣教師は、イエス・キリストの回復された福音という栄光ある教えを全世界の人々に伝えるために、真理の剣を振るって戦っているのです。戦いには常に危険がつきものです。終わりの時の預言によると、人の霊に関する戦いはだんだんと激しいものとなっていきます。

主の再臨が近づくにつれてますます危険性が増していくのです。

来るべき苦難のために自分や家族を備えるには、恐れを信仰に置き換えなければなりません。わたしたちに対抗し、脅威を与える敵への恐れを克服できるようにする必要があります。主は言われました。『小さい群れよ、恐れてはならない。善を行いなさい。この世と地獄をあなたがたに対して連合せなさい。あなたがたがわたしの岩の上に建てられるならば、それらは打ち勝つことができないからである。』(教義と聖約6：34)、「危険を冒して果たすべき務め」『聖徒の道』1990年1月号, 35)

### 教義と聖約76：31 - 35 「滅びの子」とはどのような者たちか

赦されない罪を犯して、滅びの子となる者たちについて預言者ジョセフ・スミスはこう述べました。「聖霊に逆らう罪を除いて、すべての罪は赦されます。イエスが、滅びの子を除くすべての者を救われるからです。赦されない罪を犯すとは、何をすることなのでしょう。それは、聖霊を受け、天が自分に開かれ、神を知った後に、神に背くことです。聖霊に逆らう罪を犯したら、その人には悔い改めはないのです。彼は、太陽を見ていてもそれは輝いていない、と言い、天が開かれていてもイエス・キリストを拒み、真理に目が開いているのに救いの計画を拒みます。そのときから、彼は敵となるのです。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 358)

### 教義と聖約76：37 - 38 「第二の死」とは何か

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、聖霊に背く罪、すなわち赦されない罪は「死にいたる罪である。なぜならこの罪を犯すと霊的に追放される、すなわち第二の死を招くからである。この罰を受けた者は神の御前に出ることを拒否される。そして永遠に悪魔とその使いとともに住むように定められるのである」と説明しました(『救いの教義』第1巻, 48)。

### 教義と聖約76：54 長子の教会とは何か

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように述べました。「バプテスマを受けて教会に入った人は皆、主の戒めを守る義務を負います。バプテスマは『新しくかつ永遠の聖約』(教義と聖約22：1)であるため、その人は聖約の下に置かれます。人は求められたあらゆることに忠実であって、ふさわしい生活を送ったことを証明します。そのときに彼はさらに聖約を受け、相続人となるためのほかの義務を引き受ける特権を得ます。そして『長子の教会』の会員となるのです。『彼らは御父からすべてのものをその手に与えられた者である。』彼は御父の完全と御父の栄光を受けるでしょう。これは価値のあることでしょうか。これは努力なしに得ることのできないものです。」(Conference Report, 1969年4月, 122 - 123)

### 教義と聖約76：84 「これらは、地獄に落とされる者である」

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老は、地獄と星の栄えに行く者たちとの関係について次のように説明しました。

「霊界のうち、復活の日を待つ邪悪な霊が住む部分は地獄と呼ばれる。これら悪人の霊は、死と復活の間、外の暗闇に追いやられる。そこはシェオルの暗く意気消沈する状態であり、邪悪な霊が待たされている死者の国である。彼らは地獄に投げ込まれる。彼らはそこで罰に定められた者<sup>ふくしゅう</sup>に与えられる、責めるような苦しみを受ける。そして永遠の火の復讐にのたうち、涙を流し、泣きわめき、歯ぎしりをする。また、火の憤りのような神の怒りが、邪悪な者のうえに注がれるであろう(アルマ40：11 - 14; 教義と聖約76：103 - 106)。

復活の後、地獄で苦しみを受けた大多数の者は星の栄えの王国に入る。残りの者は滅びの子としてのろいを受ける。そして悪魔とその使いとともに無窮の苦悩を受けるように定められる。

だれが地獄へ行くのだろうか。この問いは、聖典の中で十分に答えられている。星の栄えの王国に行く者は、星の栄えの律法に

対する従順の結果として地獄の深みを通して目的地まで旅をする。したがって、星の栄えの律法に従うすべての者が地獄に行くことになる。」(『モルモン教義』ピーハイブ出版、223 - 224、一部改訂)

## 聖文を研究する

教義と聖約76章を読みながら、ノートを使って次の活動Aを行ってください。次に、そのほかの活動(B - G)のうち3つを行ってください。

### A 構成を理解する

1. 教義と聖約76章の「聖文を理解する」(「啓示の構成」)を使って、そこに記してある分類に従って該当する節にしるしをつけてください。しるしのつけ方はあなたの好きな方法を使ってください。
2. ノートの1ページを3つの欄に分け、それぞれに見出しとして「日の栄えの王国」、「月の栄えの王国」、「星の栄えの王国」と書いてください。教義と聖約76:30 - 112を読み、これらの栄光の王国に行く人々の特徴を、該当する欄に書き出しましょう。



### B 示現を絵に描く

教義と聖約76章で印象に残った二つの場面を絵にしてください。それぞれの絵に簡単な説明を書きます。そして、なぜその場面が印象に残ったのか説明してください。

### C 手紙を書く

1. 教義と聖約76:1 - 10を調べてください。神はどのようにして「最後まで義をもって真理にかなってわたしに仕える者に誉れを与え」(5節)られますか。神が誉れを与えられる方法を説

明している言葉を書き出してください。

2. あなたの友達か家族の中に、正しい行いをするのはとても難しいと思っている人がいるとします。その人は、正しい生活をするよう努力したところで、何の得になるだろうかと考えています。1で書き出した言葉を使って手紙を書いてください。神が義人に何を約束しておられるか手紙の中で説明し、その中でもあなたにとって大きな意味を持つ約束は何か、その人に伝えてください。またその理由も説明してください。

### D マスター聖句 教義と聖約76:22 - 24

1. 76:20 - 24に記録されている証あかしを読んでください。これらの聖句から救い主について何がわかりますか。書き出してください。
2. 預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンは、この救い主の示現を受けた後にどんなことを感じたのでしょうか。よく考えてください。日記にイエス・キリストに対する証と、あなたが救い主について知っていることを書いてください。

### E テストを作る

教義と聖約76章の「聖文を理解する」(「啓示の構成」)の各項目について、テストに使えるような問題を最低一つずつ書いてください。問題の後には答えを書きます。その問題の答えを知ることが大切なのはなぜなのか、説明してください。

### F 『聖句ガイド』を活用する

1. 『聖句ガイド』から「ルシフェル」の項(285 - 286ページ)を読んで、この言葉の意味をノートに書いてください。
2. 前世でのルシフェルについて、どんなことを知っていますか。ルシフェルの身に何が起きたか。1で書いた「ルシフェル」の定義と、教義と聖約76:25 - 29に記されている事柄から、あなたが知っていることを書き出してください。
3. ルシフェルが「神の聖徒たちに戦いを挑む」のはなぜだと思いますか(29節。必要であれば、教義と聖約76:29の「聖句を理解する」も参照してください)。

### G 日の栄えの王国の条件と報い

1. 日の栄えの王国に入ることを望む人には何が求められているのでしょうか。教義と聖約76:50 - 53から見つけて、書き出してください。
2. わたしたちは「信仰によって勝利を得」ることを求められています。なぜでしょうか(53節)。努力と固い決意、強い意志だけでは不十分なのでしょうか(教義と聖約76:69; 2ニーファイ31:19 - 21; モロナイ6:4も参照)。
3. 教義と聖約76:50 - 70, 92 - 96では、日の栄えの王国に入る者たちについて教えています。これらの聖句の中から、あなたが得たいと思う祝福を二つ挙げてください。その祝福を望む理由も説明してください。

## 教義と聖約77章 黙示者ヨハネに関する質問



使徒ヨハネは七つの封印によって封じられた巻き物を見た。

預言者ジョセフ・スミスはかつてこのように宣言しました。「黙示録は、神から命じられて書かれた書物の中で最も簡明なものの一つです。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 290) 使徒ヨハネの書いたこの書は理解しにくいと考える教会員がたくさんいます。またキリスト教社会の中でも、その意味について何世紀もの間論議が交わされてきました。教義と聖約77章は、黙示録を理解するための鍵を幾つか与えています。またわたしたちが黙示録を、ジョセフ・スミスが理解したように理解するのに役立ちます。主が77章で答えられた事柄の前後関係を理解するために、黙示録も参照してください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約77章

比喩的な (2節)	象徴的な	摂理 (6節)	効果的な管理
現世の (2, 6節)	物質的な	エライアス (9節)	神の使者
世界と地上の生活に関する		の称号	
幸い (3節)	幸福		

### 教義と聖約77：2-3 ヨハネが見た生き物について何が分かるか

ヨハネは栄光を持つ生き物を見ました。それらはわたしたちにはなじみのない表現で記されていますが、天の御父の創造において大切な位置を占めています。預言者ジョセフ・スミスは、これらの創造物について次のように語っています。「ヨハネは何千種類もの生き物が天にいるのを見たと思われます。これは、この地球のような幾千幾万という地球から救われた生き物であって、わたしたちの思いも及ばない珍しいものでした。これらはすべて天で見ることのできるものでした。この大いなる奥義は、天にあるものをヨハネに示すものでした。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 291) 別の機会に預言者はこのように語りました。「4つの生き物は、その創造の目的を達した生き物の中でも最も気高いものであり、ほかの世界から救われたものでした。なぜなら、それらの生き物は完全だったからです。4つの生き物はその領域における天使のような存在でした。それらの生き物がどこから来たのが告げられていませんし、わたしはそれを知りません。しかし、それらの生き物が神をたたえ、神に栄光を帰しているのを、ヨハネは目にし、耳にしたのです。」(History of the Church, 第5巻, 343 - 344) この啓示から、宇宙はわたしたちが普通考えるよ

りも、はるかに複雑で大きいことが分かります。

### 教義と聖約77：15 「二人の証人」について何が分かるか

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老はこう教えました。「この二人は、あの謙遜な人、ジョセフ・スミスの支持者です。天の主はこの最後の神権時代 主の恵みあふれる神権時代に永遠の完全な福音をジョセフ・スミスを通して回復されました。彼らは間違いなく、十二使徒評議会または大管長会の一員です。」(Doctrinal New Testament Commentary, 第3巻, 509)

## 聖文を研究する

教義と聖約77章を読みながら、ノートを使って次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A 『聖句ガイド』を活用する

教義と聖約77：1の脚注には、『聖句ガイド』の「地球(地)最終的な状態」を参照せよとの指示があります。『聖句ガイド』からこの語を見つけて(169ページ)、参照聖句を幾つか読んでください。「地球(地)最終的な状態」についてさらに理解が深まるでしょう。地球という惑星に将来起きる事柄を理解するうえで助けとなることを、3つ挙げてください。

### B 七つの封印で封じられている巻き物

- 「七つの封印で裏を封じられている巻き物」と黙示5：1でヨハネが見た封印について、教義と聖約77：6-7からどんなことが分かりますか。
- 神は地上で起きることを初めから知っておられました。この事実から、どんな慰めを得ますか。

### C 言葉を説明する

- ジョセフ・スミスは額に印を押された忠実な者たちについて主に質問しました。教義と聖約77：9-11には、その質問に対する主の答えが記されています。黙示7：1-4と14：1も読んでください。この「印」は、額に押された者がどういう者だということを表していますか。説明してください。
- これは現在起きていることだと思いますか、それとも将来起きることだと思いますか。

## 教義と聖約78章

### 監督の倉を設ける必要性

必要以上のものを持っている人もいれば、生きることにすら苦しんでいる人もいます。天の御父は意図的にそうなさったのでし

ようか。教義と聖約78章の中で、主は、すべての子らに必要とするものを与える計画を説明しておられます。この世で得た祝福を、主の望んでおられる方法で用いる者たちに、主は約束を与えられました。主が約束された祝福を見つけてください。



Year (1978年), 74)

## 教義と聖約78：11 - 12 「サタンに……打たれる」とはどのような意味か

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコスキー長老はこのように教えました。「『サタンに引き渡されて打たれる』とはサタンに屈することです。その人を守る神権の力や義の力、神聖な神の力が取り去られ、ルシフェルは何物にもじゃまされることなくその人を悩まし、苦しめ、苦境に陥れます。枷をはずされたサタンの誘惑とのろいは、この世においても来る世においても、言葉では言い尽くせないほどの苦しみを引き起こします。その苦しきは燃える火と硫黄に象徴されています。地獄で受ける罰の定めはひどい苦しみをもたらすのです。」(Mormon Doctrine, 108)

## 聖文を理解する



### 教義と聖約78章

支持して(4節) 受け入れて、子なるアーマン(20節) 神  
自分をゆだねて の御子(アーマンとはアダムが  
話した言葉で「神」を意味する)

### 教義と聖約78：3 「わたしの民の中の貧しい者のため(の)倉」

主は1831年2月に教会に対して律法を与えられました。そのとき主は、「貧しい者を思い起こし、……彼らの扶養のためにあなたの財産のうちから奉獻する」よう会員たちに命じられました(教義と聖約42：30)。貧しい者を扶養するために与えられたものは「わたしの教会の監督、ならびに……副監督の前に置く」よう定められました(31節)。監督が緊急に物資を必要としている者たちの世話をした後に残ったものは、「貧しい者と乏しい者に与えるために」、「わたしの倉に蓄えておく」ように命じられました(34節)。1832年3月、約束された倉を設ける時が来ました。

### 教義と聖約78：5 - 7 平等であるとはどのような意味か

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように教えています。「平等であるということ、主は、すべての人がその労働に対して同じ報酬を受けるとい意味で用いられたものではありません。各人が、その必要に応じて受けることができるようになることを、主は意図しておられたのです。こうすることによって平等を維持することができます。民の心の中に利己心がなければ、ここで望まれている目的を達成することができます。しかし、人々の心から嫉妬と利己心を取り除かなければ、その実現は不可能です。平等ということについて、日の栄えの律法を守れるようになることが必要不可欠なのです。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 307)

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこう語りました。「啓示で平等がうたわれているために、共同制度は共同社会と共産主義の理論と実践であるという誤った結論を導き出している人々がいます。共同制度における平等は、今日一部の人が唱道しているような、経済と社会の平準化ではありません。主が語られた平等とは『各人の家族に応じて、また各人の事情と入り用と必要に応じて、平等に』することです(教義と聖約51：3)。「A Vision and a Hope for the Youth of Zion, 1977 Devotional Speeches of the

## 聖文を研究する



教義と聖約78章を読みながら、ノートを使って次の活動(A - D)のうち3つを行ってください。

### A インタビューを行う

1. 教義と聖約42：30 - 34と78：1 - 4を読んでください。奉獻の律法の下で、倉はどのように使われていましたか。説明してください。
2. 今日では百分の一の律法の下に暮らしているため、監督の倉の運営方法は違います。その違いを、扶助協会会長または神権指導者に尋ねてください。学んだことを、短くまとめて書きましょう。

### B 違いを考える

1. 教義と聖約78章の中で、主は「地上のものにおいて平等になる」ようにと言われました(6節)。これは、どのような意味でしょうか。説明してください(教義と聖約78：5 - 7の「聖文を理解する」も参照してください)。
2. もしすべての人が1のような意味で「平等」であったとしたら、あなたの周辺や学校、地域社会はどんなふうになるでしょうか。

### C 理由を挙げる

主は教義と聖約78：14で、教会は世のほかのすべてのものから「自立」すべきであると言われました。

1. この啓示を通して、主は教会員の自立に役立つ指示をお与えになりました。どのような指示ですか。
2. わたしたちが自立できるように、教会はほかにどんなことをしていますか。また、どんなことを教えているのでしょうか。

### D あなたは何と言うか

あなたの友達に教師定員会会長がいますが、元気がありません。定員会の中に、活動に興味を持ってくれない会員が何人かいて、教会には来るけれども、若い男性の平日の活動には出て来ないというのです。主がこの友人に理解するよう望んでおられることは、何でしょうか。教義と聖約78：17 - 18を使ってこの友人を励ましてください。

## 教義と聖約79 - 80章

### 伝道の召し

預言者のサインが入った伝道の召しを受けることは、何とすばらしいことでしょうか。教義と聖約79 - 80章で伝道の召しを受けた兄弟たちがどんなふう感じたか、想像してみましょう。この兄弟たちは、伝道の召しを受けたために、現在の宣教師にはないような問題に直面しました。それは、どんな問題でしたか。



## 聖文を理解する

### 教義と聖約79章

東の地方（1節） 合衆国東部  
慰め主（2節） 聖霊  
彼に数々の束を冠として与えよう（3節） 改宗者を得ることができるよう祝福しよう

### 教義と聖約80章

迷う（3節） 間違える

### 教義と聖約80：4 あなたは知らないことを教えることができない

十二使徒定員会会員を務めたオーソン・ブラット長老は伝道活動について次のような経験を述べています。「わたしは何度か宣教師グループとともに外国へ行きました。……そして、彼らが嘆き悲しんでいるのを目にしましたが、彼らは自分たちの気持ちを次のように語り合っていました。『わたしはつまらないことばかりに時間を費やし、永遠の命の原則を蓄えるよう、心がけてきませんでした。もっと聖文を研究したり、教義を深く理解できるように勉強したりしておけばよかったと思います。わたしたちを導く原則、天から明らかにされた原則がもっとよく分かるように、時間を取って学んでおけばよかったと思います。そうしておけば、雄々しくこの原則を宣言し、地に住む人々を教えることができたはずなのですが。』」（*Journal of Discourses*, 第7巻, 76）

## 聖文を研究する

教義と聖約79 - 80章を読みながら、ノートを使って次の活動AまたはBを行ってください。

### A 伝道活動の祝福

1. 教義と聖約79：1で、主はジェレド・カーターに福音をどう説明しておられますか。
2. 福音に対して、主が言われたように感じていない人がいるとします。そのような人は何をすべきだと思いますか。
3. 主はカーター兄弟に対して、もし忠実であるならば、どんな約束を与えるとっておられますか。あなたが今、この約束を受けるためにはどうすればよいでしょうか。

### B 伝道の準備

1. 教義と聖約80章の中で、スティーブン・パーネットとイーデン・スミスは伝道中に何を教えるよう命じられましたか。
2. 主が考えておられるような方法でこの戒めを果たすために、すべての宣教師は前もって何をしなければならいでしょうか。

## 教義と聖約81章

### 大管長会に与えられた主の勧告

主は預言者に、教会の完全な組織を一度に啓示されたわけではありません。教会の発展とともに組織も大きくなりました。教義と聖約81章の中で主はジョセフ・スミスに、「大神権の大管長会」についてさらに勧告をお与えになりました。これは後に大管長会となります。教会を導くジョセフ・スミスを助けるために、主は何をされましか。フレデリック・G・ウィリアムズは主からこの召しを受けたときにどう感じたでしょうか。想像してください。この啓示はもともとジェシー・ガウスに与えられるはずであったことに注目してください。ガウス兄弟は教会に忠実であり続けることができませんでした（教義と聖約81章の前書き参照）。



フレデリック・G・ウィリアムズは預言者ジョセフ・スミスの副管長として召された。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約81章

助け(5節) 支援して、支えて  
最後の文字(この称号はイエス・キリストが「初めてであり、終わりであって、最初であり、最後である」ことを象徴している。)

アルファ、オメガ(7節) ギリシャ語アルファベットの最初と

### 教義と聖約81:2 「王国の鍵」は常に大管長会が保有する



ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は総大会の神権部会で、王国の鍵は常に大管長会に属するという事実について次のように述べました。「この鍵〔この地上における、神の王国の鍵〕とは管理する権利のことです。地上で、主の事柄のすべてを管理したり、指示を与えたりする力と権威のことです。この鍵を持つ人は、ほかの人が神権を使ってどのように奉仕すべきかを管理し統治する力

を持っています。わたしたちは全員神権を持つことができます。しかし、鍵を持っている人から権能を与えられ、指示を受ける範囲の中でだけ、神権を使うことができます。

この神権とこれらの鍵を、ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに与えたのは、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、またモーセ、エリヤ、その他古代の預言者たちでした。これら神権の鍵は、十二使徒評議会の会員に聖任された人々にそれぞれ与えられています。しかし、これらの鍵、すなわち管理する権利を完全に行使することができるただ一人の人は、この地上では神の先任使徒、すなわち大管長だけなのです。

さて、実ははっきりと力強く述べたいと思います。わたしたちは聖なる神権を持ち、神の王国の鍵はここにあります。神の王国の鍵は、末日聖徒イエス・キリスト教会にだけ、あるのです。

啓示の中で、主はジョセフ・スミスに、これらの鍵は『大管長会に常に属する』(教義と聖約81:2)とおっしゃいました。

さて、兄弟の皆さん、今ここでぜひともはっきりさせておかなければならないことが一つあります。この教会の大管長や大管長会、あるいは大管長会と十二使徒会の統一した見解は聖徒を決して間違った方向に導くことはありません。また、主の思いと御心とは異なる勧告を世界に発することも無いのです。

個々の人々は道から外れるようなことをしたり、主の考えとは違う見解を持ったり、舌足らずな忠告を与えたりすることがあるかもしれませんが、しかし、大管長会の意見や、同じように神の王国の鍵を握るほかの幹部の統一見解はいつでも、聖徒や世界中の人々を主が望まれる道へと導くのです。

もしわたしたちが大管長会の言葉に注意を向け、その勧告と指示に従うならば、この世のどんな力も教会の発展を妨げることができませんし、教会の行く末を変えることもできません。そしてわたしたちは、この世においては平安を得、来るべき世においては永遠の栄光を継ぐ者となるのです。」「(「永遠の鍵と管理する権能」『聖徒の道』1973年3月号、114参照)

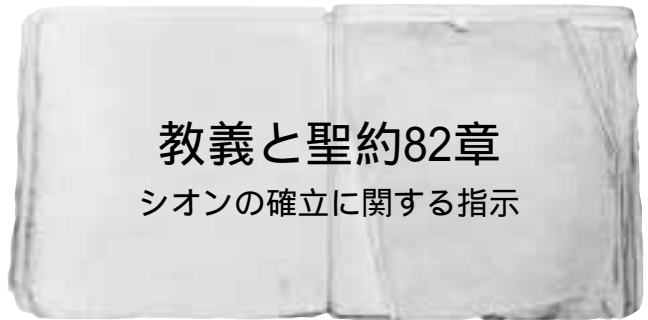
## 聖文を研究する



教義と聖約81章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

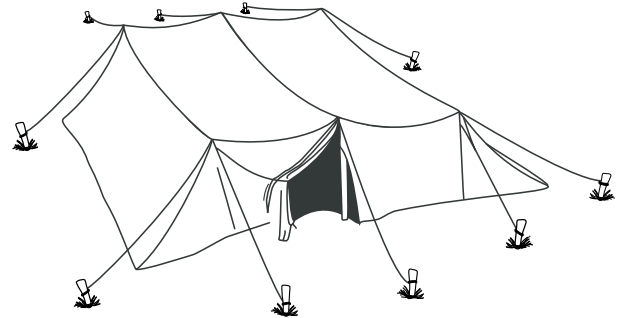
### A チェックリストを作る

教義と聖約81章を読みます。主がフレデリック・G・ウィリアムズに行くよう求められたことは何でしょうか。挙げてください。大管長会だけに該当する項目にチェック(✓)をつけ、すべての教会員に該当すると思う事柄に丸印(○)をつけてください。



## 教義と聖約82章 シオンの確立に関する指示

わたしたちはイエス・キリストの再臨の前に、ミズーリ州インディペンデンスにシオンの町が確立されることを信じています。あなたはこの偉大な業の中で、どんな役割を果たすでしょうか。また、この業に参加するためにどんな準備ができますか。どんなふうに分身を変える必要があるでしょうか。主が初期の教会指導者に与えられた勧告は、もちろんわたしたちにとっても大切なものです。その勧告によく耳を傾けて従わなければ、わたしたちもシオン確立の業に参加することができないからです。



遠方にいる教会の会衆(ステーキ)がどのようにシオンを支え、シオンの発展を支援するかを説明するために、主はテントとテントの杭というたとえをお使いになった。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約82章

過ち(1節) 律法または戒めを破ること

戒めに背く者(4節) 律法を破る者、罪人

燃える(6節) かき立てる、起こさせる

結束する(15節) 誓う、義務を課す

あなたの継承者(20節) 後に来る人々

サタンに……打たれる(21節) 苦痛を与えられる(教義と聖約78:11-12の「聖文を理解する」も参照)

## 教義と聖約82：14 「シオンは立ち上がらなければならない」

シオンという言葉は聖書とモルモン書に200回以上、そしてほぼ同じくらい教義と聖約に出てきます。これは終わりの時に関係のある非常に大切な原則です。預言者ジョセフ・スミスはあふれるばかりの喜びを抱いてミズーリ州インディペンデンスを訪れ、そこをシオンの地として奉獻しました。預言者はシオンについてこう述べました。「あらゆる時代の神の民は、シオンを築くということを大きな理想としてきました。預言者、祭司、王たちは、特にこのテーマについて語るのを喜びとしました。彼らはわたしたちが生きている時代を楽しみに待ち望んでいたのです。天からの喜びのおとずれに胸を躍らせ、わたしたちの時代のことを詩歌に詠い、文章に表し、また預言しました。……わたしたちは神から末日の栄光をもたらすように選ばれた、恵まれた民なのです。この末日の栄光、すなわち時満ちる神権時代を見、それに加わり、前進させるのはわたしたちの任務です。」(History of the Church, 第4巻, 609 - 610)

## 教義と聖約82：22 「あなたがた自身のために、不義の富を持つ者と友になりなさい」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように説明しました。「主が聖徒に言われた『不義の富を持つ者と友になりなさい』という戒めは正しく理解しないと、堪えがたい言葉になります。『不義の富を持つ者』を友として、一緒に罪を犯しなさいという意味ではありません。また、心の底からその友を受け入れて親戚のような間柄となり、その標準に従って生活しなさいという意味でもありません。兄弟たちは、敵との間で平和に暮らすことを求められたのです。正しく高潔な原則の許す範囲で敵に親切にし、敵と仲良くすることを求められたのです。敵と仲間になって一緒に酒を飲み、大騒ぎをするよう求められたわけでは決してありません。敵に対する偏見を捨て、話し合う気持ちがあることを示し、やさしい気持ちを示すならば、彼らの敵対心を和らげることができるかもしれません。裁きは主に委ねるべきなのです。」(Church History and Modern Revelation, 第1巻, 323)

## 聖文を研究する

教義と聖約82章を読みながら、次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A マスター聖句 教義と聖約82：3

- 1ニーフай3：7と教義と聖約82：3を読んでください。この二つの聖句から従順について何が分かりますか。ノートに説明を書いてください。説明には、この二つの聖句から分かったことを使ってください。
- この二つの聖句が言っていることを表す標語を書いてください。ポスターを描いてもいいです。

### B マスター聖句 教義と聖約82：10

- エテル3：12を読んでください。天の御父は必ず約束を守られます。なぜそのことが分かるのか、ノートに書いてください。
- 教義と聖約82：10を読んでください。神はここで何を約束しておられるか、「もし……ならば、……」の形で説明してください。

3. 教義と聖約59：12 - 20で安息日を聖なる日とする戒めを学びました。「もし……ならば、……」の形を使って学んだことを書いてください。
4. ほかの戒めを選んで、その戒めについても「もし……ならば、……」の形を使って書いてください。

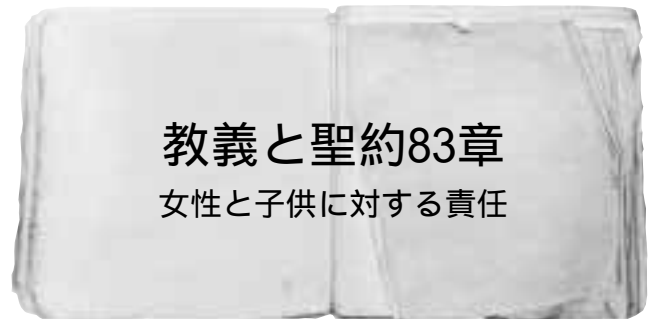
## C 原因と結果を見つける

教義と聖約82章の中で、主は預言者ジョセフ・スミスに、シオンの建設についてさらに指示を与えられました。

1. ノートに次の表を書き写し、見出しを書き入れてください。

望まれている結果	それゆえ	これらの戒め

2. 「望まれている結果」に、主がシオンで起きるように望んでおられる事柄を書き出してください(教義と聖約82：14参照)。
3. 15節の中から「それゆえ」という言葉を見つけて、しるしをつけてください。
4. 15 - 19節を読みます。望まれている結果を得るために主が聖徒たちに与えられた戒めを「これらの戒め」に書き出してください。
5. 戒めに従わなければ、主が望んでおられる事柄は実現しません。なぜでしょうか。理由を挙げて、説明してください。



## 教義と聖約83章

### 女性と子供に対する責任



母親が一人で子供を育てるのは容易なことではありません。教義と聖約83章の中で、主は奉獻の律法の下で教会は、このような母親をどのように支援すべきかを説明されました。この原則は今日でもほとんど変わっていません。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約83章

扶養（2, 4節） 支援, 養育

### 教義と聖約83：6 「やもめと孤児を扶養しなければならない」

ジョセフ・F・スミス大管長は次のように述べました。「やもめが助けを必要としているならばその世話をし、父親のない子供や孤児には教会の基金から援助しなければなりません。それは、そのような子供たちに衣類と食物を与え、世話してくれる親のいる子供たちと同じように教育の機会を与えるためです。父親のない子供や母親のない子供がいれば、教会はその子供の親になります。そのような子供を世話する義務、教会のほかの子供たちと平等な機会をそのような子供たちが得られるようにする義務が教会にはあります。これは偉大な責任です。」(Conference Report, 1899年10月, 39)

## 聖文を研究する

教義と聖約83章を読みながら、ノートを使って活動Aを行ってください。

### A ニュースの記事を書く

あなたは小さな地方紙の新聞記者で、父親を事故で亡くした家族について記事を書く責任を与えられました。残された妻とインタビューを行って、夫の収入や支えなしにこれからどのように生活していくつもりかを尋ねたところ、彼女は自分が末日聖徒であることを打ち明けました。この困難なときに教会は彼女と子供たちをどのように助けてくれているのでしょうか。教義と聖約83章に記されている事柄を基にして、彼女が答えると思われることを記事に書いてください。(必要であれば、親か教会の指導者に手伝ってもらってください。)

## 教義と聖約84章

### 神権に関する啓示

あなたは神の神権について何を知っていますか。神権の目的は何ですか。神権はあなたの生活にどんな影響を与えてきましたか。神権が全世界の人々にとって大切なのはなぜでしょうか。神権の誓詞と聖約とは何ですか。神権の誓詞と聖約は、それを受け入れる人にとってどんな意味があるのでしょうか。教義と聖約84章には、神権について多くのことが記されています。また神権を持つ人々はどのように教会を管理し、わたしたちの生活と全世界の人々の生活にどんな祝福をもたらすか記されています。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約84章

築かれる（4節） 建設される

陰謀（16節） 二人以上の人が相手に危害を与えるために、あるいは優位に立つために考える邪悪なたくらみまたは計画

残る（18節） なくなる、耐える

大神権（19節） メルキゼデク神権

現れる（20 - 21節） 知らされる

小神権（26節） アロン神権

肉の（27節） この世の、物質に関する（この世に關係のあるもの）

まっすぐにし（28節） 準備し

付属の（29 - 30節） 帰属する

誓詞（39節） 正式な宣言または約束

確認する、確認された（42, 48節） 合法的であり有効であることを宣言する

虚栄（55節） 自己中心、高慢

懲らしめ（58, 96節） 罰、苦難

確固（61節） 忠実、確かなもの

厳粛に（61節） 神聖な態度または気持ちをもって

とがめを受ける（76節） 叱責される

袋（78, 86節） 旅行用のバッグ

着飾って（82節） 晴れ着を着て

必要な（85節） 合った

責める（87, 117節） 悔い改めを呼びかける、誤りを指摘する

惜しんではならない（94節） 可能な限りのあらゆる努力をしなければならない

産みの苦しみをなし、その力を産み出した（101節） 苦しんで子を産むことにたとえている。イエス・キリストの再臨の前に地上に苦難が訪れ、その後福千年の「誕生」があることの象徴

教化されて（106, 110節） 高揚されて、啓発されて、靈的に強められて

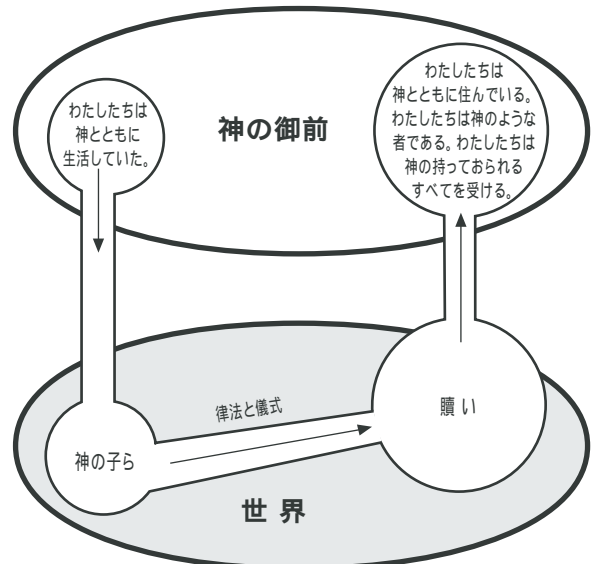
実務（113節） 教会と関係のない事業

荒廃、荒れ果てる（114 - 115, 117節） 破壊と裁きによってもたらされる空虚な状態；「忌まわしい荒廃」は、主の目に憎むべき行動、または非常に攻撃的な行動をとったために訪れる破壊を指す。

裂こう（118節） 破壊しよう

### 教義と聖約84：2 「主の民の回復のために」

#### 神の子らの回復





教義と聖約84：2の回復という言葉は、末日に完全な福音が地上にもたらされることを指しているではありません。神の子らを地上における神の王国、つまり末日聖徒イエス・キリスト教会に連れ戻すことを指しているのです。その後、神の子らは永遠の命を受けて神の前に帰ります。この永遠の命への回復は、イエス・キリストの贖罪しよくざいの力を通して可能となります。これは教義と聖約84章に述べられている神権の儀式と力によって実現されるのです。

#### 教義と聖約84：4 - 5 どの神殿？どの時代？

教義と聖約84：4 - 5で、主は新エルサレム（ミズーリ州ジャクソン郡）に特別な神殿が築かれると言われました。主はまた、神殿が「この時代に」築かれて、主の栄光が特別な方法でそこにとどまるとも言われました。



預言者ジョセフ・スミスはこの神殿を建設するための場所を奉獻しました（教義と聖約57章と教義と聖約58：57の「聖文を理解する」70 - 71参照）。しかし、聖徒たちはそのとき神殿を建てることができませんでした。教義と聖約84章はこの神権時代に神殿が建てられるという約束を再確認しています。

「この時代」（教義と聖約84：4 - 5参照）とは、この神権時代、すなわち、イエス・キリストの再臨を前にした最後の神権時代を指しています。

#### 教義と聖約84：6 中断された言葉

教義と聖約84：6で、主は新エルサレムに建てられる神殿に関連して、モーセの息子たちについて話し始められました。最初の節で「そして、……モーセの息子たち」まで語られると、主はモーセとイスラエルの子らが持っていた神権について語るのを中断されました。その話と新エルサレムに建設される神殿に関する話は、31節でまた出てきます。

#### 教義と聖約84：33 神権の召しを尊んで大いなるものとする

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこう語りました。「神権の召しを尊んで大いなるものとするとは、神権の召しを尊び、大切に思うことです。また、そのような気持ちを強めるとともに、神権の職を務める人の気高い行いや義にかなった行いを見て、人々が神権の職を尊敬し、たたえるようにすることです。」（*Teachings of Ezra Taft Benson*, 453）

十二使徒定員会会員であるニール・A・マックスウェル長老はこう教えています。「召しを尊んで大いなるものとするとは、自分の家族、群れ、友人、そのほかの人々に対する神権の奉仕活動の範囲を、信仰の目をもって広げることです。」（*I Will Arise and Go to My Father*, *Ensign*, 1993年9月号, 66）

#### 教義と聖約84：54 - 58 モルモン書と罪の宣告

1986年4月の総大会で最初の説教あかしにおいて、エズラ・タフト・ベンソン大管長は次のように証を述べました。

「主は、人々がモルモン書を軽んじたために、教義と聖約第84章で、全教会が罪の宣告のもとにあると言われました。〔教義と聖約84：56 - 57を引用〕



今わたしたちに必要なのは、モルモン書について口にするだけでなく、その教えにさらによく従うことです。なぜでしょうか。主は答えておられます。〔教義と聖約84：58を引用〕わたしたちはこの懲らしめと裁きを感じています。

わたしたちは今まで、個人の学習の中心にモルモン書を置いてきませんでした。現在でもそれは変わりません。家族に教える場合でも、人々に福音を教えたり、伝道活動を行ったりする場合でも、モルモン書を中心にしてはなりません。この点についてわたしたちは悔い改めなければなりません。〔「器の内側を清める」『聖徒の道』1986年7月号, 5）

その後、同じ総大会でベンソン大管長はモルモン書を活用することの大切さを再び強調しました。



「主は教会を財政的な危機から救うために、御自身しよへの僕ロレンゾ・スノーに靈感を与え、什分の一の原則を再度強調されました。……

そして主は今、モルモン書を再度強調する必要があるということを啓示しておられます。それは教会とシオンのすべての子らを、罪の宣告すなわち懲らしめと裁きから逃れさせるためです。このメッセージを全教会の会員に伝えなければなりません。……

……モルモン書がさらによく理解できるように祝福します。これからモルモン書を毎日ひもとき、そこに書かれている教えに従って生きるなら、神がシオンの子らと教会のうえに、かつてない祝福を注いでくださるということを約束いたします。そうすれば、神の罪の宣告、すなわち懲らしめと裁きを取り除いてくださるようにと、主に願うことができるようになります。確かにこれが真実であることを証します。〔「神聖な務め」『聖徒の道』1986年7月号, 78）

#### 教義と聖約84：77 - 90 宣教師への指示と約束

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老は、次のように説明しています。「財布も袋も持たずに、世に出て行って福音を宣べ伝えるよう召された人々には、特別な規則が適用されます。宣教師はその務めを果たしている間、事業やこの世的な事柄にはかかわりません。世の事柄に携わる人々につきものの、わずらわしい義務とは無縁なのです。宣教師は全神経と力と才能を伝道に向けます。日々の必要は御父が心配してくださるという約束を受けているのです。〕（*Doctrinal New Testament Commentary*, 243）

#### 教義と聖約84：92 「あなたがたの足を洗い清める」

教義と聖約24：15の「聖文を理解する」（37ページ）を参照してください。

### 聖文を研究する

教義と聖約84章を読みながら、ノートを使って活動Cを行ってください。また、そのほかの活動（A - B, D - F）の中から3つを行ってください。

## A メルキゼデク神権について学ぶ

ノートに次のような表を作ってください。メルキゼデク神権について、教義と聖約84：14 - 25を読んで分かったことを、最初の欄に書き出します。書き出した事柄についてよく考えてください。2番目の欄には、よく分からないことを疑問点として記入します。その疑問点について、両親やセミナーの教師、教会の指導者と話し合ってください。その結果、教義と聖約84：14 - 25とメルキゼデク神権についてさらに分かったことを、3番目の欄に書き入れてください。

メルキゼデク神権		
教義と聖約84：14 - 25を 読んで分かったこと	疑問点	ほかの人と話し合った 結果、分かったこと

## B アロン神権に関する大切な概念

教義と聖約84：26 - 30には、アロン神権について書いてあります。よく読んでから、アロン神権の役割や働き、目的を理解するうえで大切だと思う言葉や概念を4つ選んで、ノートに書いてください。なぜ大切なのか、簡単に説明も書いておきます。現在アロン神権を持っている人がこれらの概念に心を留めると、どんな祝福が得られるでしょうか。

## C マスター聖句 教義と聖約84：33 - 39

教義と聖約84：33 - 48は一般に「神権の誓詞と聖約」と呼ばれます。誓詞とは正式な宣言または約束です。この言葉には、語った言葉を保証するという意味合いがあります。聖約とは両者の間で交わされる神聖な契約を意味します。「神権の誓詞と聖約」とは、約束された祝福を保証することです。その祝福は、主がこの聖句で述べておられる条件を満たした人々に与えられます。言い換えると、もしわたしたちがこの契約の義務を果たすならば、神はこれらすべての祝福をわたしたちに与えることを誓い、聖約されるのです。この場合に、祝福を受けるための条件は、神権とその儀式にかかわるものです。

1. 教義と聖約84：33 - 34を読んで、主が神権者に要求しておられることと主が約束しておられることを表にしてください。または、図に描いてもかまいません。
2. 教義と聖約84：33の「聖文を理解する」から、ベンソン大管長とマックスウェル長老の言葉を読んでください。次に、以下の聖句を読みます。召しを尊んで大いなるものとする方法について、これらの聖句からどんなことが分かりますか。説明してください。マタイ20：26；モルモン書ヤコブ1：19；ヒラマン10：4；モロナイ9：6；教義と聖約42：12 - 14；58：27 - 28；107：99 - 100。（幾つかの参照聖句については、教義と聖約84：33の余白に書いておくといいでしょう。）
3. 教義と聖約84：35 - 38には、主が要求しておられることと約束しておられることについて書いてあります。これを、表または図にしてください。

## D 光と闇

完全に暗闇の中を、明かりも何も持たずに歩くのがどれほど難しいことか、考えてみましょう。さらに、ほとんど光のない所で色を見分けることがどれほど難しいか、考えてください。この世で正しいことを選んで、天の御父とともに住めるようになりたいのなら、わたしたちの行く手を照らす、霊的な光が必要です。

1. 教義と聖約84：43 - 47は霊的な光について教えています。どのようなことが分かりますか。
2. 教義と聖約50：24と93：28には、その光がわたしたちの生活の中で輝きを増すようになるための方法が書いてあります。その方法とは、何でしょうか。
3. 教義と聖約84：49 - 57には、わたしたちを深い暗闇の中に閉じ込めるものは何だと書いてありますか（アルマ12：9 - 11も参照）。
4. 教義と聖約84：43 - 57に書かれている原則と概念を教えるよう、頼まれたとします。幾つかの概念を選んでください。その概念を説明するために、自分自身の生活から例を挙げてください。どんな例を使うことができるでしょうか。

## E 宣教師に励ましの言葉をかける

教義と聖約84：60 - 102の中から、宣教師たちを励ますのに使える聖句を4つ選んでください。その聖句を使ってどんなことを話しますか。その聖句を選んだのはなぜですか。説明してください。

## F 訓練を行う

教義と聖約84：107 - 111で学んだことに基づいて、教師定員会に新しく入ってきた兄弟たちを訓練することになりました。この兄弟たちに何を教えたらよいでしょうか。教えられる事柄を書き出してください。

## 教義と聖約85章

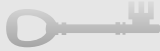
自分のやり方でやるか、  
主の方法でするか

教会で割り当てを受けるとき、そのやり方も決めるよう頼まれることもあります（教義と聖約58：26 - 29参照）が、実行する方法について具体的な指示が与えられて、その指示に従って割り当てを果たさなければならない場合もあります。このような場合、指示に従うことがどんなに大切なことか、分かりますか。

エドワード・パートリッジ監督は、ミズーリの聖徒たちに受け継ぎ（土地やその他生きていくために必要なもの）を与えるときに、主から告げられた方法に従っていませんでした。預言者ジョセフ・スミスはその事実を知ります。パートリッジ監督は、自分なりの方法で行っていたのです。このような間違いを犯していたのはパートリッジ監督だけではありませんでした。ミズーリに集

まって来た聖徒たちの中には、シオンに集合するための条件として主から告げられていた奉獻の律法に従いたくないと思っている人がいました。教義と聖約85章はミズーリのウィリアム・W・フェルプスにあてた預言者ジョセフの手紙の一部です。預言者は彼に、物事を正しい状態に戻すよう勧めています。85章を読むときに、内容だけでなく、語調にも注意してください。主の御心については明確で具体的な指示がすでに与えられているにもかかわらず、自分なりの方法でやろうとする人々に対して、主がどのような思いを抱いていらっしゃるかが、その語調から分かります。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約85章

抜粋（章の前書き）	抜き出した一部分	反する（3節）	逆らう、反対する
受け継ぎ（章の前書き、1-3、7、11節）	奉獻の律法の下で証書を作成して個人に与えられる財産	登録される（3、7節）	正式に記録される
起こる（1節）	発生すること、持ち上がること	貫き通して（6節）	刺し通して、深刻な影響を与えて
背教者（2節）	教会を離れ、福音の証を否定し、中央幹部に争いを挑む人たち	劣（7節）	権威を表す板片（ここでは象徴）
		裂かれて（9節）	ばらばらにされて

### 教義と聖約85：5、7、11 「一人の力ある強い者」

教義と聖約85：7には、パートリッジ監督が悔い改めず、主の方法に従わないのであれば、主は「一人の力ある強い者」を遣わして、監督が行うはずだったことを行わせると記してあります。しかしパートリッジ監督が悔い改めたため、「一人の力ある強い者」が代わりに召される必要はなくなりました。

### 教義と聖約85：7 「神の律法の書」



ジョセフ・F・スミス大管長は次のように語りました。神の律法の書とは「まさに什分の一の律法と関連しています。……

自分の名前が記録にあるかどうか、あまり気にならない人もいられるかもしれませんが、それがどのような結果をもたらすかを知らないから、平気でいられるのです。名前が記録されていない人たちは、……主の宮の儀式から断ち切られるのです。」（Conference Report, 1899年10月, 42）什分の一の面接に出席することは、あなたの名前が什分の一の記録に記載されるための一つの方法です。

### 教義と聖約85：8 「神の箱を支える」とはどのような意味か

「神の箱を支える」という表現の中で言及されている箱とは契約の箱のことであり、それはイスラエルの幕屋や神殿の至聖所に納められていました。箱にはその上部に贖罪所が設けられていて、それは神がイスラエル人の中に住まわれる場所を象徴していました。サムエル下6：6-7（歴代上13：9-12も参照）では、契約の箱を運ぶ車を横を歩いていたウザという名の男の物語が記されています。車がでこぼこ道に差しかかり、箱が傾き始めました。ウザは、手を伸ばして箱を押さえたとき、撃たれて命を落としました。このことから、「神の箱を支える」という言葉は、主と主の僕たちを信じる信仰が薄く、自分の知恵に頼って物事を行うこ

とを意味するようになりました。

### 教義と聖約85：9 覚えの書とは何か

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老は次のように説明しています。

「アダムは、忠実な子孫について記録を残しました。その中に子孫たちの信仰や行いが記されています。義にかなった行いと献身的な様子、啓示や示現を受けたこと、そして、救いの計画から離れなかったことが書かれています。アダムはその記録を『覚えの書』と呼びました。立派な先祖を敬うことと先祖に示されたすばらしい真理に耳を傾けることの大切さを示すためです。その書は、『神の指によって示された手本に従って』書かれたのです（モーセ6：4-6、46）。

どの時代の聖徒たちも同じような記録をつけてきました（マラキ3：16-17；3ニーファイ24：15-16）。現在わたしたちの手もとに多くの聖文があるのは、覚えの書を書くというアダムの模範に従った預言者たちのおかげです。教会は現在同じような記録を残していません（教義と聖約85章）。そして、個人と家族の覚えの書を作るよう、会員たちにも強く勧めているのです。」（Mormon Doctrine, 100）

## 聖文を研究する



教義と聖約85章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A どのような違いがあるか

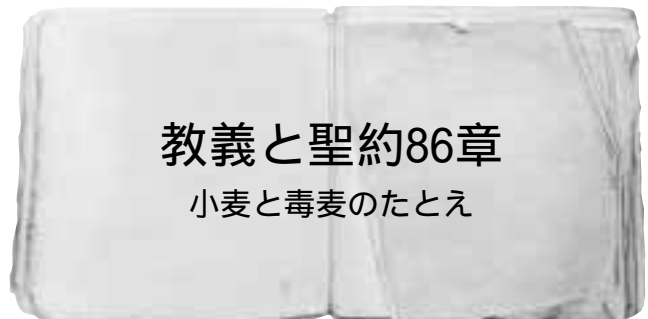
1. 教会の記録の大切さについてあなたは教義と聖約85章からどのようなことを学びましたか（教義と聖約85：7の「聖文を理解する」と12節で主が示された聖句も参照してください）。
2. この啓示を心に留めると、書記やクラス書記の召しの果たし方は、どんなふうに変わりますか。

### B 例を挙げる

1. 教義と聖約85章と、「聖文を理解する」の教義と聖約85：8を読んでください。自分の年代の青少年が現在、どのような「箱を支える」誘惑に出遭っているか、具体的な例を短くまとめて書いてください。
2. 教義と聖約85章と旧約聖書で学んだ箱を支えるという概念を使って、「箱を支える」行いをしている人にどのような助言を与えられますか。

## 教義と聖約86章

### 小麦と毒麦のたとえ

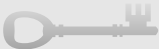


主はなぜ、善と悪が共存するままにしておかれるのでしょうか。



もしも主が、この世のすべての悪を取り除かれたら、どんなことが起きるでしょうか。主は教義と聖約86章の中で、小麦と毒麦のたとえ（マタイ13：24 - 30, 36 - 43参照）の意味を説明し、これら<sup>の</sup>問いにかかわる真理を示しておられます。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約86章

たとえ（1節） 伝える短い話	教えや教訓を	刈り入れる（5節） 収穫する	刈り取る、 収穫する
まく者、まく（2, 3節） え付ける人、植え付けること	植	相続人（9節） 受け継ぐ人	祝福や賜物 <sup>たまもの</sup> を受け継ぐ人
毒麦（3, 6, 7節）	雑草		

### 教義と聖約86：5 刈り入れの準備をしている天使たち

ウィルフォード・ウッドラフ大管長は1894年に、神殿職員を集めてこのように話しました。「神は長い間、滅ぼす天使たちを制しておられました。小麦と毒麦を一緒に刈り取ることがないようにするためです。しかしわたしは今皆さんに申し上げます。この天使たちはすでに天の門を出て、今この民とこの国の上<sup>に</sup>に立ち、裁きを下そうと天空を舞っています。そして、まさに今日<sup>きょう</sup>を境に、その裁きが下されることでしょう。不幸や災難がこの世に多くなりますが、それには意味があるのです。このことを心に留め、深く思い巡らしてください。務めを果たしているかぎり、わたしたちは守られ、平和にまた安全に苦難を切り抜けていくことでしょう。」（スーザ・ヤング・ゲイツ、「The Temple Worker's Excursion」, *The Young Woman's Journal*, 1894年8月号, 512 - 513で引用）

## 聖文を研究する



教義と聖約86章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A たとえを解釈する

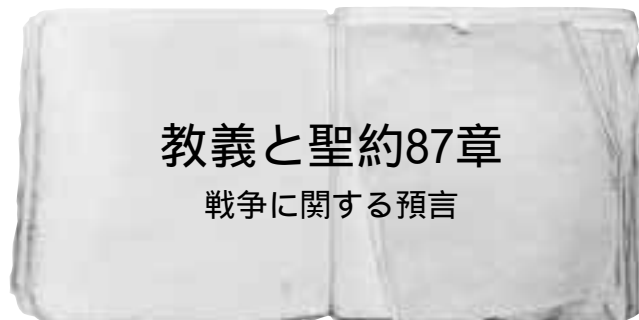
- マタイ13：24 - 30, 36 - 43を読んでください。麦と毒麦のたとえについて、教義と聖約86章からさらに分かることは何ですか。
- これは新約聖書の時代よりも現代に当てはめた方がよいとえでしょうか。それはなぜですか。

### B メッセージを応用する

- 小麦と毒麦のたとえが当てはまるような経験をノートに書いてください。自分の経験を書いてもいいし、青少年ならばだれでもする<sup>ような</sup>経験を書いてもいいこととします。
- 教義と聖約86：8 - 11のメッセージは、小麦と毒麦のたとえとどのような関係があるでしょうか。

## 教義と聖約87章

### 戦争に関する預言



教義と聖約87章には、1860年に始まったアメリカの南北戦争に関する預言があります。戦争が始まる約30年前に書かれたことを考えると、この預言のあまりの詳しさには驚かされます。しかしこの啓示は南北戦争だけではなく、全世界で起きる戦争についても述べているのです。末日に生きる人々にとって、これは不安を与えるものではありませんが、大切なメッセージです。



## 聖文を理解する



### 教義と聖約87章

終わる（1節） る、終了する	おしまいになる	定められた滅び（6節） お決めになった十分な裁き	神が
整える（4 - 5節） る	秩序立てる	サバオスの主（7節） とはヘブライ語で万軍、つまりあらゆる人々の意味で、主が全能の創造主であられることを指してよく使われる（教義と聖約95：7も参照）	「万軍の主」と同じ意味。「サバオス」とはヘブライ語で万軍、つまりあらゆる人々の意味で、主が全能の創造主であられることを指してよく使われる（教義と聖約95：7も参照）
残りの者（5節） った者	後にとどまった者	報復する（7節） る	仕返しをする
悩ます（5節） める	妨げる、苦しめる		
憤り（6節） 懲らしめ（6節） 罰を与えること	恨んで怒ること 正すために		

### 教義と聖約87：1 サウスカロライナの反乱

1832年、合衆国のサウスカロライナ州は、ヨーロッパから受け取った物品に対する特定の税の支払いを拒否しました。これに対して合衆国大統領アンドリュー・ジャクソンはサウスカロライナ

の反乱を鎮<sup>ちん</sup>圧<sup>あつ</sup>するために合衆国軍を召集しました。同州が非を認め<sup>かひ</sup>たので、戦争は回避<sup>かいひ</sup>できました。しかし、預言者ジョセフ・スミスは預言<sup>てっかい</sup>を撤回<sup>てっかい</sup>しませんでした(教義と聖約130:12-13参照)。

ジョセフ・スミスが最初にこの預言を語ってから約28年後に、サウスカロライナは再び合衆国に対して反乱を起こしました。この度は合衆国南部のほかの州と連合しました。その結果、預言のとおり、南北戦争に突入しました。

### 教義と聖約87:3 南部諸州, グレートブリテン, 世界戦争

教義と聖約87:3は、アメリカの南北戦争についてだけ述べているわけではありません。南部諸州は、アメリカの南北戦争の際にイギリスその他の国々に支援を求めました。この節で預言されているように、その後イギリスその他の国々はさらにほかの国々に援軍を要請したため、2度の世界大戦のときと同じように、全世界に波紋<sup>はもん</sup>が広がりました。

## 聖文を研究する

教義と聖約87章を読みながら、次の活動AとBを行ってください。

### A 例を挙げる

教義と聖約87章の預言のうち、成就した例を少なくとも二つノットに書いてください。

### B 意見とその根拠を述べる

教義と聖約87章の中で、今日の人々にとって最も大切なメッセージはどれでしょうか。それはなぜですか。



どうしようもないほど大きな問題にぶつかったとき、自分の手には負えないほど難しい選択を迫られたとき、人生は実に難しいと感じることでしょう。天の御父はそんなときに、人生を永遠の見地から見るよう勧められます。教義と聖約88章は、そのような見地を与えてくれます。この啓示は平凡な日常から栄光にあふれる世界へとわたしたちの目を向けさせてくれます。それは天の御父の偉大な幸福の計画の中心を成すものです。この啓示の中には、深く考えさせられる事柄が数多くあります。88章の研究を、人生で出遭う問題に永遠の観点から光を与える機会としてください。当時の聖徒たちは、教義と聖約87章の深刻なメッセージを受けた後、この啓示から慰めを得たはずですが、あなたもこの啓示に慰めを見いだすことができるでしょう。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約88章

施し(2節) ささげ物、願い求めること

活気づける、生かす、生かされる(11, 17, 26, 28-32, 49節) 勢いがつき、いきいきとする

発している(12節) 生じる

広大(12節) 無限の広がり

懐<sup>ふとこ</sup>、胸のうち(13, 17節) ここでは中心、真ん中の意味

創造の目的(19, 25節) 造られた目的

従う、堪える、とどまる(22-26, 35, 86節) 住む、残る

ふさわしい(24節) 条件に合う、適切に備える

与えられる(33節) 授けられる

守られる(34節) ここでは救われる、保護される、害を受けないようにする、の意味

限界、境(38, 90節) ぎりぎりのライン、制約

義とされない(39節) 正しい、落ち度がないとは認められない

結びつく(40節) つながる

万事をなす者(40節) あらゆる出来事を起こす御方

軌道(43節) 天体が運行する道

豊かになる(50, 66節) たくさん持つようになる

顔(52-53, 56, 58節) ここでは「様子」の意味

必要な(64-65, 78, 127節) 適切な、望ましい

速やかに行う(73節) 直ちに実行する

混乱(79節) ここでは「複雑な諸問題」の意味

律法を束ねて証<sup>あかし</sup>を封じ(84節) すべての人に福音が教えられて、自分の行いの言い訳ができないようになることを言う、象徴的な表現

忌まわしい荒廃(85節) 神の御心に添わない生活を続ける人を待ち受ける滅び

憤り(88節) 悪い行いに対する裁きや結果

混乱する(91節) 乱れて秩序がなくなる

忌まわしい行い(94節) 罪、神の御心に添わない思いや行い

毒麦(94節) 雑草(教義と聖約86章参照)

志(109節) 心に目指すところ、望み

聖会(117節) 厳粛な集会

あいさつ(120, 134, 136節) 歓迎の言葉や身振り

軽々しい話(121節) 神聖なものを軽んじた、あまり必要ではない話

分かち合う(123節) 差し出す、与える

活気づけられる(124節) 力を与えられ、元気になる

外套(125節) 服の上に着る衣類

きずな(125節) 約束、聖約

はっきりと(129節) 明らかで誤りなく

告げるままに(137節) 語ることを靈感されたとおりに

聖所(137節) 神聖な場所

始め(141節) 開始

### 教義と聖約88:3 別の慰め主

預言者ジョセフ・スミスは次のように教えました。

「ここで述べられているように、慰め主は御二方おられます。御一方は聖霊、すなわち五旬節の日<sup>ごじゆんせつ</sup>に与えられた御方と同じです。信仰を得て、悔い改め、バプテスマを受けた聖徒は皆、この聖霊を受けます。……

キリストを信じ、自分の罪を悔い改め、罪の赦し<sup>ゆる</sup>のためのバプテスマを受けて、(按手によって)最初の慰め主である聖霊を受けたならば、次に神の前にへりくだり、飢え渴くように義を求め、一つ一つの神の言葉によって生きるようにしなさい。そうすれば、主は間もなく『息子よ、あなたは昇栄するであろう』と言われる



ことでしょう。主によって完全に試され、どんな困難に遭っても主に仕える決心をしていることが明らかになったとき、その人は自分の召しと選びが確かなものになったことを知でしょう。ここで、……主が聖徒に約束された別の慰め主を受ける特権が与えられるのです。……

さて、この別の慰め主とはどなたのことでしょうか。主イエス・キリスト以外の何者でもありません。これがすべてです。この最後の慰め主を受ける人は、イエス・キリスト御自身の訪れ、すなわち現れを時々受けるのです。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 149 - 151)

### 教義と聖約88：6 - 13 キリストの光

『聖句ガイド』「光；キリストの光」の項(212 - 213ページ)とモロナイ7：16, 18 - 19を参照してください。

### 教義と聖約88：74 - 86 教会の長老たちは清くなければならない



主は教義と聖約88章の中で、福音を宣べ伝えるために出て行く人たちは清くなければならないことを何度も強調されました。伝道の召しを待っている人たちは、赴任する国の状況や文化はもちろんのこと、福音の教えを研究するという準備が必要でしたが(77 - 80節参照)、また「手と足を清め」(74節)、「罪に掛かり合うこと」のないように(86節参照)していなければなりません。

ブリガム・ヤング大管長はこのように勧告しました。「もし長老たちが純真な心と清い手をもって行くことができなければ、ここにとどまる方がよいでしょう。ミズーリ川、ミシシッピ、オハイオ、あるいは大西洋に着いたら自分は清められると考えて出発することのないようにしてください。ここを出発するときから純真な心と清い手を持ち、頭のてっぺんから足のつま先まで清くありなさい。そして常に清く生活しなさい。そのようにして行き、そのような状態で働き、純白の紙のように清い状態で伝道から戻って来なさい。伝道はこのようにして出かけるものです。さもないと、あなたの心に痛みが走ることでしょう。」(『歴代大管長の教え ブリガム・ヤング』269 - 270参照)

七十人のL・アルディン・ポーター長老はさらに次のように説明しました。「神権指導者の皆さん、若い宣教師たちが未解決の罪を持ったまま伝道地に赴くことがないように十分注意を払おうではありませんか。罪を背負ったまま伝道に出ることは文字どおり、かぶとも剣も盾も持たずに戦地に行くのと同じです。誘惑の炎に抵抗する力を養うには時間がかかることを忘れてはなりません。真に悔い改めた者の心に常に宿る安らぎを得るには、時間がかかります。十分な時間をかけて悔い改め、準備ができるように

若人たちを助けてください。」(『イエス・キリストの弟子』『聖徒の道』1992年7月号, 51 - 52)

### 教義と聖約88：127 預言者の塾

教義と聖約88章の中で受けた勧告に従って、1833年の初期に預言者の塾が設けられました。この塾の目的は、神権を持つ男性たちが福音を宣べ伝え、教会の諸事を執り行い、社会に貢献できるよう準備することでした。後にカートランド神殿が建てられたとき、この塾は神殿の中で行われました。預言者の塾は、ユタ準州における開拓者の初期の時代に至るまで断続的に開かれていました。これら初期の塾は、霊に関する教育も俗世の事柄に関する教育もともに重視するという伝統を築き、やがて、アカデミー、大学、セミナー、インスティテュートの設立へと発展していったのです。主が民に教育を受けることを望んでおられることは明らかです。

### 教義と聖約88：138 - 141 「洗足の儀式」

十字架にかけられる少し前に、イエスは使徒たちの足を洗われました。こうすることによって、律法に基づいたユダヤ人の習慣を守り、それを儀式として確立されました(ジョセフ・スミス訳ヨハネ13：10参照)。教義と聖約88：138 - 141には、預言者の塾に参加する教会指導者のためにこの儀式が回復されたことが記されています。聖徒たちがカートランド神殿を建築していたとき、預言者ジョセフ・スミスは洗足の儀式は神殿の中で行うべきものであると言いました(History of the Church, 第2巻, 307 - 310参照)。この儀式は神殿の中で受ける大いなる儀式のうちの一部となるものでした。初期の教会指導者たちをその働きに備えるために、この儀式は執行されました。同じように、わたしたちも神殿の儀式を受けることによって、この世で召される業を行うための力を授けられるのです。



## 聖文を研究する

教義と聖約88章を読みながら、次の活動(A - H)のうち5つを行ってください。

### A あなたはどのように考えているか

教義と聖約88：6 - 13はイエス・キリストに思いをはせ、すべての生けるものにとってイエスがどれほど大きな存在なのか考えるよう勧めています。この聖句を読んで、救い主についてすでに知っていたこと、ここで初めて知ったことをそれぞれ書いてくだ

さい。また、日々の生活の中で感じられる主の影響力についても同様に、これまで気づいていたこと、この聖句を読んで初めて気づいたことの両方を書いてください。この聖句を読んで、あなたはどんなふうに自分の生活を変えたいと思いましたか。それについても書いてください。この聖句に書かれている事柄を知って心に留める人の数が増えたら、どんな世の中になると思えますか。

## B 教義を説明する

なぜ神は、全人類が一人残らず日の栄えの王国に入れるようになさらないのですか。こんな質問をされたら、どんなふうに説明しますか。教義と聖約88：17 - 39で学んだ事柄を使って、できるだけ完全に説明してください。

## C 行動と結果

1. 教義と聖約88：62 - 69の中で主は、みもとへ行くにはどうしたらよいか、述べておられます。行うべきことは、少なくとも8つあります。この8つ勧めにはそれぞれ、実行したときに与えられると約束された祝福があります。ノートの1ページを二つの欄に分けて、それぞれの欄に「もし……ならば」、「こうなる」と見出しをつけてください。「もし……ならば」の欄には、主が勧告しておられることを記入し、「こうなる」の欄にはそれぞれの行動がもたらす結果を記入してください。
2. 主が勧告しておられることを二つ選びます。その勧告に従うために自分にできる事柄を、それぞれ書いてください。

## D 伝道準備計画

1. 教義と聖約88：70 - 86を読んで、全世界に福音を宣べ伝える準備をさせるために、主がジョセフ・スミスの時代の教会指導者たちに言われたことを書き出してください。
2. 心と手を清くするとはどのような意味だと思いますか。
3. 81 - 86節の教えによると、教会の指導者と会員が、あらゆる人に警告の声を上げなければならないのはなぜですか（エゼキエル33：1 - 9も参照）。

## E 学校を設立するための企画を立てる

若い末日聖徒のために、新しく学校を設立するよう依頼を受けたとします。そこでは将来の準備と、特に主が今後求められる業を行うための準備をします。教義と聖約88：77 - 80で学んだことから考えて、この学校ではどんな教科を生徒に学ばせたらいいと思いますか。

## F 出来事を書き出す

教義と聖約88：87 - 116にある、将来起きる出来事を書き出してください。それらの出来事を、「キリストの再臨の前」、「キリストの再臨時」、「福千年の最後」の3つの時期に分類してください。

## G 聖文を応用する

教義と聖約88：119は神殿について述べていますが、これらはわたしたちの家庭にも当てはまります。家庭も神聖な場所であるべきだからです。家庭を「神の家」にしたいと思うなら（つまり

神の御霊<sup>みたま</sup>が家庭にとどまり、家族全員が力づけられ守られるようにしたいなら）、主がこの節で語られた原則をどのように応用すればよいか、簡単に説明してください。

## H マスター聖句 教義と聖約88：123 - 124

1. 主が教義と聖約88：123 - 124でわたしたちに求めておられることを、「行うべきこと」と「行うべきでないこと」の二つのリストに分類して書き出してください。
2. 1のリストから二つの戒めを選んでください。主がなぜそれを命じられたと思うか、説明してください。自分の経験や聖文から例を挙げるとよいでしょう。



1833年当時、預言者ジョセフ・スミスは、家族とともにオハイオ州カートランドでニューエル・K・ホイットニーの店に住んでいました。預言者はホイットニーの店の2階で（教義と聖約88章で命じられたように）最初の預言者の塾を開きました。ブリガム・ヤング大管長は当時、預言者の塾の塾生ではありませんでしたが、指導を受けるために集まっていた人々の様子と、教義と聖約89章の啓示が与えられたいきさつについて次のように話しています。「朝食を取ってからこの部屋に集まると、彼らがまず最初にしたのは、パイプに火をつけることだった。彼らはパイプをくゆらせながら王国の偉大な事柄について話し合っていた。部屋中につばを吐き、パイプを口から離すと、今度は大量のかみたばこを口に放り込むのだった。預言者が講義をするために塾の部屋に入って来たとき、前が見えないほどたばこの煙が部屋中に満ちていることがしばしばあった。また預言者の妻が床の掃除について苦情を言った。それで、預言者はこの件について考え始め、長老たちがたばこを用いることについて主に尋ねた。」(Journal of Discourses, 第12巻, 158) 知恵の言葉として知られるこの啓示は、預言者が尋ねた結果与えられました。

教義と聖約89：3の中で、主がこの啓示を「約束を伴う原則」と言われたことに注目してください。89章を読みながら、主の約束に特に注意を払ってください。今日、知恵の言葉で与えられている勧告を裏づける医学上の根拠<sup>こんきよ</sup>はたくさんあります。しかし、この啓示が与えられた当時はそのようなことについてはほとんど知られていませんでした。特に注意して読む必要があるのは、ここで約束されている霊的な祝福です。主が約束しておられる霊的な祝福について、科学が実証<sup>あかし</sup>することはありませんが、それが確かに得られることは数百万の人々が証すとおりです。この啓示は、預言者ジョセフ・スミスが預言者として召された者であるということの証拠の一つとなっています。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約89章

強制(2節) 無理にさせること	思慮分別(11節) 自制し、行きすぎないこと
陰謀を企てる人々(4節) 犯罪や良くないことを一緒にたくらむ人々	控えめに(12節) 回数を抑え少量で
強い飲み物(5, 7節) アルコール飲料	へそ(18節) ここでは内臓の象徴
薬草, 草(8, 10-11節) 植物	髄(18節) 栄養分を含んだ骨の中心組織(活力や力を表す)
熱い飲み物(9節) コーヒーとお茶(この欄の教義と聖約89:9参照)	

### 教義と聖約89:2 「戒めや強制としてではなく」

ジョセフ・F・スミス大管長は次のように説明しています。「知恵の言葉は当時、『戒めや強制としてではなく』与えられました。それは、もし戒めとして与えられていたら、これらの有害な物質の中毒になっていた人々がすべて罪に定められただろうと考えられるからです。少なくともこれが、その理由の一つであったことは確かです。このため主は憐れみを示され、これを律法とする前に克服する機会をお与えになりました。後になって、ブリガム・ヤング大管長は……知恵の言葉が主の啓示であり、戒めであると宣言しました。」(Conference Report, 1913年10月, 14) 知恵の言葉を守っていることは、神殿推薦状を受けるための条件の一つになっています。

### 教義と聖約89:9 「熱い飲み物」とは何か



預言者ジョセフ・スミスの兄であり、大祝福師であり、副管長を務めたハイラム・スミスは次のように教えました。「そのうえ、『熱い飲み物は体や腹のためにならない』という言葉が何を意味しているのか、つまり、茶やコーヒーを指しているのかどうか、きちんと理解できていない人が大勢います。はっきりと申し上げます。それは、

茶とコーヒーのことです。」(“The Word of Wisdom,” *Times and Seasons*, 1842年6月1日付, 800)

### 教義と聖約89:19 知恵と、知識の隠された宝を見いだす

十二使徒定員会会長代理であるボイド・K・パッカー長老は次のように教えました。

「肉体をコントロールしているのは心です。気持ちのうえでは、霊と肉体はほとんど一つに近い状態にあります。ですから皆さんが霊的に何を学ぶかは、ある程度、自分の肉体をどう扱うかにかかってきます。だからこそ知恵の言葉が非常に大切なのです。

啓示によって禁じられている習慣性のある物質、つまり、茶、コーヒー、酒、たばこなどは、ほかの中毒性のある薬物と同じように、天との霊的なコミュニケーションに必要な繊細な感覚を鈍らせてしまいます。

知恵の言葉をないがしろにしないでください。この戒めを守る人々に約束された『知識の大いなる宝、すなわち隠された宝』

〔教義と聖約89:19〕を受ける機会を、そのような態度のために失うかもしれないからです。知恵の言葉を守れば、肉体の健康にも恵まれます。」(ボイド・K・パッカー「個人の啓示 賜、試し、約束」『聖徒の道』1995年1月号, 66参照)

## 聖文を研究する



教義と聖約89章を読みながら、次の活動(A-D)のうち3つを行ってください。

### A 概念を説明する

主は教義と聖約89:3の中で、知恵の言葉は「すべての聖徒の中の弱い者および最も弱い者の能力に適する」と言われました。肉体、精神、情緒、社交性、霊性など、生活のあらゆる面で自分を強くするために知恵の言葉はどのように役立つか、ノートに書いてください。

### B 証拠を提示する

- 主は教義と聖約89:4の中で、知恵の言葉を与えた理由の一つを説明しておられます。この聖句が意味することをノートに書いてください。
- 1の理由が正しかったことを示す証拠を見つけてください。例えば、町の看板や雑誌、新聞やテレビの宣伝に目を向けてください。その中から一つか二つをノートに書きます。その宣伝文句が第一に伝えようとしていることは何でしょうか。また、はっきりと伝えようとはしていないことは何ですか。これはどんな形で4節の預言を成就していると言えますか。
- 次の質問の答えを短くまとめて書いてください。
  - 知恵の言葉で禁じられている物質を勧める人がいるのは、なぜでしょうか。
  - 知恵の言葉を守らなければならないのはなぜですか。

### C リストを作る



- 主は教義と聖約89:5-17の中で有害な物質と有益な食物を幾つか挙げておられます。ノートに「有害な物質」と「有益な食物」のリストを作ってください。それぞれの項目の下に、それを用いることについて主がお与えになった指示を簡単に



書きます。

- 主は知恵の言葉の中で、体に取り入れるべきもの、また取り入れるべきではないものをすべて挙げられたわけではありません。わたしたちは常識を使って、地元の教会の指導者や中央の教会指導者の勧告と聖霊の導きに従うよう勧められています。ボイド・K・パッカー長老は次のように述べています。

「会員たちから手紙で、これは知恵の言葉に反しますか、あれはどうか、と聞かれることがあります。よく知られているように、お茶やコーヒー、酒、たばこは知恵の言葉に反しています。品目については、それ以上のことは説明されていません。むしろわたしたちは原則を、約束された祝福とともに教えます。人々が飲んだり、かんだり、吸ったり、注射したりするものの中には肉体と霊を損なう、習慣性のあるものが多く見受けられますが、それらのものは啓示の中に記されてはいません。

有害なものがすべて列挙されているわけではないのです。例えばヒ素です。明らかに有毒ですが、習慣性はありません。主が言われるように、すべてのことを命じられなければならない人は『怠惰であって、賢い僕ではない』のです（教義と聖約58：26）。（ボイド・K・パッカー「知恵の言葉 その原則と約束」『聖徒の道』1996年7月号、21 - 22参照）

パッカー長老の勧告と、知恵の言葉について語ったそのほかの教会指導者の勧告についてよく考えて、行うべきことと行うべきではないことを幾つかリストに書き加えてください。

#### D マスター聖句 教義と聖約89：18 - 21

- 知恵の言葉に従う人たちに主が教義と聖約89：18 - 21で約束しておられる祝福を書き出してください。
- もし青少年のグループに知恵の言葉について話をするとしたら、これらの祝福一つ一つの具体的な例として、どんなことを挙げますか。



ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、地上における神の王国の鍵とは「管理する権利のことで、地上で、主の事柄のすべてを管理したり、指示を与えたりする力と権威のことで、この鍵を持つ人は、ほかの人が神権を使ってどのように奉仕するべきかを管理し統治する力を持っています」と教えました（「永遠の鍵と管理する権能」『聖徒の道』1973年3月号、114）。これらの神権の鍵について、主は預言者ジョセフ・スミスにどんなことを言われたか、よく考えながら教義と聖約90章を読んでください。



### 聖文を理解する

#### 教義と聖約90章

嘆願（1節）	訴え、願うこと	わな（17節）	隠れた落とし穴
神託（4 - 5節）	預言者により神から授けられる啓示	怠惰（18節）	なすべきことを怠ける
軽々しいものと見なされる（5節）	あまり大切だとは受け取られない	弁済（23節）	支払うこと
異教の（10節）	本当の神や本当の福音に対して知識を持たない	評判を落とす（23節）	悪いうわさが立つ
辱められる（17節）	黙らせられる、名誉を傷つけられる	妨げられる（27節）	遅れる
慢心（17節）	自分が人より優れていると、高ぶること	論じ合い（36節）	話し合い、討論
		懲らしめる（36節）	罰を与え、訓練する

#### 教義と聖約90：3 王国の鍵が預言者ジョセフから取り去られたことは決していない

教義と聖約90：3の中で、主は預言者ジョセフ・スミスは死んだ後もこの神権時代における王国の鍵を持つことを明らかにされました。副管長を務めたジョージ・Q・キャンノン長老は、プリガム・ヤング大管長が次のように教えたことを伝えています。「〔預言者ジョセフ・スミスは〕この神権時代の頭として立ちました。ジョセフは鍵を持っています。ジョセフは幕のかなたへ行きましたが、この神権時代の頭として立っています。そしてわたし〔プリガム・ヤング〕は彼〔ジョセフ・スミス〕の次に立つ者として、鍵を持っています。」キャンノン副管長はさらにこう語りました。「〔ジョン・テラー大管長も〕同じ教義を教えました。そして、聖なる神権の位を理解している神の忠実な使徒や僕たちからこれと異なる教義を聞くことは決してありません。」（Gospel Truth, 第1巻、255）

## 教義と聖約90：6 副管長は「等しいと見なされる」

大管長会は教会における最高の定員会であり、教会のすべての事柄を管理します。副管長はあたかも大管長自身が行うのと同じように、大管長にできることはすべて行うことができます。しかし、副管長は大管長の指示の下に働き、大管長の指示と同意を得てから行動します。預言者ジョセフ・スミスが証したように、「十二使徒会は、大管長のほかにはいかなるものにも従属しません。……わたし〔教会の大管長〕がいなければ、十二使徒会を管理する大管長会は存在しないのです。」(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 105 - 106) 言葉を換えれば、大管長が亡くなると、副管長はもはや教会を管理しないのです。

## 教義と聖約90：13 「預言者の書の翻訳」

教義と聖約90：13は預言者ジョセフ・スミスが当時行っていた欽定訳聖書の靈感訳(ジョセフ・スミス訳)について述べています。

## 教義と聖約90：28 - 31 ビエナ・ジャックス

主はビエナ・ジャックス姉妹にシオンへ行って、受け継ぎを得るようお勧めになりました。主はまた、引越しの費用を彼女に与えるべきであると言われました。ジャックス姉妹はパプテスマを受けて間もなく、すべての財産を教会にささげていたため、お金を必要としていました。ジャックス姉妹はこの啓示を与えられた後にミズーリ州ジャクソン郡へ行って、土地を受け取りました。しかし、迫害のために土地を手放してミズーリ州北部へ移らなければなりません。記録には残されていませんが、彼女は様々な分野で忠実に仕えた教会員でした。60歳のときに彼女は自ら荷車を御して、大平原を横断し、ソルトレーク盆地へ行きました。そして96歳でこの世を去りました。死亡記事には、「聖約に忠実であり、回復された福音をかけがえのない宝として大切にされた女性であった」と書かれていました(“In Memoriam: Vienna Jaques,” Woman’s Exponent, 1884年3月1日付, 152)。

## 聖文を研究する

教義と聖約90章を読みながら、以下の活動(A - C)のうち二つを行ってください。

### A 王国の鍵

1. 教義と聖約90：1 - 6には、預言者ジョセフ・スミスは何の鍵を授けられたと書いてありますか。
2. この権能を持っていた人は、ほかにだれがいましたか。
3. 今日、地上でこの鍵を持っている人たちの名を挙げてください。
4. 5節で教えられている大切な真理を簡単にノートに書いてください。

### B 自分の言葉で



1. 教義と聖約90：4 - 5はあなたにとってどんな意味があるか、ノートに書いてください。
2. 神託を軽々しく扱わなかったおかげで困難な状況に陥らずに済んだ、と強く感じた経験があれば、ノートに書いて

ください。そのような経験がなければ、家族、教会の指導者、友達からそのような経験について話してもらい、それをノートにまとめます。

## C 義務と責任

1. 教義と聖約90：13 - 18によれば、大管長会にはどのような義務と責任がありますか。
2. これらの義務と責任の中で、若い女性のクラス会長やアロン神権定員会の会長にも当てはまるのはどれでしょうか。当てはまらない義務と責任については、なぜ当てはまらないのか、それぞれ理由を説明してください。



ある種の聖書には「聖書外典」(Apocrypha)と呼ばれる書が含まれています。この言葉には、「隠れた」という意味があります。外典と呼ばれるのは、純粋で正確な聖文かどうか分からないためだと一般的に考えられています。預言者ジョセフ・スミスは聖書の翻訳に従事していたとき、聖書外典を翻訳して靈感訳に含めるべきかどうかを知りたいと思いました。教義と聖約91章はその質問に対する主の答えです。あなたが聖書外典を読みたいと思っているのであれば、ここには役に立つ情報が記されています。ここにある勧告はまた、あなたが読みたいと思っているほかの良書にも当てまらることでしょう。

## 聖文を理解する

教義と聖約91章

書き入れられた(2節) 元の：明らかにする(4節) 示す  
書物にない箇所を書き加えた

### 教義と聖約91章 聖書外典

聖書外典は旧約聖書時代のヘブライの文書を集めたものです。これは当初、ヘブライ語の聖書には入っていませんでしたが、救い主が地上で教え導いておられた時代のギリシャ語の聖書にはありました。しかし当初から、その作者も、靈感によって書かれた書物かどうかよく分かっていませんでした。聖書外典と呼ばれる文書は、旧約時代の終わりから新約時代の初めまでのユダヤ人の歴史の一部を理解する助けにはなりません。

## 聖文を研究する

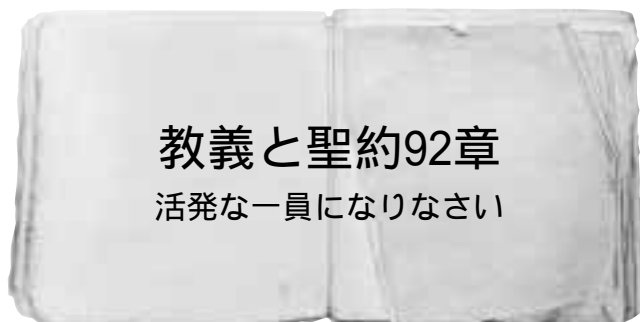
教義と聖約91章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

## A 友達の質問に答える

友達と宗教について話しているとします。あなたの聖書を見せたところ友達は、「何か足りないよ。なぜ、聖書外典は入っていないの」と尋ねます。教義と聖約91章で学んだ事柄に基づいて、友達の質問に答えてください。

## B 比較する

1. 聖書外典の中に含まれている真理を見つける方法について、主は教義と聖約91章でどのようなことを明らかにされましたか。
2. この勧告は、学校の教科書など、聖文と関係のない書物に当てはめるとしたら、どう解釈できるでしょうか。



教義と聖約の啓示の中には、非常に個人的な内容だと思われるものや、教会歴史のある特定の時期に限って与えられたものと思われるものがあります。そのような啓示は現在のわたしたちには当てはまらないと思えるかもしれません。しかし、そういった啓示にもたいていは、どんな時代にも色々な方法で応用できる原則が含まれています。非常に短く、対象が限定された啓示ではありますが、教義と聖約92章を読みながら、現代に応用する方法を考えてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約92章

活発な(2節) 積極的な、身を入れて物事を行う

### 教義と聖約92:1 共同制度

教義と聖約92章の中に出てくる「共同制度」という言葉は、教会が抱えていた債務を解決するために力を合わせるよう主が命じられた人々と関連しています(教義と聖約82:11-19参照)。この人々は奉獻の律法に従って生活し、金銭を得て、教会が債務を返済するために、できる限りのことを行うと聖約しました。この人々の集会の記録によると、これは「共同会社」とも呼ばれていました。彼らは完全な成功を収めたわけではありませんでしたが、教義と聖約の数章で主から与えられている指示は、奉獻の律法そのものや、この律法に従った人々に約束されていた祝福を理解するのに役立ちます。主は教義と聖約92章の中で、預言者ジョセフ・スミスの副管長としてそのころ召されたフレデリック・G・ウィリアムズ(教義と聖約90:6参照)を、この制度の会員として受け入れるよう命じておられます。

## 聖文を研究する

教義と聖約92章を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A 例を挙げる



教会で奉仕する機会を下に挙げてあります。その召しを受けている人が、教義と聖約92章で主が勧告しておられるような「活発な一員」になるためには何をしたらよいでしょうか。それぞれの召しについて一つずつ挙げてください。

1. 7歳児のクラスを教える初等協会(プライマリー)の教師
2. ホームティーチングの後輩同僚
3. ビーハイブクラスの会長
4. ワードの青少年奉仕委員会の一員
5. 年配の夫婦の隣人



預言者ジョセフ・スミスは教義と聖約93章の啓示が与えられた背景について、何も説明していません。預言者はその日、啓示を記録する前に、「以下の啓示を受けた」とだけ記しました(History of the Church, 第1巻, 343)。しかし19節から、この啓示が与えられた目的が分かります。わたしたちはこの啓示から、礼拝する対象や、礼拝の方法について多くのことを学ぶことができます。



「礼拝する」とは何をすることなのでしょうか。礼拝するとは敬い、尊敬し、宗教上の正式な活動に参加し、さらに神に近づくように行動することです。わたしたちは確かに、自分たちが天の御父とイエス・キリストを礼拝していると思っていますが、十二使徒定員会会員を務めたジェームズ・E・タルメージ長老は次のように記しています。「人がどのように礼拝するかは、礼拝の対象が持つ尊敬すべき特性を、その人がどれくらい理解しているかによって決まります。どの程度礼拝する能力を持っているかが分かれば、その人がどれだけ神を理解しているかが分かるのです。」(The Articles of Faith, 第12版〔1961年〕, 395 - 396) ですから、教義と聖約93章を研究しながら、天の御父とイエス・キリストについてどのようなことが教えられており、御二方ようになるために自分に何ができるかを見つけてください。この章の内容についてよく考えてください。この章に収められている真理は、子供たちにも理解できるくらい単純なものではありますが、優れた学識と霊性を持つ人々も考え込ませてしまうほど力強いものだからです。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約93章

罪を捨て(1節)	悔い改めて、	領域(30節)	一定の区域
再び罪を犯さない		元素(33節)	物質の基本単位
幕屋(4, 35節)	住みか	責めを受ける(47節)	間違
恵み(11 - 13, 20節)	永遠の命と昇栄を得られるように、神が与えてくださる力や能力	いを正し、罰を受ける	
わたしによって生まれる(22節)		心を一つにした(51節)	一致した
バプテスマを受け、御霊により生まれ変わることにより、キリストの息子、娘となる		辱められる(52節)	名誉を傷つけられる

### 教義と聖約93:6 18 ヨハネの記録

教義と聖約93章の中に出てくるヨハネの記録とは、バプテスマのヨハネが記した記録のことです。バプテスマのヨハネの完全な記録はまだ明らかにされていませんが、将来現されます。新約聖書に記されている使徒の黙示者ヨハネの書とこの記録を混同してはなりません(ニール・A・マックスウェル, "Not My Will, But Thine"〔1988年〕, 44参照)

### 教義と聖約93:11 - 17 「最初から完全は受けず」

ロレンゾ・スノー大管長はこのように教えました。「無力な幼子としてかいはおけに置かれたとき、イエスは御自分が神の御子であることや、かつて地球を創造したことを知りませんでした。……イエスは成長して大人になりました。成長する間に御自分が何者であり、何の目的で世に来たのかを知るようになったのです。イエスは世に来る前に持っていた栄光と力を理解するようになりました。」(Conference Report, 1901年4月, 3)

### 教義と聖約93:12 - 13, 19 - 20 「恵みに恵み」

恵みとは、強さと力を神から受けることと関連しています。教義と聖約93:12には、イエス・キリストが「恵みに恵みを加えられた」とあります。イエスは成長すると、御父から助けと霊の賜物をお受けになりました。13節には、イエスが「恵みに恵みを受け続け、ついに完全を受けられた」とあります。イエスは御父から受けた助けと強さと力の中で進歩し、次々と上の段階に進ん

で、ついに完全を受けられました。戒めに忠実であり、従順であるならば、わたしたちも「恵みに恵みを加えられ」(20節)、「定められたときに父の完全を受けられ」(19節)。

### 教義と聖約93:21 - 23, 25, 29, 38 「初めに」

永遠には初めも終わりもありません。わたしたちは永遠の存在です。教義と聖約93章の「初めに」とか「初めから」という言い回しは、この死すべき世にかかわるすべての物事が初期段階にあった時を指しています。その意味において、天の御父は、初めに、わたしたちが神のようになることを可能にする偉大な幸福の計画を示されました。

### 教義と聖約93:40 - 50 「あなたがたの子供たちを光と真理の中で育てる」

主は教義と聖約93:36 - 39の中で、光と真理とは何であって、どのようにして失ったり、取り去られたりするかについて教えられました。そして、40節で、両親に対して「あなたがたの子供たちを光と真理の中で育てる」よう命じられました。後に副管長として働いたマリオン・G・ロムニー長老は、十二使徒定員会会員を務めていたときに次のように警告しました。「両親が子供たちに教える務めを果たしていないと、それは両親や子供たちだけにとどまらず、文明全体に影響を与えます。

そのような怠慢から生じた邪悪が、大洪水をもたらし、古代イスラエルを崩壊させ、モルモン書の民を滅ぼしたのです。」(Conference Report, 1969年4月, 108 - 109)



ハロルド・B・リー大管長は神権者たちを前にして、次のように語りました。「教会の若人は危険に囲まれています。家族のきずなを強くしてください。兄弟の皆さん、わたしたちがこれまで述べてきたように、わたしが何回となく繰り返しているように、……『あなたがた兄弟たちが父親としてできる最大の主の業は、家庭の囲いの中にある』ことをしっかり心に留めてください。兄弟の皆さん、妻をないがしろにしてはなりません。子供たちをおろそかにしてはなりません。家庭の夕べの時間を取ってください。子供たちを周りに集めてください。子供たちを教え、導き、守ってください。家庭の中に一致と力がこれほど必要とされる時代はかつてありませんでした。もしわたしたちがこれを実行するならば、教会の力と影響力は、全世界で飛躍的に高まるでしょう。」(「教会指導者に従いなさい」『聖徒の道』1973年12月号, 562参照)

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は次のように勧告しました。「親である皆さん、家族を守ってください。主が命じられたように、光と真理の中で子供たちを育ててください。彼らにあふれるばかりの愛を注いでください。しかし甘やかしすぎたはいけません。皆さんの証を子供たちに伝えてください。一緒に聖文を読んでください。子供たちを導き、守ってください。皆さんは、子供たちを主から託されています。これほど大きな祝福はありませんし、これほど大きな義務もありません。一緒に祈ってください。主の御前に皆でひざまずいて家族の祈りをささげるのです。これに取って代わるほど大切なことはないはずです。」(「主の祝福への感謝」『リアホナ』1999年7月号, 106参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約93章を読みながら、次の活動（A - C）のうち二つを行ってください。

### A あなたは何を学んだか

主は教義と聖約93：19の中で、「これらの言葉〔1 - 18節〕」をわたしたちに与えられました。それは、「あなたがたが礼拝する方法を理解して知り、また自分が礼拝するものを知ることによって」（強調付加）、わたしたちが最終的に御父の完全、つまり昇栄を受けられるようにするためでした（教義と聖約132：6, 19 - 20参照）。この学習ガイドの教義と聖約93章の最初の部分に記されている、礼拝についての簡単な説明を復習するとよいでしょう。

1. ノートの1ページを二つの欄に分けて、それぞれ「礼拝する方法」、「礼拝するもの」という見出しを記入します。教義と聖約93：1 - 18から学んだ事柄をそれぞれ当てはまる欄に記入してください。記入したそれぞれの真理から、礼拝する方法または礼拝するものについてどのようなことが分かるかを説明してください。
2. ここで学んだことを通して、今後どのように行動を変えたいと思っているか書いてください。

### B それはどれほど大切か

最も単純な真理が最も大切であり、最も大きな力を持つことがあります。教義と聖約93：20, 26 - 28, 36 - 39を研究して、戒めを守ることの大切さについてどのようなことが分かるかをノートに書き出してください。

### C 「わたしはあなたがたに……命じた」

1. 主が教義と聖約93：40 - 50の中で、大管長会の3人とオハイオ州カートランドの監督に与えられた勸告をまとめてください。
2. 主はこれらの教会指導者に、家族に関する勸告を与えられました。なぜこの勸告を与える必要があったのでしょうか。
3. 主がこの聖句で与えられた勸告に従って家族を養うために、自分が親になったらやろうと思うことを3つ書いてください（「聖文を理解する」教義と聖約93：40 - 50も参照してください。）

## 教義と聖約94章 教会建築委員会への指示

教会は現在、ワードやステークの集会所、セミナリーやインスティテュートの建物など、世界中で多くの建物を建築しています。

しかし、教義と聖約94章の啓示が与えられたとき、聖徒たちは建物を一つも建てていませんでした。主はすでにカートランド神殿を建てるように命じておられましたが、会員たちはまだ建築に着手していませんでした。主はこの啓示の中でさらに二つの建物を建てるよう命じておられます。94章を研究するときに、主がこれら二つの建物と神殿を建てるように命じられたことを念頭に置いて、神の業の基礎として何が必要であるかを考えてください。



## 聖文を理解する

教義と聖約94章

開始（1節） 始めること 部屋（4 - 5, 11節） 集会場所を指す

## 聖文を研究する

教義と聖約94章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A 建物と優先順位

主が現在の神権時代に、最初に建設するよう教会の人々に命じられた3つの建物を挙げてください（教義と聖約94：1, 3, 10参照）。また、それぞれの建物の目的も説明してください。

### B 原則を応用する

教会の建物はすべて、権能を持つ人から割り当てを受けた神権指導者の祈りによって奉獻されます。教義と聖約94：8 - 9, 12を読んで、奉獻される建物について主が期待しておられたことを調べてください。現在の教会の建物について、それがどのように当てはまるかを説明してください。



初期のカートランドのおもな建物



主から与えられた務めを実行に移そうとしない人がいるのはなぜでしょうか。カートランドに神殿を建てるよう主に命じられてから6か月が過ぎましたが、建築工事は始まっていませんでした。教義と聖約95章を学ぶと、人が主の求めにすぐに応じようとしないうとき、主がどのように感じられるかが分かります。また、主の命令を行わないとどんな結果になるか、主がどんなふうになわたしたちの誤りを指摘して、悔い改めに導いてくださるかを学ぶことができます。

主がわたしたちすべてに望まれていることは、この啓示が与えられたときの預言者ジョセフ・スミスや預言者とともにいた人々のようになることです。後にブリガム・ヤング大管長はこのように語りました。「もしジョセフが啓示を受けていなかったとしたら、ほかの人々と同じように、何を求められているか分からなかったことでしょう。またもし戒めを受けていなかったとしたら、あのような大事業に立ち向かうことはできなかつたはずで、教会員の人数はあまりにも少なく、信仰はあまりにも弱く、さらに

財政的にこの上なく貧しかったからです。しかし、励ましといえれば啓示と戒めしかなかったにもかかわらず、あの一握りの人々は野外で寝起きし、わずかなひき割りとうもろこしと牛乳を糧に生きていました。牛乳が手に入らないときは塩だけで済ませ、時にはその塩さえもないこともあったのです。偉大な預言者ジョセフは石切り場へ行って、自分の手で石を切り出しました。当時の教会員は、人数はわずかでしたが、必要とされればどこにしようと、預言者の示した従順と勤勉の模範に従っていました。神殿の外壁を築くときには、暴徒の襲撃から自分たちを守るために片手に剣を持って石を積み重ね、もう一方の手にこてを持って働いたので、このようにしてカートランド神殿 現存する地上の記録によると、主の宮としては2番目のものです は完成し、奉献されるばかりとなりました。」(Discourses of Brigham Young, 415)

## 聖文を理解する

### 教義と聖約95章

- 懲らしめる (1 - 2, 10節) ⋮ 重い罪 (3, 6, 10節) 大きな罪
- 責め (2節) ⋮ 力を受け (8節) 霊的な賜物を与える、祝福する
- 鍛える、罰する ⋮ 霊的な賜物を与える、祝福する
- 責め (2節) ⋮ 力を受け (8節) 霊的な賜物を与える、祝福する

**教義と聖約 95： 「比類のない業」** (訳注 「比類のない」は英語では“strange”となっている。“strange”には「不思議な」の意もある。)

「比類のない業」という語句はイザヤ28：21に由来しています。そのイザヤ書の聖句で主は、自分たちは悔い改める必要がないと考えている民を正そうと言われました。今日でも、回復された福音のメッセージが、自分はずでに真理を持っていると信じている多くの人々に宣べ伝えられています。そのような人々はわたしたちの努力を比類のない(不思議な)行動と考えるかもしれません。さらに、地上に福音が回復され、真の教会が設立されたことは、啓示や天使の訪れ、そのほか霊的な事柄を愚かなことだと考えている人々にとっては、比類のない(不思議な)出来事です。

### 教義と聖約 95：14 主は建築の計画を3人に示された

主からカートランド神殿を建設する計画を示された3人は、大管長会を構成する人たちでした。神殿設計士を務めたトルーマン・O・エンジェルは次のように報告しています。

「スミス大管長の副管長であったフレデリック・G・ウィリアムズが神殿に入って来ると、わたしの前で次のようなやり取りがありました。

大工のロルフは言いました。『博士、この神殿をどう思いますか。』

〔フレデリック・G・ウィリアムズ〕は答えて、『設計図どおり、正確にできているように見えますが』と言ってから、次のような話をしました。『ジョセフは、副管長であるわたしウィリアムズとリグドンを連れて主の御前に行くようにとの言葉を受けました。主は建築される宮の設計図または模型を示されると言われたのです。わたしたちは行ってひざまずき、主を呼び求めました。すると、わたしたちの視界の中に建物が見れました。わたしが最初にそれに気づいたのですが、3人で一緒に見ました。わたしたちが外観をひとしきり見終えると、建物はわたしたちの真上に来

ました。このホール造りはそのときに見た建物と〔細かい点まで〕一致しているように思います。』（マービン・E・スミス，“The Builder,” *Improvement Era*, 1942年10月号, 630）



©1996 Garth Odorn

カートランド神殿

### 教義と聖約95：16 - 17 カートランド神殿の目的

カートランド神殿が建てられたおもな目的は、今日の神殿で儀式を執行するために必要な神権の鍵を主が回復することのおでかになる場所を用意することでした（教義と聖約110章参照）。この神殿は集会所や塾としても使われました。

## 聖文を研究する

教義と聖約95章を読みながら、次の活動（A - D）のうち二つを行ってください。

### A 主はなぜわたしたちを懲らしめられるのか

わたしたちは懲らしめられたり、訓練されたりするのをあまり好みません。誤りを指摘されるとき、謙遜に受けとめることも時にはありますが、気分を損ねたり、怒りをつのらせたりする誘惑に駆られることがよくあります。主はなぜわたしたちを懲らしめられるのでしょうか。教義と聖約95：1 - 2から、その理由を見つけてください。

### B どのようなことが主を怒らせるのか

1. 教義と聖約95：3, 6, 10から「非常に重い罪」という言葉を見つけてください。会員が犯した罪のうち、主を怒らせる罪を3つ挙げてください。
2. これらの罪はどんな結果をもたらしましたか。4 - 8節と11 - 12節から見つけてください。
3. 主は13 - 14節の中で、神殿の建設を怠った聖徒たちはどのよ

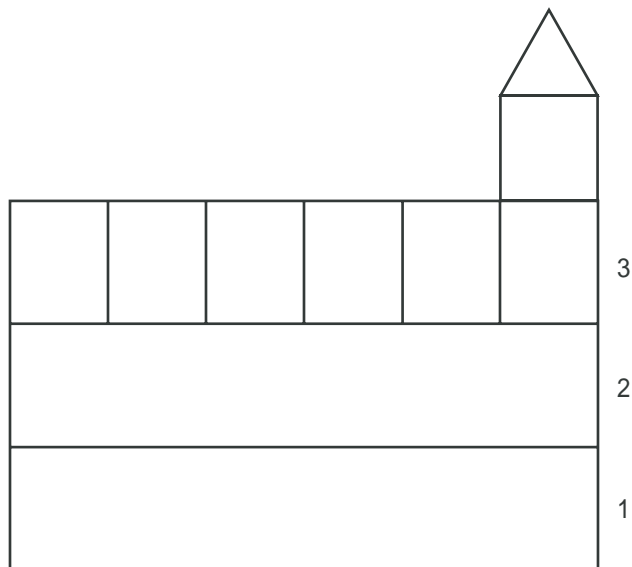
うにすれば悔い改められると言われましたか。

### C 絵または図表を描く

主が教義と聖約95：12で教えられた原則について考えてください（2ニーファイ7：10 - 11も参照してください）。この原則を表す絵または図表を描いてください。

### D 絵に説明を記入する

次のようなカートランド神殿の簡単な絵をノートに描いてください。教義と聖約95：13 - 17に基づいて、神殿の各部分の名称と、各階または各部屋の目的を記入してください。



## 教義と聖約96章

### カートランドの土地を区割りする

神殿を建設し、オハイオ州カートランドにおける主の業を進めるために、教会はピーター・フレンチという名の人物から約42ヘクタールの土地を購入しました（「聖文を理解する」の図を参照）。購入したこの土地には、後に公会堂やホテルとして使用された建物が建っていました（教義と聖約96：9で言及されている家）。教会の指導者たちは、土地を分割する方法を検討しましたが、全員に有利となるように分割する方法が見つからず、合意に達することができませんでした。そこで預言者ジョセフ・スミスは主に尋ねました。教義と聖約96章で主は、この物質的な事柄について勧告を与えられました。土地の分割に関する主の言葉が、主の業にとってどんなに大きな意味を持つものだったかを考えながら、この章を読んでください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約96章

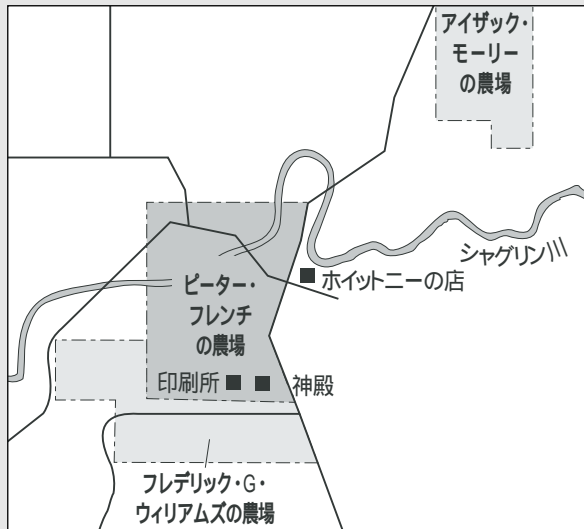
必要である(1, 5-6, 8節)  
適切であり、望ましい

和らげる(5節) へりくだら  
せる, 素直で穏やかにする

制度(4, 8節) 共同制度  
(「聖文を理解する」教義と聖約  
92: 1, p.108参照)

抵当権(9節) 負債のこと

### 教義と聖約96章の前書き フレンチ農場



### 教義と聖約96: 2 土地の責任を任されたニューエル・K・ホイットニー

ニューエル・K・ホイットニーはオハイオ州カートランドの監督でした。以前に啓示されたように(教義と聖約42章; 51章; 72章参照), 監督は教会の物質的な事柄について責任を受けていました。このため、ホイットニー監督には神殿が建つ土地を管理する責任が与えられることになりました。この出来事は今日のわたしたちも記憶しておくべき大切な事柄を教えてください。それは、教会を管理運営する際にどんな問題にぶつかろうとも、それを解決する方法は多くの場合、聖文、預言者の教え、教会の手引きの中にあるということです。

### 教義と聖約96: 6-9 ジョン・ジョンソン



ジョンソンの宿屋

ジョン・ジョンソンはオハイオ州ハイラムに住んでいました。ここで初めて預言者ジョセフ・スミスと出会い、教会に入りました。預言者ジョセフは家族とともにしばらくの間ジョンソン家に住んでいました。教義と聖約76章を受けたのはジョンソン家で

のことです。教義と聖約96章で主がジョンソン兄弟にお与えになった任務は、ピーター・フレンチのホテルを管理し、そこで教会が印刷を行えるようにすることでした。共同制度が崩壊したとき、ホテルはジョンソン兄弟に与えられて、その後「ジョンソンの宿屋」と呼ばれるようになりました。

## 聖文を研究する



教義と聖約96章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A 何によって、なぜ

主は教義と聖約96: 1の中で、カートランドのステーキを強くすることが「必要である」と言われました。

1. 教義と聖約96章で与えられている主の勧告によれば、カートランドのステーキは何によって強められると思いますか。
2. 1で挙げた事柄について、なぜそれがステーキを強めるとするかをそれぞれ書き出してください。

### B 聖文の価値

1. 教義と聖約96: 5には、主の言葉が人々にどのような影響を与えると書いてありますか。
2. 『聖句ガイド』には、聖文が人々に与える影響がたくさん載っています。その中から、大切だと思うものを二つ選んでノートに書いてください。参照聖句も記入しておきます。その参照聖句をあなたの聖典の教義と聖約96: 5の余白に書いておくとよいでしょう。

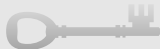
## 教義と聖約97章

### 神殿とシオン

教義と聖約の研究を通して学んできたように、この末日に福音が回復された目的は、シオンを確立することです(シオンとは神に会って、神の前に住む用意のできた清い民のことです)。主は教義と聖約97章の中で、シオンについてさらに語られました。特に主は、どうすればシオンが「栄え、自らを広げ、非常に栄光に満ちた……ものとなる」かについて教えておられます(18節)。主がこの啓示の中で教えられた事柄によく注意を払ってください。なぜなら、これはシオンを建設し、確立するよう努力している今日のわたしたちにも当てはまるからです。



## 聖文を理解する



### 教義と聖約97章

受けて(章の前書き) よう強いられて	耐え	汚される(15, 17節) きたなくなる	汚れ,
厳しい(章の前書き) く, 容赦ない	難し	甚だ恐ろしい(18節) とってはとても怖い	敵に
わたしにつながっている(3節) 主に対して引き続き従順で ある		報復(22, 26節) する神の裁き	悪事に対
多くの(5, 28節) の	たくさん	懲らしめ(23節) 悩ます(23節) 苦しめ, 困 らせる	主の罰
残りの者(6節)	ほかの人々	とどめる(23節) 制しする	
実を結ぶ(9節)	実がなる	憤り(24節) 恨み, 怒ること	
家(10, 12, 15節) は「神殿」を指す	ここで		

### 教義と聖約97:3-6 シオンにおける塾

ミズーリの塾を管理したのはパーリー・P・プラットでした。これは長老の塾と呼ばれて、約60人の生徒が毎週1回屋外に集まりました。この塾では多くの偉大で驚くべきことが現され、また教えられました。

### 教義と聖約97:21 「心の清い者……シオン」

スペンサー・W・キンボール大管長はこのように説明しました。「シオンは心の清い人たち、つまり聖められ、小羊の血によってその衣を白く洗われた人たちが住むところです(アルマ13:11参照)。彼らは慈愛の衣を身にまとい、清い心で人々に奉仕する人たちです。」(「福祉活動の労働のもたらす祝福」『聖徒の道』1979年2月号, 125)

## 聖文を研究する



教義と聖約97章を読みながら、次の活動(A-D)のうち二つを行ってください。

### A 定義する

主は教義と聖約97:2の中で、<sup>にやうわ</sup>柔和な者に<sup>あわ</sup>憐れみを示すと言われました。「柔和」という言葉の意味を明らかにする手がかりは1節の後半に見つけることができます。『聖句ガイド』を使って、柔和に関する参照聖句に目を通してください。それから、「柔和」の意味と、あなたが柔和な人と呼ばれたいと思う理由を少なくとも二つノートに書いてください。

### B 主に受け入れられる者

友達から次のように言われたとします。「わたしは教会が真実であることを知っているし、正しいことをしたいと思っています。わたしの生き方が主に受け入れられているかどうかを知るにはどうしたらいいのですか。」教義と聖約97:8-9を使ってこの質問に教えてください。あなたがこの友達に話したいと思うことをノートに書いてください。

### C 質問を書く

主は教義と聖約97:10-19の中で、シオン(ミズーリ州)に神殿を建設することについて幾つかの大切な原則を説明されました。神殿について、この聖句で教えられている原則が答えとなるような質問を4つ以上書いてください。これらの原則は今日の神殿建設にも当てはまるものです。

### D 神殿推薦状<sup>すいせんじょう</sup>を受ける理由

教義と聖約97:15-17を読んでから、以下の質問に教えてください。

1. 神殿に入って儀式に参加することが、すべての人に許されていないのはなぜでしょうか。
2. 自分が神殿に入るにふさわしいかどうかについて正直でなければならぬのはなぜですか。

## 教義と聖約98章

### 迫害への対応



1833年7月20日、モルモンに敵対する暴徒たちは教会の印刷所を襲撃しました。当時、印刷所はウィリアム・W・フェルプスの家でもありました。暴徒たちは印刷機を破壊し、ほとんど完成していた『戒めの書』を破り捨て、家具を道に放り出し、建物の大部分を破壊しました。続いて彼らはエドワード・パートリッジ<sup>あかし</sup>監督とチャールズ・アレン兄弟を捕らえ、モルモン書の証を否定し、さもなければジャクソン郡を立ち退け、と迫りました。二人はどちらも拒否したため、タールを体中に塗りたくられて、羽毛を浴びせられました。

3日後、再びやって来た暴徒たちは教会員の家と事業所を破壊しました。一部の教会指導者は自分たちを殺してもいいから、ほかの聖徒たちには手を出さないでくれと頼みましたが、拒否され

ました。それどころか教会指導者は暴徒たちに、1月までにミズーリ州ジャクソン郡を退去するという誓約書にむりやり署名させられたのです。預言者ジョセフ・スミスにこの状況を知らせるため、オリバー・カウドリがオハイオに派遣されました。カウドリ兄弟が到着する前に、預言者は教義と聖約98章に記されている啓示を受け、その内容をミズーリにいる聖徒たちに書き送っていました。

教会員たちがどんな気持ちだったか、想像してください。自分にも似たような経験があるから、当時の教会員たちの気持ちがよく分かるという人もいるかもしれませんが。このような状況に陥ると、心にこんな疑問がわいてくることでしょう。「主から命じられたことを行おうとしているのに、どうしてこんなことが起こるのだろうか。」「どうしたらよいのだろうか。」「こんな状況から何を学ぶことができるのだろうか。」「危害を加えた者に対しては、復讐してもいいのだろうか。」「教義と聖約98章を読むときに、それが主イエス・キリストの言葉であることを忘れないでください。主はこの啓示で、迫害にどのように対応するよう望んでおられるかを教えておられます。この啓示がミズーリの聖徒たちにどんな影響を与えたか、理解してください。また、この啓示を現在の自分にどのように当てはめたらよいか、考えてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約98章

したいという気持ち（章の前書き） 自然な気持ち  
 報復（章の前書き） 仕返しをすること  
 不変の聖約（3節） 変わることはあり得ない聖約  
 正当と認められる（5節） 受け入れられ、権利として守られる  
 固く守らなければならない（11節） つかむ、ぴったりとつく  
 規則（12節） 戒め、決まり  
 とどまらなければ（15節） 従わなければならない  
 放棄し（16節） 投げ捨て  
 憎むべきこと（20節） 不正で、主が嫌われること

ののしったり……しなければ、ののしらず（23, 25節） けなしたり、悪口を言ったりしなければ  
 見なされる（24節） 判断される  
 正しい升として量られたもの（24節） ふさわしいとして認められたもの  
 昔の……民（33節） はるか以前に住んだ人々  
 報復（28, 48節） 正当な罰を下すこと  
 報復する（37, 45節） 正当な罰を下す

### 教義と聖約98：16 「戦争を放棄して、平和を宣言しなさい」

大管長会は第二次世界大戦中に発表した声明の中で、教義と聖約98：16の最初の部分を引用した後、次のように述べました。

「このように教会は戦争に反対しています。反対しなければならないのです。主が新しい戒めをお与えになるまで、教会自身が戦争に参加することはできません。主が新しい戒めをお与えにならないかぎり、教会が戦争に参加することはありえないのです。国際間の紛争を治めるための方法として、戦争が義にかなったものであるとは考えられません。国際間で穏やかに話し合い、調整して収拾すればよいのです。これは、不可能なことではありません。

しかし教会員は国家の一員ですから、主権に従わなければならないのです。それは教会の力の及ぶところではないのです。主は自ら、『国の合憲的な法律を擁護する』ようわたしたちに告げておられ

ます〔ここで教義と聖約98：4-7を参照する〕。……

この啓示は特にアメリカについて述べています。しかし、啓示の中で宣言されている各原則は、全世界に適用されるものです。これらの原則は特に〔ジョセフ・スミス〕と『わたしの教会に属する〔ジョセフ・スミス〕の兄弟たち』に向けられたものです。したがってこれらの原則によると、教会の男性は自国（わたしたちはどの国の民であろうとも自分の国に忠誠を誓う義務があります）の軍隊に加わるよう憲法に定められているならば、それに応じることが国民としての第一の義務なのです。』（Conference Report, 1942年4月, 94）

### 教義と聖約98：23 「忍耐強くそれに耐えて」

教義と聖約98章の後半の勧告を受けるべき人の中には、エドワード・パートリッジ監督が含まれています。彼は、ミズーリ州ジャクソン郡で、暴徒にタールを体中に塗りたくられ、その上から羽毛をかけられました。この経験について、パートリッジ監督は次のように記しています。「わたしは忍耐力を振り絞り、柔和な心を絞り出して虐待に耐えました。群衆はそれに驚いたようでした。わたしがその場を立ち去るのを、皆静かに見守っていました。群衆の多くは厳肅な気持ちに包まれ、胸の内に同情心がわいてきたのだと思います。そしてわたし自身は御霊に満たされ、神の愛を感じました。迫害者をはじめとして、だれに対しても憎しみを感じなかったのは、このためでした。』（History of the Church, 第1巻, 391）

## 聖文を研究する

教義と聖約98章を読みながら、次の活動（A-C）のうち二つを行ってください。

### A 簡単なことではない

教義と聖約98章の中で、ミズーリで迫害を受けていた聖徒たちに主の勧告が与えられました。これは決して普通の勧告、つまり簡単に従える勧告ではなかったと思われるものです。

1. 迫害され、家を追い出されたミズーリの聖徒たちの状況に思いをはせてください。教義と聖約98：1-3に記されている勧告の中で、従うのが容易ではなかったと思うものはどれですか。
2. 多くの苦難に遭っても「恐れず」「心に慰めを得て」「いつも喜び」「すべてのことについて感謝し」た経験、または苦難が後に「あなたがたの益のために」なった経験をノートに書いてください。自分自身の経験でも、人から聞いた話でもよいこととします。

### B 助言を与える

新しく教会の教えに改宗した人が、近く行われる選挙について教会はどのような立場を取っているのか質問してきたとします。どのようなことを説明したらよいでしょうか。説明のキーポイントを少なくとも3つ、書いてください。教義と聖約98：4-10を参考にします。根拠となる節も書いておきましょう。

## C 戒めと約束

1. ノートの1ページを二つの欄に分けて、「戒め」、「約束」という見出しをそれぞれにつけます。教義と聖約98：11 - 18の中にある戒めと約束を、各欄に記入してください。
2. もし、この啓示が与えられたときにミズーリに住んでいたとしたら、2で記入した戒めと約束の中で、自分に最も強い影響を与えるだろうと思われるものはどれですか。その理由も書いてください。

## 教義と聖約99章

### ジョン・マードックに与えられた 伝道の召し



ジョン・マードック(1792 - 1871年)は、1830年の秋にオハイオ州カートランドに最初の宣教師が立ち寄ったとき、家族とともにバプテスマを受けました。オレンジ郡に住んでいた1831年5月1日、妻のジュリアは双子を出産した際にこの世を去りました。前日の4月30日、24キロ離れたカートランドでエマ・スミスも双子を産みましたが、二人とも死んでしまいました。マードック兄弟は、預言者ジョセフ・スミスとその妻エマ・スミスに、双子のジュリアとジョセフを養子として引き取ってもらうことにしました。母親のいない子供たちを育てることができなかったからです。赤ん坊のジョセフは、後に預言者ジョセフがオハイオ州ハイラムでタールを体に塗られて羽毛をかけられたときに亡くなりました。病気と夜の外気にさらされたことが原因でした。

教義と聖約99章を読みながら、主がマードック兄弟に求められた犠牲について考えてください。現在の宣教師にはどんな犠牲が求められていますか。主がマードック兄弟に求められた犠牲と似ている点はどこですか。また違っている点はどこですか。

ジョン・マードックは伝道に出たほか、生涯を通じて様々な召しを果たしました。彼は世を去るときまで、主と教会に忠実でした。

## 聖文を理解する

教義と聖約99章

教義と聖約99：4 「あなたの足を洗い清めなければならない」  
「聖文を理解する」教義と聖約24：15 (p.37) を参照してください。

教義と聖約99：6 子供たちに必要なものを与えてから出かける

「〔ジョン・マードックは〕1832年、必要なものを幾らか持たせ

て、上の3人の子供たちをミズーリに住むパートリッジ監督のもとへ送りました。ジョセフ〔・スミス〕は末の子ジュリアを預かっていました。ジュリアの双子の兄弟(ジョセフ)は、1832年3月にハイラムで教会が迫害を受けた際に亡くなっていました。マードック兄弟は財産を売り払って養育費を作り、ミズーリのパートリッジ監督に送りました。この養育費は一部、ジョセフ兄弟にも渡されました。こうしてジョン・マードックは、福音を宣べ伝える準備を整えたのです。」(アンドリュー・ジェンソン, *Latter-day Saint Biographical Encyclopedia*, 全4巻〔1901 - 1936年〕, 第2巻, 363)

エズラ・タフト・ベンソン大管長の父親であるジョージ・T・ベンソンは、妻と7人の子供たちとともに暮らしていました。ベンソン大管長は、父親が伝道の召しを受けたときのことを次のように話しています。

「わたしたちが、居間にある長年使い慣れたソファの周りに集まると、父は伝道の召しが来たことを話してくれました。すると母が言いました。『お父さんが伝道に出るのにふさわしいと見なされたということは、とても名誉なことよ。二人とも少し泣いたけれど、それは2年間お父さんと会えないからなの。……』

こうして父は伝道に出ました。そのときわたしは、父の決意の深さがどれほどのものであったのか、あまりよく分かりませんでしたが、今では、父が進んでこの召しを受け入れたということが、大きな信仰の表れだったということがよく分かります。」(「神の性質」『聖徒の道』1987年1月号, 51 - 52参照)



教会は現在、成人の男性に対して、妻子を残して伝道に行くよう求めてはいません。けれども、もしわたしたちの祖父母が伝道の召しを受け、家族を残して主に仕えようとしているならば、彼らを励まし支援することができます。このようにしてわたしたちは、過去の教会員と同じ祝福を受けることができるのです。

## 聖文を研究する

教義と聖約99章を読みながら、次の活動Aを行ってください。または、BとCの両方を行ってください。

### A インタビューをする

教義と聖約99：2には、聖なる御霊の力によって神の言葉を宣言することが書かれています。これはどういう意味なのか、宣教師が帰還宣教師に尋ねてください。答えをノートに書き留めます。この活動をすると、2節がよく理解できるようになるでしょう。

## B ほかの聖文を使って明確にする

主は教義と聖約99：3の中で、わたしたちは「<sup>あまなご</sup>幼子のように」主の僕たちを受け入れるべきであると言われました。モーサヤ3：19を読んでください。この聖句から、幼子のようになるという言葉の意味が分かります。どのような意味か、説明してください。

## C 現代に応用する

1. 主はジョン・マードックに、家族を置いて伝道に出よう命じられました。今日の宣教師は、伝道に出るためにどのような犠牲を払っているのでしょうか。
2. マードック兄弟や今日の宣教師はなぜ、そのような犠牲を払うのでしょうか。

## 教義と聖約100章

伝道に関して預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンに与えられた指示

宣教師にとって家庭や家族、友達から離れることが難しい場合があります。預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンもそうでした。主は教義と聖約100章の中で、何と言われましたか。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約100章

効果的な(3節)	実りの多い	厳 <sup>げん</sup> 肅 <sup>しよく</sup> な(7節)	厳 <sup>おごそ</sup> かで、心
はすかし辱められる(5節)	恥 <sup>はじ</sup> をかかされる、名誉を傷つけられる	が引き締まる様子	
		解き明かす(11節)	意味を明らかにする、教える

### 教義と聖約100：3 「効果的な門が開かれるであろう」

預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンの短期間の伝道がもたらした成果の一つは「ジョセフの訪問によってカナダでの業に火がついた」ことでした(『時満ちる時代の教会歴史 宗教341-343』117)。

## 聖文を研究する

教義と聖約100章を読みながら、次の活動AとBを行ってください。

### A 手紙を書く

宣教師として奉仕している友達からホームシックにかかっているという手紙が来たとします。どんな手紙を書いて励ましますか。教義と聖約100：1-8、12-17から教えを幾つか選んで、書くことができます。どの教えを選びますか。書こうと思う教えについて、なぜその教えを選んだのか、その教えを使ってどんなふう

励まそうと思うのか、それぞれ説明してください。

### B 違いを説明する

主は教義と聖約100：9-11の中で、預言者ジョセフ・スミスとシドニー・リグドンの役割と責任の違いを説明されました。その違いをノートに書き出してください。

## 教義と聖約101章

ミズーリ州ジャクソン郡における争いへの対応



BYU美術館の厚意により掲載。著作権所有。

ミズーリの聖徒たちは1833年の夏から、本格的な迫害を受けるようになりました。その結果、教会員は1834年の1月までにジャクソン郡から撤退することに同意しました。しかし、1833年10月と11月に再び迫害がひどくなりました。暴徒たちは集結すると、一部の聖徒たちを鞭でたたき、家や家具を破壊し、作物を荒らして、家畜を殺し、冬がもう間近に迫っているというのに、何百人もの末日聖徒を家から追い出しました。ほとんどの教会員はミズーリ川を渡ってクレイ郡へ逃れ、一時的な避難所を作りました。預言者ジョセフ・スミスはこのように記しています。「その場面を見て言葉を失いました。あの光景を見て涙を流さない人間がこの世にいるとしたら、それは人民の気持ちが分からない専制君主か、強い偏見にとらわれたかたくなな人間くらいのものでしょうか。」(History of the Church, 第1巻, 437)

主はなぜ聖徒たちが家を追い出されるままにしておかれたのでしょうか。また、ミズーリの人々はなぜ聖徒たちにそのような暴力を振るったのでしょうか。シオンはどうなるのでしょうか。預言者ジョセフ・スミスは教義と聖約101章の啓示を受ける6日前に、このように記しています。「さて、わたしには分からないことが二つあります。主はそれをわたしに示してはくさいません。主御自身の内にある、何か賢明な目的のためなのでしょう。分からないこととは、次の二つです。第1に、シオンがこれほどひどい苦難を受けているというのに、神はなぜ放っておかれるのか、このひどい苦難の原因は何なのか、ということです。第2に、主はどのような方法で、永遠の喜びの歌を歌いながらシオンがその受け継ぎを再び受けられるようになるのか、ということです。兄

弟たち、神はこの二つをいまだにわたしの前に明らかにされず、沈黙を守っておられます。けれども、なぜ全能の神が喜ばれないのか、その理由は一部明らかです。」(History of the Church, 第1巻, 454)

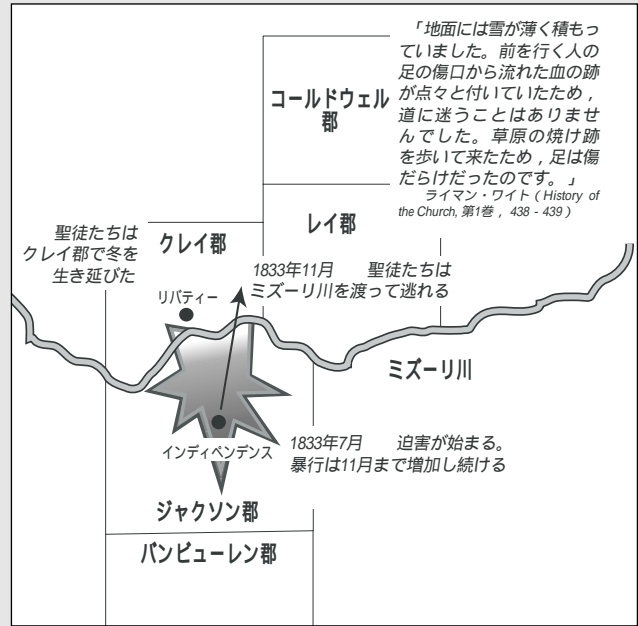
「神はなぜ教員がこれほどひどい苦難を受けるのを放っておかれるのか」、「神はどのような方法でシオンにその受け継ぎを再びお与えになるのか」という、預言者が分からないと感じていた二つの事柄について、主はどのような啓示をお与えになりましたか。これについてよく考えながら、教義と聖約101章を読んでください。人生が自分の考えや希望とは違う方向へ進んで行ってしまうとき、わたしたちは落胆したり、失望を感じたりします。しかし、この啓示にはあらゆる人に役立つ教えが記されています。そればかりか、預言者ジョセフの質問に対する主の答えには、末日と主の再臨のときに果たされる主の業について、多くの教えが含まれています。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約101章

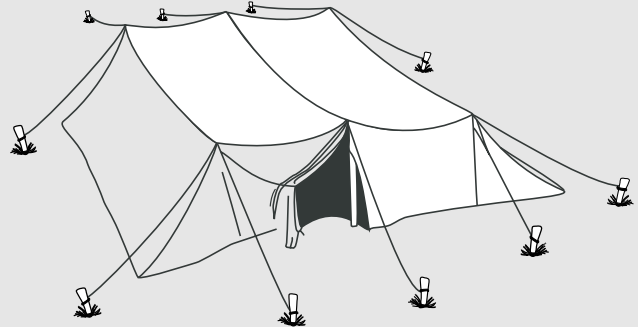
あつれき(6節) 論争, 不一致	すぐに(56, 60節) 直接, 遅れずに
ねたみ(6節) 嫉妬すること	報復する(58, 83節) 公正な罰を下す
軽んじる(8節) 大切に思わない	倉に安全に納める(65節) 蓄える場所に安全に納める
憤り(10-11節) 義にならなかった怒り	毒麦(65-66節) 穀物畑の雑草
幕屋(23節) 主の住まわれる場所	譲り戻し(76節) 回復, 救出
朽ちるもの(24節) 不完全で, 腐るもの	補償.....を受けるために, 執拗に求め(76節) 間違いを正すように願い求める
酷熱(25節) 厳しい熱さ	憲法(77節) 基本的な規則の体系, アメリカ合衆国憲法
敵意(26節) 憎しみや, 怒り	許した(77節) 許可した
見なされる(39節) 考えられる	未来(78節) 将来
踏みつけられる(40節) 足を載せられ, 押しつけられる	束縛(79節) 隷属状態になること
低くする(42節) へりくだらせる	憤り(89節) 怒り
贖い(43節) 回復, 救出	悩ませる(89節) 苦しめ, 罰を下す
垣(46, 51, 53-54節) 囲い, 保護するためのさく	管理人(90節) 任せられた人, 責任を持つ人
銀行(49節) 銀行業者, 投資家たち	降りかかる(98節) 生じる
意見の合わない(50節) 異なった意見を持つ, 一致しない	所有権を保有する(99節) 自分のものにしておく
残り, 残りの者(55, 58, 71節) 残った人々	

## 教義と聖約101章の前書き 聖徒たちは1833年12月にどこにいたか



## 教義と聖約101:21-22 シオンのステーク

地上における主の王国は杭(ステーク)で支えられた天幕にたとえられることがあります(例えば、イザヤ54:2; モロナイ10:31参照)。教会は天幕のように安全と避け所を与え、ステーク(杭)によって固く支えられています(教義と聖約45:66-67; 82:14参照)。教会は互いに教え、支え合う聖徒の集まりです。教会は広がって全地を覆います。



主は教義と聖約101章の中で、十分な土地がないため、すべての教員がミズーリ州ジャクソン郡に集まるわけではないことを指摘されました。その代わりに、会員たちはシオンのステークに集まります。これらのステークは「聖なる場所」であって、教員はここで、シオンの中心の場所に住む人々と同じ祝福を受けます(教義と聖約115:5-6も参照)。

## 教義と聖約101:30 「木の寿命」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、「〔福千年の間、〕人は年老いるまで死ぬことはない。子供たちが死ぬことはなく、樹木のように長生きするであろう。イザヤはこの寿命は100年であると言っている〔イザヤ65:20-22参照〕」と教えています(『救いの教義』第1巻, 82)。

## 教義と聖約101:39-40 塩気を失った塩

七十人会長会の一員を務めたカーロス・E・エイシー長老は神

権者に向かってこのように話しました。

「ある世界的に有名な化学者の言葉によれば、塩は古くなって味が変わらないということです。不純物が混ざった場合にのみ、塩は塩気を失ってしまうのです。同様に、神権の力も年とともに効力を失うことはありませんが、不純な条件が加わったときに、その効力は失われてしまいます。

若者でも年配でも、思いの中にポルノグラフィーが混ざり込むと、『人の味』を失ってしまいます。

神権者が偽りや神を汚す言葉を語る場合も同じです。

また、世に迎合して不道徳な行為に走ったり、麻薬やたばこ、アルコール、あるいはそのほか体に有害な物質を口にしたりするようなことがあれば、やはり人の味は失われてしまうのです。」(「地の塩 人の味、人々の救い手」『聖徒の道』1980年9月号、66参照)

### 教義と聖約101:81-90 女と不正な裁判官のたとえ

教義と聖約101章を受けた後に、教会の指導者は地元の判事に助けを求めました。しかし不運にも、その判事たちの多くはかつて聖徒たちを住居から追放した暴徒の仲間でした。指導者たちは次にミズーリ州知事のダングリン氏のもとへ行って、秩序を回復するよう求めました。知事は聖徒たちが受けた不正行為を書類に残すように勧めました。指導者たちはこれを行って知事に提出しました。その後、知事はほとんど何も助けてくれませんでした。5年後に聖徒たちはミズーリ州を追放されました。今度は合衆国大統領マーティン・バンビューレンに訴えました。預言者ジョセフ・スミスは自ら行って大統領に請願しました。預言者はこのように記録しています。「滞在中にわたしはマーティン・バンビューレン大統領と会見しましたが、大統領は非常に横柄な態度でした。わたしの訴えにしぶしぶ耳を傾けていましたが、訴えを聞き終えると、こう言ったのです。『あなたの主張は正しい。しかし、あなたがたのためにわたしは何もしてあげられません。もしこの問題を取り上げたら、わたしはミズーリ州の票を失うことになるのです。』」(History of the Church, 第4巻, 80)

## 聖文を研究する

教義と聖約101章を読みながら、次の活動(A-G)のうち4つを行ってください。

### A 文章を完結させる

教義と聖約101:1-9で学んだ事柄に基づいて、次の文章を完結させてください。

1. 主はミズーリの聖徒たちが迫害を受けるままにしておかれませんでした。なぜならば、……
2. ミズーリの聖徒たちは過ちを犯しましたが、それにもかかわらず、主は、……。
3. 教会員は預言者アブラハムのように、……なければなりません。
4. 教会員は懲らしめに耐えなければ、……できません。
5. ミズーリの聖徒たちは、……の罪を犯しました。
6. ミズーリの聖徒たちはすぐに神の声に耳を傾けませんでした。そのため、神は……

7. 問題のない生活を送っているときには主に耳を傾けない教会員もいますが、問題があると、……
8. ミズーリの聖徒たちは罪を犯しました。それにもかかわらず、主は……

### B イエス・キリストの再臨

主は教義と聖約101章の中で、シオンが確立されること、善は最終的に悪に打ち勝つこと、主が地上に戻って、義の千年間を治められるという約束を確認されました。キリストの再臨と福千年について、教義と聖約101:23-35が答えとなるような質問を5つ書いてください。各質問の横に答えも書いておいてください。答えがどの節に書いてあるかも付記します。

### C 象徴を説明する

教義と聖約101:39-40の中で、主は御自分の民を塩にたとえられました。塩の使い道を幾つか考えてから、教会員がなぜ塩にたとえられると思うか二通りの考えを書いてください(「聖文を理解する」教義と聖約101:39-40も参照)。

### D 現代のたとえを書く

1. 教義と聖約101:43-62の、身分の高い人とオリーブの木のたとえを研究してください。それから、同じメッセージを伝える現代のたとえを書いてください。あなたが作るたとえでは、以下の登場人物、場所、出来事を現代風にアレンジしてください。

登場人物	場所	出来事
1. 身分の高い人 2. 僕たち 3. 見張り人 4. 敵	1. 果樹園 2. オリーブの木 3. 見張り台 4. 垣	1. 僕たちは12本のオリーブの木を植えるように言われた 2. 見張り人は危険が迫るのを監視するように言われた 3. 彼らはオリーブの木を植えた 4. 彼らは平和な時であるのに、なぜ見張りが必要なのか不思議に思った 5. 彼らは怠惰になり、従順でなくなった 6. 敵が果樹園を破壊した 7. 身分の高い人は僕たちを怒った 8. 果樹園は取り戻された 9. 敵の防壁は取り壊された

2. 身分の高い人とオリーブの木のたとえを基にして、次の質問に答えてください。  
a. あなたと同年代の教会員は、どんな意味でたとえの中の僕たちに似ていますか。

- b. 見張り人はだれを表しているでしょうか。
- c. 見張り台は何を表しているでしょうか。

### E 次に何をなすべきか

教会員は、主の祝福によって敵から守られるためには、従順でなければなりません。しかし、従順ではなかったため、迫害を受けることになりました。教会員は何をすべきだったのでしょうか。教義と聖約101：63 - 101には、シオンと家を追い出された聖徒たちへの勧告が与えられています。会員たちが回覧することができるように、主の勧告を一覧表にまとめてください。

### F 合衆国憲法

主が教義と聖約101：77 - 80で言われたことに基づいて、合衆国憲法とはどのようなものかを説明する文章を3つ書いてください。

### G 最初の質問に答える

この学習ガイドの教義と聖約101章の最初の部分には、預言者ジョセフ・スミスの言葉が引用されています。ここからわたしたちは、預言者がこの啓示を受ける前に、主から教えを受けたいと考えていたことがわかります。預言者が分からないと感じていた二つの事柄について、主の答えを要約してください。



## 教義と聖約102章 高等評議会と教会宗紀

預言者ジョセフ・スミスは教会を組織する以前に、教会を管理するために必要な神権の鍵をペテロ、ヤコブ、ヨハネから授けられていました（教義と聖約27：12 - 13参照）。そして、教会員が増えるにつれて、主は教会を組織し管理する方法について、さらに多くのことを明らかにされました。例えば、1830年当時、教会の中央指導者は教会の第一の長老と第二の長老（ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリ）でした。1832年に大神権の大管長会が組織されました（教義と聖約81章参照）。この大管長会は1833年に教会の大管長会を兼ねることになりました。教義と聖約102章が与えられたとき、教会員は約3,000人になっていました。現在のステークの規模です。このため主は、預言者ジョセフ・スミスに最初の高等評議会を組織するよう指示し、発展する教会を管理するための啓示を与えられました。

教会の最初の高等評議会は大管長会の管理を受け、教会全体に関する諸事を処理しました。しかし、ほかにステークが組織されると、主は教会の「管理高等評議会」に関する啓示を与えられました（教義と聖約107：33参照）。彼らは十二使徒定員会であって、教会全体に関する諸事を取り扱いました。これに対して各ステークには「常任高等評議会」が置かれました（教義と聖約107：36参照）。この高等評議会はステークに関する諸事だけを取り扱いました。



今日、教会の各ステークはステーク会長と二人の副会長が管理しています。彼らは、教義と聖約102章で与えられている様式に従ってステーク高等評議会の支援を受けて義務を果たします。十二使徒定員会で働き、副管長を務めたスティーブン・L・リチャーズ長老はこのように語りました。「教会管理の真髄は評議会により管理するところにある。」（Conference Report, 1953年10月, 86）

## 聖文を理解する

### 教義と聖約102章

議事録（章の前書き）	討議	公平に（20節）	公正に
状況の記録		明らかにする（20節）	人々に分かるようにする
常任（3節）	いつもその任にある	変更する（21節）	変える
欠員（8節）	空いた地位	十分な（23節）	不足ない
承認（8, 19節）	認める, 受け入れる, 支持する	前述の（24節）	すでに述べた
召集（8, 13節）	正式な集會に集められること	送付する（26節）	送る, 伝える
数字を書いたくじを引き（12節）	偶然によって順番を決める	上訴（27, 31, 33節）	再び審理してもらうことを願い出る
決める（12, 34節）	決定し, 確かめる		

### 教義と聖約102：2, 12 - 33 「重大な問題.....を解決する」

高等評議会は教会プログラムの運営を助けるほかに、教義と聖約102章で示された方式に従って教会の宗紀に関する事柄についてステーク会長会を助けます。詳細にわたる指示事項は『教会指導手引き』に記載してあります。教会宗紀評議会は会員が不貞、姦淫、同性愛、墮胎、刑事上の犯罪、背教、あるいは伴侶や子供の虐待など、福音の原則に対して重大な違反行為を行ったときに開かれます。宗紀評議会はワードや支部のレベルで開かれることもありますが、重大な事例はステークまたは地方部レベルで取り扱われます。これらの教会評議会は罪を犯した人がイエス・キリストの贖罪を通して悔い改めるよう助けることを目的としていますが、それと同時に、教会の名誉を維持し教会員を保護するという目的もあります。

## 聖文を研究する

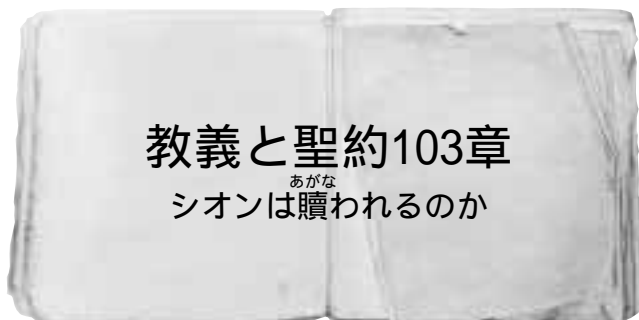
教義と聖約102章を読みながら、次の活動AとBを行ってください。

### A バックアップシステム

教義と聖約102：9 - 11は大管長について述べられています。この原則はステーク会長にも当てはめることができます。この聖句によれば、大管長（あるいはステーク会長）が評議会に出席できない場合はどうなるのでしょうか。

## B どのようなことが行われるか

教義と聖約102：13 - 29に基づいて、ステーキ宗紀評議会ではどのようなことが行われるかを大まかにノートに記してください。



ミズーリ州ジャクソン郡の聖徒たちは1833年に多くの迫害を受けました。1834年にミズーリの会員たちは、パーリー・P・ブラットとライマン・ホワイトをオハイオ州カートランドへ派遣し、彼らの置かれている状況について預言者ジョセフ・スミスの指示を求めました。二人が到着して、預言者に報告した後に与えられたのが教義と聖約103章です。

主は教義と聖約101章の中で、敵が聖徒たちを追放するままにされた理由の幾つかを説明しておられますが、教会の指導者と会員はまだ疑問を抱いていました。特に、ある人々は、教義と聖約101：55 - 60で告げられた主の約束（やがて「〔主の〕家の勇士」が出て行ってシオンを贖うという約束）を自分たちが成就するかどうかを知りたいと願いました。教義と聖約103章の後半は、この質問の答えとして与えられたものです。主は預言者に、シオンの陣営という名の団を組織することを承認されました。この陣営は、シオンを贖うために進んで戦い、命をささげることをもいとわない1207人の男性と11人の女性、11人の子供で構成されました。彼らは、預言者ジョセフ・スミスの指示に従って進軍しました。



教義と聖約103章を研究するときに、この啓示の前半で主が言われたことに特別な注意を払ってください。シオンは軍隊の力によって贖われるものではないことが分かるでしょう。シオンは罪によって失われました。ですから、義によって贖われなければなりません。この啓示は、初期の聖徒たちに与えられたものですが、ここで示されている原則は、わたしたちにとっても意義があるものです。わたしたちはまだシオンを取り戻していません。わたしたちは一つの民として、現在の預言者の指示に従ってシオンに関するあらゆることを実行しなければなりません。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約103章

果たす（1節） 実行する、成し遂げる	従い（7節） 征服され、克服され
彼ら……を許して（3節） 行うまみにさせた	難（12 - 13節） 試し、苦難
訓戒（4節） 行動規則	伸べられた腕（17節） 神が積極的にかかわってくださることを意味する象徴的な表現。すなわち神が御自分の力（「腕」という言葉で象徴されている）をその民のために進んで使われること。
一つの定めを……下している（5節） 正式な決定を下している	報復（25 - 26節） 正義の罰を下すこと
定めた（6、11節） 正式な決定を下した	隊（30節） グループ
打ち勝つ、勝利を得る（6、8節） 勝利を収める	
聞き従う（7 - 8節） 守る	
絶えず勝利を得る（7節） 勝ち続ける	

### 教義と聖約103：15 - 16 シオンを贖うために主はモーセのような人を立てられる

教義と聖約は大管長がモーセのような人であると教えています（教義と聖約28：2；107：91参照）。

### 教義と聖約103：20 主はシオンを贖う者たちの前を行き、またともにおられる

主はふさわしい人たちにだけその御姿を現されることを忘れてはなりません（教義と聖約100：13参照）。したがって、この啓示は、そのような特権を受けるための霊的な準備ができていた人たちの中で成就します。

## 聖文を研究する

教義と聖約103章を読みながら、次の活動（A - D）のうち3つを行ってください。

### A 何が起きたか。将来何が起きるか

主は教義と聖約103：1 - 14の中で、聖徒の敵が犯した罪と聖徒たち自身が犯した罪について語られました。この聖句に記されている事柄を基にして、次の質問に答えてください。

1. 聖徒の敵はどんなことをしましたか。主はなぜそれを許しておかれたのでしょうか。
2. 聖徒の敵にはどんなことが起こるのでしょうか。
3. 聖徒が戒めを守ることを条件に、主はどのようなことを約束されましたか。
4. 聖徒が戒めを守らないと、どんなことが起こると主は警告されましたか。

### B 関連づける

あなたの聖典の教義と聖約103：7の脚注を見てください。そこには、参照聖句として教義と聖約35：24とあります。同じように、教義と聖約103：12の脚注には参照聖句として教義と聖約58：4とあります。二つの参照聖句を読んで、それぞれ103章の対応する



聖句とどう関連しているかを説明してください。

### C 比較する

教義と聖約103：15 - 21の中で、主は大管長をモーセにたとえておられます（教義と聖約28：2；107：91も参照）。神の民を導く大管長は、どんな点で「モーセ〔の〕よう」なのかを説明してください。

### D 募集ポスターを作る

教会の指導者たちは教義と聖約103章を受けた後に、シオンの陣営の募集を開始しました。教義と聖約103：22 - 36とこの学習ガイドの教義と聖約103章の最初の部分から、シオンの陣営について述べられている事柄を読んでください。自分がオハイオ州カートランドでシオンの陣営を募集する委員の一人に任命されたと仮定してください。この特別な軍隊への募集ポスターをノートに描いてください。



主は教義と聖約104章の啓示を授ける2年前の1832年に、オハイオとミズーリの教会指導者を集めて「共同制度」を組織されました（教義と聖約82：11 - 12参照）。共同制度と奉獻の律法は同じものではありません。共同制度は奉獻の律法を実施するための一つの方法でした。

オハイオ州カートランドでは財政上の問題が生じており、ミズーリでは迫害があったため、当初に組織された形態で共同制度を続けることが次第に難しくなってきました。どうすべきか、教会指導者が検討していたときに、主は教義と聖約104章を授けてくださいました。主はこの啓示の中で奉獻の律法の大切な原則について幾つかを再確認され、当時の教会が直面していた問題に対応するために共同制度の再編成を行われました。これには、ミズーリとオハイオの指導者を別個の制度または組織に分けることが含まれていました。この最初の共同制度に参加した教会指導者たちは自分たちの経験から多くのことを学んでいたため、新しい方法によって奉獻の律法を実施する準備ができていました。



現在の教会には、初期の時代に行われていたような共同制度の組織はありません。現在、わたしたちは<sup>じゅうぶん</sup>十分の一と、断食献金を含むその他の献金を納めることによって教会の財政上の必要を満たしています。また会員たちは、人道的援助活動を行ったり基金を作ったりして人々を助けています。教義と聖約103章で教えられている原則は現在、「〔主御自身の〕方法で」（教義と聖約104：16）十分の一と献金を納めるといふ形で、実施されているといふことができます。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約104章

不易<sup>ふえき</sup>（2節） 不变

やがて（3節） 遠からず、近々

貪欲<sup>どんよく</sup>（4、52節） 自分本位、欲ばり

偽りの（4、52節） 真実でない、うその

打たれる（9節） 苦しみを与えられる、迫害を受ける

打たせる（10節） 苦しみを与えさせる、迫害させる

管理人（13、56 - 57、74、77、86節） あるものに対して責任を持つ人

管理の職（11 - 12、32、37、44、72 - 73、75節） 管理人が責任を負う対象

責任（13節） 起きたことについて責任を持つこと

手の業（14節） 創造物

豊かなもの（18節） たくさんあるもの、豊富なもの

皮なめし所（20節） 動物の皮膚を革に変える所

管理の財産（20、22、24、30、40 - 41、54、63、68節） 管理人が責任を負う対象

商店（39 - 41節） 雑貨屋

数えられる（45節） 中に含まれる

もう（59節） 遠からず、近々

金庫（60 - 62、64 - 69、71節） 金銭やその他の貴重なものを保管しておく場所

除いて（63節） 外して

利益（64 - 65節） 収入、もうけ

しるし（75節） 合図

告げる（81節） 伝える、語る

抵当に入れる（85節） 借金返済の保証として渡す

### 教義と聖約104：13 - 18、55 - 56 万物は主のものである

スペンサー・W・キンボール大管長は、十二使徒定員会会員を務めていたときに次のような物語を話しました。この物語が言おうとしていることは、人は自分たちが持っているすべてのものが主のものであって、主から与えられているものだということを忘れてしまいがちであるということです。

「ある日のこと、友達から自分の牧場を見に来ないかと誘われました。友達は新しい車のドアを開くと運転席に座って、こう言いました。『どうだい、この新車。』わたしたちはエアコンの効いた豪華な車に乗って、郊外を走り、見晴らしのよい場所に建つ彼の家に着きました。彼は自慢げに言いました。『これがぼくの家だ。』……

……大きく両手を広げて、彼は自慢しました。『あの林から池まで、そしてあの絶壁から、牧場小屋まで、すべてぼくのものだ。草原にいる家畜の群れも、ぼくのものだよ。』……

それは随分昔のことでした。その後、彼は宮殿のような家で豪華な家具に囲まれながら息を引き取りました。……わたしは彼の葬儀で話をしました。それから埋葬の行列に加わり、彼が自慢していたすばらしい敷地<sup>かっぼく</sup>を通して、埋葬される場所まで行きました。そこは、背が高く、<sup>ずいぶん</sup>恰幅のいい人を納めるだけの大きさはありません

したが、彼が所有していた広大な敷地に比べればちっぽけな場所でした。

最近、わたしはその敷地を目にしました。穀物が色づき、アルファルファが青々と伸び、綿の木が白く実をつけていました。植物は、かつて自分のものだと言っていた人のことなどまるで意に介していないようでした。( Faith Precedes the Miracle 1972年, 281 - 284 )

### 教義と聖約104 : 78 - 83 「すべての負債を返済する」

ヒーバー・J・グラント大管長はこのように語りました。「人の心に、そして家族に、平安と満足を与えるものを一つ挙げるとすれば、それは収入の範囲内で生活することです。わたしたちを<sup>しいた</sup>落胆させ、希望を失わせるものを一つ挙げるとすれば、それは返済できない借金を負い、果たせない義務を負うことです。」( 扶助協会大会における説教 [ 1932年4月6日 ], Relief Society Magazine, 1932年5月号, 302 )

## 聖文を研究する

教義と聖約104章を読みながら、次の活動 ( A - D ) のうち3つを行ってください。

### A キーワードを選ぶ

主は教義と聖約104 : 1 - 10の中で、聖約を破る者たちに対して厳しい警告を与えられました。この聖句で主が教えておられる事柄のうち、大切だと思う語句を5つ選んでノートに書いてください。大切だと思う理由も書いておきます。

### B 主の方法, その1

大勢の人が、特に食糧、住まい、医療の不足に苦しんでいます。これらの問題を解決する方法についてはアイデアがたくさんあります。主は教義と聖約104 : 11 - 18の中で、これらの問題を解決するための主の方法について語られました。

- この聖句をよく読んで、次のことをノートに書き出してください。
  - 真理。主が語られた事柄のうち、助けを必要としている人を助けるときに理解しておかなければならない大切なこと。
  - 態度。多くの人が持てば、現在の問題は大きく変わるだろうと思われるような態度。
  - 行動。問題を解決するために実際に行う事柄。
- 主がこの聖句で勧告しておられることを行えるように、教会は幾つかの機会を提供しています。どんな機会ですか。少なくとも3つ挙げてください。

### C 表を完成させる

主は当初の共同制度に変更を加えられましたが、奉献と管理の職についての永遠の原則は変更されませんでした。教義と聖約104 : 19 - 46の中で、主は数人の兄弟たちに、管理の職に関する具体的な指示を与えられました。ノートに次のような表を作って、教義と聖約104章に基づいて表を完成させてください。

教義と聖約 104章	人	指示	約束
20 - 23節			
24 - 26節			
27節			
28 - 33節			
34 - 38節			
39 - 42節			
43 - 46節			

### D 主の方法, その2

人々は負債を抱えると、その束縛から逃れるために安易な方法や早く返済する方法、あるいは奇跡的な方法を探そうとすることがあります。多額な負債を支払うことが難しく、長い年月がかかることに気づくと、ゆううつになります。主は教義と聖約104 : 78 - 83の中で、負債から抜け出すための主の方法を与えておられます。必ずしも簡単な方法や早い方法ではありませんが、確かな方法です。ノートに、負債から抜け出すための主の方法と、それを今日に<sup>こんにち</sup>応用できる方法を書いてください。



主は教義と聖約103 : 22 - 35の中で、シオンの陣営を組織し、ミズーリに向かって行軍して、家を追い出された聖徒たちを助けるよう命じられました(この学習ガイドの教義と聖約103章の最初の部分を参照, p.121)。ミズーリ州のダンクリン知事が教会の指導者たちに約束したところによると、州の軍隊が、聖徒たちの家や財産、事業を取り戻すために支援することになっていました。知事はまた、聖徒たちがジャクソン郡へ戻ったら、自分たちの権利を守るために市民軍を編成する必要があるかもしれないと言いました。シオンの陣営はその市民軍となるべきものでした。

しかし、聖徒たちの敵からの<sup>ひるがえ</sup>圧力、ダンクリン知事は州の軍隊を使って聖徒を支援する意志を翻してしまいました。知事が聖徒を支援するために軍隊を使わないことを決定したときにはすでに、シオンの陣営はミズーリに向かって進軍していました。シオンの陣営の一員であり、後にこの神権時代初の十二使徒の一人となったパーリー・P・プラットは、ミズーリに到着した後の出来事についてこのように記しています。「わたしたちは知事と会いました。知事はわたしたちの要求が正しいことをあっさり認めましたが、この件についてはあえて法を執行しようとは思わないと率直に述べました。州全体を内乱と流血に〔陥れること〕を

恐れためでした。知事がわたしたちに勧めたことは、平和を維持するために、自分たちの権利を〔放棄すること〕、そして、追い出される前に所有していた土地を売却することでした。」(Autobiography of Parley P. Pratt [1985年], 94)

シオンの陣営に加わった人々は1,600キロ近くの行軍の間、飢え、渇き、悪天候、病気に苦しみ、また雨露をしのぐ場所がないために難儀を強いられました。そのように苦勞し、苦難に耐えた彼らにとって、ミズーリを放棄することなど考えられませんでした。預言者ジョセフ・スミスは主の勸告を求めた結果、教義と聖約105章の啓示を受けられました。主はこの啓示の中でなぜそのときにシオンが贖われなかったのか、またシオンが贖われる前に何が起これなければならぬのかを明らかにされました。主はさらにこの啓示の中で、シオンの陣営に加わった人々の犠牲は受け入れられており、その従順さに対して祝福を与えられました。1年後に十二使徒定員会と七十人第一定員会が組織されました。そのとき召された人の大多数は、かつてシオンの陣営に加わって、忠実さを証明した人々、長期にわたる行軍中に預言者ジョセフ・スミスから学び、預言者の行動をつぶさに見た人々でした。

あなたがこの当時生きていたならば、1,600キロの距離を歩くことを志願したでしょうか。難しい課題に進んで取り組むときにこそ、多くを学ぶことができるものです。主は教会を導く特別な人々を必要としておられました。シオンの陣営は、最も忠実な人々を試し、主の業を成し遂げるといふ決意がどれほど堅固なものかを明らかにする機会となったのでした。将来の指導者となる人々は、今日、どのような経験を通して備えをしているでしょうか。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約105章

生活物資（章の前書き） 生活用品	生	添うように（24節）	一致して
エンダウメント（12, 18節, 33節） 霊的な賜物を与えられること	た	行い（25節）	もたらし
荒らす（15節） 減ぼす、壊す	減	補償をする（25節）	ただす、正しい状態に戻す
汚し（15節） のをあざける	神聖な清いもの	……ざるを得なくする（32節）	強制する、力でそうさせる
		実行し（34節）	もたらし

### 教義と聖約105章の前書き シオンの陣営の簡単な歴史

教会の指導者はシオンの陣営に加わる人々を集めることについて主から勸告を受けると（教義と聖約103章参照）、直ちに準備に取りかかりました。ミズーリでは暴徒が聖徒たちに暴行を加え、再び同じ目に遭わせると脅迫していました。このように非常に危険な状況であったにもかかわらず、オハイオ州カートランドでは多くの人々が勇敢にも陣営に参加することを申し出ました。現在の神権時代において最初の使徒の一人に召されたヒーバー・C・キンボールは当時の多くの人々の気持ちを次のように記しています。「わたしたちは（1834年）5月5日に出発しました。それはわたしにとって非常に厳肅な朝でした。妻子と友人に別れを告げました。肉体にあって彼らと再び会えるかどうか分らなかったのです。カートランドでもミズーリでも、敵はわたしたちを滅ぼし、地上から一掃すると誓っていたのですから。」(オーソン・F・ホ

イットニー、Life of Heber C. Kimball [1945年], 40) カートランドに残った人々は、志願した男性たちの家族を助けることを承知しました。

この「イスラエルの軍勢」(教義と聖約105:26)は5月の初めに出発しました。途中、オハイオ、ミシガン、イリノイからの志願者が合流しました。彼らは朝4時に起床して、1日に60キロ以上行軍するという軍隊の規則に従って行軍していました。軍事演習も実施していましたが、ほかの軍隊と違うところは、祈り、歌い、福音を研究する時間を設けていたことでした。

残念なことに、苦難について、あるいは指導者の決定について、不満を漏らす人がいました。あるとき、意見の激しい衝突が起きました。預言者ジョセフ・スミスは野営地を出発する前に、翌日、主が彼らを喜んでおられないしるしが現れると警告しました。翌日、陣営のほとんどの馬に、病気または足の故障が見られました。預言者は彼らが謙遜になり、悔い改め、一致するならば、馬は直ちに健康を回復すると言いました。昼までに馬は健康を取り戻しましたが、それでもなお人々を扇動しようとしていた批判的な男の馬だけは回復しませんでした。

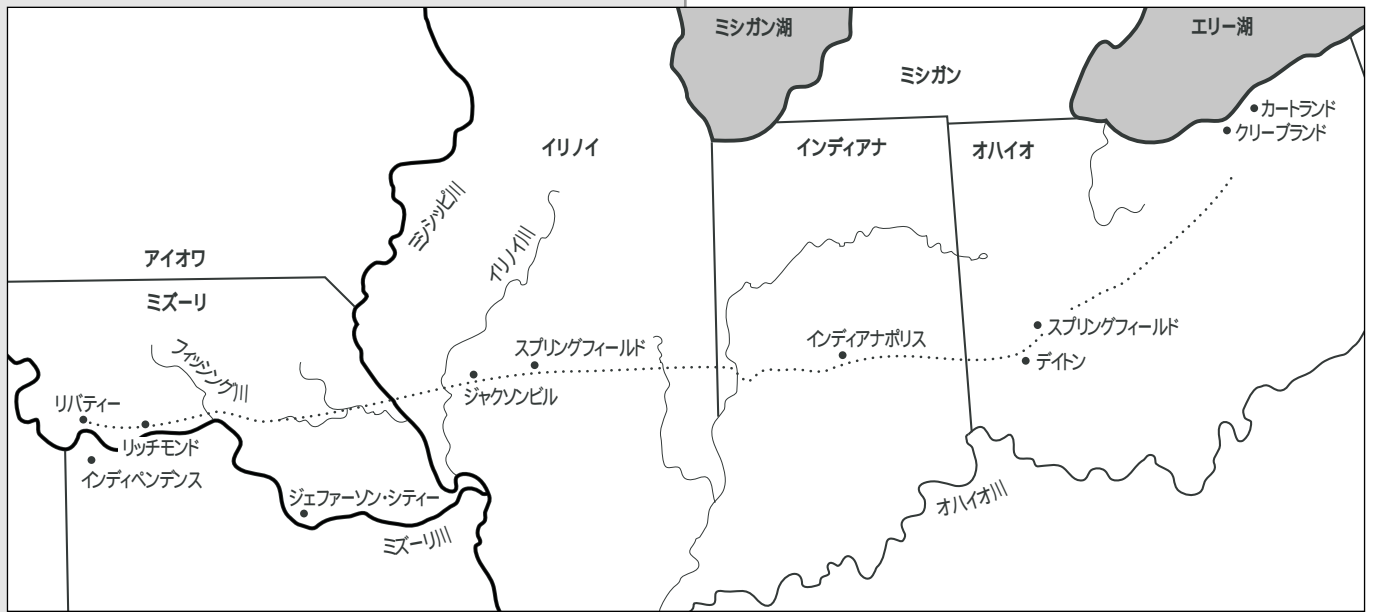
シオンの陣営に加わった人々は苦難を堪え忍びましたが、神の預言者と親しく交わることができたのですから、その苦難は十分に報いられたと言えます。それから何年かして、ウィルフォード・ウッドラフ長老は十二使徒定員会会員を務めていたときに次のように証しました。「わたしたちはほかの方法では決して得られない経験をしました。預言者の顔を見る特権を与えられ、預言者とともに1,600キロを歩き、神の御霊が預言者とともにあつて働いている様子を目にし、イエス・キリストが預言者に啓示され、その啓示が成就するのを目の当たりにするという特権が与えられていたのです。」(Journal of Discourses, 第13巻, 158)



フィッシング川

ブリガム・ヤング大管長は、シオンの陣営での経験についてこのように語りました。「カートランドでの使命を終えて戻って来ると、一人の兄弟が言いました。『ブリガム兄弟、この旅から何をえましたか。』わたしはこう答えました。『ただ行っただけです。けれども、この旅で得た知識をゲーガ郡〔ブリガム・ヤングが住んでいた郡〕と交換しようと言われてもわたしは断りますよ。財産や富といったものは、知識の価値とは比較にならないからです。』」(Journal of Discourses, 第2巻, 10)

シオンの陣営がミズーリに到着したとき、敵は対決する準備を整えていました。フィッシング川（教義と聖約105章を受けた場所）で野営の準備をしているところへ、ミズーリの住民の団が馬に乗ってやって来ました。預言者ジョセフ・スミスは次のように記録しています。「銃で武装した5人の男たちが馬に乗って野営



地にやって来ました。そして、『おまえたちは、明日の夜明けまでに地獄を見るだろう』と言って、あらゆる悪態をつき、憎しみの言葉を吐いたのです。彼らが言うには、ジャクソン郡の暴徒に合流した者の数は、レイ郡リッチモンドから60人、クレイ郡から70人以上で、彼らはわたしたちを皆殺しにすると誓っているということでした。」(History of the Church, 第2巻, 102 - 103) しかし預言者はシオンの陣営に慰めの言葉をかけ、主が自分たちを守ってくださると約束しました。しばらくすると猛烈な嵐が吹き始めたため、シオンの陣営の者たちは近くにあった古いバプテスト教会に大挙避難しました。この嵐のために暴徒は計画を断念して、「モルモンの軍隊」と戦うことをあきらめたのでした。

教義と聖約105章で主は、暴徒たちと戦いを交えるなど啓示されました。シオンの陣営の中にはこの啓示を聞いて儼然とし、預言者と主に対して不平を言う者もいました。その結果、陣営はコレラに襲われ、14人の隊員が命を落としました。その中には忠実だった者たちも含まれていました。邪悪な者たちがいると、義人も苦難に巻き込まれることがあります。預言者ジョセフ・スミスは、反抗している者たちがへりくだり、悔い改めるならば疫病は去ることを約束しました。この預言者の言葉は成就しました。

シオンの陣営は、一部の隊員が考えていたような成果は上げなかったかもしれませんが。しかし、主が教義と聖約105:19で言われたように、この経験は「信仰の試練」の機会となりました。一部の隊員たちは試練に耐え切れずに教会を去っていきました。しかし、忠実な隊員たちはこの経験によって強められました。この神権時代に召された最初の十二使徒のうち9人はシオンの陣営の隊員でした。また、最初の七十人会長会の7人と七十人第一定員会の63人もシオンの陣営に加わった人たちでした。主はこの経験を通して、忠実な人たち、主の信頼に足る人たちを明らかにされたようです(教義と聖約105:35も参照)。

## 聖文を研究する

教義と聖約105章を読みながら、次の活動(A-D)のうち二つを行ってください。

### A リストを作成する

1. 主は教義と聖約105:1-6の中で、「各個人ではなく教会全体について語れば、わたしの民は戒めに背いた、当時シオンを建設できなかった原因はそれであると言われました。この聖句を研究して、人々が実行していないと主が言われた事柄を書き出してください。今日教会でシオンの大義を確立するために、わたしたちが熱心に行っていることは何だと思えますか。ノートにあなたの考えを書いてください。
2. 主は9-12節と31節の中で、シオンを確立するために教会員は何をする必要があるか、さらに詳しく説明されました。この聖句を読むと、教会員は何か悪いことを行ったわけではなく、なすべきことをまだ実行していないのだということが分かります。教会員は何を行う必要があったのでしょうか。説明してください。
3. この聖句で学んだことから、シオンの大義を確立するためにあなたが行っている事柄と行うべきだと感じる事柄をノートに書いてください。

### B 例を挙げる

教義と聖約105:6で教えられている原則が役に立った具体例を挙げてください。自分の経験でも、ほかの人の生活の一場面で見られたことでもいいとします。

### C あなたは彼らに何と云うか

シオンの陣営に参加した、下に挙げる3人の人と話す機会が与えられたとします。(「聖文を理解する」にある、シオンの陣営の簡単な歴史を復習するとよいでしょう。)主が教義と聖約105:17-19で語られたことを読み、預言者ジョセフ・スミスがこのことを下の3人に伝えている場面を想像してください。この啓示の言葉を聞いた後、3人はそれぞれ何と言ったと思いますか。彼らが言っただろうと思う言葉をノートに書いてください。次に、あなたがこの3人に対してそれぞれ何と云うか考えて、ノートに書いてください。



シオンの陣営

1. 中年の兄弟。妻子を残して陣営に加わりました。彼は憤慨しています。指導者から裏切られたと感じ、1,600キロの行軍は無駄だったと思っています。
2. 年配の隊員です。大変な経験でしたが、頼まれたことはいつも喜んで行いました。この体験に感謝しています。
3. 最近改宗した独身の若い隊員です。一部の会員が行軍の間に入った行動に少し失望しています。この新しい教会をやめるべきかどうか迷っています。

### D 何をすべきで、何をすべきでないか

1. 教義と聖約105：23 - 40を読んで、二つのリストを作ってください。主は「この周りの地域」(ミズーリのこと)に住む聖徒たちに、すべきことと、してはならないことを教えておられます。最初に、すべきであると主が言われたことを書き出してください。次に、してはならないと主が言われたことを書き出してください。
2. 1のリストから項目の一つを選んで、それが今日の教会にどのように当てはまるかを説明してください。



預言者ジョセフ・スミスは、1834年の初め、シオンの陣営のために人員と資金を集めるために、教会の幾つかの支部を訪れました。ニューヨーク州フリーダムでは、オリバー・カウドリの長兄

で1831年に教会に加わったウォレン・カウドリの家に滞在しました。この時期について、預言者は後にきわめて多忙な月だったと述べています(History of the Church, 第2巻, 170参照)。そのような中で、ウォレン・カウドリに向けられた教義と聖約106章の啓示が授けられました。

教義と聖約106章を読みながら、自分が受けている召しについて考えてください。また、主がウォレンの召しについて語られた言葉は、自分の召しにどんなふうに当てはまるか考えてください。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約106章

隣接する(2節) 隣合った、 続く	しやく 笏(6節) 統治権を象徴する 杖または板	つる 虚栄心(7節) 永遠の価値を 持たないものに対する執着心
腰に帯を締めなさい(5節) 自らを整えなさい		

## 聖文を研究する



教義と聖約106章を読みながら、次の活動(A - C)のうち二つを行ってください。

### A 奉仕の召し

1. 主は教義と聖約106章の中で、ウォレン・カウドリにどのような召しを与えられましたか。
2. 主の言葉によれば、その召しが大切だったのはなぜですか。
3. カウドリ兄弟が慰めと励ましを見いだしただろうと思われる言葉を、この啓示の中から挙げてください。その中から二つを選び、それがカウドリ兄弟にとってどのような助けになったと思うか、説明してください。

### B 自分に当てはめる

教義と聖約106章を自分自身に当てはめてみてください。また、あなたが教会で受けている召しにも当てはめてみましょう。自分に当てはめるとどうなるか、自分の召しに当てはめるとどうか、それぞれ二つずつ書いてください。

### C 違いに気づく

主は教義と聖約106：4 - 5の中で、御自身の再臨のときに二つのタイプの人々がいると語っておられます。どのようなタイプですか。再臨のとき、この二つのタイプの人々の様子には、どのような違いが見られますか。

# 教義と聖約107章

## 神権に関する啓示



あなたは神権についてどのようなことを知っていますか。例えば、メルキゼデク神権と比較した場合、アロン神権の力と権能とはどのようなものでしょうか。それぞれの神権にはどのような職があり、どのように組織されているのでしょうか。なぜ神権が必要なのでしょう。

神権に関する様々な疑問の答えを調べようと思ったら、教義と聖約107章を見るとよいでしょう。この啓示は、1835年に十二使徒定員会が召されてから間もなく与えられました。(この神権時代に召された最初の十二使徒の名前は、教義と聖約の序文にある「教義と聖約の書が真実であるという十二使徒の証」に出ています。)この十二使徒たちは、預言者ジョセフ・スミスのもとを繰り返し訪れました。教会の神権と地上における主の業を管理することについて、自分たちの召しをよく理解しなかったのです。この啓示は様々な点で、現在の神権時代の神権の手引きと似ています。

### 聖文を理解する



#### 教義と聖約107章

位 (3, 9 - 10, 29, 40 - 41, 71, 73, 76節) 神が持っている神権の権能に関する秩序

付属するもの (5, 14節) 付いているもの、加えたもの

つかさどる (8, 12節) 管理し、治める

行う、行い (9 - 12, 17, 33節) 機能を果たす、実行する

代わり (11節) 地位にあって

授けられた (13節) 与えられた

鍵 (15 - 16, 18, 20, 35, 70, 76節) 管理し、指示する権利

親しく交わる (19節) 心を通わず、話し合う

親しい交わり (19節) 親密な交流

仲保者 (19節) 互いに異なる二つの個人や団体の間に立って調和した関係を作ることに努める人

執行する (20節) 管理し、治める

特別な (25節) 特異だという点で他と異なる

全会一致の (27節) 一致した、完全な同意を得た

効力のあるもの (27節) 権威あるもの

節制 (30節) 自制

豊か (31節) 量の多い、たっぷりある

巡回高等評議会 (38節) 十  
二使徒定員会

福音の教導者 (39節) 祝福師

残り (53節) 後の人々

授け (53, 92節) 賜物をお与えになる、お与えになる

天使長 (54節) 最も高い地位にある天使

のが 免れる (81, 84節) 免除された、責任のない

げんしやく 厳粛に (84節) 真剣で、厳かに

教化 (85節) (信仰、証などを) 築き上げる、強める

怠惰な (100節) 怠けた

#### 教義と聖約107:1, 6 レビ神権

メルキゼデク神権はモーセの時代にイスラエル人から取り上げられました。そして、小神権(すなわちアロン神権)だけがイスラエルの民の間に存続しました(教義と聖約84:23-26参照)。この神権はレビ族の男性にだけ与えられていたため、レビ神権とも呼ばれるようになりました。教義と聖約107:1に書いてあるように、レビ神権の権利と権能はアロン神権の一部となっています。

#### 教義と聖約107:2 偉大な大祭司メルキゼデク



メルキゼデクについて調べるには、ジョセフ・スミス訳の創世14:25-40(『聖句ガイド』p.296);アルマ13:14-19;教義と聖約84:6-14;『聖句ガイド』「メルキゼデク」の項、p.256を参照してください。

#### 教義と聖約107:5 神権は神権のいかなる職よりも偉大である

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコスキー長老は次のように教えています。

「神権はその中のどんな職よりも大いなるものです。どんな職であれ、神権に何らの力、威厳、権能を付け加えることはありません。すべての職の権利、特権、恩恵および力は神権から派生するのです。この原則は、円を弧に分けることによって表すことができます。円は神権です。弧は神権における召しあるいは職です。弧で仕える者は、円全体の権能を持っていない限りなりません。神権を持たないのに、神権の職を保持することのできる人はいないのです。

したがって、神権はまずふさわしい人に授けられ、その後、その人は神権の中の職に聖任されます。神権や教会の中のすべての職は神権に付属するものだと言われているのは、このためです。つまり、職は神権から生まれ、神権を補足するのであって、神権ほど大いなるものとは言えないのです。……

さらに、メルキゼデク神権の中では、一つの職から別の職への昇進はありません。すべての長老は使徒や大管長と同じだけの神権を持っています。ただ、使徒や大管長は、王国においてより大きな管理の割り当てを受けているだけなのです。」(Mormon Doctrine, 595 - 596)

#### 教義と聖約107:15-17, 68-73 「アロンの直系の子孫」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように教えました。「祝福師の祝福を受けた教会員の中にレビの子孫である

と宣言された者がいるが、彼らは監督職に就くことを主張していない。というのはこの件について与えられた啓示は、レビでなくアロンの文字どおりの子孫と告げているからである。アロンの子孫ではないがレビの子孫である人は明らかに大勢いる。」(『救いの教義』第3巻、84)

### 教義と聖約107:23-38 「同等の権能」を持つ定員会

主は教義と聖約107:24の中で、大管長が亡くなると十二使徒定員会は大管長会と「同等の権能と力を持つ」と教えられました。これは十二使徒が預言者、聖見者、啓示者であって、地上における神の王国の鍵を持っているからです。しかし、33節で教えられているように、十二使徒は大管長会の「指示の下に」働きます。

七十人は「十二使徒の権能と同等の権能を」持っています(教義と聖約107:26)。彼らは十二使徒と同等の力を持っているとは聖文で教えられていないことに注目してください。なぜならば、七十人は地上における神の王国の鍵を持っていないからです。しかしながら、七十人は十二使徒と大管長会と同じく、教会の中央幹部です。したがって、七十人は「十二使徒会……の指示の下に」働くとき(34節)、教会において同等の権能を持ちます(このような理由から七十人にも「中央幹部」という称号が付けられているのです)。七十人はこの立場において、「教会を築き上げ」、世界中において「教会の諸事をすべて整える」助けをすることができます(34節)。

## 聖文を研究する

教義と聖約107章を読みながら、次の活動(A-H)のうち5つを行ってください。

### A 理解を深める

1. 教義と聖約107:1-4によれば、大神権はなぜメルキゼデク神権と呼ばれるのですか。
2. 「聖文を理解する」教義と聖約107:2から、メルキゼデクに関する参照箇所を読んでください。メルキゼデクの名にちなんだ神権を持つことが名誉であるのはなぜでしょう。その理由をノートに書いてください。

### B クイズを作る

教義と聖約107:1-20で学んだ事柄に基づいて、アロン神権とメルキゼデク神権に関するクイズを8問書いてください。各問の後に正解と、正解がどの節にあるか記してください。

### C 表を作成する

教義と聖約107章で神権の職と定員会について学んだ事柄をまとめてください。ノートに下のような表を書いて、各節から学べることを記入してください。

大管長(教義と聖約107:8-9, 65-67, 82, 91-92節参照)	大管長会(21-22, 27, 33, 78-79節参照)
十二使徒定員会(23-24, 27-28, 30-31, 33, 35, 38-39, 58節参照)	七十人(25-28, 30-31, 34, 38, 93-98節参照)
大祭司(10, 12, 17節参照)	長老(10-12, 60, 89-90節参照)
監督(13-17, 68-76, 87-88節参照)	祭司(10, 61, 87-88節参照)
教師(10, 62-63, 86節参照)	執事(10, 62-63, 85節参照)

### D 重要性を説明する

教義と聖約107:27によれば、教会の管理定員会は、どのような方法によって決議を下しますか。この原則を理解することはなぜ大切だと思いますか。

### E もしあなたがそこにいたら

主は教義と聖約107:41-57の中で、アダムとその家族について述べておられます。次の質問に答えてください。

1. アダムは族長(祝福師)としてどのような役割を果たしていましたか。
2. これは今日の祝福師の役割とどんな点で似ていますか。

### F 例を挙げる

教義と聖約107:85には執事定員会会長の責任が記されています。この節で述べられている4つのおもな責任分野、すなわち管理すること、会議の席に着くこと、教えること、教化することについて、執事定員会会長がその責任を果たすためにできる事柄を、それぞれ例を挙げて説明してください。

### G あなたの経験

教義と聖約107:91-92では大管長の役割が説明されています。ここで採り上げられている概念の一つについて、それが真理だと分かったときの経験をノートに書いてください。

### H 「人は皆」責任がある

教義と聖約107:99-100の要約をノートに書いてください。その際、「人は皆」どのような責任があると主は言われたか、主が何を警告されたかを強調してください。

## 教義と聖約108章

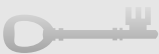
「あなたの兄弟たちを強めなさい」



教義と聖約107：99 - 100は、神権者に対して、その義務を積極的に学ぶよう勧告しています。ライマン・シャーマンは、この勧告に従うことについて模範を示しました。ライマンはシオンの陣営に加わりました。また、この神権時代に召された最初の七十人の7人の会長の一人でした。十二使徒定員会会員に召されましたが、(急死したために)聖任されませんでした。シャーマン兄弟は主に仕えることを願って預言者ジョセフ・スミスのもとへ行き、自分の務めを知らせてくれるよう求めました。教義と聖約108章の啓示はそれに対する主の答えでした。

主がシャーマン兄弟に与えられた勧告を、主に仕えたいと願う人すべてにどのように当てはめたらよいか考えながら、教義と聖約108章を読んでください。主がシャーマン兄弟に語られたような言葉を、あなたも受けたいと思いませんか。

### 聖文を理解する



#### 教義と聖約108章

ここに(1節)	この所に	..... くんかい 訓戒(7節)	教え、指示
誓い(3節)	聖約と約束	.....	
権利(4,6節)	権能と特権	.....	

### 聖文を研究する



教義と聖約108章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

#### A 説明する

ノートに次の文を書き写して、それぞれの意味と、日常生活に当てはめる方法を書いてください。

- 「あなたの霊の立場について心を安らかにしなさい。」(教義と聖約108：2。1節も参照)
- 「もうわたしの声に逆らってはならない。」(2節)

- 「誓いを、今から後さらに注意深く守りなさい。」(3節)
- 「忍耐強く待ちなさい。」(4節)
- 「あなたは.....覚えられ.....るであろう」(4節)

#### B 目標を設定する

主は教義と聖約108：7の中で、ライマン・シャーマンに対して4つの方法で人々を強めるよう勧告されました。その方法をノートに書いてください。それぞれの方法について、あなたが周りの人々を強めるための具体的な目標を書いてください。何を行うのが計画し、それをどのように実行したらよいかも書きます。

## 教義と聖約109章

カートランド神殿の奉献



神殿の奉献式に出席したことはありますか。奉献の祈りは、どんな祈りだと思いますか。教義と聖約109章には、この神権時代の最初の神殿であるカートランド神殿を奉献したときに、預言者ジョセフ・スミスがささげた祈りの言葉が載っています。預言者は事前に靈感によってこの祈りを書き、それを奉献式で読み上げました。その後、神殿の奉献

式では、同じようにして祈りがささげられています。つまり、奉献の祈りはすべて、指名された幹部の兄弟が靈感を受けて前もって書き、奉献式で読み上げるのです。

教義と聖約109章の祈りは、奉献の祈りで用いる言葉の手本となっています。

カートランド神殿の奉献は、教会史と世界史を通じて大変重要な出来事でした。主が預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに、全人類の救いに必要な神権の鍵を授けられたのがこのカートランド神殿であり、その鍵によって、生者と死者を救うために必要な儀式を執り行うことができるのです。

カートランド神殿の奉献式には、驚くべき霊の現れが伴いました。ある人々は使徒ペテロとヨハネを見ました。さらに、多くの人々がほかの天使たちを見えています。預言者ジョセフ・スミスは奉献式の夜に神殿で行われた集会についてこう記録しています。「ジョージ・A・スミス兄弟が立ち上がって預言を始めると、突然強い風の音が聞こえ、その音が神殿を満たしました。すべての人が、見えぬ力に動かされたかのように、立ち上がりました。多くの人が異言(外国語)で預言し、すばらしい示現を見る人もいました。大勢の天使たちがいるのを見たわたしは、そのことを皆に宣言しました。しばらくすると、神殿内の不思議な音を聞き、



火の柱のように注いでいるまぶしい光を見た近所の人々が、走ってやって来ました。彼らも神殿で起きている出来事を見て驚きました。」(History of the Church, 第2巻, 428)

奉獻式で聖歌隊は「主のみたまは火のごと燃え」(『賛美歌』3番)を歌いました。ウィリアム・W・フェルプスがカートランド神殿の奉獻のために作詞したこの曲は、現在も奉獻式で歌われています。

教義と聖約109章を読みながら、神殿と末日に関する大切な教義を学びましょう。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約109章

現す(5節)	知れるようにする	曲がった(41節)	不従順な
あいさつ(9, 19節)	礼儀として交わす言葉や動作	憤り(52節)	立腹, 義にかなった怒り
敷居(13節)	入り口, かどくち	残りの者(65, 67節)	全体から離れた一部, 後にいる一団
促し(13節)	駆りたてる力, ささやき	養いの(69節)	助けの, 励ましの
携えて(23節)	所持して	近親者(71-72節)	親族
おとずれ(23節)	ニュース, メッセージ	不朽にし(71節)	保たれ, 覚えられるようにする
打ち勝つ(26節)	勝つ, 優勢を占める	願い(77-78節)	求め, 祈り
無(30節)	何もないこと	セラフ(79節)	天使たち
中傷(30節)	告発, うそ	叫び声を上げる(79節)	受け入れ, 称賛して大声を上げる
油注ぎ(35節)	召し, 聖任		
律法を封じ(38, 46節)	真理の証を述べる		

## 聖文を研究する

教義と聖約109章を読みながら、以下の活動(A-D)のうち二つを行ってください。

### A 神殿から湧き出る祝福

預言者は教義と聖約109:11の中で、主から約束された祝福が聖徒に注がれるよう祈りました。次の聖句について、預言者は全教会のためにどのような祝福を祈り求めたかをノートに書いてください。教義と聖約109:12, 13, 14-15, 21, 22-23, 25-30, 35, 38。これらは神殿の礼拝に関する祝福のほんの一部にすぎません。

### B ほかの人々のために祈る

1. 預言者ジョセフ・スミスが教義と聖約109:47-72の中でどのような人々のために祈ったかノートに書き出してください。
2. 書き出した人々の中に、意外な人が含まれていませんでしたか。もしいたら、意外に思った理由をノートに書いてください。
3. 1で書き出した人またはグループの中から、自分も祈る必要が

あると思う個人またはグループを二つ選び、その人たちのために祈る必要があるのはなぜかノートに書いてください。

### C 例を挙げる

預言者ジョセフ・スミスがこの祈りをささげた後で、教義と聖約109:54-67に述べられていることが幾つか成就しました。成就した事柄を挙げてください。預言者の願いが一部分かなったと思うことを挙げてかまいません。

### D 説明する

1. 教会員でない人は、神殿が奉獻された後は、中に入ることができません。なぜ入れないのか、教会員でない友達から聞かれたら、どのように答えますか。ノートに書いてください。
2. この質問に答えるために教義と聖約109章のどの節を使えばよいでしょうか。

## 教義と聖約110章

カートランド神殿に主が訪れ、鍵が回復される



預言者ジョセフ・スミスが奉獻の祈りの中で言ったことによれば、聖徒たちがカートランド神殿を建設したのは、主が「その民に御自身を現す場所を得られるように」するためでした(教義と聖約109:5)。教義と聖約110章にはその願いがかなえられたことが記録されています。主は御自身を現してくださいました。そして、神殿を御自分の家として受け入れると言われました。救い主に続いて間もなく、

天からの使者が3人現れ、預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに大切な神権の鍵を回復しました。

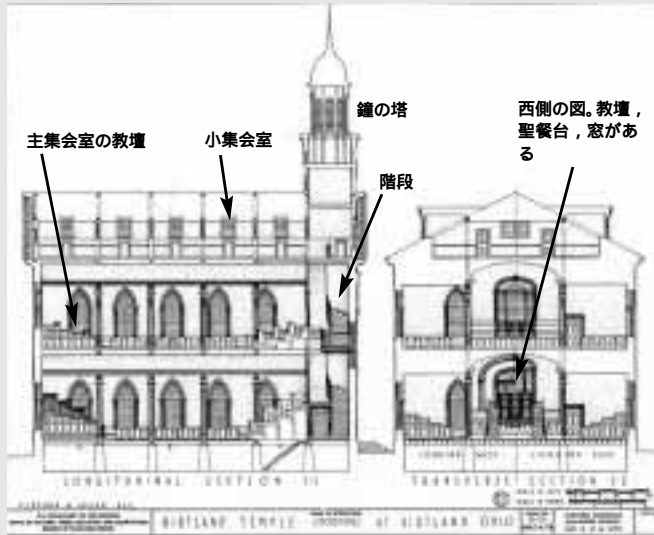
## 聖文を理解する

### 教義と聖約110章

聖卓(章の前書き)	聖餐の台	顔(3節)	外見, ようぼう
幕(章の前書き)	カーテン(神殿は、天井からたれさがったカーテンで幾つかの部屋に仕切られ、クラスや個々の集會に利用された)	弁護者(4節)	擁護者, ほかの人のために言い開きをする人
幕(1節)	おおい, 隠すもの	エンダウメント(9節)	靈的な賜物
		神権時代(12, 16節)	人類に福音が与えられている期間

## 教義と聖約110:2 神殿の教壇

以下の図はカートランド神殿の内部を表しています。救い主が御姿を現されたのは神殿の西側にある教壇の上方でした。この図は教壇と独特の構造を示しています。教会の管理役員が座るイスが設けられていて、役員は神殿の奉献式などの特別な集会が開かれるときに、ここに着席しました。



## 教義と聖約110:11 モーセとイスラエルの集合

主は時々、イスラエルの部族を聖地から全世界に散乱させたり、移動させたりしてこられました。イスラエルの北王国には十部族のほとんどが住んでいましたが、紀元前721年にアッシリア人によって捕らえられ、連れ去られました。ユダとベニヤミン、さらにほかの部族の一部はユダと呼ばれた南王国に住んでいました。彼らも、リーハイの時代にバビロンへ捕虜として連れて行かれました。そしてイエス・キリストの復活後にローマ人によって再び散らされました。十二使徒定員委員会を務めたブルース・R・マッコンキー長老はこのように説明しています。イスラエルが散らされたのは「彼らが福音を拒み、神権を汚し、教会を捨て、王国から離れたからである。……イスラエルは背教したために散らされた。主は、イスラエルの悪と背きに怒りを燃やして、彼らを地のあらゆる国に住む異教の民の中に散らされた。」(A New Witness for the Articles of Faith, 515)

カートランド神殿で救い主が預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに御姿を現されました。続いて旧約の預言者モーセが現れ、イスラエルの集合の鍵を回復しました。この鍵は、イスラエル(行方の知れない十部族を含む)を集め、回復された福音の祝福を得させるものです。スペンサー・W・キンボール大管長はこのように教えました。「イスラエルの集合とは、真の教会に加わって、……真の神の知識を得ることである。」(Teachings of Spencer W. Kimball, 439)

## 教義と聖約110:12 エライアスとはだれか。エライアスは何の鍵をもたらしたのか

「エライアス」とは道を備えるために遣わされる人に与えられる称号です(『聖句ガイド』「エライアス」の項, 53 - 54参照)。教義と聖約110章のエライアスがだれであったかは明らかにされていません。

このときエライアスが携えてきた鍵は主がアブラハムに約束された祝福に関するものでした。この祝福は神殿の儀式によらな

れば完全に受けることはできません。このようにして、エライアスはこのとき「アブラハムの福音の神権時代をゆだねた」のです(教義と聖約110:12)。

## 教義と聖約110:13-15 エリヤの訪れ

旧約聖書の最後の節には、家族を結ぶ力を回復するためにエリヤを遣わすと約束された主の言葉が記録されています(マラキ4:5-6参照。3ニーファイ25章; 教義と聖約2章も参照)。さらに主は、もしエリヤが遣わされなければ、あらゆる人に深刻な結果が及ぶと言われました。多くのユダヤ人はこの約束を過ぎ越しの祭りの一部として記念し、祝いの食卓にエリヤのための席を設けます。彼らはこの記念行事の途中で、エリヤが戻って入ることができるように象徴として家の扉を開けます。興味深いことに、エリヤがカートランド神殿を訪れた1836年4月3日は過ぎ越しの祭りの時期と重なっていました。

預言者ジョセフ・スミスが教えたことによると、エリヤが回復した鍵によって聖徒はシオン山の救い手となることができます。「しかしどのようにすればシオン山の救い手となれるのでしょうか。神殿を建て、バプテスマフォントを作り、すでに世を去ったすべての先祖のために、バプテスマ、確認、洗い、油注ぎ、聖任、結び固めなどのすべての儀式を受けることです。そのことを通して、先祖を贖い、先祖が第一の復活に出で来て、栄光の御座に昇れるようにするのです。そのような行いこそ先祖の心を子供たちに結び、子供たちの心を先祖に結ぶ鎖なのです。このようにして、エリヤの使命を成し遂げることができるのです。」(History of the Church, 第6巻, 184)

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように教えました。「エリヤが与えたこの神権の力により、夫婦は永遠に結び固められるか、結婚をすることができる。また子供たちは永遠に両親に結び固められる。このようにして家族のきずなは永遠に続くものとなり、死が家族を隔ててしまうことはなくなった。これは全世界を破壊から救う原則である。」(『救いの教義』第2巻, 110)

## 聖文を研究する

教義と聖約110章を読みながら、以下の活動(A-D)のうち二つを行ってください。

### A 表を作成する

教義と聖約110章には天からの4度の訪れが記されています。それらを以下のような表にまとめ、この章で学んだ事柄を記入してください。

節	だれが現れたか	何を語り、行ったか	その言葉と、行いはなぜ大切か

## B 大切な語句

教義と聖約110：1 - 10には、救い主が訪れられたことが記されています。この聖句にある以下の語句がなぜ大切なのかノートに書いてください。

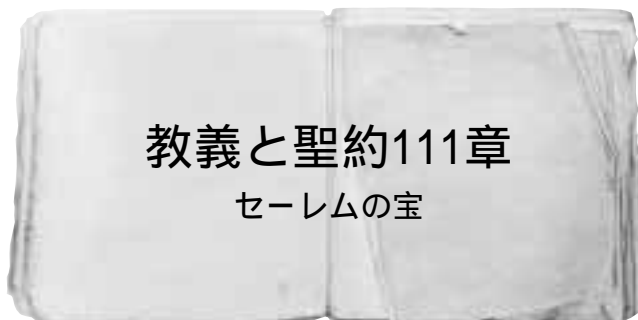
1. 「わたしたちの心から幕が取り去られ」(1節)
2. 「わたしは……あなたがたの弁護者である」(4節)
3. 「頭を上げて喜びなさい」(5節)
4. 「わたしの民にわたし自身を現すであらう」(7節)
5. 「この聖なる家を汚さな〔いようにしなさい〕」(8節)
6. 「幾千幾万の人の心が……大いに喜びであらう」(9節)

## C 成就

教義と聖約110：9 - 10の預言が現在どんな形で成就しているか説明してください。それが成就したことから受けた祝福も書いておきます。

## D 何の扉を開くのか

モーセ、エライアス、エリヤは預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに神権の鍵を授けました。「鍵」という語に込められている象徴的な意味は、鍵つまり権能によって特定の祝福が放たれる、あるいは開かれるということです。カートランド神殿において鍵が回復された結果(教義と聖約110章参照)、どのような祝福と機会が教会員や全世界の人々に与えられたでしょうか。



ウィリアム・バージェスはオハイオ州カートランドへ行き、マサチューセッツ州セーレムで多額の金銭が得られる場所を知っていると言いふらしました。教会はミズーリ州で迫害を受け、さらにカートランド神殿を建設したことによって財政的な問題を抱えていました。その問題を解決するため、預言者ジョセフ・スミスとほかの者たちはセーレムでバージェスと会って、隠された宝を手に入れることにしました。一行がセーレムに到着すると、バージェスは宝のありかを思い出すことができないようでした(B・H・ロバーツ, A Comprehensive History of the Church, 第1巻, 411参照)。このときの預言者は、その望みが誠実なものであったにせよ、愚かだったと言わざるを得ません。しかし、こんな預言者に対して主がどのようにされたかを見ると、主がわたしたちをどのように扱われるのかが分かります。

## 聖文を理解する

教義と聖約111章

愚かな行為(1節) い行動	分別のな い行動	とどまる(7-8節) じっとしている	待つ、
仲立ち(2節)	影響, 努力	知らされる(8節) ようにする, 示される	分かるよ
必要(3節) い	適切で, 望まし い	この場所をあなたがたは賃借で きる(9節)	この場所を借り られる
知り合いになること(3節) 親しくなる, よい関係を築く			

## 教義と聖約111：2 主は教会のためにセーレムにどのような宝を用意しておられたか



主は、預言者ジョセフ・スミスと、マサチューセッツ州セーレムまで預言者と一緒に行った人々に次のことを教えられました。「セーレムにある宝とは、キリストのもとに連れて行くことのできる人々のことである。」5年後の1841年、エラスマス・スノー(後に使徒に召された)は、教義と聖約111章の啓示の写しを受けて、セーレムへ行って伝道するように召されました。そのとき、ハイラム・スミスはスノー兄弟に、「啓示が成就する時が来た」と言いました。スノー兄弟は同地に一年以上とどまって、100人以上の改宗者にバプテスマを施しました。

## 教義と聖約111：9 - 10 セーレムの「昔の住民と創建者たち」について調べること。セーレムに「宝が幾つもある」こと。この二つにはどのような関係があるか

マサチューセッツ州セーレムにあったもう一つの宝はエセックス郡の記録でした。この記録によって、「この町のもっと昔の住民と創建者たちについて熱心に調べ」ることができました(教義と聖約111：9)。初期の教会員の先祖の多くが、セーレムに住んでいました。預言者ジョセフ・スミスの先祖の中で初めてアメリカにきた先祖もそうでした。ジョセフ・スミスは少年時代、足の手術をしましたが、その後の回復期に、セーレムに住むおじのジェシー・スミスの家に短期間住んだことがあります。母のルーシー・マック・スミスは手術後のジョセフについてこのように記しています。「ジョセフは直ちに快方に向かいました。このときからずっと順調に回復して、強く健康になりました。旅ができるようになると、おじのジェシー・スミスとともにセーレムへ向かいました。海風がジョセフの健康によいだろうと思ったからです。そして期待どおり、ジョセフの足は良くなったのです。」(History of Joseph Smith, 58)

この記録を手に入れることは大切なことでした。このことは、後に主が、死者のための業についての教義を啓示されたときに明らかになりました。

## 聖文を研究する

教義と聖約111章を読みながら、以下の活動(A - C)のうち二つを行ってください。

## A 彼はどう感じたと思うか

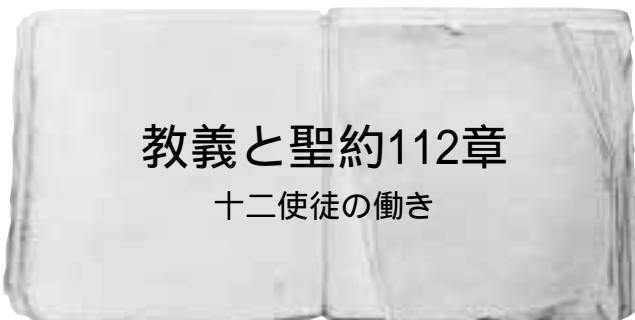
教義と聖約111章で主が言われたことについて考えたときに、預言者ジョセフ・スミスは自分自身と主に対して、どのようなことを思ったでしょうか。ノートに書いてください。

## B どのような教訓が得られるか

教義と聖約111章とこの啓示を受けるまでの経緯、またその後の出来事から得られる大切な教訓を幾つかノートに書いてください(本学習ガイドの教義と聖約111章の最初の部分と「聖文を理解する」も参照)。

## C 例を挙げる

1. 教義と聖約111:11の前半で、主は僕たちに何を行うように求めておられるのでしょうか。思いつくことを一つ書いてください。
2. そのことは、あなたにとってどのような意味があるでしょうか。



# 教義と聖約112章

## 十二使徒の働き

教義と聖約107:23, 33, 35で主は、十二使徒定員会が主の特別な証人となり、全世界で福音を宣べ伝える業を監督すると言われました。初めて北アメリカ大陸を離れて伝道をした宣教師グループは、ヒーバー・C・キンボールとオーソン・ハイドという二人の使徒が引率しました。彼らは1837年7月にイングランドに到着し、最初の日曜日にはプレストンの教会で福音を宣べ伝えました。その日は主が預言者ジョセフ・スミスを通じて十二使徒定員会会長であるトーマス・B・マーシュに教義と聖約112章の啓示をお与えになった日でもありました。主はこの啓示の中で、この神権時代の主の業を導く大管長会と十二使徒定員会に与えられた鍵と権能の大切さについて再び強調されました。



## 聖文を理解する

### 教義と聖約112章

施し(1節)	ささげ物	彼らをほかの多くの人以上に偏
低くした(3節)	謙遜にした	って愛してはならない(11節)
シオンにおいてあなたの住まい		ほかの人々に注ぐ愛よりも
が知られるようにしなさい(6節)		多くの愛や好意を彼らに示して
シオンに住みなさい		はならない
叱責(9節)	悔い改めを求め	効果的な(19節)
る声		有効な、
中傷する者(9節)	ほかの人	役立つ、よく効く
についてうそを言う人		冒瀆した(26節)
よこしまな行為(9節)	不正、	神や神聖な
墮落した行い		事柄について不敬な言葉と言
		った
		報いる(34節)
		支払う、報酬
		を与える

## 聖文を研究する

教義と聖約112章を読みながら、次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A 責任を列挙する

教義と聖約112章を読んで、(1)十二使徒定員会の責任と(2)十二使徒定員会会長の責任を書き出してください。それぞれの責任が何節に記されているかも書いておきます。

### B もしあなたが.....するならば、主は.....してくださるであろう



主は祝福を約束される時、その祝福を受けるために行わなければならない<sup>こと</sup>事柄を説明されます。主は次のような具体的な言い方をされることがあります。「もしあなたが〔祝福を受けるために必要な行い〕をするならば、主は〔主が約束された祝福を与えて〕くださるであろう。」このような場合は理解しやすいのですが、聖文をもっと注意深く読んで、「もし.....ならば、.....であろう」のパターン

を自分で見つけなければならないこともあります。教義と聖約112:3, 10, 21-22を調べ、「もし.....ならば、.....であろう」のパターンを使って3つの文章を自分の言葉で書いてください。

### C どのように当てはまるか

1. 教義と聖約112:20で教えられている原則は、次の事柄にどんなふう<sup>こと</sup>に当てはめたらよいか説明してください。総大会の説教、『リアホナ』に掲載されている中央幹部のメッセージ、大管長会と十二使徒定員会の宣言、『若人のために』のパンフレット。
2. 末日に関して、教義と聖約112:24-26で主が言われた言葉を

まとめてください。

- 24 - 26節で主が教えられていることに照らし合わせると、30節から何を学ぶことができますか。



教義と聖約113章には、イザヤ書の中の幾つかの聖句について預言者ジョセフ・スミスが質問したことに対する主の答えが記されています。学んだことは、聖書のイザヤ書の該当する箇所書き入れておくといよいでしょう。

## 聖文を理解する



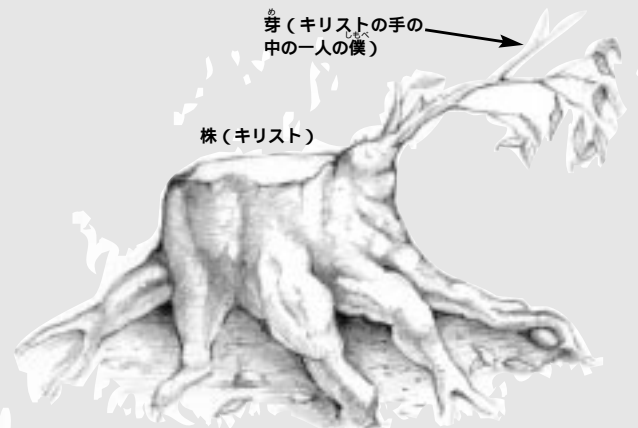
### 教義と聖約113章

旗(6節) 人々が集まるため  
の旗印

縄(9-10節) しっかりと結びつけるための綱

### 教義と聖約113:1-6 芽, 株, 根

下の図は預言者ジョセフ・スミスが尋ねたイザヤ書からのイメージを描いたものです。



根(「神権と王国の鍵とを正当に所有する者である」エッサイとヨセフの子孫)

## 聖文を研究する



教義と聖約113章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A 答えと質問

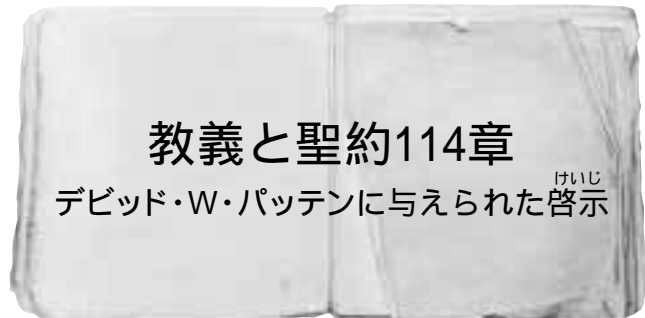
- 教義と聖約113章に記されている質問をノートに書き出し、それぞれの質問に対する主の答えをまとめてください。

- 主の答えは、預言者ジョセフ・スミスと教会にとってどれくらい価値があるものだったと思いますか(この質問に答えるために、イザヤ11章と52章に目を通すとよいでしょう)。

### B 大切な語句を見つける

教義と聖約113:7-10の質問と答えは、末日におけるイスラエルの集合に関するものです。この聖句で取り上げられている事柄を下に挙げてあります。それぞれの事柄に関連する語句を、聖句の中から見つけてノートに書き出してください。

- 神の業を行う許可
- イスラエルの家の一員
- 罪悪が引き起こした制約
- 前世における予任



家族の一員が預言者から来た伝道の召しの手紙を受け取って封を開くとき、それはその家族にとって胸の高鳴る瞬間です。教義と聖約114章の中で、十二使徒定員会の会員であるデビッド・W・パッテン長老は伝道の召しを受けました。不幸なことにパッテン長老はその召しを果たせませんでした。召しを受けてから6か月後の1838年10月25日にクルックト川の戦いで亡くなったからです。以前にパッテン長老は「殉教者として死を迎えられるよう

主に願い求めたことを預言者に打ち明けた。預言者はその話にいたく感動し、深い悲しみを表すと、(パッテン長老に)言った。『あなたのような信仰を持つ者が主に願うならば、主はほとんどのことをかなえてくださるでしょう。』(ライカーガス・A・ウィルソン, Life of David W. Patten; The First Apostolic Martyr [1900年], 67)

## 聖文を理解する



### 教義と聖約114章

処分し(1節) 売の手配をするか、物品を管理して

商品(1節) 所有物

立てて(2節) つけて

職(2節) 管理の責任の召し

適正な地位に

## 教義と聖約114：2 「ほかの者を代わりに立てて」

この啓示が与えられたとき、多くの教会員は預言者ジョセフ・スミス<sup>ひばん</sup>を批判していましたが、またすでに迫害を受けて教会から脱落していた人も大勢いました。その中には教会指導者もいたのです。主は教義と聖約114：2の中で、これらの人々の代わりにほかの者を立てると言われました。その後の歴史を見ると、このような背教者たちには主の業を阻む力がな<sup>はば</sup>いことが分かります。神の王国を築くために召された人がその業を行わないとき、主はほかの人を代わりに任命されます。神の業は必ず成し遂げられるのです。

## 聖文を研究する

教義と聖約114章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A 何が行われたかを説明する

主は教義と聖約114：1で、デビッド・W・パッテン長老に対して「その商品を処分<sup>しよぶん</sup>」するよう求められました。この求めに応じるには何をしなければならぬと思うかノートに書いてください。今日の宣教師は、パッテン長老のように、伝道に行く前に何かを処分するように求められますか。求められることがあるとしたら、それはどんなことでしょうか。

### B あなたなら何と言うか

あなたのワードの中に、あなたと仲のよい17歳の祭司がいると仮定してください。彼は伝道の召しを受けな<sup>い</sup>つもりだと言っています。彼はもう一度そのことについてよく考えるべきです。あなたなら彼に何と言いますか。教義と聖約114章とそのほかの聖文から学んだことを基にして、あなたが彼に言おうと思うことをノートに書いてください。

## 教義と聖約115章

### ファーウェストの神殿

「ミズーリ州北部の聖徒たちは〔1838年の〕夏の間、勤勉に作物を植え、丸太小屋を建てました。彼らは平和な時期が続くと考えていたのです。彼らは、ジャクソン郡の市民と最終的には和解して、中心の地に戻ることができると考えていました。そして、しばらくすると聖徒たちはその地での繁栄<sup>はんえい</sup>を目指すようになりました。啓示によれば、ファーウェストには神殿が建てられるはずでした（教義と聖約115：7）。翌年の春に、十二使徒定員会はイギリスへ伝道に行く前に神殿用地を奉獻<sup>ほうけん</sup>することにしていました（教義と聖約118：4）。ファーウェストで受けた啓示には、教会の正式な名称が示されています。『すなわち末日聖徒イエス・キリ

スト教会と呼ばれなければならない。』（教義と聖約115：4）また、この啓示の中で、教会を財政的に安定させ会員に恵みをもたらすために什分<sup>じゅうぶん</sup>の一の制度が定められています（教義と聖約119章、120章）。」（ダニエル・H・ラドロー編、Encyclopedia of Mormonism、全5巻〔1992年〕、第2巻、926）

## 聖文を理解する

### 教義と聖約115章

旗 <sup>はた</sup> （5節）	のぼりや旗などの	再開（11節）	再び始めること
象徴 <sup>しょうちゆう</sup>		と	
避け所 <sup>さき</sup> （6節）	避難所、安全		
な場所			

### 教義と聖約115：1 預言者ジョセフ・スミスの副管長はだれだったか

「1837年9月3日、オハイオ州カートランドで大会が開かれ、オリバー・カウドリ、ジョセフ・スミス・シニア、ハイラム・スミス、ジョン・スミスが副管長補佐<sup>ほくわんちゆう</sup>として支持された。

しかし、教義と聖約115章の啓示が与えられたときは、ジョセフ・スミス・シニアとジョン・スミスだけが副管長補佐を務めていた（1838年4月26日）。ハイラム・スミスはフレデリック・G・ウィリアムズに代わって大管長会に入っており、オリバー・カウドリは教会員の資格を失っていた。」（『教義と聖約生徒用資料 - 宗教324 - 325』305参照）

### 教義と聖約115：14 ミズーリ州ファーウェストに神殿が建てられなかったのはなぜか

「このとき〔1838年4月〕、ファーウェストには約150軒の家屋<sup>かおく</sup>が建ち並び、その中には店、ホテル、すばらしい学校の建物がありました。ならかな平原地帯に、ファーウェストはまるで魔法のようにこつ然と姿を現したのです。……

神殿の隅石が置かれたのは1838年7月4日のことでした。……しかしながら、神殿の建設に関しては、これ以上のことはほとんど何も行われませんでした。迫害の嵐<sup>あらし</sup>が激しくなり、その地の聖徒たちが再びふる<sup>ふる</sup>浪の民となったからです。」（スミスとショダール、Doctrine and Covenants Commentary、742参照）



ミズーリ州ファーウェスト

## 聖文を研究する

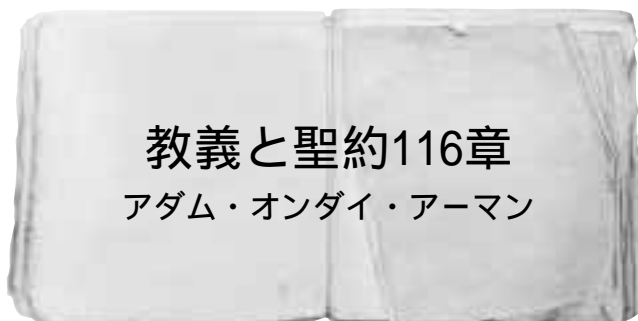
教義と聖約115章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A 一つ一つの言葉の意味を説明する

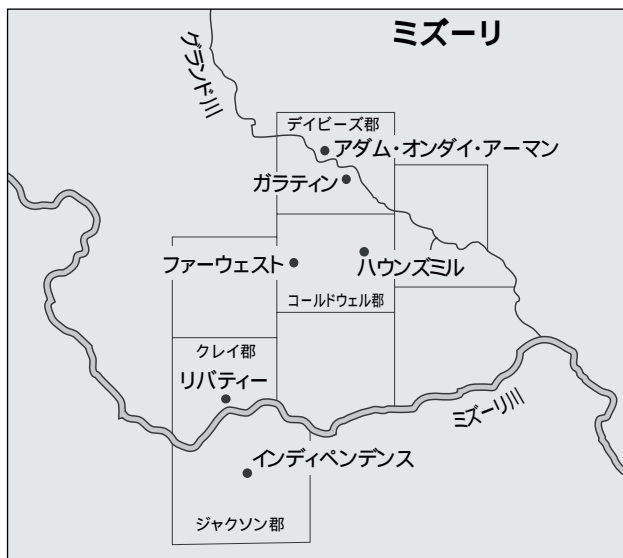
教義と聖約115：4で与えられた教会の正式名の中にある言葉の意味を一つ一つよく考えてください。一つ一つの言葉がなぜ大切なのか、それはこの教会がどんなものだとして世の人々に伝えているのか、ノートに書いて説明してください。

### B 手紙を書く

友達が将来に不安を抱いているとします。その友達によると、世界情勢はどんどん悪くなっているし、恐ろしい事件があちこちで起こっているということです。この友達にあてた手紙をノートに書いてください。まず、不安を抱いていることに対して理解を示し、それから教義と聖約115：4-6で学んだ事柄を基にして、将来やって来る苦難の時代にどうしたら安全を見いだせるか、説明してください。



旧約の預言者ダニエルは、終わりの時にアダムが聖なる集會を管理することを預言しました。その預言によると、再臨への備えとして救い主が現れて、その集會に出席されるのです(ダニエル7：9-14参照)。教義と聖約27章には、その集會にだれが出席するかが説明されています。教義と聖約116章では、この集會がどこで開かれるかを学びます。



## 聖文を理解する

教義と聖約116章

日の老いたる者(1節) 最初  
の人間アダム



教義と聖約116：1 「アダム・オンダイ・アーマン」とはどのような意味か

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコスキー長老は次のように説明しました。「アーマンとはアダムに知らされた神の名の一つです。アダム・オンダイ・アーマンとは、アダムの清い言語による名称を英語で表記したものです。その文字どおりの意味は明らかにされていません。わたしたちに判断できるかぎり(つまり、この神権時代にこの名称を用いた最初の人であるジョセフ・スミスと親しかった初期の指導者たちによると)、アダム・オンダイ・アーマンは『アダムが住んだ神の地』という意味です。」(Mormon Doctrine, 19-20)

教義と聖約116：1 「アダムがその民を訪れる」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、次のように教えました。「アダムの子らのこの集まりでは、裁きのために数千、数万人が集められます。これは、騒然としたこの地上で起きる出来事の中で、最も偉大なもの一つとなることでしょう。この大会、すなわち会議で、神権時代の鍵を持っていたすべての人が、自分の管理の職について報告します。アダムもそれを報告し、それからキリストに全権を返すのです。その後、アダムは自分の子孫を治める者という召しを確認され、正式にこの管理の召しを受けて、永遠に治めます。次いで、キリストが王の王、主の主として受け入れられます。この集いがどのくらいの期間あるのか、またこの大会で何度集まりが持たれるのか、わたしたちには分かりません。しかし、この会議が、この地球の初めからそのときに至るまでに存在した、神の神権を持つ者の集いであるということが分かればそれで十分です。そこでは、報告がなされます。たとえにあるように、神権時代(タラント)を与えられたすべての人が、自分の鍵と務めについて述べ、自分の管理の職について報告するのです。そして、彼らに判決が下ります。この集まりは、義人、すなわちこの地上の神の王国において権能の鍵をかつて持っていた人々と、現在持っている人々を裁くためのものです。悪人を裁くための集まりではありません。すべてが備えられたとき、すなわちあらゆる鍵と力

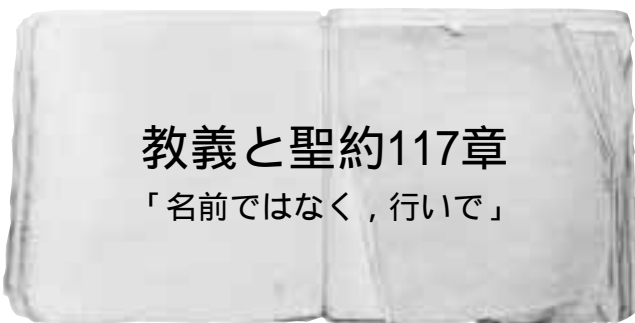
とどのが正しい、それぞれが自分の管理の職について完全な報告を終えたとき、キリストはこれらの報告を受けて、この地球の正当な支配者の座に就かれます。この大会議において、神権の権利によって集まった何千もの人々の声により、キリストはその座に就かれるのです。このことは悪人が滅ぼされる大いなる日が来る前に起こり、福千年の統治の準備となるのです。」( *The Progress of Man*, 第3版 [1944年], 481 - 482。ブルース・R・マッコンキー, *The Millennial Messiah: The Second Coming of the Son of Man* [1982年], 578 - 588も参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約116章を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A 記事を書く

教義と聖約27章と116章に基づいて、アダム・オンダイ・アーマンの集会の様子をノートに書いてください。そこで話される事柄についても書いてください。資料が必要であれば、脚注と「聖文を理解する」を活用してください(『聖句ガイド』史跡写真29も参照)。



人生を終えたとき、あなたはどんな人として人々の記憶に残ることを望みますか。もしあなたの名が「神聖に覚えられる」としたら、どう思いますか。この啓示に登場する兄弟たちの中には、悔い改める必要のある人がいました。義務を果たすよう命じられた人もいました。これら教会指導者一人一人に主が言われたことをよく考えてください。彼らへの勧めを自分に当てはめてみましょう。主はあなたに何と命じておられるか考えてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約117章

とどまる(2-3節) 遅れる、  
ぐずぐずしてなかなか従わない  
負債の支払いのために処分する  
(5節) 借りを返すために売り払う

両替人(16節) 利子を取って  
金銭を貸す商売、またそれをする人々

### 教義と聖約117:1-2 主は知っておられる

「主は聖徒たちに、集合してファーウェストの町を速やかに築くよう命じられました〔教義と聖約115:17参照〕。カートランドの陣営と呼ばれた515人の人々は、1838年7月6日にカートランドを出発してシオンへ向かいました。9月14日の時点で、残ってい

た隊員は260名しかいなかったようです。ほかの者たちは四方に散らばっていました。陣営は10月4日にアダム・オンダイ・アーマンに到着しました。マークスもホイットニーもグレインジャーもこの陣営に加わっていませんでした。〔オリバー・グレインジャーはすでにミズーリ州ファーウェストにいました。グレインジャーは、オハイオ州カートランドにいるウィリアム・マークスとニューエル・K・ホイットニーにこの啓示を届け、速やかにシオンの地へ戻るように命じられていました。〕ファーウェストにいたジョセフ・スミスには、シオンに向かった者、向かわなかった者がそれぞれだれなのか、知る由もありませんでした。しかし主は知っておられたのです。このため、主はこの啓示の中で……ウィリアム・マークスとニューエル・K・ホイットニーにシオンへ来るよう命じ、カートランドの財産について聖徒たちに指示を与えられたのです。」(スミスとショダール, *Doctrine and Covenants Commentary*, 744)



アダム・オンダイ・アーマンの谷に建てられたライマン・ワイトのもう一つの小屋

### 教義と聖約117:8 「オラハ・シネハの平原」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように記しています。「オラハ・シネハの平原(アダムが住んでいた地の名称)は、アダム・オンダイ・アーマンの一部または近郊にあったに違いありません。」(*Church History and Modern Revelation*, 第2巻, 97)

### 教義と聖約117:8 「一滴のしづくにすぎないもの」をむさばる

「主は、カートランドの聖徒たちに、その地を離れてシオンの聖徒たちに合流するように命じられました。このときに自分の財産にしがみついて、その地を離れなかった人々は、非常に愚かでした。主がその民に注がれる祝福に比べたら、一区画の土地は何とつまらないものだったことでしょう。それに、主は御心に従う人々を助け、主の知恵によって土地や必要なものをすべて得られるようにして下さらないことがあるのでしょうか(マルコ10:28-30参照)。」(『教義と聖約生徒用資料 - 宗教コース324 - 325』309参照)

### 教義と聖約117:11 ニコライ派

ニコライ派という語は黙示録2:6, 15にも出てきます。その意味は定かではありませんが、原始キリスト教会に偶像礼拝の慣習



を持ち込もうとしたのがニコライ派だという説があります。ブルース・R・マッコンキー長老はこのように記しています。ニコライ派は「この教会の会員としての立場を維持しようと努める一方で、相変わらずこの世的な生活をしている教会員のこです。... そのような人々が具体的に何を行い、何を教えているかは重要ではありません。教会の記録に自分の名前をとどめておきたいと思いつつも、十分に固い決意をもって福音に献身しようとはしない人々、そのような人々は皆、この名で呼ばれるのです。」(Doctrinal New Testament Commentary, 第3巻, 446)

実であり続けた人々は、尊敬に値します。定員会の欠員を埋めるために新たに召された使徒の名前が、118章に記されています。そのうち二人は後に大管長になりました。

## 聖文を研究する

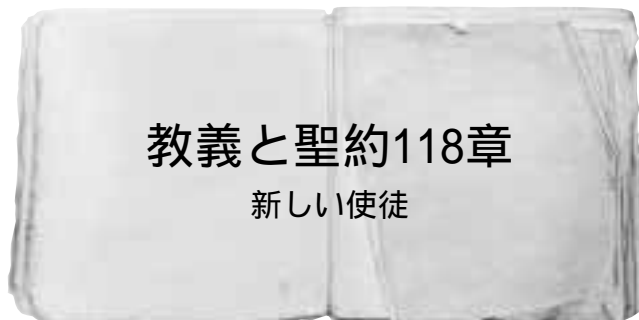
教義と聖約117章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A 主は何を差し出しておられるか

使徒たちは、ニューヨークを去ってオハイオへ、その後オハイオからミズーリへ行くよう求められました。同じように、あなたも主から故郷を離れるよう求められたとします。教義と聖約117:1-9にある主の言葉をよく読んで、自分の励みになると思う言葉をノートに書き出してください。

### B 紹介の原稿を書く

- オリバー・グレインジャーがあなたのワードまたは支部で青少年に向けて話をしてくれることになったとします。あなたが彼を紹介することになりました。教義と聖約117:12-16の情報を基にして、オリバー・グレインジャーを紹介する原稿を簡単に書いてください。
- 「オリバー・グレインジャー」のところにあなたの名前を入れて、もう一度12-16節を読んでください。この聖句にある祝福を受けるにふさわしい者となるために、生活のどのような面で成長したらよいか考えてください。考えたことを日記に書きとめておくといでしょう。



## 教義と聖約118章

### 新しい使徒

一部の教会員は1837年から1838年にかけてカートランドで起きた様々な問題がもとで証を失いました。過酷な状況だったため、十二使徒定員会の最初に召された4人(ウィリアム・E・マクレラン、ルーク・ジョンソン、ライマン・ジョンソン、ジョン・ポイントン)が背教し、破門されました。そのため、十二使徒定員会にできた空席を埋める必要がありました。何人かの親しい仲間を失った預言者ジョセフ・スミスにとって、この出来事がどれほどつらかったか想像できるでしょうか。迫害や問題に直面しても忠

## 聖文を理解する

### 教義と聖約118章

たらく 墮落した(1節) 背教した 効果的な(3節) 効き目のある 広め(4節) 公表し、宣し

### 教義と聖約118:4 使徒たちは翌年の春にどこへ行くことになっていたか

教義と聖約118:4に記されている「大海」とは大西洋のことです。主は使徒たちに海を越えて、イギリスへ福音を伝えに行くよう命じておられました。

### 教義と聖約118:5 使徒たちはファーウェストへ戻ったのか



「主は、およそ1年後の1839年4月26日に大会を開くように命じられました。ミズーリの住民はそのことを知っていたようです。彼らは十二使徒の活動を妨害してモルモン教団を一掃する決意を固めていたのです。大会を開くよう啓示が与えられた日から大会が開かれる日までに、『教会全体がミズーリ州から追い出されました。ミズーリに残っている末日聖徒は、自分が末日聖徒であることが知れると、命をねらわれました。十二使徒は特にそうでした。神殿の隅石を据える日は啓示で指示されていましたが、その日が来たときにはすでに教会は州知事の命令でミズーリ州外に追い出され、イリノイ州に移っていました。ジョセフ・スミス、ハイラム・スミス、パーリー・P・プラットの3人は、イエスについて証したという理由で投獄されていました。神殿の隅石を据える日が近づくにつれて、「どうすればよいか」という疑問が起ってきました。啓示では、十二使徒は4月26日にファーウェストに集って神殿の隅石を据えるように命じられていたのです。これは成就しなければなりません。ミズーリの住民たちは、「もちろんそんなことは起こらないに決まっているが、たとえジョセフ・スミスのほかの啓示がすべて成就したとしても、この啓示だけは、成就しないだろう。なにしろ成就する日まで指定しているのだから絶対に阻止してやる」と、あらゆる神々にかけて誓っていました。わたしの知るかぎり、教会員の大部分は、このような状況下で隅石を据えるのは不可能であり、実行しようとする気持ちだけで主は受け入れてくださる、と思っていたのです。」(ウィルフォード・ウッドラフ, Journal of Discourses, 第13巻, 159)



しかし十二使徒は、命じられた義務から逃れようとしませんでした。『1839年4月25日の夜、少数の使徒がわずかな人数の忠実な兄弟、大祭司、長老、祭司を連れてファーウェストに到着しました。深夜を過ぎて間もない126日の早朝に、彼らはファーウェストの神殿用地に集まって集会を開いたのです。』(スミス, *Church History and Modern Revelation*, 196 - 197)

「ブリガム・ヤングが集会を管理しました。書記を務めたジョン・テラーは次のように記しています。

『評議会はそれから、主の宮の建設地について話し合いました。以下の事柄を処理し、十二使徒の使命に関する賛美歌の一部を歌いました。

神殿建設の職人頭を務めるアルファス・カトラーが、主の宮の土台を据えるように推薦され、啓示に従って、南東の角近くに大きな石を転がして据えました。

その場にいた十二使徒は以下のとおりです。ブリガム・ヤング、ヒーバー・C・キンボール、オーソン・ブラット、ジョン・E・ページ、ジョン・テラー。……墮落した人々の空席を埋めるために、ウィルフォード・ウッドラフとジョージ・A・スミスが聖任されました。』(*History of the Church*, 第3巻, 336 - 338)

数人の使徒が祈りをささげた後、全員で『アダム・オンダイ・アーマン』を歌うと、使徒たちはそこから立ち去りました。』(『教義と聖約生徒用資料 宗教コース324 - 325』311参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約118章を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A 理由を書き出す

教義と聖約118章の「聖文を理解する」を読んでください。

1. 使徒たちがミズーリ州ファーウェストに集まるのが難しかった理由をノートに書き出してください。使徒たちは実際にはファーウェストに行きました。その理由も挙げてください。
2. 主が教義と聖約118章で言われたことから考えて、使徒たちが勇気を出してファーウェストへ行ったのはなぜですか。

### B 方法を説明する

宣教師としての務めをよく果たすためにはどのような特質が必要でしょうか。そのことについて主が言われたことを教義と聖約118章の中から見つけてください。これらの特質があるとなぜ伝道活動で成功できると思うか説明してください。



ジョン・テラーは1836年にバプテスマを受けました。彼は多くの苦難を受けたにもかかわらず忠実でした。預言者ジョセフ・スミスが殉教したとき、預言者とともにカーセージの監獄にいました。彼は第3代大管長になりました。



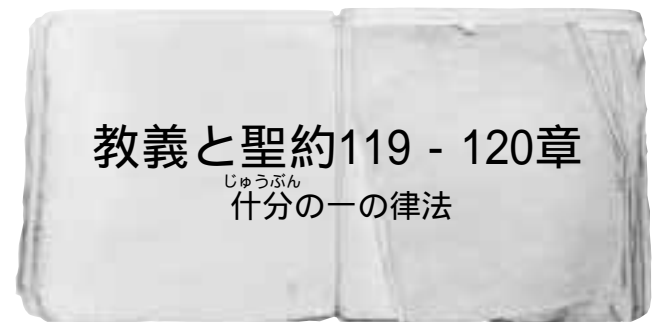
ジョン・E・ページは1833年にバプテスマを受けました。彼は何度か伝道に行き、立派にその務めを果たしましたが、後に背教して、1846年に破門されました。



ウィルフォード・ウッドラフは1833年にバプテスマを受けました。彼はイギリスで福音を伝え、8か月で1,800人以上にバプテスマを施しました。彼は第4代大管長になりました。



ウィラード・リチャーズは1836年にバプテスマを受けました。彼はイギリスで伝道中に、使徒に召されました。預言者ジョセフ・スミスが殉教したとき、彼は預言者とともにカーセージの監獄にいました。彼は後にブリガム・ヤング大管長の副管長を務めました。



## 教義と聖約119 - 120章 什分の一の律法

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、この神権時代に什分の一の律法が取り入れられたいきさつを次のように説明しています。「主は教会員に奉獻の律法を授けられました。それに伴い、会員たちに、破ることのできない永遠の聖約……に入るよう命じられました。この聖約では、会員たちは自分の財産を奉獻し、管理の職を受けることになっていました。この律法こそが日の栄えの王国の律法なのです。この重大な聖約を交わした人たちの多くは、聖約を破ってしまいました。そのため、聖約を破った人ばかりか兄弟姉妹たちにまで恐ろしい罰と迫害が及んだのです。その結果、日の栄えの律法であるこの律法は、一時的に、つまりシオンが贖われるときまで、取り消されることになりました。ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリは、1834年11月29日に真剣に祈り、主から与えられるすべてのものの10分の1を貧しい人たちに与えるために主にささげると約束しました(当時、教会には借金があり、返済する方法がないためにとても苦しんでいました)。二人はまた、自分の子供たちにも、子供たちの子供たちにも、この律法を守らせると約束しました(D. H. C., 第2巻, 174 - 175)。しかしながら今回、この律法を教会全体に知らせる必要があったため、預言者は指示を求めて祈りました。」(*Church History and Modern Revelation*, 第2巻, 90 - 91) 会員たちが受けた答えは教義と聖約119章に記されています。

教義と聖約120章では教会の什分の一の使い方が説明されています。この二つの啓示を研究しながら、正直に什分の一を納めるとはどういうことか、わたしたちは什分の一を納めることによってどのように祝福されるかを調べてください。



©Church News

什分の一基金は地上における主の業を成し遂げるために使われる。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約119章

願い（章の前書き）

謙遜で

範例（7節）

模範

熱意にあふれた祈り

捉（6節）

律法、戒め

### 教義と聖約119：1-3 「わたしの民の納める什分の一の始まり」

マリオン・G・ロム二副管長は十二使徒定員会会員を務めていたとき、なぜ什分の一の律法に従うことが、奉獻の律法に従う備えとなるかについて次のように説明しました。

「共同制度の基本原則は、奉獻すること、管理の職の務めを果たすこと、そして余ったものを監督の倉にささげることです。共同制度の試みが中止されてから4年後に、什分一の律法が定められました。そのとき主は『剰余の財産をすべて……監督の手にゆだねることを』民に求められました（教義と聖約119：1）。その後、民は『毎年彼らの得る全利益の十分の一を納める……』ことになっていました（教義と聖約119：4）。この什分一の律法は現在も有効です。什分一の律法に従うことにより、わたしたちは、共同制度の中にある管理の職という原則を、少なくともある程度実施していることとなります。個人が財産を所有し、管理して、自分と家族にとって必要なものを生産するために、財産を用いるのですから。〔J・ルーベン・〕クラーク副管長の言葉をさらに引用します。

『……共同制度では、余ったものを倉に蓄えることになっていました。その代わりとして、今日わたしたちは、断食献金、福祉献金、什分の一を納めているのです。このようなお金はすべて、貧しい人を世話し、教会の活動や業務を行うために使われています。』（Conference Report, 1966年4月, 100）

### 教義と聖約119：4 「彼らの得る全利益の十分の一」とは何か

ジェームズ・E・ファウスト副管長はこのように説明しました。「什分一の律法は簡潔です。毎年個人の得る全利益の10分の1を支払います（教義と聖約119：4参照）。大管長会によれば、利益とは年収のことです（『教会指導手引き、第1部 ステーク会長会

および監督会』134 - 135参照）。収入の10パーセントが幾らかは、主と個人が決めるべきものです。そこには法的な規制はありません。』（「天の窓を開く」『リアホナ』1999年1月号, 63）

### 教義と聖約119：6 正直に什分の一を納める人への約束

十二使徒定員会会員を務めるダリン・H・オークス長老は、このように語りました。

「什分の一が払えない、と言う人がいます。その一方で、主の約束を信じる人は、什分の一を払わずにはやっていけない、と言います。……

什分の一は約束を伴った戒めです。救い主が再確認されたマラキの言葉によれば、什分の一を主の倉に納める人に、主は『天の窓を開いて、受け入れる余地がないほどの祝福を』注ぐと言われました。約束された祝福には、物質的なものと霊的なものがあります。主は『食い荒らすものをあなたがたのために抑え』ると約束されました。さらに、『諸国の民は皆、あなたがたを祝福された者と言うであろう。あなたがたは喜ばしい国となるからである』と約束しておられます（3ニーファイ24：10 - 12。マラキ3：10 - 12参照）。……

什分の一を納めると、納めた本人にも比類ない霊的な祝福が与えられます。什分の一を納めるということは、犠牲の律法を受け入れた証拠でもあるのです。それはまた、奉獻の律法や日の栄えの王国のその他の律法を受け入れる準備にもなります。』（「什分の一」『聖徒の道』1994年7月号, 37）

### 教義と聖約120章

構成される（1節） 編成され 配分される（1節） 使われる、  
た 処理される

### 教義と聖約120：1 「評議会によって配分される」

J・ルーベン・クラーク副管長は、生前、什分の一がどのように管理されるかを説明しました。

「大管長会の指示を受けて予算が作成されます。……この予算には、什分の一から何に支払われることになっているかがすべて記載されています。この予算は、什分一の支出に対して責任を持つ各部門が慎重に検討した後作成されます。

作成された予算は、啓示で指示されているとおり、大管長会、十二使徒評議会、管理監督会から成る什分の一支出評議会（現在は什分の一配分評議会と呼ばれている）に提出されます。この評議会は提出された予算を検討し、話し合い、個々の項目について承認したり、却下したりして、最終的に予算を承認します。

……この委員会の承認なしに、〔什分の一〕が使われることはありません。』（Conference Report, 1943年10月, 12）

## 聖文を研究する

教義と聖約119章を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A なぜ什分の一を納めるのか

1. 教義と聖約119 - 120章を読んでください。また、この章に関する「聖文を理解する」を読んでください。そこに書いてあ

ることから考えて、また、両親や教師、教会の指導者から学んだことから考えて、教会の什分の一が何のために使用されているかをノートに書き出してください。

2. 什分の一の使い道を決めるのはだれですか。ノートに書いてください。
3. 正直に什分の一を納めることによって得られる祝福を書き出してください。

## 教義と聖約121章

「召される者は多いが、  
選ばれる者は少ない」

これまでにながかりしたことはありますか。難しい問題に直面して、助けを求めて祈ったことがありますか。1838年10月27日、ミズーリ州知事リルバーン・W・ボッグズは悪名高い撲滅令を発令しました。その中に次のような一節があります。「公益を守るために必要であれば、モルモン教徒を敵として取り扱い、撲滅するか、州から追放しなければならぬ。」(History of the Church, 第3巻, 175) 4日後にミズーリ州ファウエストで、預言者ジョセフと数人の教会指導者は裏切られて、ミズーリ州の軍隊に引き渡されました。預言者は次のように書いています。「[ヒンクル大佐(この人物は教会員であり、影響力のある将校であった。彼は聖徒たちを弁護する立場にあった)]は、このように言いました。『ミズーリ州軍の将校が、あなた〔ジョセフ〕とほかの数人の人たちに会いたがっています。州知事が出した撲滅令を実施せずに問題を解決したいのだそうです。』わたしはその申し出を受け入れて、……州の軍隊が野営している場所へ行きました。そこでわたしがどれほど驚いたか、想像してみてください。市民同士が話し合うときに常識とされる敬意というものはありませんでした。その代わりに、わたしたち〔預言者と預言者に同行した人たちは〕、戦争捕虜として扱われ、ひどい侮辱を受けました。……わたしが目撃したことはとても語れそうにありません。1,000人以上の兵士のわめき声は、数キロ先まで聞こえるほどでした。あの汚らわしいのろいの言葉や脅しの言葉を聞けば、どんなに精神的に強い人でもぞっとすることでしょう。夜になると強そうな見張りが取り囲み、わたしたちは冷たい地面の上で寝なければならぬませんでした。神の力がなければ、わたしたちはあの見張りたちに殺されていたでしょう。……」



リバティーの監獄

ミズーリ州軍は、聖徒の住む町に入っていました。そして、容赦なく民家を壊し、罪のない人々を虐待しました。その後、大勢の人々が衣食を奪われました。」(History of the Church, 第3巻, 188 - 191)

それからの数週間、預言者と同僚たちは虐待と侮辱を受け続けました。寒い中、遠くまで歩かされ、1838年12月1日にミズーリ州のリバティーにある監獄に閉じ込められました。有罪を立証する証拠は何もありませんでしたが、ジョセフたちは数か月間、監獄に入れられたままでした。

1839年3月20日から25日にかけて、預言者ジョセフは、捕らわれている者全員の署名の入った長い手紙を書き取らせました(実際には2通ありましたが、2通目は1通目の続きであると預言者は語っていました)。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこの手紙について次のように述べています。『これは人が書きつづった手紙の中で最も偉大な手紙です。事実この手紙は、心のへりくだった人が靈感を受けて書いたものでした。これは祈りと預言と、啓示による主の答えです。このような手紙は、キリストの愛の精神に満たされた気高い人物でなければ書くことはできないでしょう。〔預言者たちの受けた苦しみを考えれば、〕預言者が苦しみもだえて主に救いを求めたのは当然です。しかし、この熱烈な訴えの中にも同胞に対する忍耐と愛の精神が息づいているのです。』(Church History and Modern Revelation, 第2巻, 176) 『教義と聖約信徒用資料 宗教コース324 - 325』315参照)



教義と聖約121 - 123章は、預言者ジョセフ・スミスがリバティーの監獄に閉じ込められていたときに口述した手紙からとったものです。これらの章は1876年版の教義と聖約に初めて収められました。



## 聖文を理解する



### 教義と聖約121章

大幕(1, 4節)	天幕, 大きな覆い	傾向(39節)	性癖
貴かれる(2節)	願いを聞いていっしやる	偽りのない(41節)	真実な, まじめな
逆境(7節)	試し, 苦難	偽り(42節)	ごまかし
霜(11節)	地表の白い氷片, 凍った露	責めなさい(43節)	親切な
油注がれた者(16節)	働くように任命された人	気持ちから優しく直しなさい	
絶たれる(19節)	切り離される	そのときに(43節)	いち早く, すぐに
まむし(23節)	毒へび	厳しく(43節)	明確に
望んで(35節)	願って, むさぼって	飾る(45節)	美しく整える, 装飾する
満たす(37節)	満足させる	滴る(45節)	徐々に落ちてくる
		笏(46節)	権威を象徴する杖

### 教義と聖約121:3 「不法な虐げ」とは何か

預言者ジョセフ・スミスをはじめとする教会の指導者は、リバティーの監獄に閉じ込められました(この学習ガイドの教義と聖約121章の最初の部分を参照)。そのとき、「8,000人以上の聖徒が撲滅令から逃れるためにミズーリ川を東へ渡り、イリノイへ入りました。彼らは冬の厳寒の中、家を後にしなければならなかったのです。当時十二使徒定員会会長であったブリガム・ヤングがその指揮を執り、可能な限りの援助を行ったにもかかわらず、彼らの苦難は大変なものでした。」(『わたしたちの受け継ぎ 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』46参照)



### 教義と聖約121:7 逆境がもたらす利益

「[当時十二使徒定員会会員であった] ジェームズ・E・ファウスト長老は、人生における逆境が祝福をもたらすことについて、次のように述べています。『苦痛、苦悶、人生の大きな試みの中で、わたしたちは精錬する者の火を通り抜けるのです。そして人生の中で意味もなく重要でないものはかすのように溶かされて、わたしたちの信仰は輝きのある完全な強いものとなります。このようにして人間の中に神の姿が映し出されるのです。これは神を身近に知ろうとする人々に要求される清めの代価の一部です。人は苦痛のさなかにあるとき、いっそう神の羊飼いの小さなささやきに耳を傾けようとするのです。』(ジェームズ・E・ファウスト

「金をふきわける者の火」『聖徒の道』1979年10月号, 78参照)

苦難は神から下される罰であると信じている人もいますが、これは誤りです。艱難の原因と艱難の目的との間には大きな違いがあります。『残念なことですが、わたしたちの受ける大きな苦難の中には、わたしたち自身の愚かさや弱さのために、あるいはわたしたち自身の軽率さや罪のためにもたらされているものがあります。』(ジェームズ・E・ファウスト「金をふきわける者の火」『聖徒の道』1979年10月号, 79参照) 死すべき肉体が持つ弱さや墮落した性質が原因になっている苦難もありますし、邪悪な人が選択の自由を悪用して行った事柄が苦難を招く場合もあります。……

……ジョセフ・スミスが投獄をはじめとして様々な不当な扱いを受けたことについて、ブリガム・ヤング大管長は次のように述べています。『預言者ジョセフ・スミスは厳しい艱難を見事に克服しました。その結果38年の間に、それがなければ1,000年かかってもできないほど完成に向かって進歩成長したのです。』(『Journal of Discourses』第2巻, 7参照) (『教義と聖約生徒用資料 宗教コース324 - 325』316参照)

### 教義と聖約121:34-36 召されて、選ばれる

ハロルド・B・リー大管長は、教義と聖約121:34の前半を引用して、次のように語りました。「この聖句から次のことが分かります。わたしたちはこの現世で選択の自由を与えられていますが、それと同時に、この世が造られる前に何らかの召しに予任されていきました。それにもかかわらず、現世での準備が不十分なために、予任された召しを受けられずにいる人が大勢います。前世にいたとき、彼らは、高潔で偉大な霊の中に数えられていたかもしれませんが、御父がえり抜き(選り抜)の指導者にしようと宣言された、高潔で偉大な霊の一人だったかもしれないのです。たとえそうだととしても、現世での生き方によっては、予任された召しを受ける機会を失うこともあるのです。」(『自分が何者かを知り、自尊心を持つ』『聖徒の道』1974年6月号, 271 - 276参照)

### 教義と聖約121:38 「とげのある鞭をけり」とはどのような意味か

とげのある鞭や突き棒は、先のとがった棒のことであり、先端に鉄が付いているものもあります。本来は家畜を追い立てるために使うものです。福音の意味において「とげのある鞭をける」とは、わたしたちを正しく導く神の戒めや霊的な感覚に逆らったり、反抗したりすることです。

## 聖文を研究する



教義と聖約121章を読みながら、次の活動(A-D)のうち二つを行ってください。

### A 預言者への慰めの言葉

1. 教義と聖約121:1-3には、預言者ジョセフ・スミスが主に尋ねた事柄が書いてあります。それを自分の言葉でノートに書いてください。
2. 預言者ジョセフは、聖徒たちのことでも悲しく思いました。預言者をそんな気持ちにさせた出来事とは、何だったのでしょうか。(もし必要であれば、この学習ガイド教義と聖約121章の最初の部分と「聖文を理解する」を参照する。)

- 7 - 10節で、主は預言者を慰めておられます。それを自分の言葉でノートに書いてください。
- 自分が試練や苦難に出遭ったときに、7 - 10節の主の言葉から、どのような慰めを得ることができますか。

### B 結果を説明する

忠実な人々を迫害しても、邪悪な人々は何の罰も受けないように感じる場合があります。教義と聖約121：11 - 25を読んでから、神と神の僕に対して戦いを挑む者が、最終的にどうなるか、ノートに書いてください。なるべく次に挙げる語句を使って、答えてください。思いをくまらず、「彼ら自身のうえに及び」、一掃される、絶たれる、見下される、神権、石臼。



主の僕たちを迫害する者たちは「石臼を首にかけられて、海の深みに沈められる方がよかった。」(教義と聖約121：22)

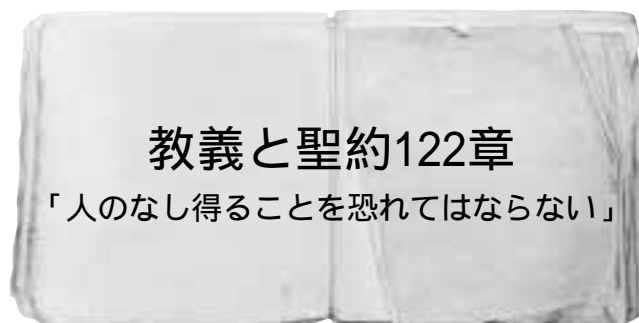
### C 約束に番号をつける

教義と聖約121：26 - 33の中で、主は忠実な人々に祝福を約束されました。その約束を見つけて、聖典に番号をつけてください。その中からあなたにとって大切な約束の一つを選んで、ノートに書き出してください。

### D マスター聖句 教義と聖約121：34 - 36

教義と聖約121：34 - 36は、神権者がしなくてはいけないことが書いてあります。それは、神権を尊び、神権を効果的に使うために必要なことです。この聖句を調べながら、次の質問に答えてください。

- 「選ばれ」る人もいれば、選ばれない人もいるのはなぜですか。
- 「神権の権利」と「天の力」にはどんな関係がありますか。
- 天の力は、どんな原則によって制御されているのですか。
- 神権者が神権の力を失ってしまう原因には、どんなものがありますか。
- 義にかなった神権者が人々によい影響を与えるためには、どのようなやり方をする必要がありますか。
- 義にかなう方法で神権を使う人々には、どんな祝福が約束されていますか。



人生は公平ではない、自分は人より苦勞が多いと感じたことがありますか。実は、そんなふう感じたことのある人がほとんどです。教義と聖約121 - 123章が記されたとき、預言者ジョセフ・スミスと彼の同僚たちは、有罪判決を受けることはあるか、裁判も受けることなく、4か月間にわたってリバティーの監獄に閉じ込められていました。義人が苦しんでいるときに、なぜ主はそのままにしておかれるのかを考えながら教義と聖約122章を学んでください。

### 聖文を理解する

#### 教義と聖約122章

あざ笑い(1節) 軽蔑し、 侮辱する  
 難(5節) 危険  
 寄せて来る大波(7節) 大洋  
 ぶさぐ(7節) 妨害する  
 大口を開けてのみ込む(7節)  
 捕まえるために大きく開く  
 限界(9節) ぎりぎりの境の大きな波

#### 教義と聖約122：7 逆境や苦しみはわたしたちのためになるのか

ハロルド・B・リー大管長はこのように語っています。「人生の試練や苦難を恐れてはなりません。なぜなら非常に過酷な試練を受けているとき、自分で考える以上に神に近づいていることがあるからです。主御自身も、誘惑の山で、ゲツセマネの園で、またカルバリの十字架の上で過酷な試練を経験されました。しかし聖典には、『そして、御使たちがみもとにきて仕えた』と記してあります(マタイ4：11)。試練のただ中にあるときに、そのようなことがあなたの身に起こることもあるのです。」(The Teachings of Harold B. Lee, クライド・J・ウィリアムズ編 [1996年], 192. 教義と聖約121：7の「聖文を理解する」, 142ページも参照)

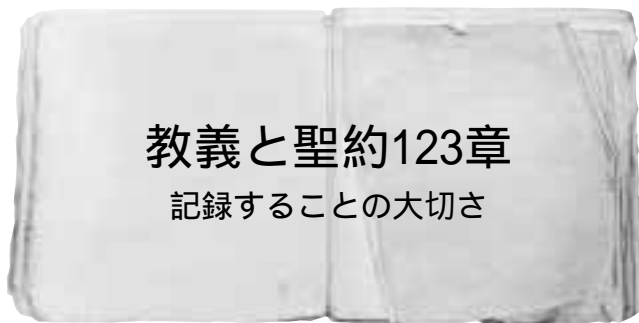


## 聖文を研究する

教義と聖約122章を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A 試練を受けているときに助けを見いだす

- 人は、試練や逆境に圧倒されたとき、天を見上げ、「なぜわたしに」と尋ねるものです。しかし、預言者ジョセフ・スミスは違いました。教義と聖約121：2-3を復習して、預言者が「なぜわたしに」と尋ねる代わりに、何と尋ねたか、ノートに書き出してください。
- 預言者ジョセフは、自分や教会の会員たちがなぜそんな苦難に耐えなければならないのかと尋ねることはしませんでした。主はその理由を幾つか説明されました。教義と聖約122：5-9から、主が預言者に言われた事柄を書き出してください。
- 生きていく中で、試練や逆境に直面するとき助けになると感じた事柄を、教義と聖約122章から見つけて、ノートに書いてください。



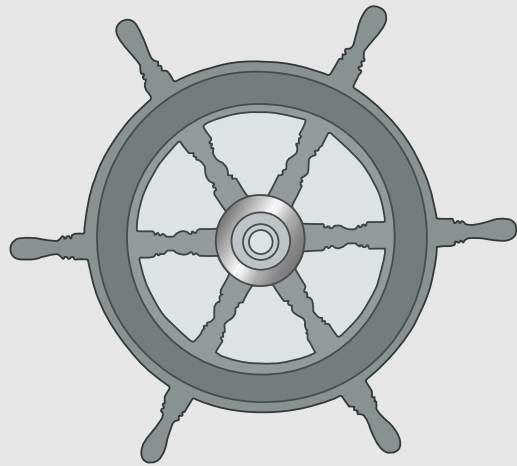
## 教義と聖約123章 記録することの大切さ

全人類は最後の裁きにおいて、「そのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれ」ます(黙示20：12)。教義と聖約123章を学びながら、最後の裁きではどんな記録が使われるのか、どんなふうに使われるのかを調べてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約123章

正当(1節) 正しい、適切	命じられている(6節) 求められている
宣誓供述書(4節) 誓いのもとに述べられた真実を記した証言の書面	ぜひとも果たすべき(7, 9, 11節) 不可欠な
中傷的な(4-5節) 偽りで有害な	しっかりと打ち込み(7節) 固く結びつけ、固定させる
極悪な所業……のつながり(5節) 悪意あるうその収集	将来(15節) 未来
非道かつ残忍な詐欺行為(5節) 邪悪で残忍な行い	舵(16節) 船を操る装置



「非常に大きな船も、嵐のときにはごく小さな舵に大いに助けられ、風と波に対して進路を保つことができる。」(教義と聖約123：16)

## 聖文を研究する

教義と聖約123章を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A あなたは何をする必要があるか

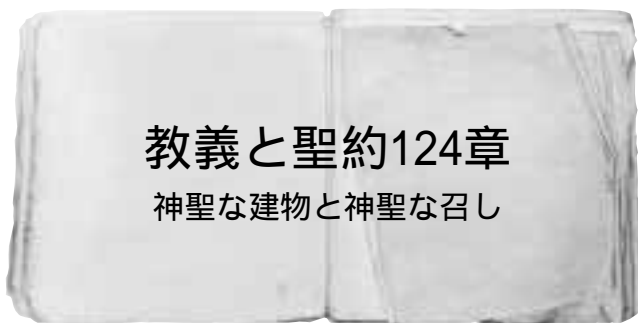
- 1839年当時の教会員だったら、あなたは、教義と聖約123：1-5に記されている主の命令に従うために、何をしよう求められるでしょうか。ノートに書いてください。
- 5-15節に書いてあることによれば、あなたは集めた情報をどうする必要があるでしょうか。あなたがする必要のあることを一つ一つノートに書き出してください。
- 教会の将来の世代の人々に祝福をもたらすために、あなたは、今、どんな記録をつけることができるでしょうか。

# イリノイ州ノーブーの教会

「ミズーリ州での迫害により、聖徒たちはミシシッピ川を越えて北東へ約320km移動し、前よりも恵まれた状態のイリノイ州へ入った。やがて聖徒たちはコマースという未開発の町の近くに土地を購入した。そこは数戸の粗末な建物しかないまったく未開の湿地であった。聖徒たちは土地の排水をし、家を建てた。ジョセフ・スミスも自分の家族を小さな丸太造りの家に移した。この町のコマースという名は、『美しい』を意味するヘブライ語にちなんで『ノーブー』と変えられた。」(『聖句ガイド』「ノーブー〔イリノイ州〕」の項、198)

預言者ジョセフ・スミスは、教義と聖約の数章をノーブーで受けました(教義と聖約124 - 129章; 132章参照)。その中には、ノーブーに神殿を建てるようにとの戒めもあります(教義と聖約124:26 - 27参照)。当時十二使徒定員会の会員であったジョン・テラー長老は、ノーブーにおいて、預言者ジョセフ・スミスと兄ハイラムの殉教の証を記しました(教義と聖約135章参照)。

聖徒たちは、ノーブー神殿を建設し、シオンのワードとステークを組織し、扶助協会を組織し、死者のための儀式の執行を開始しました。聖徒たちは、1846年にノーブーから追放されるまでの期間にこれらを成し遂げたのです。しかし、迫害が起こったため、ブリガム・ヤング大管長の指示のもと、聖徒たちはノーブーの地を離れ、西部へ向かったのです。



## 教義と聖約124章 神聖な建物と神聖な召し

教会員がイリノイ州ノーブーに定住し始めたころには、注意を要する小さな事柄がたくさんありました。教義と聖約124章には、二つの大切な建物と、個人に与えられたいろいろな召しについての指示が記されています。この啓示を学びながら、神殿と神殿の儀式について主が教えられた事柄を調べてください。あなたは現在受けているチャレンジに直接関係のある、実際の指示を主から受けたいと思いませんか。主は今日、どのようにしてそのような指示を与えておられるでしょうか。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約124章

宣言する(2節) する	公式に声明	偽り(20節)	あざむき
起こる(5節)	生じる	古物(26節) 有物、家宝	古く貴重な 物
刑罰の日(8, 10節)	イエス・キリストの再臨の日	避難所(36節) 安全な場所	避難所、安 全な場所
高潔(15節)	忠実で正直な、 善良な	記念(39節)	記録、登録
		神託(39, 126節)	啓示

掟(39節)	律法	株式資本(63節)	投資、会 社の分割した資本にあてる金銭
思う(41節)	適切と考える	もたらず(87節)	与える
慰め(53節)	なだめ	新しい翻訳(89節)	ジョセフ・スミス訳聖書
名高い栽培所(61節)	教会の指導者	低くする(114節)	へりくだる
規約(63節)	基礎的な決まり	俸給(121節)	報酬

### 教義と聖約124:2 「宮殿のような優美さをもって磨き上げられる」

主は聖徒たちに、イリノイ州ノーブーにシオンのステークを築くよう命じられました。「シオンの隅石」となり、宮殿のような美しさを持つステークです。主は、忠実な聖徒たちを集めるときは常に、「立って光を放ちなさい。それは、あなたがたの光がもろもろの国民のための旗となるためである」と命じてくれました(教義と聖約115:5)。

### 教義と聖約124:2-6 「地のすべての国々に……厳肅に宣言する」

「主から与えられたこの任務が完了したのは、1845年でした。何人もの人々がこの宣言文の作成を手伝いましたが、様々な事情のためになかなか完成には至らなかったようで、十二使徒会が発表するまでに時間がかかりました。(History of the Church, 第6巻, 80; 第7巻, 320, 558参照)。(『教義と聖約生徒用資料 宗教コース324 - 325』324参照)

### 教義と聖約124:6 どのような「恵み」がシオンに授けられたのか

「この啓示が与えられた1841年、この美しい都市(ノーブー)の人口は約3,000人でした。イリノイ州議会により、ノーブーには市政の設立が認められ、市民軍と大学を設立する権限も与えられました。そして神殿が建設されようとしていました。四散していた聖徒たちが集まってきて、イリノイにおける定住地の建設は急速に進んでいました。英国における伝道は大成功を収めていました。この啓示が与えられたときの全般的な状況は以上のようなもので、教会はしばしの間の休息を得ていました。嵐を迎える前の静けさだったのです。」(スミスとショダール, Doctrine and Covenants Commentary, 768)

### 教義と聖約124:19, 130 「デビッド・パッテンは、わたしがわたし自身のもとに受け入れた」

十二使徒定員会の会員であったデビッド・W・パッテン長老は1838年10月25日、ミズーリ州クルックト川の戦いで殺されました。十二使徒定員会の会員であったヒーバー・C・キンボール長老は臨終の床に横たわるパッテン長老を訪れました。キンボール長老は次のように記しています。

「福音の原則は彼にとってかけがえのない宝でした。人生の最後の瞬間までそれは変わりませんでした。彼は来世へ旅立つときも福音の原則に支えられ、慰めを受けていました。福音があったおかげで、死に対しては苦しみも恐れもありませんでした。堅く立つことができずに墮落してしまった者たちについて、彼は悲しみの声を上げたものです。『ああ、わたしのようにしていたらよ



かったのに。わたしは信仰を守り通し、走るべき行程を走りつくしました。今はもう、公平な審判者である主が用意しておられる冠が、わたしを待っているばかりです。』

息を引き取るときに傍らにいて、見守っていた愛する妻に、彼はこう言いました。『どんなことがあっても、信仰を否定してはなりません。』(“History of Brigham Young,” *Millennial Star*, 1864年7月16日付, 454 - 455)

## 教義と聖約124:22-24, 56-83, 119-121 ノーブーハウス



「預言者はノーブーハウスホテルの建設を、神殿建設と同じくらいに急を要するものと考えていました。彼はノーブーハウスを聖徒たちの楽しみ場、また、『財産家、人格者、有力者』に真理を教えるための場として考えていたのです〔*History of the Church*, 第5巻, 328. 第5巻, 137も参照〕。この建物の定礎式は1841年10月2日に行われ、モルモン書の肉筆原稿を含む貴重な記録が幾つか、隅石の中に納められました。教会の指導者たちはこのホテルの建設工事を急ぐよう、説教壇上から絶えず促しましたが、資力も労力も十分ではなかったため、なかなか思うようには進みませんでした。1844年3月にジョセフ・スミスは神殿の工事を推し進めるために、ノーブーハウスの建設を延期することにしました。』(『時満ちる時代の教会歴史 宗教341-343』243参照)

## 教義と聖約124:25-36 死者のためのバプテスマ



複写厳禁 ©IRI

預言者ジョセフ・スミスは、1843年6月に行った説教の中で、神殿と神殿の儀式の大切さについて教え、死者のためのバプテスマ

マについても語りました。

「神権の原則と律法は、世のあらゆる時代の民を集めるために定められたものです。世界が造られる前に、天の会議でそう決められたのです。イエスは民を集めるために手を尽くされましたが、民は集まろうとはしませんでした。そこで、主は彼らにのろいを下されたのです。人の救いのために、神権によって、創世の前に天で制定された定めは、変わることはありません。すべての人は同じ原則に基づいて救われなければならないのです。

神は終わりの時にも、同じ目的のために御自分の民を集められます。つまり、主のための宮を建て、彼らを儀式、エンダウメント、洗い、油注ぎなどに対して備えるためです。主の宮の儀式の一つが、死者のためのバプテスマです。神が創世の前に宣言されたところによると、この儀式(死者のためのバプテスマ)は、その目的のために主の宮の中に用意されたフォントで執行すべきです。』(*History of the Church*, 第5巻, 423 - 424)

近代の聖典の中で、死者のためのバプテスマについて初めて述べているのは、教義と聖約124:29-36ですが、この神権時代に初めてこの儀式が教えられたのは、このときではありません。十二使徒定員会にあてた1840年10月付けの手紙の中で、預言者ジョセフ・スミスはこのように記しています。

『死者のためのバプテスマ』の教義については、この手紙以前にも耳にして、多少の疑問を心に抱いていることと思います。この手紙の中で、あなたがたがぜひ知りたいたいと思っている情報をすべて伝えることができるわけではありません。しかし、『聖書』の記述から判断しただけでも、これが確かに昔の教会において行われていた儀式であると分かるでしょう。聖パウロは、死者の復活の儀式を熱心に説いて、次のように語っています。『そうでないとするれば、死者のためにバプテスマを受ける人々は、なぜそれをするのだろうか。もし死者がまったくよみがえらなるとすれば、なぜ人々が死者のためにバプテスマを受けるのか。』(1コリント15:29)

わたしはセイモア・ブランソン兄弟の弔辞を述べる席で(1840年8月15日)、初めてこの教義を公にしました。そしてそれ以来、この件について教会で広く教えてきました。聖徒たちには、亡くなった親族のためにバプテスマを受ける特権があります。すなわち、福音を聞く機会さえ与えられていれば受け入れたと思われる親族のために、そして獄にいる死者に伝道するよう委任された者を通して霊の状態福音を受け入れた親族のために、バプテスマを行うのです。

これ以上詳しく述べなくても、この教義が首尾一貫して理にかなっていることが、はっきりと理解できるでしょう。これは、キリストの福音が一部の人々の想像以上に規模の大きなものであることを示しています。』(*History of the Church*, 第4巻, 231)

「この啓示の説明によれば、死者のためのバプテスマの儀式は、主から指定された場所でのみ行うことができますとなっています。この儀式を神殿外で執行して受け入れられるのは、特別な状況下にある場合だけです。ノーブー神殿が完成する以前に、主はこの儀式をミシシッピ川で執行することを許可されました。しかし、1841年10月に預言者ジョセフは、神殿のバプテスマフォントが完成するまで、もはや死者のためのバプテスマは執行しないと発表しました。そしてバプテスマフォントは11月に完成し、バプテスマは同月21日に再開されました(教義と聖約124:27-30参照)。」(『教義と聖約信徒用資料 - 宗教コース324-325』327-328)

## 教義と聖約124：28 ここに記されている「完全な神権」とは何か

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように述べています。「主はこの地上におられたとき、聖なる神権の鍵を十二使徒に与えられました。この鍵は、昔この鍵を保持していた使徒たちによってこの神権時代に回復され、この鍵を通して大きな祝福が与えられることになりました。それらの祝福の中には主の宮の中でのみ受けられる、すばらしい祝福もありました。『完全な神権』（教義と聖約124：28）は、神殿の儀式においてのみ行使されるのです。」「（「神殿は主の宮居」『聖徒の道』1986年1月号，56）

十二使徒定員会会長代理であるボイド・K・パッカー長老はこのように説明しました。「いかなる男性も、傍らに女性がいないれば完全な神権を受けることはできません。また、預言者ジョセフが語ったように、主の神殿以外の場所で完全な神権を得ることもできません（教義と聖約131：1-3参照）。その聖なる場所では、男性の傍らに女性がいます。そして男性の受けるすべてを分かち合います。男女は個々に、エンダウメントに含まれる儀式を受けます。しかし、伴侶なしに、最高の儀式である結び固めの儀式にあずかることはできません。」「（「扶助協会」『聖徒の道』1998年7月号，78）

## 教義と聖約124：87-91，97-102 ウィリアム・ロー

ウィリアム・ローは預言者ジョセフ・スミスの第二副管長に召され、それまでに受けた人がほとんどいないような大いなる祝福と賜物を受けると約束されていました。しかし、信仰を守り通すことができず、1844年4月18日に「キリスト教徒にあるまじき行為のため」破門されました（*History of the Church*，第6巻，341）。「ウィリアム・ローはジョセフの副管長でしたが、ジョセフに非常に強い憎しみと敵意を抱く敵となりました。……後で分かったことですが、ローはミズーリの住民数人と共謀してジョセフ・スミスの命をねらっていたのです。……殺意を持っていたにもかかわらず、ローの物腰はおおむね礼儀正しく柔和でした。計算し尽くしたうえで人々を欺いていたのです。」「（*History of the Church*，第7巻，57）

## 聖文を研究する

教義と聖約124章を読みながら、以下の活動（A-E）のうち5つを行ってください。

### A 神殿の目的を見つける

1. 教義と聖約124：25-41を読んで、神殿を建設する理由について主が説明された事柄をノートに書き出してください。
2. 1で書き出した事柄から二つ選んでください。その二つがあなたにとって大切なのはなぜですか。ノートに書いて説明してください。例えば、あなたにとって神殿の儀式が大切なのはなぜですか。

### B 結果を説明する

教義と聖約124章の中で主が預言者ジョセフに言われたことによると、主にささげるために神殿を建設することは大切ですが、神殿という建物を単に持っているだけでは十分ではありません。

1. 教義と聖約124：42-48に出てくる「ならば」という言葉をすべて丸で囲んでください。次に、「ならば」の後でこうなると主が言っておられる事柄を、それぞれ書き出してください。
2. この聖句から分かることを二つの文章に要約してください。二つとも「もし……ならば……」というパターンで書いてください。一つは従順がもたらす祝福、もう一つは不従順がもたらす結果の説明になります。

### C 原則を説明する

二ファイは1二ファイ3：7の中で、主が命じられることには何でも、それを成し遂げることができるように助けが与えられるという信仰を示しました。教義と聖約124：49-54で主は、命じられたことを忠実に行動としても成し遂げられなかった場合について述べておられます。この二つの聖句を比較して、それぞれの聖句が教えている従順の原則を説明してください。

### D ハイラム・スミスの召し

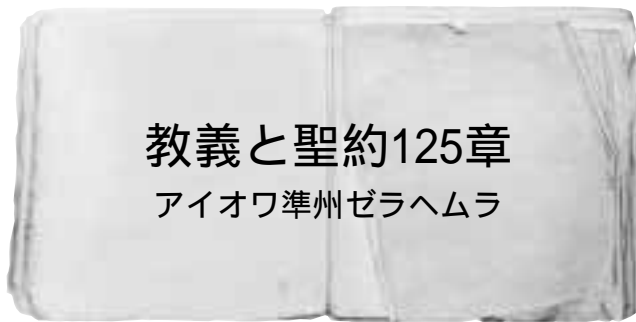
教義と聖約124：91-96はハイラム・スミスの召しについて教えています。

1. ハイラム・スミスが受けた義務と責任を書き出してください。
2. ハイラム・スミスはだれの後任としてその責任に召されたのですか。

### E 指導者を確認する

教義と聖約124：124-144を調べて、以下の神権の職を受けた人を見つけてください。

1. 祝福師
2. 大管長
3. 副管長
4. 十二使徒定員会会長
5. ステーク高等評議会のメンバー
6. 大祭司の会長
7. 長老定員会会長
8. 七十人会長
9. 監督会



## 教義と聖約125章 アイオワ準州ゼラヘムラ

アイオワにある町に、ゼラヘムラというモルモン書の地名がつけられたのはなぜですか。ゼラヘムラの町はどこにありますか。主がそこに住む聖徒たちに語りかけられたのは、なぜでしょうか。「ミズーリ州から追放された聖徒が皆、イリノイ州に安住の地を

見だしたわけではありません。ノーブーからミシシッピ川を挟んだ対岸のアイオワ州に定住した人たちもいました。この啓示〔教義と聖約125章〕は、アイオワ州にとどまった方がいいのか、イリノイ州側に集合しなければならないのか、という問いに対する答えとして与えられました。聖徒たちにアイオワ州への定住を最初に勧めた人物の中に、アイザック・ガランド博士がいました。ノーブー市建設のための用地を売ってくれた人です。ジョセフ・フィールドディング・スミス長老は次のように書いています。『ガランド氏は、デビッド・W・ロジャーズにあてた手紙の中で、聖徒たちはアイオワに定住してはどうか、と提案しています。当時アイオワは準州でした。「殺人や強姦、強盗を行う者が民衆の指導者として最も優れた特質を持っているとされ、極悪人がしばしば最高の地位に就いている」州にいるよりも、合衆国の司法の下で暴徒からの保護を比較的受けやすいのではないかと考えたからです。ガランド氏はまた、アイオワ準州の知事ロバート・ルーカスにも手紙を送りました。ルーカス知事はオハイオ州の「モルモン」の民についてよく知っていて、彼らを立派な市民として高く評価していたからです。』（Essentials in Church History, 220）」（『教義と聖約生徒用資料 宗教コース324 - 325』332参照）



## 聖文を理解する

### 教義と聖約125章

準州（1節） アメリカ合衆国 …… 努めている（2節） …… 試みていで州になる前の地域 …… る

### 教義と聖約125：3 - 4 ゼラヘムラとナッシュビル

ミズーリから逃げてきた聖徒たちの一部はミシシッピ川の西側、アイオワ準州のモントローズとナッシュビルの村周辺に定住地を築きました。教会はその一帯に2万エーカー（約8,100ヘクタール）の土地を購入しました。主はそこをゼラヘムラと名づけて町を築くよう命じられました。1839年に聖徒たちが到着したとき、これらの町があったアイオワ準州リー郡の人口は2,839人でしたが、1846年までに1万2,860人に膨れ上がりました。1846年に聖徒たちが西部を目指して出発したとき、これらの定住地は捨てられ、消滅しました。

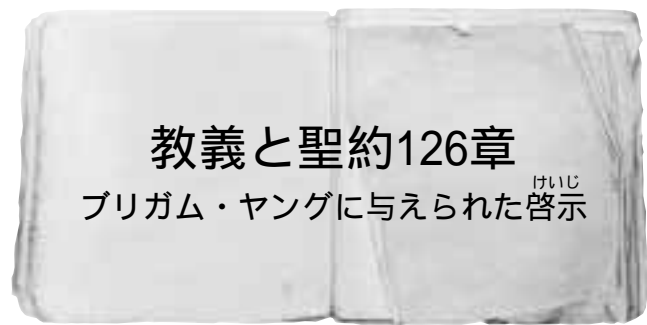
## 聖文を研究する

教義と聖約125章を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A 地図を描く

教義と聖約125章と合本の巻末にある地図の情報を基にして、ミズーリ州ジャクソン郡、イリノイ州ノーブー、アイオワ

準州モントローズの位置を示す地図をノートに描いてください。ミズーリからノーブーとモントローズ地域まで、聖徒たちはどれくらいの距離を旅しましたか。



これから10年間、毎年夏に伝道に出るとしたら、あなたはどのように思いますか。ブリガム・ヤングは1832年にバプテスマを受けてから、1841年までに1年間の英国伝道を含めて何度か伝道に出ました。教義と聖約126章を研究してください。ヤング会長は当時十二使徒定員会会長でした。ヤング会長の将来の伝道について、主は何とおっしゃっていますか。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約126章

労苦（2節） 努力や働き

### 教義と聖約126：1 「もうあなたに求められない」

主はブリガム・ヤングに、家族を残して伝道に出ることをそれ以上求められませんでした。しかし、ブリガム・ヤングは何度か短期の伝道に出かけました。背教者ジョン・C・ベネットが教会について偽りの情報を広めたとき、当時十二使徒定員会会長だったヤング会長は出て行って人々に会い、その偽りを正しました。ヤング会長はまた、ノーブー神殿の資金を集めるために各地を訪れました。さらに合衆国大統領選挙に出馬したジョセフ・スミス大管長を応援するために各地を訪れました。

## 聖文を研究する

教義と聖約126章を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A 語句を説明する

1. 主は教義と聖約126：1の中でブリガム・ヤングに話しかけられました。主は何とおっしゃいましたか。主はブリガムに対してなぜこのように感じておられたのでしょうか。この啓示から何がわかりますか。
2. この言葉は、教会の召しと義務を忠実に果たすうえで何を教えていますか。

# 教義と聖約127 - 128章

## 死者のための バプテスマの儀式に関する指示

教義と聖約127章と128章は、預言者ジョセフ・スミスが苦難を強いられていたときに書かれたものでした。敵からの激しい迫害から身を守るために、預言者は身を隠して生活しなければなりません。しかしこの時期は霊的に大きな進歩を遂げた時期でもありました。預言者は聖徒たちに次のように語っています。「時満ちる神権時代には、以前すべての神権時代で示されてきた事柄が明るみに出るでしょう。さらに、これまで示されなかった事柄も明るみに出るでしょう。」(History of the Church, 第4巻, 426)

この二つの章は、預言者がイリノイ州ノーブーの教会員にあてて書いた手紙で、敵を避けて各地を転々とする間に書かれたものです。この手紙の中で預言者は、1840年に初めて語った死者のためのバプテスマの儀式についてさらに指示を与えました(「聖文を理解する」教義と聖約124:25-36, 146参照)。敵から身を隠して生活しなければならないことについて預言者はどのように感じていたのでしょうか。教義と聖約127-128章を読みながら、考えてください。また聖徒たちは、死者のためのバプテスマの教義についてさらに知識を得て、どんな気持ちだったのでしょうか。想像してみてください。



主が預言者ジョセフ・スミスを通して明らかにされた教義によって、わたしたちは死者のためにバプテスマを受けられるようになった。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約127章

主張(1節) 公言

処理する(1節) 処置する、管理する

いつも(2節) 慣れ親しんで、常に

与えられる(3節) 計り与えられる

記録保管所(9節) 記録や文書の保管場所

### 教義と聖約128章

明らかにしましょう(2節) 確認しましょう

取り除く(3節) 避ける、防ぐ

考えて(6節) 思い計って

自ら(8節) 自分で

取り消す(9節) 覆す、破棄する

先例(10節) すでにある慣行、模範

最高善(11節) 最高の善

似たもの(13節) 同じようなもの

第一の人(14節) アダム

慰め(21節) 励まし

賛美の歌(22節) 賛美歌

布さらしの灰汁(24節) 汚れを落とす強力な洗剤

清める(24節) 純粋にする

## 教義と聖約128:16-18 わたしたちはなぜ死者のためにバプテスマを受けるのか



複写厳禁

死者のためにバプテスマを施すと、その死者には、神殿のほかの儀式も執行できるようになります。これらの儀式はすべて、救いに欠かせないものです。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように教えています。

「もしエリヤが来ていなければ、過去のすべての働きは何の意味もなかったこととなります。主はそんな状況では、主の降臨の際に全地がごとごとく荒れ廃れると言われたからです(教義と聖約2:1-3参照)。ですからエリヤの使命は、世の人々にとって非常に大切なものだったのです。大切なのは死者のためのバプテスマだけではありません。両親の結び固めと、子供と両親の結び固めも大切です。時の初めから終わりまで『神権時代と鍵と力と栄光のすべての、ことごとくの完全な和合と結合』(教義と聖約128:18)が起こらなければならないからです。



国際組織「ユタ開拓者の娘」

もしこの結び固めの力が地上になければ、主が降臨されるとき、あらゆる所に混乱が見られ、秩序という秩序がなくなってしまうことでしょう。もちろんこのようなことはあり得ません。神の王国ではすべてのことが完全な律法によって治められ、管理されているからです。

なぜ地球が荒れ果ててしまうのでしょうか。死者のための業によって父と子が結び固められていなければ、わたしたちはだれも神の国に入ることができません。したがって神の業全体が失敗に終わり、地はことごとく荒れ廃れてしまうのです。もちろんそんなことはあり得ません。」(『救いの教義』第2巻, 112-113参照)

## 教義と聖約128:24 レビの子孫と彼らが主にささげるささげ物

「歴史的に見ると、レビの子らにはアロンの子孫とモーセの子孫が含まれ(出エジプト6:16, 18, 20参照)、彼らは神の宮の管理人であって、その聖なる儀式に関する責任を負っていました(出エジプト25-28章; 民数8:24-26; 10:21参照)。現代のレビの子らとは、『わたしの教会を築き上げるために』主より召された者であって、『忠実であって、わたしが語ったこれら二つの神権を得て、自分の召しを尊んで大いなるものとする者』であり、

『御霊により聖められてその体が更新される』者です(教義と聖約84:31-33)。また、『備えの福音』(教義と聖約84:26-27)と『神性の力が現れる』『大神権』とその儀式(神殿活動)とに責任を持つ者です(教義と聖約84:19-21)。現代の主の僕たちはこの聖なる義務を忠実に果たすならば、『モーセの息子たち、またアロンの息子たちとなり、アブラハムの子孫となり、神の教会となり、神の王国となり、神の選民となる』(教義と聖約84:34)のです。

義人の聖徒たちがこれらの聖なる儀式によって主に仕えるとき、彼らは生者にとっても死者にとってもシオンの山の救い手となります。奉仕を通して差し出す犠牲は、義をもってささげる『ささげ物』の一部となり、これがモーセとアロンの息子たちを含む『レビの子ら』がキリストの来臨に先立って主にささげるささげ物となるのです。』(『教義と聖約生徒用資料 宗教コース 324-325』340参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約127-128章を読みながら、次の活動(A-F)のうち4つを行ってください。

### A 新聞記事を書く

あなたは1842年当時の新聞記者で、インタビューを行うために預言者ジョセフ・スミスの隠れ家にいたとします。教義と聖約127:1-3をヒントにして、身を隠して生活しなければならない預言者の気持ちを描いた簡単な記事を書いてください。

### B 責任を書き出す

教義と聖約127:5-10と128:1-5に基づいて、神殿記録者の責任と考えられる事柄を挙げてください。

### C 答えを書く

教会員でない友達が、神殿と死者のためのバプテスマについて耳にしたとします。その友達は、死者のためのバプテスマとはどんなことで、なぜ行われるのか質問してきました。教義と聖約127章と128章で学んだことに基づいて、この質問に答えてください。答えの中で、権能の大切さ、結び固めの力と固いきずな、永遠の家族、エリヤについて説明するようにします。

### D リストを作って比較する

教義と聖約128:20-21を読んでから、預言者ジョセフ・スミスが挙げた天の使者の名前を書き出してください。福音を回復するためにジョセフ・スミスは啓示を受け続ける必要がありました。それはなぜでしょうか。説明してください。

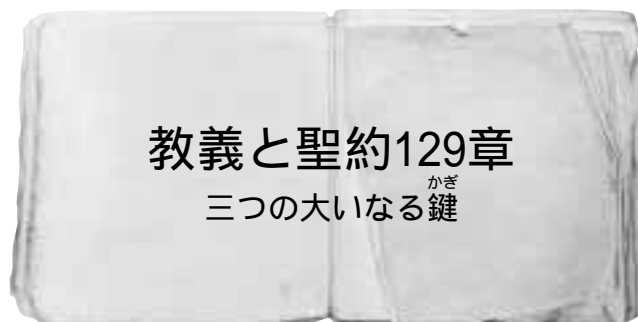
### E ポスターを作る

1. 当時、預言者ジョセフ・スミスの置かれていた状況を考えてください(教義と聖約127:1-4)。教義と聖約128:22に記された預言者の言葉に胸を打たれるのはなぜでしょうか。
2. 預言者ジョセフ・スミスと預言者の福音に対する熱意から、

何らかの行動を起こすように呼びかけるポスターを作ってください。

### F 聖句を比べる

教義と聖約13:1で、レビの子孫が終わりの時にささげるささげ物について読みました(「聖文を理解する」教義と聖約13:1, 27参照)。そこで学んだ事柄と、教義と聖約128:24とを比べてください。このささげ物が、預言されたように主にささげられるためには、どうしたらよいと預言者ジョセフ・スミスは言っていますか。



天使について考えたことがありますか。天使とはどんな存在なのでしょう。天使が神から遣わされているかどうかを見分けるにはどうすればよいのでしょうか。預言者ジョセフ・スミスは教義と聖約129章の中で、これらの質問に答えて、「三つの大なる鍵」(9節)つまり天使を見分ける方法を教えてくれました。



## 聖文を理解する

### 教義と聖約129章

完全な者とされた正しい人々(3節) イエス・キリストの贖罪によって赦され清められた人々

反する(7節)

秩序(7節)

背く

規則

## 教義と聖約129:1 天使と霊の<sup>ちが</sup>違いは何か

神から遣わされた使者はすべて天使と呼ぶことができますが、<sup>つか</sup>教義と聖約129章の中で使われている天使という語は「骨肉の体を持つ復活した人々」に限定しています(1節)。「霊というのは、まだこの世に生まれていない、すなわち肉体を受けていない神の子供です。あるいは、死によって肉体と霊が分かれた、すなわち肉体から離れた霊です。」(『教義と聖約生徒用資料 宗教コース324 - 325』341参照)

以前、ノーブーで十二使徒定員会に与えた指示の中で、預言者ジョセフ・スミスは「天使と<sup>つか</sup>仕える霊の違いを説明しました。天使は復活体または身を変えられた体を持っていて、肉体を持つ者たちを教え導きます。これに対して<sup>つか</sup>仕える霊は肉体を持たない霊であって、肉体を持たない霊たちを<sup>おとす</sup>訪れて教え導きます。イエス・キリストは、(その体が<sup>はか</sup>墓に横たえられていた間) <sup>つか</sup>仕える霊となつて、獄にいる霊たちを訪れられました。こうして、御自身の使命の重要な部分を果たされたのです。この大切な使命を果たし終るまでは、イエス・キリストの御業が全て成し遂げられたことにはならず、したがってイエスは安息に入ることがおできにならなかったのです。また、<sup>みすがた</sup>イエス・キリストは復活後、天使(復活体)として弟子たちに御姿を現されました。」(History of the Church, 第4巻, 425。1ペテロ3:18 - 20も参照)

## 聖文を研究する

教義と聖約129章を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A どうすれば分かるか

教義と聖約129章の中で預言者ジョセフ・スミスによって明らかにされた「<sup>かぎ</sup>三つの大いなる鍵」を自分の言葉で書き出してください。天使や霊が神から<sup>つか</sup>遣わされたものか、あるいは悪魔なのかを知る方法も書いてください。



預言者ジョセフ・スミスに質問する機会があったら、<sup>たず</sup>何を尋ねますか。教義と聖約130章は、教義に関して預言者ジョセフが語った言葉を集めたものです。一つ一つの言葉を読みながら、まだまだ知らないことだらけだと感じることでしょう。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約130章

まじ  
交わり(2節) 社会生活上の  
ちつじよ  
秩序

諸教派の<sup>かんねん</sup>観念(3節) ほかの  
教会の信条

計算(4節) 算出  
始まり(12節) 最初  
満足し(15節) 十分とし

定められた不変の(20節)  
固定して変わらない  
基づく(20 - 21節) 基礎と  
する

## 教義と聖約130:8 - 10 「ウリムとトンミム」とは何か

『聖句ガイド』「ウリムとトンミム」(46 - 47ページ)参照。

## 聖文を研究する

教義と聖約130章を読みながら、次の活動(A - D)のうち3つを行ってください。

### A クイズを作る

教義と聖約130章には様々な指示と、質問に対する答えが記されています。次に挙げるの8つの聖句から、あなたが大切だと思うことを答えるクイズを、それぞれ一つずつ作ってください。1 - 3, 4 - 7, 8 - 9, 10 - 11, 12 - 17, 18 - 19, 20 - 21, 22 - 23節。各クイズの後に正解を書いておきます。

### B マスター聖句 教義と聖約130:18 - 19

ノートの中央に、<sup>たてせん</sup>縦線を1本引いてください。人の絵を左側に描き、その人が人生で価値あるもの、大切なものだと思っているものを周りに描きます。右側には、人が死後の世界に持っていくことのできるものを書き出します。絵で描いてもかまいません。わたしたちがこの世で得なければならないものは何ですか。その中で、次の世まで持っていけるものはどれでしょうか。教義と聖約130:18 - 19で言われていることを表す言葉、またはスローガンを絵に書き込んでください。

### C マスター聖句 教義と聖約130:20 - 21

預言者ジョセフ・スミスは教義と聖約130:20 - 21の中で、神の律法への従順さと、わたしたちが受ける祝福との間には関連があると説明しています。例えば知恵の言葉を守ることに対する約束など(教義と聖約89章参照)のように、非常に具体的な約束を<sup>ともな</sup>伴っている<sup>いまし</sup>戒めもあれば、一般的な約束が与えられている<sup>いまし</sup>戒めもあります(例えば、ヨシュア1:8参照)。ほかに<sup>いまし</sup>戒めを3つ<sup>あ</sup>挙げて、それぞれの戒めに約束されている祝福を書き出してください。その約束は具体的なものか、それとも一般的なものかも書いておきます。分からなければ、両親や教会の指導者と話し合ってください。

### D マスター聖句 教義と聖約130:22 - 23

教義と聖約130:22 - 23で教えられている真理は、教会歴が長い人にとっては自然でもっともなことだと思えるでしょうが、ほかの多くのキリスト教会が信じていることとは大きく異なっています。神会について正しい知識を持っているおかげで、あなたの生活はどんなものとなっていますか。考え方、行動、祈りの方法など、生活の3つの分野について説明してください。

## 教義と聖約131 - 132章

### 「結婚の新しくかつ永遠の聖約」



家族は永遠に一緒に暮らせます。この簡潔な真理は、福音が回復されてから与えられた最も偉大な啓示の一つです。日の栄えの結婚をして、永遠の家族を築こうと思っている人には何が求められるでしょうか。日の栄えの結婚を成し遂げようと努力する人にはどんな約束が与えられているでしょうか。愛する人々とともに日の栄えで永遠に暮らせるという約束、これ以上に素晴らしい祝福を思い浮かべることができませんか。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約131章

その人は増し加えることができない(4節) その人は永遠の世界で進歩したり、子供をもうけたりできない

### 教義と聖約131:1 日の栄えの王国の3つの階級とは何か

「日の栄えの王国の3種の階級のうち、下の2つの階級に住むのはどんな人々かということについて、主はまだ啓示されていません。ですから、このことについての解説はすべて推測か人の考えです。しかし、日の栄えの王国の最高の階級つまり昇栄については、多くのことが啓示されています。ここは御父が、戒めを守る御自分の子供たちを住まわせようと考えておられる場所だからです。主は教義と聖約76:50-70の中で、日の栄えの王国の最高の階級に到達するための条件と資格について述べておられます。」(『教義と聖約生徒用資料』347参照)

### 教義と聖約131:1-4 「結婚の新しくかつ永遠の聖約」

ハロルド・B・リー大管長は神権者を前にして次のように述べました。「兄弟の皆さん、神殿において、この世と永遠にわたって結婚の新しくかつ永遠の聖約を交わす人たちが、そのような人たちが日の栄えの王国で昇栄するのだということを忘れてはなりません。主はそのように言われました。」(Conference Report, 1973年10月, 120。またはEnsign, 1974年1月号, 100)

十二使徒定員会会員であるラッセル・M・ネルソン長老はこう説明しました。「主の宮における最高の儀式は、夫と妻と一緒に等しく受けます。そうでなければ決して受けることはできないのです。

振り返ってみると、わたしの人生で最も大切な日は、愛するダ

ンツェルと聖なる神殿で結婚した日です。妻なしに、神権の最も高い永遠の祝福にあずかることはできません。妻なしに、わたしはずばらしい子供たちの父親にも、かわいい孫たちの祖父にもなりません。」(『女性を敬う神聖な義務』『リアホナ』1999年7月号, 46-47参照)

### 教義と聖約131:5 「いっそう確実な預言の言葉」

「いっそう確実な預言の言葉」とは、人がその召しと選びとを確かなものにするということです。十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老は神権の祝福について次のように語りました。

「わたしたちには、召しと選びを確かなものにする力があります。ですから、世に打ち勝ち、すべてのことに誠実かつ忠実であれば、わたしたちはこの死すべき世にある間に、永遠の命に結び固められ、主の御前に永遠に住めるという約束を無条件に受けるのです。

啓示に次のようにあります。『いっそう確実な預言の言葉とは、人が聖なる神権の力によって永遠の命に結び固められたことを、啓示と預言の霊によって知ることである。』(教義と聖約131:5)

預言者ジョセフ・スミスは、特にその生涯の終わりの時期に、聖徒たちに正義を守って前進を続け、その召しと選びとを確かなものとし、『息子よ、あなたは昇栄を受けるであろう』という天からの声を聞けるようにと強く訴えました。(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 150)

ジョセフ自身、この神権時代にそのような域にまで達した一つの模範でした。『わたしは主なるあなたの神であり、世の終わりまで、また永遠にわたってあなたとともにいる。まことに、わたしはあなたに昇栄を結び固め、わたしの父の王国に、あなたのために先祖アブラハムとともに座する王座を用意している。』(教義と聖約132:49)、「神権につける10の祝福」『聖徒の道』1978年2月号, 52参照)

### 教義と聖約131:6 救われるためにはどのような知識が必要か

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は次のように説明しました。

「人は無知で救われないと預言者は言った。しかし何に無知であつたら救われないのであるか。イエス・キリストの福音の原則について無知であれば救われないのである(Teachings of the Prophet Joseph Smith, 297, 324, 331-332参照)。今日の人々の思想を形作り、支配する偉人や実力者の多くは、神の王国に救いを見いだそうとはしていない。なぜだろうか。道を見いだしておらず、真理の光の中を歩んでいないからである。彼らに知識はあるかもしれないが、英知がない。

英知とは真理の光であって、英知すなわち真理の光を持つ人は悪しき者を捨てると知らされている(教義と聖約93:36-37参照)。英知のある人は神を礼拝し、罪を悔い改める。そして神の御心を知ろうと努め、それに従おうとする。」(『救いの教義』第1巻, 271参照)

### 教義と聖約131:7-8 「霊はすべて物質である」

預言者ジョセフ・スミスはこう説明しました。「物事をその基本までさかのぼり、それを冷静に見てみると、体と霊の間には非常に物質的な違いがあるのが分かります。体は物質が組織立てら

れたものだが、霊は実質のない非物質なのだと考えている人が多いのですが、わたしたちの考えは違います。霊には実質があると申し上げなければなりません。霊は物質です。体よりも純粹で、しなやかで、不純物が混ざっていない物質なのです。霊は体が作られる前から存在し、体の中に存在でき、また体がちりに帰るときに体から離れて存在します。そして復活のときに再び体と結合するのです。」( *Teachings of the Prophet Joseph Smith*, 207 )

### 教義と聖約132章

効験(7節)	力, 効き目	ゆる	赦す(46節)	大目に見る, 免除する
主権(13, 19節)	統治権	結	び合う(54節)	つかまる, ともにいる, 忠実であり続ける
子孫(19節)	子供たち, 子や孫	め	とり(61節)	結婚し
狭く(22節)	細く, 限られていて	免除(65節)	除外	

サタンに.....打たれる(26節)  
 サタンがあらゆる手段, 方法を用いてわたしたちの正しい努力を妨げる

### 教義と聖約132:1 そばめとは何か

ブルース・R・マッコスキー長老はこのように説明して、そばめという言葉を選定しました。「古代において、そばめは2番目の妻のことでした。つまり当時の階級制度の中では、正妻と同じ地位を持っていなかったのです。この神権時代では、多妻結婚を實踐していたころにそばめは存在しませんでした。一部の妻をそばめと見なす階級制度がなかったからです。」( *Mormon Doctrine*, 154 - 155 )

### 教義と聖約132:7 「約束の聖なる御霊により結び固められる」

ジェームズ・E・ファウスト副管長は十二使徒定員会会員を務めていたときにこのように語りました。

「約束の聖なる御霊についてひと言話したいと思います。これは聖霊の結び固めと承認の力です。約束の聖なる御霊によって聖約や儀式が結び固められると、忠実であるならば、それに伴う祝福を受けることが約束されます(教義と聖約76:50-54参照)。

例えば、福音の最高の儀式であるこの世から永遠にわたる結婚の聖約が、約束の聖なる御霊によって結び固められると、文字どおり天の窓が開かれ、祝福を求める夫婦に大いなる恵みが注がれるのです。そのような結婚生活は実り豊かで、安定した、聖いものになります。夫婦は、それぞれ独立した一人の人間でありながら、聖約によって結ばれ、からみ合っただけで離すことのできない2本のツタのようになるのです。そして、自分のことを考える前に伴侶のこと考えるようになります。

約束の聖なる御霊を通して与えられる大いなる祝福の一つは、福音の儀式と祝福を通して受けるあらゆる聖約、誓言、誓詞、行為などが、約束の聖なる御霊によって確認されるだけでなく、結び固められることです。しかし、この結び固めは、わたしたちが正しい生活をしなければ解消されます。また忘れてはならない大切なことは、もし人が偽って結び固めの祝福を受けようとしても、『たとえ権威を持った立派な人から受けても、その祝福は結び固められない』ということ(『救いの教義』第2巻, 89)。

聖約や儀式が約束の聖なる御霊によって結び固められると、その約束は地においても天においても結ばれます。」(「聖霊の賜物

正しい羅針盤』『聖徒の道』1989年7月号, 35参照)

### 教義と聖約132:15-16 わたしたちはなぜ永遠の結婚を目指して努力すべきか



現在の神権時代で最初に召された十二使徒定員会会員の一人であったパーリー・P・プラット長老は永遠の結婚の教義を理解することによって生活がどのように変わったかを説明しました。

「わたしはそのときまでに、次のことを学んでいました。つまり、天において家族を持つためには、この死すべき世ならではの愛情と思いやりを親族に対して抱き、ほかのことに決して心をとられないようにしなければならないということです。

父母、夫婦、兄弟姉妹、息子と娘との愛にあふれるきずながどれほど尊いものかをわたしに教えてくれたのは、ジョセフ・スミスでした。

最愛の妻とこの世においても永遠の世においても固く結ばれるということを知ったのも、人と人とを結びつける純粹な思いやりと優しさは、神聖な永遠の愛の泉から生まれると教えてくれたのもジョセフ・スミスでした。この愛をさらに深め、永遠にわたって進歩、成長できることを学んだのも、ジョセフ・スミスからでした。こうしてわたしたちは永遠に結ばれ、天の星や浜辺の砂のように多くの子孫を持つことができるようになるのです。

昔から愛情はありましたが、なぜ愛しているのかわかりませんでした。しかし今わたしは、純粹な心、すなわちこの低俗な世の中の移り変わりやすい物事からわたしの心を高め、海のように広くしてくれる、高められた強い気持ちで人を愛するようになりました。」( *Autobiography of Parley P. Pratt* [1985年], 259 - 260 )



永遠の結婚に対比されるこの世の結婚についてゴードン・B・ヒンクレー大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、こう語りました。

「まとめとして一つの話をしてしたいと思います。実話ではありませんが、中身は真実を突いています。満月が輝き、バラは花開き、二人の間に聖なる愛が熟しました。ジョニーはメリーにこう言いました。『メリー、ぼくは君を愛している。ぼくの妻に、そしてぼくの子供たちの母親になってほしい。でも永遠にはいやだ。ある期間だけで、あとはさよならだ。』するとメリーは月の光に涙を浮かべてこう言いました。『ジョニー、あなたはすてきだわ。世界にたった一人しかいない人よ。あなたを愛しています。わたしの夫に、そしてわたしの子供たちの父親になってください。でもほんのしばらくだけ。それでさよならよ。』

おかしな話ではないでしょうか。しかし、『新しくかつ永遠の聖約』によって永遠に結ばれる機会があるのに、死によって終わる結婚をする人たちは、この若い男女のプロポーズの言葉と実際は同じことを言っているのではないのでしょうか。」(「永遠に続く結婚」『聖徒の道』1974年11月号, 524参照)



## 教義と聖約132:26-39 神殿結婚によって昇栄は保障されるのか

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は教義と聖約132:26についてこう教えました。

「主は悔い改めの精神を持たない人を昇栄させるとは、だれにも約束されませんでした。この聖句の中で悔い改めという言葉は用いられていませんが、実際にはその意味が含まれています。含まれていなければならないのです。だれもが26節について知っているのに、主が実際に132章26節に書かれているのと同じことを語っておられるマタイ12章31-32節について読んだことも聞いたこともないように見えるのは不思議です。……

主は御自身の口から次のように言われました。『また、最後まで堪え忍ばない者は、切り倒されて火の中に投げ込まれ、父の正義のゆえに、そこから二度と戻ることができない。これは父が人の子らに告げられた御言葉である。父は御自分の正義のゆえに、御自分が告げられた御言葉をことごとく成就される。父は偽らず、御自分の御言葉をことごとく成就される。清くない者は、決して父の王国に入ることができない。したがって、信仰を持ち、罪をすべて悔い改め、最後まで忠実であることによって、わたしの血により衣を洗われた者のほかに、父の安息に入る者はいない。』〔3ニーファイ27:17-19〕

したがって26節で主が言われている人々は、一度罪を犯したものの、すでに十分悔い改めており、罪の代償を進んで払おうとしている人々だということになります。そうでなければ昇栄の祝福は与えられないからです。赦しを得るためには悔い改めが絶対に必要です。罪を犯した人は清められなければならないのです。』（『救いの教義』第2巻、86-87参照）

主は教義と聖約132:27の中で、聖霊に対する冒瀆は赦されることがないと言われました。

## 教義と聖約132:27 「聖霊に対する冒瀆」

聖霊を冒瀆する罪を犯す者はどうして、殺人を犯し、罪のない者の血を流すことになるのでしょうか。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこう説明しました。「この最も重い罪を犯す者は、カインと同じように自己をサタンに売り渡すのである。彼らは果てしない憎悪をもって真理を憎み、不義を好むようになる。そしてついには悔い改める意思を持たず、また悔い改めることもできない状態に陥る。殺意が彼らの心中に満ち、もし力があれば再び主を十字架につけようとする。そして事実、主の業に敵対し、破壊し、主の預言者を滅ぼそうとすることにより、主を再び十字架につけているのである。

このように憎しみに満ちた状態に陥るには、そうなる前に疑いなくはっきりと真理を知り、理解していなければならない。心に生じる変化は突然起こるのではない。何らかの形の罪が原因となり、悔い改めないためにこれが絶えず心に巣くひ、遂には聖霊が退き、霊的な暗黒の中に取り残されるのである。罪は罪を呼び、暗黒はますます濃くなって、真理を愛する心は憎悪に変わる。また神に対する愛はあらゆる正義と真理を破壊しようとする不義な思いに取って代わる。このようにしてキリストは公然と辱めを受け、ますます汚されるのである。』（『救いの教義』第1巻、48-49参照）

## 教義と聖約132:58-66 多妻結婚

教義と聖約132章の聖句の概要に記されているように、58-66

節は「多妻に関する律法」について述べています。主は教会の初期の時代に預言者ジョセフ・スミスを通じて、多妻結婚の実施を命じられました。そして1890年にウィルフォード・ウッドラフ大管長を通して、多妻結婚の実施に終止符を打たれました（公式の宣言一参照）。ブルース・R・マッコンキー長老はこう説明しています。

「多妻結婚は救いのためにも、昇栄のためにも不可欠なものではありません。ニーファイとその民は、二人以上の妻を持つ権限を与えられていませんでしたが、それでも、主が人類に与えられた祝福をすべて、永遠に享受することができるでしょう。近代では、主は啓示によって昇栄にかかわるすべての教義をまとめられ、昇栄の条件として、一人の男が一人の女と結婚することを定められました（教義と聖約132:1-28）。その後、主は複数の妻を持つことに関する原則を付け加えられました。教会の大管長が認めるときに限って複数の妻との結婚ができるというはっきりとした条件を示されたのです（教義と聖約132:7, 29-66）。

今日では、鍵を持つ者がそのような結婚を行う権限を人々に与えてはいないのですから、多妻結婚をあえてしようとする者はすべて、非常に邪悪な罪を犯していることとなります。』（Mormon Doctrine, 578-579. 斜字体は原文のまま）

## 聖文を研究する

教義と聖約131-132章を読みながら、次の活動（A-F）のうち5つを行ってください。

### A マスター聖句 教義と聖約131:1-4

1. 教義と聖約131:1-4を読んで、主が日の栄えについて言われたことを表す図を描いてください。図の中に、この聖句の中で求められている条件を挙げて、それが日の栄えの各階級にどのように当てはまるか説明してください。
2. 説明されているのは日の栄えの一部だけです。それ以外のことが採り上げられていないのはなぜだと思いますか。このことから日の栄えの結婚がいかに大切かが分かります。なぜでしょうか（「聖文を理解する」教義と聖約131:1と131:1-4を参照）。

### B クイズを作る

教義と聖約131:5-8では、預言者ジョセフ・スミスが様々なテーマについて受けた情報がまとめられています。この聖句を読んでから、5節、6節、7-8節それぞれに1問ずつ、クイズを作ってください。各クイズの後に正解を書いておきます（必要であれば「聖文を理解する」の情報を参照してください）。

### C 約束と警告

預言者ジョセフ・スミスが結婚の聖約は永遠に続くものだという啓示を受けたとき、主は結婚の聖約に関連する約束と警告についても明らかにされました（教義と聖約132:1-6参照）。ノートに、主が与えられたこれらの約束と警告を書き出してください。

### D 定義を書く

1. 教義と聖約132:7-14に基づいて「約束の聖なる御霊」の意

味を書いてください。そして、それが結婚をはじめとするすべての教会の儀式とどんな関係があるかを説明してください（必要であれば、「聖文を理解する」の情報を参照）。

- 結婚した男女は、二人の結婚を「約束の聖なる御霊によって結び固められる」ために、何を行う必要があるでしょうか。書き出してください。

### E 永遠の結婚とは何か

一部の教会員は神殿結婚をすれば、たとえどのようなことが起きても、永遠の結婚と永遠の命が保証されると誤解しています。

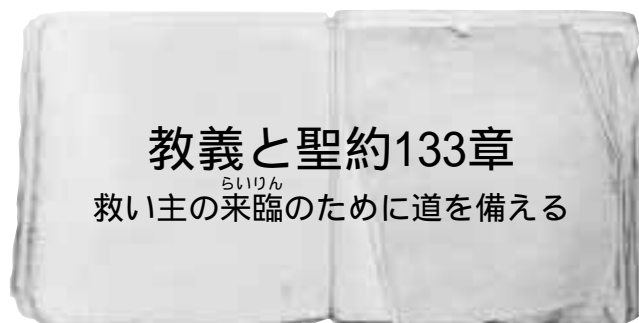
神殿結婚が、永遠に続く日の栄えの結婚となるためには、神殿で結婚する以外に何が求められていますか（教義と聖約132：7参照。必要であれば「聖文を理解する」教義と聖約132：7を参照）。

教義と聖約132：26 - 44によれば、永遠の結婚の約束はどんなことをすると効力がなくなるのですか（必要であれば、「聖文を理解する」教義と聖約132：26 - 39を参照）。

### F なぜ永遠の結婚を目指して努力すべきか

教義と聖約131：1 - 4と132：6 - 7, 15 - 20, 46 - 49を読んでください。また「聖文を理解する」教義と聖約132：15 - 16を読んでください。

- 以上の資料から学んだことによれば、結婚と家族が永遠に続くという主の約束の重要な点は何ですか。この約束があなたと将来のあなたの家族にとって大切なのはなぜでしょうか。
- 永遠の結婚は努力する甲斐のある目標です。なぜでしょうか。（「努力する」には計画すること、行動すること、犠牲を払うこと、祈ることが含まれます。）
- 日の栄えの結婚をするために、あなたに今、できる準備は何ですか。



教義と聖約133章の啓示が授けられたのは、132章までのほとんどの章よりもずっと前になります。預言者ジョセフ・スミスがそれまでに受けていた啓示を出版するかどうかを決めるため、1831年11月1日に教会の大会が開かれました。主

はその大会において、『戒めの書』を出版することについての決議を承認なさり、この書の「はしがき」を啓示されました。これは現在の教義と聖約1章です。大会が終わってから、集まった人々は末日の偉大な業に関して預言者ジョセフ・スミスに幾つかの質問をしました。預言者は彼らのために主に尋ねた結果、133章の啓示を受けました。教義と聖約の初版では、この啓示は「付録」と呼ばれていました。十二使徒定員会会員を務めたジョン・A・ウィットソー長老は、それがふさわしい表題であると記しています。なぜならば、この章は「はしがき〔すなわち序文 教義と聖約1章〕を補うものだからです。この二つの章はこの書物の内容を端的にまとめています。……

付録とは、著者が付け加えるべきだと考える事柄を指します。その目的は本の内容をさらに詳しく説明し、また強調し、力を持たせ、よりいっそう完璧に近い状態で説明することです。」（The Message of the Doctrine and Covenants, G・ホーマー・ダラム 編〔1969年〕, 17）

言葉を換えれば、教義と聖約1章と133章を読むことによって、回復の目的について多くのことを学ぶことができるのです。この章はどちらも、イエス・キリストが再臨されるときまでに起きることがおもに書かれています。

## 聖文を理解する



### 教義と聖約133章

前書きとして（章の前書き）  
簡単な説明を加えたはしがきとして  
関して（章の前書き） について  
後に（章の前書き） 後になって  
聖なる腕を……現す（3節）  
力を示される  
とどまる（4節） そこにいる、  
待つ

主の器を担う者たち（5節）  
神の務めを行うように割り当てられた人々（旧約時代に神権者は幕屋の務めを果たし、主の宮の器や神聖な器物を運んだことから）  
四方（7節） あらゆる方向  
北の地にいる者たち（26節）  
イスラエルの家の「行方の知れない部族」

自分自身を抑える (26節)	打ってやり分ける (59節)
自制する	分離させる (穀物をくきや皮から分けるプロセスを指す。同時に、主の僕たちが地上の「麦」を集めて安全な場所に納める一方で残った「もみごら」を焼き払うことも象徴している)
えじき (28節)	捕らえられたもの
裂いて (40節)	引きちぎって
用向き (58節)	務め

### 教義と聖約133:5-14 パピロン

古代において、パピロンはバビロニアと呼ばれた領土の首都でした。パピロンは世界最大の都市の一つであったと考えられています。パピロンの様々な支配者は、民がこの上なく大きな罪悪と偶像礼拝を行っていた時代に、この世的な成功を世に知らしめるためにこの都市を建設しました。イスラエルの子らがこの世的になり、罪悪と偶像礼拝に陥ったとき、主はバビロニア人が多くのイスラエル人を奴隷とするのを許されました。この出来事はイスラエルの家の多くの者たちにとって象徴的な教訓となっています。つまり、わたしたちはこの世の方法に合わせようとする、その奴隷になってしまうのです。これらの理由から、パピロンはこの世と罪悪、またそれらが招く結果を象徴するものとなっています。それは、主との交わりによって平和と義を受けるシオンの町の反対語でもあります。

### 教義と聖約133:26-35 エフライムの子らに与えられた「さらに貴い祝福」

古代において、生得権 (長子の特権) を持つ息子は父親からの受け継ぎをほかの息子の2倍受けました。多く得た分は、家族のほかの者たちの必要を満たすために使われました。主はこれを霊的な祝福にも応用されました。エフライムはヨセフの生得権を持つ息子でした (ヨセフはヤコブすなわちイスラエルの生得権を持つ息子でした)。主はエフライムの子孫をイスラエルの家において生得権を持つ家族とされました (創世48:13-20; 申命33:13-17; 歴代上5:1-2参照)。

終わりの時に、エフライムの子孫は最初に集められるという約束を受けていました。主は彼らがイスラエルのほかの家族と、神のすべての家族にとって救い手となるように、回復された福音の「さらに貴い祝福」(回復された真理、神権の権能と鍵、ほかの聖文、神殿など) をゆだねられました。これらの祝福と責任は、神がアブラハムと交わされた聖約と関係があります。教義と聖約133:26-35はそのことを述べています。

「さらに貴い祝福」を受けるからといって、エフライムの子らがほかの人々よりも優れているというわけではありません。福音の聖約を受けてそれを守る者は皆、日の栄えの栄光を受け継ぎます。エフライムの子らは救い主と同じように、神の子らがすべて自分たちの望む栄光を受けられるように、その知識と特権を活用しなければなりません。

## 聖文を研究する

教義と聖約133章を読みながら、次の活動 (A-F) のうち3つを行ってください。

### A わたしたちは何を行うか

教義と聖約133:1-3の中で主は教会員に、主の来臨に備える

ために必要な事柄を告げるので、耳を傾けるようにと言われました。続いて、4-14節の中で、どのように備えたらよいかを話されました。

1. 4-14節の中で主が与えられた命令を少なくとも5つ挙げてください。
2. これらの聖句の中で、主が3度繰り返されたのはどの命令ですか (聖典にしるしをつけるとういでしょう)。
3. 十二使徒定員会会員を務めたスティーブン・L・リチャーズ長老はこのように述べました。「シオン、すなわち心の清い者となるには、『世を出』なければなりません。これは必ずしも住む場所を変えるという意味ではありません。心を変えるのです。世を出るには、世の考えを捨てなければなりません。シオンに入るにはシオンの考えを取り入れなければならないのです。」(“Building Zion Today,” *Improvement Era*, 1935年4月号, 231)

パピロンを抜け出すという主の命令に従うために、あなたに今できることは何でしょうか。御霊のささやきに耳を傾ければ、主があなたに何を求めておられるか知ることができます。

主は、パピロンを抜け出すことが非常に難しい人がいることを御存じです。わたしたちがシオンまでの旅路を立派に歩み続けられるよう、教義と聖約133:5, 14-15の中で主は大切な勧告を与えておられます。どんな勧告でしょうか。(創世19:17-26には、ロトが家族とともに邪悪な町を去ったことと、その際後ろを振り返った人に何が起こったかが記されています。この聖句と教義と聖約133:5をお互いに参照するとよいでしょう。)

### B 再臨のときの主の御姿



「人は皆ともに〔主〕を見る」(イザヤ40:5)としまでに、イエス・キリストは数回にわたって御姿を現されます。教義と聖約133:2-3, 17-25を読んで分かったことから、再臨に当たって主の御声と御姿が示される方法と場所を書き出してください (教義と聖約133章に記されている幾つかの出来事のために詳しい解釈については教義と聖約45:48-53; 77:11; 84:2を参照してください)。

### C あなたの理解していることを書く

教義と聖約133章で学んだ事柄に基づいて考えると、エフライムの部族に属するというにはどんな意味があるのでしょうか (必要であれば、「聖文を理解する」教義と聖約133:26-35も参照してください)。

### D イエス・キリストの再臨

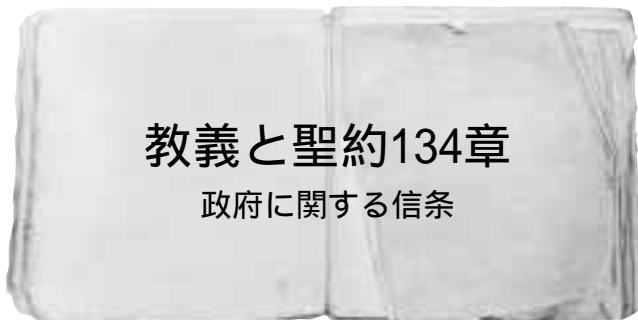
1. 教義と聖約133:44-56に記されているイエス・キリストの再臨に関連した真理を書き出してください。
2. その中から二つ、真理を選んでください。その二つを選んだのはなぜですか。理由をノートに書いてください。

## E 比較する

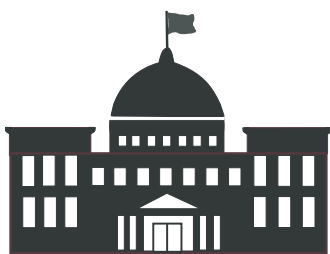
イエス・キリストの再臨は義人にとってはすばらしい出来事ですが、罪深い人にとっては恐ろしい出来事となります。わたしたちは再臨に関する聖文を注意深く読んで、悪人に言われたことを義人に（あるいは義人に言われたことを悪人に）当てはめないようにしなければなりません。ノートの1ページを二つの欄に分けて、教義と聖約133：52-74に基づいて二つのリストを作ってください。一つのリストには救い主が再臨されるときに義人に起きる事柄を、もう一つのリストには悪人に起きる事柄を書き出してください。

## F 宣教師への助言

教義と聖約133章は、預言者ジョセフ・スミスが福音を宣べ伝えることとイスラエルの集合について、いっそうの理解を求めて主に尋ねたときに与えられたものです。宣教師が知る必要があると思われることを133章から二つ選んでください。その理由をそれぞれノートに書いてください。



## 教義と聖約134章 政府に関する信条



善良な市民となる方法について、世の中には様々な意見があります。主はこの問題について何と言われましたか。わたしたちが判断するうえで基準となるような真理はすでに啓示されているのでしょうか。教義と聖約134章を読んでください。あらゆる国民がこの

啓示で教えられている原則に従ったら、どんな世の中になるでしょうか。考えてください。これらの原則について、あなたには個人としてどんな責任がありますか。考えてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約134章

前書き（章の前書き） 公式文書の最初にある、話の目的を説明したもの

設けられた（1, 4節） 確立された、始められた

固い（2節） 神聖で破ることのできない

長官（3, 6節） 法律を施行する役人

共和国（3節） 人民から権限を与えられた政府。法律の制定、施行は人民によって選ばれた代表がする

主権者（3節） 王、君主、統治者

責任を負う（4節） 報告義務を負う、責任を持つ

侵害する（4節） 干渉する、制限する、侵す

制定（4, 6節） 定める

方式を指図する（4節） 実施する方法を明確に定める

抑圧する（4節） 制限する

義務を負う（5節） 道徳上の責任を持つ

固有で（5節） 生まれつきの

不可譲の（5節） 否定できない、変えたり制限したりするどのような人・物の力も及ばない

治安妨害（5, 7節） 政府に対する反乱、反乱を促す行為

尊重する（6節） 一致する、従う

取って代わる（6節） 代わる

無秩序（6節） 法律が施行されていない、無政府状態

律する（6節） 管理し、治める

禁じる、禁圧する（7, 9節） 妨害する、禁止する

陰謀（7節） 政府に損害を与えるたり、倒したりする秘密のはかりごと

侵害（8節） 妨害、法律に背くこと

補償（11節） 道徳的な過ちを正すこと

侵害（11節） 踏みじること

危急（11節） 緊急事態、急ぎの必要

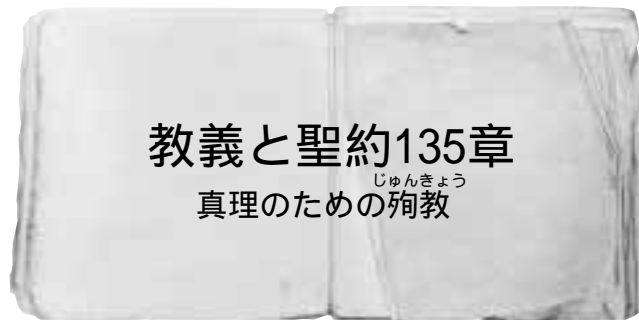
奴隷状態（12節） 労働を強制される、支配される

## 聖文を研究する

教義と聖約134章を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A 聖文を応用する

- 教義と聖約134章には様々な状況で応用できる信条と原則が記されています。次に挙げる架空の出来事について考え、教義と聖約134章からそれぞれに応用できる信条または原則を選んで説明してください。
  - ある女性が雇い主からお金を盗みました。彼女は自分の悪事を悔いて、監督に告白しました。悔い改めるために、彼女にはどのような償いが必要ですか。
  - ある男性が教会から破門されました。彼は非常に怒って、何人かの新聞記者に、教会には彼の会員資格を取り上げる権利はないと主張しました。
  - 数人の若者がおもしろがって人家のガラスを割っていました。あなたは友達と一緒に帰宅する途中、彼らを目撃しました。友達はあなたに関係のないことだから無視するように勧めています。あなたはどうすべきでしょうか。
- 教義と聖約134章にある聖句に関連する経験を二つ以上、ノートに書いてください。



## 教義と聖約135章 真理のための殉教

預言者ジョセフ・スミスにとって、迫害は「第二の天性」となっていました（教義と聖約127：2）。1820年に最初の示現を受けて以来、この偉大な回復の預言者は、悪魔の攻撃にさらされてき

ました。ジョセフがノーブーで過ごした5年間は、数々の偉大な啓示を受け、教会も発展した時期ではありましたが、同時に絶えず迫害に悩まされた時期でもありました。



ジョセフは1843年と1844年に、将来の教会を導けるよう十二使徒定員会を教え、訓練しました。ジョセフは、自分に残された生涯は短いと感じていたのです。一方、教会を去った一部の人たちは、教会を攻撃する意志を変えませんでした。1844年6月の初旬に、何人かの元教会員は、主の業に敵対する人たちとともに『ノーブーエクスポジター』(Nauvoo Expositor)という新聞を発行して、預言者その他の教会指導者たちについて、偽りの情報を掲載しました。この新聞が、その地域の反モルモンの間ですでに燃えていた悪意の炎に油を注いだのです。彼らは、何とかして聖徒たちをイリノイ州西部から追い出そうと決意します。

ノーブー市長であった預言者ジョセフ・スミスは、ノーブー市議会とともに、『ノーブーエクスポジター』側に、印刷機を破壊することと、発行した新聞をすべて焼却することを命じました。新聞社側はこの件をノーブーのある判事に訴え、ジョセフと市議会を逮捕する令状を手にはしますが、結局預言者側はどんな不法行為も行っていないことが判明します。けれども敵はこの裁定を受け入れませんでした。預言者側の無罪を裁定した判事が教会員だったからです。このためジョセフたちは教会員でない別の判事のもとへ行きましたが、再度無罪であることが証明されました。



© 1979 ハロルド・E・ホプキンソン財団

あるとき、イリノイ州にあるウォーソーの新聞は、モルモンが「悪魔のような連中」であって、この問題を永久的に解決するには「武器を取って根絶するしか方法がない」と主張する記事を掲載しました(『時満ちる時代の教会歴史』275参照)。教会員の生命が大きな危険にさらされることになったため、預言者ジョセフ・スミスはイリノイ州知事トーマス・フォードに助けと理解を求めました。一方、敵もモルモンを追い出すために同知事の力を借りて来ました。知事は預言者に敵対する人々の側に立ったようです。こうしたいきさつの中で、ジョセフは敵が求めているのは自分と兄のハイラムの命であることを悟りました。そこでジョセフは、すぐに計画を立て、聖徒たちが西部へ移動するためのルート調べに出かけました。聖徒は最終的に西部へ移住することに

なると、ジョセフは啓示によって知らされていたのです。ジョセフは、自分が敵の前から姿を消せば迫害が弱まるだろうと考えていましたが、一部の教会員は、預言者は自分たちを迫害の矢面に立たせて自分だけ逃げるつもりだと言って計画に反対し始めました。そこでジョセフはこう答えました。「この命が友にとって価値のないものなら、わたしにとっても何の価値もない。」(History of the Church, 第6巻, 549)そして預言者は、ノーブーに戻ってきました。

後に、預言者ジョセフ・スミスとハイラム・スミス、そしてノーブー市議会の議員たちは、騒動を起こした張本人として訴えられました。彼らは弁明のため自ら出頭し、カーセージの監獄に収容されました。6月25日、「治安判事ロバート・F・スミスの前で予審が開かれました。しかし、スミス判事自身がカーセージ連隊の指揮官であり、反モルモン勢力の中心人物でした。ノーブー市会議員たちは500ドルの保釈金で釈放され、巡回裁判所の次の開廷日に出頭するよう命じられます。訴えられた兄弟たちのほとんどは、その後ノーブーへ戻りましたが、ジョセフとハイラムだけはフォード知事との会見のためにそのまま残りました。その晩、一人の治安官が来て、反乱罪という大罪の審理が行われるまでジョセフとハイラムを勾留するというスミス判事の署名入りの収監令状を提示します。ジョセフとジョセフの弁護人は、そのような話は予審の際に一切なく、違法だと抗議しました。彼らの不服はフォード知事に伝えられましたが、知事は執行官の職務遂行を妨げることはできないと言うだけでした。」(『時満ちる時代の教会歴史』278参照)しかしフォード知事は、ノーブーへ行くときには、ジョセフとハイラムと一緒に連れて行くことを約束しました。

1844年6月27日木曜日、ジョセフは、ダン・ジョーンズをフォード知事のもとへ送り、監獄を襲撃してジョセフとハイラムを殺す計画があると伝え聞いたと報告させます(ダン・ジョーンズは、カーセージの監獄でジョセフ、ハイラム、ジョン・テラー長老、ウィラード・リチャーズ長老とともにその夜を過ごしていた)。フォード知事はダン・ジョーンズに預言者の安全を保障しました。ジョーンズ兄弟はジョセフたちが収容されている監獄に戻ることを許されなかったため、ノーブーへ戻りました。フォード知事もノーブーへ向かいましたが、結局預言者たちを同行しませんでした。



その日の午後、預言者ジョセフ・スミスは重苦しい気持ちを感じていました。ジョセフはジョン・テラーに「悩める旅人」(『賛美歌』15番)を歌うよう頼みました。歌が終わると、ハイラム・スミスはテラー長老にもう一度歌うよう頼

みました。テラー長老も重苦しい気持ちになり、歌えるとは思えませんでした。とにかかもう一度歌いました。

彼らは2階の寝室をあてがわれていましたが、看守がやって来て、独房に移るように勧めました。その方が安全だと考えたからです。ジョセフはウィラード・リチャーズに、もし独房へ移るとしたら、一緒について来るかと尋ねました。リチャーズ長老は、もし暴徒がジョセフの命を奪おうとしたら自分が代わって命を差

し出すと答えました。ジョセフは「そんなことをしてはなりません」と言いましたが、「いいえ、必ずそうします」とリチャーズ長老は答えました。(『時満ちる時代の教会歴史』279 - 282参照)

ジョン・テラー長老はこのように記録しています。「監獄の正面の窓辺に腰かけていると、顔を黒く塗った男たちが数人、監獄の角を回って、階段を目指してやって来るのが見えました。それは、ほかの兄弟たちの目にも入りました。わたしが扉のところに行こうとすると、ハイラム・スミス兄弟とリチャーズ博士はもう扉を押さえていました。鍵も掛け金もあまり役に立たなかったのです。(Gospel Kingdom, 359) ジョセフ・フィールディング・スミス大管長はこのように記しています。「5時を少し過ぎたころ、監獄の表玄関のところでは何か動きがあり、監獄を明け渡せと看守たちをどなりつけている声が聞こえました。数発の銃声が響き渡ると、逆上し、憎しみに満ち、暴徒と化した州軍が監獄に殺到してきました。」(Church History and Modern Revelation, 第2巻, 401) 銃弾が扉を突き抜けてハイラム・スミスの顔に命中しました。建物の外から、もう1発の銃弾がハイラムの背中命中しました。ハイラムは、「わたしは死ぬ」と言いながら床に倒れました。預言者は身をかがめて「おお、かわいそうに。愛するハイラム兄さん」と叫びました。ジョセフは6連発の小型拳銃をつかむと、身を守るために戦おうとしました。ジョン・テラーは窓から飛び降りようとしたときに銃弾を受けましたが、怪我はしたものの、銃弾はチョッキの胸ポケットに入っていた時計に当たったため、死を免れました。その時計は殉教の時刻を永遠に刻んでいます。それは1844年6月27日木曜の午後5時16分26秒でした。



カーセージの監獄

預言者ジョセフ・スミスも窓から逃れようとする途中、背後から2発、建物の外から正面に1発撃たれて窓枠に崩れ落ち、庭に転落しました(教義と聖約135:1参照)。

突然、外でだれかが叫びました。「モルモンがやって来るぞ。」実際には教会員はいませんでした。暴徒たちは恐怖を感じて、すぐに立ち去りました。フォード知事はこの事件のことを聞くと、カーセージの町を聖徒たちの復讐から守る処置をとりました。一方、聖徒たちには復讐する意志はありませんでした。預言者が亡くなって、悲しみに打ちひしがれていたのです。復讐を絶対に行わないようにするため、ウィラード・リチャーズ兄弟はノーブーの市民集会で語り、仕返しをしないよう聖徒たちに願い求めました。殉教した預言者たちの遺体は1844年6月28日にノーブーへ送られました。ノーブーに住んでいた数千人の人々はマンションハウスを訪れて、遺体を目にし、二人の死を嘆き悲しみました。

目撃者として、世に対する証

人として、そこで起きた出来事を正式に記録することが大切だと感じました。教義と聖約135章を読みながら、預言者ジョセフ・スミスの果たした務めが、あなたの人生と全世界の多くの人々の人生にどんな影響を及ぼしたか考えてください。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約135章

殉教(章の前書き, 1節)  
真理を証するために死ぬこと

神の摂理(2節) 天の助け、  
神の守り

今後(6節) 今から先

損なう(6節) だめにする、  
しなびさせる

異議を申し立てる(7節) 不  
服とする、批判する

### 教義と聖約135:5

### 「彼らの遺言は効力を持つ」



預言者ジョセフ・スミスとハイラム・スミスの母であるルーシー・マック・スミスは、息子たちの死について次のように記しました。「遺体が洗われ、埋葬衣を着せられてから、わたしたちは対面を許されました。覚悟を決め、元気を奮い起こすための時間 力を与えてくださるよう神に願い求めるための時間は、十分にありました。けれども、部屋に入って、殺された息子たちが横たわっているのが目に入り、家族のすすり泣きや嘆きを聞き、息子たちの妻と子供たちと、兄弟姉妹たちの口から『お父さん』『あなた』『お兄さん』という叫びを耳にしたとたんに、耐え切れなくなって、その場に崩れ落ちました。苦しみが全身を貫いたのです。わたしは主に向かって叫びました。『神様、神様、なぜわたしの家族を捨てられるのですか。』すると一つの声がありました。『わたしは彼ららをわたしのもとに迎え入れた。彼らが休息を得るためである。』……一緒に堪え忍んできた悲しい思い出、苦しい思い出の一つ一つが心に浮かんできました。どの場面にも、息子たちの無垢な心、素朴さ、思いやりがあふれていました。安らかに微笑んでいる息子たちの顔を見ていると、二人のこのような言葉が聞こえてくるような気がしました。『お母さん、泣かないで。わたしたちは愛によって世に打ち勝ったのです。彼らが救いを得られるように、世に福音をもたらしたのです。彼らがわたしたちを殺したのは、わたしたちが証を持っていたからです。でも、彼らの力はここまで及びません。彼らの勝利はつかの間でしかありませんが、わたしたちの方は永遠の勝利を収めたのです。』(History of Joseph Smith, 324 - 325)

預言者ジョセフ・スミスも窓から逃れようとする途中、背後から2発、建物の外から正面に1発撃たれて窓枠に崩れ落ち、庭に転落しました(教義と聖約135:1参照)。

## 聖文を研究する

教義と聖約135章を読みながら、次の活動(A - D)を行ってください。

### A ニュース報道の準備をする

あなたはテレビのレポーターです。預言者ジョセフ・スミスと

ハイラム・スミスが殺された翌日に、カーセージの監獄の外に自分が立っていると想像してください。現場からの中継時間は45秒です。教義と聖約135章と、この学習ガイドにある教義と聖約135章の最初の部分にある情報を使って、この45秒間に話したいことをノートに書いてください。

## B リストに書き加える

1. ジョン・テラー長老は、教義と聖約135：3の最初の文で、預言者ジョセフ・スミスの務めについて大胆に宣言しています。確かにこの宣言のとおりだと言えます。なぜか説明してください。
2. 3節に基づいて、預言者ジョセフ・スミスが世に貢献した事柄を書き出してください。

## C あなたはどう思うか

ハイラム・スミスはカーセージに向かって出発する前に、エテル12：36 - 38に記されている預言者モロナイの言葉を読みました。この聖句と聖約135：4 - 5を参照して、このモロナイの言葉は預言者ジョセフ・スミスと兄のハイラムが置かれていた状況にどう当てはまるかをノートに書いてください。

## D 預言者の生涯はあなたにどんな影響を与えてきたか

預言者ジョセフ・スミスについて学んできたことをすべて思い浮かべてみましょう。預言者の生き方はあなたにどんな影響を与えてきましたか。ノートに書いてください。

だことによると、日の栄えの王国を受け継ぐためには、イエス・キリストの証を受け、その証に雄々しくなければなりません。また、バプテスマや、聖霊の賜物を受けることも必要です。けれども、イエス・キリストについての教えを受ける機会がなく、その結果イエスの証を受ける機会のなかった人々はどうなるのでしょうか。神の正式な僕からバプテスマその他の儀式を受ける機会のなかった人々についてはどうでしょう。預言者ジョセフ・スミスが1836年1月に受けた啓示は、これらの質問に答えを与えていません。

教義と聖約137章を読むと、預言者があるものを見て不思議に思ったことが分かります。主はその疑問にこたえて、主の子供たち全員の救いに関する大切な教義を明らかにされました。預言者はそれから約3か月後にカートランド神殿で大切な神権の鍵を受けますが、そのときにも、この啓示から学んだことが助けになりました（教義と聖約110：11 - 16参照）。

教義と聖約137章に書かれている啓示を教会の正式な聖典に加えるために、1976年4月の総大会において教会員の支持が求められました。最初は高価な真珠の一部として出版されましたが、後に、1981年版（英文）から教義と聖約137章として印刷されるようになりました。（「高価な真珠に追加された聖文」『聖徒の道』1976年8月号、441 - 443参照）

## 聖文を理解する

### 教義と聖約137章

たぐい すばらしい 敷き詰め た（4節） 固い平ら な表面であ おわれた	栄えある、 とどまる（7節） 残る	居続ける、 残る
不思議に思 った（6節） 疑わしく思 った	責任を負う 年齢（10節）	8歳

教義と聖約137：1 「それが体のままであったか、体を離れてであったか、わたしには分からない」



預言者ジョセフ・スミスはこのように教えました。「この死すべき世に住んでいる間に、死すべき肉体に関して、神がその無限の知恵において人間に明らかにすることがふさわしいとお思いになることは、たとえ何であっても、抽象的に示されるのです。...それらは、我々の霊に あたかも我々には肉体がまったくないかのように 正確に示されるのです。」（Teachings of the

## 教義と聖約136章

教義と聖約136章の資料は「西部へ移動する教会」（169ページ）に収められています。

## 教義と聖約137章 日の栄えの王国に関する示現

預言者ジョセフ・スミスが1832年に受けた一連の示現は、死後、裁きを受けた後に行く王国について、多くのことを明らかにしています（教義と聖約76章参照）。これらの示現から預言者が学ん

Prophet Joseph Smith, 355) そのような示現を受けるときに人は霊的な変貌を経験します。このとき人はこの世のもののかかわりが薄らぐように感じます。使徒パウロは2コリント12:2-4で同じような経験について述べています。示現を受けたときには変貌していたと記している預言者たちはほかにもいます(モーセ1:10-11参照)。

### 教義と聖約137:5 「わたしの父と母、……兄のアルビン」

預言者ジョセフ・スミスは、父と母、兄のアルビンが日の栄えの王国にいるのを見ました。預言者はこの示現を不思議に思ったに違いありません。預言者がこの示現を受けたとき、父のジョセフ・シニアはカートランド神殿の2階の同じ部屋にいましたし、母親もまだ生きていたからです。預言者は明らかに未来を見ていたこととなります。

教義と聖約137:6によると、教会が回復される前に世を去った兄のアルビンがどうして日の栄えの王国を受け継ぐことができたのか、預言者は不思議に思っています。アルビン・スミスは、天使モロナイが預言者を訪れて間もない1823年11月に亡くなっていました。救いの儀式を執行する力が回復される何年も前のことです。預言者はあるとき、アルビンについて次のように述べました。アルビンは「わたしの父にとって長子であり、最も気高い人物でした。人の中で最も高貴な人物の一人だったのです。……アルビンには偽りがなく、子供のころから罪のない生活を送っていました。……この上なく冷静沈着な人でした。アルビンが亡くなったとき、息を引き取る瞬間に、主の天使たちが訪れました。」(History of the Church, 第5巻, 126-127) アルビン・スミスの葬儀で説教を行った牧師は、アルビンがバプテスマを受けず、教会に入らなかったため地獄へ行つたと暗に述べていました(“Another Testimony: Statement of William Smith, Concerning Joseph, the Prophet,” Deseret Evening News, 1894年1月20日付, 11参照)。

### 教義と聖約137:9 「その心の望みに応じて」

十二使徒定員会会員であるニール・A・マックスウェル長老は、次の真理について述べました。その真理によって、教会員の責任が明らかにされ、同時に慰めが与えられます。

「『望み』……は選択の自由や個性と直接深くかかわっています。望みを抱いたり、望みを口にしたりした瞬間から、人はその望みによって選択の自由の使い方に大きな影響を受けることとなります。ですからどのような望みを持っているかが、物事の結果を決定する真の要因になるのです。自分が抱いた望みの結果刈り取らなくてはならない事柄が、自分にとって好ましくないものであっても、そうなのです。

何かを望むとは、それを切望することです。義にかなった望みというものは、どちらかといえば望ましく思うとか、一時的に好むという程度のものではありません。もちろん遺伝子や環境、境遇などはきわめて重要な要素で、わたしたちを形作っているものです。しかし、わたしたちの内には、自分から放棄しないかぎり自分でコントロールできる力があります。そこにこそ、わたしたちの真の個性と責任があるのです。

したがって、わたしたちが望み続ける事柄は、やがては実現し、永遠にわたってわたしたちが受け継ぐものとなるでしょう。」(「わたしたちの『心の望みに応じて』、『聖徒の道』1997年1月号, 22参照; アルマ41:3-6も参照)

### 教義と聖約137:10 <sup>あきなご</sup>幼子は日の栄えの王国に救われる



責任を負うことのできる年齢、すなわち8歳になる前に死んだ子供は、神殿の儀式を受ける必要があるのでしょうか。主はそのような子供にバプテスマの必要がないことを明らかにされました(モロナイ8:10-13参照)。そのような子供に必要な神殿の儀式は、両親への結び固めだけです。しかし、聖約の下で生まれた子供については、その儀式も必要ありません。

## 聖文を研究する

教義と聖約137章を読みながら、次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A マスター聖句 教義と聖約137:7-10

1. 教義と聖約137:7-10で教えられていることから、日の栄えの王国を受け継ぐことのできるのはどんな人々か、ノートに書き出してください。
2. 7-9節で述べられている人々が日の栄えの王国を受け継ぐ準備ができるようにするために、わたしたちは何をしなければならないでしょうか。
3. この聖句から、神についてどんなことが分かりますか。
4. この聖句から、わたしたちの責任についてどんなことが分かりますか。

### B よい知らせか悪い知らせか

1. 教義と聖約137:9によれば、主は裁きを行うときに二つのことを考慮に入れられることが分かります。それは何と何ですか。
2. 1で答えた事柄のうち、2番目について考えてください。裁きのときにこれが考慮されると聞いて嬉しく思うのは、どんな人でしょうか。また悲しく思うのは、どんな人でしょうか。

### C どう説明しますか

知り合いの中に、7歳の息子を事故で亡くして悲しんでいる家族がいるとします。その子の父親は、息子のために神殿で身代わりのバプテスマを受ける必要があるのかどうか分かりません。8歳に満たない子供は死者のためのバプテスマを必要としないことをその父親が理解できるようにしてください。教義と聖約137:10で学んだことを基にして、彼に話そうと思うことをノートに書いてください(モロナイ8章; 「聖文を理解する」教義と聖約137:10も参照してください)。



# 西部へ移動する教会

真冬にノーブーを出発し、疲れ切った体でアイオワを横断した後に、聖徒たちは教会歴史の新たなページを開きました。西部のはるか彼方に脱出した聖徒たちは、ソルトレーク盆地に新しいふるさとを築き、新たな生活環境で新しい時代を迎えました。「ここは最も近い定住地からほぼ1,600キロ、西海岸から1,300キロ離れた、未開拓の不毛の地でした。建物は何もありませんでした。

彼らはミシシッピ河畔の美しい町を追われ、西部の荒れ野にやって来た流浪の民でした。でも、彼らには聖文と啓示の言葉から得たビジョンがありました。『主は国々のために旗をあげて、イスラエルの追いやられた者を集め、ユダの散らされた者を地の四方から集められる。』（イザヤ11：12）（「信仰こめて、一歩ずつ開拓者の大いなる旅路」『聖徒の道』1997年7月号、73参照）

それからの50年間、預言者であるブリガム・ヤング、ジョン・テラー、ウィルフォード・ウッドラフが導いたこの「国々のための旗」は、平和と発展の時代を迎えると同時に、大きな反対勢力や試練にも悩まされます。伝道活動は、メキシコ、アメリカ西部、ポリネシア、ヨーロッパにまで広がりました。セントジョージ、ローガン、マンタイ、ソルトレークの4か所に神殿が完成し、奉獻されました。こうして、生者と死者のために永遠の儀式を執行する場所が与えられたのです。初等協会（プライマリー）が組織されました。大陸横断鉄道の完成は、ユタの聖徒たちに経済的発展をもたらしました。一方で、教会全体あるいは一部の教会員に対する迫害が再び表面化しました。この時期に多くの宣教師が攻撃を受け、そのうち何人かが殺されました（『わたしたちの受け継ぎ』88参照）。法律が制定され、多妻結婚を実施していた人々から多くの権利が奪われます。そればかりでなく、神殿や教会の財産所有権も制限されました。主は、1890年にウィルフォード・ウッドラフ大管長に啓示を与えて、多妻結婚の実施を取りやめる時が来たことを知らされます。

注：『教義と聖約および教会歴史生徒用学習ガイド』の最後の7週間は、1845年から現在までの教会歴史上の出来事と、ブリガム・ヤングからゴードン・B・ヒンクレーまでの預言者たちの教えに焦点を絞っています。読書課題では、『わたしたちの受け継ぎ：末日聖徒イエス・キリスト教会歴史概観』から引用した教会歴史と、各預言者の言葉を読むこととなります（それとともに、教義と聖約136章、138章、公式の宣言の一と二を読みます）。「聖文を理解する」のセクションは、「読み物を理解する」というセクションになります。ここでは用語の解説、『わたしたちの受け継ぎ』から引用された読み物についての解説が採り上げられています。また「聖文を研究する」のセクションは「読み物を研究する」というセクションになります。このセクションには、課題についての説明があります。



## 大管長会の継承 次の大管長を選ぶ

預言者ジョセフ・スミスが殉教したとき、多くの教会員は教会の行く末に不安を抱きました。だれが預言者を引き継いで教会を導くことになるのでしょうか。スペンサー・W・キンボール大管長は、このように説明しています。「教会が回復されてわずか14年しかたないときに、教会員は大管長の交替を初めて経験しました。しかも、何世紀もの間、預言者はおろか『示現』さえも閉ざされていた時代があった後のことです。教会、啓示、預言者という最も価値ある祝福の基と思われていた一人の人間の生命が、カーセージで銃弾によって奪われたのです。そのとき、人々の胸の内は多くの疑問で渦巻いていたことでしょう。伝道から戻って来た使徒たちは、今は亡き預言者の遺体を埋め、将来のことを考え始めました。そして、すべての鍵を握る十二使徒会会長がモーセのように立ち上がって人々を導いたとき、すべての疑いは煙のように消えたのです。」（「予言者に必要なこと」『聖徒の道』1970年10月号、264参照）

### 大管長会の継承

1. 「預言者ジョセフとハイラム・スミスがカーセージの監獄で殺害されたとき、十二使徒定員会その他の教会指導者の多くは伝道の旅に出ており、ノーブーを留守にしていた。したがって、ジョセフとハイラムの死を知ったのは数日後のことである。知らせを聞いたブリガム・ヤングは、民を導くために必要な神権の鍵が教会にあることを知っていた。これらの鍵は、十二使徒定員会に授けられていたからである。しかし、ジョセフ・スミスに代わって主の預言者、聖見者、啓示者になるのはだれか、すべての教会員が理解していたわけではなかった。

2. 第一副管長だったシドニー・リグドンがペンシルベニア州ピッツバーグから戻ったのは、1844年8月3日のことだった。シドニーはジョセフが殉教する1年くらい前から預言者の勧告とは異なった道を進むようになり、教会から離れていた。彼はすでにノーブーに戻っていた十二使徒定員会の会員3人と会うのを断り、代わりに日曜日の礼拝集會に集まった人々に向かって話をした。その内容は、彼が示現を見たこと、そしてジョセフ・スミスの跡を継ぐ者はだれもおらず、教会の後見人が召されるべきであること、そしてその後見人は自分であるというものであった。彼の主張を支持する聖徒はほとんどいなかった。

3. 十二使徒定員会会長のブリガム・ヤングがノーブーに戻ったのは、1844年8月6日になってからのことだった。ヤングは、だれが教会を導くかについては、『神がどう言われるか』だけを知りたいと語った〔History of the Church, 第7巻, 230〕。そこで1844年8月8日木曜日に、十二使徒会は集會を開いた。午前の会で

はシドニー・リグドンが1時間以上話をしたが、支持はほとんど得られなかった。

4. 次にブリガム・ヤングが短く、聖徒たちの心を慰める話をした。そのときの様子をジョージ・Q・キャノンはこう回想している。『あれはジョセフ自身の声でした。人々の目には、まるでジョセフ自身が皆の前に立っているように映ったと思います。』ウィリアム・C・ステインズはブリガム・ヤングが預言者ジョセフのような声で話したと証する。『わたしは彼〔ジョセフ〕だと思いました。声を聞いた数千人の人たちもそう思ったことでしょう。』ウィルフォード・ウッドラフもこの驚くべき出来事をこう振り返る。『もしもこの目でブリガムを見ていなかったら、「あれはジョセフ・スミスではなかった」と言われても、とうてい信じられなかったであろう。この二人と面識のある人であれば、皆このことを証できるはずである。』〔*History of the Church*, 第7巻, 236から引用〕この奇跡的な現れは大勢の人々に目撃され、ジョセフ・スミスの跡を継ぐ教会の指導者として、主がブリガム・ヤングを選ばれたことが明らかになったのである。

5. 午後の会ではブリガム・ヤングが再び話をし、ジョセフ・スミスが使徒たちを、全世界の神の王国の鍵を持つ者として聖任していたことを証した。そして彼は、十二使徒会に従わない者は栄えないこと、神の王国の建設に当たっては使徒だけが勝利を収めることを預言したのである。

6. ブリガム・ヤングは自分の話の後でシドニー・リグドンに話の機会を与えたが、シドニーは辞退した。そこで、ウィリアム・W・フェルプスとパーリー・P・プラットの話の後でブリガム・ヤングがもう一度話をした。ブリガムはノーブー神殿を完成して、荒野に旅立つ前にエンダウメントを受けるように命じ、聖文の大切さについて話した。また、ジョセフ・スミスへの愛と預言者の家族への思いを述べた。その後聖徒たちは、全会一致で十二使徒会を教会指導者として支持したのである。

7. 教会の大管長としての権利を主張した者はほかにも少数いたが、ほとんどの末日聖徒にとって継承にかかわる危機は去った。前任使徒であり十二使徒定員会の会長であるブリガム・ヤングは民を導く者として神により選ばれた者となり、民は一致して彼を支持したのである。』（『わたしたちの受け継ぎ』59 - 61参照）



## 読み物を理解する

### 大管長会の継承

聖見者（段落1） 過去、現在、未来のことについて知ることができる人（モーサヤ8：13 - 17参照）

離れて（段落2） 遠ざかって、別れて

後見人（段落2） 保護する人  
支持（段落3） 支えること、サポートすること

エンダウメント（段落6） 神殿で行われる儀式と聖約

## 読み物を研究する

「大管長会の継承」を読みながら、次の活動Aを行ってください。

### A そして今では

1. ブリガム・ヤングが教会を導く者として選ばれたいきさつを読み直してください。あなたもその会に出席して、最前列の席に座っていたとします。日記風に、そのときの様子を簡単にノートに書いてください。
2. この教会はほんとうにイエス・キリストの教会であって、主御自身が主の教会を導く預言者を選ばれます。この知識があなたにどんな祝福をもたらしているかをノートに書いてください。

## 西部への旅 (1845 - 1847年) 初期の開拓者から学ぶこと



© 1990 グレン・S・ホフキンソン

聖徒たちは強制的にノーブーを退去させられた

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は次のように教えています。「現在を正しく認識し、未来への識見を得るために過去に目を向けることは良いことです。未来に待ち受けているものが何であれ、それに立ち向かう力を得るために先人たちの高潔さに目を向けることは良いことです。熱心に働きなながらも、この世ではほとんど何も得ることのなかった人々があります。しかし、彼らの夢と計画は、十分に養い育てられ、現在のわたしたちはそこから大きな収穫を得ています。そのような人々の行った事柄に目を向けることは良いことです。」（“*The Faith of the Pioneers*,” *Ensign*, 1984

年7月号, 3)

イリノイからグレートソルトトレイクまで移動した聖徒の物語は、宗教史を通じて最も感動的な物語の一つです。1万5,000人以上の聖徒たちは、ノーブーからソルトトレイク盆地まで、ブリガム・ヤング大管長に率いられて行きました。これは合衆国史上最大の脱出劇となっています。それは迫害と困窮と苦難の物語です。しかしそれは同時に、靈感と奇跡と解放の物語、神と国家と隣人への愛の物語でもあります。1845年から1847年に起きたことを学びながら、あなたがそのような状況に置かれたとしたらどうしたか考えてください。

## ノーブーを去る準備

1. 「教会の指導者は、すでに1834年の時点で聖徒たちを西部のロッキー山中に移住させ、平安な生活を送らせようと考えていた。そのため毎年、偵察隊を出したり地図を見たりしながら、適切な場所を物色していたのである。したがって1845年には、西部に関する当時の最新情報を手にしていた。

2. ノーブーでの迫害が激しくなるにつれて、聖徒たちの移住は現実味を帯びてくる。1845年の段階では、その準備が盛んに行われていた。この脱出のために、100人、50人、10人の長が聖徒たちを導くために召された。そして100人のグループには最低一つの荷車製作所が設けられ、車大工や大工、建具職人が夜遅くまで働いて荷車作りをした。またグループのメンバーは遠く東部まで鉄を買いに出かけ、旅に必要な各種材料や新しいシオンを開拓するための農機具を作った。家族は食糧や日用品を集め、容器に乾燥果物や米、小麦粉、薬品などを詰めた。こうして同じ目的のために協力して働いた結果、短時間で予想以上の準備ができた。」(『わたしたちの受け継ぎ』63参照)

## 読み物を理解する

### ノーブーを去る準備

ロッキー山中 (段落1)	北ア	開拓 (段落2)	ある地域に定住すること
脱出 (段落2)	集団移民		
車大工 (段落2)	荷馬車の車輪を作ったり修理したりする人々		

## 冬期移住の試練

3. 「ノーブー脱出の開始は、もともと1846年4月となっていた。しかし、州軍が聖徒たちの西部移住を阻止するという話があったため、十二使徒評議会をはじめとする市民指導者が1846年2月2日に急きょ会議を開き、すぐに移住を開始することを決定した。そして、2月4日には第一陣が出発したのである。こうしてブリガム・ヤングの指揮の下、第一陣の聖徒たちは意気揚々と旅を始めた。しかし、この第一陣は大きな試練に見舞われることになる。定住キャンプ地で休みを得るまで、そうとう長い距離を移動しなければならなかったが、厳しい寒さと例年のない春の長雨に悩まされたのである。

4. 迫害から逃れるため、何千人もの聖徒たちがまず川幅の広いミシシッピ川を渡り、アイオワに入らなければならなかった。

恐ろしい旅は初期の段階から始まった。牛が足でけて穴を開けたために船が浸水し、乗っていたたくさんの聖徒たちが川に投げ出されたのである。目撃した人の話では、聖徒たちは羽毛ベッドや棒切れ、『そのほかつかまれるものなら何にでもつかまっています。そして冷たい水にもあそばれるかのように波間に見え隠れしていました。……荷車のほろの上に登る人もいました。荷車は沈まないのでも少しは楽なようでした。また乗っていた牛は船が出た方の岸に泳ぎ着きました。』(ジャニータ・ブルックス編、*On the Mormon Frontier: The Diary of Hosea Stout*, 全2巻(1964年), 第1巻, 114) 最終的には全員が別の船に救助され、対岸に渡ることができた。

© 1996 グレン・S・ホプキンソン



5. 最初の渡船から2週間後、川はしばらくの間氷結した。氷は滑りやすいものの、荷車や牛が乗っても割れず、楽に川を渡るようになった。しかし、徒歩で旅をする聖徒たちに、寒気は大きな苦しみをもたらした。対岸の野営地であるシュガー・クリークでは吹雪が続き、8インチ(約20センチ)もの積雪があった。しかも、雪が解けると道はぬかるんだ。テントや荷車、にわか作りのシェルターで指導者の命令を待つ2,000人の聖徒たちを、厳しい自然は上からも下からも周囲からも束になって悲惨な状況に追い込んでいったのである。

6. 西部への旅の中で最も困難だったのは、初期のこのアイオワを通過する時点であったと思われる。オセア・スタウトはこう記録している。『夜は寝具で仮のテントを作った。妻は起き上がれず、小さな息子は高熱で意識がもうろうとしていた。』(ジャニータ・ブルックス、*On the Mormon Frontier*, 第1巻, 117, つづりと句読点は現代表記法に基づいて修正) ほかの多くの聖徒たちも同様の苦しみを味わっている。」(『わたしたちの受け継ぎ』63 - 64参照)

## 読み物を理解する

### 冬期移住の試練

脱出 (段落3)	聖徒たちの移動	波間に見え隠れして (段落4)
軍 (段落3)	兵士たち	川に流されて漂った
決定した (段落3)	そうすることが絶対に必要な	徒歩で旅をする (段落5) 旅はゆっくりしたもので、大変な努力を必要とした
休み (段落3)	休息	にわか作り (段落5) 素早く作られた
冷たい水 (段落4)	この川の流れるは聖徒たちにとって残酷でもあった	

## すべては善し

7. 「信仰と勇気と決意があったからこそ、聖徒たちは寒さと飢えと愛する者の死を乗り越えて旅を続けることができたのであ

る。ウィリアム・クレイトンはノーブーを出発する最初のグループの一員に選ばれたが、1か月後に出産をひかえた妻ディアンサをその両親のもとに残して出発しなければならなかった。ぬかるみに足を取られ、厳寒の中で野営をしながら、クレイトンはディアンサのことを思って神経をすり減らす毎日を送っていた。2か月たっても出産の知らせは来ない。しかし、ついに『丸々と太った男の子が産まれた』といううれしい知らせが届いた。クレイトンはこの知らせを聞くやいなや、座って一つの曲を書いた。その曲はクレイトンにとって特別な意味を持つ曲となったが、それだけでなく、世代を越えて教会員を奮い立たせる感謝の賛美歌となったのである。この曲こそ『恐れず来たれ、聖徒』で、その有名な歌詞には、逆境のさなかでこれを歌ったクレイトン自身やほかの何千人もの聖徒たちの信仰が込められている。『すべては善し、すべては善し。』（ジェームズ・B・アレン、*Trials of Discipleship: The Story of William Clayton, a Mormon* (1987年)、202参照）後に続く大勢の聖徒たちも含めて、聖徒たちは、神の王国のためにささげた犠牲と従順の報いとして、喜びと平安を見いだしたのである。』（『わたしたちの受け継ぎ』64参照）



ウィリアム・クレイトンは賛美歌「恐れず来たれ、聖徒」の作詞者である。

## 読み物を理解する



すべては善し

足を取られ（段落7） 労しながら歩いた	大変苦	賛美歌（段落7） の歌	喜びや称賛
神経をすり減らす（段落7） 心配といらいらを募らせていた		逆境（段落7） 試練	悲惨な経験、

## ウィンタークォーターズ(冬营地)

8. 「ノーブーからアイオワ西部までの310マイル（約496キロ）を旅するのに、聖徒たちは131日かかっている。聖徒たちはこのアイオワ西部の地で、1846年から47年にかけての冬を越し、ロッキーマン山中への旅の備えをすることになる。それまでの旅で聖徒たちはたくさんのことを学んだ。それがその後の大平原の旅に生かされ、彼らは111日で旅を終えている。

9. 聖徒たちの居住地はミズーリ川の両岸に長く広がり、その

中心は西岸のネブラスカ側のウィンタークォーターズだった。ウィンタークォーターズは一躍3,500人の教会員の住む町となり、聖徒たちは丸太小屋や、柳の枝と土で作った<sup>いぢやく</sup>壕に住んだ。また、ミズーリ川のアイオワ側であるケインズビルにも2,500人が住んだ。しかし、ミズーリ川両岸でのこの生活はそれまでの旅と同様過酷なものであった。夏はマラリヤ熱、冬になって新鮮な食物が手に入らなくなると、コレラや壊血病、歯痛、夜盲症、そしてひどい下痢が聖徒を悩まし、何百人もの死者が出た。

10. しかし、それでも日々の生活は続いていく。女性たちは掃除や洗濯、アイロンかけ、キルト作り、手紙書き、乏しいながらも食事の準備、家族の世話に追われていたとメアリー・リチャーズは言う。メアリーの夫サミュエルは当時スコットランドに伝道に出ていた。彼女はウィンタークォーターズでの人々の往来を明るいつつ記録している。その中には教義的な話し合いやダンス、教会の集会、パーティー、辺境の地で人々の信仰が再び盛んになる様子などが含まれている。



ネブラスカ州ウィンタークォーターズ

11. 男性は協力して働き、旅の計画や聖徒たちの定住地などについて頻りに会合を持った。また、家畜を集めて野营地周辺の草を食べさせるときなども協力して行った。彼らは一緒に畑を耕し、周辺の監視をし、製粉所の建設や運営を行い、荷車の整備をした。しかしそれは、疲労と病気の中での苦しい作業となることもしばしばであった。中には自分を<sup>かえり</sup>顧みないまったくの愛の働きもあった。畑を耕して種をまき、次の聖徒たちが収穫できるようにして旅立つこともよく見られたからである。

12. [ロレンゾ・]ヤングの息子ジョンは、ウィンタークォーターズを『モルモンフォージ盆地』と呼んだ。ジョンは埋葬地の近くに住んでいて、『悲しい顔をした葬儀の列が何度もわたしたちの家の前を通り過ぎるのを』目撃した。彼は家族の食事がいかに粗末で毎日同じものであったかを回想する。それはとうもろこしパンと塩ベーコンとわずかなミルクのようなもので、口に入ると吐きけを催し、食事を取るのには薬を飲むのと似て飲み込むのが大変だったという。[ラッセル・R・リッチ、*Ensign to the Nations* (1972年)、92参照] この試練の時期を乗り越えられたのは、聖徒たちの信仰と献身による以外の何ものでもなかった。』（『わたしたちの受け継ぎ』65 - 66参照）

## 読み物を理解する



ウィンタークォーターズ

壕（段落9） 丘の斜面を掘って作った家。枝や乾燥させた土で入り口を覆う	丘陵の斜面を掘って作った家。枝や乾燥させた土で入り口を覆う	教義的（段落10） 宗教的	宗教的
コレラ（段落9） 伝染病	コレラ（段落9） 伝染病	信仰が再び盛んになる（段落10） 宗教に対する関心が新たに高まった	信仰が再び盛んになる（段落10） 宗教に対する関心が新たに高まった
壊血病（段落9） ビタミンCの欠乏により発症する病気	壊血病（段落9） ビタミンCの欠乏により発症する病気	草を食べさせる（段落11） 畜は自分で食糧を探して食べた	草を食べさせる（段落11） 畜は自分で食糧を探して食べた

周辺(段落11) 居住地の外側  
「モルモンのフォージ盆地」(段落12) この地で多くの教会員が苦しみ、亡くなった。独立戦争のときに合衆国軍の兵士の多くがフォージ盆地で亡くなったのと似ている。

列(段落12) 葬儀のとき列を作って歩いた  
吐きけ(段落12) 食物が嫌でたまらなかった

## モルモン大隊

13. 『聖徒たちがアイオワにいたころ、アメリカ合衆国陸軍の徴兵 担当者が教会指導者に対して、1846年に勃発したメキシコ戦争に派遣するための分隊を出すように要請してきた。モルモン大隊と呼ばれることになるこの人々は、合衆国南部を行軍してカリフォルニアに行き、給与と衣服と食糧を受けることになっていた。ブリガム・ヤングは入隊を奨励した。ノーブーの貧者を呼び寄せる資金ができるし、各人の家族の助けになると考えたからである。また、このことで政府に協力をすれば教会員が国家に対して忠誠を示すことになり、今後の国有地やインディアン居留地への一時的な居住を正当化できると思われた。こうして、541人の男性が指導者の勧告を受け入れ、モルモン大隊に加わった。また、33人の女性と42人の子供も同行している。

14. 戦争に行く大隊の兵士たちの苦しみは、困難な時期に妻子を残していく悲しみによりますます大きなものとなった。ウィリアム・ハイドはこう回想する。

15. 『この困難な時期に家族を残して行くことは、わたしにとっては想像もつかないことです。皆、生まれ故郷から遠く離れ、荷車以外身を寄せる場所もなく果てしなく広がる大平原の中に置かれているのです。焼けつくような太陽が容赦なく照りつけ、12月にもなれば冷たい風が、同じ荒れ果てた平原を歩く彼らを襲うのです。

16. わたしの家族は妻と子供が二人でしたが、わたしは彼らを年老いた父母に託して彼らのもとを離れました。大隊の仲間のほとんどは家族を残して参戦しました。……再会がいつなのかは神だけが御存じです。でも、わたしたちはつづやく気持ちにはなれませんでした。』〔Readings in LDS History: From Original Manuscripts, ウィリアム・E・ベレット, アルマ・P・パートン 共編, 全3巻(1965年), 第2巻, 221〕



17. 大隊は南西に向かって2,030マイル〔約3,300キロ〕行軍し、カリフォルニアに着いたが、食糧も水も薬品もなく、また休憩もあまり取らない急ぎの旅であったため、隊員は非常に苦しい思いをした。彼らはサンディエゴ、サンルイレイ、ロサンゼルスで占

領軍として奉仕し、服務期間の満了とともに除隊し、家族のもとに帰ることを許された。彼らを管理した人々は、彼らの努力と合衆国政府への忠誠に敬服した。

18. 除隊後、隊員の多くはカリフォルニアに残ってしばらくの間働いた。多くは北方に移動し、アメリカンリバーでジョン・サッターの製材所に雇われた。ちょうど1848年に金が発見され、有名なカリフォルニアのゴールドラッシュに突入したところである。しかし、末日聖徒の兄弟たちはカリフォルニアにとどまってこの機会を金もうけのために利用しようとは考えなかった。彼らの心は、大平原を越えてロッキー山中に向かい、西へ西へと苦勞して進んでいる兄弟姉妹たちへの思いでいっぱいだったのである。大隊に参加した一人、ジェームズ・S・ブラウンはこう説明している。

19. 『わたしは地球上であれほど豊かな地をこれまで見たことがありません。でも、後悔はしていません。わたしには金よりもっと高い目標がいつもあったからです。……中にはわたしたちのことを、自分の利益に盲目な連中だと言う人がいることでしょう。でもあれから40年たって振り返っても、何の後悔もありません。確かにそこには富がありました。とどまるように促すものはたくさんありました。人々は言いました。「岩の上に金、丘の上に金、小川にも金。金はどこにでもある。すぐに大金持ちになれるよ。」それはわたしたちにも分かっていました。でも、道義心が頭をもたげてきます。わたしたちの名誉がかかっているのです。わたしたちは互いに聖約を交わしていました。そこには一つの信条がありました。わたしたちにとって第一とすべきものは神と神の王国だったのです。友人や親族はまだ荒野にいます。そうです。未開の不毛の地です。彼らの状態をだれが知っているでしょうか。わたしたちには分かりませんでした。ですから、快楽や富を求める前にまず義務を果たさなければなりません。この気持ちに促されて、わたしたちは出発しました。』〔ジェームズ・S・ブラウン, Giant of the Lord: Life of a Pioneer (1960年), 120〕この兄弟たちは、神の王国には、この世のいかなる物質的なものよりも大きな価値があることをはっきりと理解していた。そして、それを理解したうえで進むべき道を選んだのである。』(『わたしたちの受け継ぎ』66-67参照)

## 読み物を理解する

### モルモン大隊

大隊(小見出し)	大勢の兵士の一団	占領軍(段落17)	占領した地域を守る兵士
分隊(段落13)	割り当てられた人数の兵士	除隊(段落18)	兵役を解かれて、故郷へ帰ること
協力(段落13)	努力	突入した(段落18)	もたらした
苦しみ(段落14)	つらい経験	促すもの(段落19)	そうするように促す理由
生まれ故郷(段落15)	生まれれた所		

## ブルックリン号の聖徒たち

20. 「多くの聖徒たちはノーブーから大平原をロッキー山中に移動したが、合衆国東部からの一団は海を渡るルートを取った。1846年2月4日、男性70人、女性68人、子供100人がブルックリン号という船



に乗り組み、ニューヨーク港からカリフォルニアの海岸に向けて出発した。1万7,000マイル〔約2万7,200キロ〕の航海である。航海の途中で二人の子供が生まれ、アトランティック（大西洋）とパシフィック（太平洋）と名付けられた。一方で、12人が死んだ。

21. 6か月の航海は困難を極めた。聖徒たちは熱帯の暑さの中を狭い船の中で過ごさなければならず、食糧や水も質のよいものではなかった。彼らはホーン岬を回ったところでファン・フェルナンデス島に停泊し、5日間の休息を取った。キャロライン・オーガスタ・パーキンスは当時をこう振り返る。『陸地の風景と大地をもう一度踏みしめた感触は、船上での生活からの解放感を与えてくれるものでした。わたしたちはその気持ちを心にかみしめながら楽しい時を過ごしました。』彼らは真水で体を洗い、洗濯をし、じゃがいもや果物を集め、うなぎやほかの魚をとり、鳥の中を歩きながらロビンソン・クルーソーが住んでいたような洞くつを探検したりした〔キャロライン・オーガスタ・パーキンス、"The Ship Brooklyn Saints," *Our Pioneer Heritage* (1960年), 506で引用〕。

22. こうして1846年7月31日、ひどい嵐や劣悪な食糧、そして長期に及ぶ航海に耐えた彼らは、ついにサンフランシスコに到着した。一部の者はそこにとどまり、ニューホープと呼ばれる開拓地を作ったが、ほかの者たちは山を東に越えて、グレートベースンにいる聖徒たちのもとへ向かった。』（『わたしたちの受け継ぎ』67 - 68参照）

## 読み物を理解する



### ブルックリン号の聖徒たち

熱帯（段落21）	赤道に近い地域	グレートベースン（段落22）
大地（段落21）	乾いた土地	ユタ州とネバダ州の大部分から成る地域

## 集合は続く

23. 「アメリカ全土から、多くの国々から、忠実な改宗者たちは家や故郷を離れ、馬に乗ったり歩いたり、いろいろな手段でロッキー山中への長い旅路に就いた。聖徒たちと合流するためである。

24. 1847年1月、ブリガム・ヤングは靈感に満ちた『イスラエルの陣営に関する主の言葉と御心』（教義と聖約136：1）を出している。これは、西部に向かう開拓者の憲章となった。聖徒たちは隊として組織され、夫を亡くした女性や父親のいない子供たちは隊で面倒を見ることになった。また、対人関係において悪意やむさぼり、争いは避けるように言われていた。民は明るくあるべきであり、感謝の心を音楽やダンス、祈りで表すようにとされた。主はブリガム・ヤングを通して聖徒たちにこう語っておられる。『あなたの道を行き、わたしがあなたがたに告げたように行きなさい。敵を恐れてはならない。』（教義と聖約 136：17）

25. 最初の開拓隊がウィンタークォーターズを築く準備をしていたとき、パーリー・P・プラットがイギリスでの伝道から戻り、ジョン・テラーがイギリスの聖徒たちからの贈り物を持って後から来ることを報告した。するとその翌日、ジョン・テラーが什分の一としてイギリスの聖徒たちから受け取ったお金を携えて戻って来た。それは彼らの愛と信仰の証であり、これから旅を

する人々のために役立ててほしいというものであった。また彼は開拓者のルートを決めたり周囲の状況を把握したりするうえで貴重な器具も持参している。こうして1847年4月15日、ブリガム・ヤング率いる最初の開拓隊が出発した。そしてそれから20年以上もの間、6万2,000人の聖徒たちが荷車や手車で大平原を横断し、シオンに集合したのである。

26. 開拓者たちを待ち受けていたのは、すばらしい光景でもあり、苦難でもあった。ジョセフ・メイナーはソルトレーク盆地に着くまでの『苦難』を書き残している。しかし彼は、それまで見たことのないものを目撃した。バッファローの大群や丘の上のヒマラヤ杉の大木である。〔ユタ州50周年委員会、*The Book of the Pioneers* (1897年), 全2巻, 第2巻, 54, LDS教会記録保管庫〕また、辺り一面に咲き乱れるひまわりを見た人々もいた。

27. 聖徒たちはまた、霊的な経験を語り合った。それは日々の過酷な行程に疲れた体を軽くしてくれるものだった。長い一日の旅路の後で、聖徒たちはたき火を囲んで料理をし、男も女もその日の出来事を語り合った。福音の原則について話したり、歌やダンスに興じたり、一緒に祈ったりする毎日であった。

28. 西部への遅々とした歩みの中で、死が度々聖徒たちを襲った。1850年6月23日の段階でクランドール家は15人家族だった。ところがその週の終わりまでに7人が恐ろしいコレラに感染して死に、それから数日後にはさらに5人が死んだ。そして6月30日、クランドール姉妹は出産し、生まれたばかりの子供とともにこの世を去った。

29. このように、ソルトレーク盆地への旅路で数々の苦難を味わったにもかかわらず、聖徒たちの間には協力の精神と明るさがみなぎっていた。主への信仰と固い決意で結束していた彼らは、苦難の中にも喜びを見いだしていたのである。』（『わたしたちの受け継ぎ』68 - 69参照）

## 読み物を理解する



### 集合は続く

いろいろな手段（段落23）	旅に利用されたいろいろな乗り物	恐ろしい（段落28）	恐ろしい病気
憲章（段落24）	文書になった律法	みなぎっていた（段落29）	すべてのものを覆っていた
むさぼり（段落24）	利己心、貪欲		

## まさにこの地である

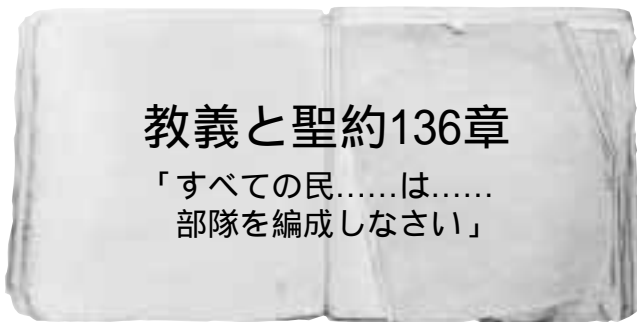
30. 「1847年7月21日、最初の開拓隊のオーソン・プラットとエラスタス・スノーが先陣を切ってソルトレーク盆地に入った。二人が見たのは、人がかき分けて歩くほどの高さの草と耕作に適した土地、それに盆地を縦横に流れる幾つかの小川であった。それから3日後、山熱に冒されたブリガム・ヤングが荷車に乗って、ソルトレーク盆地を見渡せる盆地の入り口の所までやって来た。そして、目の前に広がる光景を見た彼は、『これで十分だ。まさにこの地である』との預言的な宣言をするのである。

31. 後から山々を越えて来た聖徒たちも、自分たちの約束の地を目にした。西部の太陽に輝く塩の湖を擁するこの盆地は、預言と示現の象徴であり、彼らと後に続く何千何万の人々にとって夢



## C 道を比較する

1. ノートに南北アメリカ大陸の簡単な地図を描いてください。これまで読んだ資料と聖典合本の付録にある地図を参考にし、大部分の聖徒たち、モルモン大隊、ブルックリン号がたどった大まかなルートを記入してください。
2. もしあなたが当時の会員だとしたら、どのグループと一緒に行きたいと思えますか。その理由も説明してください。



## 教義と聖約136章

「すべての民……は……  
部隊を編成しなさい」

ノーブーを去ってから1年近くが過ぎた1847年1月11日、ブリガム・ヤング大管長は次のように記しています。「わたしは兄弟たちに次のように言った。『昨晚、預言者ジョセフと話す夢を見ました。夢の中で彼とわたしは……移民のために隊を組織する最良の方法やそのほかのことについて、率直に話し合いました。』」(Manuscript History of Brigham Young, 1846 - 1847, エルデン・J・ワトソン編〔1971年〕, 501 - 502) 3日後、ヤング会長はネブラスカ州ウィンタークォーターズにあるヒーバー・C・キンボール長老の家で、十二使徒定員会の7人のメンバーとともに集会を持ち、荒れ野の旅の準備について話し合いました。その夜、ブリガム・ヤング大管長は啓示によって「主の言葉と御心」を受け、それを聖徒たちに発表しました。

## 聖文を理解する

### 教義と聖約136章

おきて (2節) 律法

とどまる (6節) 後に残る

分配 (8節) 一部分、分け前

負担 (8節) 分担

愚かさ (19節) 分別のなさ

明らかにされる (19節) 示される、分かるようになる

教化し合う (24節) 互いに教え高め合う

嘆願 (29節) 謙遜な祈り

懲らしめ (31節) 矯正

悔いる (33節) 後悔する

罪に定める (33節) 罰を宣告する

災い (35節) 苦難、災害

産みの苦しみを受ける (35節) 今にも出産する

### 教義と聖約136:34-36 「あなたがたを追い出した国民」

合衆国の南北戦争は、1861年から1865年にかけて、北部諸州と南部諸州の間で起きた戦争です。この戦争のおもな原因は、州の権利と奴隷制度の問題でした(教義と聖約87:1-7; 130:12-13参照)。この戦争での戦死者の数は、合衆国が参加したほかのすべての戦争の戦死者を合計した数を上回っています。戦争が勃発してから1年近く後に、ヤング会長は、聖徒たちが西部にいることがどんなに幸運かを次のように述べました。「もし迫害を

受けなかったら、わたしたちはあの血なまぐさい戦争に巻き込まれていたことでしょう。あの戦争のせいでこの国は見る影もなくなっていますが、わたしたちは今、遠く離れた山あいで静かに平和に暮らしています。……現在のわたしたちの平和は神の祝福であることをわたしは知っています。わたしたちは大いに祝福され、大きな恵みを受け、高められています。一方で、わたしたちを滅ぼそうとした敵は今、謙遜にならざるを得ない状況にあります。」(Journal of Discourses, 第10巻, 38 - 39)

## 聖文を研究する

教義と聖約136章を読みながら、次の活動Aを行ってください。さらに、活動BまたはCも行ってください。

### A 家族の規則のリストを作る

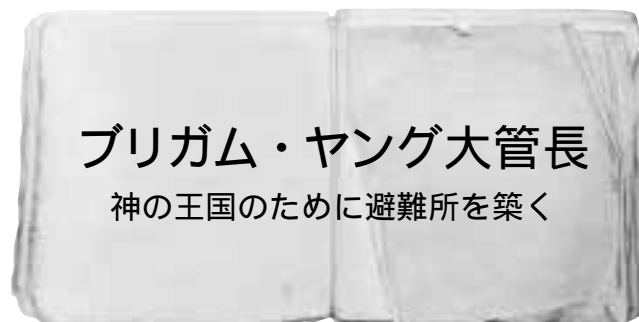
今、家族と一緒に開拓者の旅に加わっているとします。教義と聖約136:1-32に記されている指示に基づいて、この旅の間中、家族で守る規則を10個書き出してください。何節にそれが記されているのかも、各項目の後に記入しておきます。

### B 図を作る

教義と聖約136:3, 12-15を読んでから、これから始まる西部への旅の前に、聖徒たちはどんな組織を作るよう命じられたか、図を描いて示してください。

### C 「あなたがたを追い出した国民」

教義と聖約136:33-42を調べて、預言者ジョセフ・スミスが殺された理由、ジョセフの殺害と聖徒への迫害の結果アメリカ合衆国に起きた出来事を、少なくとも5つ見つけて書き出してください。



## ブリガム・ヤング大管長

神の王国のために避難所を築く

開拓者たちがソルトレーク盆地に初めて足を踏み入れたとき、そこはほとんど人が住んでいない、文明から遠く離れ、孤立した地域でした。東部に残してきた、水が豊かにある農場と比べると、そこはまさに砂漠でした。そこに定住するには信仰と努力が必要でした。しかし聖徒たちは、神の助けによって必ず成功すると信じていました。1847年の年末までに2,000人を超える聖徒たちがソルトレーク盆地に到着し、ネブラスカ州ウィンタークォーターズとアイオワ州のほかの定住地では1万2,000人近くが待機していました。ブリガム・ヤング大管長の靈感あふれる指導の下、末日聖徒は次々にロッキー山中に集まり、砂漠を征服して、安全な定住地を築き、多くの国々でイエス・キリストの福音を雄々しく宣べ伝えたのでした。



## ブリガム・ヤングの生涯

(1801 - 1877年)

- |              |   |
|--------------|---|
| 1801年        | 6月1日、バーモント州ウィットニングハムで、ジョン・ヤングとアビゲイル・ハウ・ヤングの間に生まれる                                     |
| 1824年        | 23歳。10月8日、ミリアム・ワークスと結婚。ミリアムは1832年に死去  |
| 1832年        | 30歳。4月14日、ニューヨーク州メンドンの近くにある自分の水車用水池でバプテスマを受ける   |
| 1832 - 1833年 | 31 - 32歳。カナダで伝道する。改宗者の小グループをオハイオ州カートランドまで率いる  |
| 1834年        | 32歳。2月18日、メアリー・アン・エンジェルと結婚。メアリー・アンは1882年に死去   |
| 1835年        | 33歳。2月14日、モルモン書の3人の証人であるオリバー・カウドリ、デビッド・ホイットマー、マーティン・ハリスによって十二使徒定員会の最初のメンバーの一人として聖任される |
| 1839 - 1841年 | 38 - 40歳。イギリスで伝道する  |
| 1840年        | 38歳。4月14日、十二使徒定員会会長として支持される   |
| 1844年        | 43歳。6月27日に預言者ジョセフ・スミスが死去した後、十二使徒定員会会長として教会を導く   |
| 1846 - 1847年 | 44 - 46歳。ソルトレーク盆地への西部脱出を導く。その後、ネブラスカ州ウィンタークォーターズへ戻る                                   |
| 1850 - 1858年 | 49 - 57歳。ユタ準州の初代知事を務める  |
| 1853年        | 51歳。ソルトレーク神殿の定礎式を行う   |
| 1877年        | 76歳。8月29日、ソルトレーク・シティーで死去。30年以上にわたって教会を管理した  |

## ブリガム・ヤング大管長が教会を管理した時期

(1844 - 1877年)

- |              |  |
|--------------|--|
| 1846 - 1847年 | イリノイ州ノーブーから聖徒たちを脱出させる  |
| 1849年        | 日曜学校が組織される   |
| 1850年        | スカンジナビア、フランス、イタリア、スイス、ハワイへ宣教師を派遣する                             |
| 1851年        | 教会員が定住地の建設を開始する（合衆国西部、カナダとメキシコの一部に350以上）。モルモン書が初めてデンマーク語に翻訳される |
| 1853年        | ソルトレーク神殿の建設が始まる  |



- |       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 1967年 | ソルトレーク・タバナクルが完成する。教会の総大会がタバナクルで開かれる |
| 1869年 | 若い女性の組織が発足する                        |
| 1875年 | 若い男性の組織が発足する                        |
| 1877年 | セントジョージ神殿が奉献される                     |

## ユタにおける聖徒の確立

1. 「大平原を越えて最初の隊を無事ユタに送り込むことのできたブリガム・ヤングは、荒れ野に神の王国を確立するという事業に取りかかる。そして、彼のビジョンとリーダーシップにより、かつては何もなかった荒れ野が繁栄を誇る文明世界となり、聖徒たちの安らぎの場となった。彼の指示の言葉は分かりやすく、聖徒たちは自分たちの新たな憩いの場がどのような所となるかについて心に思い描くことができた。そして神の王国の建設に向けて進んで行くことができたのである。



2. 最初の隊が到着して2日後、ブリガム・ヤングと十二使徒の何人かは、ノーブーを出る前に示現で見た山の中腹の円い丘に登った。彼らはそこで大きく広がるソルトレーク盆地を眺めながら、世界中の人々がこの地に招かれ、聖徒たちが繁栄と平安を享受することを預言した。彼らはその丘を『エンサインピーク（旗の頂）』と名付けた。『主は国々のために旗をあげて、イスラエルの追いやられた者を集め』られる（イザヤ11：12）というイザヤの約束の聖句から引用したものである。〔*Journal of Discourses*, 第13巻, 85 - 86参照〕

3. 1847年7月28日、ブリガム・ヤングの初めての公式決定が出された。神殿のための中心となる場所の選定と神殿の設計と建築の指令である。彼は選ばれた場所に杖を置き、こう述べた。『わたしたちはここに神のために神殿を建てます。』この宣言は聖徒たちにとって大きな慰めであったに違いない。ノーブーを去るときに、神殿の礼拝をあきらめるほかなかったからである。

4. 8月、教会の指導者と最初の隊のメンバーのほとんどは、翌年、家族を連れてソルトレーク盆地へ移動するために、ウィンタークォーターズへ戻った。彼らがソルトレーク盆地に戻った直後、ブリガム・ヤングと十二使徒会は大管長会を再組織すべきであると感じ、十二使徒会の会長であったブリガム・ヤングが大管長として支持された。彼はヒーバー・C・キンボールとウィラード・リチャーズを副管長に選び、聖徒たちは全会一致でこれらの新しい指導者を支持した。』（『わたしたちの受け継ぎ』73参照）



ヒーバー・C・キンボール ブリガム・ヤング ウィラード・リチャーズ

## 読み物を理解する



### ユタにおける聖徒の確立

安らぎの場（段落1）	安全な	エンサイン（段落2）	人を集
場所	めるための目印となる旗		
向けて（段落1）	.....を求めて		

## ソルトレーク盆地での最初の年

5. 「1847年の夏が終わるまでにはさらに二つの隊がソルトレーク盆地に到着し、約2,000人の教会員でソルトレークステークが組織された。この年、季節遅れの種まきが行われたが、収穫は少なく、翌年の春には大勢の人々が飢えて苦しむことになった。当時まだ少年であったジョン・R・ヤングはこう書いている。

6. 『草が生え始めるころ、わたしたちの飢えはかなり苦しいものとなっていた。何か月もの間パンを口にすることはなく、食べ物といえば牛肉、牛乳、アカザ（雑草の一種。豚がえさとして食べる）、セゴユリの根、アザミだった。わたしの仕事は家畜の番だったが、外で家畜を見ている間、よくアザミが茂っている所に行き、乳牛のようにおなががふくれるまでアザミを食べたものである。飢えが極限に達したころ、鳥がよくつついていた牛の皮を父が木の枝から下ろしてきて、それでスープを作ってくれたが、とてもおいしかった。』〔ジョン・R・ヤング, *Memories of John R. Young* (1920年), 64〕開拓者たちは互いに助け合い、何でも分かち合って、この困難な状況を切り抜けることができた。



7. 1848年6月ごろになると、5,000ないし6,000エーカー（約2万250 - 2万4,300ヘクタール）の土地に作付けができ、ソルトレーク盆地は緑に覆われて豊かな土地に変わっていった。しかし、聖徒たちにとって悩みの種は、黒雲のように大挙して飛んで来て作物を食い荒らすクリケット（注訳 いなごのような田畑を食い荒らす新種の黒い大型の昆虫。当時大量発生した。こおろぎに似ているところから、『ロッキー山のおおろぎ』と呼ばれたりする。『モルモンクリケット』）の大群であった。聖徒たちは棒やほうき

でこのクリケットをたたいたり焼き殺そうとしたりしたが、何の効果もなかった。無数のクリケットが引きも切らず飛んで来たのである。そこで祝福師でありソルトレークステークの会長であったジョン・スミスが聖徒たちに、断食と祈りを呼びかけた。するところからともなくかもめの大群が飛んで来て、クリケット目がけて急降下し始めた。そのときの経験をスーザン・ノーブル・グラントはこう語っている。『驚きました。かもめは恐ろしいほどの食欲で、跳ね回るクリケットを次から次へと食べていったのです。』〔カーター・E・グラント, *The Kingdom of God Restored* (1955年), 446〕聖徒たちはこの光景を驚きと喜びをもって眺めた。こうして彼らの命は救われたのである。

8. 聖徒たちは数々の困難な状況にあったにもかかわらず、精神的にまた信仰をもって働いた。その結果、程なく大きな発展を遂げることになる。1849年9月にカリフォルニアに向かう途中でソルトレーク・シティを通過したある旅行者は、次のような称賛の言葉を残している。『わたしは彼らのような秩序正しい、熱心な、また勤勉な人々にお目にかかったことがない。かくも短期間にこの不毛の地でよくもこれだけのことができたものだと感心する。この町には4,000人から5,000人は住んでいるだろうが、何もしないでぶらぶらしている者や浮浪者には一人として会っていない。作物は順調に実り、見るものすべてが活気と活力にみなぎっている。同規模の町でこれほどの所はほかにはない。』〔B・H・ロパーツ, *Life of John Taylor* (1963年), 202〕（『わたしたちの受け継ぎ』74 - 75参照）

## 読み物を理解する



### ソルトレーク盆地での最初の年

少なく（段落5）	何とか生き	恐ろしいほどの食欲で（段落7）
ていくのに足りるほどのものし	な	ものすごく腹をすかせていたようであった
かなかった		
かなり苦しいものとなっていた	秩序正しい、熱心な、また勤勉	
（段落6）	な（段落8）	
以前より悪くなっ	た	
ていた	絶えず努力し、よく働き、礼儀正しい	
家畜の番（段落6）	外で牛の	何もしないでぶらぶらしている
世話をする役目	者（段落8）	仕事をしていない者
悩みの種（段落7）	失望、悲	
しみ	しみ	浮浪者（段落8）
大挙して（段落7）	群れを成	急げ者
して	して	

## 探 検

9. 「1848年晩夏、ブリガム・ヤングはウィンタークォーターズからソルトレーク盆地に再び旅をした。到着後、彼は周辺地域でどのような天然資源が入手できるかを知る必要があると感じた。周辺に住むインディアンからも多くの情報が得られたものの、ヤング大管長は探検隊を派遣し、入手できる薬草や天然資源を調べさせた。

10. また、移住地を特定するための探検隊も派遣された。その結果、鉱床や木材を取るための森林、水資源、草地、そして移住に適した土地も発見することができた。ここで預言者は、土地への投機熱が高まることを警戒し、聖徒たちに割り当てられた土地を分割して売ることを禁止した。割り当てられた土地は一人一人

が管理の職として与えられたものであり、賢明にまた勤勉に管理しなければならず、決して金もうけのために使ってはならないのである。

11. 1849年秋、ヤング大管長の指示の下に永代移住基金が設立された。目的は、貧しいために聖徒たちのもとに合流できない人々の旅行資金を援助することにあった。大勢の聖徒たちは大きな犠牲を払ってこの基金に献金し、その結果、何千人もの教会員がソルトレーク盆地にたどり着くことができた。到着後、彼らは援助を受けた金額を返還することになっていた。次の人々を援助するためである。この協同事業により、聖徒たちは貧しい人々に祝福をもたらすことができたのである。」(『わたしたちの受け継ぎ』75 - 76参照)

ブリガム・ヤング  
大学美術博物館の厚意により  
掲載  
版權所有



## 読み物を理解する



### 探検

薬草(段落9)	治療効果のある植物	管理の職(段落10)	ほかの人のために財産を管理すること
木材(段落10)	多くの木	永代(段落11)	継続的な
土地への投機熱(段落10)	後で高い値段で売るために土地を買い占めること	移住(段落11)	ある土地から別の土地へ移り、定住すること

## 手車隊

12. 「1850年代に入ると、教会の指導者は経費を削減するための手段として手車隊を編成することを決定した。財政的な援助をできるだけ大勢の人々に行き渡らせるためである。手車隊に加わった人々は、わずか100ポンド(約45キロ)の小麦粉と少量の食糧や所持品を手車に積み込み、それを引いて大平原を横断した。1856年から1860年までの間にこのような形でユタに向かったのは、10隊であった。そのうち8隊は無事ソルトレーク盆地に着いたが、マーティン隊とウィリー隊は早めに訪れた冬に阻まれ、隊の中の多くの聖徒たちが命を落とした。

13. これらの隊の一員であったネリー・ブーセルは大平原で10歳の誕生日を迎えた。両親とも旅の途中で亡くなっていた。隊が山道に差しかかるころには寒さも厳しく、食糧も底を突き、飢えに弱り果てた聖徒たちには旅を続けるのはとても無理な状態だった。ネリーと姉の二人も倒れてしまった。そして、もうだめだと思ったとき、隊長が荷車で駆けつけ、ネリーを荷車の中に入れ、姉のマギーには荷車にしっかりとつかまって歩くように言った。マギーは幸運だった。強制的に足を動かしていたために凍傷にかか

らずに済んだのである。

14. やがてソルトレーク・シティに着いて、ネリーが大平原を旅する間ずっと履いていた靴と長靴下を脱ぐと、凍傷のため皮膚も一緒にむけ落ちた。痛ましいことだが、この勇敢な少女ネリーはひざから下を両足とも切断され、残りの人生をひざで歩いて過ごすしなければならなくなってしまった。しかし後に彼女は結婚して6人の子供を産み、家事を行い、子孫を立派に育て上げた(『Story of Nellie Pucell Unthank, "Heart Throbs of the West, ケート・B・カーター編, 全12巻(1939 - 1951年), 第9巻, 418 - 420参照)。逆境をものともしない彼女の意志の強さと、彼女を世話した人々の思いやりとは、初期の教会員の信仰と、喜んで犠牲を払おうとする心を描いて余りあるものがある。彼らの模範は後に続く聖徒たちにとって信仰の大きい遺産となった。



15. マーティン手車隊に加わって大平原を越えた一人の男性が、その後長い間ユタで生活していた。ある日のこと、一緒にいた人たちが教会の指導者を痛烈に批判し始めた。手車隊のような食糧と装備で聖徒たちに大平原を横断させたのは誤りだったと言うのである。その老人は何も言わずに聞いていたが、やがて我慢ができなくなり、立ち上がると涙ながらにこう語った。

16. 『わたしはその隊にいました。妻もです。……わたしたちは皆さんがとても想像できないようなとてもつらい目に遭いました。寒さと飢えのためにたくさんの人が死んでいきました。でも、生き残った人たちの口から非難めいたことを一言でも聞いたことがありますか。……わたしたちには神が生きておられるとの絶対的な知識がありました。あの極限の状態で神という御方と知り合いになれたのですから。

17. 手車を引きながら、病気と飢えで体が弱ってしまったわたしは、足を前に踏み出すことがなかなかできませんでした。前を見ると砂地の丘のような所があります。わたしは自分にこう言いました。あそこまでしか行けない。あそこまで行ったらもうやめよう。とてもあの坂は越えられない。……そしてその砂地の所まで行きました。すると手車がわたしを押しのです。だれが押ししてくれているのだろうと何度も後ろを振り返りましたが、だれもいません。わたしには分かりました。神の天使がいたのです。

18. わたしは手車隊に加わったことを不幸だと思ったでしょうか。いいえ。そのときも、それから今までの年月の中で、一時たりともそう思ったことはありません。わたしたちが神の臨在を賜るために払った犠牲は、特権として払ったものです。わたしはマーティン手車隊に加わった特権を感謝しています。』(ウィリアム・パーマー、デビッド・O・マッケイ, "Pioneer Women", Relief

Society Magazine, 1948年1月号, 8で引用)

19.わたしたちの賛美歌の中には、勇気をもって福音を受け入れ、文明の及ばない場所へ旅した初期の教会員についての歌がある。

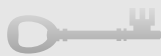
20. 国を造りたる 人々のあと  
彼らが日毎の 働き見ゆる  
基を固めて 国の果てまで  
働き進めた 開拓者たち

21. 彼らの模範は、自国でさらなる信仰と勇気をもって生きるにはどうすればよいかを教えてください。

22. 彼らは奉仕と 愛に守られ  
勇気はつきせぬ かがり火となり  
重荷を担いて 心明るく  
希望を持ちたる 開拓者たち

〔「国を造りたる」『賛美歌』24番〕(『わたしたちの受け継ぎ』70 - 72参照)

## 読み物を理解する



### 手車隊

命を落とした(段落12) んだ	死	文明の及ばない場所へ(段落19) 中央から遠く離れた定住地へ
底を突き(段落13) たし	使い果 たし	働き進めた(段落20) 力を 合わせて前進した
遺産(段落14) 引き継がれた、偉大な価値のある もの	過去から引 き継がれた	かがり火(段落22) 目印と なる明かり
あの極限の状態で(段落16) 人生の最も苦しいときに		心明るく(段落22) 輝いて

## 召しにこたえた宣教師たち

23.「勤労と生活の基盤造りに人々がかけずり回らる中で、プリガム・ヤング大管長の心は教会の重要な課題に向いていた。1849年10月6日の総大会で、彼は十二使徒会の数人ならびに新たに召された宣教師を海外の伝道へと召した。彼らは家族や新しい家、まだ片付いていない仕事がありながらもこの召しを受け入れた。エラスマス・スノーをはじめ何人かの長老はスカンジナビアでの伝道を始めるために派遣され、ロレンゾ・スノーとジョセフ・トロントはイタリアに向けて旅立った。アジソン・バーズ・ブラットと妻のルイーザはアジソンの前の任地である南太平洋のソシエテ諸島に戻り、ジョン・テラーはフランスとドイツに召された。東へ向かう宣教師たちは途中でロッキー山中の新しいシオンに向けて西に旅する聖徒たちと行き違ふこととなった。



24. 宣教師たちはこの伝道で奇跡を目にし、バプテスマにより大勢の人々を教会に導き入れた。後に大管長となるロレンゾ・ス

ノーはイタリアで伝道していたとき、死の境をさまよう3歳の男の子に会った。彼はその子を癒せばその地域の人々の心が開くと感じ、その夜、長い間熱烈に主に祈り、導きを求めた。そして翌日、彼と同僚はその子のために断食をし、祈った。午後、彼らはその子に神権の祝福の儀式を行い、心の中で助けを祈り求めた。するとその子は一晩何もなかったかのように眠り続け、奇跡的に救われた。この癒しの話はイタリアのピエモンテの人々の間に広まった。こうして人々の家の扉が宣教師に対して開かれ、その地域での最初のバプテスマが行われた。〔フランシス・M・ギボンス, Lorenzo Snow: Giant Prophet of God (1982年), 64参照〕

25. 1852年8月にソルトレーク・シティーで行われた特別大会で106人の長老が召され、全世界に向かって伝道の旅に出ることになった。この106人ならびに後に召される宣教師は、南アメリカや中国、インド、スペイン、オーストラリア、ハワイ、南太平洋諸島で福音を宣べ伝えることになる。しかし、彼らの働きは種をまいたにとどまり、大勢の人々の教会への加入は後の伝道活動を待つこととなった。

26. エドワード・スティーブンソン長老はスペインのジブラルタル伝道部に召された。そこは彼の生まれ故郷であった。彼はそこで地元の人々に回復された福音を大胆に宣べ伝えたが、そのために逮捕され、しばらくの間拘留された。ところが拘留中も看守たちに福音を説き、そのうちの一人をほとんど改宗させるまでに至った。当局はこの事実を知ると、長老を釈放した。その後、彼は二人にバプテスマを施し、1854年1月には10人の教会員により支部が設立された。7月にはそのうち6人がイギリス軍の一部としてアジアに派遣されたにもかかわらず、支部は18人の教会員を擁し、七十人が1人、長老が1人、祭司が1人、教師が1人いて、支部が続けて発展するための指導者がそろっていた。〔“The Church in Spain and Gibraltar,” Friend, 1975年5月号, 33参照〕

27. フランス領ポリネシアでは1852年に地元の政府が宣教師を国外退去させたが、改宗した聖徒たちは1892年に伝道が再開されるまで教会を守り続けた。特にティホニ、マイヘア両長老は投獄されるなど数々の苦しみに遭いながらも信仰を否定することなく雄々しく耐え、聖徒たちが福音に対して活発かつ忠実であるように働きかけを続けた。〔R. ラニアア・ブリッシュ, Unto the Islands of the Sea: A History of the Latter-day Saints in the Pacific (1986年), 21 - 22参照〕

28. 合衆国以外で教会に加わった人々にとって、当時はシオンへの集合の時代であった。つまり船でアメリカに渡る時代だったのである。チャールズ・ウッドと妻のエリザベスは何年間か働いて旅行資金を作った後、1860年に南アメリカから船に乗った。エリザベスは裕福な家のメイドとして、チャールズはれんが職人として働き、資金を蓄えたのであった。エリザベスは息子を出産して24時間後、ベッドに寝たままで乗船、特別に船長用のベッドをあてがわれた。彼女は航海中2度生死をさまようほどの苦しみを味わったが、ユタ州フィルモアに定住の地を見いだした。

29. 宣教師たちは奉仕する国々の聖徒たちにとって非常に身近な存在となった。ジョセフ・F・スミスはハワイでの伝道の終わり近く1857年、高熱に見舞われ、3か月間伝道の業に従事することができなかった。そのときに彼女の世話をしたのが忠実なハワイ人の聖徒マ・マフヒイである。彼女はジョセフをわが子のように看病し、二人の間には強い愛のきずながはぐくまれた。それから何年かして大管長としてホノルルを訪れたとき、ジョセフ・F・スミスは到着後すぐに手にささげ物の見事なバナナを抱えた

盲目の老婦人が導かれて来るのを目にした。彼女は『ヨセパ、ヨセパ(ジョセフ、ジョセフ)』と呼んでいた。ジョセフは彼女のところに駆け寄って彼女を抱き締め、『ママ、ママ、わたしのママ』と言いながら頭をなでて何度もキスをした〔チャールズ・W・ニブレー, “Reminiscences of President Joseph F. Smith, “Improvement Era, 1919年1月号, 193 - 194参照〕。』(『わたしたちの受け継ぎ』76 - 78参照)

## 読み物を理解する



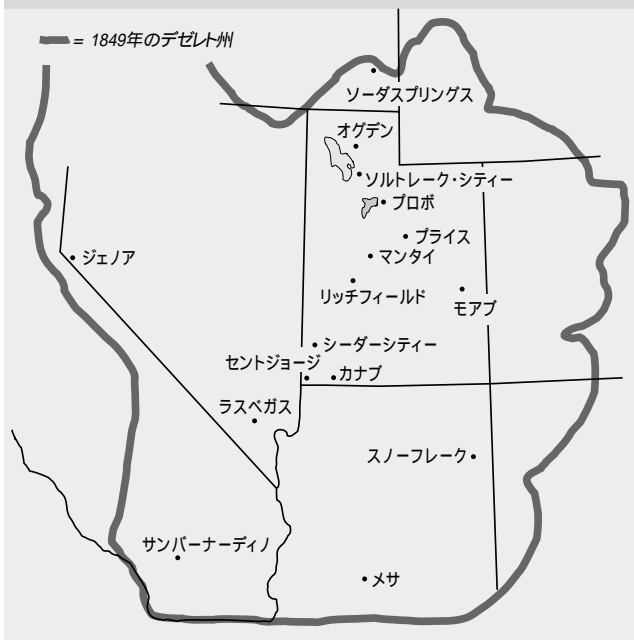
### 召しにこたえた宣教師たち

生活の基盤(段落23) 家庭生活 : ベッド(段落28) 船内の寝室  
伝道(段落27) 人々が救い主や福音や教会に改宗するのを手伝う努力

## 入植の召し

30. 「ユタやアイダホ南部、そして後にアリゾナ、ワイオミング、ネバダ、カリフォルニアの各地の町は、総大会での召しを受けた個人や家族によって開拓されている。これはブリガム・ヤング大管長の指示によるもので、開拓された町には何千人もの入植者が移住し、開墾が行われた。

ブリガム・ヤングが管理する時代に設立された  
350におよぶ入植地の一部



31. ブリガム・ヤングの存命中、ソルトレーク盆地のすべてと周辺の多くの地域が開拓された。そして、ブリガム・ヤングが亡くなった1877年には350の町が建設されており、1900年にはその数が500となった。初期の中央幹部であるブリガム・ヘンリー・ロバーツは、モルモンの開拓の成功は、ヤング大管長からの召しを遂行するに当たり『民が示した指導者への忠誠と、私利私欲を捨てた献身的な犠牲』に根ざしたものであると述べている〔ラッセル・R・リッチ, *Ensign to the Nations* (1972年), 349で引用〕。

入植者たちは物質的な安楽や友人との交わり、そして時には自らの命をも犠牲にして、主の預言者に従ったのであった。

32. ブリガム・ヤング大管長は総大会で、遠く離れた場所に移住するように召された兄弟たちとその家族の名前を読み上げた。この入植者たちは自分たちの召しを伝道と見なし、解任されるまで召された地にとどまると理解していた。彼らは召された地に自費で移住し、必要なものもすべて自ら携えて行った。彼らの成功は、手に入れられるものをいかに利用するかにかかっていた。そこで彼らは召された地を調査した後に開墾を行い、水車小屋を作り、水を引くための灌漑設備を作り、牧場に囲いを巡らし、道路を作った。また穀物や野菜を植え付け、教会や学校を建設し、インディアンとは友好を保つよう努力した。そして、病気や出産、死、結婚のときは互いに助け合った。

33. 1862年、チャールズ・ローウェル・ウォーカーは南ユタへの移住の召しを受けた。召しを受けた人々との集會に集った彼はこう記録している。『ここでわたしは、それから後しばしの間決して忘れることのなかった一つの原則を学んだ。つまり、天でも地でも、従順は偉大な原則であるということである。これまでの7年間、わたしはここで暑い日も寒い日も懸命に働き、飢えや逆境に耐え、ついに家を手に入れ、実をつけ始めたたくさんの美しい果樹に恵まれるようになった。わたしは今それを残し、行って天の御父の御心を行わなければならない。天の御父は御父を愛し畏れる者のあらゆる恵みを支配しておられる。わたしは、御父の前に受け入れられるために必要なことを成し遂げる強さを神に祈り求める。』〔*Diary of Charles Lowell Walker*, A・カール・ラーソンとキャサリン・マイルズ・ラーソン編, 全2巻(1980年), 第1巻, 239; つづりと句読点は現代表記法に基づいて修正〕



34. 十二使徒定員会の一員であったチャールズ・C・リッチも入植の召しを受けた。ブリガム・ヤング大管長が彼とほかの数人の兄弟たちに、家族を伴ってソルトレーク・シティーの北約150マイル(約240キロ)のベアレク盆地に移住するよう命じたのである。その土地は高所にあり、冬は寒さが厳しく雪も深かった。リッチ兄弟はヨーロッパでの伝道を終えて帰還したばかりで、家族を伴って再び過酷な環境に身を投じることにあまり乗り気ではなかった。しかし彼は召しを受け入れ、1864年6月にベアレク盆地に到着した。ところがその年の冬はことのほか寒さが厳しく、春を迎えるまでに何人かの兄弟たちがその地を去ることを決意するほどであった。リッチ兄弟もベアレク盆地での厳寒の生活は安易なものではないことを自覚したが、次のように語っている。

35. 『これまで幾多の困難がありました。それは認めます。……わたしたちはその中で助け合ってきました。でも、どこかほかへ行くと言うのであれば、それは皆さんの権利です。その権利をわたしは奪いたくはありません。……でも、独りになったとしても

わたしはここに残らなければなりません。ヤング大管長がわたしをここに召したからです。わたしは彼が解任するまで、ここを去るように言うまで、ここにとどまろうと思います。』リッチ兄弟と家族はその地にとどまり、彼はそれからの数十年間、急速な発展を遂げたその町の指導者として活躍したのである。〔レオナード・J・アrinton, Charles C. Rich (1974年), 264参照〕ほかの何千人の人々と同様、彼も主の王国の建設のために主の指導者に喜んで従ったのであった。』（『わたしたちの受け継ぎ』78 - 80参照）

## 読み物を理解する

### 入植の召し

入植（小見出し）	新しい町	地（段落32）	土地
を築くこと		水車小屋（段落32）	水車小屋で穀物をひいて粉を作った
根ざした（段落31）	……の結果として起こった	逆境（段落33）	困難
物質的な安楽（段落31）	喜びや幸福を大きくしてくれる所有物		

## インディアンとの関係

36. 「開拓者たちは開拓の手を広げていくうちに、インディアンと接触するようになった。ほかの西部への移住者の場合と異なり、ブリガム・ヤングは土着の兄弟姉妹であるインディアンに食物を与え、教会に導き入れるように教えた。こうして、インディアンへの伝道活動がアイダホ準州のサーモンリバー地区のフォート・レムハイとユタ準州のコロラド北部にあるエルクマウンテンで行われた。またヤング大管長は、扶助協会を組織し、インディアンの兄弟姉妹のために衣服を縫わせ、食糧供給のための基金獲得活動を行った。



37. 教会員ではないが聖徒たちの偉大な友人の一人であるトーマス・L・ケインの妻、エリザベス・ケインは、ユタを旅していたときにある末日聖徒の女性（この女性は、大変疲れている様子だった）の家に泊まった。エリザベスはこの女性についてあまり気に留めなかったのだが、彼女のインディアンへの接し方を見たとき、自分の目を疑った。彼女は食事ができたことを自分だけでなく、待っていたインディアンにも彼らの言葉で知らせたのである。エリザベスが何と言ったのか尋ねると、その家の息子がこう答えた。『この方々が最初に来ました。料理はこの方々の分しかありません。でもあなたがたの料理は今作っているところですから、できたら呼びますよ。』エリザベスにはとても信じられな

った。そして、彼女がほんとうにインディアンに食物を与えているのか尋ねた。すると息子が言った。『母はあなたにごちそうするのと同じように彼らにもごちそうします。それもテーブルで。』確かに彼女は彼らをテーブルに着かせ、彼らが食事をしている間給仕をしたのである。〔エリザベス・ウッド・ケイン, *Twelve Mormon Homes Visited in Succession on a Journey through Utah to Arizona* (1974年), 65 - 66参照〕』（『わたしたちの受け継ぎ』80 - 81参照）

## 読み物を理解する

### インディアンとの関係

開拓の手を広げ（段落36）	大変疲れている（段落37）
荒れ野へ	疲れ切った

## 神権組織と補助組織の確立

38. 「ブリガム・ヤング大管長は晩年、ある重要な神権の任務について明らかにし、それを確立した。十二使徒に命じて、すべてのステークにおいて大会を開催させたのである。その結果、ユタ全体で7つのステークと140のワードが新たに設立された。そしてステーク会長会、高等評議会、監督会、定員会会長会の職務が明確に定義され、これらの職務を遂行するために何百人もの男性が召された。ブリガム・ヤングは教会員に対して、生活を整え、<sup>じゅうぶん</sup>十分な一や断食献金、その他のささげ物を納めるように勧告している。

39. 1867年、預言者ブリガム・ヤングはジョージ・Q・キャノンを中心日曜学校会長に任命し、それから数年のうちに日曜学校は教会の常設組織となった。また1869年、ヤング大管長は娘たちに質素な生活をするように指示し、1870年には俟約協会を組織することによりこれを教会のすべての若い女性に適用した。若い女性の組織の始まりである。1877年、ヤング大管長はユタ州オグデンに赴き、初めてのステーク扶助協会を設立した。』（『わたしたちの受け継ぎ』81）

## 読み物を理解する

### 神権組織と補助組織の確立

補助組織（小見出し）	神権	会長（段落39）	指導者
の指導を受ける組織、日曜学校や扶助協会など		質素な（段落39）	つつまし
明らかにし（段落38）	さら	い、無駄を省いた	
に情報を与えて			

## カリフォルニアのゴールドラッシュはソルトレーク盆地の聖徒たちにどのような影響を与えたか



1848年カリフォルニアで金が見つかったとき、信仰の篤い者にとってそれは祝福となりましたが、信仰の弱い者にとっては誘惑となりました。東部から金を探しに来た人々が洪水のように大平原を横断し、ソルトレー

ク盆地を通過して行きました。盆地での過酷な状態に嫌気がさした一部の教会員は荷物を馬車に積んで、立ち去る準備をしていました。ブリガム・ヤング大管長はこのように勧告しました。「神はこの場所を聖徒の集合地として指定されました。金鉱を探しに行くよりも、ここでやっていく方が良い結果を得られるでしょう。……金銀や地の鉱物が豊かに埋蔵されている地について言えば、ここよりすばらしい国はありません。けれども、それには手をつけないうでおきましょう。ほかの人々に探させたらよいのです。わたしたちは土地を耕します。」(ブラウン, *Giant of the Lord*, 132 - 133) 一部の者たちはカリフォルニアへ向かいましたが、ほとんどの人は残って誠実に働き、その年に豊かな収穫を手に入れました。

1849年の有名なゴールドラッシュはソルトレーク盆地に住んでいた聖徒たちにとって直接的な祝福となりました。カリフォルニアまで商品を運ぶ商人たちはソルトレーク・シティーに到着したときに、船で運ばれた食料や衣料、工具がすでに市場に着いていることを知ったため、非常に安い価格で聖徒たちに売り払ったのでした。また、金を掘り当てに行く人たちは馬車の修理を聖徒たちに依頼しました。さらに、荷物を軽くして金鉱へ早く着きたいために、品物を道端に置き去りにして行った人々が大勢いました。それらを集めるためにソルトレークから幾つもの空の荷馬車が出て行きました。

## 読み物を研究する

「ブリガム・ヤング大管長」を読みながら、次の活動(A-D)のうち3つを行ってください。

### A 新しい祖国

- 新しい祖国を築くために、自分が民を導く立場にあると仮定してください。ノートに標題として「わたしが実行する順序」と書いて、あなたが実行する順に、次に挙げる事項を書き出してください。
  - 民に与えるために土地を分割する
  - 特別な問題を克服できるように断食して祈る
  - 穀物を植える
  - 向上を目指して熱心に働く
  - 神殿用地を決める
  - 教会を組織する
  - 靈感に基づいて将来の計画を決める
- 段落1 - 11を復習してください。次に、「開拓者が実行した順序」という標題を書いて、その下にブリガム・ヤング大管長と聖徒たちがソルトレーク・シティーに到着した直後の数か月間に実行した順序で同じ事項を書き出してください。
- 開拓者たちが実行した順序について印象に残ったことを書いてください。
- この模範はあなたの生活で優先順位を決める際に、どう応用できますか。

### B 賛美歌に関連した物語を見つける

- 段落20と22の賛美歌「国を造りたる」の歌詞をよく読んでください。

- ノートに以下の言葉を書いてください。次に「ブリガム・ヤング大管長」の読み物から、それぞれの言葉に当てはまる例を見つけて、その物語を1文にまとめてそれぞれの語句の横に書いてください。

- 国を造りたる人々の足跡
- 国の果てまで
- 働き進めた
- 奉仕
- 愛
- 勇気
- 祝福された開拓者たち

### C 地図を作る

- 簡単な世界地図をノートに描いてください。その地図上で、ブリガム・ヤング大管長が宣教師を派遣した国にすべて印を付けてください(段落23 - 29参照)。
- 次の質問に答えてください。
  - あなたはこれらの国の中で、どの国へ行って伝道したいと思いますか。それはなぜですか。
  - 当時、遠い国での伝道に召された人々の子供たちの生活は、どんな影響を受けたと思いますか。
  - 主があなたに求められた務め(教会の召しなど)の中で、最もつらいものは何でしたか。あなたはその経験を通してどんなふうに成長しましたか。

### D 物語を書く

ブリガム・ヤング大管長は、大勢の教会員にいろいろな地域に入植するよう求めました。それらの地域は、現在ユタ州やその周辺の州となっています。段落30 - 35を読んでから、次のことを行ってください。

- 新しい入植地を築くために召された人々の名前を書き出してください。難しい割り当てを堪え忍んだその人たちの特質を最もよく表していると思う言葉を、名前の横に書いてください。
- 174ページにある丸太造りの家の前に立つ家族の絵を見てください。自分がその家族の一員であると仮定して、ブリガム・ヤング大管長からそこへ入植するよう求められたときの気持ちを表す短い物語を書いてください。

## ブリガム・ヤング大管長の遺産 末日のモーセ

副管長を務めたジョージ・Q・キャノン長老はブリガム・ヤング大管長についてこのように述べました。「ヤング大管長の説教を手にとって読んでください。もし、彼が預言者であることを今



信じていなくても、説教を読んだら、確かに彼が預言者だったことが分かるでしょう。なぜなら、ヤング大管長はこの民の将来について預言者として語ったからです。また、大管長の言葉は神の知恵で満たされており、彼は生涯を通じて絶えずそうした言葉を注ぎ出していたからです。」(Gospel Truth, 第1巻, 328)

## ブリガム・ヤング大管長の死去と遺産

1. 「ヤング大管長は指導者として非常に現実的でエネルギー豊富な人物だった。彼は教会の入植地を巡り、聖徒たちに指示と励ましを与えて、指導と模範を通して、教会員に教会の召しを果たすように教えた。

2. ヤング大管長は、ニューヨークのある新聞編集者の質問に答えて、自らの人生を振り返り、こう書いている。

3. 『わたしの過去26年の働きを短くまとめるとこうなります。ユタ準州への約10万人の末日聖徒の移住、民による200以上の町や村の建設、……町や村の発展のために設立した学校や製造工場、製粉所、研究所です。……

4. わたしは全生涯を全能者である神への奉仕にささげてきました。』(ヒンクレー『回復された真理』127 - 128で引用)

5. 1876年9月、ブリガム・ヤング大管長は救い主について力強い証を述べている。『わたしはイエスがキリストであられ、世の救い主、贖い主であられることを証します。わたしは主の御言葉に従うことにより主の約束を実現してきました。主についてわたしが得ている知識は、この世の知恵から学びとることはできませんし、この世の知恵に滅ぼされることもありません。』(Journal of Discourses, 第18巻, 233)



6. 1877年8月、ヤング大管長は重病に倒れ、医師の治療にもかかわらず、1週間を経ずにこの世を去った。76歳であった。彼が教会を導いた期間は33年に及ぶ。今日わたしたちがヤング大管長について抱くイメージは、近代のイスラエルを約束の地に導いたダイナミックな預言者である。彼の説教は日常生活のあらゆる場面にかかわるものであり、宗教は毎日の経験の一部であることを明確にするものであった。ヤング大管長は開拓について豊かな知識を持ち、人の心を大切に指導を行った。その結果、一見不可能に思えることを達成するように民を励まし、荒れ野に王国を造るという天の祝福をもたらすことができたのである。』(『わたしたちの受け継ぎ』81 - 82参照)

## 読み物を理解する



ブリガム・ヤング大管長の遺産

ダイナミックな(段落6) 積  
極的に次々と成し遂げる, 力強い

## ブリガム・ヤングの教えと証

7. ヤング大管長はマタイ5:48を引用して次のように語りました。「わたしたちはこの聖句の言葉を少し言い換えて、次のように言うことができます。『あなたがたは可能なかぎり完全な者となりなさい。』その理由は、それがわたしたちにできるすべてだからです。確かに、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさいと書かれてはいますが。……自分自身で理解できるかぎり最善を尽くしているならば、……わたしたちは……神の御座の前にいる天使たちと同じように、義とされるのです。」(Discourses of Brigham Young, 89)



8. 預言者ジョセフ・スミスが亡くなって3年が過ぎようとしていたところに、ブリガム・ヤングは夢すなわち示現でジョセフに会いました。ヤング大管長はジョセフに、教会員に対して何か伝えることがあるかと尋ねました。「ジョセフはわたしに歩み寄ると、大変熱意を込めて、それでいて快活な調子で、次のように言ったのです。『謙遜で忠実であり、主の御霊を常に伴侶とするように兄弟たちに教えてください。そうすれば、道を誤ることはないでしょう。静かな細い声を聞き逃さないように注意してください。その声は何をすべきか、またどこへ行くべきかを教えてくれるでしょう。……主の御霊はそのほかの霊と区別することができます。御霊は心に小さな声で平安と喜びを告げるでしょう。すると、悪意や憎悪、争いなどすべての悪が心から消え、善を行うこと、義を生み出すこと、神の王国を建設することだけを心から望むようになるでしょう。』」(Manuscript History of Brigham Young, 1846 - 1847, エルデン・J・ワトソン編 [1971年], 529)

9. 「わたしが教会員について抱いている最も大きな恐れは、彼らがこの国で富を得、神と神の民を忘れ、肥え太り、自ら教会を飛び出して地獄へ落ちることです。教会員は暴徒にも強奪にも、貧困にも、その他のあらゆる迫害にも耐え、忠実であり続けることができるでしょう。しかし、わたしが何よりも恐れるのは、教会員が富に耐えることができなくなるということです。」(キンボ



ール『救しの奇跡』53で引用)

10. 「祈りをささげたいかどうにかかわりなく、祈るべき時が来たら、祈りなさい。もし祈る気分でなければ、祈りたくなくなるまで祈りなさい。……御霊が祈るように促すまで祈らない人は、結局この世にいた間それほど祈らなかつたということになるでしょう。」(Discourses of Brigham Young, 44)

11. 「兄弟姉妹、皆さんは自分自身が1,000年、2,000年、あるいは5,000年前に聖文を書いているような気持ちで聖文を読んでいますか。当時記録を書いた人の身になって読んでいますか。今そのような気持ちで読めなくても、皆さんにはそのような気持ちで聖文を読む特権があるのです。そうすることによって、皆さんが今の時代の日常生活や会話を理解しているのと同じように、記録として残っている神の言葉の精神と意味をよく理解できるようになるでしょう。」(Discourses of Brigham Young, 128)

12. 「わたしは、この民が指導者をあまりにも信頼しすぎて、自分たちが神によって導かれているかどうかを、民が自分で尋ねようとしなくなることを、ことのほか憂慮しています。わたしが恐れているのは、この民が盲目的な安心感に陥り、むやみに信じて、自らの永遠の行く末を指導者の手にゆだねてしまうことです。このような安心感は、聖徒たちの救いに関する神の目的をくじいてしまいます。自分が正しい道に導かれていることを、個人的な啓示によって知っていたならば、会員たちは今よりもはるかに指導者を支持し、指導者によい影響を与えていたことでしょう。」(Discourses of Brigham Young, 135)

13. 「人々はなぜ背教するのでしょうか。御存じのようにわたしたちは『シオン号』に乗って航海しています。わたしたちは大海の上にあります。嵐がやって来て、水夫がこの嵐を乗り切るのには難しいと言うと、ある人は『この船に乗ってたくない』『この船は「シオン号」ではない』と言い出します。『けれどもわたしたちは今海の上にいるんですよ』と答えても、『そんなことはどうでもいい。とにかくこの船に乗ってたくないんだ』と言って、彼は海の中に飛び込んでしまいました。彼はおぼれはしないでしょいか。きっとおぼれることでしょいか。この教会を離れた人も同じ目に遭います。教会は『シオン号』です。途中で船から降りたりしないで乗り続けようではありませんか。』(『歴代大管長の教え　ブリガム・ヤング』91参照)

14. 「自分は預言者ジョセフ・スミスを長年知っているのだと思うと、一日中でもハレルヤと叫びたい気持ちになります。ジョセフ・スミスは主が引き上げて聖任された預言者であり、地上における神の王国を築いて維持する鍵と力を主がお与えになった預言者なのです。……」(『歴代大管長の教え　ブリガム・ヤング』108参照)

15. 「ジョセフ・スミスを正当に非難できる人がいるでしょうか。わたしはだれにも増してジョセフを知っています。ジョセフの両親でさえわたしほどは彼のことを知らないだろうと思います。この地上に生を受けている人の中で、わたし以上に彼のことを知っている人はいません。わたしは声を大にしてこう言いました。イエス・キリストを除いてジョセフ・スミスほど立派な人物は存在しなかつたし、これからも存在することはありません。わたしは彼の証人なのです。」(Discourses of Brigham Young, 458 - 459)

16. 「大管長、使徒、そして長老として、主が命じられた業を行い、主が与えられた勸告に従おうではありませんか。そうすれば王国は前進し、強くなり、重要になり、膨大になり、知恵や英

知や栄光が増し加わります。そして、心配する必要がなくなるのです。なぜならば、この王国は主なる神が築かれた王国であり、その始まりから今日まで、比類ない知恵と力によって神が支えてこられたのですから。」(Discourses of Brigham Young, 148)

## 読み物を理解する

### ブリガム・ヤング大管長の遺産

言い換える(段落7)	変える	盲目的な安心感(段落12)
義とされる(段落7)	正しい者とされる	すべてはこれでよいのだと、よく考えもしないで信じること
悪意(段落8)	人が苦しむ様子を見たいという欲望	むやみに信じて(段落12)
争い(段落8)	言葉の争い	その立場にあるという理由だけで指導者を信用すること
肥え太り(段落9)	財産があることで高慢になる	くじいて(段落12)
促す(段落10)	行うように言われる	膨大(段落16)
		大きく

## 読み物を研究する

「ブリガム・ヤングの遺産」を読みながら、次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A　ブリガム・ヤングに関する質問

段落1-6とブリガム・ヤングの生涯と彼が教会を管理した時期の表(170ページ)に記されている情報を基にして、以下の質問に答えてください。



1. 使徒に聖任されたとき、ブリガム・ヤングは何歳でしたか。そのとき、教会員になって何年が過ぎていたでしょうか。
2. 預言者ジョセフ・スミスがリバティーの監獄に捕らわれていた間、ブリガム・ヤングは何をしていたでしょうか(教義と聖約121章の前書き参照)。
3. ブリガム・ヤングが教会を管理していた時代に始まったことで、あなたやあなたの家族が受けている祝福を5つ書き出してください。

### B　あなた自身の言葉で

1. 段落7, 9, 13 - 16から3つの段落を選んで、自分の言葉で書いてください。
2. あなたが書いた段落の後に、その教えのおかげで助けが得られる疑問や問題を書いてください。例えば、段落10の教えによって、祈りたくないと思っている人は助けを得ることができます。

### C　言葉を比較する

1. 以下の聖句を読んでから、ノートに欄を作ってその聖句の箇

所を書き出してください。ダニエル2：44 - 45；マタイ5：48；2ニーファイ32：8 - 9；アルマ24：30；教義と聖約11：12 - 14。


2. 段落7 - 8, 10, 13, 16を復習してください。1でノートに書いた聖句の隣に、その聖句と最も関係のある段落の番号を記入してください。



## ジョン・テラー大管長 自由の擁護者

ブリガム・ヤング大管長が死亡した直後の数十年間に、聖徒は多くの問題に直面しました。合衆国政府は、多くの政治・宗教改革団体の支援を受けて多妻結婚を禁止する法律を成立させました。こうして、改革団体がメディアを使って教会に激しく反対する中、多妻結婚を禁止する法律が1875年に施行されました。政府関係者から激しい迫害を受けたにもかかわらず、教会はジョン・テラー大管長という有能な指導者のもと、発展を続けました。

### ジョン・テラーの生涯 (1808 - 1887年)

1808年	11月1日、イギリスのミルンソープでジェームズ・テラーとアグネス・テラーの間に生まれる	
1833年	24歳。1月28日、レオノーラ・キャンノンと結婚。レオノーラは1868年に死去	
1836年	27歳。5月9日、カナダ、オンタリオ州ジョージタウンのブラッククリークでレオノーラとともにバプテスマを受ける	
1838年	30歳。12月19日、ブリガム・ヤングとヒーバー・C・キンボールにより使徒に聖任される	
1839 - 1841年	31 - 32歳。イギリスで伝道する	
1844年	35歳。6月27日、預言者ジョセフ・スミスとハイラム・スミスがカーセージの監獄で殺害されたとき、重傷を負う	
1846 - 1847年	37 - 38歳。イギリスで2度目の伝道を行う	
1849 - 1852年	40 - 43歳。フランスとドイツで伝道する。フランス語とドイツ語のモルモン書を出版する	
1854 - 1857年	45 - 48歳。東部諸州伝道部を管理する	
1877年	68歳。8月29日のブリガム・ヤング大管長の死去により十二使徒定員会会長として教会を導く	
1880年	71歳。10月10日、大管長として支持される。ジョージ・Q・キャンノン長老とジョセフ・F・	

スミス長老を副管長として召す  
1887年 78歳。7月25日、7年近く大管長を務めた後ユタ州ケイスビルで死去

### ジョン・テラー大管長が教会を管理した時期 (1877 - 1887年)

1878年 初等協会（プライマリー）が組織される  
1880年 高価な真珠が聖典として受け入れられる  
1884年 ユタ州ローガン神殿を奉献する  
1886 - 1887年 メキシコとカナダに定住するため多くの教会員が送られる

## ジョン・テラー大管長について

1. 「ブリガム・ヤング大管長の死後、末日聖徒を3年間導いたのは、ジョン・テラーを会長とする十二使徒定員会であった。そして1880年10月10日、ジョン・テラーが大管長として支持された。テラー大管長は才能豊かな作家でありジャーナリストであって、贖罪<sup>しよくざい</sup>についての本を著し、『タイムズ・アンド・シーズンズ』(Times and Seasons)や『モルモン』(Mormon)などの教会の刊行物の編集も行った。また、しばしば勇敢<sup>ゆうかん</sup>さを示し、回復された福音への深い愛情を示した。自らカーセージの監獄の兄弟たちに加わり、4度銃撃を受けたこともその一例である。彼のモットーは、『神の王国がそれとも無か』であった。これは神と教会への彼の忠誠心を表明するものである。』(『わたしたちの受け継ぎ』83参照)

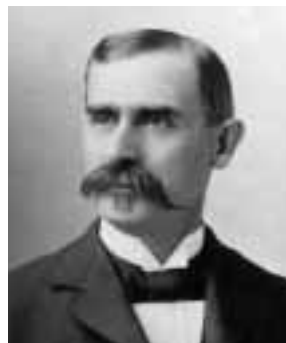
## 読み物を理解する

### ジョン・テラー大管長について

刊行物（段落1） 定期的に出 示す  
版される機関誌や新聞

## 伝道活動

2. 「テラー大管長は、全力を尽くして福音を地の果てまで宣べ伝えようとしていた。1879年10月の総大会で、大管長は新たに使徒に召されたばかりのモーゼス・サッチャーを召し、メキシコ



のメキシコシティーで伝道を始めた。サッチャー長老とほかの二人の宣教師は1879年11月13日、プロチノ・C・ロダカナティー博士を支部長とする教会の最初の支部をメキシコシティーに組織した。ロダカナティー博士はスペイン語のモルモン書のパンフレットを読んで、手紙でテラー大管長に教会についての情報を請求し、その後改宗した人物である。

3. 12人の教会員と3人の宣教師を核に、回復された福音は徐々にメキシコの人々の間に広がっていった。1881年4月6日、サッチ

チャー長老、フェラモルツ・ヤング、そしてパイス兄弟が1万5,500フィート（約4,724メートル）のポパカテペテル山に登り、短い奉獻の儀式を行った。サッチャー長老は主の前にひざまずき、メキシコの地を、またその民を、真の羊飼いである主の声を聞くように奉獻したのであった。

4. ソルトレーク・シティーに戻ったサッチャー長老は、メキシコに宣教師をもっと送るよう提案し、間もなく、後に大管長会の一員となるアンソニー・W・アイピンスを含む数名の若者がメキシコ・シティーで働くこととなった。そして、メキシコ伝道部での成果の一つとして、1886年にスペイン語版のモルモン書が出版された。モルモン書をはじめとする教会出版物の翻訳で大切な役割を果たしたミルトン・トリーヨの話は、主がいかにその業を導かれたかを示している。

5. ミルトン・トリーヨはスペインで生まれ、宗教を持たないまま成長した。軍務でフィリピンに赴任したが、そこでロッキー山中のモルモンの話を聞いて非常に興味を持ち、ぜひともユタを訪れたいと思うようになった。後に重い病気を患い、夢の中で、ユタを訪れなければならないという声を聞いた。快復した後、ソルトレーク・シティーに行きプリガム・ヤングと会い、福音を学んだ。そして真理を見いだしたと確信し、教会の会員となる。その後メキシコで伝道し、伝道を通して偉大な務めのために霊的にも知的にも備えられたのであった。その偉大な務めとは、スペイン語を話す人々がモルモン書を自国語で読めるようにするというものである。



6. テーラー大管長は、アメリカ西部に住むインディアンに福音を宣べ伝えるためにも宣教師を派遣した。中でも、ワイオミングのウィンドリバー保留地に住むショショーニ族に伝道したエモス・ライトの成果は大きかった。わずか数か月の伝道で、ライトは部族の長ワシャキーを含め300人以上にバプテスマを施した。末日聖徒の宣教師はナバホ族やプエブロ族、それにアリゾナやニューメキシコに住むズーニー族にも福音を携えて行った。ウィルフォード・ウッドラフはホビ族やアパッチ族、ズーニー族などの中で1年間伝道をしている。アンモン・M・テニーはズーニー族の100人以上のバプテスマに貢献した。

7. またイギリスやヨーロッパでも引き続き福音が教えられた。1883年、ユタ州リーハイに住んでいたドイツ生まれのトーマス・ビージンガーがヨーロッパ伝道部への召しを受けた。彼とポール・ハマーはチェコスロバキアのプラハに派遣され、次いでオーストリア・ハンガリー帝国に送られた。伝道活動が法律で禁じられていたため、伝道の糸口は会う人々との世間話だった。この会話がしばしば宗教の話に発展するのである。このような活動を始

めてわずか1か月のところで、ビージンガー長老は逮捕され、2か月間拘留された。拘留が解かれると、アントニン・ジャストにバプテスマを施すという祝福を受けた。アントニン・ジャストは逮捕のきっかけとなった告発をした人物である。こうしてジャスト兄弟は、チェコスロバキアに住む初めての末日聖徒となった。〔カーリル・メアー, “Enduring Believers: Czechoslovakia and the LDS Church, 1884 - 1990,” *Journal of Mormon History* (1992年秋号), 112 - 113参照〕



8. 福音の伝道はポリネシアでも行われた。1862年、二人のハワイ人の長老、キモ・ペリオとサミュエラ・マノアがサモアに派遣された。二人は50人にバプテスマを施し、マノア長老は以後25年間、改宗者とともにサモアに残った。1887年、ユタ州ソルトレーク・シティーのジョセフ・H・ディーンがサモアでの伝道に召された。マノア長老と彼の忠実な妻は自宅を開放してディーン長老と妻フローレンスを迎えた。サモアの外から来る末日聖徒には20年以上会っていなかった。ディーン長老は間もなく14人にバプテスマを施し、1か月後には初めてサモア語で説教を行った。〔R・ラニアー・ブリッシュ, *Unto the Islands of the Sea: A History of the Latter-day Saints in the Pacific* (1986年), 352 - 354参照) このようにして、サモアでの新たな伝道の業が始まった。

9. 1866年、ハワイ政府はハンセン病の広がりを阻止するために、患者をモロカイ島のカラウパバ半島に隔離した。1873年、末日聖徒であったジョナサン・ナペラとキティー・ナペラがその地へ追いやられた。ハンセン病にかかっていたのはキティーだけで、ジョナサンは健康だったが、二人はソルトレークのエンダウメントハウスで結び固めを受けており、妻だけをカラウパバに住まわせるのを拒んだのである。後にジョナサンはハンセン病にかかり、9年後に親友が訪れたときには顔が本人と分らないほどになっていたという。ジョナサンはしばらくの間カラウパバ半島の聖徒たちを管理し、1900年には会員数が200人を超えていた。教会の指導者はこの病気に見舞われ肉体をむしばまれていった忠実な教会員のことを忘れることなく、支部を訪問して聖徒の霊的な必要を満たした。〔リー・G・キャントウェル, “The Separating Sickness,” *This People* (1995年夏号), 58参照) (『わたしたちの受け継ぎ』83 - 86参照)

## 読み物を理解する

### 伝道活動

核(段落3) グループの中心、告発(段落7) 不正や悪を暴露  
主要部 いて世に知らせること  
糸口(段落7) 始まり

ハンセン病（段落9） 重い皮 ； むしばまれて（段落9） 損な  
 膚の病氣 ； われて  
 追いやられた（段落9） 強制  
 的に送られた

## ヨベルの大会

10. 「1880年4月6日，教会員は教会設立50周年を祝った。その年はヨベルの年と呼ばれた。古代イスラエルの民が50年の節目をそう呼んだことに倣ったのである。テラー大管長は貧しい教会員が抱える教会への債務の多くを免除し，さらに教会は300頭の牛と2,000頭の羊を『困窮者と見なされた』人々に分け与えた。〔ロバーツ，*Comprehensive History of the Church*，第5巻，592参照〕また教会の扶助協会の姉妹たちは，貧しい人々のために3万5,000ブッシェルの小麦（約945トン）を寄付している。またテラー大管長は，個人間の債務についても，特に困窮者の分は免除するように強く勧めた。『今はヨベルの時です』と彼は宣言した。〔ロバーツ，*Comprehensive History of the Church*，第5巻，593〕こうして，聖徒たちの間に赦しの精神と喜びが満ちあふれたのであった。

11. 1880年4月のヨベルの総大会の最終日は非常に感動的なものであった。最終セッションで十二使徒の中の11人が証を述べた。十二使徒定員会の創設メンバーであるオーソン・ブラットは，ニューヨーク州フェイエットのピーター・ホイットマー・シニアの農場で教会員が一堂に会したときのことを話した。末日聖徒の試練や集合，迫害，苦難について回想し，自分がまだ『この民の中に数えられる』ことに感謝を述べた。そして『過去50年にわたり主なる神が行われた偉大な業について』証を述べている。〔ロバーツ，*Comprehensive History of the Church*，第5巻，590 - 591〕当時ブラット長老は余命数か月という状態であったが，忠実な末日聖徒として最後まで堪え忍んだことに喜びを表した。



オーソン・ブラット



12. このヨベルの年の2年前，ジョン・テラー大管長は子供たちに宗教教育を提供する組織の設立を承認した。この初等協会の最初の集会が行われたのは，ソルトレーク・シティーから15マイル（約24キロ）北のユタ州ファーマントンで，1880年代中ごろまでに末日聖徒のほとんどすべての入植地で初等協会が組織されるようになった。現在，初等協会は全世界の数百万の子供たちを擁するまでに成長し，子供たちは福音の学習や音楽，ほかの子供たちとの交流などを通じて毎週喜びを共にしている。』（『わたしたちの受け継ぎ』86 - 87参照）

## 読み物を理解する



### ヨベルの大会

感動的な（段落11） 心を動 ； 交流（段落12） 友情  
 かす

### 迫害は続く

13. 「1830年代の初期，聖書の翻訳に取り組んでいたジョセフ・スミスは，アブラハムやヤコブ，ダビデなどの旧約聖書の指導者が複数の妻を持っていたことに違和感を覚えていた。そこで預言者ジョセフは理解を求めて祈った末，ある特定の時期には特別の目的のために，神の律法にのっとり，多妻結婚が神により承認され行われていたことを理解した。さらにジョセフ・スミスは，神の承認により程なく末日聖徒の中にも複数の妻を持つようになる人々が神権の権能を持つ者から選ばれることになると知った。ノーブーでは多妻結婚した末日聖徒は多数いたが，この教義を公にして実施したのは，1852年8月になってソルトレーク・シティーで開かれた総大会においてである。その大会でオーソン・ブラットは，プリガム・ヤング大管長の指示により，男性が複数の妻を持つ慣習は主の万物更新（使徒3：19 - 21参照）の一つであることを発表した。

14. アメリカの宗教界や政界の指導者の多くは，ユタに住む末日聖徒が不道徳で非キリスト教的と思われる結婚制度を教会員に奨励していることを知り，極度に腹を立てた。こうして，教会と教会員に対する迫害が始まる。また合衆国議会は末日聖徒の自由を制限する議案を通過させた。このことが教会を経済的な苦境に追い込むことになる。この議案の通過により，当局は最終的に複数の妻を持つ男性の逮捕と拘留，選挙権の剥奪，プライバシーの侵害，公民としての言動や集会などの自由の否定という行動に出ることになるのである。こうして，数百人の忠実な末日聖徒の男性ならびに少数の女性は，ユタ，アイダホ，アリゾナ，ネブラスカ，ミシガン，サウスダコタの刑務所で刑期を送った。



15. 迫害はまた，福音を宣べ伝える召しを受けた大勢の人々に，特に合衆国南部においてその激しさを増していった。例えば，1878年7月，ジョセフ・スタンディング長老はジョージア州ロームで伝道していたところを，なぶり殺しにされた。同僚で後に使徒に召されるラドガー・クローソンは何とか死を免れている。ソルトレーク・シティーの聖徒たちはスタンディング長老の死に深く心を動かされ，ソルトレーク・タバナクルで行われた葬儀には数千もの人々が参列した。

16. 教会のイメージアップのためにテネシーの全域を巡った人々がいた。ジョン・ギブス、ウィリアム・ベリー、ウィリアム・ジョーンズ、ヘンリー・トンプソンの各長老である。1884年8月、4人はテネシーのケインクリーク近くのジェームズ・コンドールの家に滞在していた。安息日の朝のことである。ギブス長老がその日の説教を準備するために聖文を研究していると、暴徒が森からなだれ込んで来て、銃を乱射した。そして、ギブス長老とベリー長老が死んだ。ギブス長老は教員で、妻と3人の子供を残しての死であった。ギブス姉妹はそれから43年間独身を通し、子供たちを育てるために助産婦として働いた。彼女は夫との喜びの再会を待ち望みながら福音に忠実に生活した。この殺人事件のときに伝道部長代理を務めていたブリガム・ヘンリー・ロバーツは、危険を承知で変装をしてギブスとベリーの遺体を掘り起こし、ユタに運んだ。ユタではたくさんのワードで二人をたたえる追悼の集会が開かれた。

17. また、ほかの地域では宣教師が血を流すまでに鞭で打たれた。多くの者はその傷跡が死ぬまで消えることがなかった。この時代は教会員にとってつらい時代であった。

18. 教会指導者の多くは当局による一夫多妻実行者の逮捕を避けて姿を隠した。家族は真夜中に捜索にやって来る当局の役人に恐怖心を抱く毎日だった。ジョージ・Q・キャンノン、ロレンゾ・スノー、ラドガー・クラウソン、ブリガム・ヘンリー・ロバーツ、ジョージ・レイノルズ、その他大勢の指導者は投獄され、本を書いたり、ほかの受刑者に読み書きや計算などを教えたり、家族に手紙を書いたりして時を過ごした。ジョン・テラー大管長はソルトレーク・シティーの北20マイル（約30キロ）のケイズビルでの逃亡生活を余儀なくされ、1887年7月25日に世を去った。イエス・キリストに対する証と地上における神の王国の確立に尽くした信仰と勇気の人であった。」（『わたしたちの受け継ぎ』87 - 89参照）

祝福を求める精神を培う祈りです。」( *Journal of Discourses* , 第21巻, 118 )

20. 「もし自分の召しを尊んで大いなるものとしなければ、務めを果たしていれば救えたかもしれない人について、あなたは神から責任を問われるでしょう。」( *Journal of Discourses* , 第20巻, 23 )

21. 「将来、そう遠くない時期に、敵対する力を堪え忍ぶために、わたしたちは持っているすべての信仰、すべての力、すべての確信、神に寄せているすべての信頼を行使しなくてはならない時が来ます。……そのとき、自分の知能や富に頼ることはできません。……生ける神のみに信頼し、導きを求め、道を示していただき、教えていただかなければなりません。」( ジョセフ・フィールディング・スミス, *Essentials in Church History* , 第23版 [1969年], 479で引用 )

22. 「神の聖徒にとって、信仰に従って生活し、神の戒めを守ること以上に優れた道はありません。これを行わないと、物事はうまくいかなくなります。ほかのいかなる方法でもなく、ただ正しい方法によってのみ、ただ信仰に従って生活し、神の戒めを守ることによってのみ、『彼らの平安は川のようになり、彼らの義は海の波のようになる』のです。」( *Journal of Discourses* , 第26巻, 71 )

23. 「家族や友達の間で平安をもたらしたいと思うならば、まず自分の心の中でそれを養いなさい。本物の平安は正しい規則と神の権能にのっとり、その律法に従うことによってのみ手になることができるからです。」( *The Gospel Kingdom: Selections from the Writings and Discourses of John Taylor* , G・ホーマー・ダラム選 [1943年], 319 )

24. 「人は全能者の靈感を受けずに正しく語ることはできません。そして、人々は同じ御霊を受けていないと、正しく聞くことも、理解することもできません。」( *Gospel Kingdom* , 337 - 338 )

25. 1885年4月に送られた書簡の中で大管長会はこのように語りました。これは総大会中に読み上げられました。「わたしたちはこれまでに何度もしてきたように、末日聖徒と世界に向けて厳かに証します。すなわち神はシオンを確立されました。神の業は前進します。これに戦いを挑む者は滅ぼされます。」( ジェームズ・R・クラーク編, *Messages of the First Presidency of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints* , 全 6巻 [1965 - 1975年], 第3巻, 12 )



26. 「わたしはこの証を述べることを心から願っています。わたしの中には主の言葉が火のように燃え上がっています。あなたが求めているこれらの祝福を宣言することを熱望しています。これによって、神がこの終わりの時に世を救うために明らかにされた栄えあるおとずれをあなたがたとともに喜び合うようにするためです。」( B・H・ロバーツ, *The Life of John Taylor* [1963年], 78で引用 )

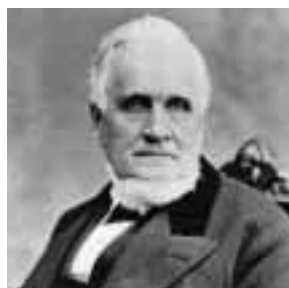
## 読み物を理解する



### 迫害は続く

更新 (段落13)	もとの状態に戻る	助産婦 (段落16)	出産を助ける女性
迫害 (段落14)	教会に反対する運動	掘り起こし (段落16)	墓から取り出す
制限 (段落14)	停止する	やって来る (段落18)	これは不法侵入であった
議案 (段落14)	法律	逃亡生活 (段落18)	身を隠していた
公民としての自由 (段落14)	法律によって保障された自由と基本的権利		

## ジョン・テラーの教えと証



19. 「家族で祈りをささげていますか。……皆さんは祈るとき、心を込めずに機械的に行っているのでしょうか。それとも、柔和な心と誠実な思いをもって、あなたや家族に神の祝福を求めて頭を垂れているのでしょうか。後者こそわたしたちの祈りです。神への献身と信頼を養い、自らを主にささげ、その

## 読み物を理解する



ジョン・テラーの教えと証

本物（段落23） 純粋な、本物の  
正しい（段落23） 正当な  
正しく（段落24） 正確に

### 大管長会の再組織における変更

ブリガム・ヤング大管長が亡くなると、十二使徒定員会は定員会会長であるジョン・テラーの指示のもとで教会を導きました。大管長会は再組織され、その後の1880年10月の総大会において支持されました。



テラー大管長が亡くなったとき、十二使徒定員会は再び、定員会会長であるウィルフォード・ウッドラフのもとで教会を導きました。そして2年後の1889年4月総大会において、大管長会が再組織されて、ウィルフォード・ウッドラフが大管長として支持されました。

ウッドラフ大管長は、亡くなる約6年前に、十二使徒定員会会長を務めていたロレンゾ・スノーと二人だけで会って、「感情と力を込めて」スノー会長に言いました。「あなたに必ず行ってほしい大切なお願いがあります。数か月前にセントジョージを訪れたとき、わたしは死にそうになりました。わたしは自分の命をコントロールできません。あとどれだけ生きられるか知りません。わたしが死んだら、スノー兄弟、あなたにお願いがあります。時間を置かずに、大管長会を組織してください。」ウッドラフ大管長はこれを啓示と考えてもらいたいとスノー会長に言いました。（“Memorandum in the Handwriting of President Lorenzo Snow,” *Elders’ Journal*, 1906年12月1日付, 110 - 111）

1898年9月2日にウッドラフ大管長が亡くなった後、ロレンゾ・スノー会長は神殿の廊下を歩いていました。そこへ救い主が現れました。主はスノー会長がウッドラフ大管長の跡を継ぐことを告げられ、「大管長が亡くなったこれまでの場合のように待つのではなく、すぐに大管長会を再組織するよう」指示されました（リロイ・C・スノー, “Remarkable Manifestation to Lorenzo Snow,” *Church News*, 1938年4月2日付, 8）。ウッドラフ大管長の葬儀が行われた翌日、使徒たちが集まって、ロレンゾ・スノーを大管長として支持しました。それ以来今日まで、新しい大管長は前任の大管長が亡くなってからすぐに支持を受けます。

## 読み物を研究する



「ジョン・テラー大管長」を読みながら、次の活動AとBのうち一つ、活動CとDのうち一つを行ってください。

### A ニュース記事を書く

1860年から1900年まで合衆国の政治団体と宗教団体は聖徒を迫害し、教会を破壊しようとしていました。しかし、こうした試練の間も伝道活動と神殿活動は進められたのです。「ジョン・テラー大管長」の読み物に基づいて、テラー大管長が管理した時代に教会が発展したことを説明する新聞記事を書いてください。記事の中に以下の質問に対する答えが入るようにしてください。

1. 伝道活動が新たに成功したのはどの国でしたか。
2. この時期に神殿に関してどんな業がなされたのでしょうか。
3. これから40年後に教会員数は何人くらいになると思いますか。
4. 人々はなぜ主の業の発展を妨げようとするのだと思いますか。

### B 喜びの理由

段落10 - 11を読んで、次のことを行ってください。

1. ジョン・テラー大管長がなぜ1880年を「ヨベルの年」としたか説明してください。
2. 1830年から1880年までの間に教会はどのように変化したか書き出してください。
3. 教会員が幸せだったことがどんなことから分かりますか。
4. あなたのこれまでの人生の中で、教会の発展を示す出来事を二つ挙げてください。そして、あなたがなぜ福音を喜びとしているかを説明してください。

### C ジョン・テラーの生涯と、彼が教会を管理した時期

1. 教義と聖約118 : 1, 6 ; 124 : 127 - 129 ; 135 : 前書き, 1 - 2 ; 138 : 53 - 56を調べて、それぞれの節からテラー大管長について学んだことを書き出してください。
2. テラー大管長の生涯と教会を管理した時期（179ページ）と、段落1, 12, 18に記されている情報を調べて、以下の質問に答えてください。
  - a. ジョン・テラーは何歳のときにバプテスマを受けましたか。カーセージの監獄で重傷を負ったときは何歳でしたか。ブリガム・ヤング大管長が亡くなったときは何歳でしたか。ジョン・テラー大管長は何歳で亡くなりましたか。
  - b. 初等協会が組織されたとき、ジョン・テラーは教会でどのような地位に就いていましたか。
  - c. 1880年10月の総大会で起きた二つの大切な出来事とは何ですか。

### D テラー大管長の模範に従う

段落19 - 26から、現在の教会員がジョン・テラー大管長の教えと助言、勧告に従うためにできることを段落ごとに挙げてください。

# ウィルフォード・ウッドラフ 大管長 宣言

ウィルフォード・ウッドラフ大管長が多妻結婚の廃止を宣言したとき、教会に対する政府の反対運動の多くに終止符が打たれました。ユタは州に昇格し、合衆国政府に議員を選出する権利を得ました。ソルトレーク神殿はついに完成し、奉獻されました。しかし、新聞の全国紙と地方紙は依然として反対運動を続け、教会と教会員の信用を失わせようとしていました。

## ウィルフォード・ウッドラフの生涯 (1807 - 1898年)

1807年	3月1日、コネティカット州エイボン（現在のファームントン）において、アフェック・ウッドラフとベウラ・トンプソン・ウッドラフの間に生まれる
1833年	26歳。12月31日、ニューヨーク州リッチランドに近い冷たい川でバプテスマを受ける
1834 - 1836年	27 - 29歳。合衆国南部で伝道する
1837年	30歳。4月13日、フィービー・カーターと結婚する。フィービーは1885年に死去
1837 - 1838年	30 - 31歳。合衆国東部とフォックス諸島で伝道する
1839年	32歳。4月26日、ブリガム・ヤングにより使徒に聖任される
1839 - 1841年	32 - 34歳。イギリスで伝道する
1843年	36歳。合衆国東部で伝道する
1844 - 1846年	36 - 39歳。ヨーロッパ伝道部の部長を務める
1847年	40歳。7月24日、ブリガム・ヤングとともにグレートソルトレーク盆地に入る
1887年	80歳。7月25日、ジョン・テラー大管長が死去した後、十二使徒定員会会長として教会を導く
1889年	82歳。4月7日、大管長として支持される。ジョージ・Q・キャノンとジョセフ・F・スミスを引き続き副管長として召す
1898年	91歳。9年間大管長を務めた後、9月2日カリフォルニア州サンフランシスコにおいて死去

## ウィルフォード・ウッドラフ大管長が教会を管理した時期 (1887 - 1898年)

1888年	5月17日、ユタ州マンタイで神殿を奉獻する
-------	-----------------------

1890年	「宣言」（公式の宣言）が教会に与えられる。週日の宗教教育クラスが発足する
1893年	ソルトレーク神殿を奉獻する
1894年	系図（家族歴史活動）と死者のための神殿の業を強調する
1896年	毎月の第1日曜日が教会の断食日となる

## ウィルフォード・ウッドラフ大管長について

1. 「ウィルフォード・ウッドラフは教会で最も成功を収めた宣教師の一人であり、その預言的な洞察力と教会への忠誠は有名である。彼は非常に詳細な日記をつけており、それが初期の教会の歴史を知る重要な手がかりになった。ジョン・テラー大管長の死去の際に十二使徒定員会会長を務めており、それから約2年後、大管長に支持された。

2. 彼の管理の時代、末日聖徒への政治的な排斥運動は激しさを増したものの、教会は発展を続けた。神殿はユタの3つの町、すなわちセントジョージ、ローガン、マンタイで運営され、ソルトレーク神殿も完成間近であった。これら主の宮の存在により、何千人もの聖徒たちがエンダウメントを受け、親族に当たる故人のために儀式を行うことができた。ウッドラフ大管長は、生涯にわたって神殿と家族歴史に関心の深かった人である。機会をとらえては聖徒たちに、先祖のために神殿で儀式を行うように勧告していた。

3. 次に述べる出来事は、聖徒たちが死者のために行っていた儀式の重要性を強調するものである。1884年5月、ローガン第2ワードのヘンリー・バラード監督が自宅で神殿推薦状のサインをしていたときのことである。ヘンリーの9歳になる娘が家の近くの歩道で友達と話していたところに二人連れの人老が現れた。二人は彼女に声をかけ、新聞を渡し、父親に見せるように言った。

4. 娘はそのとおりにした。バラード監督が見ると、それはイギリスで発行された『ニューベリー・ウィークリー・ニューズ』（Newbury Weekly News）で、そこにはバラード監督と父親の知人60人以上の名前が、系譜付きで掲載されていた。新聞の発刊日を見ると1884年5月15日で、印刷されてわずか3日後に受け取ったことになる。まだ飛行機はなく、郵便はイギリスからアメリカ西部まで数週間を要する時代であり、これは奇跡であった。

5. 翌日、バラード監督はその新聞を携えて神殿に行き、神殿長のマリナー・W・メルルにいきさつを話した。メルル神殿長はこう答えた。『バラード兄弟、幕のかなたのだから早く儀式を施してもらいたくて、あなたにこの新聞を渡せばすべてやってくれと考えたのでしょう。』（Melvin J. Ballard: Crusader for Righteousness (1966年), 16 - 17参照）この新聞は現在、ユタ州ソルトレーク・シティーの教会歴史図書館に保管されている。

6. 迫害にもかかわらず、教会指導者はアメリカ西部の未開の地域への入植を奨励し続けた。1885年初頭には多くの家族がメキシコのソノラとチワワに移住し、コロニア・ファレス、コロニア・ディアスなどの町を建設している。メキシコ北部のほかの地

域でも教会員の入植者を受け入れた。

7. 教会員は北方のカナダへも開拓の努力を傾けた。キャッシュユ盆地ステーキの会長であったチャールズ・O・カードは、1886年にアルバータ州南部に末日聖徒の町を開いた。1888年の冬までには100人以上の末日聖徒がカナダ西部に住むようになっていた。1890年代になるとさらに大勢の入植者を得て、灌漑設備の建設や鉄道の敷設が行われた。こうしてアルバータは、大勢の教会指導者の育つ場となった。』（『わたしたちの受け継ぎ』89 - 90参照）



たほかのすべての人もそこへ行かせたことでしょう。時が来て、それを行うように命じられたとき、わたしにはそれはすべて明らかでした。そこで、わたしは主の前に行き、主が書くように告げられたことを書き記したのです。……』（『宣言』に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋）公式の宣言一の後に掲載）多妻結婚は、合衆国議会ではなく神により公式に中止されたのである。』（『わたしたちの受け継ぎ』90参照）



## 読み物を理解する



### 「公式の宣言」

剥奪する（段落8） 取り上げる 中止（段落10） 終わり  
公式の宣言（段落8） 多妻結婚の方針に関する文書

## 読み物を理解する



### ウィルフォード・ウッドラフ大管長について

非常に詳細な（段落1） とて 入植（段落6） 移住  
も注意深く、正確な 入植者（段落6） ある国から別の国に移って来る（特にその地に永住する）人々  
エンダウメント（段落2） 神 灌漑（段落7） 水を引くこと  
殿で行われる儀式と聖約 地に永住する）人々  
親族に当たる故人（段落2） 育つ場（段落7） 能力を開発する場  
亡くなった親戚  
勧告（段落2） 強く忠告した

## 「公式の宣言」

8. 「1880年代も末期になると、合衆国政府は多妻結婚実施者から選挙権や陪審員として奉仕する権利を剥奪する追加法律を通過させるとともに、教会が所有できる財産を厳しく制限するようになった。このためさらに多くの父親たちが隠遁生活を余儀なくされ、末日聖徒の家族は苦境に陥った。そこでウッドラフ大管長は導きを求めて神に祈り、1890年9月23日の夕方、靈感の下に公式の宣言をしたためた。教会員が多妻結婚の実施を中止するという内容の文書である。主は示現を通してウッドラフ大管長に、多妻結婚をやめなければ合衆国政府が神殿を差し押さえ、生者と死者のための業が執行できなくなる様子を示されたのであった。

9. 1890年9月24日、大管長と十二使徒定員会が公式の宣言に支持を表明し、1890年10月の総大会では聖徒たちの承認を得た。今日この公式の宣言は教義と聖約の中に『公式の宣言一』として収められている。

10. 教会のこの動きに呼応して、当局は重婚禁止法違反の罪に問われていた末日聖徒の男性を赦免し、迫害の多くはやんだ。しかし、ウッドラフ大管長はこう説明している。『もしも天の神がわたしの行ったことを行うようにわたしに命じられなかったならば、わたしはすべての神殿を手放し、わたし自身監獄に入り、ま

## 系図協会

11. 「末日聖徒が系図協会を設立するかなり前から、教会員は亡くなった先祖の生活の情報を載せた記録を集めていた。ウィルフォード・ウッドラフ、オーソン・プラット、ヒーバー・J・グラントをはじめとする人々は数千人の先祖の名前を入手し、神殿の儀式を行った。1894年、大管長会は系図協会の設立を指示し、初代指導者としてフランクリン・D・リチャーズを任命した。図書館を設け、系図協会の代表者は全世界に赴き、神殿儀式を執行できる名前を探した。系図協会はやがて教会家族歴史部となった。



12. 1894年4月の総大会で、ウッドラフ大管長は系図事業に関して啓示を受けたことを発表した。神が末日聖徒に次のように望んでおられると宣言したのである。『系図をできるかぎりさかのぼって調べ、先祖と結び固めを行うように。子らが親と結び固められ、この鎖をできるかぎり長くつなげるように。……これは主の民への主の御心である。そして、もしも皆さんがそのことについて思いめぐらすならば、それが真実であることに気づくでしょう。』（クラーク編、Messages of the First Presidency, 第3巻, 256 - 257で引用）今でも末日聖徒は、亡くなった先祖の記録を調べ、神殿の儀式を行うように奨励されている。

13. 1885年から1900年までの間、多くの教会員が系図伝道を行った。彼らはソルトレーク・シティーに招待されて中央幹部から伝道に向けて祝福を受け、宣教師の名刺と召しの手紙を受け取った。彼らは親族を訪問し、墓碑銘を書き写し、教区記録や家族伝来の聖書を探究し、神殿儀式を執行できる貴重な記録を収集した。宣教師の多くは、霊的な経験をすると報告している。主がともに



おられ、必要な資料や親族のもとに自分たちを導いてくださっていることがはっきりと分かるような経験であった。〔ジェームズ・B・アレン、ジェシー・L・エムブリー、カーリル・B・メア、*Hearts Turned to the Fathers: A History of the Genealogical Society of Utah, 1894 - 1994* (1995年), 39 - 41参照〕、「『わたしたちの受け継ぎ』91参照)

## 読み物を理解する



系図協会

教区 (段落13) 教会がある  
地域

### ソルトレーク神殿の奉獻

14. 「ウィルフォード・ウッドラフ大管長は生涯の多くを神殿事業にささげた。セントジョージ神殿の初代神殿長であり、マンタイ神殿を奉獻している。そして、ソルトレーク神殿は隅石が置かれて40年が経過しており、ウッドラフ大管長はその記念すべき神殿の奉獻を大いなる期待をもって待ち望んでいた。そしてついに奉獻式が1893年4月6日から5月18日にかけて行われ、約7万5,000人の参列を見た。〔ロバーツ、*Comprehensive History of the Church*, 第6巻, 236参照〕



15. 4月6日の初回の奉獻式の後、ウッドラフ大管長は日記にこう記している。『神の御霊と力がわたしたちに宿った。預言と啓示の霊がわたしたちに下り、人々の心は和らいだ。そして、たくさんのことがわたしたちの前に明らかにされた。』〔“Wilford Woodruff Journals” (1833 - 1898), 1893年4月6日; LDS教会記録保管庫、つづりと句読点は現代表記法に基づいて修正〕末日聖徒の中には天使を見た者、歴代の大管長や過去の指導者を見た者がいた〔リチャード・ニーチェル・ホルザップフェル、*Every Stone a Sermon* (1992年), 71, 75, 80参照)。

16. ウッドラフ大管長の90歳の誕生日には、何千人もの日曜学校の子供たちがテンプルスクウェアのタバナクルを埋め、大管長に敬意を表した。大管長はこれに感動して、涙を流しながら子供たちに次の話をした。10歳のときにプロテスタントの日曜学校に出席し、使徒や預言者について読んだときのことである。家に帰ると、使徒や預言者にこの地上で再び会うまで生きていたいと祈った。今や彼は使徒や預言者を前にして立っている。彼の祈りは

何十倍にもなってこたえられたのであった。〔マサイアス・F・カウリー、*Wilford Woodruff* (1909年), 602参照)

17. それから1年後の1898年9月2日、ウッドラフ大管長はサンフランシスコ訪問中に死去した。〔『わたしたちの受け継ぎ』91 - 92参照)



## 読み物を理解する



ソルトレーク神殿の奉獻

初回の (段落15) 最初の

### ウィルフォード・ウッドラフの教えと証

18. 「わたしたちが末日聖徒に望むのは、今からできるかぎり昔までの自分の系図を調べ、代々の父母たちに結び固められることです。子供たちを両親に結び固めてください。そして、その鎖をできるだけつなげていっていただきたい。』〔*Discourses of Wilford Woodruff*, G・ホーマー・ダラム編 [1990年], 90)

19. 「若い友人の皆さんに勧告と助言を差し上げたいと思います。サムエルが行ったように、若いときから神の声に耳を傾けて、それに従ってください。皆さんが偉大で善良で役立つ人物になり、主と両親とあらゆる善良な人々から愛されるためです。両親を敬い、従ってください。そうするならば、神が約束しておられるこれらの大いなる祝福を得ることができるでしょう。……

20. ……若く美しい盛りにいる皆さん、全盛期を迎えたばかりの皆さん、皆さんは今、人生の舞台へ足を踏み出す基礎固めをしているところなのです。これから、際立った業に携わるのです。時代は今、人類がかつて経験したことのない最も大切な神権時代、最も大切な世代のまっただ中にあります。皆さんが人生において将来刈り取るもの、人々に与える影響、そして皆さんのこの世と永遠の行く末は、青少年の時期にどのような基礎を築くかによって決まるのです。このことは真実であり、間違いないことを保証します。』〔*Discourses of Wilford Woodruff*, 265 - 266)

21. 「この地上には、そして、地上に住む人々の中には、二つの力が存在します。神の力と悪魔の力です。末日聖徒のたどった道を振り返ると、非常に特異な経験をしていることが分かります。神が地上に御自分の民を置かれている時代には常に、時代を問わず、<sup>あかつき</sup>暁の子ルシフェルと天から投げ落とされた無数の霊たちが、神やキリスト、神の御業、そして神の民に対して戦いを挑んできました。彼らは今のこの時代に生きるわたしたちに対しても手をゆるめてはけません。何であれ、主が御業に着手されるときは必ず、悪の力がそれを覆そうとします。』〔“Remarks Made at

the General Conference on the Afternoon of Monday, October 5, 1896, in the Tabernacle, Salt Lake City, "Deseret Evening News," 1896年10月17日付, 9)

22. 「わたしたちは人類が地上に住み始めて以来最も大切な時代の一つに生きています。現在起きている大切な出来事を記録に残すべきです。そうした出来事は、わたしたちの目の前で、神の預言と啓示の成就として、起きているのです。」(Wilford Woodruff's Journal, 1833 - 1898 Typescript, スコット・G・ケニー編, 全9巻〔1983 - 1985年〕, 第4巻, 444)

23. 「神を信頼し、主の約束にすぎり、皆さんが持っている光と知識に従って生活しなさい。そうすれば、生にあって死にあって、すべては皆さんにとって良いものとなることでしょう。」(Discourses of Wilford Woodruff, 260)

24. 「わたしは常に救い主の生涯を仰ぎ見てきました。救い主は万物の上に立つために万物の下に身を落とされまし  
主の生涯は、主の弟子が倣うべき模範です。……主の生涯には、全体を通じて悲しげな陰があります。しかし、万物の上に立つために万物の下に身を落とすことは、救い主にとって必要なことだったのです。」(Discourses of Wilford Woodruff, 4)



25. 「わたしは時々、賜物や慈しみ、啓示と導きを受けてきました。しかしそれでもなお、聖霊の静かな細い声以上に信頼の置けるものを見つけることができませんでした。」(Discourses of Wilford Woodruff, 45)

## 読み物を理解する



ウィルフォード・ウッドラフの教えと証

慈しみ(段落25) 神からの…信頼(段落25) 信仰, 信用  
祝福, 特権

### ウィルフォード・ウッドラフの生涯に見られるそのほかの大切な出来事

主は1838年にウィルフォード・ウッドラフを十二使徒定員会の会員に召し、ウッドラフ長老と十二使徒定員会のほかの会員にイギリスへ伝道に行く召しを与えられました(教義と聖約118章の前書き, 3-4, 6節参照)。ウッドラフ長老は「大海」を渡ってイギリスへ行き、数千の人々を教会に導く手助けをしました。1840年にイングランドのヘレフォードシャーではウッドラフ長老と同僚たちの努力によって、5か月の間に1,800人以上の人々がバプテスマを受けました。この中には、真理を見いだすために集まって祈っていた約600人のグループがいました。ウッドラフ長老はこのように記しています。「このヘレフォードシャー時代の伝道生活はすべて、神の御霊の静かな細い声と聖霊の啓示に耳を傾けることの大切さを示しています。人々は光と真理を祈り求めていました。だから主はわたしを彼らのところに遣わされたのです。」(マサイアス・F・カウリー, Wilford Woodruff, Fourth President of the Church of Jesus Christ of Latter-day Saints :

History of Life and Labors As Recorded in His Daily Journals [1964年], 120)

1856年にウッドラフ長老は教会の歴史記録者に召されました。教会は約7,000ページにおよぶウッドラフ長老の日記を所有しています。この日記には、ジョセフ・スミスの生涯に関連する多くの教えと出来事が記されています。ウッドラフ長老は教会の歴史を書くことが自分に与えられた召しの一つであると感じていました。「悪魔は、わたしが生まれた日から今日に至るまで、ほかのだれに対するよりも激しくわたしの命を奪い去ろうとしてきました。わたしは悪魔の格好の標的だったようです。これには、たった一つだけ理由が考えられます。つまり悪魔は、わたしが末日聖徒イエス・キリスト教会に入ったならば、この教会の歴史を書き、預言者や使徒たち、それに長老たちの働きと教えに関する記録を残すだろうということを知っていたのです。」(カウリー, Wilford Woodruff, 477)

ウッドラフ長老はセントジョージ神殿の神殿長を務めていたときに、合衆国政府を築いた人々の霊の訪れを受けました。彼らは自分たちのために神殿の儀式を執行してくれるように頼みました。ウッドラフ長老はこれらの人々と、福音が回復される以前に世を去ったクリストファー・コロンブスや宗教上の重要な人物など、歴史に名を残した人々のために神殿の儀式を執行しました。(Journal of Discourses, 第19巻, 229参照)



ウィルフォード・ウッドラフ大管長は、自分の半生を振り返ってこのように記しています。「わたしの生涯は神が直接に関与された出来事であふれています。わたしは神に確固たる信仰を寄せています。神はわたしのあらゆる歩みを導いてくださったのです。神は様々なときに、27回にわたって、命の危険にさらされていたわたしを救ってくださいました。」(カウリー, Wilford Woodruff, vi)

## 読み物を研究する



「ウィルフォード・ウッドラフ大管長」を読みながら、次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A 友達に説明する

教会は100年以上前に多妻結婚を廃止しました。しかし、いまだにこの教えを誤解して、質問してくる人がいます。段落8-10をよく読んで、多妻結婚について聞いてくる友達に何を説明した

らよいかノートに書いてください。教会歴史の詳しい説明と、現代に預言者がいることに対するあなたの気持ちも書いてください。

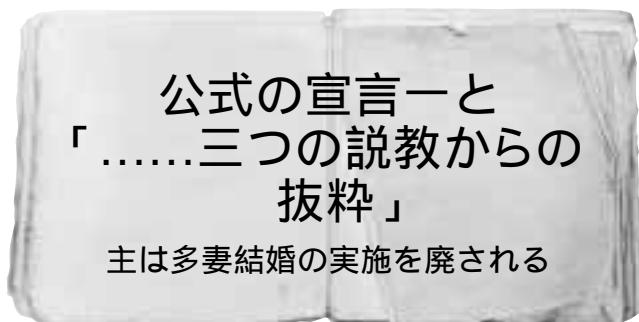
## B ウッドラフ大管長の生涯を研究する

1. 教義と聖約118 : 1, 6 ; 124 : 127 - 129 ; 136 : 13 ; 138 : 53と公式の宣言一を研究してください。これらの聖句からウィルフォード・ウッドラフについて学んだことを書き出してください。
2. 段落1 - 7, 11 - 17とウッドラフ大管長の生涯と彼が教会を管理した時期 (184ページ) の情報をよく読んでください。ウッドラフ大管長について忘れてはならないと思う事柄を書き出し、なぜ忘れてはならないと思うのか、それぞれ説明してください。

## C ウッドラフ大管長の教え

ウィルフォード・ウッドラフ大管長はこのように教えています。「あなたがあなたの義務を果たし、わたしがわたしの義務を果たすならば、わたしたちは守られ、苦難の時を安全に切り抜けることでしょう。」(“ A Remarkable Statement,” *Improvement Era*, 1914年10月号, 1165) 段落18 - 25をよく読み、次の二つを行ってください。

1. ウッドラフ大管長が挙げた教会員の果たすべき義務を書き出してください。
2. 1で書き出したものの中から3つ選んで、それをよく果たすためにはどうしたらいいか、それぞれ簡単に書いてください。



教会が多妻結婚を実施し始めたのは、主がそれを預言者ジョセフ・スミスに啓示された後のことでした (教義と聖約132 : 1 - 6 参照)。厳しい迫害を受け、合衆国政府が多妻結婚を禁じる法律を施行したため、ウィルフォード・ウッドラフ大管長は教会のとるべき行動について主に尋ねました。ウッドラフ大管長は後にこう語っています。



「わたしたちがこの行為をやめなければまさに何が起こるかを、主は示現と啓示によってわたしに示してくださいました。……

……もしも天の神がわたしの行ったことを行うようにわたしに命じられなかったならば、わたしはすべての神殿を手放し、わたし自身監獄に入り、またほかのすべての人もそこへ行かせたことでしょう。……わたしは

主の前に行き、主が書くように告げられたことを書き記したのです。」(『宣言』に関するウィルフォード・ウッドラフ大管長の三つの説教からの抜粋」段落6 - 7) ウッドラフ大管長が受けた啓示は教会員に提示されて、支持されました。これは「宣言」と呼ばれていました。現在は「公式の宣言一」と呼ばれています。教義と聖約138章の後ろにあります。

## 読み物を理解する

### 公式の宣言一

速報が……発信され (段落1)	報道機関が伝え	エンダウメントハウス (段落3)	ソルトレーク神殿が完成する以前に神殿の儀式が行われていたテンプルスクウェアの建物
申し立てる (段落1)	言う、主張する	合憲である (段落4)	合法的、アメリカ合衆国憲法に従っている
厳粛に (段落2)	厳かに	教え込んでいる……と……解釈できる (段落5)	教え、承認している
挙行された (段落2)	執行された		
準州 (段落2)	州になる以前のユタ地域		

「ロレンゾ・スノー会長は、次のように述べた」

提議する (段落1)	提案する	前述の提議 (段落2)	この前の提案
拘束力のあるもの (段落1)	義務		

「……三つの説教からの抜粋」

誤った道へ (段落1)	間違った方向へ	熟考する (段落8)	思い計る、深く考える
神託 (段落1)	啓示	望まれた (段落9)	……したいと思う
没収と損失 (段落5)	政府が差し押さえること	命じて、定めて (段落9)	戒めとして下された
固く守ること (段落5)	従順	妨げる (段落9)	じゃまする、妨害する
追い込まれ (段落6)	強制され		
明らかにされた (段落6)	示された		

### 公式の宣言一 宣言が与えられた後も多妻結婚は実施されていたのか

一部の教会員は合衆国の国境を越えた地で多妻結婚を続けていました。合衆国外であれば多妻結婚を引き続き実施できると考えてのことです。1900年1月8日、ロレンゾ・スノー大管長は次のように語りました。「宣言はあらゆる地に及ぶものです。『教会は一夫多妻の実施、すなわち多妻結婚の執行を、ここ〔ユタ〕でも、ほかのあらゆる国でもきっぱりと廃止しています。教会のいかなる会員も役員も多妻結婚を執行する権能を持っておらず、そのような関係に加わることもありません。』”(“ Slanders Are Refuted by First Presidency,” *Millennial Star*, 1911年5月11日付, 275)

一部の者たちは主の命令に従うことを拒否しました。1904年4月、ジョセフ・F・スミス大管長は総大会において次のように公式に述べました。「〔多妻〕結婚はすべて禁止されています。教会のいかなる役員、会員もそのような結婚を挙行または執行するならば、教会に対する背罪者と見なされ、当教会の規則と規範に従って処分され、破門されることを、ここに正式に発表します。」(Conference Report, 1904年4月, 75) それ以降、すべての大管長は多妻結婚の実施を禁じるこの指示を繰り返し宣言してきました。

## 読み物を研究する

公式の宣言一を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A レッソンを教える

公式の宣言一とこの聖文に関連する説教の抜粋について、あなたがレッスンを行うことになったとします。ウィルフォード・ウッドラフ大管長の声明について何を教えるかを書き出してください。次の質問に対する答えもレッスンに取り入れてください。

1. 主は多妻結婚に関してウッドラフ大管長にどんなことを明らかにされましたか。

2. この啓示は、当時副管長を務めていたロレンゾ・スノー長老のメッセージのおかげで、聖徒たちが受け入れやすいものになりました。なぜだと思いますか。
3. 生ける預言者に従うことは教会員にとってなぜ大切なのでしょうか。
4. ウッドラフ大管長が「……三つの説教からの抜粋」の第1段落で与えた約束について、あなたはどのように思いますか。

### B 説明する

教義と聖約124：49 - 50をよく読んでください。それから、多妻結婚の実施を継続するかどうかという、ウィルフォード・ウッドラフ大管長の時代の問題に、この聖句をどう当てはめたらよいか簡単に説明してください。

## 発展の時代

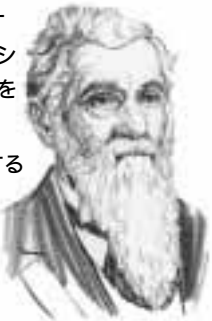
1898年から1951年までの間は、ロレンゾ・スノー、ジョセフ・F・スミス、ヒーバー・J・グラント、ジョージ・アルバート・スミスの4人の大管長が、発展する教会を管理しました。「この4人の大管長たちが管理した時期は、馬に荷車を引かせていた時代からロケットで宇宙に行く時代までにわたる。また、この間2度の世界大戦と世界恐慌が聖徒たちを苦しめた。その一方でこの間には9つの神殿が建設され、1901年にはステークが50、教会員数が30万になった。」(『わたしたちの受け継ぎ』94参照) 1951年までに、教会は世界中に180のステークと111万1,000人を超える会員を持つようになっています。

### ロレンゾ・スノー大管長 什分の一に関する啓示

1898年にウィルフォード・ウッドラフ大管長が亡くなると、預言者の外套は経験豊かなロレンゾ・スノー大管長の肩にかけられました。当時スノー大管長は85歳でした。これほどの高齢で大管長の職に就いた人はそれまでにはいませんでした。末日聖徒は大きな期待と希望を抱いて新しい世紀を迎えようとしていました。伝道と神殿の業は引き続き規模を広げていきました。また、教会が抱えていた巨額の負債を返済する本格的な取り組みが行われて、支払いが完了しました。

#### ロレンゾ・スノーの生涯(1814 - 1901年)

1814年 4月3日、オハイオ州マンチュアにおいて、オリバー・スノーとロゼッタ・レオノラ・ペティボーン・スノーの間に生まれる

1836年	22歳。6月19日、オハイオ州カートランドを流れるシャグリン川でバプテスマを受ける	
1837年	23歳。オハイオ州で伝道する	
1838 - 1839年	24 - 25歳。ミズーリ州、イリノイ州、ケンタッキー州、オハイオ州で伝道する	
1840 - 1843年	26 - 29歳。イギリスで伝道する	
1845年	31歳。1月17日、シャーロット・メリル・スクワイアー、メアリー・アデレーン・ゴダード、サラ・アン・ブリチャード、ハリエット・アメリカ・スクワイアーと結婚する	
1849年	34歳。2月12日、ヒーバー・C・キンボールにより使徒に聖任される	
1849 - 1852年	35 - 38歳。イタリア、イギリス、スイス、マルタで伝道する	
1864年	50歳。サンドウィッチ諸島(ハワイ諸島)で短期間の伝道に携わる	
1873 - 1877年	59 - 63歳。プリガム・ヤング大管長の副管長を務める	
1885年	71歳。合衆国北西部に住むインディアンの中で伝道する	
1898年	84歳。9月13日、ウィルフォード・ウッドラフ大管長(同年9月2日に死去)の跡を継いで大管長として支持される。ジョージ・Q・キャンノンとジョセフ・F・スミスを引き続き副管長として召す	
1901年	87歳。大管長を3年間務めた後、10月10日ソルトレーク・シティーにおいて死去する	

## ロレンゾ・スノー大管長が教会を管理した時期

(1898 - 1901年)

1898年	ソルトレーク神殿にイエス・キリストが訪れ、大管長会の再組織に期間を置くことのないように告げられる。最初の姉妹専任宣教師が召される
1899年	什分の一の律法の大切さに関する啓示を受ける
1901年	メキシコ、日本、ニュージーランド、ドイツに新しく伝道部を開く

## ロレンゾ・スノー大管長と什分の一

1. 「ウッドラフ大管長の死後、十二使徒定員会会長のロレンゾ・スノーが大管長となった。彼は、その責任のために長い間備えられた、賢明で思いやりの深い指導者である。それまでの末日の歴代の預言者とすべて面識があり、その全員から教えを受けていた。1900年11月、タバナクルに集まった聖徒たちに、かつてはよく預言者ジョセフ・スミスと家族のもとを訪れ、テーブルを囲んで食事をし、個人的に話をしたと語っている。彼はジョセフが神の預言者であることを知っていた。主がその真理を『最も明確かつ完全な形で』示されたからである。[“The Redemption of Zion,” *Millennial Star*, 1900年9月29日付, 754]

2. スノー大管長の時代に教会は深刻な財政危機に陥った。連邦政府が多妻結婚を禁止する法律を制定したためである。スノー大管長は教会を衰弱させてしまう負債から脱出するための方法について熟慮を重ね、主に導きを求めて祈った。そして1899年4月の総大会の後、ユタ州セントジョージを訪れるように靈感を受けた。現地の集会で話をしていた大管長はしばし絶句し、再び話を始めたときに啓示を受けたことを宣言した。教会員は什分の一の律法を無視してきており、主は大管長に、教会員が前よりも忠実に完全な什分の一を納めるならば、祝福が雨のように注がれると言われたのである。



3. スノー大管長はユタ中の聖徒たちに什分の一の大切さを説いて回った。聖徒たちはその勧告に従ったので、その年の什分の一は前年の2倍となった。そして1907年までに教会は債務をすべて返済し、借金から完全に解放されたのである。

4. さて、1898年の若い女性相互発達協会の中央管理会のレセ

プションで、ジョージ・Q・キャノン副管長は、大管長会が『賢明で分別のある女性を宣教師として伝道に』召す決定をしたことを発表した[“Biographical Sketches: Jennie Brimhall and Inez Knight,” *Young Women's Journal*, 1898年6月号, 245]。それ以前に、夫に伴って伝道地に赴く姉妹は少数いたが、教会が正式に姉妹を主イエス・キリストの大使である宣教師として召し、任命したのはこれが最初である。姉妹には宣教師としての奉仕の義務はないが、この数十年間に何千人もの姉妹たちがこの特権を行使し、専任宣教師として雄々しく主に仕えてきた。

5. ロレンゾ・スノー大管長は教会を20世紀に導いた指導者である。新世紀に入ったころの教会はステークが43、伝道部が20、ワードと支部が967であった。教会員数は28万3,765で、その大半がアメリカ合衆国のロッキー山麓地帯に住んでいた。儀式を執行していた神殿が4か所、教会についての記事を載せた『ジュブナイル・インストラクター』(*Juvenile Instructor*)、『インプルーブメント・エラ』(*Improvement Era*)、『ヤングウーマンズジャーナル』(*Young Women's Journal*)が教会員のもとに届けられていた。当時は、少なくともあと一つの伝道部が開かれるだろうとのうわさが流れていたぐらいで、後の100年に何が起るかは、当時の末日聖徒には知るよしもなかった。しかしながら彼らには、教会の行く末についての預言が成就するとの確信があったのである。)(『わたしたちの受け継ぎ』92 - 93参照)

## 読み物を理解する

ロレンゾ・スノー大管長と什分の一

衰弱させる(段落2) 重い負 大使(段落4) 公式の代表者  
担で苦しめる、押しつぶす

若い女性相互発達協会(段落4)  
教会で最初の若い女性のた  
めの組織の名前

## ロレンゾ・スノーの教えと証

6. ロレンゾ・スノー大管長は「[1840年のイギリスへ伝道に出かける少し前に]起きた出来事」について記しています。「それは非常に驚くべき現れであったため記憶に深く刻まれ、決して消すことができません。そのときわたしはH・G・シャーウッド長老の家にいました。シャーウッド長老は、救い主のたとえを説明しようとしていました。それは、農夫たちを雇った家の主人が一日の様々な時刻に農夫を遣わしてぶどう園で働かせるたとえでした。

7. 長老の説明を熱心に聞き入っていたとき、『主の御霊がわたしのうえにとどまり、理解の目が開けました。そして、神と人を結ぶ小道が、真昼の太陽のようにはっきりと見えました。わたしは驚いてそれを見ました。そして啓示で示されたままのことを以下のような対句で表しました。……

8. 神もかつては現在の人間のものであった。  
だから人間も、現在の神のようになれるのだ。

9. わたしはこれを神聖なメッセージであると感じました。」(エライザ・R・スノー, *Biography and Family Record of Lorenzo Snow* [1884年], 46で引用)

10. 「姉妹の皆さん、わたしは以前、姉のエライザ・R・スノー・スミスがずっと昔に書いた詩を読んだと記憶しています。こ

の詩は現在、わたしたちの集会でほんとうによく歌われています（「高きに栄えて」『賛美歌』180番参照）。わたしたちには『高きに栄えて住める』御父だけでなく、母もおられることがここで告げられています。姉妹の皆さん、皆さんは忠実であれば、天の母のように偉大な女性となることができます。」（リロイ・C・スノー，“Devotion to a Divine Inspiration,” *Improvement Era*, 1919年6月号, 658）

11. ウィルフォード・ウッドラフが多妻結婚の実施を中止する啓示（公式の宣言一参照）を受ける以前に、教会の現金と資産を没収する法律が施行されました。そのため、多くの教会員は什分の一を納めないことにしました。このような状況のため、教会は多額の負債を抱えることになりました。ロレンゾ・スノーは大管長になって間もない1899年5月8日、ユタ州セントジョージのステーク大会で話をしました。話をしている途中で、大管長は沈黙しました。その間、主から啓示を受けていたのです。そのときスノー大管長は、什分の一の律法があるそかにされていることをはっきりと悟りました（スノー大管長は、その瞬間まで、そのことを意識していませんでした）。そして、このように語ったのです。「皆さんに対する主の御言葉は新しいものではありません。次のように簡潔明瞭なものです。『将来のために備えようと努め、また正しい基の上に確固とした足場を築こうとするすべての末日聖徒が、主の御心を行い、什分の一を完全に納める時が来た。』これが皆さんに対する主の御言葉です。また、これはシオンの地に住むすべての人に対する主の御言葉となるでしょう。」（“Discourse by President Lorenzo Snow,” *Millennial Star*, 1899年8月24日付, 533）



12. ロレンゾ・スノーはバプテスマを受けてから約2週間後、森へ入って、さらに大きな証を求めて祈りました。スノー大管長は次のように記しました。「祈ろうとして口を開いたとたん、頭の上に絹の衣のさらさらというような音が聞こえました。神の御霊が下り、頭のとっぺんから足のつま先まで全身くまなく包み込まれました。何という喜び、何という幸福であったことでしょう。……わたしはこのとき、神が生きておられ、イエス・キリストが神の御子であられること、聖なる神権が回復したこと、福音が完全であるということについて、完璧な知識を得ました。」（スノー, *Biography and Family Record of Lorenzo Snow*, 8）

13. スノー大管長の孫娘であるアリー・ヤング・ポンドは次のような話を紹介しました。

14. 「ソルトレーク神殿にいるスノーおじいさんを訪ねたある晩のことです。わたしが長居している間に門番はすでに帰り、夜警はまだ来ていませんでした。そこで祖父は、表門まで連れて行くからそこから帰るといいと言って、ロッカーから鍵の束を取り

出しました。祖父の部屋を出て、日の栄えの部屋に通じる広い廊下を歩いていたときのことで。わたしは祖父の数歩前を歩いていました。祖父はわたしを止めてこう言いました。『ちょっとお待ち、アリー。おまえに話したいことがある。ウッドラフ大管長が亡くなったとき、主イエス・キリストがわたしに御姿を現されたのは、ちょうどこの場所だったのだよ。主はすぐに大管長会を組織し、これまでのように前の大管長が亡くなってから時間を空けることのないようにと命じられたのだ。そこでわたしは、すぐにウッドラフ大管長の跡を引き継いだのだよ。』

15. それから祖父はわたしの方へ一歩寄ると、左手を伸ばしてこう言いました。『主はちょうどここに立っておられたのだよ。床から3フィート〔約1メートル〕ぐらいの所だった。純金の台座の上に立っておられるようだったよ。』

16. 祖父は、救い主がどれほど栄光に満ちた御方であるか話し、救い主の手、足、表情、それに美しく白い衣などについて細かく説明してくれました。それが皆非常な白さと輝きとに満ち満ちていたため、救い主を正視することができないほどだったそうです。

17. それから祖父はわたしの方にもう一歩近づくと、右手をわたしの頭の上に置いて、こう言いました。『アリー。決して忘れないでくれ。これがおまえのおじいさんの証だ。おじいさんは神殿のこの場所で救い主と実際に会って、救い主と顔を合わせて話したのだよ。』」（リロイ・C・スノー, “An Experience of My Father’s,” *Improvement Era*, 1933年9月号, 677）



複写厳禁

ソルトレーク神殿玄関

## 読み物を理解する



ロレンゾ・スノーの教えと証

対句（段落7） 対になる二つ 包み込む（段落12） 覆う、  
の句 取り巻く

さらさらというような（段落12）  
優しい、はっきりした音

## 読み物を研究する



「ロレンゾ・スノー大管長」を読みながら、次の活動AまたはBを行ってください。

### A 宣教師として奉仕するために準備する

1. 教義と聖約4:1-7を読んでください。それから、宣教師として成功するために大切だと思う事柄を5つ選んで、書き出してください。
2. ロレンゾ・スノー大管長がこれらの特質を持っていたことを示す物語、出来事、または教えを5つ、スノー大管長の生涯から選んでください。

3. あなたの人生の中で十分に伸ばしたいと思う特質を一つ選んでください。それはあなたにとってなぜ大切か、またその特質を伸ばすために何ができるかを説明してください。

## B 簡単に説明する

十二使徒定員会会員であるダリン・H・オクス長老はこのように語りました。「什分の一を払うとやっていけない、と言う人がいます。その一方で、主の約束を信じる人は、什分の一を払わずにはやっていけない、と言うのです。」(「什分の一」『聖徒の道』1994年7月号, 37参照)

- マラキ3: 8 - 12を調べてください。それから、正直に什分の一を納める人に約束されている祝福を書き出してください。
- 「ロレンゾ・スノーの教えと証」(段落6 - 17) から、什分の一の律法を忠実に守った聖徒たちのおかげで教会がどんな祝福を受けているか書き出してください。
- 什分の一を正直に納めることによって得た祝福、またこれから受ける祝福にはどんなものがあるでしょうか。



「ジョセフ・F・スミス大管長は、十二使徒定員会会員として、また4人の大管長の副管長として、さらに大管長として17年間、合計52年間にわたり教会の中央幹部を務めました。スミス大管長は雄弁にまた優しくそして確信をもって回復されたイエス・キリストの福音を教え、『天の御父の意図しておられる目的に添って生活するよう』人々を励ましました。スミス大管長の教導の業は、イエス・キリストについての力強い証が特徴となっています。『わたしはわたし自身の心に御霊の証を受けました。神と天使と人々の前で……贖い主が生きておられることを知っていると証します。』(『歴代大管長の教え ジョセフ・F・スミス』v参照)

### ジョセフ・F・スミスの生涯 (1838 - 1918年)

1838年 11月13日、ミズーリ州ファーウェストにおいてハイラム・スミス(預言者ジョセフ・スミスの兄)とメアリー・フィールディング・スミスの間に生まれる



1844年	5歳。イリノイ州カーセージの監獄において父が殉教する
1848年	9歳。牛に荷車を引かせてアイオワ州ウィンタークォーターズからソルトレーク盆地まで(約1,600キロ)を横断する
1852年	13歳。5月21日、ソルトレーク・シティーのシティークリークにおいてバプテスマを受ける。9月21日、母が死去する
1854 - 1857年	15 - 19歳。ハワイで伝道する
1860 - 1863年	21 - 24歳。イギリスで伝道する
1866年	27歳。5月5日、ジュリナ・ラムソンと結婚する。7月1日、ブリガム・ヤング大管長により使徒に聖任され、副管長に任命される。ブリガム・ヤング大管長、ジョン・テラー大管長(1880年)、ウィルフォード・ウッドラフ大管長(1889年)、ロレンゾ・スノー大管長(1898年)の副管長を務める
1874 - 1875年	35 - 36歳。ヨーロッパ伝道部の部長として働く
1877年	38歳。再び、ヨーロッパ伝道部の部長として働く
1901年	62歳。大管長として支持される
1918年	80歳。11月19日、ソルトレーク・シティーにおいて死去

### ジョセフ・F・スミス大管長が教会を管理した時期 (1901 - 1918年)

1902年	教会は初めて子供向けの教会機関誌を発行する(『チルドレンズ・フレンド』(The Children's Friend))
1907年	教会は負債を完済する
1911年	教会が若い男性の組織の一部としてアメリカボーイスカウトを活用し始める
1912年	セミナーが始まる
1914年	女性のために最初の教会機関誌を発刊する
1915年	家庭の夕べが始まる
1918年	「死者の贖いに関する示現」を受ける(教義と聖約138章参照)

### ジョセフ・F・スミス大管長の生涯

1. 「ジョセフ・F・スミスは1838年、ミズーリでの迫害が最も激しかったころ、ファーウェストの神殿用地の近くの小さな小屋で生まれた。ジョセフの誕生こうりゅうのとき、父親のハイラム・スミスはミズーリ州リッチモンドで拘留されており、母親のメアリー・フィールディング・スミスは独りで子供の世話をしなければならなかった。

2. 幼いジョセフは、家族とともにミズーリからイリノイ州ノーブーへ移った。そこで一生の間記憶に残る出来事が起きる。カーセージの監獄で父と叔父おじの命が奪われたのである。ジョセフは父との最後の別れの場面を決して忘れることはなかった。父ハイ

ラムはカーセージへ向かって馬で出かけようとするときに、息子ジョセフを抱き上げてキスをし、下ろした。ジョセフは、近所の人が、夜窓をたたいて父ハイラムが殺されたことを知らせたときのあの恐怖の瞬間を決して忘れることができなかった。また、ノーブーのマンションハウスのひつぎに横たわった父と叔父の姿は、ジョセフの記憶から消えることはなかったのである。



3. 少年ジョセフはほぼ一夜にして大人になった。メアリー・フィールディング・スミスと家族がノーブー脱出の一団に加わったとき、7歳のジョセフは1台の荷車の御者であった。そして13歳のときに母親が亡くなり、孤児となった。また16歳をまだ迎えないうちにサンドウィッチ諸島（後のハワイ諸島）に伝道に行き、ホノルル到着後3か月で現地語をりゅうちように話せるようになった。これは、十二使徒のパーリー・P・ブラットとオーソン・ハイドが任命のときに授けた御霊の賜物によるものであった。そして21歳で再び伝道に出た。今度はイギリス諸島である。



4. プリガム・ヤング大管長がジョセフを使徒に召すよう靈感を受けたとき、ジョセフは28歳であった。その後4人の大管長の副管長として奉仕した。そして1901年のロレンゾ・スノー大管長の死去に伴い、ジョセフ・F・スミスは第6代大管長となった。彼は福音の真理を解説し擁護する能力に優れていたことで有名である。彼の説教と著作は『福音の教義』(Gospel Doctrine)として編さんされ、教会の重要な教義解説書となっている。



5. 20世紀の幕開けの数十年間に、教会は幾つかの重要な発展を遂げる。引き続き什分の一を強調し、聖徒たちもそれに忠実にこたえたことにより、教会は負債をすべて返済することができた。その後は繁栄が訪れ、教会は神殿や教会堂、訪問者センターを建設し、教会史跡を購入した。また教会はソルトレーク・シティーに教会管理ビルを建設し、現在でも本部として用いている。

6. スミス大管長は神殿を世界中に建設する必要があると認識し、1906年にスイスのベルンの大会で手を伸べてこう宣言した。『この地のあちらこちらに神殿が建ち、行って死者を贖う時が来ることでしょう。』〔サージ・F・バリフ、Conference Report, 1920年10月、90で引用〕ヨーロッパ初の神殿であるスイス神殿は、その約半世紀後、スミス大管長が預言をしたベルン市の郊外に建設された。またスミス大管長は1913年にカナダのアルバータ州カードストンの神殿用地を奉献し、1915年にはハワイ神殿を奉献した。



7. 1900年代初頭から、教会の指導者は聖徒たちに、ユタに集合するのではなく自分の国にとどまるように奨励し始めた。1911年、ジョセフ・F・スミスと副管長たちは次のような声明を発表している。『我々の民は母国に残って地元教会を永続的なものとし、伝道の業を助けるのが望ましい。』〔クラーク編、Messages of the First Presidency, 第4巻、222で引用〕

8. 死去する6週間前、ジョセフ・F・スミス大管長は死者の贖いに関して重要な啓示を受けた。彼は示現の中で霊界での救い主の業を見、忠実な聖徒たちが霊界で続けて福音を教える機会にあずかることを知った。この啓示は1976年に高価な真珠に加えられ、1979年には第138章として教義と聖約に移行された。』（『わたしたちの受け継ぎ』94 - 95参照）

## 読み物を理解する

### ジョセフ・F・スミス大管長の生涯

脱出（段落3）	大勢である場	教会を永続的なものとし（段落7）
所を去ること		永久的な支部やワードを設
御者（段落3）	馬や牛を扱う人	置し
りゅうちように（段落3）	と	贖い（段落8）
でも上手に、やすやすと		救い
解説（段落4）	教え	

## ジョセフ・F・スミスの教えと証

9. 「ジョセフ・F・スミスは大管長を務めていた間、イエス・キリストを父と述べている聖句があるため、御父と御子それぞれの個性と役割を明確にしたいと考えていた。聖徒たちが御父と御子に関する一部の聖句を正しく理解できるように助けるために、大管長会および十二使徒定員会は1916年6月30日に『御父と御子』〔英文〕(The Father and the Son)と題する教義の解説を発表した。この声明は父なる神と御子イエス・キリストが一致しておられることを確認し、救いの計画において御父と御子がそれぞれ





別個べつごの役割を持っておられることを明確めいせつにしている。また、聖文において御父という語が、天父を指すことも、またイエス・キリストを指すこともあると説明している。」(『歴代大管長の教え ジョセフ・F・スミス』353) この教義の解説では父という語が3つの意味でイエス・キリストを指すことを説明しています。

イエス・キリストは天と地の父です。また、イエス・キリストは主の福音に従う者たちの父です。さらに、イエス・キリストは神から権能を授けられたという意味において父です。

10. 「聖文上で『父』は創造主という意味があります。……

11. ……エホバとしても知られているイエス・キリストは、創造の業において御父エロヒムの仕事を執行する御方でした。……イエス・キリストは創造主であるため、……天地の父と呼ばれていることに何ら矛盾むじまんはありません。またその創造の業は永遠に存続する性質を持つものであるため、イエスが天地の永遠の父と呼ばれるのはまさに適切です。

12. イエス・キリストを『父』と呼ぶ〔もう一つの〕意味は、イエス・キリストの福音を受け入れ、永遠の命を受け継ぐ者となる人々と主との関係において成立します。……

13. ……福音に従うことによって、男性は神の息子となります。すなわちイエス・キリストの息子となり、イエス・キリストを通して御父の息子となるのです。このことは、現代の神権時代に与えられた数々の啓示に記されています〔教義と聖約11：28 - 30；34：1 - 3；35：1 - 2；39：1 - 4；45：7 - 8参照〕。……

14. 新たに生まれるとき、すなわち水と御霊によって生まれるときに、人はイエス・キリストの子となります。……

15. イエス・キリストに『父』という名称を当てはめる〔もう一つの〕理由は、次の事実からも明らかです。御子イエスは人類家族を導くに当たって、これまでも、そして現在も、力と権能において御父エロヒムの代理を務めておられます。これは、キリストがエホバと呼ばれた前世、すなわち死すべき肉体に宿られる以前にもそうでした。またキリストが肉体に宿っておられたときもそうでした。そして、キリストが肉体を離れた霊として死者の国で働いておられた間、さらにそれ以降の復活された状態でもそうでした〔ヨハネ5：43；10：25，30；14：28；17：11，22；3ニファイ20：35；28：10；教義と聖約50：43参照〕。このように、御父はその名称を御子にお与えになりました。そしてイエス・キリストは、御父の名を通して語り、御業を行われました。力と権能と神格に関するかぎり、キリストの言葉と行いは、過去においても現在においても御父の言葉と行いなのです。〕(“The Father and the Son: A Doctrinal Exposition by the First Presidency and the Twelve,” *Improvement Era*, 1916年8月号, 935 - 937, 939 - 940)

16. 1909年、ジョセフ・F・スミス大管長は副管長とともに「人の起源について、末日聖徒イエス・キリスト教会はどう考えているのか」という質問に対する回答を発表しました。

17. 「……考えてみましょう。人が最初に創造されたとき、霊と肉体はどのような形をしていたのでしょうか。一般的な答えはこれらの言葉の中にあります。『神は自分のかたちに人を創造された。』……したがって、もしわたしたちが『霊の御父』の形と

『すべての肉なる者の命の神』の形を確認できるとするならば、最初に創造された人の形も知ることができるはずですが。

18. 神の御子イエス・キリストは御父の『本質の真の姿』です(ヘブル1：3)。イエスは一人の人間として、しかも完全な人として地上を歩まれました。質問を受けたイエスはこのように答えられました。『わたしを見た者は、父を見たのである。』(ヨハネ14：9) この答えだけでも、思慮深い、敬虔な思いを持つすべての人の疑問を完全に晴らすことができるはずですが。この結論に異議を挟む余地はありません。神の御子が御父の本質の真の姿である(つまり、互いに似ておられる)とすれば、御父も人の形をしておられることになります。なぜならば、神の御子はこの世に誕生されたときだけでなく、前世においても、そして復活後も人の形をしておられたからです。……神が人すなわち最初の人を御自分の形にかたどって創造されたのであれば、神は人をキリストにも似せてお造りになったに違いなく、またキリストの時代の人々にも、現在の人々にも似せてお造りになったことになります。……

19. わたしたちの偉大な先祖であり、『最初の人』であるアダムは、キリストと同じように前世で霊として存在し、キリストと同じように適切な肉体すなわち人の体を受けて、『生きたもの』となりました。特に末日においてきわめて明確に啓示された前世に関する教義は、それまでなぞとされてきた人の起源について驚くべき事実を明るみに出すことになりました。それは人が霊として天の両親から生まれ、御父の永遠の住まいで成熟するまで育てられた後に、死すべき状態を経験するために肉体を得て地上にやって来たことを明らかにしています。また、すべての人は肉体を得る前に霊の状態で作存在し、アダム以降地上に住んだ人はすべて、同じように、肉体を得て人になったと教えています。



20. アダムは地上に現れた最初の人ではなく、人の起源は下等動物から進化したものであると主張する人々がいます。しかし、これはあくまでも人が考えた理論です。主はアダムが『すべての人の最初の者』であると宣言されました(モーセ1：34)。したがってわたしたちには、アダムを人類の最初の親と見なす義務があ

ります。……

21. あらゆる時代を通して与えられる神の啓示を信じる末日聖徒イエス・キリスト教会は、人は神の直系子孫であると宣言しています。神御自身が昇栄された完全な御方であり、御座に着く至高者です。……神はおたまじゃくしや猿、ライオン、象を創造されました。しかし、これらは主御自身の姿形にかたどって造られなかったし、神のような分別と英知も与えられませんでした。」(“Status of Children in the Resurrection,” *Improvement Era*, 1918年5月号, 571)

22. 「〔預言者〕ジョセフ・スミスは、幼くして死んだ子供は子供として復活するという教義を教え、子供を亡くした母親に向かって、こう語りました。『あなたは子供が復活した後、その子供を育てる喜びと楽しみ、満足を得るでしょう。その子の霊に備わっている徳を十分に高めるまで育てるのですから。』死から復活した後に、回復があり、成長があり、発達があります。わたしはこの真理をこよなく愛しています。この真理を知って、わたしの心は大きな幸せと喜びと感謝に満たされました。これらの原則を啓示してくださった主に感謝しています。」(“Status of Children in the Resurrection,” *Improvement Era*, 1918年5月号, 571)

23. 1915年、ジョセフ・F・スミス大管長は副管長とともに、「シオンのステーキ会長、監督、支部長」にあてた手紙を送りました。

24. 「わたしたちは全教会で『家庭の夕べ』を始めるよう勧告し、また強く求めます。父親と母親はこのひととき、家庭に子供たちを集めて、主の言葉を教えることができます。……

25. 聖徒たちがこの勧告に従うならば、大いなる祝福がもたらされることをわたしたちは約束します。家庭に愛が満ち、子供たちは両親に従順に従うようになるでしょう。イスラエルの若人は心に信仰をはぐくみ、襲いかかる悪の力と誘惑に立ち向かう力を得ることでしょう。」(『歴代大管長の教え ジョセフ・F・スミス』347 - 348)

26. 「青少年時代を悪と罪に染めてその後に義に立ち返った人には、何か欠けているものが必ずあります。もちろん主は彼の悔い改めを尊重されます。生涯を罪のうちに過ごすよりは、たとえ罪を重ねた後であっても悪から離れる方がはるかに良いことです。しかし、生命と力に最もあふれている時期を無駄に使ってしまったために、貧弱で衰えた部分でしか主に奉仕することができないという事実が残ります。人生の終わり近くになってから若い時代の愚かさや罪を悔い改める人には、後悔と苦痛が伴います。しかし、エネルギーにあふれる青年時代に主に仕える人は慰めと豊かな報いを受けることができます。」(“A Lesson for the Boys,” *Improvement Era*, 1906年2月号, 338)

27. ジョセフ・F・スミス大管長は、伝道に出ていた若いころに見た夢を記録しています。

28. 「わたしは旅をしている夢を見ました。急がなければならぬと焦っていました。……そして、ついに美しい大邸宅の前に来ました。……大急ぎでその邸宅に近づくと、『浴室』と書かれた掲示がありました。すぐにそちらの方へ向かい、浴室に入って、体をきれいにしました。そして手に持っていた包みを開きました。中には白く清潔なガーメントが入っていました。……その服を着ると、すぐに大きな入り口、扉のような所へ急ぎました。ノックすると扉が開きました。中には男性が一人立っていました。預言者ジョセフ・スミスでした。彼は少しとがめるような目でわたしを見て、開口一番、『ジョセフ、遅いじゃないか』と言いました。

けれども、わたしは自信をもってこう言いました。

29. 『はい、でもわたしはきれいです。汚れていません。』

30. 彼はわたしの手を取ると、招き入れ、そして大きな扉を閉じました。」( *Gospel Doctrine*, 542)

31. ジョセフ・F・スミスは最初の伝道から帰還する旅の途中、ある日、「小編成の幌馬車でわずかな距離を進んだだけで、野営することになった。そこに、数人の男たちが馬にまたがって悪態をつき、『モルモン』を見かけたら殺してやると脅しながら荒々しく野営地に乗り込んで来た。ジョセフ・F・スミスは、この盗賊たちに最初に出会う運命にあった。……男たちが来たとき、ジョセフ・Fは野営場所から少し離れた所で薪を集めていた。盗賊たちを見たとき、ジョセフ・Fがまず考えたのは、一緒にいた仲間がしたのと同じように、走って木立の中に逃げようかということだった。そのとき、ある考えが浮かんだ。『どうしてこのような連中から逃げなければならないのか。』そう考えるとジョセフ・Fは両手に薪を抱えて野営の場所まで堂々と戻って来た。薪を下ろそうとすると、まだピストルを手にしていた一人のならず者が銃口を年若い長老に向け、酔ったならず者にしか言えないような口調でののしり、『モルモン』を皆殺しにしてやると言った。そして、ジョセフ・Fに大声で言った。『おまえはモルモンか。』



32. 一瞬のためらいもなく、男の目を見詰めて、ジョセフ・F・スミスははっきりと答えた。『そのとおりだ。正真正銘の徹底したモルモンだ。』

33. 大胆に、恐れる気配さえ見せずに答えるのを見た男は、戦意をなくし、当惑した。男は宣教師ジョセフ・Fの手を握ってこう言った。

34. 『おまえみたいに……気持ちのいい男は見たことがない。握手しよう、若い。ひるまず自分の信念を守る男に会えてうれしいよ。』

35. ジョセフ・Fは、何年も後にこう語った。この男は間違いなくピストルの引き金を引くと思っていた。自分が死ぬことになると分かってはいたが、ほかにどうすることもできなかった。その男は明らかに一味のリーダーであった。男が馬を操ってその場を去ると、ほかの男たちもそれに従って行った。モルモンの一団はそれ以上の危害を受けなかった。」(ジョセフ・フィールディング・スミス編, *Life of Joseph F. Smith*, 第2版〔1969年〕, 188 - 189)

36. 「わたしたちは正義を信じています。わたしたちは、どんな事柄に関するものでも、すべての真理を信じています。世のすべての教派宗派は、わたしたちが受け入れている真理の原則のうち一つは持っています。その出所がどこであろうと、わたしたちはすべての真理を喜んで受け入れます。なぜなら真理はいつまでも真理として存続するからです。人の信仰、人の宗教、世界の宗教組織は、いかなるものであろうと、真理を超越することはできません。真理は宗教の根底になければならないのです。そうでなければ宗教はむなししいものであり、その目的を達することができないでしょう。真理は、預言者ジョセフ・スミスを仲立ちとして設立された主の大いなる業の基であり、その業の根底と頂にあり

ます。また、主の業全体を真理が浸透しています。神がこの業に関与しておられます。これは神の業であり、人の業ではありません。したがって、どのような反対があろうと、この業は成功することでしょう。」(Conference Report, 1909年4月, 7)

37. 「わたしを贖ってくださる御方が生きておられることを、わたしは知っています。全身でこのことを感じています。自分の存在に満足しているように、このことに満足しています。自分が存在しているのと同じくらい確かに、わたしを贖ってくださる御方が生きておられること、また救い主の御父である神が生きておられることを感じています。わたしはこのことを心に感じています。心と体のすべてが、このことを確信しています。」(Gospel Doctrine, 69)

## 読み物を理解する

### ジョセフ・F・スミスの教えと証

述べている(段落9)	呼んで	高める(段落22)	大きくする
解説(段落9)	説明	襲いかかる(段落25)	苦しめる, 悩ます
確認した(段落9)	はっきりと教えた	愚かさ(段落26)	過ち
確認する(段落17)	見つける	ガメント(段落28)	衣服
成熟するまで育てられた(段落19)	大人になるまで育てられた	とがめるような(段落28)	優しく正すような
与えられ(段落21)	祝福され, 贈られ	仲立ち(段落36)	努力, 働き
育てる(段落22)	世話をし	浸透して(段落36)	満たして
て成長させる		全身で(段落37)	体のすべての部分で

## 読み物を研究する

「ジョセフ・F・スミス大管長」を読みながら、次の活動(A-D)のうち二つを行ってください。

### A スミス大管長の生涯を復習する

ジョセフ・F・スミスの生涯と彼が管理した時期を研究して、以下の出来事は彼が何歳のときに起こったかをノートに書いてください。

1. 父ハイラム・スミスがリバティーの監獄に捕らわれた(教義と聖約121章の前書きも参照)
2. 父ハイラム・スミスと叔父の預言者ジョセフ・スミスが殺された(教義と聖約135:1も参照)
3. 荷車を操ってソルトレーク盆地へ行った。
4. ヒーパー・C・キンボール長老からバプテスマを受けた。
5. 母親が亡くなった。
6. 最初の伝道に行った。
7. 使徒に聖任された。
8. 最初の妻と結婚した。

9. 教会が公式の宣言一を受け入れた。
10. 教義と聖約138章に記されている示現を受けた。
11. 亡くなった。

### B 模範を見つける

ジョセフ・F・スミス大管長はこのように記しました。「末日聖徒に求められることは、この世的な目標や楽しみを放棄すること、忠誠であること、強い人格を持つこと、真理を愛すること、原則に対して誠実であること、真理の勝利と前進を熱望することです。」(“Principle, Not Popularity,” *Improvement Era*, 1906年7月号, 733) ジョセフ・F・スミスが真の末日聖徒であったことを示すエピソードを3つ挙げてください。

### C リストを作る

ジョセフ・F・スミス大管長の生涯と教会を管理した時期(192ページ)から、セミナリーが初めて組織された年、教会がボーイスカウトを採用した年、家庭の夕べを開始した年を挙げてください。これらは家族や個人が今日の世の中の誘惑を退ける助けとなります。それぞれについて、なぜ誘惑を退ける助けになると思うかノートに書いてください。



教会初のセミナリーのクラスは、ソルトレーク・シティーのグラナイトセミナリーで開かれた。

### D ジョセフ・F・スミス大管長の教えについて考える

段落9-37のジョセフ・F・スミス大管長の教えを復習してから、次の質問に答えてください。

1. 教義と聖約25:1でエマ・スミスに語られたのは天の御父ですか、それともイエス・キリストですか。
2. 神は人間とほかのあらゆる動物との間に違いを設けられました。それは何ですか。
3. 幼くして亡くなった子供は幼子のまま復活しますか、それとも成人として復活しますか。
4. 家庭の夕べを開くことには、どんな祝福が約束されているでしょうか。
5. 人の生涯の中で青少年の時代はなぜ大切なのでしょうか。どんな過ごし方をすると、その大切な時期が無駄になるといえますか。

## 教義と聖約138章 死者の贖いに関する示現



「ジョセフ・F・スミス大管長は、  
靈界における義人の働きに関して栄  
光あふれる啓示を受けた。1918年10  
月3日、スミス大管長はイエス・クリ  
ストの贖いに思いをはせながら、聖  
書を開いて1ペテロ3：18-20と4：6  
から、救い主が獄にいる靈たちに教  
えを宣べ伝えられた箇所を読んでい  
た。これらの聖句について深く考え  
ていると、主の御霊が大管長のうえ  
にとどまり、スミス大管長は靈界に  
集まっている『死者の群れ』を示現

によって見た。救い主が彼らの中に現れ、義人に福音を説かれるのを見た。主が他の者にこの伝道の業を引き継いで行うよう命じられたことを知った。また現在の神権時代の忠実な長老たちが、死すべき世を去ってからも死者に伝道しているのを見た。このようにしてすべての死者は贖われるのである。

この『死者の贖いに関する示現』はスミス大管長によって、大管長会と十二使徒定員会に提示され、全会一致で啓示として承認された。1976年にこの啓示は正式に教会の標準聖典に加えられ、その後間もなく教義と聖約第138章となった。」(『時満ちる時代の教会歴史 宗教341 - 343』492参照)

### 読み物を理解する

#### 教義と聖約138章

贖い(2節)	救い	語り合い(18節)	話し合い
示された(3節)	明らかにされた	自らを汚して(20節)	罪深い生活を選んで
深く考えて(3節)	思い計って、熟考して	輝き(24節)	栄光、光
初期の(5節)	古代の、最初の、草創期の	.....させようとされた(25節)	努めた
また思い出した(5節)	思いが戻っていった	命じられた(30節)	公認された
生かされた(7節)	生きるようにされる	身代わりのバプテスマ(33節)	死者のために生者が行うバプテスマ
ひながた(13節)	類似するものまたは匹敵するもの	滞在して(36節)	巡り歩いて
来て(16節)	訪れて	あらかじめ示すもの(48節)	前もって提示するもの
眠れるちり(17節)	死んだ肉体	証する(60節)	証を述べる

### 読み物を研究する

教義と聖約第138章を読みながら、次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

#### A 手紙を書く

今は1918年10月です。友達に手紙を書くとします。手紙の内容は、ジョセフ・F・スミス大管長の示現に関するものです。手紙には次のことについて簡単に書いてください。示現を受ける前と受けていた最中に、スミス大管長は何を行っていたか。この示現の簡単な内容。神から啓示を受けるためにどんな準備が必要か、また、神から啓示を受けるとはどんなことかについて、教義と聖約138：1-6, 11, 28-29から分かること。

#### B スミス大管長は何を学んだか

教義と聖約第138章で学んだことに基づいて、次の質問に答えてください。

1. イエス・キリストは死と復活の間どこへ行かれましたか。そのことについて、1ペテロ3：18-20と4：6(教義と聖約138：7-10参照)は何と教えていますか。
2. 救い主が訪れられた者と訪れられなかった者について教義と聖約138：11-22はどんなことを明らかにしていますか。
3. イエス・キリストが靈界を訪れられたことについて、スミス大管長はどんな疑問を持ちましたか。スミス大管長はそれについてどんな答えを受けたのでしょうか(25-37節参照)。
4. スミス大管長は神殿の大切さについてどんなことを学びましたか(50-60節参照)。

#### C 義人の大群衆

1. 教義と聖約138：38-52から、スミス大管長が靈界で見た死者の名前を挙げてください。彼らに何が起きたかを説明してください。



2. 53 - 56節から、スミス大管長が霊界で見た教会歴史上の人物の名前を挙げてください。そしてスミス大管長が彼らについて「見た」ことを書いてください。
3. 「義人の大群衆」の中にいたかもしれない、とあなたが思う人を5人挙げてください(39, 49節参照)。
4. 38 - 56節に挙げられているのはどんな人々でしょう。その特徴を表す語句を挙げてください。あなたが彼らようになるためにはどうすればよいか書き出してください。



## ヒーバー・J・ グラント大管長


しもべ  
確固として主に仕える僕

ジェームズ・E・ファウスト副管長は次のように述べています。「ヒーバー・J・グラント大管長は、わたしが初めてお会いした大管長で、実に偉大な人物でした。グラント大管長が尊敬されていたのは、断固として自分を変えていくという強さがあったからだとも言えます。少年時代、野球のボールを投げることもろくにできず、字を書けば下手、歌えば音痴、といった子供でしたが、生涯をかけて練習した結果、歌はかなり上手に歌えるようになりました。野球や習字についてはグラント大管長の進歩は目覚ましく、かなう者がないほどに上達したのです。グラント大管長には、好んで引用し、座右の銘にしていた言葉があります。『継続して行う事柄は、容易に行えるようになる。それは物事の性質が変わるからではなく、わたしたちの力が増すからである』というラルフ・ウォルド・エマソンの言葉です。」「(「自制の力」『リアホナ』2000年7月号, 54 - 55参照) グラント大管長には、自分を磨こうという固い意志がありました。この姿勢のおかげでグラント大管長が得た祝福は、生涯を通して数多くあります。

十二使徒定員会補助を務めたジョン・ロングデン長老は、同じく十二使徒定員会補助として働いたクリフォード・E・ヤング長老から聞いた話を次のように語っています。「(グラント大管長が)亡くなる3, 4週間前にヤング兄弟が大管長の自宅を訪れたとき、グラント大管長はこんな祈りをささげていました。『おお神よ、証を失うことがないように、そして最後まで忠実でいられるように、どうかわたしを祝福してください。』」(Conference Report, 1958年10月, 70)

### ヒーバー・J・グラント大管長の生涯 (1856 - 1945年)

1856年 11月22日、ソルトレーク・シティにおいて、ジェデダイア・モルガン・グラントとレイチェル・リッジウェイ・アイバンス・グラントの間に生まれる。プリガム・ヤング大管長の副管長を務めていた父ジェデダイアは、ヒーバーが誕生してから9日後に他界した。

1872年	16歳。高校を卒業すると、銀行員になる	
1877年	20歳。11月1日、ルーシー・ストリンガムと結婚する。ルーシーは1893年に死去	
1880年	23歳。ステーキ会長に召される	
1882年	25歳。ジョージ・Q・キャノン副管長により使徒に聖任される	
1883 - 1884年	26 - 27歳。アメリカインディアンの中で伝道する	
1901 - 1906年	43 - 48歳。日本初の伝道部の部長を務める。その後、イギリスやヨーロッパの伝道部の部長を務める	
1916年	60歳。十二使徒定員会会長となる	
1918年	62歳。ジョセフ・F・スミス大管長の死後、大管長に支持される	
1945年	88歳。5月14日、ソルトレーク・シティにおいて死去する	

### ヒーバー・J・グラント大管長が教会を管理した時期 (1918 - 1945年)

1919, 1923, 1927年	ハワイ、アルバータ、アリゾナにおいて神殿を奉獻する
1924年	初めて総大会がラジオ中継される
1925年	南アメリカ初の伝道部が組織される
1926年	インスティテュートのプログラムを開始する(アイダホ州モスコ)
1930年	教会の100年祭を祝う(会員数は約67万人)
1936年	教会福祉プログラムを組織する
1941 - 1944年	第二次世界大戦中、軍隊に入っている教会員を支援するプログラムを始める

### ヒーバー・J・グラント大管長の生涯

1. 「1918年11月、ジョセフ・F・スミス大管長は死去の直前に、当時十二使徒会会長であったヒーバー・J・グラントの手を取り、このように言った。『主の祝福があるように。ヒーバー、主の祝福があるように。あなたには大きな責任があります。この業が人の業ではなく神の御業であることを、いつも覚えておいてください。主はどんな人間よりも偉大です。主はだれに主の教会を導いてほしいか御存じです。間違われることは決してありません。』」(“Editorial,” *Improvement Era*, 1936年11月号, 692) こうしてヒーバー・J・グラントは、1882年以来使徒として奉仕した後に62歳で第7代大管長となった。」

2. 目標を達成することに対してヒーバー・J・グラントが見せた執念は、少年のころから並外れたものだった。この特性は生涯変わらなかった。未亡人の独りっ子として育てられたグラントは、同年代の少年がするような遊びに加わることはほとんどなかった。野球チームの入団テストのとき、運動神経が鈍いから向いて

いないとばかりにされ、チームに入れてもらえなかった。しかしくじけることなく、長い時間をかけて投球練習をし、やがて別のチームに入って何度も地元の大会で優勝した。



3. 少年のころ、グラントは簿記の仕事がしたいと思った。そのころしていた靴磨きの仕事より収入がかなり良かったからである。当時、簿記をするには字が上手でなければならなかった。しかしグラントは字が汚く、ミミズが這っているようだと二度も友達から言われていた。このときもグラントはくじけなかった。時間をかけて練習したのだ。やがてグラントは字がきれいなことで有名になり、大学でペン習字を教え、重要書類の作成をよく依頼されるまでになった。ヒーバー・J・グラントは、主と同胞のために怯むことなく最善を尽くすという点で、多くの人の偉大な模範であった。

4. グラント大管長は賢明な、傑出した<sup>けっしゅつ</sup>ビジネスマンであり、その才能のおかげで世界的な経済不況にあった教会と、不況のあおりを受けた人々を導くことができた。人は政府に頼るのではなく、自立<sup>みせに</sup>して主に頼り、勤勉に働くべきであるという固い信念を持ち、身銭を切って、貧しい人々を大勢助けた。

5. 1930年代に入ると、世界中の多くの人と同様、聖徒たちも大恐慌による失業や貧困を味わうようになった。そして1936年、グラント大管長は主からの啓示により、貧しい人々を援助し全教会員を自立させる福祉プログラムを確立した。そのプログラムの中で、大管長会はこう述べている。『わたしたちの第一の目的は、可能なかぎり、怠ましい<sup>たいだ</sup>怠惰や施し<sup>あぐへい</sup>のもたらす悪弊を除去し、独立心、勤勉、儉約、自尊心を再びわたしたちの中に確立する体制を築くことである。教会の目的は、人々の自立を助けることにある。勤労が再び教会員の生活を貫く原則にならなければならない。』〔大管長会、Conference Report, 1936年10月, 3〕



6. 〔十二使徒定員会会員を務めていたアルバート・E・ポーエ

ン長老は〕次のように力説している。『福祉計画の真の長期目標は、与える側と受ける側双方の教会員の人格を築き、人の心の奥深くに眠っている最も優れたものをすべて解き放ち、内に秘められた豊かな精神を開花させ結実させることである。』〔The Church Welfare Plan (福音の原則学習コース, 1946年), 44〕

7. 1936年には教会全体の福祉事業を監督する中央福祉委員会が発足、パイオニアステークのハロルド・B・リー会長が委員会の実務ディレクターとなった。後にデゼレト産業ストアも開かれて失業者や障害者の救済が行われ、さらに困窮者の援助のため農業ならびに生産のプロジェクトも確立された。福祉事業は今日でも貧しい教会員や世界中の劣悪な環境の下に生活する大勢の人にとって祝福となっている。〔詳細はグレン・L・ラッド, Pure Religion: The Story of Church Welfare Since 1930 (1995年) を参照〕



8. 伝道活動はその間も発展を遂げていたが、グラント大管長自身が非常に珍しい改宗にかかわることとなった。イタリア人牧師であるピンチェンソ・ディ・フランチェスカがニューヨークの町を自分の教会に向かって歩いていったときのことである。灰でいっぱいになったたすの中、表紙の取れた1冊の本が置き去りにされているのが目に留まった。手に取って開いてみると、そこにはニーファイ、モーサヤ、アルマ、モロナイなどといった、見慣れない名前が書かれていた。本のタイトルも起源も分からないまま、読んでみたいという気持ちに駆られ、書いてあることが真実かどうか、祈って尋ねることにした。祈った後にフランチェスカはこう語っている。『何かたならぬ価値を持つものを見つけたようでうれしくてたまらず、心が安らぐのを感じた。そして、言葉で表現できないような喜びをかみしめた。』フランチェスカはその本の教えを自分の教会の信者に伝え始めた。そのためフランチェスカは教会の指導者から懲戒<sup>ちやうがい</sup>処分を受け、本の焼却まで命じられたが、従わなかった。

9. 後にフランチェスカはイタリアに戻り、1930年に、その本が末日聖徒イエス・キリスト教会の発行したものであることを知る。ユタの教会にあてて書いた手紙はグラント大管長のもとに届けられた。グラント大管長はイタリア語のモルモン書を送り、フランチェスカの名前をヨーロッパ伝道部の部長に伝えた。当時は戦時中でもあり、なかなかバプテスマを受けることができなかったが、ついに1951年1月18日、フランチェスカは教会員となった。シシリー島初の教会員である。それから5年後、スイス神殿でエンダウメントを受けた。〔ピンチェンソ・ディ・フランチェスカ「わたしにはその本を焼くことはできません」『聖徒の道』1988年7月号, 14参照〕

10. 1922年5月6日、グラント大管長は教会初のラジオ局を奉獻した。そして2年後、ラジオ局は総大会の実況放送を行い、さらに多くの人に総大会でのメッセージが届けられるようになった。それから程ない1929年7月、タバナクル合唱団が最初の『ミュー



ジック・アンド・スポークンワード』(Music and the Spoken Word)の放送を行った。毎週行われる霊感あふれる音楽とメッセージの番組である。この番組は現在も続けて放送されている。

11. グラント大管長は1945年5月14日に死去した。大管長として奉仕した期間は27年に及ぶ。ブリガム・ヤングに次いで、

長く大管長を務めたことになる。」(『わたしたちの受け継ぎ』95 - 98参照)

## 読み物を理解する



### ヒーバー・J・グラント大管長の生涯

育てられた(段落2)	成長した	再び.....貫く(段落5)	力を取り戻す
大恐慌(段落5)	全世界が大変な貧しさに苦しんだ時期	内に秘められた(段落6)	見えないけれども存在する
自立(段落5)	自分で自分のことができる	劣悪な(段落7)	貧しい、乏しい
怠惰(段落5)	怠けること	心が安らぐのを感じた(段落8)	心に平安を感じた
施し(段落5)	政府から金銭やサービスを無料で受けること		
除去(段落5)	終わる, 取り除く		

## ヒーバー・J・グラント大管長の教えと証



12. 1925年、ヒーバー・J・グラント大管長と副管長は、ギャンブルについて以下の声明を発表しました。「教会は、昔も今も変わることなく、いかなる形であれ、かけ事には常に反対してきました。運任せの勝負事、また、実質何も与えずに人からお金を巻き上げるようなたぐいの仕事やビジネスについても同様です。また、無謀な投機心をあおるような話を持ちかけたり、教会員とこの地の住民がこれまで維持してきた高い道徳心を低下させたり、弱めたりするようなものには特に強く反対しています。」

(“Gambling,” *Improvement Era*, 1926年9月号, 1100で引用)

13. 第二次世界大戦中、様々な国で多くの教会員が戦争に行くことを求められました。時には会員同士が戦わなければならないこともありました。1942年4月の総大会で、ヒーバー・J・グラント大管長と副管長たちは次のような声明を読み上げました。

14. 「キリストの福音は、愛、平和、忍耐、寛容、赦し、親切、善行、慈愛、兄弟愛の福音です。.....

15. 義人の心に憎しみが宿る余地はありません。.....

16. ....憎しみはサタンから、愛は神から来るものです。わたしたちは皆、心から憎しみを追い出して、二度と入り込ませない

ようにしなければなりません。.....

17. 教会は100年前から、この原則によって導かれています。〔ここで教義と聖約134:1-6, 8が引用された。〕

18. これらの原則に従ってわたしたちは、祖国のために武器を取ることを要請された場合、教会員には召集に応じる義務があると考えてきました。.....

19. ....現在の戦争における両陣営では、自分の国家のために義になかった教会員が命を落としています。偉大な英雄として世を去った人々もいます。これはすべて、教会の民が先に述べた原則に従い、それぞれの祖国に忠誠を尽くしている結果なのです。.....

20. ....ある国が憲法によって教会の男性を軍に召集した場合、もしもその憲法が.....〔教義と聖約98:4-7で教えられている〕原則に基づいているならば、教会の男性の市民としての第一の義務は、その召集に応じることです。召集に応じ、指揮官の命令に従って、相手国の人命を奪うことがあるとしても、殺人の罪に問われることはありません。.....

21. 今、全世界は史上最悪とも思われる戦争に巻き込まれています。わたしたちの教会は全世界に広がる教会です。どちらの陣営にも教会員がいるのです。彼らは戦争の手段として、それぞれの主権を守るために使われているのであって、個人的には戦争に対して罪はありません。どちらの陣営も、自分たちの家庭、国家、自由のために戦っています。どちらの陣営も、同じ神に、同じ御名によって勝利を祈り求めています。どちらの陣営も完全に正しいということはありませんし、間違いが絶対ないとも言えません。神は御自分が適切と思われるときに、御心にかなう方法で戦争を裁いてくださいます。.....

22. 兵役に就く教会の青年たちに申し上げます。どこでだれのために戦おうとも、清く生活し、主の戒めを守り、真理と義のうちにとどまれるよう絶えず祈り、その祈りのとおりに生活してください。そうすれば、どのようなことが降りかかるろうとも、主がともにおられて、神の誉れと栄光のため、そして皆さんの救いと昇栄のためにならないようなことは何も起こらないことでしょう。」(Conference Report, 1942年4月, 90 - 91, 93 - 96)

23. 「神が生きておられ、イエスがキリストであられ、ジョセフ・スミスが過去においても現在においても神の預言者であることを証します。.....わたしはこのことを確かに知っています。今晚こうして皆さんの前に立っているのをはっきり認識できるように確かに知っています。熱さも冷たさも分かります。喜びも悲しみも知っています。悲しみのとき、苦難のとき、そして死の危険にさらされているとき、神はわたしの祈りに耳を傾けて、こたえてくださいました。わたしは神が生きておられることを証します。わたしはこの証を皆さんに残します。」(“Farewell Address of Apostle Heber J. Grant,” *Improvement Era*, 1901年7月号, 691)



## 読み物を理解する



### ヒーバー・J・グラント大管長の教えと証

常に反対して(段落12)	あ	主権(段落21)	国
くまでも反対して		御心になう(段落21)	最
忍耐(段落14)	寛容	も良い	
完全に(段落21)	まったく	降りかかるうとも(段落22)	
		あなたの身に起ころうとも	

## 読み物を研究する



「ヒーバー・J・グラント大管長」を読みながら、次の活動AとBを行ってください。

### A 目標を2つ決める

1. 段落1-11を調べ、ヒーバー・J・グラント大管長の業績の中で、あなたが大切だと考えるものを5つ書き出してください。
2. グラント大管長はなぜこれらの責務をやり遂げることができたと思いますか。また、それを成し遂げる際にぶつかった壁を、グラント大管長はどんなふう乗り越えましたか。短くまとめて書いてください。
3. 達成しようと思う目標を2つ書いてください。達成するうえで障害になりそうなものも書いておきます。その目標を達成するために何をしたらよいか、どれくらいの期間をかけてすればよいかも書いてください。

### B 大切な決断を下すときの指針

次の事例を読んで、ヒーバー・J・グラント大管長の教えまたは証の中からぴったり当てはまるものを探してください。事例の人たちはどうしたらよいか、簡単に説明してください。その理由も書いておきます。

1. 恵子の親友が最近、自動車事故で亡くなりました。恵子は動揺し、神はほんとうにおられるのだろうかかと疑っています。
2. 潤一郎は特賞1億円の宝くじを買おうと考えています。当たれば1億円を全部思いどおりに使ってしまうでしょう。
3. スティーブンは軍人で、現在出兵中です。敵国の兵士を殺すことになったらどうしようと悩んでいます。
4. 真理子は仕事がなかなか見つかりません。国の生活保護を申請することにしました。そうすれば働かなくても済むからです。




ジョージ・アルバート・スミス大管長

しもべ  
高潔な僕

トーマス・S・モンソン副管長は、ジョージ・アルバート・ス

ミス大管長について次のような話を紹介しました。「ソルトレーク・シティー市役所の道路課に長年勤めるジュニウス・バート兄弟は、靈感に満ちた心温まる話を聞かせてくれました。冷え込んだある冬の朝、バート兄弟が所属する道路清掃班は、排水路から厚い氷の塊を取り除いていました。正規の職員と、職を求めて集まった臨時職員が一緒に働いていました。その中に薄いセーターを着た臨時職員が一人いました。そのうちに、あごびげをきれいに整えたほっそりした男性が通りかかり、その臨時職員に声をかけました。『こんな朝にセーターだけでは足りないでしょう。上着はどうしたんですか。』上着は持っていないと聞くと、通りがかりのその男性は自分のコートを脱ぎ、手渡ししながらこう言ったのです。『これを差し上げましょう。厚手のウールだから暖かいですよ。わたしはこのすぐ向かいで働いていますから。』そこは教会本部ビルの南側を走るサウステンプルストリートでした。コートを脱いだまま仕事のために本部ビルの中へ姿を消した良いサマリヤ人は、末日聖徒イエス・キリスト教会のジョージ・アルバート・スミス大管長だったのです。その惜しみない無私の行いには、大管長の優しい人柄がうかがえます。確かにスミス大管長は兄弟の守り手でした。」(「兄弟の守り手」『聖徒の道』1990年7月号、53-54参照)

### ジョージ・アルバート・スミス大管長の生涯 (1870-1951年)

1870年	4月4日、ソルトレーク・シティーにおいてジョン・ヘンリー・スミスとサラ・ファー・スミスの間に生まれる	
1891年	21歳。ユタ州南部で伝道する	
1892年	22歳。ルーシー・エミリー・ウッドラフと結婚する。ルーシーは1937年に死去	
1892-1894年	22-24歳。合衆国南部諸州で伝道する。妻のルーシーも同行した	
1903年	33歳。ジョセフ・F・スミス大管長により使徒に聖任される	
1919-1921年	49-51歳。ヨーロッパ伝道部の部長を務める	
1921年	51歳。教会の若い男性プログラムの指導者となる	
1943年	73歳。十二使徒定員会会長となる	
1945年	75歳。ヒーバー・J・グラント大管長の死後、教会の大管長として支持される	
1951年	81歳。自身の誕生日である4月4日、ソルトレーク・シティーにおいて死去する	

### ジョージ・アルバート・スミス大管長が教会を管理した時期 (1945-1951年)

1945年	第二次世界大戦のため宣教師が行けなかった世界各地に、宣教師を派遣し始める。アイダホ州アイダホフォールズ神殿を奉獻する
-------	--



1946年	第二次世界大戦で被害を受けたヨーロッパの聖徒に食糧と物資を輸送し始める
1950年	早朝セミナープログラムが始まる

## ジョージ・アルバート・スミス大管長の生涯

1. 「ヒーバー・J・グラントの跡を継いで大管長となったのはジョージ・アルバート・スミスである。彼の人生は、福音に従って生活するときに幸福が訪れることを地で行くようなもので、こう証している。『わたしが幸福や喜びとして挙げる値打ちのあることはすべて、神の戒めを守り、その忠告と勧告に従った結果もたらされたものでした。』（Conference Report, 1948年4月, 162）

2. 神の戒めを守り教会指導者の勧告に従うことは、何代にもわたってスミス大管長の家族の義の伝統となっていた。スミス大管長は、父方の祖父であるジョージ・A・スミスの名を受け継いでいる。ジョージ・A・スミスは預言者ジョセフのいとこであり、ブリガム・ヤング大管長の副管長を務めた人であった。ジョージ・アルバートの父ジョン・ヘンリー・スミスは、ジョセフ・F・スミスの副管長であった。ジョージ・アルバートは33歳で十二使徒定員会に召された。1903年から1910年までの間、父ジョン・ヘンリーと息子のジョージ・アルバートは十二使徒定員会で席を共にすることになった。父と息子が十二使徒定員会で同時期にともに奉仕するのは、この神権時代ではほかに例がない。



3. ジョージ・アルバート・スミスの42年間にわたる十二使徒定員会での奉仕は雄々しいものであったが、健康は優れなかつた。ユタ南部で鉄道の調査を行っていたときに太陽光で両目を患い、手術をしたものの視力はほとんど失った。また、ますます厳しさを増す重圧や要求に、衰弱した体はさらに弱まり、1909年、過労で倒れた。医師が絶対安静を命じたためにかえって自信を失い、役立たずという思いにさいなまれ、極度の不安状態に陥った。

4. このつらい時期、ジョージの夢に、大きな湖のほりにある美しい森が出てきた。森の中を歩いてしばらくすると、祖父のジョージ・A・スミスがこちらに向かって来る。ジョージは駆け寄った。ところが祖父は近づく立ち止まってこう言った。『おまえがわたしの名を名乗って何をしたのか知りたい。』ジョージの脳裏にはそれまでの半生の出来事が次々に浮かんだ。彼はへりくだってこう答えた。『あなたに恥をかかせるようなことは何一

つしていません。』この夢はジョージに新たな精神力と活力をもたらし、間もなく仕事に戻ることができた。彼はこの夢のことを、自分の人生を変えた出来事であると度々語っている。〔ジョージ・アルバート・スミス, *Sharing the Gospel with Others*, プレストン・ニブレー選 (1948年), 110 - 112〕

5. ジョージ・アルバート・スミスが教会を導いたのは1945年から1951年であるが、この間に教会員総数が100万に達し、アイダホ州のアイダホフォールズ神殿が奉献された。また第二次世界大戦で中断されていた伝道活動が再開されている。

6. また、大戦で打撃を受けたヨーロッパの聖徒たちのために、組織的な救済活動が行われ、アメリカ合衆国の教会員は衣服や日用品を提供するよう呼びかけられた。スミス大管長はハリー・S・トルーマン合衆国大統領と会見し、提供された食糧や衣服、寝具をヨーロッパに送付する許可を得た。スミス大管長はその会見の様様を次のように記している。



ジョージ・アルバート・スミス大管長、ハリー・S・トルーマン米大統領、ハーバート・モー（ユタ州知事）

7. トルーマン大統領はこう言った。『そんなものを送ってどうしようとおっしゃるのですか。ヨーロッパのお金は値打ちがありませんよ。』

8. わたしは答えた。「お金が目当てではありません。」大統領はわたしの顔をまじまじと見てこう言った。「これだけのものを無料で提供するとおっしゃるのですか。」

9. わたしは言った。「もちろん差し上げます。あの人たちもわたしたちの兄弟ですし、現に今、困っているのですから。神の恵みによりわたしたちには余剰品があります。政府のご協力が頂けるのでしたら、喜んでお送りいたします。」

10. 大統領は言った。「よく分かりました。わたしたちでできることは喜んで何でもいたします。」(Conference Report, 1947年10月, 5 - 6)



11. ユタで寄贈品が仕分けられ、海外へ向けて箱詰めされていた現場に、スミス大管長が視察にやって来た。大管長は、惜しみなくさげられた大量の日用品を見て涙を流した。しばらくして、自分が着ていた新しいオーバーコートをと脱ぐと、こう言った。

『これも送ってください。』近くにいた人から、これから寒くなる

のでコートは必要ですよと言われたが、大管長は送ってくれと言  
って聞かなかった。(ラッド, *Pure Religion*, 248参照)

12. ヨーロッパでの伝道部の再開を担当したのは、十二使徒定  
員会会員のエズラ・タフト・ベンソン長老である。救済物資の分  
配と聖徒たちの霊的な必要を満たすことがその使命であった。ベ  
ンソン長老はヨーロッパ訪問の初期に、ライン川のほとりの都市、  
ドイツのカールスルーエで大会を行った。ベンソン長老はそのと  
きの経験についてこう語っている。

13. 『わたしたちはやっとのことで会場にたどり着きました。  
奥まった所にある、爆撃の跡が残る建物です。聖徒たちはおおよそ  
2時間待っていました。わたしたちが大会に出席するかもしれな  
いと聞いて、期待してしてくれたのです。壇に上がりながら見る  
と、その場に集った全員が泣いていました。それはわたしにとっ  
て生まれて初めて見る光景でした。彼らにとっては、6年から7年  
という長い期間の後に、シオンの代表者がようやく戻って来た瞬  
間だったのです。……顔を上げた彼らは青白くやせかけて、多く  
はぼろをまとい、中にははだしの人もいました。でも、この偉大  
な末日の業が神の御業であることを証し、主の祝福に感謝する目  
には、信仰の光が輝いていました。』(Conference Report, 1947  
年4月, 154)

14. ベンソン長老の責任の一つは、貨車127両分の食糧、衣服、  
寝具、薬品をヨーロッパ全土に分配することであった。それから  
何年もたって、トーマス・S・モンソン副管長がドイツのツピカ  
ウの新しい教会堂の奉献式に訪れると、年配の兄弟が目に涙を浮  
かべながら近寄って来て、エズラ・タフト・ベンソン大管長によ  
ろしくと言う。『大管長に伝えてください。大管長はわたしの命  
を救ってくださいました。祖国のたくさんの兄弟姉妹の命を救  
ってくださいました。アメリカの教会員の方々から贈られた食  
糧や衣服を届けてくださったからです。』(ゲリー・アバント、  
“War Divides, but the Gospel Unites,” *Church News*, 1995年8月  
19日付, 5)

15. オランダの聖徒たちは、飢えに苦しむドイツの聖徒たちの  
ために真のクリスチャンとしての奉仕活動を行う機会を得た。オ  
ランダの教会員は戦争中に多大な苦難を味わい、アメリカ合衆国  
の教会員から福祉援助を受けていた。1947年の春、独自の福祉事  
業を開始するようとの指導を受けて、聖徒たちは熱心に取り組  
んだ。最初の事業としてじゃがいもの植え付けを行い、大収穫を  
待つばかりとなっていた。



16. ちょうどこのころ、東ドイツ伝道部のウォルター・ストー  
パー部長がオランダを訪問し、目に涙を浮かべながらドイツの教

会員の飢えと苦難の状況を説明した。そこでオランダ伝道部のコ  
ルネリウス・ザッピー部長は教会員に、今育てているじゃがいも  
をドイツの教会員に提供してはどうかと提案した。ドイツは戦争  
中は敵国であったにもかかわらず、オランダの教会員はこれに喜  
んで同意し、じゃがいもの生長にいつそう関心を寄せるようにな  
った。収穫量は予測を大きく上回り、オランダの聖徒たちは75ト  
ンのじゃがいもをドイツの兄弟姉妹に届けることができた。そし  
てまた1年後には、90トンのじゃがいもと9トンのにしんを送っ  
ている。〔詳細はラッド, *Pure Religion*, 254 - 261参照〕

17. 聖徒たちの、こうしたキリストの愛を示す行為は、キリス  
トの愛をあふれんばかりに放ち続けるジョージ・アルバート・ス  
ミス大管長の姿そのものであった。スミス大管長はこう語ってい  
る。『兄弟姉妹の皆さん、わたしは皆さんにこう申し上げること  
ができます。この世で最も幸福な人々は隣人を自分のように愛し、  
毎日の行いに神の祝福への感謝を表す人々です。』(『わたしたち  
の受け継ぎ』98 - 102参照)

## 読み物を理解する

### ジョージ・アルバート・スミスの生涯

跡を継いで(段落1)	次に	余剰品(段落9)	余分の品々
父方の祖父(段落2)	父親の	日用品(段落11)	食料と衣
父親		料品	
極度の不安状態に陥る(段落3)	苦難(段落16)	苦しみ、悲	
ストレスが高まる	しみ、悲嘆		
活力(段落4)	強さ	にしん(段落16)	小魚

## ジョージ・アルバート・スミス大管長の教えと証

18. 「わたしは子供のころに、主の戒めはわたしを導く律法で  
あり、規則であると理解していました。あるいは理解したと思っ  
ていました。律法に従わなければ罰が与えられると思っていま  
した。ある律法に従わなければ直ちに報いを受けるように、主がこ  
の世界を定められたのだと、子供ながらに感じていました。けれ  
ども成長していくにつれて、別の視点から見る事ができるよう  
になりました。現在のわたしにとって主の律法は……憐れみ深い  
天父の声の優しい調べにほかなりません。主の戒めは、愛にあふ  
れる親の助言なのです。……したがって、かつては律法という厳  
しい響きを持っていた戒めが、今ではすべてを御存じである天の  
御父からの愛と優しさのこもった助言となっているのです。」  
(Conference Report, 1911年10月, 43 - 44. モーサヤ2: 41も参  
照)

19. 「わたしにとってイエス・キリストの福音がすばらしいの  
は、人が皆平等に扱われている点です。日の栄えの王国で高い地  
位を得るのに、ステーキ会長である必要はないし、十二使徒定員  
会に所属する必要もありません。ごく普通の教会員であっても、  
神の戒めを守るならば、日の栄えでほかの人と同じように昇栄す  
ることができるのです。イエス・キリストの福音の麗しさは、主  
の戒めを守れば、皆平等になることです。教会の律法に従ってい  
るかぎり、昇栄する機会が平等にあるのです。」(Conference  
Report, 1933年10月, 25)

20. 「わたしの祖父〔使徒ジョージ・A・スミス〕はよく家族  
に次のように話したものです。『主の領域と悪魔の領域の間には、



はっきりした境界線がある。もし主の側にとどまれば、主の影響を受け、悪いことをしようなどとは思わないだろう。しかし境界線を越えて少しでも悪魔の領域に入れば、すぐに誘惑者の力に捕らえられてしまうのだ。誘惑者の力が強ければもう正しく考えることも判断することもできなくなる。もはや主の御霊を失っているのだから。』

21. 時々、何か誘惑を受けると、『わたしは境界線のどちら側にいるのだろうか』といつも自分に問いかけてきました。もし主の側という安全な側にしようと思うのであれば、いつも正しいことをしなければなりません。したがって皆さんも、誘惑に遭ったら、よく祈って自分の問題を考えるようにしてください。そうすれば主の御霊の力によって、賢明な判断を下すことができるでしょう。主の側にいるときにのみ、わたしたちは安全なのです。

22. 幸福になりたければ、このことを覚えていてください。すなわち、幸福という名に値するものはすべて主の側にあり、あらゆる悲しみと落胆は悪魔の側にあるということ。』(Sharing the Gospel with Others, プレストン・ニブレー編 (1948年), 42 - 43)

23. 「わたしたちは人に何かを強制することはできませんが、人を愛することによって、正しいことを行い、義にかなう者となるよう促すことはできます。」(元メキシコ伝道部部长アーウェル・L・ピアス長老の話から引用, Conference Report, 1951年4月, 114)



24. 「あるとき、ある人としばらく話していると、その人がこう言いました。『お話をお聞きした限りでは、あなたの教会はすばらしい教会なのです。ほかのどんな教会にも劣りませんよ。』最大の賛辞のつもりで言ったことは分かりましたが、わたしはこう答えました。『今お話ししたこの教会が、人の子らにとってほかの教会と同じようなものだとしたら、わたしの伝え方が悪かったのでしょうか。わたしたちが来たのは、皆さんがすでにお持ちの真理や徳を取り上げるためではありません。また皆さんのあら捜しをしたり、批判をしたりするためでもありません。皆さんがまだこんなことをしていないと言って非難するためでもありません。皆さんの兄弟として来たのです。時間や財産をささげ、愛をもってこの国へ参りました。皆さんのために何かしたいという望みをもってやって来たのです。罪があれば悔い改めるように勧め、徳高くあればこれからもそうであるように促すのが、わたしたちの願いです。すでに持っておられる善いものを、すべて大切にしてください。わたしたちはさらに善いものを皆さんにお伝えしたいと望んでいます。それは皆さんがさらに幸せになり、天の御父のみもとへ行く備えができるようになるためです。』」(Sharing the Gospel with Others, 12 - 13)

25. 「わたしたちがこのようにして礼拝のために集まっているこの日……安息日は、この偉大な国では『遊びの日』に変わってきました。多くの人々は、その昔神が定められた戒めを破る日としているのです。わたしは、人類をむしばんでいる悲しみと苦悩の

多くは、安息日を聖く守りなさいという勧告を無視してきたことが原因であると確信しています。」(Conference Report, 1935年10月, 120)



26. 「わたしはこれまで生きてきた80年間に、世界の様々な地を訪れ、立派で善良な人々と交わってきました。そして今、以前にも増してはっきりと分かるようになってきたことを証します。神は生きておられます。イエスはキリストであられ、ジョセフ・スミスは神の生ける預言者です。末日聖徒イエス・キリス

ト教会は、天の御父の指示に従いジョセフ・スミスによって組織された教会です。その証のために、教会員は荒野に追い出されたこともありましたが、この教会は神権の力と権能によって組織されています。神権とは、ペテロ、ヤコブ、ヨハネからジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに授けられた神権です。わたしは自分が生きているのを理解できるように確かに、以上のことを知っています。そして、この証を述べるのが非常に重大なことであり、また、この証と、主の御名によってわたしが教えたすべてのことについて、天の御父から責任を問われることを承知しています。わたしはこのことを十分わかまえています。もし皆さんを誤った方向へ導くようなことがあれば、わたしがそれについて責任を問われることも知っています。それでもなおわたしは、あらゆる人に対する愛と思いやりを込めて、このことを主イエス・キリストの御名によって証します。」(“After Eighty Years,” Improvement Era, 1950年4月号, 263 - 264)

## 読み物を理解する

ジョージ・アルバート・スミス大管長の教えと証

報い(段落18) 罰 非難する(段落24) しかる  
境界線(段落20) 分けるも  
のまたは境界

## 読み物を研究する

「ジョージ・アルバート・スミス大管長」を読みながら、次の活動AとBを行ってください。

### A スミス大管長ならどう答えるだろうか

ジョージ・アルバート・スミス大管長にインタビューできると仮定してください。段落1 - 17を調べてから、ジョージ・アルバート・スミス大管長が次の質問にどう答えるかを考えて、答えを書いてください。

1. これまでに大管長が成し遂げたことの中で、最も偉大なことは何だと思えますか。
2. 家族の中で、大管長に一番大きな影響を与えたのはだれですか。それはなぜですか。
3. 隣人に対してした奉仕の中で、最もよく覚えているのはどんなことですか。

なことですか。

4. 人々に愛を注ぎ、慈愛を示すことはなぜ大切だと思いますか。

### B 教を自分に当てはめる

「ジョージ・アルバート・スミス大管長の教えと証」の中から、

自分にとって大切な教えを5つ選んでください。その教えは現代のどんな状況に当てはめたらよいか考えて、それぞれの教えのところに書いてください。そんな状況に置かれたとき、スミス大管長の教えた真理が、正しい行いをするのにそれぞれどう役立つか説明してください。

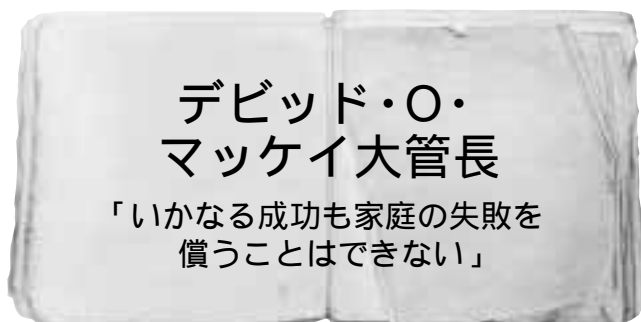
## 世界に広がる教会

教会は20世紀後半の50年間にかつてないほど発展しました。デビッド・O・マッケイ大管長からゴードン・B・ヒンクレ大管長に至るまでの、有能で靈感あふれる指導者のもと、伝道活動が発展し、教会員数は1,100万人を突破しました。神殿は今や世界各地に建てられ、たくさんの地でさらに多くの聖徒やその先祖が福音の最高の儀式を受けられるようになりました。教会は、主の計画を成し遂げるために、まさしく「暗黒から、また暗闇から」(教義と聖約1:30) 明るみに出て来ました。現代について、ゴードン・B・ヒンクレ大管長はこのように語っています。

「古代の人々が語り、預言者や使徒が預言した、末日における全能者の業の到来、それが今、ここにあります。まだ知らされていませんが、何らかの理由があって、わたしたちは、神の知恵により、この栄光の時代に地上に来る特権を得ました。科学の世界ではすばらしい成果を収めています。文字どおり知識の爆発と言えます。人類の努力と達成の長い歴史の中で、今が最も偉大な時代です。……

人類の歴史を振り返り、崇高で神聖な感覚に圧倒されるような思いで、わたしたちは今、時の流れの頂点に立っています。今は、過去のすべての人々が夢見ていた最後の神権時代です。……

この業が前進する過程のいずれかの段階で、イエス・キリストが、栄光のうちに地球を統治するために御姿を現されます。それがいつなのかを知る人はいません。天の御使いたちでさえ主の再臨の時を知らされないでしょう。しかしその日、人々は心から喜ぶことでしょう。」(「時の流れの頂で」『リアホナ』2000年1月号、89参照)



1898年にスコットランドで宣教師として働いていたとき、デビッド・O・マッケイは家が恋しくてたまらなくなったことがありました。マッケイ長老は後にこのように語っています。街を歩きながら、「通りから数メートル奥に入った所にある、建築中の建物が目に入りました。住居にしては珍しく、玄関の上部に石のアーチがしつらえてありました。さらに、もっと珍しいものが見え

ました。通りから見えたのはアーチに彫り込まれた碑文です。



同僚に『珍しいものがあるね。どんなものか行って見てくるよ』と言ってそこに近寄ると、すばらしい格言が目飛び込んできました。それはまるで、石に刻まれた文字というより、わたしたちが仕える御方から直接届いた言葉と言った方がよかったです。『あなたが何者であっても、本分を尽くしなさい。』

わたしはその言葉を思い巡らしながら来た道を引き返し、同僚のところに戻って何が書いてあったか教えました。

その朝出会ったその言葉は、わたしにとって、末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師として自らの本分を尽くすようにというメッセージでした。」(Cherished Experiences from the Writings of President David O. McKay, クレア・ミドルミス編 [1955年], 174 - 175)

### デビッド・O・マッケイ大管長の生涯 (1873 - 1970年)

1873年	9月8日、ユタ州ハンツビルにおいて、デビッド・マッケイとジェネット・エバンズ・マッケイの間に生まれる	
1881年	8歳。誕生日にバプテスマを受ける。当時、父親はイギリスで伝道中だった	
1897 - 1899年	24 - 26歳。スコットランドで伝道する	
1901年	27歳。1月2日、大学時代からの恋人エマ・レイ・リッグスと結婚する。エマは1970年に死去	
1906年	32歳。ジョセフ・F・スミス大管長により使徒に聖任される	
1918 - 1934年	45 - 61歳。中央日曜学校会長を務める	
1920 - 1921年	47 - 48歳。教会の使命を果たすために全世界を訪問する。1921年1月9日、福音を宣べ伝える地として中国を奉獻する	

1922 - 1924年 49 - 51歳。ヨーロッパ伝道部の部長を務める  
 1934 - 1951年 61 - 77歳。ヒーバー・J・グラント大管長とジョージ・アルバート・スミス大管長の副管長を務める  
 1950年 77歳。十二使徒定員会会長となる  
 1951年 77歳。ジョージ・アルバート・スミス大管長の死後、大管長として支持される  
 1970年 96歳。1月18日、ソルトレーク・シティーにおいて死去する

### デビッド・O・マッケイ大管長が教会を管理した時期 (1951 - 1970年)

1955 - 1956年 スイス神殿とカリフォルニア州ロサンゼルス神殿を奉獻する  
 1958年 ニューゼalandとハワイに教会の大学を開校する。ニューゼalandとイギリスのロンドンにおいて神殿を奉獻する。北アメリカ以外に初めてのステーキが組織される(ニューゼaland)  
 1961年 教会コーディネーションが始まる  
 1964年 カリフォルニア州オークランドにおいて神殿を奉獻する  
 1966年 南アメリカにおいて最初のステーキが組織される(ブラジル)

## デビッド・O・マッケイ大管長の生涯

1. 「デビッド・O・マッケイはジョージ・アルバート・スミス大管長の副管長であった。1951年の春、スミス大管長の病状が少し良くなったので、マッケイ副管長は妻のエマ・レイと、ソルトレーク・シティーを離れ、延び延びになっていたカリフォルニアへの休暇旅行に出ることを決めた。セントジョージに1泊したのだが、マッケイ副管長は翌朝早く目が覚め、はっきりと教会本部に戻らなければならないと感じた。そしてソルトレーク・シティーに戻ってから数日して、スミス大管長は脳溢血のういつけつを起こし、1951年4月4日に死去した。こうして、デビッド・O・マッケイは第9代大管長となった。

2. マッケイ大管長は教会を指導するためによく備えられた人物である。イギリスでの伝道に召された父に代わり、8歳のとき、家の男のする仕事を受け持つようになった。二人の姉は亡くなったばかりで、母親は次の子を宿していた。農場の仕事は身重の妻には荷が重すぎると感じたデビッドの父親は、こう言った。『わたしが伝道に出るのは無理だね。』するとマッケイ姉妹は夫の顔を見て言った。『もちろん召しを受けるべきです。わたしのことは心配しないで。デビッド・Oとわたしでうまくやりますから。』  
 [ルウェリン・R・マッケイ, *Home Memories of President David O. McKay* (1956年), 5 - 6] この父母の信仰と献身は、生涯にわたって主に仕えようとの望みを幼いデビッドの心に植え付けた。1906年、32歳で十二使徒に召され、それから大管長に召されるまで45年間、十二使徒評議会で、また大管長会で(ヒーバー・J・グラントならびにジョージ・アルバート・スミス大管長の副管長として)奉仕した。



3. マッケイ大管長は広い地域を旅する日程を立て、当時世界中に広まっていた教会の聖徒たちを訪れるようになった。訪問したのは、イギリス、ヨーロッパ、南アフリカ、ラテンアメリカ、南太平洋、その他の地域である。ヨーロッパ滞在中はロンドンとスイスにおける神殿建設の下準備を行った。大管長としての召しを終えるまでにほぼ全世界を回り、教会員を祝福し励ました。

4. マッケイ大管長は伝道活動を改めて強調し、教会員一人一人に毎年少なくとも一人の新会員を教会に導き入れる決意をするよう求めた。『すべての会員は宣教師である』と繰り返し述べた勧告はだれもが知るところとなった。

5. 1952年、専任宣教師がより効果的に働けるように、初の公式の伝道プランが全世界の宣教師に配付された。『福音教授の系統的プログラム』(A Systematic Program for Teaching the Gospel)と呼ばれるものである。御霊によって教えることを強調した7つのレッスンから成り立っており、神会の属性、救いの計画、背教と回復、モルモン書の重要性について明確に教えるものであった。全世界の改宗者の数は劇的に増大した。1961年、教会指導者は世界中の伝道部長を対象に初めてのセミナーを開催し、家族が友人や隣人と親しくなり、次いで家庭に宣教師を招いて福音を教えるという方法を教えた。また同じ1961年には新任の宣教師のために言語訓練プログラムが作られ、後に宣教師訓練センターが建設された。

6. マッケイ大管長の時代、アジアでの教会の成長の種がアメリカ軍の教会員によってまかれた。韓国で軍務に服していたユタ州アメリカンフォーク出身のある若い兵卒は、合衆国軍の兵士が道で韓国人を押しつけ肩で風を切って歩いている姿を見た。そこで若い教会員であった彼は逆に、韓国人に道を譲った。また現地の人々の名前を覚えるように努め、出会うと元気にあいさつをした。ある日、友人5人と軍の食堂に入ると、列があまりにも長かったので、彼はテーブルに戻って待っていた。すると、すぐに韓国人のウェーターがトレーに料理を載せてやって来た。そこで彼は腕の記章の一本線を見せて、『わたしはただの兵卒ですよ。料理を持って来てもらうことはできません』と言った。するとウェーターはこう答えた。『給仕させてください。あなたは一流のクリスチャンです。』(ジョージ・デュラン, "No. 1 Christian," *Improvement Era*, 1968年11月号, 82 - 84)

7. 1967年、それまで宣教師や軍人によって福音が効果的に宣べ伝えられてきた韓国では、モルモン書が韓国語に翻訳された。それから、ステーキやワードが国中に組織されるようになった。

8. 日本でも宣教師の働きは著しかった。第二次世界大戦後、日本の教会員は数年の間、教会本部との接触があまりなかった。しかし、教会を強固にするのに貢献したのは、戦後日本に駐留し

た軍の中にいた末日聖徒である。1945年、佐藤龍猪はお茶を丁寧に断った末日聖徒の軍人に感銘し、いろいろ質問をしたことがきっかけとなってバプテスマを受けた。翌年、家族の何人かも改宗した。佐藤兄弟にバプテスマを施したのはエリオット・リチャーズ、そして佐藤姉妹にバプテスマを施したのが、後に十二使徒定員会会員として召されたボイド・K・パッカーである。佐藤宅は、多くの日本人にとって回復された福音に初めて接する場となった。こうして、第二次世界大戦では日本と戦ったアメリカ人宣教師が、日本各地を伝道地として開拓していったのである。



9. フィリピンに教会が今日あるのも、第二次世界大戦後に駐留したアメリカ軍の軍人その他の教会員の努力に負うところが大きい。フィリピンで教会が大きく発展し始めたのは1961年になってからのことである。末日聖徒ではないある若いフィリピン人女性がモルモン書のことを耳にし、何人かの末日聖徒に会った結果、知り合いの政府の役人のところへ行って、末日聖徒の宣教師をフィリピンに入国させる許可を得るべきだと感じるようになった。やがて許可が下り、その1か月後、十二使徒定員会のゴードン・B・ヒンクレー長老が訪問、フィリピンを伝道地として再奉獻したのであった。

10. 1950年代の教会の劇的な成長を受けて、マッケイ大管長は教会全般のプログラムを調整する神権コーディネーションプログラムを発表した。教会のすべてのプログラムを十分に祈りをもって研究し、教会の最も重要な目標に合っているかどうかを調べるため、十二使徒定員会のハロルド・B・リー長老を長とする委員会が発足した。1961年、大管長から承認を受けたリー長老は、すべての教会教科課程資料の企画、制作、実施を統制する方針を策定すると発表した。それまで教科課程の資料の多くは各補助組織が独自で制作していた。この新しい指示は、プログラムや教材の不必要な重複を避け、世界に広がる教会において、あらゆる年代の、あらゆる言語の人に、もっと効果的に福音を教えることを目指したものであった。



11. また教会は、すべてのプログラムや活動をさらに効果的に調整するために、ほかに変更を加えていった。その結果、福祉、伝道、家族歴史活動が教会の使命を果たすうえでもっと重要視されるようになった。ジョセフ・スミスの時代から行われてきたホームティーチングは、教会員の物心両面にわたる必要を満たす手段として、1960年代になって再度強調されるようになった。また、福音教授の強化策としては、教会付属図書館の設立や教師養成プログラムの開始が挙げられる。1971年には中央幹部が監修する3種類の英文機関誌が発行された。子供向けの『フレンド』(Friend)、若人向けの『ニューエラ』(New Era)、成人向けの『エンサイン』(Ensign)である。また教会は、これとほぼ時期を同じくして、それまで各伝道部がそれぞれ独自に出していた各国語による機関誌を統一した。現在では一つの機関誌が各国語に翻訳され、世界各地の教会員に送られている。



12. デビッド・O・マッケイ大管長は幸福の源として、また現代社会における試みや誘惑から身を守る最も確かなものとして、家族や家庭生活の大切さを長年にわたって強調してきた。家族を愛していることや、妻エマ・レイからしっかりと

と支えられてきたことをよく話題にした。マッケイ大管長の時代、両親が子供たちと親しくなり、福音を教える手段として、週に1度家庭の夕べを開くことが特に改めて強調された。

13. 家族を強め家庭を堅固な場とすることの大切さを強調するうえで預言者の助けとなったのが、扶助協会である。扶助協会は、ノーブで創設されて以来、世界中の何千何万という女性を擁するまでに成長した。女性たちは個人的にもまた家庭にあっても、扶助協会を通して受けた教えや人々との交わりによって祝福を受けてきた。1945年から1974年まで中央扶助協会会長を務めたベル・S・スパッフォードは有能な指導者で、1968年から1970年に合衆国国家婦人会議の会長の任にあったときに国から表彰を受けている。

14. マッケイ大管長は1970年1月に96歳で死去した。在任期間はほぼ20年。その間教会員総数はほぼ3倍となり、福音のメッセージを全世界にもたらす大きな一歩が踏み出された。」「『わたしたちの受け継ぎ』102 - 105参照)

## 読み物を理解する

### デビッド・O・マッケイ大管長の生涯

下準備(段落3)	事前の準備	兵卒(段落6)	合衆国軍の最
求めた(段落4)	促した		下位の兵士
勧告(段落4)	注意	腕の記章の一本線(段落6)	
開催(段落5)	開いた	軍隊の兵卒を表す軍服のしるし	
		実施(段落10)	利用

## デビッド・O・マッケイ大管長の教えと証

15. 「家庭は子供たちが初めて、そして最も効果的に人生の教訓を学ぶ場です。すなわち、真理、名誉、徳、自制、教育の価値、正直に働くこと、そして人生の目的と特権を学ぶのです。子供を育て、教える場として家庭に取って代わられるものはありません。いかなる成功も家庭の失敗を償うことはできないのです。」(Family Home Evening Manual [1968年], iii)

16. 「幸福な結婚生活の種は若い時代にまかれます。幸福は〔結婚の〕聖壇から始まるものではありません。幸福は若い時代、求婚時代から始まるのです。」(Pathways to Happiness, ルウェリン・R・マッケイ編 [1957年], 49)

17. 「あらゆる理想の中で最高の理想は、ナザレのイエスの教えであり、その生涯です。また、ほんとうの意味で最も優れた人物は、最もキリストに近い人物なのです。」

18. 心の中でキリストについてほんとうにどう思っているかによって、自分が今どんな人物であるかが決まり、どんな行いをす

るかがほとんど決まるのです。」  
(Conference Report, 1951年4月, 93)

19. 「真のモルモンの家庭とは、もしキリストが入って来られたら、喜んでそこにとどまり、休んでくださるような場所です。」(Gospel Ideals [1953年], 169)

20. 「家庭よりも、仕事あるいは娯楽、または副収入に心を向けると、その瞬間から、人は下落の道をたどります。家庭よりも社交クラブの方に魅力を感じるようになったら、わたしは人生で最も大切な理想を達成できず、真の勇らしさを問う最終試験に落第しましたと、ひどく恥じながら告白しなければなりません。

21. いかにもすばらしい丸太小屋であろうとも、家族が一つになり愛がみなぎっている家庭は、どんなに豊かな富よりも、神と将来の人類にとって価値があります。神はそのような家庭の中で奇跡を起こすことができになり、実際にそうしておられます。清い家庭に住む心の清い人々は、常に天からのささやきが聞こえる距離にいます。」(“A Prophet’s Counsel,” Church News, 1968年9月7日付, 4)

22. 「わたしたちは、家庭を小さな天国にすることができます。実に、わたしが心に描く天国は、理想的な家庭の延長です。」(Gospel Ideals, 490)

23. ゴードン・B・ヒンクレイ大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、次に挙げるマッケイ大管長の勸告を引用しています。「父親が子供にしてやれることの中で最もすばらしいことは、父親が母親を愛しているということを子供に理解させることです。」(「永遠の結婚のおや石」『聖徒の道』1971年10月号, 305参照)



24. 「神の御名を不敬に用いる親は、キリストに対する信仰を一貫して教えることはできません。秩序ある家庭の中で不敬の言葉が聞かれることはないはずですが。口汚いのしりは悪徳であって、育ちの悪さを示しています。また、冒瀆的な言葉で、どなり散らしていれば、敬虔な雰囲気は、跡形もなく消えてしまいます。」(Gospel Ideals, 420)

25. 「神はわたしたちが責任と召しを忠実に果たせるように助けてください。特に、福音の良い知らせを友人や隣人に伝えるという責任を忠実に果たせるようにしてくださるのです。福音は、男性の生活を変えます。福音によって女性も子供も見違えるほど善い人になります。悪人を善人に、善人をさらに善い人間にすることそれがイエス・キリストの福音の使命なのです。」(“Every Member a Missionary,” Millennial Star, 1961年10月号, 469)

26. ロバート・L・シンプソン長老は十二使徒定員会補助を務めていたときに、マッケイ大管長の言葉を引用して、怠惰を避けることについて次のように語りました。「人の真の価値は、何もなくてもよい時間をどう過ごすかによって測られます。」



(Conference Report, 1972年10月, 146)

27. マリオン・G・ロムニー副管長は伝道中のある経験について語りました。御霊にすぐに従わなかったために、本来なら得ていたすばらしい機会を失ってしまった経験です。「マッケイ大管長が次のように言うのを聞いて、わたしは主が赦してくださっているとようやく感じることができました。大管長はこう言ったのです。『伝道中に、あることをするようにと促す御霊の声を聞いたことがありました。しかしわたしはその声に従いませんでした。それ以来そのことをいつも残念に思っています。御霊のささやきを受けたら、決して無視してはいけません。御霊を受けるにふさわしい生活をし、御霊の導きを受けたときには、従う勇気を持つようにしてください。』」(「勇気のある人が必要である」『聖徒の道』1975年9月号, 413参照)

28. 「復活された主に対するわたしの証は〔イエスの弟子〕トマスの証と同じように確かな証です。復活されたキリストが弟子たちに御姿を現されたとき、トマスは『わが主よ、わが神よ』と言いました(ヨハネ20:28)。わたしは主が生きておられることを知っています。……

29. へりくだり、義のうちに主を求めめる僕に、主は話しかけてくださると知っています。なぜ知っているかといえば、自分自身で主の声を聞き、地上における主の王国に関して導きを受けているからです。

30. 主の御父 わたしたちを創造された御父 が生きておられることも知っています。御父と御子が預言者ジョセフ・スミスを訪ねられたことを知っています。……このことは、日常目に行っている事柄と同じくらい確かに知っています。夜、床に就くときにはだれでも、朝になれば必ず太陽が昇り、地球に輝きを与えると知っています。皆そう確信しています。それとまったく同じように、キリストが存在されていることと、神がこの回復された教会を導いておられることを、わたしは知っているのです。」(Conference Report, 1968年4月, 9 - 10)



## 読み物を理解する

### デビッド・O・マッケイ大管長の教えと証

償う(段落15)	埋め合わせをする, 取って代わる	育ち(段落24)	子育て, しつけ
とどまる(段落19)	滞在する	示す(段落24)	見せる, 表す
社交クラブ(段落20)	社交の場所	冒瀆的な言葉(段落24)	神聖なものを汚す言葉
不敬に用いる(段落24)	不適切に用いる, 尊敬の念がない	話しかけ(段落29)	言葉をかけ

## 読み物を研究する

「デビッド・O・マッケイ大管長」を読みながら、次の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A エッセイを書く

段落1-14を調べてください。マッケイ大管長の人生の中で感動した事柄について短い作文を書いてください。またマッケイ大管長の模範から、イエス・キリストに近づこうという気持ちを強めてくれる事柄を書き加えてください。

### B 地図を描く

1. 簡単な世界地図を描いてください。
2. マッケイ大管長が訪れた地域と、マッケイ大管長が大管長だった時期に劇的な成長を遂げた地域に色を付けてください。
3. マッケイ大管長がステークを組織した地域に星印を付けてください。
4. マッケイ大管長が大管長だった時期に教会の学校が開設された地域にX印を付けてください。
5. マッケイ大管長が大管長だった時期に神殿が奉獻された地域にT印を付けてください。

### C あなたの家を飾る

最近神殿で結婚したばかりであると仮定してください。家にどんな装飾品を置くか夫婦で話し合っているとします。

1. ノートに、あなたの家の間取りを描いてください。どこに何の部屋があるか分かるように描いてください。
2. 「デビッド・O・マッケイ大管長の教えと証」から、各部屋に置くのに最も良いと思う言葉を選び、その段落の番号を記入してください。(幾つかの言葉は複数の段落にまたがっているので、1か所に二つ以上の番号を記入してもかまいません。)
3. 図の下に、その場所にその言葉を選んだ理由を書いてください。例えば、マッケイ大管長の段落19の教えを玄関にかけて、キリストが喜んで入って来られるような家庭に整えたいという気持ちを常に新たにしたい、などです。

## ジョセフ・フィールディング・スミス大管長

福音学者、著作家


ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は「1910年4月7日、当時第6代大管長であった父のジョセフ・F・スミス大管長によって使徒職に聖任された。……」

ハイラム・スミスの孫であるスミス大管長は……ジョセフ・スミスの名を持つ3人目の大管長であった。……

スミス大管長は教会の教義と歴史に関する多くの書物を著し、<sup>あらわ</sup>教会に関する文献に絶えず貢献してきた。

生涯を通じて福音の原則に献身したスミス大管長は、多くの人々からこよなく愛された指導者であり、十二使徒定員会の会員たちの表現を借りると、真に公平な義の人であった。」(“President Joseph Fielding Smith Becomes Tenth President of the Church,” Improvement Era, 1970年2月号, 3) これからスミス大管長の生涯と教えについて読んでいきますが、その際、若いころの経験の中で、スミス大管長の人格を築くうえで重要な役割を果たした出来事は何だったか、考えてみましょう。

### ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の生涯 (1876 - 1972年)

1876年	7月19日、ソルトレーク・シティーにおいてジョセフ・Fとジュリナ・ラムソン・スミスの間に生まれる	
1884年	8歳。誕生日に、ソルトレーク・シティーにおいて父親からバプテスマを受ける	
1893年	16歳。ソルトレーク神殿の奉獻式に出席する	
1898年	21歳。ルーイ・エミリー・シャートリフと結婚する	
1899 - 1901年	22 - 24歳。イギリスで伝道する	
1901年	24歳。教会歴史事務局で働き始める	
1908年	32歳。最初の妻が死去した後、エセル・レイノルズと結婚する	
1910年	33歳。ジョセフ・F・スミス大管長により使徒に聖任される	
1921 - 1970年	44 - 93歳。教会歴史家を務める	
1938年	61歳。2度目の妻が死去した後、ジェシー・エバンズと結婚する	
1945 - 1949年	68 - 72歳。ソルトレーク神殿長を務める	
1951年	74歳。十二使徒定員会会長として支持される	
1970年	93歳。デビッド・O・マッケイ大管長が死去した後、大管長として支持される	
1971年	94歳。3度目の妻が死去する	
1972年	95歳。7月2日、ソルトレーク・シティーにおいて死去する	

### ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が教会を管理した時期 (1970 - 1972年)

1970年	アフリカで初めてのステークが組織される (南アフリカ)
1970年	アジア初のステークが組織される (日本)
1971年	教会初の地域大会が開かれる (イギリス)
1972年	ユタ州オグデンとプロボにおいて神殿が奉獻される
1972年	教会員総数321万8,908人



## ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の生涯

1. 「デビッド・O・マッケイ大管長が亡くなった後、もうすぐ93歳になろうとしていたジョセフ・フィールディング・スミスが大管長に召された。ジョセフ・フィールディング・スミスは、ジョセフ・F・スミス大管長の息子である。

2. 少年のころ、ジョセフ・フィールディング・スミスは神の御心を知りたくてたまらなかったため、10歳までにモルモン書を2度読んでしまい、どこへ行くにも聖典を持ち歩いていた。遊び仲間は、ジョセフがいないことが分かると干し草置き場に行った。いつもそこで聖文を読んでいたからである。後にスミス大管長はこう語っている。『幼いころの記憶をたどってみると、字が読めるようになってからというもの、わたしのいちばんの楽しみは聖文を研究することでした。主イエス・キリストや預言者ジョセフ・スミス、それに人の救いのために行われてきた業について読むことが、世界中でいちばん好きだったのです。』〔Conference Report, 1930年4月, 91〕



3. 子供のころの聖文学習は、スミス大管長の持つ聖文と教会歴史に関する広範な知識の基となっている。これが、スミス大管長の説教や、20冊を超える著書、教義に関する主要な記事に生かされているのだ。

4. 彼の在任中には、アジア（東京）とアフリカ（南アフリカのヨハネスバーグ）で最初のステーキが誕生している。教会員が増加するにつれて、スミス大管長と副管長は世界各地を訪問して地域大会を開き、地元の指導者を指導した。これは、地元の教会員にとっては中央幹部と接する貴重な機会となった。教会で初めて地域大会が開かれたのは、イギリスのマンチェスターである。また、全世界の人々を健康面で援助する健康管理宣教師が召されるようになったのもこの時期である。この宣教師たちの役割は、健康上の基本原則や衛生管理を教えることであり、間もなく200人を超える健康管理宣教師が召された。

5. 1912年以来、教会は合衆国西部各地の高等学校に隣接した建物でセミナーを行ってきた。1920年代には、末日聖徒の学生が多く出席する大学でインスティテュートが開講されるようになった。1950年代の初めにはロサンゼルスで早朝セミナーのコースが始まり、やがて1,800人以上の生徒が出席するようになった。教会員でない人々の目には、15歳から18歳の末日聖徒の若人が週に5日間、朝5時30分に起きて宗教のクラスに出席することは非常に驚きであった。1970年代前半には家庭学習セミナーコースが開講し、世界中の末日聖徒の生徒たちが宗教教育を受けられるようになった。スミス大管長の時代、セミナーとインスティテュートの登録数は劇的な伸びを見せている。

6. 1972年4月、生涯最後となった公式説教の中で、スミス大管長はこう語った。『イエス・キリストの福音以外に、この世に広がる霊的な病気を癒せる薬はありません。平和な生活、物心両面での繁栄、神の王国を受け継ぐという望みは、回復された福音の中にしか見いだせないのです。わたしたちにできることの中で、福音を宣べ伝え、地上に神の王国を建設すること以上に重要なことはありません。』〔Conference Report, 1972年4月, 13〕

7. 大管長として2年半奉仕した後、ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は娘の家で息を引き取った。95歳であった。彼はその生涯を主の業のために雄々しく働いた。』（『わたしたちの受け継ぎ』107 - 109参照）



1971年8月、最初の地域大会がジョセフ・フィールディング・スミス大管長管理の下、イギリスで開かれた。説教壇に立っているのはハワード・W・ハンター長老。

## 読み物を理解する

### ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の生涯

記憶（段落2）	思い出	衛生（段落4）	清潔にすること
広範な（段落3）	幅の広い	隣接した（段落5）	隣の
在任中（段落4）	管理した間	受け継ぎ（段落6）	住む場所、 報い

## ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の教えと証



8. 「福音の原則に当てはめて考えた場合、『引き延ばし』は永遠の命を盗むどろぼうと言えます。永遠の命とは御父と御子のみもとで暮らすことです。多くの人が、教会員でさえ、福音の原則や戒めを今すぐ守る必要はないだろうと感じています。」（Conference Report, 1969年4月, 121）

9. 「完全な救いを得て、すなわち神の王国における昇栄を得て、神の息子娘になりたいと望むのであれば、主の神殿に入って、神殿以外では得られない神聖な儀式を受けなければならない。男も女も完全な『永遠』、あるいは完全な『昇栄』という祝福を一人で受けることはできない。夫婦は主の神殿で結び固めの力を受け、その後すべての戒めを守るならば、昇栄し、進歩し続けて主に似た者となる。これが人の行く末であり、主が子らに望まれるところである。」（『救いの教義』第2巻, 41参照）

10. 「筆記されたものであると、口述されたものであるとを問わず、わたしたちは主の啓示と矛盾するものを受け入れることはできない。わたしが語る言葉、あるいはいかなる教会員が教えることであっても、啓示と一致しないことを受け入れる必要はないのである。このことをはっきりと理解していただきたい。わたしたちはいろいろな人々の教えを測る物差し、あるいは秤として四

大標準聖典を受け入れている。」(『救いの教義』第3巻, 181 - 182)

11. 「教会員ならばだれしも、モルモン書を何度も何度も読み返し、書かれていることについて熟考し、モルモン書がほんとうに全能の神の靈感によって書かれた記録であり、モルモン書に記載された歴史が真実であるという証を得るまで、満足できないはずです。……

12. ……モルモン書を真剣に注意深く読んでいない教会員が神の御前でふさわしいと認められることは、決してないでしょう。」(Conference Report, 1961年10月, 18)



13. 「福音の回復、贖い主の使命、預言者ジョセフ・スミスの召しが真実であることを証します。わたしたちが生きている、時満ちる神権時代と呼ばれるこの神権時代に、この業が確立されたことを証します。イエス・キリストが神の独り子であり、世の贖い主であり、悔い改めて福音を受け入れるすべての人の救い

主であられることを確かに知っています。イエスは御自分の死によって全人類を贖い、人を罪から解き放つためのいけにえとなってくださいました。主を受け入れ、主の教えに誠実に従う人が、罪に対する責任を問われなくても済むように、主はそうなさったのです。」(Conference Report, 1956年4月, 58)

## 読み物を理解する



### ジョセフ・フィールディング・スミスの教えと証

引き延ばし(段落8)	しなければならぬことを後回しにすること	昇栄(段落9)	神となること
今すぐ(段落8)	速やかに、緊急に	受け入れる(段落10)	同意する

### 段落13 「時満ちる神権時代」とは何か

スペンサー・W・キンボール大管長はこのように教えています。「これまでの歴史の中で、主が御自身に従う人々をお集めになり、福音と救いに関する儀式を確立された時期がありました。そのような時期のことを、わたしたちは福音の神権時代と呼んでいます。」(「永遠の事柄」『聖徒の道』1977年5月号, 246参照) わたしたちが生きているこの時代は、「時の満ちる〔神権時代〕」(エペソ1:10)、すなわちイエス・キリストの再臨を前にした最後の神権時代なのです。

## 読み物を研究する



「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長」を読みながら、次の活動Aを行ってください。また、BかCのどちらか一つを行ってください。

### A 治療法を見つける

1. もし自分が医者だったとしたら、いちばん治療しにくい病気

は何だと思いますか。なぜですか。

2. 段落2-3と5-6を読んで、以下を行ってください。

- 世の中の霊的な病気を幾つか挙げてください。
- ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、これらの病気を癒すためにどんな「処方せん」を与えていますか。
- 霊的な病気にかからないために、スミス大管長が若いときに行っていたことは何ですか。
- セミナリーは、あなたを霊的な病気から守ってくれると思いますか。どうしてそう思いますか。

### B 盗まれないように気をつける

何か大切なものを盗まれたことがありますか。盗難に遭ったときどんな気持ちになりましたか。

1. 段落8を復習して、次の質問に答えてください。

- 持ち物の中で、これは大切だから盗まれたくないと思うものは何ですか。
- それは、どんなふうに盗まれますか。
- それを盗むのは、だれですか。

2. 段落11-12を復習して、次のことを行ってください。

- 引き延ばすことに対して警告している聖句と、永遠の命について述べている聖句をモルモン書の中から一つずつ見つけてください。
- 「神の御前でふさわしいと認められる」ためにあなたができることを書き出してください。

### C 日記を書く

段落9を復習して、神殿結婚を間近にひかえた自分を想像しながら思うことを日記風に書いてください。次の質問に対する答えもその日記の中に入れてください。

- どこの神殿で結び固めを受けたいと思いますか。
- スミス大管長の教えを学んで、あなたは神殿結婚がなぜ大切だと思ふようになりましたか。
- 神殿で結婚するときに、一緒にいてほしい人はだれですか。その人たちに来てほしいのはなぜですか。
- 定期的に神殿で礼拝することは、主に似た者となるための方法の一つです。なぜだと思ひますか。




## ハロルド・B・リー大管長 巨大なアメリカスギ

スペンサー・W・キンボール大管長は、ハロルド・B・リー大管長の葬儀の席で、リー大管長の人格についてこのように語りま

した。「〔リー大管長は〕この上なく高貴で、力強く、献身的であり、前世から予任されていた神の巨大な高木・アメリカスギです。」(L・ブレント・ゴーツ, Harold B. Lee: Prophet and Seer [1985年], 595) キンボール大管長は、別の機会にリー大管長についてこうも述べています。「〔リー大管長〕のふさわしさは証明済みです。彼は〔教会の〕プログラムの中で育った霊的な人です。そして特に大切なのは、〔リー大管長が〕主から召された人だということです。……すでに経験豊富で高い霊性を持っていたリー大管長がさらに成長し、召しを尊んで大いなるものとする様子を目にしてきました。リー大管長が宣言を発し、決定を下すときには、それが羊飼いの声であることが分かります。民の指導者、主の預言者、権威の外套をまとった人の声であると分かるのです。」(Teachings of Spencer W. Kimball, 467) これからリー大管長の生涯と教えについて学びますが、リー大管長には生涯信条としてきたことがあったことに注目してください。その簡単な信条に従うならば、世界中の人が祝福されるとリー大管長は信じていたのです。

### ハロルド・B・リー大管長の生涯 (1899 - 1973年)

1899年	3月28日、アイダホ州クリフトンにおいてサムエル・リーとルイザ・ピンガム・リーの間に生まれる	
1907年	8歳。6月9日の日曜日にパイビーポンドでバプテスマを受ける	
1916年	17歳。アイダホにおいて学校教師として働き始める	
1920 - 1922年	21 - 23歳。合衆国西部で伝道する	
1923年	24歳。ファーン・タナーと結婚する	
1932年	33歳。ソルトレーク・シティー政府の指導者となる	
1935年	36歳。教会福祉プログラムを組織する召しを受ける	
1941年	42歳。ヒーバー・J・グラント大管長により使徒に聖任される	
1961年	62歳。大管長会と十二使徒定員会によって組織された教会コーリレーションの委員長に指名される	
1963年	64歳。最初の妻が死去した後、フリーダ・ジェンセンと結婚する	
1970年	70歳。十二使徒定員会会長として支持される	
1970 - 1972年	71 - 73歳。ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の第一副管長を務める	
1972年	73歳。大管長として支持される	
1973年	74歳。12月26日、ソルトレーク・シティーにおいて死去する	

### ハロルド・B・リー大管長が教会を管理した時期 (1972 - 1973年)

1972年	独身成人のための新たなヤングアダルト組織ができる
1973年	教会の保健、社会奉仕、福祉の組織が一本化される。農耕法の改善を支援するために、農業宣教師が世界各地に派遣される。教会員総数330万6,658人

### ハロルド・B・リー大管長の生涯

1. 「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長が亡くなった日、十二使徒定員会の前任会員であるハロルド・B・リー会長の自宅で家庭の夕べが行われた。そのとき、子供の一人が尋ねた。『大管長になったお父さんを助けたいと思っているのですが、わたしたちにいちばんしてほしいと思うことは何ですか。』リー大管長の答えはこうだった。『信仰を誠実に守りなさい。わたしが教えたように福音に従って生活すればそれでいい。』この言葉はすべての教会員に当てはまる。大管長になって初めての記者会見で、ハロルド・B・リーはこう宣言した。『神の戒めを守ってください。これこそ、この困難な時代に個人と国家を救う道です。』(フランシス・M・ギボンズ, Harold B. Lee: Man of Vision, Prophet of God [1993年], 459)

2. ハロルド・B・リーが大管長に召されたのは1972年7月7日、73歳のときである。ヒーバー・J・グラント大管長以降の預言者の中では最も若い。リー大管長は教会福祉プログラムのディレクターとして召された1935年以来、教会の管理部門で主要な働きをしてきた。また教会のプログラムや教科課程資料を検討し、教会プログラムの簡素化とコーリレーションを中心となって進めてきた。高い霊性を備えたリー大管長は、天から与えられる靈感にいつもすぐこたえることにしていた。

3. リー大管長と二人の副管長は、2回目の地域大会をメキシコシティーで開催した。全世界に先駆けて新しい大管長会が支持されたのが、このメキシコシティー地域大会である。リー大管長はこの地で大会が開催された理由を次のように述べている。『教会の驚くべき発展のために働いてこられた……すばらしい方々に敬意を表し、称賛するためです。』



4. メキシコと中央アメリカの聖徒たちの多くは、メキシコシティーで地域大会が開かれることを知ると、会場に行くための計画を立てた。近所を一軒一軒回って洗濯を請け負い、5か月かけてお金をためた姉妹もいる。この姉妹はメキシコシティーに行っ

て大会の集會すべてに出席することができた。また大会期間中に断食した聖徒も多かった。会場に来るために貯金を使い果たし、食べ物を買う余裕がなかったのだ。犠牲をささげた人々は、報いとして靈的に大きな力を得た。ある教会員は、『生涯のうちで最もすばらしい機会』だったと評している。またある人は記者にこう語った。『この数日間ここで感じた愛は、何年たっても忘れなれないと思います。』(ジェイ・M・トッド, “The Remarkable Mexico City Area Conference,” *Ensign*, 1972年11月号, 89, 93, 95参照)

5. リー大管長は在任期間中に聖地パレスチナを訪れたが、この神権時代において聖地を訪れた預言者は、リー大管長が初めてである。またリー大管長は、小規模の神殿が世界各地に建設されることを発表した。

6. 1973年のクリスマスの翌日、大管長に召されてわずか18か月のリー大管長は、死去した。靈の巨人が永遠の住まいに戻ったのである。(『わたしたちの受け継ぎ』109 - 110参照)

## 読み物を理解する



### ハロルド・B・リー大管長の生涯

教科課程(段落2)	カリキュラム	働いて(段落3)	大きな力を発揮して
コーリレーション(段落2)	教会内の各組織や家族の働きを一致結束させる	この神権時代(段落5)	イエスキリストの再臨を前にした最後の期間

## ハロルド・B・リー大管長の教えと証



7. 「ハロルド・B・リー少年は、ある日、近くの農場のさく越しに、壊れかかった建物があるのを見つけました。その建物を探検してみたくなり、さくを越えようとすると、どこからともなく声が聞こえてきました。『ハロルド、行ってはいけない。』リー大管長は、後にこう述べています。『わたしはその声がどこから聞こえてきたのだろうと思って辺りを見回しました。父

の声だったのだろうかとも思いましたが、父の姿は見えません。辺りにはだれもいなかったのです。わたしは、だれかが隠れた危険を知らせているのだと悟りました。……そのとき以来、わたしは疑いなく次の事実を認めるようになりました。それは、人には分からないある方法があって、人は目に見えない世界からの声を聞き、永遠に関する示現を受けることが、確かにできるということです。』(“The Way to Eternal Life,” *Ensign*, 1971年11月号, 17)

8. 「わたしは<sup>みたま</sup>御霊から学び、この世の中で安全な場所はどこのかが分かりました。特定の場所が安全であるということではないのです。大切なのは、どこに住むかではなく、どのように生きるかということです。イスラエル〔教会員〕が、安全なのはどんなときでしょう。戒めを守っているときだけです。つまり、主の御霊と交わり、御霊の指示、慰め、導きを受けるにふさわしく生活し、主が御自身の代弁者に任じられた人々の言葉に進んで耳を

傾け、教会の勧告に従うときのみ、教会の民は安全なのです。」(Conference Report, 1943年4月, 129)

9. 「人がこの世で背負わなければならない最大の苦難すなわち重荷とは、罪の重荷です。」(「汝ら聖なる所に立つべし」『聖徒の道』1974年3月号, 139参照)

10. 「人生というものが分かってくるにつれ、若い皆さんに罪の恐ろしさをはっきり理解してほしいという気持ちが強くなってきました。悔い改め方を教えただけで満足してはいけないという気持ちが次第に強くなってきたのです。道徳的な罪を犯した後の地獄の夜について、警告できる人が皆さんの周りにいてくれればと願ってやみません。」(*Youth and the Church* [1945年], 90)

11. 七十人を務めたヘンリー・D・テラー長老は、聖文の研究の大切さについてリー大管長の言葉を引用しました。「もし毎日聖文を読んでいないとしたら、わたしたちの証は次第にやせ細り、靈性が深まることもありません。」(『歴代大管長の教えハロルド・B・リー大管長』70参照)

12. 「証とは、今あればよいというものではありません。証は、はかないものです。月の光のように、つかもうとしてもつかめないものです。証とは、毎日得なければならないものなのです。」(“President Harold B. Lee Directs Church; Led by the Spirit” *Church News*, 1972年7月15日付, 4)

13. 「教会では、聖文に書かれていることしか教えるはなりません。教えることは、聖文の中になければならないのです。教科書は聖文でなければなりません。あることが真理かどうか判断したいときは、だれがそう言ったかに関係なく、四大標準聖典に照らし合わせて判断しなければなりません。もし標準聖典に記されていないければ、それは憶測であって、個人的な意見でしかないと考えて差し支えありません。もし、聖文と矛盾しているならば、真理ではありません。聖文がすべての真理を確かめる判断基準なのです。」(“Using the Scriptures in Our Church Assignments,” *Improvement Era*, 1969年1月号, 13)

14. 「聖典に加えて、わたしたちには、<sup>こんにち</sup>今日の預言者が語っている言葉があります。」(*Teachings of Harold B. Lee*, 471)

15. 「主が聖徒たちに望んでおられることを知りたいとは思いませんか。次の大会までの半年間、主から導きを得たいとは思いませんか。そう思うならば、教会機関誌の大会特集号を1部入手することです。そうすれば、主が聖徒たちに、今何とおっしゃっているのかが分かります。この大会で語られた言葉が『主の心となり、主の思いとなり、主の言葉となり、主の声となり、救いを得させる神の力となる』(教義と聖約68:4参照)と信じているすべての人 教会以外の人も含めて に対する、主の最新の<sup>みこころ</sup>御心が大会号に掲載されるのです。」(Conference Report, 1973年10月, 168または*Ensign*, 1974年1月号, 128)



16. 「神聖な証を述べたいと思います。わたしはこの業が神の業であることを知っています。ですから、この教会がいくら勝利を収めることを知っています。確かに、教会をひそかに攻撃しようとしたり、欠点を探して教会の名声に傷をつけようとしたりする人もいられるかもしれませんが、しかし、この教会がそれらに打ち

勝つことは、時がたてば分かります。敵がどんなにあがいて主の言葉に立ち向かう武器をこしらえようとも、やがては<sup>させつ</sup>挫折するの

です。わたしは、主イエス・キリストがこの教会の頭であられることを知っています。また主が、独自の方法で日々人々と話されていることを知っています。主が話されるのは、教会の高い地位にある指導者とだけではありません。神の戒めを守っているあらゆる会員と話されるのです。」「(シオンのステーキ部を堅くせよ)『聖徒の道』1973年10月号, 469参照)

## 読み物を理解する



### ハロルド・B・リー大管長の教えと証

方法(段落7)	手段, 過程	ひそかに攻撃する, 名声に傷をつける(段落16)	弱める, 滅ぼす
代弁者(段落8)	代表して語る人	打ち勝つ(段落16)	勝利を収める
満足して(段落10)	納得して	こしらえる(段落16)	作る
はかない(段落12)	もろい, 傷ついたり, 失ったりしやすい	話す(段落16)	コミュニケーションをとる
書かれている(段落13)	それを使って教えられる, 含まれる	方法(段落16)	仕方
矛盾している(段落13)	相反する, 異なる		

## 読み物を研究する



「ハロルド・B・リー大管長」を読みながら、以下の活動Aを行ってください。また、BかCのどちらか一つを行ってください。

### A 証を探す

- 段落1を読み直してください。自分の家族や教会員に困難な時期を乗り越えてほしいと思ったハロルド・B・リー大管長はどんな勧告を与えましたか。
- 段落4を読み直してください。メキシコと中央アメリカの聖徒たちが、次に挙げるリー大管長の勧告に従っていたことを示す出来事を書き出してください。
  - 「信仰に忠実でありなさい。」
  - 「神の戒めを守りなさい。」
- 自分が弁護士になったと想像してください。メキシコと中央アメリカの聖徒たちの神に対する忠誠を立証するために、あなたなら何と言いますか。短い文章で書いてください。

### B 友達を助ける

最近友達の様子が変です。危険な目にあいそうなことをしているとしか思えないのですが、本人にはそれが分かっていないようです。段落7 - 10を読んで、この友達を助けるためにどんなことを言ったらよいか書き出してください。その中に、以下の質問に対する答えも入れてください。

- 今は分からないけれど、後で重荷を背負わされることになる危険なものがあります。それは何ですか(段落9 - 10参照)。
- 少年のころ、ハロルド・B・リーにとって、そのときには分からなかった危険を避けるために助けになったものは何でしたか(段落7参照)。

- 聖なる御霊が与えてくれる安全と安心を得るには、どうすればいいですか(段落8参照)。

## C ポスターを制作する

ステーキまたは地方部のユースカンファレンス実行委員に召されたと仮定してください。あなたの責任は、カンファレンスのテーマをみんなに知らせることです。段落11 - 15を読んで、以下の条件を満たすポスターを制作してください。

- リー大管長が段落11 - 15で教えていることの中からテーマを選ぶ。
- リー大管長が語った言葉の中から、そのテーマの本質をよく言い表している言葉や文を入れる。
- そのテーマとリー大管長の教えを分かりやすく表している挿絵を一つか二つ入れる。
- このテーマによって青少年がどんな点で強められるか、幾つか箇条書きにする。



ゴードン・B・ヒンクレー大管長は副管長時代に、スペンサー・W・キンボール大管長のことを次のように言いました。「大管長がわたしたちに示してきた模範は、何と偉大なものでしょう。大管長はこの業を驚くほど発展させました。キンボール大管長の声は全世界に響き、世界各地の教会員が歩みを速めたのです。彼は預言者であり、彼の示現と啓示は、民族、皮膚の色、地位を問わず、地球上のあらゆる人々に注がれています。その結果、イエス・キリストの福音を受け入れようとするすべての人々に、福音によるこの上ない祝福が豊かに注がれているのです。」「(主はまだろみも眠ることもされない)『聖徒の道』1983年7月号, 7参照) キンボール大管長の生涯についてよく考え、今もなお教会が「示現と啓示」によって導かれていることを示す出来事を見つけてください。

### スペンサー・W・キンボール大管長の生涯 (1895 - 1985年)

1895年	3月28日, ソルトレイク・シティにおいてアンドリュー・キンボールとオリブ・ウーリー・キンボールの間に生まれる
1903年	8歳。誕生日に父親からバプテスマを受ける
1916年	11歳。母親が死去する
1914 - 1916年	19 - 21歳。合衆国中部で伝道する



1917年	22歳。11月16日、カミラ・アイリングと結婚する
1943年	48歳。ヒーバー・J・グラント大管長により使徒に聖任される
1946年	51歳。アメリカインディアンに対する責任を受ける
1964 - 1967年	69 - 72歳。南アメリカの伝道活動を監督する
1972年	77歳。十二使徒定員会会長として支持される
1973年	78歳。ハロルド・B・リー大管長が死去した後、大管長として支持される
1985年	90歳。11月5日、ソルトレーク・シティーで死去する

### スペンサー・W・キンボール大管長が教会を管理した時期 (1973 - 1985年)

1974 - 1985年	全世界で21の神殿が奉献される
1976年	預言者ジョセフ・スミスとジョセフ・F・スミス大管長に与えられた啓示が聖典に加えられる(教義と聖約137 - 138章参照)。七十人第一定員会が再組織される
1978年	神権に関する啓示を受ける(公式の宣言二参照)
1979年	イスラエルのエルサレムに建設されたオーソン・ハイド記念公園が奉献される。1,000番目のステーキが組織される。聖句ガイドが追加された欽定訳聖書(英語版)が出版される
1981年	聖句ガイドが追加された合本(英語版)が出版される
1982年	モルモン書に「イエス・キリストについてのもう一つの証」という副題が付けられる
1984年	初めて地域会長会が召される。総会員数564万1,054人

## スペンサー・W・キンボール大管長の生涯

1. 「痛みと苦しみを十分に経験した人 十二使徒定員会の先任会員であるスペンサー・W・キンボールが、リー大管長死去を受けて大管長に召された。癌のため声帯のほとんどを失ったキンボール大管長の静かでハスキーな声は、末日聖徒の愛するところとなった。彼は謙遜さ、決意、勤勉さ、それに『実行しなさい』(“Do It.”) というスローガンで有名である。キンボール大管長は、全力を尽くして鎌を入れる人であった。……



2. キンボール大管長は指導者たちに、『教会員の信仰生活は、主から期待されているレベルに達していないにもかかわらず、会員たちはその状態に不安を抱くどころか満足さえしていると指摘しました。キンボール大管長が、かの有名な「歩みを速めなさい」というスローガンを発表したのは、このときです。』キンボール大管長は出席した人々に、全世界に福音を宣べ伝える業にさ

らに固い決意をもって臨むよう勧告した。その説教を聞いたエズラ・タフト・ベンソン十二使徒定員会会長は、『確かに、ここにイスラエルの預言者がいます』と語った〔W・グラント・パンガター, Conference Report, 1977年10月, 38 - 39; または Ensign, 1977年11月号, 26 - 27参照〕。

3. キンボール大管長の精力的な指導の下で、それまでよりもずっと多くの人々が専任宣教師になり、教会は世界中で発展を遂げた。1977年8月、キンボール大管長はワルシャワを訪れ、ポーランドの地を奉献し、主の業が発展するようにその地の民を祝福した。この時期に、宣教師訓練センターがブラジル、チリ、メキシコ、ニュージーランドで開設される。そして1978年には、世界中の伝道活動に大きな影響を及ぼす神からの啓示が発表された。それまで長年の間、アフリカ系の人々には神権が与えられていなかったが、すべてのふさわしい男性会員に神権と神殿の祝福が授けられるようになったのである。……

4. 1978年6月に啓示が下るまで、何か月もの間キンボール大管長は、アフリカ系の教会員に神権が授けられていない現状について副管長や十二使徒たちと話し合っていた。会員が忠実であったとしても福音の祝福が完全に授けられないのなら、そういった人々の住む地域には伝道部を開設しない方がよいのではないかと感じていたのである。南アフリカでの地域大会でキンボール大管長はこう宣言した。『わたしは大いなる熱意を込めて祈りました。その結果、多くの神の子たちにとって非常に大切なものを主が用意しておられることを知りました。わたしたちがふさわしく、準備ができており、受け入れて実行する備えができたときにはじめて、主から啓示を受けることができるのです。わたしは来る日も来る日も独りで神殿の階上の部屋に厳粛な気持ちで行き、このプログラムを進めるために精神誠意努力することを真剣に主にお伝えしました。主の御心を行いたいと思ったのです。わたしはその気持ちを主にお伝えしました。「主よ、わたしは正しいことだけを行いたいと思います。』〔Teachings of Spencer W. Kimball, 451〕

5. キンボール大管長は、副管長と十二使徒定員会を神殿に集めて特別な集会を開いた。大管長は、黒人の男性教会員に神権を付与するかどうかについて自由な意見を求めた。それから聖壇の周りに輪を作り、キンボール大管長が代表して祈りをささげた。その場に出席していたブルース・R・マッコンキー長老は後にこう述懐している。『このとき、わたしたちの嘆願と信仰がこたえられました。まさしく、時が到来したということでもあります。主はその深い御心によって、奇跡的な驚嘆すべき方法で、大管長会と十二使徒会に聖霊を注いでくださいました。それは出席しただれもがそれまで経験したことのないものでした。』〔“All Are Alike unto God,” Charge to Religious Educators, 第2版(1981年), 153〕こうして、すべてのふさわしい男性会員が完全な神権の祝福を受けられるようになったことが、教会の指導者に明らかにされたのであった。

6. 大管長会は1978年6月8日付けで神権指導者に書簡を送り、主が下された啓示についてこう説明した。『教会のすべてのふさわしい男性会員は、人種や肌の色にかかわらず、神権への聖任を受けることができます。』そして1978年9月30日、聖徒たちは総大会で、指導者たちから提議されたこの決定を全会一致で支持した。この書簡は『公式の宣言二』として教義と聖約に収められている。……

7. キンボール大管長の在任期間中、七十人第一定員会が再組

織された。また日曜日の集会の時間を3時間に統合するスケジュールが採用され、神殿が急速に建設された。1982年には設計中もしくは建設中の神殿が22に達し、教会歴史上最多となった。またキンボール大管長は過密な旅行スケジュールで多くの国々を回り、各地で地域大会を開いた。こうした集会では、大管長は自分の必要を顧みず、機会を見つけては地元の聖徒たちと会い、励まし、祝福を与えた。

8. 多くの国の教会員が神殿で神聖な儀式を受けたいと切望していた。その中の一人にスウェーデンのある末日聖徒がいる。何度も伝道の召しを果たし、伝道部長会でも働いた彼は、死去に際して財産の多くをスウェーデンの神殿建設基金に献金した。スウェーデンに神殿が建設されるという発表が出されるかなり前のことである。キンボール大管長が神殿建設の発表を行ったとき、この兄弟の納めたお金は利子が付いて大きな額に上っていた。そして神殿が奉獻され、生前エンダウメントを受けていたこの兄弟は、自分自身が資金協力して建てられた神殿で、両親と結び固められたのであった。



キンボール大管長が教会を管理した期間に、全世界で多くの神殿が建設された。ドイツ・フランクフルト神殿は、現在教会員とその先祖に祝福を与えている多くの神殿の一つである。

9. シンガポールのある夫婦は子供を連れて神殿に行きたい、結び固めを受けて神殿の祝福を得たいと強く願っていた。この夫婦は多くのものを犠牲にして必要な資金を作り、ついに神殿に行くことができた。この夫婦は、自分たちを何年か前に教えてくれた宣教師の家に家族で滞在したのだが、ある日買い物に出かけているときに妻がいなくなってしまう。ようやく見つかった彼女は、手にシャンプーのボトルを持って泣いていた。彼女は神殿に来る資金をためるために、7年もの間シャンプーも使わないような生活をしてきたのであった。彼女にとって大変なことではあったが、家族が主の宮において永遠に一つとなった今、それはささいなこととなった。

10. キンボール大管長在任中のもう一つの重要な出来事は、1979年の欽定訳聖書（英語版）の新しい版の発行である。本文には手を加えず、モルモン書、教義と聖約、高価な真珠と相互参照できるように脚注を新たにしたものである。また大規模な項目別ガイドと聖書辞典が付いて、現代の聖典の理解を深めることが容易にできるようになった。このような聖典はほかにはない。この版ではすべての章に前書きが加わり、ジョセフ・スミスが靈感を受けて行った欽定訳聖書の改訂からの抜粋も付け加えられた。

11. 1981年には、モルモン書、教義と聖約、高価な真珠の新版も発行された。この新版には新たな脚注や章の前書き、地図、索引が付いた。また時期を同じくして、教会は末日の聖典を多くの言語に翻訳する作業に力を入れ始めた。……



12. どんな人々にも思いやりを示すキンボール大管長の人柄は、混雑した空港でのある出来事から察することができる。その日、空港は天候不良のため足止めを食った人々でごった返していた。2歳の娘を連れて、長い列に並んでいる若い母親がいた。その母親は妊娠2か月で、娘を抱き上げることを医師から禁じられていた。疲れ果てた娘は大声で泣いている。助けてあげようとする人はなく、逆に子供の泣き声がうるさい、と何人かの人から非難の声が上がっていた。この母親はそのときのことをこう語っている。

13. 『ある人がわたしたちの方に近づいて来て、にっこり笑ってこう言うのです。「何かお手伝いしましょうか。」わたしはため息混じりに感謝の言葉を述べて、お世話になることにしました。その男性は泣きじゃくる娘を冷たい床から抱き上げ、しっかりと胸に抱いて背中を優しくたたいてくれました。そして、ガムをあげてもいいですか、と尋ねるのです。娘が泣きやむと、娘を抱いたまま列の前に並んでいる人たちの方へ行って何やら穏やかに話していました。わたしに手を貸すよう、頼んでくれたのです。皆引き受けてくれたようでした。次に〔列の前の方にある〕チケット売り場に行って、すぐ出発する便に乗れるようにしてくれました。そしてわたしと娘をベンチまで案内すると、そこで少しの間おしゃべりをしました。その方は、もう大丈夫と分かるか行ってしまいました。それから1週間たって、わたしは使徒であるスペンサー・W・キンボールの写真を見て、空港でのあの見知らぬ紳士が彼であったことを知ったのです。』〔Spencer W. Kimball, エドワード・L・キンボール, アンドリュー・キンボール・ジュニア編（1977年）, 334で引用〕

14. 死去する前の数か月間、キンボール大管長は重い病気に苦しんだ。しかし、そうした試練の中にあっても、忍耐強く長く堪え忍び、勤勉であった。わたしたちの模範である。1985年11月5日に死去。大管長としての12年にわたる奉仕に終止符を打った。』（『わたしたちの受け継ぎ』110 - 115参照）

## 読み物を理解する



### スペンサー・W・キンボール大管長の生涯

鎌を入れる(段落1) を行う, 熱心に働く	主の業	嘆願(段落5)	願い求める
満足(段落2)	安心感を抱く	深い御心(段落5)	大いなる 慈しみ
勢力的な(段落3)	積極的な	在任(段落7)	管理する
授けられ(段落4)	与えられる	統合する(段落7)	一体化する
熱意(段落4)	勢力と望み	切望(段落8)	待ち望む, 強い望みを抱く
厳肅な(段落4)	真剣な		

### スペンサー・W・キンボール大管長の教えと証

15. 「すべての若い男性は伝道に出るべきですか、という質問に対する教会側の答えは、『はい』ですし、主の答えも同じです。もう少し詳しく答えると、こうなります。『もちろん、すべての男性会員は伝道に出るべきです。すべての男性会員は、自分の一を支払い、集会に出席し、世の汚れから離れて清い生活を送り、主の神殿で日の栄えの結婚をするよう計画すべきですが、それと同じように彼らは伝道に出るべきなのです。』」(Conference Report, 1974年4月, 125)



16. 「わたしは、だれもが一生のうちでいつかは聖典の価値を悟らなければならないと信じています。それも一度だけではなく何度も何度も再認識しなければならないと信じています。」(“How Rare a Possession the Scriptures!” *Ensign*, 1976年9月号, 4)

17. 「神聖な御方と自分との関係が表面的なものになったと感じるとき、祈りが神の耳に届かず、神の声が聞こえないように感じるとき、わたしは神からはるか遠く離れていることに気づきます。そんなとき、一生懸命に聖文を読むと、その距離が縮まり、霊性が回復してくるのです。」(Teachings of Spencer W. Kimball, 135)

18. 「人間であるからにはだれでも、肉体的な苦痛や精神的な苦労は要らない、いつも楽をして気持ちよく暮らせるようにしたいと望んでいます。しかし、もしもほんとうに悲しみや苦痛は要らないと言うならば、それは大切な友人や恩人を要らないと言っていることにはならないでしょうか。忍耐し、長く堪え忍び、自制するならば、苦しみは人を聖徒に変えてくれるのですから。」(Faith Precedes the Miracle, 98)

19. 「神はわたしたちを心にかけ、見守っておられます。しかし、神がわたしたちの必要にこたえられるのは、多くの場合、人を通してなのです。神の王国で互いに奉仕し合うことが大切なのはこのためです。」(“Acts of Service,” *Ensign*, 1974年12月号, 5)

20. ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、十二使徒定員会会員のとき、キンボール大管長が働きすぎなのではないかと心配して、もう少しペースを落とした方がよいのではないかと言いました。すると、キンボール大管長はヒンクレー長老にこう言いました。「わたしの人生は靴のようなものです。人に仕えながらすり減って、一生を送るのです。」(“He Is at Peace,” *Ensign*, 1985年12

月号, 41)

21. 「安息日は聖日であり、清くふさわしい事柄を行う日です。労働とレクリエーションを慎むことは大切ですが、それだけでは不十分です。安息日には建設的な考え方と行動が求められます。ですから、もしも何せずにぶらぶらしているとしたら、安息日の戒めを破っていることになってしまいます。安息日の戒めを守るためには、ひざまずいて祈り、レッスンの準備をし、福音を学び、瞑想し、病人や苦しんでいる人を訪問し、眠り、健全な書物を読み、出席すべき集会にすべて出席しなければなりません。以上のようなふさわしい行いをしないことは、罪に当たります。」(『救いの奇跡』103参照)

22. 「この古代の偉大な使徒たち 同じ主なるキリストの御業に携わった兄弟たち の証に加えて、わたし自身の証を述べましょう。わたしは、イエス・キリストが生ける神の御子であり、世の人々の罪のために十字架におかかりになったことを知っています。」



23. イエス・キリストはわたしの友であり、わたしの救い主、わたしの主、そしてわたしの神です。

24. わたしは、聖徒である皆さんが、主の戒めを守れるように、そして主の御霊を受け、日の栄えの王国で主とともに永遠の受け継ぎを得られるようにと、心から願っています。」(Conference Report, 1978年10月, 110; または *Ensign*, 1978年11月号, 73)



25. 「『わたしは神が生きておられることを知っています。イエス・キリストが生きておられることも知っています。わたしは主にまみえたからです』と、前任のジョン・テラー大管長は言いました。わたしはこの証を、イエス・キリストの御名により、兄弟である皆さんに申し上げます。アーメン。」(Conference Report, 1978年4月, 72; または *Ensign*, 1978年5月号, 48)



## 読み物を理解する



スペンサー・W・キンボール大管長の教えと証

神聖な御方（段落17）	神	： 慎む（段落21）	行わない，
要らない（段落18）	取り除く	： 避ける	
苦痛（段落18）	苦しみ，苦悩	： 受け継ぎ（段落24）	住む場
恩人（段落18）	わたしたち	： 所，報い	
を助けてくれる人々			

## 読み物を研究する



「スペンサー・W・キンボール大管長」を読みながら，活動Aをしてください。またB-Dのうち二つを行ってください。

### A リストアップしよう

1. 段落1-2を読んで，キンボール大管長が使ったスローガンを二つ見つけてください。
2. 段落7-9を読んで，キンボール大管長と聖徒たちはこの二つのスローガンに従って何をしたか，具体的な例を挙げてください。
3. 段落15と21を読んで，この二つスローガンに従って行動できるよう，キンボール大管長は聖徒たちをどんなふうに教え導いたか，書き出してください。
4. この二つのスローガンをあなたの生活に取り入れる方法を挙げてください。

### B 新聞記事を書く

地元新聞社の記者になったとします。キンボール大管長とインタビューを行っているつもりで段落10-11と16-17を読んでください。それを基に，末日聖徒版の新しい聖典についての記事を書いてください。以下に挙げる質問の答えを記事の中に入れてください。



1. 「キンボール大管長にとって聖典がそれほど大切なのはなぜですか。」
2. 「末日聖徒版の聖典には様々な特徴がありますが，その中で会員たちの役に立っているものはどれですか。」
3. 「末日聖徒はどんなふうに末日聖徒版の聖典を役立て，そこから祝福を受けているのですか。」

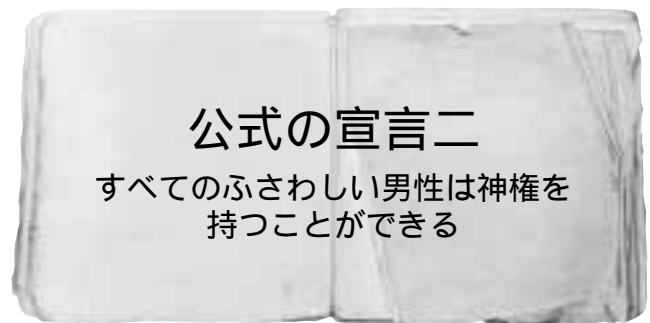
### C 絵を描く

1. 段落20を読んでください。キンボール大管長は自分の人生を何にたとえていますか。
2. キンボール大管長が自分の奉仕の人生について述べた言葉を絵に描いてください。

3. 段落12-14を読んで，奉仕に関するキンボール大管長の教えを，簡単な文章にまとめてください。

### D 説明する

1. 段落22-24を読んで，キンボール大管長にとってイエス・キリストがどのような御方だったかノートに書いてください。
2. あなたにとってイエス・キリストはどのような御方ですか。以下の各項目について，例を挙げて説明してください。参照聖句も添えてください。
  - a. わたしの友達
  - b. わたしの救い主
  - c. わたしの主（わたしが仕えている御方）
  - d. わたしの神



末日聖徒がほかの宗教と一線を画している原則の一つは，現代の啓示を信じていることです。もし現代に啓示がなければ，神会について何も知ることができません。大管長やワードの監督になるべき人はだれなのか，知る手だてがありません。モルモン書の預言者ヤコブが教えたように，「主の道は，啓示されないかぎりだれも知ることはできない。それゆえ……

神の啓示を侮ってはならない」のです（モルモン書ヤコブ4：8）。公式の宣言二を研究し，この重要な啓示が世界中の教会員にとってどれほど大きな祝福なのか深く考えてください。

## 聖文を理解する



公式の宣言二

お知らせする（段落2）	告げ	： 嘆願する（段落5）	願い求める
通知する		： かかわり（段落6）	注意を向ける，考慮する
長い間 <sup>めいそう</sup> 冥想する（段落2）	長	： 確認する（段落6）	確かめる
期間真剣に思い巡らす		： 聞き従い（段落7）	耳を傾けて，従う
全員一致（段落2）	全員の同意	： 律法制定の集まり（段落8）	教会の総大会における聖徒たちの集まり
次いで（段落2）	後に	： その意を表す（段落8）	示す
進展する（段落4）	成長し，広がる		
もたらず（段落4）	提供する		
前の（段落5）	以前に仕えた		



主は預言者ジョセフ・スミスを通して、預言者、聖見者、啓示者として支持された人たちが「聖霊に感じて語ることは、聖文となり、主の心となり、主の思いとなり、主の言葉とな（る）」ことを明らかにされました（教義と聖約68：4）。別の折に主は教会員に対して、預言者の靈感された勧告に従うならば、「地獄の門も〔彼ら〕に打ち勝つことはない……。そして、主なる神は〔彼ら〕の前から闇の力を追い払（う）であろう」と約束されました（教義と聖約21：6）。

## 聖文を研究する

公式の宣言二を読みながら、以下の活動Aを行ってください。

### A 編集長に手紙を書く

十二使徒定員会会員であるデビッド・B・ヘイト長老は、神権に関する声明が出た後、間もなくある経験をしました。そのとき、ヘイト長老はイリノイ州シカゴの空港にいました。「新聞売場で、シカゴ・トリビューン（Chicago Tribune）紙が目にとまりました。『モルモンが黒人に神権を付与』という大見出しがありました。そして小見出しには、『キンボール大管長、啓示を受けたと主張』とありました。わたしはその新聞を買い求めました。そして、小見出しの『主張』という言葉をもっと見詰めました。その言葉だけが赤く着色されていて、飛び出してくるかのようでした。接続便に乗る通路を歩きながら思いました。わたしは今、シカゴにいて混雑した空港を歩いている。しかし、わたしはこの啓示の証人なのだ。わたしはその場にいた。啓示が与えられるのを目の当たりにしたのだ。確かに天の力を感じた。わたしは啓示を受けたそのグループの一員なのだ。『……啓示を受けたと主張』と書いたあの新聞の編集者は、啓示が真実であることをまったく知りませんでした。印刷係も、印刷機にインクを注いだ人も、新聞を配達した人もまったく知りませんでした。それが真実、神からの啓示であったことをまったく知らないのです。わたしがその場にいて目撃したことをまったく知らないのです。」「（この御業は真実です」『聖徒の道』1996年7月号、28 - 29参照）

1978年6月にイリノイ州のシカゴに住んでいたと仮定してください。あなたもヘイト長老が見た新聞の見出しを見たとします。「スペンサー・W・キンボール大管長の生涯」の段落3 - 6（215ページ）と公式の宣言二の段落3 - 8を復習してください。それから、シカゴ・トリビューン紙の編集長あてに手紙を書いてください。その啓示が単なる「主張」ではないと信じる理由と根拠を示してください。

## エズラ・タフト・ベンソン大管長

洪水のようにモルモン書で地を満たす

シェリー・L・デューは、エズラ・タフト・ベンソン大管長の伝記を執筆するに先立って、大管長の生涯について調べました。この作業を終えると、デュー姉妹はこのように言いました。「一人の預言者の生涯を慎重かつ綿密に調べる作業をしながら、謙虚な思いになりました。伝記作家は、主人公について非常に多くのこと、つまり長所と短所、試練と功績、喜びと苦痛といったようなことを調べます。そして、伝記作家の仕事とは、そうした情報を分析し、主人公の人生を時代背景や境遇を考慮に入れながら把握し、その人がどのような貢献をしたか、どんな夢、願望、動機を持っていたかなどについて結論を下すくらいのことなのです。この作業を始めたころも、わたしは、神から召された人であるベンソン大管長を尊敬していました。しかし、大管長について調査し、資料を読み、考えていくうちに、エズラ・タフト・ベンソンという人物が真に優れた人物だということが分かってきたのです。」デュー姉妹はまた、このプロジェクトからとりわけ学んだことは、「これまでの預言者たちと同じように、エズラ・タフト・ベンソン大管長がほんとうに神の預言者である」ことだと語っています。（Ezra Taft Benson: A Biography [1987年], xi）

### エズラ・タフト・ベンソン大管長の生涯 （1899 - 1994年）

1899年	8月4日、アイダホ州ホイットニーにおいてジョージ・T・ベンソンとサラ・ダンクリー・ベンソンの間に生まれる
1907年	8歳。アイダホ州ホイットニーのローガンリバー・カナルで誕生日にバプテスマを受ける
1921 - 1923年	21 - 24歳。イギリスで伝道する
1926年	27歳。9月10日、フローラ・スミス・アムッセンと結婚する。フローラは1992年に死去
1943年	44歳。ヒーバー・J・グラント大管長により使徒に聖任される
1946年	46歳。ヨーロッパ伝道部の部長として働き始める。第二次世界大戦後、戦争で荒廃したヨーロッパの教会員の必要を満たすために働く
1952 - 1960年	53 - 61歳。合衆国農務長官を務める
1964 - 1965年	64 - 66歳。ヨーロッパ伝道部の部長を務める
1973年	74歳。十二使徒定員会会長として支持される
1985年	86歳。スペンサー・W・キンボール大管長の死後、大管長として支持される



1994年 94歳。5月30日、ソルトレーク・シティで死去する

### エズラ・タフト・ベンソン大管長が教会を管理した時期 (1985 - 1994年)

1985 - 1993年 世界各地で9つの神殿が奉献される  
1990 - 1992年 チェコスロバキア、ハンガリー、ポーランド、ブルガリア、ロシア、ウクライナ、ドイツの東ベルリンに伝道部が開設される（これらの地域では、政府がそれまで伝道活動を禁止していた）。アルメニア、ウガンダ、ケニア、ジンバブエ、ウクライナ、ザンビア、ボツワナ、ナミビア、コンゴの各国が、福音を宣べ伝える地として奉献される  
1992年 1,900番目のステークが組織される  
1994年 教会員総数902万4,368人

## エズラ・タフト・ベンソン大管長の生涯

1. 「スペンサー・W・キンボール大管長の死去により新たに大管長に召されたのは、エズラ・タフト・ベンソンである。ベンソン大管長は当初、モルモン書を読み研究することの重要性を強調した。『モルモン書が人々をキリストのみもとへ導くことを証し、ジョセフ・スミスのモルモン書に関する次の言葉に改めて賛同した。『モルモン書は]わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることに、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。』[A Witness and a Warning (1988年) 3, 21; History of the Church, 第4巻, 461も参照]

2. 1986年4月の総大会で、ベンソン大管長はこう宣言した。『主は教会を財政的な危機から救うために、御自身の僕ロレンゾ・スノーに靈感を与え、什分の一の原則を再度強調されました。……そして主は今、モルモン書を再度強調する必要があることを明らかにしておられます。……これからモルモン書を毎日ひもとき、そこに書かれている教えに従って生きるなら、神がシオンの子らと教会のうえに、かつてない祝福を注いでくださると約束します。』[「神聖な務め」『聖徒の道』1986年7月号, 78参照] 世界中の数百万の人々がこのチャレンジを受け入れ、約束された祝福を手にした。



3. もう一つの大切なテーマは、高慢を避けることの大切さである。1989年4月の総大会でベンソン大管長は教会員に『高慢を克服して器の内側を清める』よう呼びかけた。高慢こそ、ニーフアイの民が減じた原因であると警告したのである。ベンソン大管長は『高慢の治療薬は謙遜です。柔和と従順です』と述べた

(「高ぶりを心せよ」『聖徒の道』1989年7月号, 4 - 7参照)



4. 十二使徒定員会会員として奉仕している間、エズラ・タフト・ベンソンは、福音に従う生活がどのようなものかを示すまたとない機会を得た。1952年、デビッド・O・マッケイ大管長の強い勧め

によって、ドワイト・D・アイゼンハワー大統領のもとで農務長官の任務を引き受けたのである。十二使徒定員会会員が合衆国大統領の閣僚として働くのは、教会歴史上他に類を見ない。8年間の在職中、ベンソン長老はその高潔さと合衆国政府の農業政策を指揮し実施する手腕により、内外から広く尊敬を得た。国々の指導者と友好を深め、世界中に教会の代表者を派遣するための扉を開いたのである。

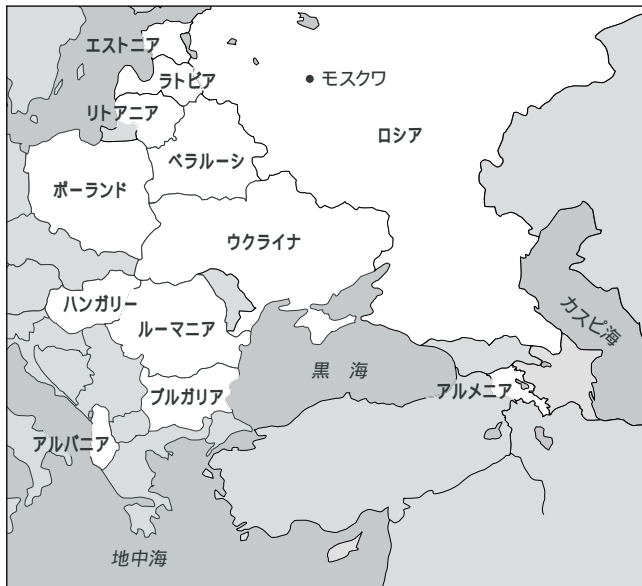
5. ベンソン大管長の指導のもと、教会は世界に向けて重要な発展を遂げた。1987年8月28日、ドイツ連邦共和国のフランクフルト神殿を奉献した。これはベンソン大管長にとって感慨深い出来事であった。1964年から65年にかけて、フランクフルトに本部を置くヨーロッパ伝道部の部長として働いていたからである。

6. また、1985年6月29日、ドイツ民主共和国にフライベルク神殿が奉献された。この奉献に至るまでに、神殿建設を巡る数々の奇跡が起こった。ドイツ民主共和国への1968年の訪問のとき、当時十二使徒定員会会員であったトーマス・S・モンソン長老は聖徒たちにこう語った。『もし皆さんが神の戒めを忠実に守るならば、ほかの国々の会員たちと同様に、あらゆる祝福が皆さんのものとなるでしょう。』1975年、割り当てを受けて再度訪問したモンソン長老は、東ドイツの地を主に奉献するよう御霊の促しを受け、次のような祈りをささげた。『愛する天のお父様、この地におけるあなたの教会の会員にとって、この日が新たな出発の日となりますように。神殿の祝福にあずかりたいという聖徒たちの心からの願いがかないますように。』モンソン長老のこの靈感あふれる約束と預言的な奉献の祈りは現実のものとなったのである。[「神に感謝を捧げん」『聖徒の道』1989年7月号55。「イエスを愛する人々」『聖徒の道』1986年1月号36 - 37も参照]

7. 1989年3月末日、ドイツ民主共和国は末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師の入国を許可した。そして1989年11月9日、多くの聖徒たちの信仰と祈りがこたえられ、ヨーロッパを東西に分けていた障壁が取り除かれた。改宗者が増え、教会の建物が建設された。ある改宗者が初めて教会のことを知ったのは、1990年5月1日に新築されたドレスデンの教会堂のオープンハウスに出席したときのことであった。それから1週間もしないうちに、彼は宣教師の話聞き終え、モルモン書を隅から隅まで2度読み、福音の真実性に対する強い証を得てバプテスマを受けた。[ギャロルド・デービスとノーマ・デービス, “The Wall Comes Down,” Ensign, 1991年6月号, 33参照]

8. 1991年6月24日、モスクワでタバナクル合唱団のコンサートが開かれた。その後の晩餐会で、ロシア・ソビエト連邦社会主義共和国の副大統領が、ロシアで末日聖徒イエス・キリスト教会を公式に認めることを発表した。これは教会がこの広大な国で教会ユニットを設けることができることを意味していた。こうして1990年代にたくさんの旧ソ連の国々や東ヨーロッパ諸国が、福音を宣べ伝える国として奉献された。アルバニア、アルメニア、ベ

ラルーシ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ロシア、そしてウクライナである。教会は各国に教会の施設を建設したり賃貸したりした。そして、大勢の人が各国で福音が真実であるという証を得ている。第二次世界大戦以来初めてポーランドの地で教会堂が奉献された日、十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老はその教会堂が『悩める人々の避け所となり、義に飢え渴く人々に希望を与える安息の場となるように』と祈った〔Church News, 1991年6月29日付, 12〕。この祝福は、多くの国々で福音に平安と喜びを見いだした聖徒たちにとって、現実のものとなっている。



ベンソン大管長が管理する期間に、教会指導者は幾つかの国を福音を宣べ伝える地として奉献した。

9. 教会員数の驚異的な増加と、ベンソン大管長が力説した伝道活動の結果、大管長の在任期間の終わりには、伝道部数は295、宣教師総数は4万8,000人に達した。

10. またベンソン大管長の在任中に、教会福祉プログラムも変化した。世界各地で、末日聖徒以外の人々に対する人道的支援がさらに強化されるようになったのである。災害にあった人々を救済し、長期にわたる自立を促進する活動である。大量の食糧や衣服、医薬品、毛布、現金などが困窮者に配布され、医療や識字運動などの長期計画が組まれてきた。この慈善奉仕は現在、世界各地の何千もの人々のために行われている。

11. 老齢による衰弱と愛妻フローラとの死別に苦しみながらも、主の預言者としての使命を雄々しく果たしたベンソン大管長は、1994年5月30日、94歳で死去した。その跡を継いだのは、当時十二使徒定員会会長の任にあったハワード・W・ハンターである。〔『わたしたちの受け継ぎ』117 - 120参照〕

## 読み物を理解する

### エズラ・タフト・ベンソン大管長の生涯

改めて賛同した (段落1)	彼の証を付け加えた	ひとく (段落2)	本を開いて読む (モルモン書の研究を毎日行うよう促す表現)
教え (段落1)	教訓, 戒め	器の内側 (段落3)	生活, 思い, 意思, 望み
財政的な危機 (段落2)	負債		

治療薬 (段落3)	改善法, 救済策	促進する (段落10)	促す, 支援する
障壁 (段落7)	壁, 制限	識字運動 (段落10)	読み書きの指導
賃貸する (段落8)	借りる		
避け所 (段落8)	安全に休むことのできる場所		

## エズラ・タフト・ベンソン大管長の教えと証



12. 「主は、人々がモルモン書を軽んじたために、教義と聖約第84章で、全教会が罪の宣告のもとにあると言われました。『この罪の宣告はシオンの子ら、まことにすべての者のうえにある。(56節) 主はさらにこう続けておられます。『彼らが悔い改めて、新しい聖約、すなわち「モルモン書」と、わたしが彼らに与えた以前の戒めを思い起こし、そしてただ口にするだけでなく、わたしが記してきたものに従って行動するまで、彼らは依然としてこの罪の宣告の下にある。』(57節)

13. 今わたしたちに必要なのは、モルモン書について口にするだけでなく、その教えにさらによく従うことです。なぜでしょうか。主は答えておられます。『これによって、彼らが父の王国にふさわしい実を結べるようにするためである。そうでなければ、シオンの子らのうえに注がれる懲らしめと裁きが残る。』(58節) わたしたちはこの『懲らしめと裁き』とを感じています。」「(「器の内側を清める」『聖徒の道』1986年7月号, 5)

14. 「モルモン書は確かに真理を教えています、それだけではありません。モルモン書は確かにキリストを証していますが、それだけでもありません。それ以上のものがあるのです。モルモン書には力があって、真剣に読み始めるとすぐに、その力が読む人の生活に流れ込み、誘惑に打ち勝つ力となります。またそれは欺き<sup>あざむ</sup>を避ける力となり、細くて狭い道にとどまる力となります。聖文は『命の言葉』(教義と聖約84:85)と呼ばれていますが、モルモン書ほどその言葉にふさわしいものはありません。神の言葉に飢え渴いている人は、モルモン書からそれを豊かに得られるようになるのです。

15. 兄弟姉妹の皆さん、個人で、また教会全体として、このモルモン書の重要性についてぜひとも真剣にお考えいただきたいと思います。」「(「モルモン経 私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 6 - 7参照)

16. 「イエスはわたしたちが行うすべてのことの隅石つまり礎<sup>すみいし</sup>です。モルモン書は、そのイエス・キリストに対する証のかなめ石となるものです。モルモン書は力強く、しかも明快にイエスが実在の御方であることを証しています。数多くの写本家や翻訳家、内容に手を加えたよこしまな宗教家たちの手を通してきた聖書と異なり、モルモン書(英文)は執筆から読者までたった一つ、靈感を受けた翻訳というステップがあるだけです。したがって、そこにある主の証は明快で、純粹で、力があります。そればかりではありません。現代では、キリスト教の多くは救い主が神であることを否定しています。主が奇跡的な経緯で生誕されたことや、非の打ち所のない生涯を送られたこと、栄えある復活を遂げられたことに疑いの目を向けているのです。モルモン書はこれらの出来事が実際にあったということを知りやすく、誤解の余地が

ない言葉で教え、贖いの教義についても余すところなく説明しています。神から与えられたこの靈感あふれる書物が、イエスが救い主であるという世の人々への証のかなめ石であることは確かです。」「(「モルモン経 私たちの宗教のかなめ石」『聖徒の道』1987年1月号, 5参照)

17. 「ステーキを大きくしようとして、大変な努力をすることがよくあります。聖餐会の出席率を上げようと努力し、宣教師の数や神殿結婚の数を増やそうと努めるのです。もちろんこうした努力は立派ですし、王国の発展のために大切なことです。けれども、もし個人で、また家族で、定期的に続けて熱心に聖文を読むならば、こういった様々な事柄は自然に成し遂げられるものなのです。証が深まり、人々は固い決意で御業に献身するようになることでしょう。そして家族は強められ、一人一人に啓示が注がれるのです。」「(「み言葉の力」『聖徒の道』1986年7月号, 81参照)

18. 「悪いことをしていながら、よい気持ちを感じることはできません。そんなことはありません。」「(“To the Rising Generation,” *New Era*, 1986年6月号, 5. 『若人のために』4も参照)



19. 「俗世の書物にも、聖なる書物にも、『母』という語ほど神聖な言葉はありません。善良で、神を畏れる母親の務め以上に気高い務めはありません。……

20. 神は永遠の家族において、父親が家庭を管理するよう定められました。父親には、養い、愛し、教え、導く責任があります。

21. しかし、母親の果たす役割もまた、神によって定められたものです。母親には、子を身ごもり、産み、養い、愛し、訓練する責任があります。」「(To the Mothers in Zion [パンフレット, 1987年], 1-3)



22. 「高慢は至る所にある罪であり、大きな悪です。……

23. 高慢の治療薬は謙遜であり、柔和であり、従順でもあります(アルマ7: 23参照)。……

24. 神は謙遜な民を求めておられます。わたしたちは自ら進んでへりくだることもできれば、強制されてへりくだることもできます。アルマは言いました。『やむを得ずへりくだるのではなく、自らへりくだる人々は幸いである。』(アルマ32: 16)

25. 自分からへりくだる道を選びましょう。

26. わたしたちは自らへりくだる道を選ぶことができます。へりくだるとは、兄弟姉妹に対する敵意を捨てることであり、兄弟姉妹を自分自身のように尊び、自分以上に尊重することなのです(教義と聖約38: 24; 81: 5; 84: 106参照)

27. 自らへりくだる道を選ぶとは、助言と懲らしめを受け入れることです(モルモン書ヤコブ4: 10; ヒランマン15: 3; 教義と聖約63: 55; 101: 4-5; 108: 1; 124: 61, 84; 136: 31; 箴言9: 8参照)

28. 自らへりくだる道を選ぶとは、自分を傷つけた人を赦すこ

とです(3ニーファイ13: 11, 14; 教義と聖約64: 10参照)。

29. 自らへりくだる道を選ぶとは、無私の奉仕を行うことでもあります(モーサヤ2: 16-17参照)

30. 自らへりくだる道を選ぶとは、伝道に出て、人を謙虚にする神のみ言葉を宣べ伝えることです(アルマ4: 19; 31: 5; 48: 20参照)

31. 自らへりくだる道を選ぶとは、もっと頻繁に神殿に参入することです。

32. 自らへりくだる道を選ぶとは、罪を告白し、悪を捨て、神によって生まれることです(教義と聖約58: 43; モーサヤ27: 25-26; アルマ5: 7-14, 49参照)

33. 自らへりくだる道を選ぶとは、神を愛し、自分の思いを神の御心に従わせ、神を第一に置いた生き方を築き上げることです(3ニーファイ11: 11; 13: 33; モロナイ10: 32参照)

34. 自らへりくだる道を選びましょう。わたしたちにはそれができます。確かにできるのです。」「(「高ぶりに注意せよ」『聖徒の道』1989年7月号, 7参照)

35. 「どこで奉仕しようとも、この業の中で大切なのは御霊です。わたしも自分がこの御霊に頼らなければならないということを知っております。この御霊を得、信仰深い教会員とならうではありませんか。」「(「神聖な務め」『聖徒の道』1986年7月号, 77参照)

36. 「この業を果たすうえで御霊以上に大切なものはありません。」「(「神の性質」『聖徒の道』1987年1月号, 52)

37. 「遠からず、この地球が清められることを、証いたします(教義と聖約76: 41参照)。キリストなるイエスが再び地上に来られます。そのときキリストは、権能と大いなる栄光をもって敵を打ち滅ぼし、この地球を統治されるのです(教義と聖約43: 26-33参照)。そして、いつの日かすべての人が復活し、最後の裁きにおいて主と対面する日が来ることを証いたします(2ニーファイ9: 15, 41参照)。神は現世の行いに応じて一人一人に報いを与えられます(アルマ5: 15参照)。」(「証」『聖徒の道』1989年2月号, 91)



## 読み物を理解する

エズラ・タフト・ベンソン大管長の教えと証

罪の宣告(段落12)	非難すること、承認されないこと	管理する(段落20)	導く
いただきたいと思う(段落15)	要請する、嘆願する	敵意(段落26)	憎むこと
		敵を打ち滅ぼし(段落37)	
		敵を征服して	

## 読み物を研究する

「エズラ・タフト・ベンソン大管長」を読みながら、以下の活動AまたはBを行ってください。

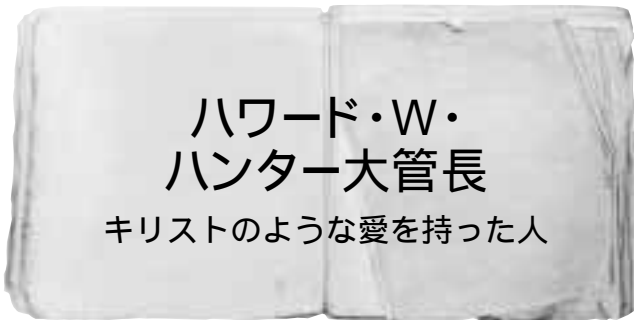
### A コラージュを作る

段落1 - 10で読んだことを参考に、ベンソン大管長の生存中に起こった様々な出来事を象徴するような写真を雑誌や新聞から何枚か探してください。自分で絵を描いてもいいです。それを組み合わせてノートまたは画用紙に貼りつけ、コラージュ（訳注 絵に切り抜きを貼り付けたり、写真に絵を描いたりする）を作ります。それぞれの絵、写真には解説を付けます。



### B 組み合わせ問題

- 下の聖句の参照箇所をノートに縦に書いてください。
  - アルマ31：5
  - アルマ41：10
  - 教義と聖約42：13 - 14
  - 教義と聖約84：54 - 57
  - 3ニーファイ27：5 - 8
  - イザヤ64：1 - 3
  - アルマ5：22 - 23
  - アルマ56：47 - 48
- 1で書いた参照聖句の横に、該当する段落の番号を、段落12 - 37から選んで記入します。二つ以上の段落が該当する場合があります。
- ベンソン大管長の教えの中から気に入ったものを一つ選び、その教えが自分にとってなぜ大切なのか説明してください。




Howard W. Hunter大管長は次のように教えました。「このことを心に刻み込んでください。イエス・キリストと回復された福音を中心に信仰生活を送っていれば、どんな間違いも、修復されないまま永遠に放置されることはありません。」(“Fear Not, Little Flock,” Brigham Young University 1988 - 89 Devotional and Fireside Speeches [1989年], 112) Hunter大管長はこの大切な原則を教えるだけでなく、この原則に従って生きた人です。当時、十二使徒定員会会員であったジェームズ・E・ファウスト

副管長は、このように語っています。「Hunter大管長の短い在任期間中にあった出来事の中で最も注目すべきことは恐らく、世界中の教員が預言者、聖見者、啓示者であるHunter大管長と固いきずなで結ばれたということでしょう。会員たちは、大管長が救い主御自身を思わせるような特質を数多く持っていることを知りました。そのため会員たちはHunter大管長の要請に見事にこたえて、キリストのような生活を送り、神殿を礼拝の中心に据えるよう努力したのです。」(“Howard W. Hunter: Man of God,” Ensign, 1995年4月号, 26)

Hunter大管長が持っていたキリストのような特質について、十二使徒定員会会員であるニール・A・マックスウェル長老は一つの例を挙げて説明しています。Hunter大管長は「柔和な人です。若いときに、せっかく手に入れた仕事を辞退したことがありました。自分がその職に就くと、代わりに職を失う人が出るからというのがその理由でした。大管長はいつもこのように謙遜なのです。大管長と二人でエジプトを訪問する割り当てを受けたときもそうでした。くたくたに疲れ、ほこりまみれになって一日を終えたのですが、翌朝目を覚ますと、大管長は黙々とわたしの靴を磨いていたのです。わたしに気づかれないうちに磨き上げてしまおうとしていたのです。」(「Howard W. Hunter大管長：驚のように」『聖徒の道』1994年9月号, 12 - 13参照)

### Howard W. Hunterの生涯 (1907 - 1995年)

1907年	11月14日、アイダホ州ボイシにおいて、ジョン・ウィリアム・ハンターとネリー・マリー・ラスマセン・ハンターの間生まれ	
1919年	12歳。4月4日、バプテスマを受ける(父親から許可が出るまで待っていた)。6月21日、監督によって執事に聖任される	
1931年	23歳。6月10日、クララ(クレア)・メイ・ジェフスと結婚する	
1950年	42歳。カリフォルニア州に早朝セミナーを導入するための委員会の委員長を務める	
1959年	51歳。デビッド・O・マッケイ大管長により、使徒に聖任される	
1964 - 1972年	56 - 64歳。教会の系図協会会長を務める	
1970 - 1972年	62 - 64歳。教会歴史家を務める	
1975 - 1993年	67 - 85歳。イスラエルを度々訪れる。ブリガム・ヤング大学エルサレムセンターを奉獻する	
1983年	75歳。妻が死去する	
1988年	80歳。十二使徒定員会会長として支持される	
1989年	81歳。4月10日、イニス・バーニス・イーガンと結婚する	
1994年	86歳。大管長として支持される	
1995年	87歳。3月3日、ソルトレーク・シティで死去する。大管長の職を9か月間務める	

## ハワード・W・ハンター大管長が教会を管理した時期 (1994 - 1995年)

1994年	フロリダ州オーランド神殿を奉献し、2,000番目のステーキを組織する
1995年	ユタ州バウンティフル神殿を奉献する。教会員総数933万8,859人

## ハワード・W・ハンター大管長の生涯

1. 「1994年6月6日、大管長に召されてから初めての記者会見でハワード・W・ハンター大管長は、自分の務めの重要なテーマを幾つか紹介して次のように語った。『主イエス・キリストの生涯と模範、特に主が示された愛と希望と慈悲に、これまで以上の注意を払って生活するようすべての教会員にお勧めします。』

2. わたしたちが互いにもっと親切にし、もっと礼儀を尽くし、もっと謙遜で、忍耐強く、赦し合えるように祈っています。』



3. また、教会員に向かって次のように語った。『主の宮が、教会員であることの崇高な象徴であり、最も神聖な聖約を交わす至高の場所であることをはっきりと認識してください。神殿に参入するふさわしさをすべての教会員が身に付けること、これこそがわたしの心からの願いです。』

〔Church News, 1994年6月11日付〕

14) 多くの教会員がこの要請に従って生活を変え、高い霊性という祝福を得た。

4. ハンター大管長は研ぎ澄まされた知性の持ち主であり、これは教会にとって大きな資産であった。1970年代後半、ハンター大管長はその才をすべて注ぎ込むことのできる仕事を与えられた。用地を取得して、聖地における教会の主要な建物 ブリガム・ヤング大学近東研究エルサレムセンターの建設を監督するという重要な役割りを果たしたのである。このセンターはオリブ山に連なるスコプス山の上に建っている。学生たちはここに寄宿して、この選ばれた地エルサレムについて、そこに住民(ユダヤ人やアラブ人)について、そしてイエスや古代の預言者の足跡について研究している。同センターが建設されたことは、研究者や学生たちにとっては祝福である。また、この建物を訪れる人々の中には、その美しさに感動する人が多い。……



ブリガム・ヤング大学エルサレムセンター

5. ハンター大管長は生涯、試練の連続であったが、信仰と不屈の精神で苦難を乗り越えていった。痛みを伴う重い病氣、体をむしばむ慢性疾患、伴侶との死別などの試練にもかかわらず、熱心に主に仕え、教会の様々な仕事を管理するためにしばしば旅行をし、全力を尽くして働いた。自ら語った次のメッセージそのものであったと言える。『道を踏み外してしまった子供を抱えて悩んでいる方、経済的な問題や感情的な衝突で自分の家庭や幸福が危機に瀕している方、また近親者を亡くした方、健康を害している方、そのような方々の心に安らぎがあるよう祈っています。人は自分の力で耐えられないような誘惑を受けることはありません。回り道をしていると感じるときや望みがないと感じるとき、人は主のみもとに続くまっすぐで狭い道を行っていると云えるのです。』〔「扉」『聖徒の道』1988年1月号、63参照〕

6. ハンター大管長は1994年12月11日、メキシコのメキシコシティで教会の2,000番目のステーキ設立を管理した。これは教会歴史上、記念すべき出来事である。集まった人々に大管長はこう述べた。『主はその僕たちを通して、この奇跡をもたらしてくださいました。この業はこれからも力強く前進することでしょう。主は、リーハイやその子供たちに、子孫について約束されました。その約束は今、メキシコの地で果たされました。そして、これからも果たされていくことでしょう。』〔Church News, 1994年12月17日付、3〕ハンター長老が中央幹部として働いている間、ラテンアメリカの教会は劇的に発展した。そして大管長に召されたときは、メキシコとブラジルとチリだけで教会員数が150万を超え、当時のユタの教会員数を上回った。

7. ハンター大管長の在任期間はわずか9か月であったが、聖徒たちに強い影響を与えた。聖徒たちは大管長を、思いやりと忍耐とキリストのような特質を持つ偉大な模範として記憶にとどめることであろう。〔『わたしたちの受け継ぎ』120 - 122参照〕

8. ジェームズ・E・ファウスト副管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、ハンター大管長の少年時代の話を紹介しました。「妹のドロシー・ハンター・ラスマセンは……、子供のころ兄とともに過ごしたときの、心温まる出来事を次のように述懐しています。『ハワードはいつもよいことを行い、よい子になりたいと思っていました。わたしの面倒をよく見てくれるとてもよい兄でした。両親に対しても思いやりがありました。また、動物が好きで、捨てられた動物をよく家に連れて来ました。』家のそばには灌漑水路があり、ある日少年たちが数人で、……子猫をその水路に落として遊んでいました。子猫が這い上がって来ると、また落とすのです。この遊びを飽きるまで何度も続けていました。『ハワードが通りかかり、〔子猫〕を拾い上げました。ぐったりと死んだようになっているのを、家へ連れて帰りました。母はもう死んでいるのではないかと思いましたが、ハワードと二人で毛布にくるみ、温かいオープンそばに置いて看病しました。』子猫は息を吹き返し、何年も飼われることになりました。ドロシーはこのように述べています。『兄はとても親切でした。それに、わたしは兄が間違ったことをするのを、これまで一度も見たことがありません。』〔「ハワード・W・ハンター大管長：驚のように」『聖徒の道』1994年9月号、5 - 6参照〕

9. 七十人の一員を務めたルロン・G・クレーブン長老は次のような話を紹介しました。「もう随分前のことですが、ハンター会長は二度と歩くことができないうという宣告を受けました。覚えている方も多いでしょう。しかし、ハンター会長の信仰と決



意はその宣告を聞いても揺るぎませんでした。決意と信仰、そしてもう一度歩く姿を思い描きながら、ハンター会長は人知れず大変厳しい物理療法をやり通しました。この過酷な数か月間、十二使徒の兄弟たちは毎日定員会集会で、あるいは個人的に、ハンター会長のために祈り続けました。

10. 数か月たったある木曜の朝のことです。ハンター会長の部屋へ行くと、……会長がすでに神殿に向かって歩いていると人が言うので半信半疑で急いで後を追いました。すると、ハンター会長は歩行器の助けを借りて歩いていたのです。……会長が「集会の開かれる」部屋に足を踏み入れた瞬間、十二使徒たちが立ち上がって拍手し始めました。……ハンター会長は感謝の言葉を述べました。「わたしはもう二度と歩けないだろうと言われていました。けれども主の助けとわたしの決意、そして何よりも十二使徒の兄弟たちの信仰のおかげで、わたしは再び歩いているのです。」（「予言者」『聖徒の道』1991年7月号、28 - 29参照）

## 読み物を理解する



### ハワード・W・ハンター大管長の生涯

至高の（段落3）	天の	その体をむしばむ（段落5）
研ぎ澄まされた（段落4）	鋭い、物事を的確にとらえることのできる	体の自由が効かなくなるような、体を衰弱させる
取得（段落4）	買い取る	人知れず（段落9） 人前で見せない
不屈の精神（段落5）	決意、勇氣	

### ハワード・W・ハンター大管長の教えと証

11. 「救い主は、見返りを期待して何かをお与えになったことは一度もありません。救い主は常に、惜しげもなく愛を込めて与えてくださいました。その贈り物はかけがえのないものでした。主は目の見えない人に目を与え、耳の聞こえない人に耳を、足の不自由な人に足を、汚れた人に清さを、病気の人に健康を、命を失った人に息を与えられました。

12. ふさぎ込んでいる人には立ち直る機会を、束縛された人に自由を、悔い改める人に赦しを、絶望した人に希望を、闇の中にいる人に光を授けられました。主は愛と奉仕と命を与えてくださいました。そして何よりも、主はわたしたちとこの世の命あるものすべてに、復活と救いと永遠の命を与えてくださったのです。

13. わたしたちは、主が与えられたように与える努力をしなければなりません。……自分をささげることは神聖な行為です。主からすべてを与えられていることを記念して、わたしたちも与えるのです。……

14. ……このクリスマスの時期に、仲直りをし、孤独な人を訪ねましょう。疑いを捨て、信じることにしましょう。手紙を書きましょう。優しい言葉で受け答えをしましょう。青少年を力づけ

ましょう。言葉と行いで誠意を示しましょう。約束を守りましょう。恨みを忘れ去りましょう。敵を赦しましょう。謝りましょう。思いやりを示しましょう。押し付けがましいことをしていないか反省してみましょう。ほかの人のことを第一に考えましょう。親切にしましょう。礼儀正しくしましょう。もう少し笑いましょう。感謝を示しましょう。よそから来た人を歓迎しましょう。子供の心を喜ばせましょう。自然の美と奇跡を楽しみましょう。愛を言葉にして伝え、さらにもう一度愛していると言いましょ。〔作者不詳の文から改作〕（“To Give of Oneself Is a Holy Gift,” Prophet Tells Christmas Gathering,” Church News, 1994年12月10日付、4）



15. 「一人一人が、家族そろって、地域ぐるみで、国民が一体となって、ペテロのようにイエスをしっかりと見詰めるなら、不信仰という荒波の上を歩くことができるでしょう。激しく吹きさらす疑いという風の中にあってもひるむことなどないでしょう。わたしは、固くそう信じています。しかしもしキリストから目をそらしたらどうなるでしょうか。実際、目をそらすことはわけもなくできますし、この世には、キリストから目をそらせるような誘惑なら幾らでもあります。わたしたちを助け、救う力のある御方から目をそらし、周囲に渦巻く破壊的で恐ろしい嵐に目を奪われたらどうなるでしょう。争い、悲しみ、失望の海に沈んでいくことになるのです。

16. 洪水に押し流され、信仰を激しく揺さぶられ、今にも深みにのみ込まれそうなときに、嵐と闇に取り巻かれているそのときに、世の救い主のあの優しい言葉をいつも聞くことができるよう祈っています。「しっかりとするのだ、わたしである。恐れることはない。」（マタイ14：27）（「平和な港の光」『聖徒の道』1993年1月号、22参照）

17. 「時の初めから、どの時代の人々も、乗り越えなければならぬ壁に突き当たり、解決しなければならぬ問題に悩まされてきました。だれしも、人には分からないだろうと思える悩みを抱えているものなのです。わたしたちは、このことを前世で知らされてきました。

18. これらの経験を通して謙虚になり、人格を磨き、学んでいくなら、わたしたちはさらに善い人となり、感謝の心と愛に満ちた者となり、苦しんでいる人に対して深い思いやりを示すことができるようになることでしょう。

19. とでもつらいと感じるときでさえ、悩みや、預言者の言葉は、義人を祝福し、義人でない人を悔い改めに導く以外の何物でもないのです。」（“Why Try?” New Era, 1994年1月号、6）

20. 「イエスが手を置かれた人は皆生き返ります。もしイエスが



その手を結婚生活の上に置かれるならば、結婚生活は命を得、もし家族の上に手を置かれるならば、その家族はよみがえるのです。」(『聖典を読む』『聖徒の道』1980年3月号, 89参照)

21. 「イエスこそ永遠の喜びの源であり、永続する平安はイエスにあることを証いたします。イエスを今『わたしたちの栄光』ととらえることができますように。それはわたしたち一人一人が切望する栄光です。人類が永遠に大切にしたいと願う宝です。イエスはこの世から永遠にわたってわたしたちの宝です。ほかの宝は最終的には無益なものとなります。いかに貴重な宝でも、時とともに色あせ、消えうせてしまうのです。最終的には、……まことの喜びはキリストにしかないことが分かるでしょう。」(『主イエスよ、わが胸』『聖徒の道』1993年7月号, 67参照)

22. 「わたしは、イエス・キリストの御名を世の人々に証するために召され、聖任された者として、この復活祭に当たり、イエスが生きておられることを証いたします。イエスは、栄光を受けた不滅の骨肉の体を有しておられる御方です。イエスは救い主であり、御父の肉における独り子です。イエスは救い主であり、世の光であり、命です。十字架にかけられ、亡くなられた後にイエスは復活され、マリヤ、ペテロ、パウロや、そのほか多くの人々に御姿を現されました。ニーファイ人のところにも行かれました。イエスはまた、この神権時代に若き預言者ジョセフ・スミスをはじめとする多くの人々にも御姿を現されました。この教会はイエスの教会です。」(『主はよみがえられた』『聖徒の道』1988年6月号, 17参照)



## 読み物を理解する



ハワード・W・ハンター大管長の教えと証

かけがえのない(段落11) 計り知れない	切望する(段落21)	熱烈に望む
ふさぎ込んでいる(段落12) 落胆した	宝(段落21)	美, 栄光
恨みを忘れ去る(段落14) 心を傷つけられたことを忘れる		

## 読み物を研究する



「ハワード・W・ハンター大管長」を読みながら、以下の活動AまたはB、およびCまたはDを行ってください。

### A ハンター大管長を知る

以下の質問の答えを調べてください。ハワード・W・ハンター

大管長の生涯と管理した時期(223 - 224ページ)、大管長の生涯の段落1 - 10を見るとよいでしょう。

1. ハンター大管長がバプテスマを受けて教会員になったのは何歳のときでしたか。
2. 使徒に聖任されたのは何歳のときでしたか。
3. 2度目の結婚をしたのは何歳のときでしたか。
4. どの神殿を奉獻しましたか。
5. ハンター大管長が経験した試練を少なくとも二つ挙げてください。
6. 2,000番目に当たるステーキはどここの国にありますか。
7. 1994年には、中南米にある3つの国の教会員を合計するとユタ州の会員数を上回りました。その3つの国とはどこですか。
8. ハンター大管長はどれくらいの期間、大管長を務めましたか。



### B どんな功績を残したか

1. ハンター大管長の残した功績の中から、強く心に残ったものを5つ挙げてください。それらを成し遂げるためには、特にどんな特質が必要だと思いますか。それぞれ一つ書いてください。
2. 今書いた特質の中から、あなたがもっと伸ばしたいと思うものはどれですか。その特質を書き、それを伸ばす方法を簡単に書いてください。

### C 誤りを訂正する

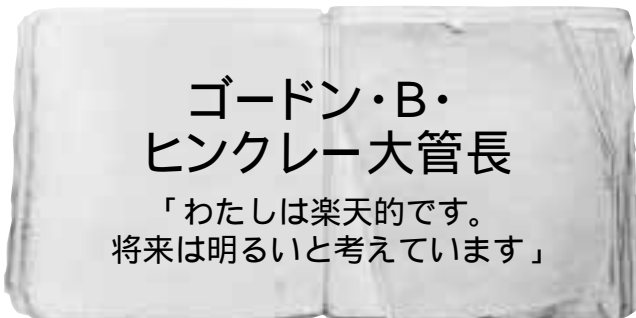
1. 以下に挙げる文章はハンター大管長の教えですが、間違いがあります。訂正して、書き直してください。
  - a. 「友達生き方と模範に、これまで以上の注意を払って生活するようすべての人にお勧めします。」(段落1参照)
  - b. 「わたしたちが互いにもっと親切にし、もっと礼儀を尽くし、もっと喜び、忍耐強く、赦し合えるように祈っています。」(段落2参照)
  - c. 「すべての教会員が宣教師になること、それがわたしの心からの願いです。」(段落3参照)
  - d. 「回り道をしていると感じるときや望みがないと感じるとき、救い主にとっては道のでこぼこでしかないのです。」(段落5参照)
  - e. 「救い主はほんとうに見返りを期待してお与えになりました。救い主は惜しげもなくだれにでも与えてくださいました。その贈り物はこの世的な価値がほとんどないものでした。」(段落11参照)
2. 1の文章の中から一つを選んで、訂正した文章が間違った文章よりも優れている理由を説明してください。

### D 救い主に関する調査

1. 「ハワード・W・ハンター大管長の教えと証」の中に、救い主に関して語った文章は幾つありますか(段落11 - 22参照)。
2. イエス・キリストについてハンター大管長が教えた事柄を書き出してください。その中であなたが最も大切だと感じたも

のを丸で囲んでください。

- 3. ハンター大管長は、救い主についてどんなことを知り、感じるようわたしたちに望んでいましたか。簡単に説明してください。



## ゴードン・B・ ヒンクレー大管長

「わたしは楽天的です。  
将来は明るいと考えています」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は大管長に召されてから5年の間に、南極大陸を除く世界のすべての大陸に渡り、教会員を訪れました。「『旅行は好きではありません……』とヒンクレー大管長は1996年10月の総大会で話しました。『しかし、忠実な末日聖徒の皆さんにお会いし、握手を交わすことに喜びを感じています。』

……

……〔数年後に、ヒンクレー大管長はこのように語りました。〕『わたしは力が残っているかぎり、旅を続ける覚悟です。わたしは年老いてきました。6月には90歳になります。もうすぐです。足腰が弱ってきて、自分も年かなと思うことが時々あります。〔けれども〕わたしは〔教会員と〕一緒にいたいのです。大管長に会うのは、教会員にとって当然の権利だと思うのです。』(“Looking into the Faces of Faithful Latter-day Saints,” Church News, 2000年3月4日付, 13)

### ゴードン・B・ヒンクレー大管長の生涯 (1910年 - )

1910年	6月23日、ソルトレーク・シティーにおいてブライアント・S・ヒンクレーとエーダ・ビトナー・ヒンクレーの間に生まれる
1919年	8歳。4月28日、ソルトレーク・シティーにおいて父親からバプテスマを受ける
1930年	20歳。母が死去する
1933 - 1935年	23 - 25歳。イギリスで伝道する
1935 - 1958年	25 - 47歳。教会の伝道委員会で専任で働いた後、教会の各部門で働く
1937年	26歳。4月29日、マージョリー・ペイと結婚する。中央日曜学校管理会で働くよう召される
1958年	47歳。十二使徒定員会補助に聖任される
1961年	51歳。使徒に聖任される
1981 - 1995年	71 - 84歳。スペンサー・W・キンボール(1981年)、エズラ・タフト・ベンソン(1985年)、ハワード・W・ハンター(1994年)の副管長として働く



1995年 84歳。大管長として支持される

### ゴードン・B・ヒンクレー大管長が教会を管理した時期 (1995年 - )

1995年	十二使徒会地区代表全員の解任と地域幹部の召しを発表する。「家族 世界への宣言」を発表する
1996年	全世界に小規模神殿の建設を開始し、全会員が定期的に神殿に参入できるよう整える
1997年	地域幹部として召されていた指導者の中から新たに七十人定員会を組織する。全世界の七十人定員会は6つとなる
1998年	アフリカ、ヨーロッパ、アジア、南北アメリカ、オーストラリア、南太平洋を巡り、聖徒たちと交わる
1999年	教会を代表して数々のテレビ番組に出演する。ノーブー神殿の再建を発表する
2000年	ソルトレーク・シティーに建設された新しいカンファレンスセンターを奉献する。年の初めに1,075万2,986人だった教会員数が夏に1,100万人を突破する

大管長になって最初の5年で約15万キロ旅をした。58か国を訪問し220万の教会員を前にして話した。その間、24の神殿も奉献している。



### ゴードン・B・ヒンクレー大管長の生涯

1. 「ハンター大管長の跡を継いで大管長に召されたのは、ゴードン・B・ヒンクレーである。ヒンクレー大管長は、新しい大管長会のテーマは何ですかという質問に、こう答えている。『「続け、励め、進め」です。わたしたち大管長会の目指すところは、前任者たちがこれまで立派に、忠実に、そして見事に築いてきた偉大な業を推し進めることです。そして、家庭を大切にすることです。教育を発展させることです。全世界の人々の心に寛容と忍耐をばくむことです。そして、イエス・キリストの福音を宣べ伝えることです。』(Church News, 1995年3月18日付, 10)

2. ヒンクレー大管長は教会指導者として広範にわたる経験を積むことによって、大管長会で働くという召しの備えをしてきた。1961年に十二使徒定員会会員として支持され、1981年からはスペンサー・W・キンボール、エズラ・タフト・ベンソン、ハワード・W・ハンター各大管長の副管長を務めた。その間、高齢のために衰弱した大管長が十分に働けない時期が何度かあったが、そ

の度にヒンクレー長老は副管長として重責を担った。



3. 大変な責任が続く中であってゴードン・B・ヒンクレーを支えてきたのは、若いころイギリスで伝道していたときに受けた一つの忠告であった。幾分やる気をなくしていた彼は、父親にこう書き送った。『ぼくは自分の時間や家族が送って

くれたお金を無駄にしています。ここにいても意味がないように思えるのです。』するとしばらくして、父親から短い手紙が届いた。『愛するゴードンへ。手紙を読みました。お父さんにできる忠告はただ一つ。自分を忘れて御業に励みなさい。愛を込めて、父より。』

4. ヒンクレー大管長はそのときのことをこう語っている。『わたしは父の返事をよくよく考えました。そして次の日の朝、聖文学習会で主の偉大な次の御言葉を読みました。「自分の命を救おうと思う者はそれを失い、わたしのため、また福音のために自分の命を失う者は、それを救うである。」(マルコ8:35)わたしは感動しました。その簡潔な言葉、約束が父の手紙と重なって心に迫ってきたのです。わたしは2階に行って……ひざまずき、自分自身を忘れて御業に励むことを主に聖約しました。今にして思えばこれが人生の岐路でした。以来わたしが経験したすばらしい出来事は、さかのぼって考えると、すべてこのときに下した決断のおかげなのです。』〔Gordon B. Hinckley: Man of Integrity, 15th President of the Church, ビデオカセット(1994年)〕



5. ヒンクレー大管長は常に神と未来を心から信じる、根っからの楽観主義者として知られている。『きつとうまいきます。努力を続けましょう。信じましょう。元気を出してください。くよくよしないでください。万事うまくいきますよ。』〔ジェフリー・R・ホランド「ゴードン・B・ヒンクレー大管長 信念と勇気の人」『聖徒の道』1995年6月号付録, 6〕

6. 報道関係者から、教会が直面する最も難しい問題は何かと問われた大管長は、こう答えた。『わたしたちが直面している最も重大な問題、しかも最も喜ぶべき問題は、発展に伴って起こる問題です。』そして、教会の発展に伴って神殿を含む教会の建物がたくさん必要になることを説明した。『今、教会歴史の中で神殿建設が最も盛んな時代です。現在のようない勢いで神殿の建設が進められたことは、かつてありませんでした。今、47の神殿で儀式が行われています。ほかに13の神殿が設計または建設の段階にあります。わたしたちは引き続き神殿を建てていきます。』〔Church News, 1995年3月18日付, 10で引用〕また教会の絶え間ない発展に伴い、モルモン書を多数の言語に翻訳することも必要となっている。



7. ヒンクレー大管長は教会の劇的な発展に直接携わってきた。

1967年に大阪の大会に集っていた大管長は、聴衆の中に若人がたくさんいるのを見てこう語った。『皆さんの中に日本の教会の未来が見えます。偉大な未来です。成し遂げるべきことを考えると、わたしたちはまだ表面をひっかいたとしか言えません。でも、わたしは今ここで、これまで長い間感じてきたことを話したいという気持ちに駆られています。時ならずしてこの偉大な国に、シオンのステーキが幾つも設立されるようになることでしょう。』〔“Addresses,” AV 1801; LDS教会記録保管庫〕1世代のうちに、日本の末日聖徒は10万人に達し、たくさんのステーキや伝道部、地方部が組織され、神殿も建てられるまでになった。



8. ヒンクレー大管長はフィリピンの教会の発展にも強い関心を持っている。最初のステーキがマニラに組織されたのは1973年のことである。それから20年後、大管長に召されたときにはフィリピンの教会員数は30万を超え、教会員は神殿をはじめとする数々の祝福を受けるようになっていた。ヒンクレー大管長は韓国や中国、東南アジアなど、アジア各地の教会の発展に非常に大きな関心を寄せてきた。

9. アジアの教会員に霊性の高い人が多いことは、ある中央幹部の体験によく表れている。その幹部は、フィリピンのあるステーキ会でステーキ会長を召す割り当てを受けていた。何人もの神権指導者と面接をした後、20代半ばの兄弟をステーキ会長に召すよう靈感を受けた。その若い兄弟に召しのことを伝え、隣の部屋で副会長を選ぶよう頼んだ。その若い兄弟は30秒ほどで戻って来てしまったので、幹部の兄弟は自分の意思が伝わらなかったのかと思ったが、そうではなかった。その兄弟はこう答えたのである。『いいえ、わたしは主の御霊を通して、自分がステーキ会長に召されることを1か月前から知っていました。副会長はもう選んであります。』

10. 世界各地で教会の確立に力を尽くしてきたヒンクレー大管長は、在任中に次の発表を行うのに、まさに適任であった。『教会の統計を担当している人々の話によると、現在の勢いでいけば、今からほんの数か月後の来年の2月には、合衆国外の教会員の数が、合衆国内の教会員の数を超えることとなります。この教会員数の逆転にはすばらしい意味があります。この業を世界中に広めるための計り知れない努力が実を結んだということなのです。』〔「この道を歩み続け、信仰を保つ」『聖徒の道』1996年1月号, 76参照)……

11. ある中央幹部は、ヒンクレー大管長を助けるために聖徒たち一人一人にできる最良の方法は何かという問題について、こう語っている。『預言者、聖見者、啓示者、管理大祭司、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長という神聖な職に召され、これを引き受けた大管長を支持するためにできる最善の事柄は、「続け、励め、進め」という呼びかけにこたえることなのです。』〔ジェフ

リー・R・ホランド「ゴードン・B・ヒンクレー大管長 信念と勇気の人」『聖徒の道』1995年6月号付録, 22 - 23参照) (『わたしたちの受け継ぎ』123 - 125参照)

## 読み物を理解する



### ゴードン・B・ヒンクレー大管長の生涯

前任者たち(段落1) かつて責任を受けた人たち	かつて	根っからの(段落5) 底抜けの楽観主義(段落5) 前向きな姿勢	
忍耐(段落1) 堪え忍ぶこと			
衰弱した(段落2) 弱くなった	弱くなっ	隣の(段落9) 隣接する	

## ゴードン・B・ヒンクレー大管長の教えと証

12. 「将来について質問を受けたとき、ヒンクレー大管長はこのように語った。『わたしは教会の若人に目を向けています。あらゆる所で大勢の若人に会っています。若人の生活、強さ、善良さ、忠実さに大きな関心があります。若人を見ていると、この教会の将来にまったく不安を感じません。若人は聖文を研究し、セミナーやインスティテュートに通っています。祈りをもって決断を下しています。同じ信仰を持つ友達に囲まれて、忠実に生きようというすばらしい<sup>ふんいき</sup>雰囲気があります。力強く、忠実で、有能な末日聖徒になろうと努力しており、召しを受けるならば、主から求められているとおりの働きをすることでしょう。』」(“We Must Look After the Individual,” *Church News*, 2000年3月4日付, 13)



13. 「教会員の生き方は、末日聖徒の信仰を雄弁に物語るものでなければなりません。……

14. ……救い主は今も生きておられます。ですから、わたしたちは、主の死の象徴〔キリストがはりつけになっている十字架の像〕を信仰のしるしとして用いませぬ。では、信仰のしるしとしてわたしたちには何があるのでしょうか。いかなるしるし、芸術、形も、生けるキリストの栄光とすばらしさを表現するには適切とは言えませぬ。主御自身は、何を象徴とすべきかについて、次のようにおっしゃっています。『もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。』(ヨハネ14:15)

15. 主に従う者であるわたしたちが下品で、卑しく、見苦しい行いをするなら、主のイメージを汚してしまうことになります。逆に、キリストの御名を受けているわたしたちが、よい行い、憐れみ深く惜しみない愛の行いをするなら、キリストのイメージを

さらに輝かすことができます。

16. わたしたちの生き方は、生けるキリスト、生ける神の永遠の御子への証を、雄弁に物語るものでなければなりません。」(「輝く望み」『聖徒の道』1995年4月号, 4, 7参照)

17. 「だれでも、この世で優れた働きをするために、大きな力を天父から授かっています。社会の一員としてよく奉仕できるように、皆さんの頭脳を鍛え、技能を磨いてください。親切にする方法、思いやりを示す方法、人を助ける方法を身に付けてください。皆さんが受け継いでいる神聖な特質の一部である、憐れみの心を養ってください。……

18. 自分には何のとりえもないと思ってはいけません。生まれつきの才能もないし、あったとしてもそれを発揮する機会がないなどと考えてはいけません。持てる才能が何であれ、それを伸ばすように努力してください。才能が伸び、磨かれてくると、自分の真価が発揮できるようになります。人々から高く評価されるようになるのです。」(「内なる光」『聖徒の道』1995年7月号, 107 - 108参照)

19. 「皆さんに申し上げたいのは、家を整える時期が来ているということです。

20. 教会員の中には、経済的にぎりぎりの生活をしている人が多くいます。中には借金で生活している人もいます。……

21. わたしたちは教会全体に向けて自立を呼びかけています。家族に大きな負債があつては、自立はできません。人に負い目があつては、自立も自由もありません。」(「若い兄弟たちに、そして成人の兄弟たちに」『リアホナ』1999年1月号, 61 - 62参照)



22. 「当教会の会員になるのは、たやすいことではありません。それはたいていの場合、古い習慣を捨て去り、昔からの友人や知人と別れ、これまでと違う、少々厳しい新しい社会に足を踏み入れることを意味するからです。

23. 改宗者がますます増加している今、改宗者が自分の力で歩めるよう助けることに、わたしたちはこれまで以上に力を注がなければなりません。改宗者がだれしも必要とするものが3つあります。友人と責任と『神の善い言葉』(モロナイ6:4)による養いです。この3つを提供することはわたしたちの務めであり、すばらしい機会でもあります。……

24. 現在わたしたちは、これまでになく規模のチャレンジに直面しています。これほどの改宗者数の増加は、前例がありません。……すべての改宗者が神の息子、娘であり、わたしたちは一人一人の改宗者に対して重大な責任を負っています。」(「改宗者と若い男性について」『聖徒の道』1997年7月号, 56 - 58参照)

25. 「〔神は創造された地球〕を見渡してよしとされました。それから神の姿形にかたどって男をお造りになり、最後の創造物として、栄光ある業の仕上げに女を造られたのです。神がすべての仕事を終えて休まれる前に、最後の仕事すなわち神の傑作としてエバをお造りになったのです。」(「神の娘」『聖徒の道』1992年1月号, 110 - 111参照)



26. 「ジョセフ・スミスが神の預言者であったという知識を下さったことを、主に感謝しています。以前、執事に聖任されて間もない12歳のときの経験を話したことがあります。あるとき、父と一緒にステーキの神権会に行きました。父はステーキ会長会の一員として壇上に座り、わたしは礼拝堂の後ろの席に座りました。大勢の男性が起立して『たたえよ、主の召したまいし』（『賛美歌』16番）を歌いました。

27. 神権者たちがこの賛美歌を力強く確信をもって歌うのを聞きながら、わたしの心の内に少年ジョセフが確かに神から召されたという証が生まれました。それから70年以上にわたってその証を持ち続けられるよう、主がわたしを助けてくださったことに感謝しています。」「（「わたしの証」『聖徒の道』1994年1月号, 60）

28. 「今朝、とりわけ感謝していることがあります。それはイエス・キリスト、全能なる神の御子、平和の君、聖なる御方に対して生きた証があることです。……

29. ……わたしは、キリストの御心を行い、キリストの御言葉を教える使徒に任じられました。世の人々に対してキリストを証する者となりました。……皆さんとわたしの声を聞いておられるすべての人にその信仰の証を繰り返して申し上げます。

30. イエスはわたしの友です。イエスはだれよりも多くのものを与えてくださいました。……

31. イエスはわたしの模範です。……

32. イエスはわたしの教師です。……

33. イエスはわたしを癒してくださる御方です。……

34. イエスはわたしの指導者です。……

35. イエスはわたしの救い主であり、わたしの贖い主です。イエスは痛みと筆舌に尽くし難い苦しみの中で自らの命を差し出されました。そうすることによって、わたしと皆さん一人一人と、神のすべての息子と娘を、死後の永遠の闇の深みから引き上げてくださいました。……

36. イエスはわたしの神、わたしの王です。……主の栄光に闇が訪れることはないのです。……

37. ……イエスは……神の小羊です。わたしが頭を垂れるのは、この神の小羊イエスです。そして、わたしが天の御父に近づくのは、この御方を通してなのです。」「（「わたしの証」『リアホナ』2000年7月号, 83, 85参照）



## 読み物を理解する

ゴードン・B・ヒンクレー大管長の教えと証

身につける、伸ばす（段落17、深み（段落35） 穴  
18） 訓練する

とりわけ（段落28） 中でも  
特に

## 読み物を研究する

「ゴードン・B・ヒンクレー大管長」を読みながら、以下の活動AとBを行ってください。さらに、活動CまたはDを行ってください。

### A ヒンクレー大管長について詳しく知る

ゴードン・B・ヒンクレー大管長の生涯と管理した時期について学んだことを基にして、次の質問に答えてください。

1. ヒンクレー大管長が専任宣教師として伝道したのはどこですか。
2. 伝道中、ヒンクレー大管長は主とある聖約を交わしました。そのきっかけとなった聖文はどれですか。
3. ヒンクレー大管長は教会の職員として、また中央幹部として、多くの大管長と知り合いました。何人の大管長とともに働きましたか。
4. ヒンクレー大管長は副管長を何年間務めましたか。
5. 預言者を支持する最善の方法について、ホランド長老は何と述べていますか。

### B 楽観的になる

1. 自分の国や世界の情勢を見て人々が不安になるのはなぜだと思いますか。理由を3つ考えてください。
2. ヒンクレー大管長は自分が楽観的だと言いました。楽観的な人物とはどのような人かを簡単に説明してください。段落5を読んで、ヒンクレー大管長が楽観的なのはどんなことから分かるか説明してください。
3. 段落6 - 11を読んで、教会員が楽観的でなければならない理由を3つ挙げてください。
4. あなたは自分を楽観的だと思いますか。楽観的だとすれば、それはなぜですか。楽観的でないとすれば、それはなぜですか。

### C 標題を付ける

「ゴードン・B・ヒンクレー大管長の教えと証」の8つの引用文にそれぞれ標題を付けてください（段落12, 13 - 16, 17 - 18, 19 - 21, 22 - 24, 25, 26 - 27, 28 - 37）。標題には、ヒンクレー大管長が述べた言葉の中から、その話のおもなテーマを表すものを選んでください。例えば、段落13 - 16の標題は「わたしたちの信仰の象徴」とすることもできます。

### D より良い人になる

ヒンクレー大管長は教会員に、より良い人になるようしばしばチャレンジしてきました。段落12 - 37から、聖徒たちが努力すべきことを10項目挙げてください。その中から、この1週間、努力しようと思うことを一つ選んでください。大管長の勧告に従うために実行しようと思うことを簡単に説明してください。

## 家族 世界への宣言

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、1995年9月に開かれた扶助協会の中央集会で「家族 世界への宣言」を読み上げましたが、その前置きとして、次のように語りました。「皆さんに警告したいことがあります。現在起こっていることと、これから起こることの両方に対する警告です。今の世の中には、真理という仮面をかぶったこじつけがあふれており、偽りの倫理基準や価値観が並びこり、あまりにも多くの誘惑が、人々をじわじわと世の汚れに染めているからです。このことを踏まえて、わたしたち大管長会と十二使徒評議会は、教会員ならびに一般の方々に向けて一つの宣言を発表いたします。これは、わたしたちの教会の預言者、聖見者、啓示者が歴史を通じて繰り返し述べてきた、家族にかかわる標準と教義とその実践についての宣言を再確認するものです。」（『世の策略に対抗して立つ』『聖徒の道』1996年1月号、113参照）

家族

### 世界への宣言

末日聖徒イエス・キリスト教会  
大管長会ならびに十二使徒評議会

わたしたち、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長会と十二使徒評議会は、男女の間の結婚は神によって定められたものであり、家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものであることを、厳粛に宣言します。

すべての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます。そして性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。

前世で、霊の息子、娘たちは神を知っていて、永遠の御父として神を礼拝し、神の計画を受け入れました。その計画によって、神の子供たちは肉体を得ることができ、また、完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受け継ぐ者としての神聖な行く末を実現するために、地上での経験を得られるようになったのです。神の幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました。聖なる神殿において得られる神聖な儀式と聖約は、わたしたちが個人として神のみもとに帰り、また家族として永遠に一つとなることを可能にするのです。

神がアダムとエバに授けられた最初の戒めは、彼らが夫婦として親になる能力を持つことに関連したものでした。わたしたちは宣言します。すなわち、増えよ、地に満ちよ、という神の子供たちに対する神の戒めは今なお有効です。またわたしたちは宣言します。法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。

わたしたちは宣言します。この世に命をもたらす手段は、神によって定められたものです。わたしたちは断言します。命は神聖であり、神の永遠の計画の中で重要なものです。

夫婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しては愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。『子供たちは神から賜った嗣業であり』（詩篇127：3）とあります。両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。

家族は神によって定められたものです。男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとり確立され、維持されます。神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養育するという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。心身の障害や死別、そのほか様々な状況で、個々に修正を加えなければならないことがあるかもしれません。また、必要に応じて、親族が援助しなければなりません。

わたしたちは警告します。貞節の律法を犯す人々、伴侶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことによります。

わたしたちは、全地の責任ある市民と政府の行政官の方々に、社会の基本単位である家族を維持し、強めるために、これらの定められた事項を押し進めてくださるよう呼びかけるものであります。

この宣言は、1995年9月23日、ユタ州ソルトレイク・シティーで開催された中央扶助協会の集会で、ゴードン・B・ヒンクレー大管長会と十二使徒評議会により、ナタセージンの一室において読まれたものである。

## 家族 世界への宣言

1. 「わたしたち、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長会と十二使徒評議会は、男女の間の結婚は神によって定められたものであり、家族は神の子供たちの永遠の行く末に対する創造主の計画の中心を成すものであることを、厳粛に宣言します。

2. すべての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親に愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます。そして性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性なのです。

3. 前世で、霊の息子、娘たちは神を知っていて、永遠の御父として神を礼拝し、神の計画を受け入れました。その計画によって、神の子供たちは肉体を得ることができ、また、完成に向かって進歩して、最終的に永遠の命を受け継ぐ者としての神聖な行く末を実現するために、地上での経験を得られるようになったのです。神の幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました。聖なる神殿において得られる神聖な儀式と聖約は、わたしたちが個人として神のみもとに帰り、また家族として永遠に一つとなることを可能にするのです。

4. 神がアダムとエバに授けられた最初の戒めは、彼らが夫婦として親になる能力を持つことに関連したものでした。わたしたちは宣言します。すなわち、増えよ、地に満ちよ、という神の子供たちに対する神の戒めは今なお有効です。またわたしたちは宣言します。法律に基づいて結婚した夫婦である男女の間においてのみ用いるべきです。

5. わたしたちは宣言します。この世に命をもたらす手段は、神によって定められたものです。わたしたちは断言します。命は神聖であり、神の永遠の計画の中で重要なものです。



6. 夫婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。『子供たちは神から賜った嗣業であり』（詩篇127：3）とあります。両親には、愛と義をもって子供たちを育て、物質的にも霊的にも必要なものを与え、また互いに愛し合い仕え合い、神の戒めを守り、どこにいても法律を守る市民となるように教えるという神聖な義務があります。夫と妻、すなわち父親と母親は、これらの責務の遂行について、将来神の御前で報告することになります。

7. 家族は神によって定められたものです。男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。家庭生活における幸福は、主イエス・キリストの教えに基づいた生活を送るときに達成されるに違いありません。実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとり確立され、維持されます。神の計画により、父親は愛と義をもって自分の家族を管理しなければなりません。また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養育するという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。心身の障害や死別、そのほか様々な状況で、個々に修正を加えなければならないことがあるかもしれません。また、必要に応じて、親族が援助しなければなりません。



また、生活必需品を提供し、家族を守るという責任を負っています。また母親には、子供を養育するという主要な責任があります。これらの神聖な責任において、父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。心身の障害や死別、そのほか様々な状況で、個々に修正を加えなければなら

らないことがあるかもしれません。また、必要なときに、親族が援助しなければなりません。

8. わたしたちは警告します。貞節<sup>ていせつ</sup>の律法を犯す人々、伴侶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしょう。

9. わたしたちは、全地の責任ある市民と政府の行政官の方々に、社会の基本単位である家族を維持し、強めるために、これらの定められた事柄を推し進めてくださるよう呼びかけるものであります。」「世の策略に対抗して立つ」『聖徒の道』1996年1月号、113 - 114)

## 読み物を理解する



家族 世界への宣言

厳肅に（段落1） 敬虔な気持ちで	真剣に、	生殖（段落4） る能力	子供をもうけ
受け継ぐ者（段落3） る者、または受け取る者	相続す	神聖（段落5） 遂行（段落6）	聖なること 成し遂げること
増える、地に満る（段落4） 供を産む、地球を満たす	子	修正（段落7） 応じて変更すること	特定の状況に

## 読み物を研究する



「家族 世界への宣言」を読みながら、以下の活動（A - C）のうち二つを行ってください。

### A 段落を暗記する

宣言の9つの段落から1つを選んで、それを暗記してください。そのための方法としては、必要に応じて原文を見ながら3回紙に書くとよいでしょう。それから原文を見ないで紙に書き、家の人に見てもらいます。あるいは、何回か声に出して言う方法もあります。このとき必要に応じて原文を見ます。それから、家族のだれかの前で暗唱します。

### B 組み合わせ問題

ノートに1 - 9までの番号をつけた欄を作ってください。以下のa - tの事柄は、「家族 世界への宣言」のどの段落に書いてありますか。答えをノートの当てはまる欄にアルファベットで記入してください。一つの段落に二つ以上の事柄が当てはまる場合もあります。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| a. 墮胎          | k. 神の裁き         |
| b. 家庭の夕べ       | l. 死者のための神殿の業   |
| c. 子供のしつけ      | m. 神から与えられた性的感情 |
| d. 親戚          | n. 安楽死          |
| e. 父親の務め       | o. 産児制限         |
| f. 同性間の結婚      | p. 救いの計画        |
| g. 神殿結婚        | q. 自殺           |
| h. 結婚における男女の役割 | r. 国の法律         |
| i. 家族として決定を下す  | s. 子供の虐待        |
| j. 姦淫          | t. 離婚           |

## C 堅固な結婚生活を築くためのアイデアを書き出す

1. 家族に関する宣言の段落7から、結婚生活や家庭生活を実りあるものにするために大切だと思うことを10書き出してください。
2. 1で挙げた10の項目についてそれぞれあなたが現在行っていること、今後行いたいと思うことを簡単に書いてください。例。祈り わたしは個人で祈ります。そして、家族と一緒に祈ります。



十二使徒定員会会員であり、著名な心臓外科医でもあるラッセル・M・ネルソン長老は次のように記しています。

「わたしは長い間、人の心臓に関心を抱いてきましたが、予期しない転換期を迎えました。それは、病院の手術室を出て神殿の階上の部屋に入るように召しを受けた1984年4月のことでした。その部屋で、わたしは主イエス・キリストの聖任された使徒となったのです。わたしはこのような召しを求めていたわけではありませんでした。しかし、主を代表する者として信任に足るよう、またこの職に付随する特権にふさわしくなるよう、へりくだって努めてきました。そして、かつて外科医として心臓に治療を施していたように、今は霊的な心の治療に貢献したいと願っています。

召され支持され聖任を受けた者として、すなわち主の15人の特別な証人の一人として、わたしは、モルモン書に記されている次のきわめて重要な主題に従っています。『わたしたちはキリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを説教し、キリストのことを預言し〔ます。〕』（2ニーファイ25：26）」「わたしたちの主 キリストなるイエス」『リアホナ』2000年4月号、4参照）



## 生けるキリスト 使徒たちの証

2000年1月1日付けの以下の証には、大管長会と十二使徒定員会会員による署名が記されています。

1. 「2,000年前のイエス・キリストの降誕を祝うに当たり、わたしたちはイエス・キリストのたくいまれな生涯が現実のものであり、この御方の偉大な贖いの犠牲が無数の力を有することを証します。これまでに地上に生を受けた人々およびこれから生を受けるすべての人々に対して、この御方以上に深遠な影響を及ぼしてきた人物は存在しません。

2. イエス・キリストは旧約の大いなるエホバであり、新約のメシヤでした。御父の指示の下に、イエス・キリストは地球を創造されました。『すべてのものは、これによってできた。できたものうち、一つとしてこれによらないものはなかった』のです(ヨハネ1:3)。イエス・キリストは罪がなかったにもかかわらず、すべての義を成就するためにバプテスマをお受けになりました。イエス・キリストは『よい働きをしながら……巡回』されました(使徒10:38)、そのためにさげすまれました。イエス・キリストの福音は平和と善意のメッセージでした。イエス・キリストはすべての人々に、御自身が示す模範に従うよう熱心に勧められました。イエス・キリストは病人を癒し、目の不自由な人々の目を見えるようにし、死人をよみがえらせながら、パレスチナの道を歩きました。また、永遠の真理と、前世が実際に存在すること、この世での人生の目的、および神の息子や娘が持つ来世における可能性についてお教えになりました。

3. イエス・キリストは、御自分の偉大な贖いの犠牲を思い起こすためのものとして、聖餐をお定めになりました。イエス・キリストは捕らえられ、偽りの訴えによってとがめられ、暴徒の意に依じて有罪とされ、カルバリの十字架上で死刑を宣告されました。そして、全人類の罪を贖うために命をささげられました。イエス・キリスト御自身が、地上に生を受けるすべての人々のために偉大な身代わりの贈り物となられたのです。

4. わたしたちは、全人類の歴史の中心であるイエス・キリストの生涯が、ベツレヘムで始まったのもなければカルバリで終わったのもないことを厳かに証します。イエス・キリストは御父の長子、肉における独り子、世の救い主でした。

5. イエス・キリストは『眠っている者の初穂として』墓からよみがえられました(1コリント15:20)。そして復活された主として、地上での生涯において愛した人々のもとをお訪ねになりました。また、古代アメリカの『他の羊』の間でもお教えになりました(ヨハネ10:16)。現代においては、御父とともに少年ジョセフ・スミスに御姿を現されました。こうして、長い間約束されてきた『時の満ちる』神権時代が到来したのです(エペソ1:10)。

6. 生けるキリストについて、預言者ジョセフはこのように記しています。『その目は燃える炎のようであり、その髪は清らかな雪のように白く、その顔は太陽の輝きに勝って光り輝いていた。また、その声、すなわちエホバの声は大水の奔流のどろきのように、このように言われた。

7. 「わたしは最初であり、最後である。わたしは生きている者であり、殺された者である。わたしは父に対するあなたがたの弁護者である。』(教義と聖約110:3-4)

8. イエス・キリストについて、預言者ジョセフはまた次のように宣言しています。『そして今、子羊についてなされた多くの証の後、わたしたちが最後に子羊についてなす証はこれである。すなわち、「子羊は生きておられる。」

9. わたしたちはまことに神の右に子羊を見たからである。また、わたしたちは証する声を聞いた。すなわち、「彼は御父の独り子であり、

10. 彼によって、彼を通じて、彼から、もろもろの世界が現在創造され、また過去に創造された。そして、それらに住む者は神のもとに生まれた息子や娘となる」と。(教義と聖約76:22-24)

11. わたしたちは、イエス・キリストの神権とイエス・キリストの教会が地上に回復されたこと、そしてその教会は『使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられ……キリスト・イエス御自身が隅のかしら石である』ことを厳粛に宣言します(エペソ2:20)。

12. わたしたちは、イエス・キリストがいつの日か地上に戻って来られることを証します。『こうして主の栄光があらわれ、人は皆ともにこれを見る』のです(イザヤ40:5)。イエス・キリストは王の王として治め、主の主として統治されます。イエス・キリストの前にすべてのひざがかがみ、すべての舌がイエス・キリストを賛美することでしょう。わたしたち一人一人は将来、自分の行いと心の望みについて裁きを受けるためにイエス・キリストの前に立つこととなります。



13. わたしたちは正式に聖任を受けたイエス・キリストの使徒として証します。イエスは生けるキリスト、不死不滅の状態にある神の御子です。イエス・キリストは今日、大いなる王、インマヌエルとして御父の右に立っておられます。イエス・キリストは世の光、命、そして希望です。イエス・キリストの道は、この世においては幸福に、後の世においては永遠の命に至る道です。わたしたちは御子という比類ない贈り物を授けてくださった神に感謝しています。」「(生けるキリスト 使徒たちの証」『リアホナ』2000年4月号、2-3)

## 生けるキリスト

使徒たちの証

末日聖徒イエス・キリスト教会

2000年前のイエス・キリストの降誕を祝うに当たり、わたしたちはイエス・キリストのたくいまれな生涯が現実のものであり、この御方の偉大な贖いの犠牲が無数の力を有することを証します。これまでに地上に生を受けた人々およびこれから生を受けるすべての人々に対して、この御方以上に深遠な影響を及ぼしてきた人物は存在しません。……巡回」

イエス・キリストは旧約の大いなるエホバであり、新約のメシヤでした。御父の指示の下に、イエス・キリストは地球を創造されました。『すべてのものは、これによってできた。できたものうち、一つとしてこれによらないものはなかった』のです(ヨハネ1:3)。イエス・キリストは罪がなかったにもかかわらず、すべての義を成就するためにバプテスマをお受けになりました。イエス・キリストは『よい働きをしながら……巡回』されました(使徒10:38)、そのためにさげすまれました。イエス・キリストの福音は平和と善意のメッセージでした。イエス・キリストはすべての人々に、御自身が示す模範に従うよう熱心に勧められました。イエス・キリストは病人を癒し、目の不自由な人々の目を見えるようにし、死人をよみがえらせながら、パレスチナの道を歩きました。また、永遠の真理と、前世が実際に存在すること、この世での人生の目的、および神の息子や娘が持つ来世における可能性についてお教えになりました。

イエス・キリストは、御自分の偉大な贖いの犠牲を思い起こすためのものとして、聖餐をお定めになりました。イエス・キリストは捕らえられ、偽りの訴えによってとがめられ、暴徒の意に依じて有罪とされ、カルバリの十字架上で死刑を宣告されました。そして、全人類の罪を贖うために命をささげられました。イエス・キリスト御自身が、地上に生を受けるすべての人々のために偉大な身代わりの贈り物となられたのです。

わたしたちは、全人類の歴史の中心であるイエス・キリストの生涯が、ベツレヘムで始まったのもなければカルバリで終わったのもないことを厳かに証します。イエス・キリストは御父の長子、肉における独り子、世の救い主でした。

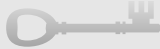
わたしたちは、眠っている者の初穂として、墓からよみがえられました(1コリント15:20)。そして復活された主として、地上での生涯において愛した人々のもとをお訪ねになりました。また、古代アメリカの『他の羊』の間でもお教えになりました(ヨハネ10:16)。現代においては、御父とともに少年ジョセフ・スミスに御姿を現されました。こうして、長い間約束されてきた『時の満ちる』神権時代が到来したのです(エペソ1:10)。

わたしたちは、生けるキリスト、不死不滅の状態にある神の御子です。イエス・キリストは今日、大いなる王、インマヌエルとして御父の右に立っておられます。イエス・キリストは世の光、命、そして希望です。イエス・キリストの道は、この世においては幸福に、後の世においては永遠の命に至る道です。わたしたちは御子という比類ない贈り物を授けてくださった神に感謝しています。」「(生けるキリスト 使徒たちの証」『リアホナ』2000年4月号、2-3)

大管長会  
十二使徒員会  
2000年1月1日



## 読み物を理解する



### 生けるキリスト 使徒たちの証<sup>あかし</sup>

深遠な(段落1)	深い	眠っている者の初穂(段落5)	
さげすまれ(段落2)	嫌われ	最初に復活する者	
熱心に勤め(段落2)	強く勤める	到来した(段落5)	始まる,
定め(段落3)	確立する, 始める	顔(段落6)	よぼう 容貌
身代わりの贈り物(段落3)		あなたがたの弁護者(段落7)	
わたしたちが苦しみを受けることのないように, イエス・キリストが苦難を受けて支払われた代価		あなたがたに代わって話す者	
厳かに(段落4)	真剣に, そして誠実に	生まれた(段落10)	霊的に 再び生まれる
		正式に(段落13)	ふさわしく, 公式に

### 段落4, 9 「独り子」

十二使徒定員会会員であるジョセフ・B・ワースリン長老は次のように教えました。「イエスをこの世に生んだ両親は、永遠の御父であられる神(1ニーファイ11:21参照)と、ニーファイが天からの示現で……見たマリヤでした。イエスは神の独り子であり、神と人間を両親に持つ人は、後にも先にもイエスだけです。イエスは、母親から受け継いだ肉体の特性により、『死ぬ力、すなわち死んで……肉体と霊を分離する力』(ブルース・R・マッコンキー、*The Promised Messiah*, 471)を持っていらっしゃいました。また御父から受け継いだ神としての特性により、『不滅の力、すなわち永遠に生きる力、あるいは死を選んだ後に……不滅の状態で見がえる力』(*Promised Messiah*, 471)を持っておられました。」「(「主なる救い主」『聖徒の道』1994年1月号, 6参照)

### 段落5 「時満ちる神権時代」とは何か。

「ジョセフ・フィールディング・スミス大管長の教えと証<sup>あかし</sup>」の段落13の「読み物を理解する」を参照(211ページ)。

## 読み物を研究する



「生けるキリスト 使徒たちの証<sup>あかし</sup>」を読みながら、以下の活動(A-C)のうち二つを行ってください。

### A 名前と称号

- 「生けるキリスト 使徒たちの証<sup>あかし</sup>」の中で使徒たちが使った、イエス・キリストを表す名前または称号を少なくとも10挙げてください。
- それぞれの名前と称号の横に、それぞれが救い主のどんな側面について表しているかを簡単に説明してください。
- 一つの称号を選び、それがあなたにとって大切な称号なのはなぜか説明してください。

### B 使徒の使命は何か

- 教義と聖約107:23を読んで、以下の文を完成させ、ノートに

書いてください。「使徒は……です。」

- 「生けるキリスト」の段落1, 4, 11-13を読んでください。これらの段落にある幾つかの言葉は、使徒たちが教義と聖約107:23に書かれている責任を果たしていることを示しています。その言葉を書き出してください。

### C 生けるキリスト

- キリストが生きておられることについて、あなた自身の証<sup>あかし</sup>を書いてください。
- あなたはどのようにしてイエスがキリストとして生きておられることが分かるようになりましたか。短い文章にまとめて書いてください。



1842年、新聞の編集者であったジョン・ウェントワースは、預言者ジョセフ・スミスに末日聖徒イエス・キリスト教会の歴史と信条について質問しました。預言者はウェントワースに手紙を書き、「末日聖徒の起こりと発展、迫害、信仰について」説明しました。(History of the Church, 第4巻, 535) また、教会の教義と信条の一部について13の短い文章をその手紙に含めました。これらの文章は信仰箇条として知られるようになり、1880年10月の総大会において聖文として受け入れられました。(高価な真珠の「序文」参照)

十二使徒定員会会員であるL・トム・ベリー長老は信仰箇条についてこのように語っています。

「それは、わたしたちの宗教の原則に関する声明を簡潔な言葉で率直に記したものであり、預言者ジョセフ・スミスが確かに神の靈感を受けていたことを示す強力な証拠なのです。

わたしは皆さんに、信仰箇条とそこにある教義を研究するようにお勧めします。……信仰箇条を救い主の教義の研究においてガイドとして用いるならば、主の真の教会が回復されたことについていつでも証<sup>あかし</sup>できるようになるでしょう。確信をもって『わたしたちはこれらのことを信じています』と宣言することができるようになるのです。」「(「信仰箇条」『聖徒の道』1998年7月号, 27参照)

## 聖文を理解する



### 信仰箇条

背き(2条)	戒めを破ること	良心(11条)	善と悪を判断する感覚
執行する(5条)	執行行う	長官(12条)	判事, 裁判官
預言(5条)	啓示	純潔(13条)	性的に清いこと
初期の教会(6条)	新約時代に組織された教会	慈善(13条)	親切と慈愛
文字どおり(10条)	実際の	勧告(13条)	忠告, 助言
楽園の栄光(10条)	エデンの園のような状態, パラダイス		

### 信仰箇条1:1 神会

十二使徒定員会会員であるダリン・H・オクス長老はこのように述べました。「ほかのクリスチャンの方々と同じように、神会を構成する御父と御子と聖霊をわたしたち末日聖徒も信じています。しかしわたしたちは、神会の御三方はそれぞれに独立した別個の御方であると証します。また、父なる神は霊だけではなく、復活された御子イエス・キリストと同じように、触れることのできる体を持つ、栄光に満ちた御方です。」(『背教と回復』『聖徒の道』1995年7月号, 90参照。教義と聖約130:22も参照)

### 信仰箇条1:2 アダムとエバの墮落

ジェームズ・E・ファウスト副管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、このように教えました。

「アダムとエバは自分たちの選びによって律法に背いたために、罪のない状態にとどまることができなくなり(2ニーファイ2:23-25参照)、神の御前から追放されてしまいました。これは、キリスト教徒の間では、墮落あるいはアダムの背きと呼ばれています。これは霊の死です。なぜなら、アダムとエバは神の御前から退けられたからです。……

このアダムとエバと同様に彼らの子孫も皆、神の御前から追放されました(2ニーファイ2:22-26参照)。しかしながら、アダムとエバの子孫であるわたしたちは、アダムとエバが犯した最初の罪〔禁じられた木の実を取って食べること〕とはかかわりがなかったのですから、先祖が犯した背きに対して子孫が永遠の苦しみを受けるのは正しいことではありません。この不公平は正さなければなりません。そのため、救い主、贖い主であるイエスの贖いの犠牲が必要なのです。」(『神の賜物 贖罪』『聖徒の道』1989年2月号, 13参照。申命24:16も参照)

### 信仰箇条1:3 イエス・キリストの贖罪

ダリン・H・オクス長老はこのように教えました。

「救い主はわたしたちをアダムの罪から贖ってくださいました。では、わたしたち自身の罪についてはどうなるのでしょうか。『すべての人は罪を犯した』(ローマ3:23)ので、わたしたちはすべて霊的に死んでいる状態にあります。やはりここでも、わたしたちは救い主を通してでしか、命を得ることができません。預言者リーハイはこう教えています。『メシヤは律法の目的を達するため、……罪に対する犠牲として御自身をささげられる。』(2ニーファイ2:7)

救い主は、御自身の命をささげることによって人が霊の死を克服できるよう道を開いてくださいました。わたしたちが救い主か

らその祝福を得るためには、救い主が定められた条件に従う必要があります。……

救い主が与えられたその条件について、信仰箇条の第3条〔は〕……書かれています。』(『世の光にしてまた世の生命』『聖徒の道』1988年1月号, 69-70参照。教義と聖約19:16-19も参照)

### 信仰箇条1:4 「福音の第一の原則と儀式」

ハワード・W・ハンター大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、このように教えました。

「これら4つ〔信仰箇条1:4に記されている原則と儀式〕は、福音の原則と儀式全体から見れば、ほんの入り口にすぎません。救い主がニーファイ人に教えられたところによれば、わたしたちはまずこれらの4つを行った後、残りの生涯をかけて主の律法と戒めを守らなければならないことが分かります。これがその主の言葉です。『……そして、最後まで堪え忍ぶならば、見よ、わたしはその者を、わたしが立って世の人々を裁くその日に、わたしの父の御前で罪のない者としよう。』(3ニーファイ27:16)

第一の原則だけでは不十分です。人は、それ以後自分が行ったことに関し、良いことであろうと悪いことであろうと、永遠の裁きの場において説明しなければならないのです。」(Conference Report, 1973年4月, 175。またはEnsign, 1973年7月号, 120。2ニーファイ31:10-15も参照)

### 信仰箇条1:5 わたしたちはどのように神から召されるのか



ゴードン・B・ヒンクレイ大管長はこのように語りました。「〔会員を教会の召しに〕推薦する権限は、常に、上位の役員にあります。しかし、役員が提議した推薦は支持を受ける必要があります。すなわち、教会員により受け入れられ、確認されなければなりません。この手続きは主の教会独自のものです。役職を求めたり、地位に就くため人を欺いたり、自分の長所を吹聴して運動したりする人はいません。主の方法を世の方法と比べてみてください。主の方法は静かで、平安に満ち、大げさな宣伝もなく、費用もかかりません。利己心も虚栄心も野心もありません。主の計画の下では、役員を選ぶ責任のある人が第一に考えるのは次の点です。『主はどの人を求めておられるだろうか。』静かに、そして慎重に、熟慮が重ねられます。そして、その人選が正しいという聖霊からの確認を受けるために、何度も祈りがささげられます。』(『神がかじを取っておられます』『聖徒の道』1994年7月号, 58-59参照。ヘブル5:4も参照)

### 信仰箇条1:6 真の教会の組織

十二使徒定員会会員であるデビッド・B・ヘイト長老はこのよ

うに証あかししました。「末日聖徒イエス・キリスト教会は、回復されたキリストの教会です。この教会は、世界にこう宣言しています。主が昔教会を立てられたときは、預言者や使徒たちがその基になっていました。しかし、その預言者や使徒たちが処刑されたり殺されたりしたために、教会は回復されなければならなかったのです。今日この教会は、イエス・キリストを隅石すみいしとし、預言者や使徒たちを基としています。したがって末日聖徒イエス・キリスト教会は、改革や再組織によってできたものでもなく、単なる分派でもありません。この末日に回復されたイエス・キリストの教会なのです。」(「主に選ばれし予言者」『聖徒の道』1986年7月号、7参照。エペソ4：11 - 14も参照)

#### 信仰簡条1：7 御みたま霊たまものの賜物

ダリン・H・オークス長老はこのように教えました。

「神権の祝福を施す主の僕は、聖霊の導きのままに神権を行使し、祝福を受ける人のために天の力を呼び寄せます。そのような祝福を施す人は、あらゆる霊的な祝福の鍵を握っているメルキゼデク神権を持っていなければなりません。(教義と聖約107：18、67参照)

神権の祝福には様々な種類があります。これからその幾つかを紹介します。ここで覚えておいてほしいのは、神権の祝福はだれでも得ることができますが、求めないかぎりを与えられないということです。……

大切な決定を下すために導きを望んでいる人は、神権の祝福を受けることができます。個人的な問題を解決するために霊的な力を特別に必要としている人も、祝福を受けることができます。妊婦も出産の前に祝福を受けられます。多くの末日聖徒にとって、ふさわしい父親が、結婚前の息子や娘に神権の祝福を受けたことが貴い思い出になっています。また、学校、兵役、長期旅行など、子供たちが何らかの理由で家を離れるとき、父親に神権の祝福を頼むこともよくあります。……

以上のような状況の中で授けられる祝福は、時に『慰めと助言を与える祝福』と呼ばれます。これは普通、父親か夫、または家族の中のそのほかの長老が授けます。この祝福は、それを受けた本人の霊的な導きとして、家族の記録に残し、保存しておくことができます。」(「神権の祝福」『聖徒の道』1987年7月号、39 - 40参照。教義と聖約46：11 - 26も参照)

#### 信仰簡条1：8 聖文から最大の力を得るにはどうすればよいか

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように語りました。「わたしは、聖書と並ぶすばらしい書物 モルモン書に対する自分の証あかしがあることを、全能の神に感謝しています。……この書物の価値を測りたければ、この書物を読むことです。わたしは何度も繰り返し読み、そのすばらしさ、奥の深さ、力強さを味わいました。そのような経験を持つ者の一人として話させていただきます。ごくわずかな時間のうちに、複雑な内容で、かつ全体を通して矛盾がなく、登場人物も多く、壮大な展開の大冊を口述するというようなことが、ニューヨーク州の片田舎であり学校教育も受けず育ったジョセフ・スミスという青年にできることでしょうか。彼は自分の力で言葉や教えを考え出したのでしょうか。それを読んだ世界中の何百万という人々に『これは真実だ』と言わせるほどの心揺さぶる靈感を、自分の力で生み出したのでしょうか。」(「わたしの証」『聖徒の道』1994年1月号、61。エゼキエル37：15 - 17も参照)

#### 信仰簡条1：9 わたしたちは絶えざる啓示を信じる

デビッド・B・ヘイト長老はこのように語りました。

「当教会の特徴の一つは、主から絶えず啓示を受けていると主張していることにあります。……以前の神権時代には、主との特別な関係が存在しました。今日この主の教会は、以前に存在したのと同じ関係をもって導かれています。

この主張には深い意味があります。わたしは今日啓示があることを知っています。なぜならば、わたしもまた、主の業を管理している人ならだれでも経験しているこの神聖な事柄についての証人だからです。

聖霊を通して啓示が与えられる原則は、主の教会の根本的な原則です。神の預言者はこの方法によって啓示を受けます。一人一人の教会員もまた、啓示を受けることにより真理を確かめることができます。」(「主に選ばれし予言者」『聖徒の道』1986年7月号、7。アモス3：7も参照)

#### 信仰簡条1：10 集められたイスラエルを統治するのはキリストである

スペンサー・W・キンボール大管長はこのように教えました。「今や、イスラエルの集合は、真の教会に加わることで、真の神の知識を得ることを意味しています。……したがって、回復された福音を受け入れ、自国の聖徒たちとともに自分の国の言葉で主を礼拝している人はだれでも、イスラエルの集合の律法に従っているものであり、主がこの終わりの時に聖徒に約束しておられるすべての祝福を受け継ぐ者なのです。」(Teachings of Spencer W. Kimball, 439)

ジョージ・アルバート・スミス大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、このように語りました。「もしわたしたちが神を敬い、神の戒めを守るならば、つまり、もし神の律法に従うならば、神はわたしたちの戦いに加わって、悪人を滅ぼし、……そしてわたしたちが住んでいるこの地球は日の栄えの王国となると言われました。」(Conference Report, 1942年10月、49。教義と聖約45：64 - 71も参照)

#### 信仰簡条1：11 信教の自由

十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老はこのように記しました。「わたしたちはあらゆる人に礼拝の自由があることを信じ、支持し、擁護しています。また、これを支援し、提唱しています。そして、自らの選ぶところから従って礼拝する自由を禁じて、礼拝の形態や方法を強制する政府、政治形態、教会、宗派、カルト、あるいは礼拝者の団体は、神のものでないことを大胆に宣言します。」(A New Witness for the Articles of Faith, 657。アルマ21：22も参照)

#### 信仰簡条1：12 国の法律を守る

L・トム・ペリー長老はこのように語りました。「教会員はすべて、自分が住む国の法律に対して服従と敬意の気持ちを示す必要があります。また統治する政府に対して、従順の模範を示す必要があります。教会は世界の国々に奉仕する団体として、物心両面にわたり、聖徒個人の生活に健全な影響力を与えるものでなければなりません。」(「祝祭を意義あるものに」『聖徒の道』1988年1月号、77。教義と聖約134：1、5も参照)

## 信仰箇条1:13 徳高くあるための方法

ゴードン・B・ヒンクレー大管長はこのように勧告しました。



「今の時代、世の中の人々は純潔を軽く見えています。……

清くあってください。あなたの読んでいる本をチェックしてみましょう。ポルノグラフィの類のものは百害あって一利なしです。そうしたものは、皆さんの心の中で自制心を弱めるような思いを作り出すだけです。またあなたから金を取り、

その代わりに意志の力を失わせ下劣な欲望を与えることだけを目的にした映画からは、何も良いものは得られません。」(「若人への4つの提言」『聖徒の道』1982年4月号, 70。ピリビ4:8も参照)

## 聖文を研究する

信仰箇条を読みながら、以下の活動(A-G)のうち5つを行ってください。

### A わたしたちの信条についての質問に答える

教会員でない友達から教会について尋ねられたことはありますか。教会についての質問でこれまで尋ねられたことのあるものや、これから尋ねられるかもしれないものを5つ書き出してください。各質問について、答えるときに信仰箇条の第何条が使えるかを記してください。例えば、「末日聖徒はイエス・キリストを信じているのですか」という質問には、信仰箇条1:1, 3, 4, 6, 8, 10を使って答えることができますでしょう。

### B 信仰箇条を暗記する

L・トム・ベリー長老はこのように語りました。「教会員一人一人が信仰箇条を暗唱し、その一つ一つの条文に込められた原則を理解したら、どれほど大きな祝福がもたらされることでしょう。」(「信仰箇条」『聖徒の道』1998年7月号, 25)

1. 信仰箇条を暗記していると、毎日の生活でどんな助けが得られると思いますか。短い文章にまとめてください。
2. 信仰箇条の中から4つを選んで暗記します。家の人の前で暗唱してください。何も見ずに紙に書いて見せるという方法でもいいとします。

### C 信仰箇条を教える

信仰箇条の中から1つを選んで、その意味についてのミニレッスンを組み立ててください。家族の人などに生徒になってもらいましょう。教える時間は15分です。聖典の中の話や参照聖句の紹介、質問、経験談、絵、実物、あなたの証<sup>あかし</sup>などを取り入れてください。

### D 賛美歌と信仰箇条

賛美歌集が初等協会の歌集を使って、信仰箇条と同じ真理や教義を教えている賛美歌または歌を、各条文につき少なくとも1曲ずつ探してください。自分の聖典の信仰箇条を開き、各条文の横に関連する賛美歌の番号や歌の題名を書き込むとよいでしょう。(必要に応じて、『賛美歌』の「参照聖句索引」と「主題別索引」、

『子供の歌集』の「主題別索引」を利用します。)

### E 救いの計画に関連する事柄

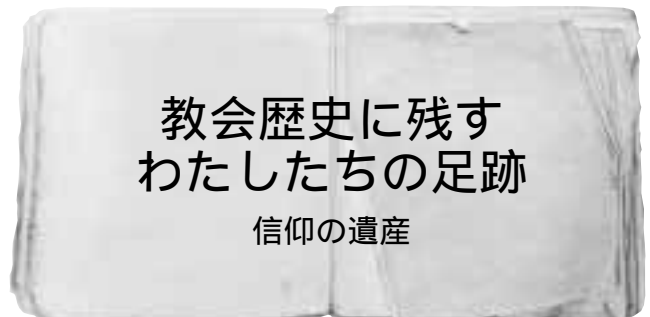
信仰箇条1:1-4を読んでください。そして、救いの計画に関連する事柄を見つけて書き出してください。家族やほかの人々に救いの計画を教えられるように、絵を描くか表を作ります。先ほど見つけた事柄を絵や表に取り入れるようにしてください。

### F ほかの人々はどのようなことを信じているか

信仰箇条1:5-10を読んで、主の教会の特徴を説明している言葉を書き出してください。その一つ一つについて、どう思っているか、教会員でない友達に意見を聞きます。(十分に心配りをして、友達の信じている事柄を尊重してください。事実を知るために尋ねているのであって、信条の違いについて論争するためではありません。)このことから学んだ事柄を短い文章にまとめてください。

### G 末日聖徒の権利と責任

1. ノートに次の場面を書き写してください。
  - a. 制限速度を超えて車を運転する
  - b. 宗教的な衣装を着けている人をからかう
  - c. 宣教師から福音を学ぶように強制する
  - d. 国の指導者の指示に従わない
  - e. 助けを必要としている人を助けようとしていない
  - f. 宗教が違う人とは付き合わない
  - g. あからさまな性的描写の場面のある映画やテレビ番組を見る
  - h. 近所にほかの宗教団体が集会所を建設しようとしているので反対する
  - i. 下品な身振りや言葉を使う
  - j. 自分の教会以外のすべての宗教は邪悪だと思ふ
2. 信仰箇条1:11-13を読んでください。上記のa-jの状況に関連するのは何条ですか。書いてください。それから、どうすればよいかそれぞれの状況について書いてください。
3. 信仰箇条1:11-13に従って生活するためには、どんなことに気をつける必要があるでしょうか。自分が行動するうえで指針となる規則を少なくとも3つ書いてください。「わたしは...をします」または「わたしは.....をしません」という形式で書いてください。



## 教会歴史に残す わたしたちの足跡

信仰の遺産

回復された教会の歴史を研究すると、先<sup>せんく</sup>駆者たちの信仰と心構

えについて多くのことが分かります。預言者ジョセフ・スミスの時代から、多くの教会員は真の末日聖徒として人々に感動を与える模範を示してきました。けれども、地上における神の王国の最も輝かしい時代は、これからわたしたちの前に開かれていくのです。過去の忠実な聖徒たちと同様に、あなたも忠実であり、勤勉で、犠牲を払い、神と預言者に仕えるならば、教会の歴史に自分の足跡を残すことができます。世界の多くの地域では実際のところ、教会の歴史がまだ記されていないのです。

## 教会歴史に残すわたしたちの足跡

1. 「わたしたち一人一人は教会歴史の中で、何らかの役割を果たしている。何世代にもわたって福音の教えを守り、主の道に従って子供を育ててきた家庭に生を受ける人もいれば、福音を初めて耳にしてバプテスマの水をくぐり、神聖な聖約を交わして神の王国を建設する事業の一端を担うようになる人々もいる。自国では教会の歴史がまだ幕を開けたばかりで、子孫に伝えるために信仰の伝統を築き始めた人々も少なくない。置かれている状況はどうあれ、わたしたちはそれぞれ、シオンの建設と救い主の再臨への備えという大義の中で重要な役割を担っているのである。わたしたちは『もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。』（エペソ2：19）



2. 新会員であれ、昔からの会員であれ、わたしたちは先人たちから信仰と犠牲という遺産を受け継いでいる。わたしたちはまた、自分の子孫に対して、また大勢の天父の子供たち、つまりイエス・キリストの福音をまだ耳にしていない人々や受け入れていない人々に対して、現代の開拓者という役割を担ってもある。その方法は様々ではあるが、わたしたちは世界中で、主の業を忠実に推し進める事業に貢献しているのである。

3. 父親と母親は、義の原則に従えるように、導きを祈り求めながら子供たちを訓練している。ホームティーチャーと訪問教師は、問題を抱えた人々に援助の手を差し伸べている。福音のメッ

セージを伝えるために数年間をささげる宣教師を送り出す家族がいる。神権指導者や補助組織指導者は、無私の心で奉仕の召しを果たしている。また、先祖の名前を探究し、神殿で神聖な儀式を執行することに人知れず膨大な時間をささげている会員たちのおかげで、生者と死者の双方に祝福がもたらされている。

4. 預言者ジョセフ・スミスを通して啓示された末日聖徒イエス・キリスト教会の未来は、わたしたち一人一人の肩にかかっているのだ。1842年、彼はこう預言した。

5. 『真理の旗が立てられた。いかなる汚れた者の手も、この御業の発展を止めることはできない。迫害は威を振るい、暴徒は連合し、軍隊が集合し、中傷の風が吹き荒れるかもしれない。しかし神の真理は大胆かつ気高く、悠然と立ち、やがてあらゆる大陸を貫き、あらゆる地方に至り、あらゆる国々に広まり、あらゆる者の耳に達し、ついに神の目的は成し遂げられるであろう。かくして、大いなるエホバは、御業は成ったと告げられることだろう。』（History of the Church, 第4巻, 540）

6. 当時教会の規模がまだ非常に小さかったにもかかわらず、預言者ジョセフ・スミスはこの教会が地上における神の王国であって、将来イエス・キリストの福音の真理で全地を満たすことになると見通していた。わたしたちは近年、教会が驚異的な発展を遂げるのを目にしている。この時代に生を受ける特権にあずかったわたしたちは、信仰を行使し、犠牲を払って神の王国を確立する業に加わることができるのである。このようにしてわたしたちが築き上げた王国は永遠に絶えることがない。』（『わたしたちの受け継ぎ』127 - 128参照）

## 読み物を理解する

### 教会歴史に残すわたしたちの足跡

育てて（段落1）	養育して	吹き荒れる（段落5）	偽りの
遺産（段落2）	伝統	非難を浴びせる	
汚れた（段落5）	聖くない	地方（段落5）	土地
中傷の風（段落5）	偽りと悪意のある言葉		

## 読み物を研究する

「教会歴史に残すわたしたちの足跡」を読みながら、以下の活動のうちAまたはBを行ってください。

### A 神の王国で果たすわたしたちの役割

自分を振り返ってみて、自分が置かれている状況や自分が教会で果たしている役割を考えて、自分のことを言っていると思う言葉を段落1 - 6の中から探して書き出してください。それから以下の質問に答えます。

- あなたの都市や町に、10年前は何人くらい教会員がいたでしょうか。現在は何人いますか。（必要であれば、親か地元の教会指導者に尋ねてください。）
- これから2年後、5年後、10年後に、教会員は何人くらいになるとおもいますか。
- あなたが住む地域で教会が発展するために、あなたにできる

ことを5つ挙げてください。

4. 未来の人々に、どんな人物だったと言われるようになりたいと思いますか。

## B 簡単な歴史を書く

地元の教会歴史を知っている人に、2人以上インタビューして

ください。また、地元の教会歴史に関する写真、歴史資料、新聞、日記、話題になった事柄を探してください。地元の教会歴史を短くまとめてください。地元の教会歴史が分かってくるにつれ、地元<sup>あかし</sup>に神の王国を築こうという気持ちは強くなりましたか。感じたことをノートに書いてください。

# 教義と聖約に登場する人物と用語

エズラ・タフト・ベンソン大管長はこのように語っています。「教義と聖約は真実の書物です。なぜなら、その執筆者はイエス・キリストであり、主のメッセージは万人に向けられたものだからです。」(Teachings of Ezra Taft Benson, 46)

教義と聖約には、主がこの時代に与えられた啓示が載せてあり、末日聖徒イエス・キリスト教会の歴史に登場する人名、地名、出来事が数多く出てきます。教義と聖約の研究を始める前に、以下に書かれていることに目を通してください。啓示が与えられた背景にある歴史や出来事を理解するのに役立ちます。

## 教義と聖約に登場する人々

以下は教義と聖約の中に登場する重要な人物の略歴を簡単にまとめたものです。



預言者ジョセフ・スミス・ジュニアは、「ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた。」(教義と聖約135:3)ジョセフ・スミスは1805年12月23日に生まれました。ジョセフの少年時代や父なる神とイエス・キリストに会ったこと、天使モロナイの訪れについては、ジョセフ・スミス 歴史1:5-54を参照してください。ジョセフ・スミスは天の使者から神権を授けられ、啓示を数多く受けました。また、モルモン書を翻訳、出版し、主イエス・キリストの御手に使われて真の教会を回復しました。ほかの預言者たちと同じく、ジョセフ・スミスも敵から迫害され、罪がないにもかかわらず何度も投獄され、多くの苦しみを味わいました(教義と聖約121-123章参照)。ジョセフと兄のハイラムは、イエス・キリストの証<sup>あかし</sup>のゆえに1844年暴徒によって殺害されました(教義と聖約135章参照)。



エマ・ヘイル・スミスは1827年1月に預言者ジョセフ・スミスと結婚し、ジョセフがモルモン書の翻訳を開始してしばらくの間筆記者を務めました。扶助協会の初代会長であり、教会の最初の賛美歌集の選曲をした人でもあります(教義と聖約25:1-15参照。132:51-56も参照)。何度も迫害され、苦難を堪え忍びました。何人かの子供を幼くして失い、夫であるジョセフも敵の手によって殺されました。教会員がユタに移動したとき、イリノイを出ようとはしませんでした。エマは1879年にイリノイ州ノーブーで死去しました。



ハイラム・スミスは預言者ジョセフ・スミスの兄でした。弟が神によって預言者<sup>あかし</sup>に召されたことを最初から知っており、その証に最後まで忠実でした(教義と聖約11:前書き, 6-26; 23:3; 52:8; 124:15, 124参照)。大管長補佐や副管長、大祝福師を務めました(教義と聖約124:91-95参照)。また、弟とともにカーセージの監獄<sup>かんごく</sup>で殉教し、真の教会が地上に回復されたという証を結び固めました(教義と聖約135:1-7参照)。息子の一人ジョセフ・F・スミスと孫のジョセフ・フィールディング・スミスは大管長になっています。



ジョセフ・スミス・シニア(ジョセフ・スミス 歴史1:48-50; 教義と聖約4:前書き; 23:前書き, 5; 90:20, 25-26; 102:3; 124:19; 137:5参照)は、1771年7月12日にマサチューセッツ州トップスフィールドで生まれました。24歳のときにルーシー・マック・スミス(教義と聖約137:5参照)と結婚して、バーモントに移り住みました。ところが、度重なる不作のために生計を立てることができなくなり、やむなく家族を連れてニューヨーク州パルマイラ近くに移りました。クモラの丘はこの新しい住まいに程近い所にあったのです。息子が主の預言者という召しを果たせるよう、いつでも力になりました(ジョセフ・スミス 歴史1:50参照)。教会が組織された1830年4月6日にバプテスマを受け、二人の息子ハイラムとサミュエルとともに、モルモン書の金版<sup>あかし</sup>の証人となりました(モルモン書のはじめの「八人の証人の証」参照)。ジョセフ・スミス・シニアは最初の大祝福師、副管長を務め、1840年にイリノイ州ノーブーで死去しました。



ジョセフ・スミス・シニアとルーシー・スミスには11人の子供がいました。最初の子供は男児で、生後間もなく世を去りました。そのほかの息子はアルピン(ジョセフ・スミス 歴史1:56; 教義と聖約137:5-6参照)、ハイラム(上記「ハイラム・スミス」参照)、ジョセフ(上記「ジョセフ・スミス・ジュニア」参照)、サミュエル(教義と聖約23:前書き, 4; 61:35; 66:8; 75:13; 102:3, 34; 124:141参照)、エフラム(生後11日で死去)、ウィリアム(教義と聖約の序文の「『教義と聖約』の書が真実であるという十二使徒の証<sup>あかし</sup>」; 教義と聖約124:129参照)ドン・カルロスです。娘はソフロニアとキャサリン、ルーシーでした。サミュエル・スミスは教会の最初の宣教師となり、またノーブーの監督会でも働きました。サミュエル

は何度も迫害を受け、兄のジョセフとハイラムが殺されてから約1か月後に36歳でこの世を去りました。



マーティン・ハリスはニューヨーク州パルマイラで農業を営み、裕福な暮らしをしていました。若きジョセフ・スミスと親しくなり、経済的な支援をしました。短期間ではありましたが、預言者ジョセフ・スミスがモルモン書を翻訳するとき筆記者を務めました。後に農場の一部を売って、モルモン書の初版5,000冊の印刷費を支払いました（教義と聖約3：前書き、12 - 13；5：1 - 15、24 - 32；10：前書き；19：前書き、25 - 41参照）。金版の特別な三人の証人の一人となり、生涯を通じてその証に忠実でした（モルモン書のはじめの「三人の証人の証」；教義と聖約17：前書き、1 - 9；58：35 - 39；104：24 - 26；ジョセフ・スミス 歴史1：61 - 65参照）。マーティン・ハリスは1838年に教会を去りましたが、1870年に教会に加わるためにユタに来て、再びバプテスマを受け、1875年に世を去りました。



オリバー・カウドリは1806年にバーモント州で生まれました。ニューヨーク州パルマイラにあるジョセフの両親の家に下宿しながら学校の教師をしていたときに預言者ジョセフ・スミスのことを聞き、預言者の召しについて霊的な証を得ました（教義と聖約6：前書き、14 - 24参照）。1829年4月、ペンシルベニア州ハーモニーへ行って預言者に会い、金版からモルモン書を翻訳する預言者の筆記者を務めることになりました（教義と聖約8：前書き、1 - 12；9：前書き、1 - 14参照）。金版の特別な三人の証人の一人となりました（モルモン書のはじめの「三人の証人の証」；17：前書き、1 - 9参照）。神権の権能が回復されたとき、預言者ジョセフ・スミスと一緒にいた者の一人でしたし、そのほかにも啓示が与えられたとき、預言者と一緒になっていたことが何度もありました（教義と聖約13：前書き；18：37；20：3 - 4；21：前書き；27：8、12；28：前書き、1 - 16；47：前書き；69：前書き；104：28 - 30；110：前書き、1 - 16；111：前書き参照。ジョセフ・スミス 歴史1：66 - 72も参照）。大管長補佐としても働きました（スミス『救いの教義』第1巻、201 - 202参照）。オリバー・カウドリは1838年に教会を離れましたが、1848年に戻って、再びバプテスマを受け（教義と聖約124：95参照）、1850年3月3日、ミズーリ州において世を去りました。このため、ユタへ移住する夢を果たすことはできませんでした。



ピーター・ホイットマー・シニアと妻のメアリーには3人の娘と5人の息子がいました。娘の一人であるエリザベス・アンはオリバー・カウドリと結婚しました（上記「オリバー・カウドリ」参照）。次女のナンシーは生後4か月近くで亡くなり、三女のキャサリンはハイラム・ページと結婚しました（教義と聖約28章の前書き参照）。5人の息子たちはモルモン書の金版の証人でした（モルモン書のはじめの「三人の証人の証」と「八人の証人の証」参照）。デビッド・ホイットマーは、教会を宗教団体として正式に組織するための書類に署名した6人のうちの一人でした。彼は後にミズーリで教会指導者となり、1838年に教会を離れるまで指導者として働きました（教義と聖約14：前書き、11；17：前書き、1 - 9；18：前書き、9、37 - 39；30：1 - 4；52：25参照）。ホイットマーの家族は、モルモン書の翻訳に携わっていた1829年に、ジョセフ・スミスとエマ・スミス、オリバー・カウドリに資金、食料、住む場所を提供

しました。教会は1830年にニューヨーク州フェイエットのホイットマー家で組織されたのです（教義と聖約21章の前書き参照）。



シドニー・リグドンはオハイオ州メンターで牧師をしていましたが、モルモン書を祈りの気持ちで読んだ後、1830年に教会に加わりました。1833年から1844年まで副管長を務めたほか、教会で多くの召しを受けて奉仕しました（教義と聖約35：前書き、3 - 6；36：2、5；58：50、57 - 58；63：65 - 66；71：1；76：前書き、11 - 24；82：11；90：6、21；93：44、51；102：3；124：125 - 126参照）。預言者ジョセフ・スミスの死後、「後見人」として教会を導く権利が自分にはあると主張しましたが、会員たちは教会の指導者として十二使徒を支持しました。シドニーは十二使徒を指導者とは認めず、1844年に破門されました。



エドワード・パートリッジは1830年に教会に入り、教会の最初の監督となりました（教義と聖約35：前書き；36：前書き、1 - 7；41：9 - 11；42：10；50：39；51：1 - 4、18；52：24；57：7；58：14 - 16、24 - 25、61 - 62；60：10；64：17；82：11；124：19参照）。パートリッジ監督はミズーリで何度も迫害に遭い、1840年、イリノイ州ノーブーにおいてこの世を去りました。47歳でした。



ジョセフ・ナイト・シニアは1826年に預言者ジョセフ・スミスと知り合い、回復の業を手助けしたいと考えました。預言者ジョセフより30歳以上年上だったジョセフ・ナイト・シニアは、モルモン書の翻訳を続けられるよう、必要なものを預言者に度々提供しました。1827年に預言者ジョセフと妻のエマが夜の間にクモラの丘から金版を運び出したときに馬車を提供したのは、ジョセフ・ナイト・シニアでした。ナイト兄弟は1847年アイオワ準州のマウントピスガで亡くなりました。聖徒たちとともにノーブーを追われて旅をしている途中でした。



ニューエル・K・ホイットニーはオハイオ州カートランドに店を持っていました。1830年に教会に入り、預言者ジョセフ・スミスと非常に親しい間柄になりました。預言者とその家族はしばらくの間ホイットニー家に滞在しており、教義と聖約の中の幾つかの啓示はここで与えられたのです。ニューエル・K・ホイットニーは教会の二人目の監督に召され1847年には管理監督になりました（教義と聖約63：42 - 46；72：前書き、1 - 8；78：8 - 10；82：11 - 12；84：112；93：50；96：前書き、2；104：39 - 42；117：1 - 2、11参照）。ニューエル・K・ホイットニーは1850年にユタで亡くなりました。妻のエリザベス・アン・ホイットニーは、エマ・スミスが会長を務めた教会初の扶助協会で、副会長を務めました。



トマス・B・マーシュは、E・B・グラディンの印刷所で刷り上がったばかりのモルモン書から最初の16ページを読んだ後、1830年に教会に加わりました。彼は十二使徒定員会の初代会長になりました（教義と聖約31：前書き、1 - 13；52：22；56：5；112：前書き、1 - 19；118：2参照）。後に、預言者ジョセフ・スミスに対して怒りを募らせ、ミズーリで教会を迫害し始めました。1838年に教会を離れ、1839年に破門されま



したが、1857年に再びバプテスマを受けました。



パーリー・P・プラットと弟のオーソン・プラットは1830年に教会に加わり、現代の神権時代に初めて組織された十二使徒定員会の会員になりました。パーリー・P・プラットは何度も伝道に出（教義と聖約32：前書き、1-2；34：前書き；49：1-3；50：37；52：26；97：3-5；103：前書き、30、37；124：127-129参照）、多くの説教や賛美歌を書いて教会から出版しました。ユタに到着した初期の開拓者の一人でもあります。パーリー・P・プラットは合衆国南部で伝道に携わっていた1857年に殺害されました。オーソン・プラットも数多くの伝道を経験しました（教義と聖約34：前書き、1-10；52：26；75：14；103：40；124：127-129；136：13参照）。大管長の指示のもとで教義と聖約に26の啓示を追加し、モルモン書、教義と聖約、高価な真珠を節に分け、初めて脚注をつけた人です。オーソン・プラットは宗教と科学の分野で書物を多数執筆しました。ユタに最初に到着した開拓者の一人です。1881年に亡くなるまで45年以上にわたって使徒を務めました。

## 教義と聖約の中の用語

### 背教

新約時代にイエス・キリストは福音<sup>しよくざい</sup>を教え、使徒たちを選び、御自身の教会を組織されました。主の贖罪<sup>しよくざい</sup>、死、復活の後、人々は使徒たちを拒み、福音の教義を変えてしまいます。こうして、イエス・キリストの真の教会は地上から取り去られてしまいました。真の教会から背くことを「背教」と呼びます（2テサロニケ2：3）。

### 回復

主は預言者ジョセフ・スミスを召し、回復（元に戻す）の業を進めるよう命じられました。福音の回復と、背教によって地上から取り去られたイエス・キリストの真の教会の回復です。ジョセフ・スミスは神の賜物と力によってモルモン書を翻訳しました。モルモン書にはイエス・キリストの福音が収められています。主はさらに、新約時代に地上に存在していた神権の権能、聖約、儀式、霊的な賜物、教会の組織などを回復されました（信仰箇条1：4-7、9参照）。

### イスラエルの集合

旧約聖書には、主がヤコブの名前を「イスラエル」と変えられたと記されています（創世32：28；35：10参照）。イスラエルには12人の息子がいました。彼らの子孫は「イスラエルの十二部族」または「イスラエルの子ら」と呼ばれました。聖文の中では「ヤコブの子ら」（詩篇105：6；教義と聖約109：61）、あるいは単に「イスラエル」と呼ばれています。今日の教会員も「イスラエル」、「イスラエルの家」または「イスラエルの子ら」と呼ばれます（2ニーファイ29：14；教義と聖約103：17参照）。

イスラエルの十二部族のうち十部族は邪悪であったため、征服され、捕虜として連れ去られてしまいました（列王下17：18-23；1ニーファイ22：3-4参照）。これらの部族は「行方の知れない十部族」と呼ばれます。イスラエルの残りの部族は「ユダ」、「ユダヤ人」と呼ばれ、後に征服され、散らされました（2ニーファイ6：8-11参照）。

主は御自分の民であるイスラエルを終わりの時に集めると約束されました（エレミヤ16：14-15；1ニーファイ22：24-25；2ニーファイ9：1-2参照）。この集合は、預言者ジョセフ・スミスを通じてイエス・キリストの福音と真の教会が回復されたときから始まりました。教会員は初め、合衆国のニューヨーク州に集合しました。後に、主は会員たちにオハイオ州カートランドに集まるようにと言われました（教義と聖約37：1-4参照）。1831年に、主は一部の会員に対してミズーリ州に教会員の集合する場所を用意するよう命じられました（教義と聖約57：1-2参照）。そして1838年までにほかの教会員もそこに集合しました。しかし一部の会員が主の戒めを守らなかったこと、教会に敵対する人々による迫害のために、1839年、教会はイリノイ州ノーブーへ移りました。預言者ジョセフ・スミスの死後、会員たちは迫害され、イリノイ州を強制的に追い出されました。そして、主は彼らを合衆国西部の集合の地へ導かれました（合本の巻末の地図を参照）。

主は民を集めるという約束を現在も果たしておられます。しかし、今日のわたしたちは自分の住んでいる地に教会を築き上げるよう命じられています。十二使徒定員会会員を務めたブルース・R・マッコンキー長老が述べたように、「イスラエルは一人一人、一家族一家族、地上の全地に築かれるシオンのステーキに集められ、やがて全地が福音の実によって祝福される」のです（「シオンの建設」『聖徒の道』1977年9月号、403）。

### 教義と聖約の歴史

1833年にミズーリで出版された「未完成」の『戒めの書』には、預言者ジョセフ・スミスが主から受けた65の啓示が収められていました。しかし、そのほかにもこの書に含めるべき啓示がありました（教義と聖約1：6および1章の前書き；67章の前書き；69章の前書き；70章の前書き参照）。預言者ジョセフが新たに受けた啓示は、すでに出版されていた『戒めの書』と一つにまとめられ、1835年に『教義と聖約』として出版されました。この教義と聖約は103章から成っていました（66章と名付けられた章が二つありました）。その後も歴代の大管長たちは多くの啓示を受けてきました。それらの啓示の一部は教義と聖約に付け加えられています。ハワード・W・ハンター大管長は十二使徒定員会会員を務めていたときに、神は「今日、生ける預言者を通して御自分のすべての子供たちに、引き続き導きを与えておられます。約束にあるように、神は常に御自分の僕たちとともにあり、世界中にある御自身の教会を導いておられることをわたしたちは宣言します」と語りました（「だれも書き加えたり、取り除いたりしてはならない」『聖徒の道』1981年9月号、107参照）。

### ジョセフ・スミス訳〔JS〕（欽定訳聖書のジョセフ・スミスによる翻訳）

聖書の大切な部分の多くは失われたり、変えられたりしていません（1ニーファイ13：24-29参照）。主は預言者ジョセフ・スミスに対して、聖書に多くの訂正を行うよう命じられました（教義と聖約35：20；41：7；45：60-61；73：3-4；93：53参照）。こうして訂正が加えられた訳を、ジョセフ・スミス訳（JS）と呼びます。ジョセフ・スミス訳の一部は、脚注と合本の巻末に収められています。預言者ジョセフ・スミスが聖書の翻訳に携わっていたときに、主はジョセフに啓示を与え、聖書の多くの部分について説明されました（教義と聖約76章；77章；86章；91章；93章；113章；132章参照。モーセ書；ジョセフ・スミス マタイも参照）。



## 奉献の律法

奉献の律法はどんな原則を教えているのでしょうか。あらゆるものは主のものであり、主がわたしたちに与えられたすべてのものは、地上で主の王国を築くために使うべきであるという原則です（教義と聖約104：11 - 18参照）。教会の初期の時代に、奉献の律法に従うことを選んだ会員たちは、自分の金銭と財産を監督に差し出し、それに対して監督から管理の職（金銭、財産、その他の責任）を与えられました。監督から与えられたものは自分の財産となって、自分たちの必要を満たすために使われました。必要以上に財産を得た人は、貧しい者と乏しい者を助けるために監督に返しました（教義と聖約42：30 - 39参照）。奉献の律法が与えられたのは、会員が高慢と利己心を克服し、日の栄えの王国に住む備えをするためでした（モーセ7：16 - 20参照）。しばらくの間、一部の会員は奉献の律法に従って生活する努力をしましたが、この律法を完全に守ることはできませんでした（教義と聖約105：1 - 5, 9 - 13参照）。現在、神の王国を築くためにわたしたちがしていること 什分の一や断食献金を納め、デゼルト産業（教会員の寄付によって集まった品物を安い値段で売る店）や教会福祉プログラムに寄付し、時間と才能を差し出して奉仕を行い、その他の犠牲をささげること これらはすべて、奉献の律法の一部です（教義と聖約119章の前書き参照）。

## シオン

教義と聖約ではシオンという言葉を決のような意味で使っています。

- 「心の清い者」（教義と聖約97：21）、互いに愛し合い、主の戒めを守り、貧しい者に助けの手を差し伸べる人々の集まり（モーセ7：18も参照）
- ミズーリ州インディペンデンスの地域の別名（教義と聖約57：1 - 3参照）。教義と聖約の中の「シオンの地」とはミズーリ州のこの地域を指しています。

- 将来、ミズーリ州に建設される都市（教義と聖約45：64 - 71；84：2 - 4参照。信仰箇条1：10も参照）。1830年代の教会員はシオンを確立する（シオンの律法を守る）ことができませんでした。シオンの町が将来築かれることを主は約束されました（教義と聖約58：3 - 7；101：16 - 21；105：1 - 5参照）。
- 預言者エノクの町（教義と聖約38：4；45：11 - 14。モーセ7：16 - 21も参照）。
- 末日聖徒イエス・キリスト教会（教義と聖約21：7 - 8；68：25 - 30）。

## シオンの陣営

シオンの陣営とは、1834年に「シオンの地」へ行くようにとの主の命令に従った約200人の男性と若干名の女性と子供から成る一団です（教義と聖約103：22。103章の前書きおよび22 - 35節参照）。彼らはシオンを建設するため（上記「シオン」参照）、また暴徒によって家を追われた教会員を救出するために、オハイオからミズーリに至る1,450キロ以上の道のりを行軍しました。シオンの陣営がミズーリに到着したとき、主はシオンを確立するまで「しばしの間……待つ」ようにとされました（教義と聖約105：9。105章の前書きおよび1 - 19節参照）。シオンの陣営が解散するまで従順かつ忠実であった男性の多くは、後に教会の指導者となりました。

## 章の前書き

教義と聖約の各章には章の導入となる前書きがついています。前書きには、いつ、だれに向けて、どのような歴史的背景の中で主が啓示を与えられたかが記されています。各章を研究するときに、必ず章の前書きを読んでください。

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会

